邑久地区市営住宅（A棟）建替工事

設計：令和7年（2025年）3月

一級建築士事務所
株式会社ＡＤＯ建築設計事務所

建築意匠図						建築構造図			電気設備図			機械設備図		
No	図　面　名　称	縮尺	No	図　面　名　称	縮尺	No	図　面　名　称	縮尺	No	図　面　名　称	縮尺	No	図　面　名　称	縮尺
A- 00	表紙・図面リスト	N/S	A- 46	断熱範囲平面図1	1/60	S- 01	構造特記仕様書	N/S	E- 01	岡山県電気設備工事特記仕様書	N/S	M- 01	機械設備工事　特記仕様書	N/S
01	岡山県建築工事特記仕様書1	N/S	47	断熱範囲平面図2	1/60	02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	N/S	02	工事区分表	N/S	02	工事区分表（共通）	N/S
02	岡山県建築工事特記仕様書2	N/S	48	断熱範囲平面図3	1/60	03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	N/S	03	配置図・屋外電気設備図	1/250	03	屋外平面図（給排水・ガス設備）	1/150
03	岡山県建築工事特記仕様書3	N/S	49	断熱範囲平面図4	1/60	04	壁式構造配筋標準図１	N/S	04	幹線設備系統図	N/S	04	器具表・機器表　（Ａ棟）	N/S
04	岡山県建築工事特記仕様書4	N/S	50	断熱範囲平面図5	1/60	05	壁式構造配筋標準図２	N/S	05	１階　幹線設備　平面図	1/50	05	配管系統図　（Ａ棟）	N/S
05	岡山県建築工事特記仕様書5	N/S	51	断熱範囲平面図6	1/60	06	壁式構造配筋標準図３	N/S	06	２階　幹線設備　平面図	1/50	06	桝リスト	N/S
06	岡山県共通特記仕様書	N/S	52	1階平面詳細図1	1/30	07	Hyper-MEGA工法　特記仕様書	N/S	07	３階　幹線設備　平面図	1/50	07	１階床下平面図　（給水・ガス設備）	1/50
07	工事区分表	N/S	53	1階平面詳細図2	1/30	08	F.T.Pile構法 既製コンクリート杭（パイルキャップ）	N/S	08	４階　幹線設備　平面図	1/50	08	各階住戸内平面図（給水・給湯設備）	1/50
08	付近見取図	1/2500	54	4階平面詳細図	1/30	09	ボーリング位置図・柱状図	1/400	09	照明器具参考姿図	N/S	09	４階平面図（給水・給湯・ガス設備）	1/50
09	敷地求積図	1/250	55	展開図1	1/50	10	杭伏図・基礎伏図	1/100	10	住戸内電灯設備平面図	1/50	10	１階平面図　（排水設備）	1/50
10	配置図（現況）	1/250	56	展開図2	1/50	11	２・３階伏図	1/100	11	電灯設備　４階平面詳細図	1/50	11	２階・３階平面図（排水設備）	1/50
11	全体配置図	1/250	57	展開図3	1/50	12	４・Ｒ階伏図	1/100	12	１階　コンセント設備平面図	1/50	12	４階平面図（排水設備）	1/50
12	配置図	1/150	58	展開図4	1/50	13	軸組図１（Ａ・Ｂ通り）	1/100	13	２.３階コンセント設備平面図	1/50	13	各階住戸内平面図（ガス設備）	1/50
13	面積求積図・表	1/200	59	展開図5	1/50	14	軸組図２（Ｃ・Ｄ通り）	1/100	14	コンセント設備　4階平面図	1/50	14	ＰＳ内部分詳細図　（衛生設備）	1/30
14	平均地盤面算定表	1/100	60	展開図6	1/50	15	軸組図３（Ｅ・Ｆ通り）	1/100	15	各住戸タイプ　コンセント設備平面図	1/50	15	各階住戸内平面図（ｶﾞｽ給湯器排気筒・ﾘﾓｺﾝ配線）	1/50
15	仕上表1	N/S	61	展開図7	1/50	16	軸組図４（Ｇ・Ｈ通り）	1/100	16	コンセント設備　４階平面詳細図	1/50	16	パルク装置参考図	1/20,1/10
16	仕上表2	N/S	62	水まわり設備詳細図1	1/20	17	軸組図５（Ｉ・Ｊ通り）	1/100	17	弱電設備　系統図	1/50	17	空調設備・換気設備　機器表	N/S
17	ピット平面図・1階平面図	1/100	63	水まわり設備詳細図2	1/30	18	軸組図６（１～６通り）	1/100	18	弱電設備　1階平面図	1/50	18	換気設備　計算書	N/S
18	2階平面図	1/100	64	部分詳細図1	図示	19	軸組図７（７～１１通り）	1/100	19	２．３階　弱電設備平面図	1/50	19	１階平面詳細図　（空調・換気設備）	1/50
19	3階平面図	1/100	65	部分詳細図2	図示	20	基礎リスト１・地中梁リスト	1/20	20	４階　弱電設備平面図・機器リスト	1/50	20	２階・３階平面図（空調・換気設備）	1/50
20	4階平面図	1/100	66	部分詳細図3	図示	21	基礎リスト２・壁・床スラブ配筋リスト	1/20	21	自動火災報知設備　凡例・注記・系統図	N/S	21	４階平面図（空調・換気設備）	1/50
21	R階平面図	1/100	67	部分詳細図4	図示	22	大梁リスト	1/20	22	１階　自動火災報知設備平面図	1/50			
22	立面図	1/100	68	部分詳細図5	図示	23	片持梁リスト・ピット開口補強配筋図	1/20	23	２階　自動火災報知設備平面図	1/50			
23	断面図	1/100	69	部分詳細図6	図示	24	軸組配筋詳細図	1/30	24	３階　自動火災報知設備平面図	1/50			
24	断面詳細図1	1/30	70	部分詳細図7	図示	25	雑配筋図	1/30	25	４階　自動火災報知設備平面図	1/50			
25	断面詳細図2	1/30	71	部分詳細図8	図示	26	パルク基礎	1/30	26	太陽光発電設備　特記仕様書・機器姿図	N/S			
26	断面詳細図3	1/30	72	部分詳細図9	図示	27	ごみ置き場基礎	1/30	27	太陽光発電設備　単線結線図	N/S			
27	屋外階段詳細図1	1/30	73	部分詳細図10	図示	28	自転車置場　基礎伏図	1/30	28	太陽光発電設備　Ｒ階平面図	1/100			
28	屋外階段詳細図2	1/30	74	部分詳細図11	図示	29	自転車置場　基礎リスト	1/30						
29	屋外避難階段詳細図1	1/30	75	部分詳細図12	図示									
30	屋外避難階段詳細図2	1/30	76	部分詳細図13	図示									
31	エレベーター詳細図1	1/30	77	外構配置図	1/150									
32	エレベーター詳細図2	1/30	78	外構詳細図1	1/30									
33	エレベーター詳細図3	1/30	79	外構詳細図2	図示									
34	エレベーター詳細図4	1/30	80	外構詳細図3	図示									
35	エレベーター詳細図5	1/30	81	外構詳細図4	図示									
36	公営住宅設計概要	N/S	82	集水桝計画図	1/150									
37	1階建具キープラン（法チェック図）	1/60	83	参考仮設計画図	1/150,1/350									
38	2階建具キープラン（法チェック図）	1/60												
39	3階建具キープラン（法チェック図）	1/60												
40	4階建具キープラン（法チェック図）	1/60												
41	ALVS表	N/S												
42	建具表1	1/50												
43	建具表2	1/50												
44	1・2階天井伏図	1/100												
45	3・4階天井伏図	1/100												

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1　S=N/S A3　S=N/S	A
図面リスト		00

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

岡山県建築工事特記仕様書

Ⅰ．工事概要

工事名称	邑久地区市営住宅（A棟）建替工事
工事場所	岡山県瀬戸内市邑久町福元745、746の一部、747の一部
敷地面積	2,184.11 ㎡

床面積(㎡)

	市営住宅1棟 RC造	自転車置場1棟 7ﾐ造	自転車置場2棟 7ﾐ造	ゴミ置場 棟 7ﾐ造	棟 造
階					
4 階	131.64				
3 階	400.93				
2 階	400.93				
1 階	400.93	11.16	11.16	4.00	
階					
小 計	1,334.43	11.16	11.16	4.00	
合 計	1,360.75				

建築面積(㎡)	516.21 ㎡
消防法施行令別表第一区分	（5）項 ロ
建ぺい率（指定率）	23.64 %（ %）
容積率（指定率）	48.42 %（ %）
用途地域	指定なし（都市計画区域外）
別途工事	防火地域 ・準防火地域 ⊙指定なし

工事範囲
- 建築主体工事
- 電気設備工事
- 機械設備工事
- 昇降機設備工事
- 外構工事

Ⅱ．建築工事仕様

1．共通仕様

（1） 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和４年版」（以下、「標準仕様書」という。）による。
図面、本特記仕様書及び標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省官房官庁営繕部制定「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和４年版」（以下「改修標準仕様書」という。）による。

（2） 建築基準法に基づく完了検査（中間検査含む）が必要な工事の場合、受注者は完了検査（中間検査含む）時には、官公署（建築主事等）が求める検査に必要な書類（報告書）等を用意するものとする。

2．特記仕様

（1） 項目は番号に○印のついたものを適用する。

（2） 特記事項は⊙印のついたものを適用する。
⊙印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。
⊙印と◎印のついた場合は共に適用する。

（3） 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。［ ］内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を表す

（4） 関係法令の改正等により（条例を含む）、工事内容が法令等に抵触する恐れがあることを認識した場合には、その対応等について、監督職員と協議すること。

（5） 材料及び製造所等の記載は順不同である。

章		項目	特記事項	
一般共通事項	1	適用基準等	※建築工事標準詳細図（令和４年版）（以下「標準詳細図」という）	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
			※営繕工事写真撮影要領（令和５年版）	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
	2	電気保安技術者（1．3．3）	配置する	
	3	施工条件（1．3．5）	⊙施工時間帯 ※指定なし ⊙指定あり（ 現場説明書による ）	
			⊙施工ができない日等 ※指定なし ⊙指定あり（ 現場説明書による ）	
			⊙部位別の施工順序 ※指定なし ・指定あり（・図示 ・ ）	
			⊙工事車両の駐車場所 （※図示 ・ ）	
			⊙資機材置場 （※図示 ・ ）	
			⊙建設発生土仮置場 （※図示 ・ ）	
			※週休２日促進工事について ⊙本工事は、週休２日促進工事の対象である。週休２日促進工事特記仕様書を参照すること。 ・本工事は、週休２日促進工事の対象外である。	
	4	工事安全計画書（1．3．7）	建築工事安全施工技術指針及び建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事編）に基づき、工事の施工に先立ち工事現場の安全対策に関する具体的な工事安全計画書を監督職員に提出する。	
	5	発生材の処理等（1．3．11）	⊙引き渡しを要するもの（ 現場説明書による ） ⊙現場において再利用を図るもの（ 現場説明書による ） ⊙再生資源化を図るもの 現場説明書による ・コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材 ⊙現場説明書による	
	6	環境への配慮（1．4．1）	化学物質を放散させる建築材料等 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する品質及び性能を有すると共に、次の１）から４）を満たすものとする。 １）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ２）接着剤及び塗料にトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ３）接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ４）１）の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。 ホルムアルデヒド放散量 規制対象外 ①建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第２０条の７第４項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ホルムアルデヒド放散量 第三種 ①建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ②建築基準法施行令第２０条の７第３項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料	

7	材料の品質等（1．4．2）	1）本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 2）本工事に使用する材料のうち、3）に指定する材料の製造業者等は、次の（1）～（6）の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し）を監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 （1）品質及び性能に関する試験データが整備されているもの （2）生産施設及び品質の管理が適切に行われているもの （3）安定的な供給が可能であるもの （4）法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得している （5）製造又は施工の実績があり、その信頼性があるもの （6）販売、保守等の営業体制が整えられているもの（なお、システムとして機能するものにあっては、システムの構築能力があり、現場で施工体制が整えられているもの） 3）製造業者等に関する資料の提出を定める材料
8	特別な材料の工法	標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
9	技能士（1．5．2）	

床型枠用鋼製デッキプレート	クローザ類	煙突用成形ライニング材	
鉄骨柱下無収縮モルタル	自動扉機構	天井点検口	
無収縮グラウト材	自閉式上吊り引戸機構	床点検口	
乾式保護材	重量シャッター	グレーチング	
既調合モルタル	軽量シャッター	屋上緑化システム	
ルーフドレン	オーバーヘッドドア	トップライト	
吸水調整材	防水剤	ポリマーセメントモルタル	
既調合目地材	現場発泡断熱材	可動間仕切	
移動間仕切	フリーアクセスフロア	鋳鉄製ふた	
錠前類	トイレブース		

10	化学物質の濃度測定（1．5．9）	図示した室のホルムアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンの室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に報告するものとする。 パッシブ型採取機器を用いて測定を行う場合には、次の要領で測定及び分析を行う ①３０分間換気 測定対象室のすべての窓及び扉（造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉を含む）を開放し、３０分間換気する。 ②５時間閉鎖 ①の後、測定対象室すべての窓及び扉を５時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉は開放したままとする。 ③測定 イ ②の状態のままで測定する。 ロ 測定時間は、原則として２４時間とする。ただし、工程等の都合により、２４時間測定が行えない場合は、８時間測定とする。なお、８時間測定の場合は、午後２時～３時が測定時間帯の中央となるよう、１０時３０分～１８時３０分までの時間帯で測定する。 ハ 測定回数は１回とし、複数回の測定は不要とする。 ④分析 測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器を分析機関に送付し、濃度を分析する。 ⑤その他 監督員から測定方法に関する注意事項等の指示を受けるものとする。 ・厚生労働省の標準的方法による ⊙測定箇所は住戸、集会室とする 工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出するものとする。
11	完成写真	

撮影部位及び箇所数	形式・サイズ	提出セット数	画素数及び画質等	撮影者
外観正面 1箇所	・カラー印画紙キャビネ判		4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの	建築完成写真の撮影実績がある者で、監督職員が承諾する撮影業者
	・電子データ（ＪＰＥＧフルカラー圧縮率1/4程度）			
	・カラー木製パネル半切（324×400㎜）			
上記と異なる外部（ ）箇所 内部（ ）箇所	カラー印画紙 ・キャビネ判 ※Ｌ判			
	※電子データ（ＪＰＥＧフルカラー圧縮率1/4程度）			
外部（ 30 ）箇所	カラー印画紙 ・キャビネ判 ※Ｌ判	3	1280×960ピクセル以上かつ撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質	任意
内部（168）箇所	※電子データ（ＪＰＥＧフルカラー）	3		

撮影部位は監督職員の指示による
電子データは、ＣＤ－Ｒ等で提出する

12	完成時の提出図書（1．7．1～3）	完成図[竣工図]（ＣＡＤデータの提出（※ 要 ・ 不要 ）） ※完成図データ作成（建築、電気、機械）は工事受注者で行う。 保全に関する資料（提出部数 ※ １部 ・ 部 ） 提出書類の詳細については、別途、完成図書作成要領による。 工事着手前に工事監理用に設計図A3版2つ折り製本を4部用意し、監理者へ提出すること。	表1．7．1
13	施工図及び施工計画書（1．7．2）	提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。	
14	設備工事との取り合い	設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受けるものとする。	
15	設計ＧＬ	※図示 ・（ ）	
16	適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 風圧力風速 Ｖo＝ ３２ ｍ／ｓ 地表面粗度区分 ・Ⅰ ・Ⅱ ○Ⅲ ・Ⅳ 積雪量 建築基準法施行令第８６条第３項の規定に基づく岡山県建築基準法施行細則による数値	

仮設工事	2	1 足場その他（2．2．4）	足場を設ける場合は、標準仕様書２．２．４（２）、（３）による。
		2 監督職員事務所（2．3．1）	※設けない ・設ける 備品等は、監督職員の指示を受けて設置するものとする。
		3 工事用水	構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる（※ 有償 ・ 無償 ）
		4 工事用電力	※ 別途引き込みとする ・ 構内既存の施設を利用できる（※ 有償 ・ 無償 ）
土工事	3	1 埋戻し及び盛土（3．2．3）	※種別 ・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種 ・Ｄ種 ・建設汚泥から再生した処理土 表3．2．1 Ｄ種の場合は必要に応じて「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」により、監督職員と協議の上、六価クロム溶出試験を行うものとする。 ・材料： 工法：
		2 建設発生土の処理（3．2．5）	※構外指示の場所に処分 ・構内指示の場所に敷き均し ・構内指示の場所に堆積
地業工事	4	1 共通仕様（4．2．2）（4．2．4）⊙構造図参照	⊙杭基礎 支持地盤の位置及び種類（基礎ぐいの先端位置含む） ※構造図による 試験杭（ ）本 位置は構造図による 杭の支持層への根入れ長さ ※構造図による ・直接基礎 支持地盤の位置及び種類（ラップルコンクリートの底面位置含む） ※構造図による ・地盤の平板載荷試験 ※行わない ・行う（ ）箇所 位置、深さ、対象地盤及び最大載荷加重は構造図による。 試験の方法、報告書の記載事項等は構造図による。
		2 既製コンクリート杭地業（4．2．2）（4．3．1～7）⊙構造図参照	材料 ※遠心力高強度コンクリート杭（ＰＨＣ杭） ・外殻鋼管付きコンクリート杭（ＳＣ杭） ・プレストレス鉄筋コンクリート杭（ＰＲＣ杭） ・ 寸法、継手、性能等

	種類 種別	杭径（㎜）	杭長（m）及び種別	厚さ	継手数	セット数	コンクリート強度（Ｎ／㎟）	長期設計支持力（ｋＮ／本）	備考
試験杭			上杭 中杭 下杭						
本 杭			上杭 中杭 下杭						

ＳＣ杭の鋼管 ・ＳＫＫ４００ ・ＳＫＫ４９０ ・
ＳＣ杭の板厚 ※構造図による
ＰＨＣ杭の種別 ・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種
ＰＲＣ杭の種別 ・Ⅰ種 ・Ⅱ種 ・Ⅲ種 ・Ⅳ種
なお、特定理込杭工法における杭材料はＪＩＳ又は認定条件に適合するものとする。
杭先端部形状 ※開放形 ・半開放形 ・閉そく形
ネガティブフリクション対策
※不要 ・要（構造図による）
杭の継手 ・アーク溶接継手
溶接材料
※標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・構造図による
・機械式継手（継手部に接続金具を用いた方式のもの）
工法 ※評定等を受けた工法
杭頭の処理 ・切断しない ・切断する
処理方法（切断にともなう補強方法含む） ※構造図による
杭頭の中詰材料 ※コンクリート（基礎コンクリートと同仕様） ・
支持地盤 ※構造図による
施工方法
・セメントミルク工法
根固め液及び杭周固定液の管理試験
※標準仕様書4.3.4(6)(3)による
・構造図による
※特定理込杭工法
・Ｈ１３国交告第１１１３号第６による支持力算定式でα＝２５０程度を採用できる工法
・Ｈ１３国交告第１１１３号第６による支持力算定式でα＝ 、β＝ 、γ＝
を採用できる工法
工法 ・プレボーリング拡大根固め工法
・中堀り拡大根固め工法
・
杭周固定液の使用 ・する ・しない
杭の精度
水平方向の位置ずれ ・杭径の１／４かつ１００㎜以下 ・構造図による
杭の鉛直度 ・１／１００以内 ・評定条件または認定条件による ・構造図による
種類の記号 ・ＳＫＫ４００ ・ＳＫＫ４９０

寸法、継手、性能等

	符号	杭径（㎜）	杭長（m）及び種類の記号	板厚（㎜）	継手数	セット数	長期設計支持力（ｋＮ／本）	備考
試験杭			上杭 中杭 下杭					
本杭			上杭 中杭 下杭					

3	鋼杭地業（4．2．2）（4．3．7）（4．4．1～6）		
4	直接基礎	施工方法 ・特定埋込み杭工法 ・Ｈ１３国交告１１１３号第６による支持力算定式でα＝２５０程度を採用できる工法 ・Ｈ１３国交告１１１３号第６による支持力算定式でα＝ 、β＝ 、γ＝ を採用できる工法 工法 ・中掘り拡大根固め工法 杭の精度 水平方向の位置ずれ ・杭径の１／４かつ１００㎜以下 ・ 杭の鉛直度 ・１／１００以内 ・評定条件または認定条件による ・ 杭の継手の工法 ・アーク溶接継手 形状 ・ＪＩＳ Ａ 5525による ・構造図による 溶接材料 ・標準仕様書7.2.5(1)、(2)による ・構造図による ・機械式継手（※継手部に溶接金具を用いた方式のもの） 工法 ※評定を受けた工法 杭頭の処理 ・切断しない ・切断する 処理方法（切断にともなう補強方法含む） ・構造図による 杭頭の中詰材料 ※コンクリート（基礎コンクリートと同仕様） 支持地盤 ※構造図による
5	砂利地業（4．6．2）（4．6．3）	材料 ※再生クラッシャラン ・切込砂利及び切込砕石 厚さ及び使用範囲

厚さ	使用範囲
◎６０	⊙図示による ・
⊙ 50	⊙図示による ・

6	捨コンクリート地業（4．6．4）	材料 設計基準強度 ※１８Ｎ／㎟ ・ Ｎ／㎟ スランプ ※１５㎝ ・１８㎝ 厚さ及び使用範囲

厚さ	使用範囲
※５０	⊙図示による ・
・	・図示による ・

7	床下防湿層（4．6．5）	施工範囲 ※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く） 防湿工法 ※ポリエチレンフィルム厚さ０．１５㎜以上 ・ 防湿層の位置 ※図示による
8	地盤改良	工法 ⊙浅層混合処理工法（適用範囲、仕様及び計測、試験は構造図による） ・深層混合処理工法（適用範囲、仕様及び計測、試験は構造図による）
9	置換コンクリート地業（ラップルコンクリート地業）	材料 コンクリートの種類 ※普通コンクリート ・ 設計基準強度 ※１８Ｎ／㎟ ・ Ｎ／㎟ スランプ ※１５㎝ ・１８㎝ 形状 ※構造図による 支持地盤の長期設計支持力 ・ ｋＮ／㎡ 支持地盤 ※構造図による 型枠使用の有無 ※有り ・無し
10	杭残土（杭汚泥）の重金属等溶出試験	カドミウム、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、セレンの６種類の溶出試験を行うこと。 溶出量基準及び測定方法は、Ｈ３環境庁告示第４６号による。
11	杭残土（杭汚泥）の再資源化	１０の試験結果が基準値未満の場合は、杭残土（杭汚泥）を再資源化処理施設へ搬入するものとする。

5	鉄筋工事	1 鉄筋の種類（5．2．1）⊙構造図参照	規格の名称 / 種類の記号 / 使用箇所 / 呼び径（㎜） / 備考

規格の名称	種類の記号	使用箇所	呼び径（㎜）	備考
※異形鉄筋	※ＳＤ２９５		・Ｄ１６以下	
(鉄筋コンクリ	※ＳＤ３４５		・Ｄ１９ ・Ｄ２２ ・Ｄ２５ ・	
ート用棒鋼)	・		・ ・ ・	
	・		・ ・ ・	

	2 溶接金網（5．2．2）	種類 / 使用箇所 / 呼び径・寸法・形状(㎜)

種類	使用箇所	呼び径・寸法・形状(㎜)
⊙溶接金網	屋根：押えコンクリート	・図示 ⊙ φ6-150ｘ150
・鉄筋格子		・図示 ・

	3 鉄筋の継手（5．3．4）⊙構造図参照	部位 / 継手の方法と適用径

部位	継手の方法と適用径
・基礎梁主筋	・重ね継手（Ｄ１６以下）※ガス圧接（Ｄ１９以上）・機械式継手（ ）
・柱主筋	・重ね継手（Ｄ１６以下）※ガス圧接（Ｄ１９以上）・機械式継手（ ）
・大梁主筋	・重ね継手（Ｄ１６以下）※ガス圧接（Ｄ１９以上）・機械式継手（ ）
・小梁主筋	・重ね継手（Ｄ１６以下）※ガス圧接（Ｄ１９以上）・機械式継手（ ）
・壁	※重ね継手（Ｄ１６以下）・ガス圧接（Ｄ１９以上）・機械式継手（ ）
・	・重ね継手（ ）・ガス圧接（ ）・機械式継手（ ）
・	・重ね継手（ ）・ガス圧接（ ）・機械式継手（ ）

	4 鉄筋の継手位置（5．3．4）⊙構造図参照	部位 / 継手位置 / 部位 / 継手位置

部位	継手位置	部位	継手位置
・基礎梁主筋	・図示 ・各部配筋参考図1.3による		・図示 ・
・柱主筋	・図示 ・各部配筋参考図2.1による		・図示 ・
・大梁主筋	・図示 ・各部配筋参考図3.1による		・図示 ・
・小梁主筋	・図示 ・各部配筋参考図3.4による		
・壁	・図示 ・各部配筋参考図4.2による		

	5 重ね継手の長さ（5．3．4）⊙構造図参照	部位 / 重ね継手の長さ

部位	重ね継手の長さ
・基礎梁主筋	・図示 ・４０ｄと標準仕様書 表5.3.2のうち大きい値 ・
・柱主筋	・図示 ・４０ｄと標準仕様書 表5.3.2のうち大きい値 ・
・大梁主筋	・図示 ・４０ｄと標準仕様書 表5.3.2のうち大きい値 ・
・小梁主筋	・図示 ・４０ｄと標準仕様書 表5.3.2のうち大きい値 ・
・耐力壁	・図示 ・４０ｄと標準仕様書 表5.3.2のうち大きい値 ・
・	・図示 ・４０ｄと標準仕様書 表5.3.2のうち大きい値 ・
・	・図示 ・４０ｄと標準仕様書 表5.3.2のうち大きい値 ・

	6 鉄筋の定着の長さ（5．3．4）	柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の定着長さ ・図示 ・４０ｄと標準仕様書 表5.3.4のうち大きい値 ・
	7 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（5．3．5）⊙構造図参照	施工箇所 / 標準仕様書 表5.3.6に加える寸法（㎜）

施工箇所	標準仕様書 表5.3.6に加える寸法（㎜）
・柱、梁、壁及び底などの外気に接する面	※１０ ・
・	・

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=N/S A3 S=N/S				A
岡山県建築工事特記仕様書１					01

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号 TEL086-244-0173
１級建築士事務所 岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録 第１１８２３６号 大石雅弘

8 各部鉄筋 (5．3．7) ○構造図参照

部位	配筋方法
・直接基礎	※図示　・各部配筋参考図1.1による
・基礎接合部の補強配筋	※図示　・各部配筋参考図1.2による
・基礎梁のあばら筋	※図示　・各部配筋参考図1.4による
・帯筋組立の形	※図示　・各部配筋参考図2.2による
・帯筋の割付け	※図示　・各部配筋参考図2.2の図2.3による
・あばら筋の組立の形	※図示　・各部配筋参考図3.2による
・あばら筋の割付け	※図示　・各部配筋参考図3.2による
・腹筋及び幅止め筋	※図示　・各部配筋参考図3.2による
・梁の打増し補強	※図示　・各部配筋参考図3.3による
・壁の基準配筋	※図示　・各部配筋参考図4.1による
・壁の交差部及び端部の配筋	※図示　・各部配筋参考図4.3による
・壁（耐震壁を除く）の開口部補強	※図示　・各部配筋参考図4.4（・A形　・B形）による
・耐震壁の開口部補強	※図示
・壁の打増し補強	※図示　・各部配筋参考図4.5による
・パラペットの配筋	※図示　・各部配筋参考図4.6による
・スラブの基準配筋	※図示　・各部配筋参考図5.1による
・片持ちスラブの基準配筋	※図示　・各部配筋参考図5.3による
・片持ちスラブ先端に壁が付く場合の配筋	※図示　・各部配筋参考図5.4による
・スラブ開口部補強	※図示　・各部配筋参考図5.5による
・スラブ出隅部及び入隅部の補強配筋	※図示　・各部配筋参考図5.6による
・スラブの打継ぎ補強配筋	※図示　・各部配筋参考図5.7による
・段差のあるスラブの補強配筋	※図示　・各部配筋参考図5.8による
・片持スラブ形階段の基準配筋	※図示　・各部配筋参考図6.1による
・二辺固定スラブ形階段の基準配筋	※図示　・各部配筋参考図6.2による
・梁貫通孔の配筋	※図示　・各部配筋参考図7.1による
・梁貫通孔の補強形式	※図示　・各部配筋参考図7.2による
・コンクリートブロック帳壁との取合い	※図示　・各部配筋参考図7.3による

9 圧接完了後の試験 (5．4．10)

外観試験　※行う（全圧接部）
抜取試験　※超音波探傷試験　・引張試験

10 機械式継手 (5．5．3，5)

適用箇所
　※構造図による
日12建告第1463号に適合する性能
　※A級　・（　　）
種類
　・ねじ式鉄筋継手
　　充填方式
　　・無機グラウト方式　・有機グラウト方式　・
　・端部ねじ加工継手
　・モルタル充填式継手

工法
　※第三者機関の評定等を取得している工法
鉄筋相互のあき
　※評定等の評価内容による
品質の確認
　※評定等の評価内容による
検査
　※評定等の評価内容による
施工完了後の継手部の試験
　・外観試験
　　試験対象
　　※全数
　　試験項目
　　・評定等の評価内容による　・
　　試験方法
　　・評定等の評価内容による　・
　・超音波測定試験
　　試験対象
　　・抜取り
　　ロット
　　・１組の作業班が１日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする。
　　・
　　試験の箇所数
　　１ロットに対して（　　）箇所
　　・全数
　　試験項目
　　※挿入長さ
　　試験方法
　　※JIS Z 3064（鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準）による
不合格となった継手部への措置
　・

11 溶接継手 (5．6．3，5)

適用箇所
　※構造図による
日12建告第1463号に適合する性能
　※A級　・（　　）
溶接継手の工法
　・図示による（　　）　・
鉄筋相互のあき
　・標準仕様書5.3.5(4)による
　・評定等の評価内容による
　・図示による（　　）
施工完了後の継手部の試験
　・外観試験
　　試験対象
　　※全数
　　試験項目
　　・評定等の評価内容による　・
　　試験方法
　　・評定等の評価内容による　・
　・超音波測定試験
　　試験対象
　　・抜取り
　　ロット
　　・１組の作業班が１日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする。
　　・
　　試験の箇所数
　　１ロットに対して（　　）箇所
　　・全数
　　試験項目
　　※内部欠陥の検出
　　試験方法
　　※JIS Z 3063（鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準）による
不合格となった継手部への措置
　・

6 コンクリート工事

1 コンクリートの種類及び強度 (6．2．1～4) ○構造図参照

※普通コンクリート　　表6．2．1

設計基準強度 Fc(N/mm²)	気乾単位容積質量(t/m³)	スランプ(cm)	適用場所
・２１	2．3程度	※１５	○基礎　○基礎梁　○土間スラブ
◎２４		・１８	○土間コンクリート
・		※１８	○建物躯体（上記除く）
・１８	2．3程度	※１５	
		・１８	

2 レディーミクストコンクリート (6．2．1)(6．4．1～2)

※１類（ＪＩＳ　Ａ５３０８「レディーミクストコンクリート」への適合を認証されたコンクリート）
・Ⅱ類（ＪＩＳ　Ａ５３０８に適合したコンクリート）

3 セメントの種類 (6．3．1)

表6．3．1

セメントの種類	使用部位
※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのＡ種	
・高炉セメントＢ種	
・フライアッシュセメントＢ種	

普通ポルトランドセメントの品質は、ＪＩＳ　Ｒ５２１０に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く

水和熱	７日目	３５２Ｊ/ｇ以下
	２８日目	４０２Ｊ/ｇ以下

4 骨材の種類 (6．3．1)(6．5．4)

アルカリシリカ反応による区分
※Ａ　・Ｂ（※コンクリート中のアルカリ総量　Ｒｔ＝３．０ｋｇ/ｍ³以下）

5 混和材料 (6．3．1)

※混和剤（ＪＩＳ　Ａ６２０４に適合するＡＥ剤、ＡＥ減水剤又は高性能ＡＥ減水剤とし、化学混和剤の塩化物イオン量による区分はⅠ種とする。また、防錆材を併用する場合はＪＩＳ　Ａ６２０５による防錆材とする。）
・混和材（ＪＩＳ　Ａ６２０１に適合するフライアッシュのⅠ種、Ⅱ種、若しくはⅣ種、ＪＩＳ　Ａ６２０６による高炉スラグ微粉末、ＪＩＳ　Ａ６２０７によるシリカフューム又はＪＩＳ　Ａ６２０２による膨張材とする。）

6 無筋コンクリート (6．3．1)・(6．14．1～3)

コンクリートの種類　※普通コンクリート　・
適用箇所　・標準仕様書６．14．1(e)による
設計基準強度Fc（N／mm²）　※１８
スランプ　※１５又は１８
セメントの種類　※普通ポルトランドセメント又は混合セメントＡ種
・高炉セメントＢ種
・フライアッシュセメントＢ種

7 ひび割れ誘発目地打継目地 (6．6．4)(6．8．1)(9．7．3)(11．1．3)

目地寸法　※標準仕様書９．７．３による
間隔　※図示による
位置　※図示による
ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、打増し厚さ部で処理する

8 コンクリートの仕上り (6．2．5)(6．6．6)(6．8．2)

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ　　表6．2．4

種類	適用箇所
・Ａ種	
・Ｂ種	
・Ｃ種	

9 打増し厚さ (6．8．1)

打増し厚さ
○打放し仕上げの打増し厚さ（外部に面する部分に限る）
　※20㎜
・打放し仕上げの打増し厚さ（内部に面する部分に限る）
　・10㎜　・20㎜
・外装タイル張張り面の打増し処理
　※20㎜
・床型枠用鋼製デッキプレートの梁側面部の打増し処理
　プレートが支持される梁の側面について下記の打増しを行う
　※10㎜　・20㎜

10 型枠 (6．8．1～3)

せき板の材料　※合板(※12㎜　・　)
・メッシュ型枠（使用部位　※構造図による）
・床型枠用鋼製デッキプレート（施工範囲　※構造図による　・　）
スリーブ材　◎標準仕様書６．８．２(９)(ｲ)による　○構造図による
断熱材兼用型枠
・使用する　※25㎜以下かつ熱抵抗値１ｍｈ℃／ｋCal以上
・使用しない
ＭＣＲ工法用シートの使用
・使用する　使用部位　※図示による
・使用しない

11 コンクリートの単位水量測定

○行う　・行わない
(1)単位水量の測定は、150m³に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。
(2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(C)による。
(3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。
　1)測定した単位水量が、配合計画書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m³の範囲にある場合はそのまま打設する。
　2)測定した単位水量が設計値±15を超え±20kg/m³の範囲にある場合は、その運搬車の生コンは打設してよいが、水量変動の原因を調査し、生コン製造者に改善を指示する。その後、設計値±15kg/m³以内に安定するまで、運搬車の３台毎に１回、単位水量の測定を行う。
　3)測定した単位水量が設計値±20kg/m³を超える場合は、その運搬車は打込まずに持ち帰るとともに、水量変動の原因を調査し、生コン製造者に改善を指示する。その後、単位水量が設計値±20kg/m³以内になるまで全運搬車の測定を行い、更に設計値±15kg/m³以内に安定するまで、運搬車の３台毎に１回、単位水量の測定を行う。
　4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。
(4)単位水量管理についての記録を書面(配合計画書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。
(5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、エアメータ法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。

7 鉄骨工事

1 鉄骨製作工場 (7．1．1)(7．1．3)

鉄骨製作工場の加工能力
※建築基準法第７７条の５６第１項に基づく国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた（株）日本鉄骨評価センター及び全国鉄骨評価機構（旧（社）全国鐵構工業協会）の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める次のグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場とするものとする。
（　・Ｊグレード　・Ｒグレード　・Ｍグレード　・Ｈグレード　・Ｓグレード　）

2 鉄骨製作工場における施工管理技術者 (7．1．4)

○配置する　・配置しない

3 鋼材 (7．2．1)

鋼材の材質　　表7．2．1

種類の記号	適用箇所	規格等
		※ＪＩＳ規格による
		※ＪＩＳ規格による
		※ＪＩＳ規格による

4 高力ボルト (7．2．2)(7．3．2)(7．4．2)

ボルトの区分
※トルシア形高力ボルト　２種（Ｓ１０Ｔ）
・ＪＩＳ形高力ボルト　２種（Ｆ１０Ｔ）
高力ボルトの径　※図示による
すべり試験　※行わない
・行う（・すべり係数試験　・すべり耐力試験）
　試験方法等　※構造図による
　すべり試験を実施する場合、標準仕様書7.12.5(1)(ｲ)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。

5 溶融亜鉛めっき高力ボルト (7．2．2)(7．3．2)(7．4．2)(7．12．5)

セットの種類　※１種（ＦＳＴ相当）建築基準法に基づき認定を受けたもの
摩擦面の処理　※プラスト処理（表面粗度５０μｍＲｚ以上）
・プラスト以外の特殊な処理（りん酸塩処理）
すべり試験　※行わない
・行う（・すべり係数試験　・すべり耐力試験）
　試験方法等　※構造図による
　すべり試験を実施する場合、標準仕様書7.12.5(1)(ｲ)又は(ｲ)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。

6 普通ボルト (7．2．3)(7．3．2)(7．3．8)

ボルト及びナットの材料等
・標準仕様書　表７．２．３（ＪＩＳ付属書品）による
・標準仕様書　表７．２．３（ＪＩＳ付属書品）又はＪＩＳ本体規格品（ＩＳＯ規格）による
（ＪＩＳ本体規格品による場合は、ボルトの種類を呼び径六角ボルト又は全ねじボルト、強毒分を4.6又は4.8の鋼製とし、ナットの種類を六角ナット-Cの鋼製とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルト径の値以下とする。）
座金　※標準仕様書　表７．２．３（４）による
母屋又は胴縁の取付けに使用するボルトの孔径
※ねじの呼び径+1.0㎜　・構造図による

7 アンカーボルト (7．2．4)(表7．2．3)(7．3．2)(7．10．3)

・構造用アンカーボルト
　セットの種類（JIS　B1220）
　・ABR400　・ABR490
　形状、寸法
　※構造図による
・建方用アンカーボルト
　材質
　・SS400　・
　アンカーボルト及びナットのねじの種類の規格、ねじの等級の規格及び仕上げの程度
　・標準仕様書　表７.２.３による　・
　形状、寸法
　※構造図による
・標準仕様書7.2.4以外のアンカーボルト
　適用箇所
　・図示による（　　）　・
　種類
　・SS400　・
　アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
　※標準仕様書　第7.2.3による

8 アンカーボルトの保持及び埋込み工法 (7．2．4)(7．10．3)

構造用アンカーフレームの形状及び寸法
※図示による　・
建方用アンカーフレームの保持及び埋込み工法　表7．10．1
種別　・A種　・B種
柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別　表7．10．2
※標準仕様書　表７．１０．２（※A種［モルタル厚さ５０］　・B種［モルタル厚さ３０］）による

9 ターンバックル (7．2．6)

種類　建築用ターンバックル胴　※割枠式　・図示
　建築用ターンバックルボルト　※羽子板ボルト　・図示
ねじの呼び　※図示による
工法の種別
・合成スラブ（適用箇所　※構造図による　）
・床型枠用　（適用箇所　※構造図による　）
・
材質、形状及び寸法　※構造図による
鉄骨部材への溶接方法　※構造図による
耐火認定　・有り（耐火時間　※構造図による　）　・無し

10 床構造用のデッキプレート (7．2．7)(7．7．8)

11 スタッド (7．2．8)

※頭付きスタッド（ＪＩＳ　Ｂ１１９８）

径（呼び名）	長さ（呼び長さ）㎜	使用箇所
・１６	・８０　・１００　・１２０	
・１９	・８０　・１００　・１３０　・１５０	
・２２	・８０　・１００　・１３０　・１５０	

12 柱底均しモルタル (7．2．9)(7．10．3)

モルタルの種別
※無収縮モルタル　・
無収縮モルタルの材料及び調合
※標準仕様書７．２．９（２）（ア）～（エ）による
無収縮モルタルの品質及び試験方法
※表７．２．５による

13 工作図 (7．3．2)

高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
※構造関係共通事項（鉄骨基準図　２）による
・図示による

14 製作精度 (7．3．3)

・標準仕様書7．３．３及びⅡ12建告第1464号第二号イによる
通しダイヤフラムの許容誤差
・ダイヤフラムをⅡ12建告第1464号第二号イ(1)(2)に規定するただし書きの計算確認有り
補強方法
・「突合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による
・全てのダイヤフラムはⅡ12建告第1464号第二号イ(1)(2)に規定する仕様を満足すること

15 仮組 (7．3．10)

※行わない
・行う（仮組を行う範囲　※図示による）

16 高力ボルト接合

スプライスプレートの材質　※鋼材の種別及び引張強さによる区分は母材と同等とする
フィラープレートの材質　※ＳＳ４００とする

17 溶接接合 (7．6．4)(7．6．7)

開先の形状　※構造関係共通事項　４．溶接継手の種類別開先標準による
・構造図による
スカラップの形状　※構造関係共通事項　６．鉄骨溶接施工（３）による
・構造図による
鋼製エンドタブの切断する部分
切断する箇所　※構造図による
切断する範囲　・構造図による
・鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5㎜を残して直線状に切断する。なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。
鋼製エンドタブ・裏あて金　※鋼材の種別及び引張強さによる区分は母材と同等とする
完全溶込み溶接部の余盛り高さ　※（一社）日本建築学会「ＪＡＳＳ　６鉄骨工事」
付則６［鉄骨精度検査基準］付表３［溶接］による

18 入熱、パス間温度の溶接条件

鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件　※構造関係共通事項（鉄骨基準図　９）による　・図示による
適用箇所　※　柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部
・図示による

19 溶接部の試験 (7．6．12)

浸透探傷試験又は磁粉探傷試験　※行う（適用部位　※部分溶込み部）　・行わない
完全溶込み溶接部の超音波探傷試験　※行う　・行わない　　表7．6．2～3
工場溶接の場合
ＡＯＱＬ　※４．０％　・２．５％

節	※全て	・	・	・	・
検査水準	※第６水準	・	・	・	・

工事現場溶接の場合
ＡＯＱＬ　※４．０％　・２．５％
割れの疑いのある表面欠陥においては、浸透探傷試験及び磁粉探傷試験を行う
突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査
独立行政法人建築研究所監修
「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による
・抜き取り検査１　※抜き取り検査２

20 錆止め塗装 (7．8，1～4)(18．3．2)

塗料の種別
亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料
※標準仕様書　表１８．３．２のＡ種　・標準仕様書　表１８．３．２のＢ種
※ＥＰ－Ｇの適用箇所は１８．３．２　表１８．３．２のＣ種　・
耐火被覆材の接着する面への塗装
・行う　適用箇所　※図示による　・
　塗装の種別　※図示による　・
※行わない

21 耐火被覆 (7．9．2～8)

種別及び性能

種別	材料・工法	性能（耐火時間）	適用箇所（部位・部分）
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール		
	・半乾式吹付けロックウール		
	・湿式ロックウール		
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板		
	・		
・耐火材巻付け	・高耐熱ロックウール		
	・		
・ラス張りモルタル塗り	－		
・耐火塗料			

材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする

性能	適用箇所（部位・部分）
・30分耐火	
・１時間耐火	
・２時間耐火	
・３時間耐火	

22 軽量形鋼構造 (7．11．2)

ボルトの接合方法　※普通ボルト接合　・

23 梁貫通孔の補強

補強方法　・補強プレート　・補強トラス工法
適用箇所　・構造図による　※構造関係共通事項による

24 溶融亜鉛めっき工法 (7．12．1～7)

種別等
（主要構造部及び構造耐力上主要な部分に限る）

亜鉛めっきの種別	材料	適用箇所
・A種（ＨＤＺ５５）	最小板厚 6.0㎜以上の形鋼、鋼板	※図示による
・B種（ＨＤＺ４５）	最小板厚 3.2㎜以上、6.0㎜未満の形鋼、鋼板	
・C種（ＨＤＺ３５）	普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類	
	最小板厚 1.6㎜以上、3.2㎜未満の形鋼、鋼板	

8 コンクリートブロック・ＡＬＣパネル・押出成形セメント板工事

1 コンクリートブロック (8．2．2，3，5，7，8)(8．3．2～4)

表8．3．1

適用箇所	断面形状及び圧縮強さによる区分
間仕切壁、地下二重壁、外壁、塀	※空洞ブロックC（１６）　・

モルタルの調合（容積比）
※　標準仕様書　表8.2.1による　・　セメント（　　）：砂（　　）
厚さ　※図示による　・　㎜
モデュール呼び寸法　長さ　※図示による　・　㎜
　高さ　※図示による　・　㎜
各部の配筋　※図示による
モルタル又はコンクリートで充填するブロックの範囲　※　図示　・
目地仕上げ　・押し目地仕上げ　・化粧目地仕上げ

2 ＡＬＣパネル (8．4．2～5)

表8．4．2～4

種類	厚さ（㎜）	長さ（㎜）	幅（㎜）	単位荷重（Ｎ/㎡）	表面加工	耐火性能	工法種別
外壁用	※100　・				・平　・意匠	・60分	・A種・B種
間仕切用	・100				・平　・意匠	・60分　・無	・C種・D種・E種
屋根用	※100　・				・平	・30分	・F種
床用	・100					・60分　・無	
	・150					・120分	

外壁、屋根パネルの構法
1章　16　適用区分による風圧力の（・１　・1.15　・1.3）倍の耐風圧性能
パネル幅の最小限度を300㎜未満とする場合　・
外壁、間仕切パネルの出隅及び入隅のパネル接合部、並びにパネルと他部材との取合い部の目地幅（㎜）
※２０　・
伸縮目地への耐火目地材の充填　・適用する　・適用しない
耐火目地材の使用　※パネル製造所の仕様　・

3 押出成形セメント板（ＥＣＰ） (8．5．2～5)

表8．5．1～2

	表面形状	厚さ（㎜）	幅（㎜）	耐火性能	取付け工法の種別
・外壁	※フラットパネル	・50　・60			・A種　・B種
	・デザインパネル（図示）	・50　・60	・600		
	・タイルベースパネル	・60			
・間仕切壁	※フラットパネル	・50　・60			・B種　・C種
	・デザインパネル（図示）	・50　・60	・600		
	・タイルベースパネル	・60			

外壁パネルの構法
　1章　16　適用区分による風圧力の（・１　・1.15　・1.3）倍の耐風圧性能
　パネル幅の最小限度を300㎜未満とする場合　※図示　・
　パネル相互の目地幅(㎜)　※長辺８、短辺１５
　出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅(㎜)　※１５　・
　耐火構造以外の目地及び隙間の処理　※パネル製造所の仕様　・
やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とし、欠損部分を考慮した強度を確認した資料を提出する

		孔あけ及び欠き込みの大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅
パネルに開口を設ける場合	短辺	パネル幅の1/2以下、かつ、300㎜以下	150㎜以上
	長辺	500㎜以下	300㎜以上
パネルを切り欠く場合	短辺	パネル幅の1/2以下、かつ、300㎜以下	300㎜以上
	長辺	500㎜以下	300㎜以上

9 防水工事

1 アスファルト防水 (9．2．2～5)

アスファルトの種類　３種
防水層の下地のモルタル塗り　※適用しない　・適用する（施工範囲　※図示　・　）
屋根保護防水
防水層の種別　　表9．2．3～9

種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護工法
○A－１	屋上平場		※ポリスチレンフィルム厚さ　0.15mm以上またはフラットヤーンクロス70ｇ／㎡程度	※乾式保護材 ・コンクリート押え
・A－２				
・A－３				
・B－１				
・B－２				
○AⅠ－１	屋上平場	材質　JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく押出法ポリスチレンフォーム断熱材３種 bA（スキン無付き） 厚さ（㎜） ※25　○50　・	※フラットヤーンクロス70ｇ／㎡程度	
・AⅠ－２				
・AⅠ－３				
・BⅠ－１				
・BⅠ－２				

立ち上り部への断熱材及び絶縁用シート
※設置しない　・設置する

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1　S=N/S A3　S=N/S	A
岡山県建築工事特記仕様書２		02

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

立上がり部の保護方法
※乾式保護材　・れんが押え(※JIS R 1250 ・　　)　・コンクリート押え　・モルタル押え(屋内)

品質・性能等
寸法の許容差　厚さ：－5～＋10％、幅：±1％
曲げ強さ、曲げモーメント（N・cm）（スパン40cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモーメント）
標準時450以上、凍結融解完了時（試験サイクル数）320以上（200）耐凍結融解性能
（試験サイクル数：上記）試験後、著しい割れや剥離がなく外観上異常がないこと
吸水性　（20％以下）　吸水による長さ変化率（0．07％以下）
耐火性能　不燃
耐衝撃性　高さ1．0mから試験体の弱点部に500gのおもりを落としたとき、裏面に達する穴があかないこと
出荷時の含水率　10％以下

屋根露出防水
防水層の種別　表9．2．7～8

種別	施工箇所	断熱材	仕上げ塗料 種類	仕上げ塗料 使用量	高日射反射率防水
・D－1					・適用する
⊙D－2	屋上立上り		※ｱﾙﾐﾌｨﾗｰﾌｨﾝｸﾞ製造所の仕様による	※ｱﾙﾐﾌｨﾗｰﾌｨﾝｸﾞ製造所の仕様による	⊙適用する
・DI－1		JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 厚さ（mm） ※25 ・50 ・			・適用する
・DI－2					・適用する

屋内防水　表9．2．9

種別	施工箇所	種別	施工箇所
・E－1		・E－2	

E－1で工程3を行う部位（※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位　・　　）
保護層　・設ける（図示）
防水層の下地の立上り
※コンクリート打放し仕上げ　標準仕様書　表6.2.4 打放し仕上げの種別B種

2　改質アスファルトシート防水
(9．3．2～3)

屋根露出防水
防水層の種別　表9．3．1～3

種別	施工箇所	断熱材	防湿用シート	仕上塗材	高日射反射率防水
・AS－T1				※改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ製造所の仕様による	・適用する
・AS－T2					・適用する
・AS－T3					・適用する
・AS－T4					・適用する
・AS－J1					・適用する
・ASI－T1		JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 厚さ（mm） ※25 ・50 ・	・設ける（改質ｱｽﾌｧﾙﾄ製造所の仕様による） ・設けない		・適用する
・ASI－J1					・適用する

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書　表9.3.1から表9.3.3による　・
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書　表9.3.1から表9.3.3による　・
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書　表9.3.1から表9.3.3による　・
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
・アルミニウム製　L=30×15×2.0mm程度　・

3　合成高分子系ルーフィングシート防水
(9．4．2～4)

防水層の種類　表9．4．1～2

種別	施工箇所	絶縁用シートの材種	断熱材	防湿用フィルム	仕上塗料	高日射反射率防水
・S－F1					※製造所の仕様による	・適用する
・S－F2						・適用する
・S－M1					※製造所の仕様による	・適用する
・S－M2						・適用する
・SI－F1			※標準仕様書9.4.2(3)(ｴ)(b)による(種類)※硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 ・ (厚さ)(mm) ※25 ・	・設ける ※設けない	※製造所の仕様による	・適用する
・SI－F2						・適用する
・SI－M1			※標準仕様書9.4.2(3)(ｴ)(a)による(種類)※硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 ・ (厚さ)(mm) ※25 ・	・設ける ※設けない	※製造所の仕様による	・適用する
・SI－M2		※発泡ポリエチレンシート ・				・適用する

SI－M1及びSI－M2における防湿用フィルムの設定
※設置しない　・設置する
S－F1、S－M1、S－F2、S－M2の仕様
※非歩行仕様　・軽歩行仕様

4　塗膜防水
(9．5．3)

防水層の種別　表9．5．1～2

種別	施工箇所	仕上塗料	保護層	高日射反射率防水
・X－1		※製造所の仕様による		・適用する
⊙X－2	屋根面(庇等含む)、外壁面下、ベランダ	※製造所の仕様による		・適用する
・Y－1	※地下外壁防水			
・Y－2	※屋内防水	・適用する・適用しない		

Y－1、Y－2の工程数及び各工程の使用量
※　標準仕様書　表9.5.2による　・　主材料の製造所の仕様　・

5　ケイ酸質系塗布防水
(9．6．1～4)
(表9．6．1)

防水種別　※C－SUI　・C－SUP
規格　※JASS8　T－301
壁及び天井部の防水層の下地
※コンクリート打放し仕上げ　標準仕様書　表6.2.4 打放し仕上げの種別B種
施工箇所　EVピット、配管ピット
記載のない事項は、主材料製造所の仕様による他、日本建築学会JASS8防水工事最新版による

6　脱気装置
(9.2.3)(9.3.3)
(9.4.3)(9.5.3)

種別	種類	設置数量
D-1 D-2 DI-1 DI-2	※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の指定による ・	※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の指定による ・ 個／㎡
AS-T3 AS-T4 AS-J1 ASI-T1 ASI-J1	※改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの製造所の指定による ・	※改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの製造所の指定による ・ 個／㎡
S-F1 S-F2 SI-F1 SI-F2	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様による ・	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様による ・ 個／㎡
X-1	※防水層の主材料の製造所の仕様による ・	※防水層の主材料の製造所の仕様による ・ 個／㎡

10 石工事

1　石　材
(10．2．1)
種類　※天然石　・人工石
品質　※1等品（床以外）　※2等品（床）
形状、寸法、厚さ及び割付　※図示
石材の種類及び表面仕上げ　表10．2．1～2

施工箇所	種類（産地、名称）	表面仕上げの種類	表面処理・裏打ち材の有無

2　取付け金物
(10．2．2)
乾式工法用金物の種類　・スライド方式　・ロッキング方式　表10．2．4

3　その他の材料
(10．2．3)
取付け用モルタル、既調合の目地モルタル、石裏面処理材、裏打ち処理材、金物の固定に使用する充填材料、浸透性吸水防水材　※専門工事業者の指定する製品　・

11 タイル工事

1　伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地
(11．1．3)
位置　※表11．1．1による　・図示による

2　見本焼き、試験施工
(11．1．4)
見本焼き　・行う　※行わない
試験張り　・行う　※行わない

3　材料
(11．2．2)(11．3．2)
タイルの形状、寸法等

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分 I類	吸水率による区分 II類	吸水率による区分 III類	うわぐすり 施ゆう	うわぐすり 無ゆう	役物 あり	役物 なし	色 標準	色 特注	耐凍害性 あり	耐凍害性 なし	耐凍り性	備考
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受けること

役物使用箇所　※各部の形状は図示による

内装	（標準一体成型品以外は接着工型品とする）
外装	出隅、天端出隅、窓台、マグサ

有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・第三種

4　外部タイル張り
(11．2．3)(11．2．5)
(11．2．7)
施工箇所　※施設外壁（ホールを含む）　・図示による
適用タイル　・小口タイル　・二丁掛タイル　・
躯体表面処理　※2階以上を行う　・行わない
躯体表面処理工法の種類
※目荒し工法
高圧水洗による目荒しは、50Mpa以上の水圧で2．5分／㎡程度とし、仕上がり面の程度は監督職員の承諾を受ける
施工箇所の躯体打増しは、図示による
・MCR工法
MCR工法の仕様はシート製造所若しくは販売店の仕様による
施工箇所の躯体打増し厚さ及び範囲は、図示による
下地モルタル塗り　※モルタル　・ポリマーセメントモルタル　・行わない
ポリマーセメントモルタルの調合は、15．3．3（4）による　表11．2．2～3
工法　※密着張り　・改良圧着張り　・モザイクタイル張り　表11．3．2
既調合モルタル　既調合モルタルの製造所の仕様による

5　内部タイル張り
(11．3．3)(11．3．5)
施工箇所　※便所等　・図示による
適用タイル　・内装タイル　・50角モザイクタイル　・
下地モルタル塗り　※モルタル　・ポリマーセメントモルタル　・行わない
ポリマーセメントモルタルの調合は、15．3．3（4）による　表11．2．2～3
工法　※壁タイル接着剤張り　・　表11．3．2

12 木工事

1　製　材
(12．1．4)(12．2．1)
(12．4．1)(12．5．1)
(12．6．1)(12．7．1)
ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・
・JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材

施工箇所	樹　種	寸法（mm）	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
			※2級 ・		※A種 ・		・

・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材

施工箇所	樹　種	寸法（mm）	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
					※A種 ・		・

・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	樹　種	寸法（mm）	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
			※1等 ・		※A種 ・		・

⊙JAS 1083（製材）以外の製材

施工箇所	樹　種	寸法（mm）	材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率	間伐材等の適用
額縁 見切縁	スプルース	図示	（　　）造作材の場合（※A種 ・B種）	・適用する ⊙適用しない	・適用する ⊙適用しない	※A種 ・B種	・

2　造作用集成材
(12．2．1)
ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・
・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法（mm）	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用
				※1等 ・2等	・
				※1等 ・2等	・
				※1等 ・2等	・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯　材の樹種	寸法（mm）	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用
						※1等 ・2等	・

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法（mm）	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				※15％以下	・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯　材の樹種	寸法（mm）	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
						※15％以下	・

3　造作用単板積層材
(12．2．1)
ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・
・JAS 0701に基づく造作用単板積層材

施工箇所	厚さ（mm）	表面の化粧加工	防虫処理	間伐材等の適用
		・有り（加工　・天然木化粧加工・塗装加工） ・無し（等級：　　）	・適用する ・適用しない	・

・JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所	厚さ（mm）	表面の化粧加工	防虫処理	含水率	間伐材等の適用
		・有り 加工・天然木化粧加工・塗装加工） ・無し（　　）	・適用する ・適用しない	※14%以下 ・	・

・JAS 3079に基づく直交集成板

施工箇所	品名	曲げ強度（強度等級）	種別	接着性能（使用環境）	樹種	寸法（mm）	間伐材等の適用
							・
							・

4　合板等
(12．2．1)
ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・
⊙普通合板

施工箇所	厚さ（mm）	単板の樹種名	接　着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
乾式二重床下地	※5.5 ⊙12		※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上 ・	・適用する ・適用しない	・

・構造用合板

施工箇所	厚さ（mm）	等級	単板の樹種名	接　着の程度	板面の品質	有効断面係数比	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
	※12 ・	※2級以上 ・1級		※1類 ・特類	※C-D以上 ・		・適用する ・適用しない	・適用する（　） ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

施工箇所	厚さ（mm）	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			※1類 ・特類	・適用する ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ（mm）	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			※1類 ・2類	・適用する ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所	厚さ（mm）	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理	間伐材等の適用
		※1類 ・2類			・適用する ・適用しない	・

⊙パーティクルボード

施工箇所	厚さ（mm）	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分
乾式二重床下地	※15 ⊙20		※13タイプ ・	※P又はM ・	

・構造用パネル

施工箇所	厚さ（mm）	等級
		・1級 ・2級 ・3級 ・4級

・ミディアムデンシティファイバーボード（MDF）

施工箇所	厚さ（mm）	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	間伐材等の適用
						・

5　接　着　剤
(12．2．2～3)
接着剤は可塑剤（難揮発性の可塑剤を除く）が添付されていないものとする。
ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

6　防腐・防蟻処理
(12．3．1～2)
・防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材
適用部位：（　　）

・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部材	保存処理性能区分
	・K2 ・K3 ・K4
	・K2 ・K3 ・K4
	・K2 ・K3 ・K4

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	※標準仕様書12.3.1(4)(b)による ・	※JIS K 1571に適合又は同等品 ・

・薬剤の接着材への混入による防腐、防蟻処理
適用部位（　　）
・合板等の加圧注入処理の適用
適用部位（　　）

13 屋根及びとい工事

1　長尺金属板葺
(13.2.2～3)

施工箇所	板及びｺｲﾙの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根葺形式	備考
	※JIS G 3322の屋根用ｺｲﾙ ・			・心木なし瓦棒葺 ・立平葺 ・蟻掛葺 ・横葺 ・	

下葺材料　・アスファルトルーフィング 940
・　改質アスファルトルーフィング下葺材
（・一般ﾀｲﾌﾟ・複層基材ﾀｲﾌﾟ・粘着層付ﾀｲﾌﾟ）
棟葺の場合のけらば納め
・　つかみ込み納め　・包み納め
工法
1章 16 適用区分による風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法
雪止め　・設置する（図示）

2　折板葺
(13.3.2～3)
(表 13.2.1)

施工箇所	形式	山高、山ﾋﾟｯﾁによる区分 山高	山ﾋﾟｯﾁ	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能
	・重ね形 ・はぜ締め形 ・かん合形			（　）種	※鋼板製 ・ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金板製		・有り ・無し	・30分 ・無し
	・							

材料　板及びｺｲﾙの種類（　　）
塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号（　　）
タイトフレームにJIS G 3302以外の鋼材を直接外気の影響を受けない屋内で使用する場合の表面処理　※標準仕様書　表14.2.2のF種　・
軒先面戸板　・適用する　・適用しない
断熱材張り　・行う（断熱材の種別：　　厚さ(mm)：　　防火性能：　時間）
・行わない
耐雪性能に対応した工法の適用
・適用する　・適用しない
工法
1章 16 適用区分による風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応する工法
折板のけらば納め　※けらば包みによる方法　・

3　粘土瓦葺
(13.4.2～3)

施工箇所	種類 製法による区分	種類 形状による区分	種類 寸法による区分	大きさ	産地	役物瓦の種類	雪止め瓦
							・適用する ・適用しない
							・適用する ・適用しない

JIS A 5208に基づく凍害試験等　・行う　・行わない

瓦桟木　材質　※杉又はひのき　・
寸法　※幅21×高さ15(mm)　・
棟補強用心材　材質　※杉又はひのき　・
寸法　※幅40×高さ30(mm)　・
瓦緊結用桟又はねじ
種類（　　）径（　　）長さ（　　）
棟補強等に使用する金物等　材質　※ステンレス製又は溶融亜鉛めっき処理を行った鋼製
形状、寸法及び留付け方法　※図示
工法
1章 16 適用区分による風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法
瓦桟木の留付け工法　※図示　・
棟の工法　・7寸丸伏せ棟又はF形用冠瓦伏せ棟　・のし積み棟
面戸、雀口、葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合
・モルタル　・瓦葺き用しっくい

4　とい
(13.5.2～3)(表 13.5.4)
といの材種　・配管用鋼管　⊙硬質ポリ塩化ビニル管
とい受け金物及び足金物の材種、形状及び取付け間隔
※　標準仕様書　表13.5.2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの）
・
ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
鋼管製といの防蝕巻き　・適用する（工法：※標準仕様書表13.5.4による　・　　）
・適用しない
ルーフドレン

種別	施工箇所
⊙ろく屋根用（⊙縦型　・横型）	屋根
⊙バルコニー用	1階ﾍﾞﾗﾝﾀﾞ
⊙バルコニー中継用	2～4階ﾍﾞﾗﾝﾀﾞ
⊙廊下用（縦型）	2～4階共用廊下
⊙廊下用（横型）	1階共用廊下、2～4階共用廊下
⊙ろく屋根用（横型）	屋外階段屋根

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=N/S				A
岡山県建築工事特記仕様書3	A3 S=N/S				03

（株）ADO建築設計事務所
岡山市北区西古松西町5番6号　TEL086-244-0173
1級建築士事務所　岡山県知事登録第12055号
1級建築士登録　第118236号　大石雅弘

14 金属工事

1 あと施工アンカー (14．1．3)

施工後の確認試験　※引張試験を行う　⊙行わない

表14．2．1

2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14．2．1)

種別	色合等	施工箇所（成形板、笠木、建具以外）
	・標準色（　　）　・特注色（　　）	
	・標準色（　　）　・特注色（　　）	

陽極酸化皮膜の着色方法　※二次電解着色　・三次電解着色

表14．2．2

3 鉄鋼の亜鉛めっき (14．2．2)

表面処理方法	種　別	施工箇所（手すり、タラップ以外）
溶融亜鉛めっき	・A種	
	・B種	
	・C種	
電気亜鉛メッキ	・D種	
	・E種	
	・F種	

他の項目に特記されたものを除く

4 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2～4)(表14.4.1)

野縁等の種類
屋外（※ 25 形 ・ 19 形）　屋内（※ 19 形 ・ 25 形）
・屋外の軒天井、ピロティ天井等
工法
1章 16 適用区分による風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法
野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・図示 ・
周辺部の端からの間隔 ・図示 ・
野縁の間隔 ・図示 ・
・吊りボルトの間隔が900㎜を超える場合
補強方法 ※図示 ・
・天井のふところが3.0mを超える場合
補強方法 ※図示 ・
・天井下地材における耐震性を考慮した補強
補強箇所 ※ 高さが6ｍを超える天井、それ以外は図示 ・
補強方法 ※「特定天井及び特定天井の構造耐力上安全な構造方法を定める件」（平成25年国土交通省告示第771号）第３第２項第二号に適合させる。
・図示

表14．2．1

5 金属成形板張り (14．6．2)（14．6．3）

種別	※アルミニウム　・
製法	※押出し　・ロール
寸法（㎜）	板幅 板厚
表面処理（表14.2.1）	種別（　　）　色合等（　　）
伸縮継手	・設ける（図示による）　※設けない
形状	・スパンドレル型　・図示による

6 アルミニウム製笠木 (14．7．2)（14．7．3）

部材の種類　・２５０形（呼称肉厚は１．６以上）⊙ 図示　表14．7．1
・３００形（呼称肉厚は１．８以上）⊙ 図示
・３５０形（呼称肉厚は２．０以上）
表面処理　種別（　　）種
色合等　・無着色（　　）⊙標準色（ ｽﾀｯｶｰ ）　・特注色（　　）
隅角部及び突当り部等の役物　笠木製造所の仕様による
笠木の固定金具の工法等
1章 16 適用区分による風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法

7 サッシ取合い間仕切り板

※アルミニウム製（表面処理はアルミニウム製建具の項による）
・鋼板製（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯　亜鉛の付着量Ｚ１２又はＦ１２）

8 エキスパンションジョイント金物

材質　※アルミニウム製
表面処理　種別（　　）種
色合等　・無着色（　　）　・標準色（　　）　・特注色（　　）
クリアランス　・５０　・１００　・１５０　・２００
耐火性能　・図示による

15 左官工事

1 モルタル塗り (15．3．2)（15．3．5）

モルタル　※ 現場調合材料 ・既調合材料（材料　　）
既製目地材　・設ける 施工箇所（　　）形状（※図示 ・　　）
・設けない
床の目地　⊙設ける 目地割り　※２㎡程度、最大目地間隔３m程度 ・
種類　※押し目地 ・
・設けない

2 床コンクリート直均し仕上げ (15．4．2)（6．2．5）

下表以外は６．２．５及び１５．４．２による

平坦さ（mm）	施　工　箇　所
・ａ種	
・ｂ種	
・ｃ種	

3 セルフレベリング材塗り (15．5．2)

標準塗厚（mm）　※ 10m程度 ・

4 仕上塗材仕上げ (15．6．2)

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆ ・

⊙薄付け仕上塗材　表15．6．1～2

呼び名	仕上げの形状	工法
⊙外装薄塗材Ｅ	⊙砂壁状 ・着色骨材砂壁状	吹付け

・厚付け仕上塗材

呼び名	仕上げの形状	工法	上塗材
・外装厚塗材Ｅ	・吹放し ・凸部処理	吹付け	・行う ・行わない

⊙複層仕上げ塗材

呼び名	仕上げの形状	工法	上塗材（耐候性　・　）		
・複層塗材ＣＥ ・複層塗材ＲＥ ・複層塗材Ｓｉ ・複層塗材Ｅ ・可とう形複層塗材ＣＥ ・防水形複層塗材ＣＥ ・防水形複層塗材ＲＥ ⊙防水形複層塗材Ｅ	・凸部処理 ⊙凹凸状 ・ゆず肌状	⊙吹付け ・ローラー	・溶媒系 ・弱溶媒系 ※水系	・アクリル系（耐候性３種） ・ポリウレタン系（耐候性２種） ⊙アクリルシリコン系(耐候性１種) ・ふっ素系（耐候性１種）	◎つやあり ・つやなし

・軽量骨材仕上塗材

呼び名	仕上げの形状	工法
・吹付用軽量塗材	砂壁状	吹付け
・こて塗用軽量塗材	平たん状	こて塗り

防火材料の指定　※屋内の壁、天井の仕上材は防火材料とする ・図示による

16 建具工事

1 防火戸 (16．1．3)

⊙適用する　指定箇所（※建具表による ・　　）

2 建具見本の製作 (16．1．4)

※製作しない ・製作する（※納まり等が分かる程度のもの ・　　）

3 防犯建物部品 (16．1．6)

⊙適用する　適用箇所（※建具表による ・　　）

4 アルミニウム製建具 (16．2．2～5)

外部に面する建具の性能等級等　表16．2．1

種別	コンクリート系下地及び鉄骨下地			木下地	
	※Ａ種	・Ｂ種	⊙Ｃ種	・Ｄ種	・Ｅ種
耐風圧性	※Ｓ－４	・Ｓ－５	⊙Ｓ－６	・Ｓ－２	・Ｓ－３
気密性	※Ａ－３		⊙Ａ－４	・Ａ－３	
水密性	※Ｗ－４		⊙Ｗ－５	・Ｗ－３	
枠見込み寸法	※建具表による ・				
表面処理	種別（　　）種 色合等　※標準色（　　）　・特注色（　　）				

防音アプセット・防音サッシの遮音性の等級　⊙Ｔ－１ ・Ｔ－２ ・Ｔ－３ ・Ｔ－４
断熱ドアセット・断熱サッシの断熱性の等級　・Ｈ－１ ・Ｈ－２ ・Ｈ－３ ・Ｈ－４ ・Ｈ－５ ・
耐震ドアセットの面内変形追従性の等級　・

網戸等　⊙ 図示

種類	材質	線径	網目
⊙防虫網	⊙合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ※ステンレス製（ＳＵＳ３１６）	０．２５㎜以上	１６～１８メッシュ
・防鳥網	ステンレス製（ＳＵＳ３０４）	１．５㎜	網目寸法　ピッチ１５㎜

結露水の処理方法　※図示 ・
水切り板、ぜん板　※図示 ・

5 樹脂製建具 (16．3．2～5)

外部に面する建具の性能等級等　表16．3．1 ～3

種別	コンクリート系下地及び鉄骨下地			木下地	
	※Ａ種	・Ｂ種	・Ｃ種	・Ｄ種	・Ｅ種
耐風圧性	※Ｓ－４	・Ｓ－５	・Ｓ－６	・Ｓ－２	・Ｓ－３
気密性	※Ａ－４				
水密性	※Ｗ－４	・Ｗ－５		・Ｗ－３	
枠見込み寸法					
表面色	※標準色（　　）　・特注色（　　）				

防音アプセット・防音サッシの遮音性の等級　・Ｔ－１ ・Ｔ－２
断熱ドアセット・断熱サッシの断熱性の等級　・Ｈ－４ ・Ｈ－５ ・Ｈ－６ ・Ｈ－７ ・Ｈ－８

網戸等

種類	材質	線径	網目
・防虫網	・合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ※ステンレス製（ＳＵＳ３１６）	０．２５㎜以上	１６～１８メッシュ
・防鳥網	ステンレス製（ＳＵＳ３０４）	１．５㎜	網目寸法　ピッチ１５㎜

水切り板、ぜん板　※図示 ・

6 鋼製建具 (16．4．2～4，6)

簡易気密性ドアセット　気密性の等級　⊙Ａ－３　水密性の等級・Ｗ－１
外部に面する建具の耐風圧性の等級　・Ｓ－４ ・Ｓ－５ ⊙Ｓ－６
防音アプセット・防音サッシの遮音性の等級　⊙Ｔ－１ ・Ｔ－２ ・Ｔ－３ ・Ｔ－４
断熱ドアセット・断熱サッシの断熱性の等級　・Ｈ－１ ・Ｈ－２ ⊙Ｈ－３ ・Ｈ－４ ・Ｈ－５ ・
耐震ドアセットの面内変形追従性の等級　・
鋼板類の厚さ　※標準仕様書表16.4.2による ・
防火戸　煙感知器連動とする　防火戸の解錠機構は別途とする
扉にラッチ受座用切込み開口補強を行う

7 鋼製軽量建具 (16．5．2～4，6)

簡易気密性ドアセット ・適用する
外部に面する建具の耐風圧性の等級　・Ｓ－４ ・Ｓ－５ ・Ｓ－６
防音アプセット・防音サッシの遮音性の等級　・Ｔ－１ ・Ｔ－２ ・Ｔ－３ ・Ｔ－４
断熱ドアセット・断熱サッシの断熱性の等級　・Ｈ－１ ・Ｈ－２ ・Ｈ－３ ・Ｈ－４ ・Ｈ－５ ・
耐震ドアセットの面内変形追従性の等級　・
防火戸　煙感知器連動とする　防火戸の解錠機構は別途とする
扉にラッチ受座用切込み開口補強を行う
戸の鋼板　※亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板　（㎜）

表16．5．1

区分	材質
召合わせ、縦小口包み板	※鋼板 ・ステンレス ・アルミニウム
扉の表面材、押縁	※鋼板 ・ビニル被覆鋼板
枠類	※鋼板（くつずりはステンレス） ・製作所仕様

8 ステンレス製建具 (16．6．2～5)

簡易気密性ドアセット ・適用する
外部に面する建具の耐風圧性　・Ｓ－４ ・Ｓ－５ ・Ｓ－６ ・
防音アプセット・防音サッシの遮音性の等級　・Ｔ－１ ・Ｔ－２ ・Ｔ－３ ・Ｔ－４
断熱ドアセット・断熱サッシの断熱性の等級　・Ｈ－１ ・Ｈ－２ ・Ｈ－３ ・Ｈ－４ ・Ｈ－５ ・
耐震ドアセットの面内変形追従性の等級　・
ステンレス鋼板（屋外）　※ＳＵＳ３０４ ・ＳＵＳ４３０Ｊ１Ｌ ・ＳＵＳ４４３Ｊ１
ステンレス鋼板（屋内）　・ＳＵＳ３０４ ・ＳＵＳ４３０Ｊ１Ｌ ・ＳＵＳ４４３Ｊ１
表面仕上げ　※ＨＬ仕上げ ・鏡面仕上げ
ステンレス鋼板の曲げ加工　※普通曲げ ・角出し曲げ（・ａ角 ・ｂ角 ・ｃ角）

9 木製建具 (16．7．2～4)

建具材の加工、組立時の含水率　※Ａ種 ・
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・
ふすまの材料　種別　※表16．7．3のⅡ型
上張り紙　※ビニル紙 ・新島の子
押入等の裏側　※雲花紙
縁の仕上げ　・塗り縁 ・生地縁（素地） ・生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
枠及びくつずり材料　※図示による

10 鍵 (16．8．4)

マスターキー　⊙製作する（ 3 組）　・製作しない　・既存に組込む
鍵箱　・設ける（　個用 組）⊙設けない

11 自動ドア開閉装置 (16．9．2～3)

引き戸用検出装置の種類　表16．8．1～3
※光線(反射)センサー・熱線センサー ・音波センサー ・光電センサー
・電波センサー ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ
タッチスイッチの種類
・無線式タッチスイッチ ・光電式タッチスイッチ
車椅子使用者用便房スイッチの種類
・大形（開・閉）押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ
取付け位置　・床面 ※天井面 ・壁面 ・無目
凍結防止措置　・適用する ・適用しない

12 自閉式上吊り引戸装置 (16．10．3)

自閉式上吊り引戸装置の性能等　※表16．10．1による

13 重量シャッター (16．11．2)

種類　・管理用 ・外壁用防火 ・屋内用防火 ・防煙
防火又は防煙シャッターは、自動閉鎖装置及び随時閉鎖装置付とし、連動制御盤及び煙感知器は別途とする
外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度　（　　）Pa
開閉方式の種類　※電動式（手動併用） ・手動式　表16．11．1
管理用シャッターのシャッターケース　※設ける ・設けない
障害物感知装置　※設ける ・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板　※JIS Ｇ 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・JIS Ｇ 3312（塗装溶融亜鉛めっき及び鋼帯）

14 軽量シャッター (16．12．2～4)

開閉方式の種類　※手動式 ・電動式（手動併用）　表16．12．1
耐風圧強度（　　）Ｎ／㎡
スラットの種類　※JIS Ｇ 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
JIS Ｇ 3322（塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
スラットの形状　※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形
シャッターケース　※設ける ・設けない
ガイドレールの材質　※ステンレス製（ＳＵＳ３０４）厚さ１．５㎜（※中柱共）
座板（屋外の場合）　※ステンレス製既製品 ・
障害物感知装置　※設ける ・設けない

15 オーバーヘッドドア (16．13．2)(16．13．3)

セクション材料による区分
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ
風圧力による強さの区分　・１７５ ・１２５ ・１００ ・７５ ・５０
開閉方式による区分　※バランス式 ・チェーン式 ・電動式
収納形式による区分　・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形
ガイドレールの材質　※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス製（ＳＵＳ３０４）厚さ２．０㎜
障害物感知装置　※設ける ・設けない

16 ガラス (16．14．2)

下記のガラス以外の品種、厚さの呼びによる種類等　※建具表による ・

⊙合わせガラス

材料板ガラスの種類	組合せ	特性による種類
※フロート合わせガラス	※フロート板合わせガラス ・熱線吸収、フロート板合わせガラス	・Ⅰ類 ・Ⅱ－１類 ・Ⅱ－２類 ・Ⅲ類
・網入合わせガラス	・網入り、フロート板合わせガラス ・網入り、熱線吸収板合わせガラス	・Ⅰ類 ・Ⅱ－１類 ・Ⅱ－２類

・強化ガラス

材料板ガラスの種類	材料板ガラスの種類による名称	特性による種類
※フロート板ガラス	※フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス	・Ⅰ類 ・Ⅲ類
・型板ガラス	※型板強化ガラス	
・熱線反射ガラス	※熱線反射強化ガラス	

⊙複層ガラス

種　類	断熱性による区分	日射取得性、日射遮へい性による区分
⊙Low-E複層ガラス	⊙T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6	・G ・S

・熱線反射ガラス

材料板ガラスによる種類	色　調
※熱線反射ガラス	・ブルー ・グレー
・高性能反射板ガラス	・ブロンズ ・シルバー

種　類	日射遮へい性	耐久性	ガラスの種類
※熱線反射ガラス	・１種	Ａ種	
・高性能反射板ガラス	・２種	・Ａ種 ・Ｂ種	
	・３種	Ｂ種	

反射皮膜面　※内面 ・外面
映像調整　※行わない ・行う

・熱線吸収板ガラス

材料板ガラスの種類による名称	性能による種類	色　調
※熱線吸収フロート板ガラス ・熱線吸収網入り磨き板ガラス	・１種 ・２種	・グリーン ・

17 ガラスの留め材 (16．14．2)

ガラス溝の寸法、形状等 (16．14．3)

建具の種類	材　種	ガラス溝の大きさ（㎜）
鋼製	※シーリング材 ・ガスケット	※建具の製造所の仕様による ・
アルミニウム製	※シーリング材 ・ｶﾞｽｹｯﾄ(ｸﾞﾚｰｿﾞｯﾌﾟﾁｬﾝﾈﾙ形)	※建具の製造所の仕様による ・
ステンレス製	※シーリング材 ・ガスケット	※建具の製造所の仕様による ・
木製	※シーリング材 ・ガスケット	※建具の製造所の仕様による ・
樹脂製	※シーリング材 ・ｶﾞｽｹｯﾄ(ｸﾞﾚｰｿﾞｯﾌﾟﾁｬﾝﾈﾙ形)	※建具の製造所の仕様による ・

防火戸のガラス留め材は、建築基準法に基づく防火性能の認定を受けた条件による

18 ガラスブロック積み (16．14．5)

表面形状	呼び寸法（㎜）	厚さ（㎜）	色調 クリア	色調 乳白	目地幅（㎜） 平積み	目地幅（㎜） 曲面積み	伸縮調整目地（㎜）	防火性能
・正方形	・125ｘ125	80	・	・	※8～15	外側 ※標準仕様書16.14.5(2)(ｳ)(a)②	※6m以下毎に10～25 ・図示による ・	※なし ⊙あり
	・160ｘ160	・95 ・125	・	・	・15～25 ・			
	⊙200ｘ200	⊙95 ・125	・	⊙		内側 ※標準仕様書16.14.5(2)(ｳ)(a)② ・		
	・320ｘ320	95	・	・				
・長方形	・250ｘ125	80	・	・				
	・320ｘ160	95	・	・				

曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の１０倍以上とする
壁用金属枠及び補強材　・設ける （形状 ※図示による ・　　）
力骨　※ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４）径５．５㎜はしご形状複筋及び単筋 ・
目地部の力骨の納まり　※ガラスブロック製造所の仕様による ・
化粧目地モルタルの色　（　　）
シーリング材　※表９．７．１による ・
金属製化粧カバー　材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製
寸法 ・図示による ・
形状 ・図示による ・
1章 16 適用区分による風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法

19 ガラス用フィルム

名　称	張り面	性能値
	・内張り ・外張り	
	・内張り ・外張り	

品質　ＪＩＳ Ａ５７５９による。

20 付属電気設備

電動シャッター、自動扉、電動オーバーヘッドドアの電動機が三相電動機０．４ｋｗ以上の場合は機器付属の操作盤内に電動機保護用遮断機及び遮相用コンデンサーを設置する

17 カーテンウォール工事

1 カーテンウォール (17．1．3)(17．2．2～5)(17．3．2～5)

取付方法　・層間方式 ・柱、梁方式 ・方立方式 ・スパンドレル方式
性能

耐震性能		気密性	・Ａ－１ ・Ａ－２ ・Ａ－３ ・Ａ－４ ・
水平方向（ｋＨ） 垂直方向（ｋＶ）	※１．０ ・ ※０．５ ・	耐火性	・３０分 ・１時間
		耐温度差性	・８０℃ ・７０℃ ・６０℃
		遮音性	・Ｔ－１ ・Ｔ－２ ・Ｔ－３ ・Ｔ－４
水密性	・Ｗ－１ ・Ｗ－２ ・Ｗ－３ ・Ｗ－４ ・Ｗ－５	断熱性	・Ｈ－１ ・Ｈ－２ ・Ｈ－３ ・Ｈ－４ ・Ｈ－５ ・Ｈ－６

1章 16 適用区分による風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法
主要部材の耐風圧性能（ガラスを除く）

支点間距離（ｈ）	耐風圧性能	状態
４ｍ以下	※たわみ量が±（１／１５０）ｘｈかつ絶対量２０㎜以下であること	部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと
４ｍを超える	・	

層間変位追従性

建築物の構造種別	層間変位量（ｈ＝支点間距離）	変位後の状態
鉄骨造	※±（１／２００）ｘｈ以上 ・	部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	・±（１／３００）ｘｈ以上	シーリングは補修程度の損傷であること

シーリング材　※標準仕様書9.7.1による ・
構造用ガスケットの材質、形状、寸法　※図示 ・
断熱材　種類（　　）　厚さ（　　）㎜　施工箇所　※図示 ・
その他の性能　図示による
種類　・メタルカーテンウォール
金属材料の種類（見掛かり部分の仕上げ）
・アルミニウム製（　　）
・鋼製（　　）
・ステンレス製（　　）
ガラス溝の寸法、形状等　※ カーテンウォールの製造所の仕様による ・
・ＰＣカーテンウォール
コンクリート　※標準仕様書17.3.2(1)(ｱ)～(ｳ)による ・
鉄筋　※SD295A（・D13 ・D10）
補強鉄線の径（㎜）　※3.2 ・4.0 ・5.0 ・6.0
先付けの材料　・建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・

18 塗装工事

1 材料 (18．1．3)

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・

2 素地ごしらえ (18．2．2～7)

⊙木部 ・不透明塗料塗り	（※Ａ種 ・Ｂ種）	表18．2．1～7
・透明塗料塗り	（・Ａ種 ※Ｂ種）	
⊙鉄鋼面	（・Ａ種 ・Ｂ種 ※Ｃ種）	
⊙亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）	（・Ａ種 ・Ｂ種）	
・ﾓﾙﾀﾙ面及びせっこうﾌﾟﾗｽﾀｰ面	（・Ａ種 ※Ｂ種）	
・ｺﾝｸﾘｰﾄ面（DP以外）及びALCﾊﾟﾈﾙ面	（・Ａ種 ※Ｂ種）	
・押出成形ｾﾒﾝﾄ板面及びｺﾝｸﾘｰﾄ面(DP)	（・Ａ種 ※Ｂ種）	
・せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面及びその他ﾎﾞｰﾄﾞ面		
・せっこうﾎﾞｰﾄﾞの目地工法が継目処理工法（※Ａ種 ・Ｂ種）		
・その他の場合	（・Ａ種 ※Ｂ種）	

3 錆止め塗料塗り (18．3．2)（18．3．3）

（表18．3．1）（表18．3．3）

塗　装　面		塗　料　の　種　別	工　程
鉄鋼面	見え掛り	ＳＯＰの場合 ※Ａ種 ＤＰの場合 ※Ｂ種	※Ａ種 ・Ｂ種
	見え隠れ	ＥＰ・Ｇの場合 ・Ａ種 ※Ｂ種	・Ａ種 ※Ｂ種

（表18．3．2）（表18．3．4）

塗　装　面		塗　料　の　種　別	工　程
亜鉛めっき鋼面	鋼製建具等	ＳＯＰの場合 ※Ａ種 ・Ｂ種 ＤＰの場合 ※Ｂ種	※Ａ種 ・Ｂ種
	鋼製建具等以外	ＥＰ・Ｇの場合 ※Ｃ種	・Ａ種 ※Ｂ種

4 仕上げ塗料塗り (18．4．1～18．12．2)

塗装の種類	塗装面（塗料の種別）		種　別
⊙合成樹脂調合ペイント塗り（ＳＯＰ）	・木部（外部）	※１種 ・	※Ａ種 ・Ｂ種
	・木部（内部）	※１種 ・	・Ａ種 ※Ｂ種
	⊙鉄鋼面	※１種 ・	・Ａ種 ※Ｂ種
	・亜鉛めっき鋼面	※１種 ・	表１８．４，３
⊙クリアラッカー塗り（ＣＬ）	木部		・Ａ種 ※Ｂ種
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（ＮＡＤ）	・屋内のコンクリート面		・Ａ種 ※Ｂ種
	・屋内のモルタル面		・Ａ種 ※Ｂ種
・耐候性塗料塗り（ＤＰ）	・屋外の鉄鋼面	上塗り等級（ ）級	表１８．７．１
	・屋外の亜鉛めっき鋼面	上塗り等級（ ）級	表１８．７．２
	・屋外のコンクリート面	上塗り等級（ ）級	・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ－Ｇ）	・コンクリート面		・Ａ種 ※Ｂ種
	・モルタル面		・Ａ種 ※Ｂ種
	・せっこうプラスター面		・Ａ種 ※Ｂ種
	・せっこうボード面		・Ａ種 ※Ｂ種
	・		・Ａ種 ※Ｂ種
	・屋内の木部		表１８．８，２
	・屋内の鉄鋼面		・Ａ種 ※Ｂ種
	・屋内の亜鉛めっき鋼面		表１８．８，４
⊙合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ）	・コンクリート面		・Ａ種 ※Ｂ種
	・モルタル面		・Ａ種 ※Ｂ種
	・せっこうプラスター面		・Ａ種 ※Ｂ種
	⊙せっこうボード面		・Ａ種 ※Ｂ種
	・		・Ａ種 ※Ｂ種
・合成樹脂エマルション模様塗料塗り（ＥＰ－Ｔ）	・		・Ａ種 ※Ｂ種
・ウレタン樹脂ワニス塗り（ＵＣ）	・		・Ａ種 ※Ｂ種
・ステイン塗り	・		・ﾋﾟｸﾞﾒﾝﾄｽﾃｲﾝ塗り（ｵｲﾙｽﾃｲﾝ塗り(OS)）
・木材保護塗料塗り（ＷＰ）	・		・Ａ種 ※Ｂ種

邑久地区市営住宅（Ａ棟）建替工事	A1 S=N/S A3 S=N/S				A 04
岡山県建築工事特記仕様書４					

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

19 内装工事

1 接着剤 (19．2．2)

接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・
接着剤は可塑剤（難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていないものとする。

2 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル (19．2．2)(19．2．3)

ビニル樹脂系材料の原材料
再生ビニル系材料の原材料の合計重量が製品の総重量比で１５%以上使用されているもの

・ビニル床シート

種類	種類の記号	色柄	厚さ（mm）	工法
◎発泡層のないもの	※ＦＳ ・ＴＳ	・プレーン ・マーブル ○特殊柄	◎2．0 ○2．5	・突付け ※熱溶接
○発泡層のあるもの（クッションフロア）	・ＨＳ ・ＫＳ	・プレーン ○マーブル ○柄物	○3.5 ○4.5	・突付け ・熱溶接

・ビニル床タイル

種類	種類の記号	色柄	厚さ（mm）
※接着形	・ＦＴ	・プレーン ・マーブル ・特殊柄	※2．0 ・
	・ＴＴ	・プレーン ・マーブル ・特殊柄	・
	・ＫＴ	・プレーン ・マーブル ・特殊柄	※2．0 ・
※置敷形	・ＦＯＡ	・プレーン ・マーブル ・特殊柄	・
	・ＦＯＢ	・プレーン ・マーブル ・特殊柄	・

・特殊機能床材（帯電防止）

種類	種類の記号	色柄	厚さ（mm）	備考
・帯電防止床シート	・ＦＳ ・		・2．0 ・	帯電防止性能評価値（ＪＩＳ Ａ１４５５） １．２以上～３．２未満
・帯電防止床タイル	・ＦＯＡ ・ＦＯＢ	・		又は体積電気抵抗値（ＪＩＳ Ａ１４５４） 1×10^{7}～1×10^{10}Ω程度

・特殊機能床材（帯電防止以外）

種類	厚さ（mm）	寸法（mm）	材料	色柄
・誘導用床材、注意喚起用床（表面形状 ＪＩＳ Ｔ９２５１）	・	・３００x３００ ・４００x４００	※塩ビ ・合成ゴム 合成ゴム	・黄色
・				

ビニル幅木の高さ（mm） ※６０ ○７５
厚さ（mm） ※2．0 ・
材質 ※軟質 ・硬質

3 カーペット敷き (19．3．2)(19．3．3)

・タイルカーペット (19．3．2~3)

パイル形状	種別	施工箇所	寸法	総厚さ(mm)	備考
※ループパイル	※第一種 ・第二種		※ 500×500	※ 6.5	
・カットパイル	・第一種 ・第二種		※ 500×500	※ 6.5	
・カット・ループ併用	・第一種 ・第二種		※ 500×500	※ 6.5	

下敷き材 ※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種1号 呼び厚さ 8mm ・
見切り、押え金物の材質、種類及び形状 ※ 図示 ・

4 合成樹脂塗床 (19．4．3)

・弾性ウレタン樹脂系塗り床材 表19．4．4
仕上げの種類 ※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂系塗り床材 表19．4．5~7
工法の種類 ・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂モルタル工法
仕上げの種類 ・防滑仕上げ ・平滑仕上げ
塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・

5 防じん用塗床

材質 水性アクリル系樹脂塗料（※標準色 ・ ）
仕上種別 コーティング（ローラー刷毛塗り）
塗布量 主剤２回塗りとし、総塗布量は０．２５Ｋｇ／㎡以上とする
仕上げの種類 ・防滑仕上げ ・平滑仕上げ
塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・

6 フローリング張り (19．5．2~6)

複合フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・
種別・工法
・単層フローリング（・フローリングボード１等 ・フローリングブロック１等 ・モザイクパーケット）
・湿式工法 ・乾式工法（・釘どめ工法 ・接着工法）
※複合フローリング（・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種） 表層 ・なら ・ヒノキ
・乾式工法（・釘どめ工法 ・接着工法）
間伐材等の適用 ※適用する ・適用しない
間伐材等：間伐材、合板・製材工場から発生する端材等の残材、林地残材又は小径木の体積比割合が１０%以上であること
居室の内装材にあっては、ホルムアルデヒド放散量（ＪＡＳ規格による測定方法）が平均値で０．３mg／Ｌ以下かつ最大値で０．４mg／Ｌ以下であること

7 畳敷き (19．6．2)

種別 ・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種 ※Ｄ種 表19．6．1
Ｄ種の場合の畳床記号 ・ＫＴ－Ⅰ ・ＫＴ－Ⅱ ・ＫＴ－Ⅲ
・ＫＴ－Ｋ ・ＫＴ－Ｎ
衝撃緩和型畳 畳表 ・Ｃ１ ・Ｃ２

8 せっこうボード その他ボード及び合板張り (19．7．2)

天井及び壁に使用する材料は、建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたもの
合板類、ＭＤＦ及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・
パーティクルボード、繊維板、木質系セメント板の原材料
合板・製材工場から発生する端材等の残材、建築解体木材、使用済み梱包材、製紙未利用低質チップ、林地残材、かん木、小径木（間伐材を含む）等の再生資源である木質材料又は植物繊維の重量比配合割合が５０%以上であること。（この場合、再生資材全体に占める体積比配合率が２０%以下の接着材、混和剤等（パーティクルボードにおけるフェノール系接着剤、木質系セメント板におけるセメント等で主要な原材料相互間を接着する目的で、使用されるもの）を計上せずに、重量比配合率を計算することができるものとする）
天井のボード類（ロックウール吸音板を除く）の重ね張りを行う場合 ※図示による
合板の張付け ・Ａ種 ・Ｂ種

目地工法の種類とせっこうボードのエッジの種類

目地処理の種類	張り方	せっこうボードのエッジの種類
・継目処理	・直張り ・上張り	※テーパーエッジ ・ベベルエッジ
・突付け	・直張り ・上張り ・下張り	※スクェアエッジ
・突付けＶ目地	・直張り ・上張り	※ベベルエッジ
・目透し	・直張り ・上張り	・ベベルエッジ ・スクェアエッジ

9 壁紙張り (19．8．2)

建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたもの

施工箇所	品質（製造所）	防火性能の級別
図示による	図示による	図示による

ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・

10 断熱材打込み工法 (19．9．2)

断熱材の種類 ※押出法ポリスチレンフォーム断熱材２種ｂＡ 厚さ ※２５mm ・
○押出法ポリスチレンフォーム断熱材３種ＢＡ（土間下） 厚さ ※２５mm ○50mm
・硬質ウレタンフォーム断熱材１種２号 厚さ ※２０mm ・
・フェノールフォーム断熱材Ａ種 厚さ ・

断熱補修材 ・断熱材と同材
※吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材（次項による）

11 断熱材現場発泡工法 (19．9．3)

断熱材の種類 ※Ａ種１ ○Ａ種１Ｈ
厚さ ・２５ ・３０ ○35
施工箇所 ※窓回り等の断熱材補修部分、ルーフドレイン廻りの床版下等、部分的に後張りとしなければいけない箇所
・図示による
・

12 断熱材の原材料 (19．9．2~3)

押出法ポリスチレンフォーム断熱材、グラスウール断熱材及びロックウール断熱材
フロン類が使用されていないこと。また、可能な限り熱損失防止性能の数値が小さいものであること。

20 ユニット及びその他の工事

1 フリーアクセスフロア (20．2．2)

施工箇所	・	・
工法	・置敷式	・支柱調整式
耐震性能	・１．０Ｇ ・０．６Ｇ	・１．０Ｇ ・０．６Ｇ
所定荷重	※３０００Ｎ ・５０００Ｎ	※３０００Ｎ ・５０００Ｎ
パネル寸法（mm）	・	・
高さ（mm）	・ ・	・ ・
床表面仕上げ材の材質	※タイルカーペット ・帯電防止床タイル	※タイルカーペット ・帯電防止床タイル
ボーダー部及びスロープ	※メーカー仕様 ・図示による	※メーカー仕様 ・図示による

寸法精度 ※標準仕様書20.2.2(2)(ｷ)による ・
配線用取り出しパネル
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※２０～３０% ・製造所の仕様による
配線取り出し開口 ※パネル１枚につき40mm x 80mm程度の開口１ヶ所以上 ・製造所の仕様による
空調用吹き出し（吸い込み）パネル
※なし
・有り （※固定式 ・可変式）： 施工箇所（※図示による ・ ）
耐荷重性能 ※変形5.0mm以下、残留変形3.0mm以下 ・
耐衝撃性能 ※残留変形3.0mm以下及び損傷がない ・
ローリングロード性能 ※残留変形3.0mm以下 ・
耐燃焼性能
・建築基準法に基づく不燃材料の指定又は認定を受けたもの
・JIS A 1450に基づく燃焼試験において、燃焼終了後の残炎時間が０秒であること

2 可動間仕切 (20．2．3)

ＪＩＳ Ａ６５１２によるほか、下記による
構造形式による種類 ※スタッド式（・スタッド露出・スタッド内蔵）・スタッドパネル式
構成基材の種類 ※図示による
表面材質及び厚さ（mm） ※鋼板０．６ ・鋼板０．８ ・
パネル表面仕上げ メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付（※常備色 ・指定色）
パネル総厚さ（mm） ・ mm程度
遮音性の区分 ・０ ・１５程度 ・３０程度 ・３６以上
防火性能 ・不燃
パネル内に取付ける建具 ・あり（※図示 ・ ） ・なし

3 移動間仕切 (20．2．4)

パネルの操作方法による種類 ・製造所の仕様による ・図示による
表面材質及び厚さ（mm） ※鋼板０．６ ・
仕上げ メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付（※常備色 ・指定色）
パネル総厚さ（mm） ・ mm程度
パネル圧接装置の操作方法 ・製造所の仕様による ・図示による
遮音性の区分 ・３６未満 ・３６以上 （ＪＩＳ Ａ６５１２に準拠する）

4 トイレブース (20．2．5)

表面材 ※メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板
ドアエッジ材質 ※製造所の仕様による ・
脚部形状 ※幅木タイプ ・

5 手すり

材質	表面仕上げ	直径（mm）	取付箇所
・ステンレス	・ＨＬ ・	・	
・鋼製	・溶融亜鉛めっき ・	・	
○アルミニウム	・	・	屋外階段、共用廊下
・集成材	・ＣＬ ・	・６０ ・４５ ・３５ ・	
○ビニル製	・ＣＬ ・	・６０ ・４５ ・３５ ○図示	○図示

6 階段滑止め (20．2．7)

材種 ステンレス製（ＳＵＳ３０４）（・埋込工法 ※接着工法）
端部フラットエンド ※有（※タイヤと同材 ・ステンレス鋼） ・無
型式 ※ビニルタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り ・
幅（mm） ※約３５ ・

7 黒板及びホワイトボード (20．2．9)

・ホワイトボード ほうろう 形状及び寸法は図示による
・黒板 種類 ・鋼製黒板 ・ほうろう黒板 色彩 ※緑 ・ 形状及び寸法は図示による

8 鏡 (20．2．10)

取付箇所 ・図示による ・（ ）
寸法（mm） ・図示による ・
厚さ（mm） ※５ ・

9 表示 (20．2．11)

・案内板 ・施設案内板（※標準詳細図による ・図示による）
・各階案内板（※標準詳細図による ・図示による）
・視覚障害者用案内板（※図示による）
○室名札 ※標準詳細図による ・市販品 ○図示
・ピクトグラフ 標準案内図用記号 ※ＪＩＳ Ｚ８２１０による ・図示による
形状・その他 ※図示による
・施設文字 ※標準詳細図による ・
・切抜文字（・ステンレス製・黄銅製） ・箱文字（・ステンレス製・黄銅製）
字数（ ） 文字の大きさ（ x ）
・対人衝突防止表示 ・図示による
・非常用進入口 ・図示による
案内図用記号はＪＩＳ Ｚ８２１０による

10 タラップ (20．2．12)

材料及び仕上げ ○図示
・ステンレス製 SUS304 （表面処理 ※研磨なし）
・鋼製 （表面処理 ※溶融亜鉛めっき 種別Ｃ種）

11 煙突ライニング (20．2．13)

煙突用成形ライニング材 適用安全使用温度 ・４００℃まで ・６５０℃まで
工法 ・コンクリート打込時に打ち込み
キャスタブル耐火材 ※煙突成形ライニング材の製造所の仕様による

12 ブラインド (20．2．14)

形式	・横型ブラインド	・縦型ブラインド（防炎性能を有するもの）
スラットの材種	アルミニウム合金製	・アルミスラット ・クロススラット
スラットの種類	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	・１本操作コード式 ※２本操作コード式
スラットの幅（mm）	※２５ ・３５	・８０以上 ・１００

13 ロールスクリーン (20．2．15)

操作方式 ・スプリング式 ・コード式（チェーン式） ・電動式
材種 ・図示による ・
遮光性能 ・図示による ・
寸法 ・図示による ・

14 カーテン及びカーテンレール (20．2．16)

カーテン ○別途工事

施工箇所	形式	開閉形式	操作方式	生地の種別、品質、特殊加工等	ひだの種類
	・シングル ・ダブル	・片引き ・引分	※手動 ・電動		
	・シングル ・ダブル	・片引き ・引分	※手動 ・電動		

カーテンレール及び付属金物

施工箇所	強さによる区分	材料による区分	仕上げ	形状	カーテン用付属金物
各洋室・ロ	・１０－６０ ※１０－９０	※アルミニウム ・	※アルマイト ・	※角形 ・	
	・１０－６０ ※１０－９０	※アルミニウム ・	※アルマイト ・	※角形 ・	

・暗幕用は３００mm以上の召し合せの重掛けとする

15 点検口

天井 材種 アルミニウム製 寸法（mm） ◎４５０x４５０ ・６００x６００
形式 一般型 外枠 ○額縁タイプ ・目地タイプ
内枠 ○額縁タイプ ・目地タイプ
枠の許容差 ±０．５mm以内 外枠と内枠のクリアランス 片側２．０mm以内
材料の品質及び性能
外枠、内枠の材質
アルミニウム合金押出形材 ＪＩＳ Ｈ４１００ Ａ６０６３Ｓ－Ｔ５
表面処理 表１４．２．１のＡＣ－１種、ＡＣ－２種（外部はＢＢ－１種、ＢＢ－２種）
外枠及び内枠のコーナーピース、吊り金物、取付ボルト
鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの

床 材種 アルミニウム製 寸法（mm） ・４５０x４５０ ◎６００x６００
形式 ◎屋内用一般型 ○密閉形
パッキンを装着しないもの及びがたつき防止用パッキンを装着したもの
枠の許容差 ±０．５mm以内 外枠と内枠のクリアランス 片側２．０mm以内
材料の品質及び性能
受枠材、蓋枠材、コーナーピース、底板材、底板補強材
アルミニウム合金押出形材 ＪＩＳ Ｈ４１００ Ａ６０６３Ｓ－Ｔ５
表面処理 表１４．２．１のＡＢ－１種、ＡＢ－２種、ＢＢ－１種、ＢＢ－２種
開閉方式 施錠・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式
その他 製造所の仕様による

16 屋外掲示板

本体材質 ※ステンレス製 ・
照明器具 ・有り ○無し
掲示板面材質 ・
施錠装置 ※有り ○無し
形状寸法 ◎図示による ・

17 鋼製書架及び物品棚

・固定式（下記以外は図示による）
鋼製書架 ※ＪＩＳ Ｓ１０３９による ・
鋼製物品庫 ※ＪＩＳ Ｓ１０３９による ・
・移動式 形状等は図示による

18 くつふきマット

※塩化ビニル又はゴム製（受け枠ステンレス製（ＳＵＳ３０４））ワンライン型
・硬質アルミニウム合金製（受け枠ステンレス製（ＳＵＳ３０４））
・ステンレス製（ＳＵＳ３０４）（受け枠ステンレス製（ＳＵＳ３０４））

19 フェンス

フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・鋼管フェンス
○樹脂塗装メッシュフェンス ・アルミフェンス
高さ ○図示による ・

20 天井見切り縁

材種 ※アルミニウム既製品 ○ビニル既製品

21 ピクチャーレール

※見切り縁兼用タイプ ・
移動フック ヶ/m 安全荷重 ※１５kg以上 ・

22 誘導用床材、注意喚起用床材

材種 ・レジンコンクリート製（厚さ３０mm） ・磁器質タイル製 ・コンクリート製（厚さ６０mm）
・
表面形状 ＪＩＳ Ｔ９２５１による
寸法 ※３００x３００
色 ※黄色 ・

23 旗竿

形式 ・ロープ式（テーパー式）
※ハンドル式（テーパー式又は同一断面式）
材種 ・アルミニウム合金 ・
高さ（m） ・
旗竿受金物 ※ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４）製 ・

24 既製家具

合板類、ＭＤＦ及びパーティクルボード、接着剤及び塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ・第三種

25 車止め柵

形式	材種	柱径・肉厚（mm）	高さ（mm）	備考
・上下式内蔵式（・標準品 ・ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ式） ・	・ステンレス製 ・	・φ76.3 t＝2.0 ・	・ＧＬ＋700 ・	

21 排水工事

1 排水管 (21．2．1)

・遠心力鉄筋コンクリート
種類 ※外圧管１種 ・
呼び径 ※図示 ・
継手 ※ゴム接合 ・モルタル接合
○硬質ポリ塩化ビニル管
種類 ○ＶＰ ・ＶＵ
・ＲＳ－ＶＵ
建物外での硬質ポリ塩化ビニル管であって、使用済み塩化ビニル管を原材料とする塩化ビニルが製品全体重量比で３０%以上使用されていること
呼び径 ◎図示 ・

2 側塊、排水桝等 (21．2．1)

・鋳鉄製ふた
型式 ※水封型 ・簡易密閉型 ・密閉型 ・中ふた付密閉型
適用荷重（安全荷重〔kN〕）
屋内用 ・Ｔ－２用（５） ・
屋外用 ・Ｔ－２用（５） ※Ｔ－６用（１５） ・Ｔ－２０用（５０） ・
鍵 ・有 ・無
○グレーチング

種類	形式	用 途	適用荷重	メインバーピッチ	上面形状
○鋼製	○受枠付 ・ボルト固定	・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ○桝ふた用 ・Ｕ字溝用	○歩行用 ・Ｔ－２用 ・Ｔ－６用 ・Ｔ－１４用 ・Ｔ－２０用	・普通目 ○細目 ・普通目 ・細目 ・普通目 ・細目 ・普通目 ・細目 ・普通目 ・細目	※凹凸形 ・
・ステンレス製	・受枠付 ・ボルト固定	・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ・桝ふた用 ・Ｕ字溝用	・歩行用 ・Ｔ－２用 ・Ｔ－６用 ・Ｔ－１４用 ・Ｔ－２０用	・普通目 ・細目 ・普通目 ・細目 ・普通目 ・細目 ・普通目 ・細目 ・普通目 ・細目	・凹凸形 ・平形

22 舗装工事

1 路床 (22．2．2~5)

路床の構成 ※標準詳細図による ・
盛土に用いる材料（表3.2.1による） ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土
凍上抑制層 ※適用しない ・適用する（厚さ ）
透水性舗装フィルター層 ※適用しない ・適用する（厚さ ）
路床安定処理 ※適用しない ・適用する（方法 ）
支持力比（ＣＢＲ）試験 ※行わない ・行う（※良した土 ・良さない土）
締固め度の試験 ※行わない ・行う
現場ＣＢＲ試験 ※行わない ・行う

2 路盤 (22．3．2~5)

路盤の構成 ※標準詳細図による ○図示による
路盤材料 ※再生材クラッシャラン ・クラッシャラン鉄鋼スラグ
締め固め度試験 ※行わない ・行う

3 アスファルト舗装 (22．4．2~6)

舗装の構成 ※標準詳細図による ○図示による
車道部の基層 ・あり ・なし
アスファルト ※再生アスファルト ・ストレートアスファルト
骨材 ※道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材
加熱アスファルト混合物等の種類
※表層 ※密粒度アスファルト混合物（１３）
・細粒度アスファルト混合物（１３）
・
・基層 ・粗粒度アスファルト混合物（２０）
シールコート ※行わない ・行う
アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う

4 コンクリート舗装 (22．5．2~6)

コンクリート ※標準仕様書表22.5.1による ・
舗装の構成 ※標準詳細図による ○図示による
溶接金網 ※使用する（１５０X１５０X６φ） ・使用しない
コンクリート版の厚さの試験 ※行わない ・行う

5 透水性アスファルト舗装 (22．7．2~6)

舗装の構成 ※標準詳細図による ・図示による
アスファルト ※再生アスファルト ・ストレートアスファルト
骨材 ※道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材
アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う

6 ブロック系舗装 (22．8．2)(22．8．3)

舗装の構成 ※標準詳細図による ○図示による
※インターロッキングブロック
材質（※コンクリート ・ ） 種類（※普通 ○透水性 ・保水性）
形状（・長方形 ・正方形 ・六角形） 厚さ（○６０ ・８０ ・１００）
表面加工 ・ショット仕上げ 表22．8．1
クッション材 ・空練りモルタル ・砂
・再生材料を用いた舗装用ブロック（焼成）
・再生材料を用いた舗装用ブロック製（プレキャスト無筋コンクリート製品）

7 区画線

路面表示用塗料（ＪＩＳ Ｋ５６６５（路面表示用塗料）による）
・１種 ・２種 ※３種１号
色 ※白 ・ 塗布幅 ※図示による ・ 塗布厚さ ※1.0 ・

23 植栽及び屋上緑化工事

1 植栽地の確認 (23．1．3)

土壌の水素イオン濃度指数（ｐＨ）試験 ・行う ※行わない
電気伝導度（ＥＣ）の試験 ・行う ※行わない

2 植栽基盤の整備 (23．2．2~4)

排水 ・設置する（・暗きょ ・閉きょ ・排水樹 ・縦穴排水） ・設置しない
電気伝導度（ＥＣ）の試験 ・行う ※行わない
整備工法 表23．2．2
樹木 ・行う（※Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種 ・Ｄ種） ※行わない
芝及び地被類 ※行う（※Ｂ種 ・ ） ・行わない
植込み用土 ※現場発生土の良質土 ・客土
土壌改良材
・適用する（施工箇所 ）
・パーク堆肥
製品は以下を満足すること
有機物の含有率（乾物） ：７０%以上
炭素窒素比〔Ｃ／Ｎ比〕 ：３５以下
陽イオン交換容量〔ＣＥＣ〕（乾物）：７０meq／１００g以上
ｐＨ ：５．５～７．５
水分 ：５５～６５%
窒素全量〔Ｎ〕（現物） ：０．５%以上
りん酸全量〔Ｐ２Ｏ５〕（現物） ：０．２%以上
加里全量〔Ｋ２Ｏ〕（現物） ：０．１%以上
・汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト）
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」（昭和４８年総理府令第５号）の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないもの
ひ素：０．００５%以下 カドミウム：０．０００５%以下
水銀：０．０００２%以下 ニッケル：０．０３%以下
クロム：０．０５%以下 鉛：０．０１%以下
有機物の含有率（乾物）：３５%以上 炭素窒素比〔Ｃ／Ｎ比〕：２０以下
ｐＨ：８．５以下 水分：５０%以下
窒素全量〔Ｎ〕（現物）：０．８%以上 りん酸全量〔Ｐ２Ｏ５〕（現物）：１．０%以上
アルカリ分（現物）：１５%以下（ただし、土壌の酸度を矯正する目的で使用する場合はこの限りでない）
施工箇所の土壌及び植物の性質から使用が不適な場合、及び調達困難な場合は監督職員と協議を行うものとする

3 支柱材 (23．3．2)

※丸太（間伐材） ・真竹

4 新植樹木の枯補償 (23．3．4)

枯補償の期間 ※引渡しの日から１年 ・
枯補償の期間内に樹木が枯死、枝損傷、形姿不良等となった場合は、同等以上のものの再植樹するとともに、取り除いた樹木の処分を行うものとする

5 移植樹木の枯損処置 (23．3．6)

枯損処置の期間 ※引渡しの日から１年 ・
枯損処置の期間内に樹木が枯した場合は、伐採及び伐根を行い、良質土で埋め戻し整地するものとする

邑久地区市営住宅（Ａ棟）建替工事
岡山県建築工事特記仕様書５
A1 S=N/S
A3 S=N/S
A
05

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号 TEL086-244-0173
１級建築士事務所 岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録 第１１８２３６号 大石雅弘

項目	特記事項
① 使用資材について	本工事に使用する資材については、県内産資材又は県内取扱業者から購入した資材の使用に努めるものとする。 （1） 県内産の資材がある場合は、県内産の資材を優先するものとする。 （2） 県内産の資材がなく、やむを得ず県外産の資材を使用する場合には、県内取扱業者の資材を優先するものとする。 資材を購入しようとするときは、あらかじめ購入先の名称、所在地及び資材名等を記載した主要資材購入先一覧届出書を監督職員を通じ提出するものとする。 県外産資材を県外取扱業者から購入する場合には、理由を書面にして添付するものとする。 県内産資材：①製造所の所在地が岡山県内である資材。 ②法務局に登記されている本店の所在地が岡山県内である業者。 県内取扱業者：法務局に登記されている本店の所在地が岡山県内である業者。 なお、木材については、県内の森林で伐採された木材を原料とする木製品、若しくは、岡山県の「木材業者等登録」を受けている製材業者が製材・加工した国産材木製品を県産材とし、県内産資材として取り扱う。 また、市内産資材及び市内業者の取り扱う資材がある場合は、優先して使用するよう努めること。
② 下請負業者の選定について	本工事の施工において、やむを得ず工事の一部を下請負に付す場合、下請負の相手方は市内業者から選定するよう努めるものとする。 下請負に付そうとする場合には、あらかじめ下請負人選定一覧届出書を監督職員を通じて提出するものとする。 県外業者を下請負の相手方として選定する場合には、前記の届出書に県内業者を選定しない理由を書面にして添付するものとする。 上記において、「市内業者」とは、建設業法上の「主たる営業所」の所在地が瀬戸内市内である業者のことをいう。
③ 施工体制台帳について	受注者は、工事の一部を下請負に付した場合、建設業法（昭和２４年法律第１００号）第２４条の７の規定により、施工体制台帳を作成し、工事現場に備えるとともに、その写しを監督職員に提出するものとする。 受注者は、監理技術者、監理技術者補佐、主任技術者（下請負者を含む）及び元請負者の専門技術者（専任としている場合のみ）に、工事現場内において、工事名、工期、顔写真、所属会社名及び社印の入った名札等を着用させなければならない。（監理技術者補佐は、建設業法第26条第３項ただし書きに規定する者をいう。） なお、現場での立場（監理技術者等）が明確になるよう留意するものとする。 受注者は施工体制台帳及び施工体系図に変更が生じた場合は、その都度速やかに監督職員に提出しなければならない。
4 工事実績情報の作成・登録について	受注者は、受注時または変更時において工事請負代金額が500万円以上の工事について、工事実績情報システム（コリンズ）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として作成した「登録のための確認のお願い」をコリンズから監督職員にメール送信し、監督職員の確認を受けたうえ、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、完成時は工事完成後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録をしなければならない。 登録対象は、工事請負代金額500万円以上の全ての工事とし、受注・変更・完成・訂正時にそれぞれ登録するものとする。 また、登録機関発行の「登録内容確認書」は、コリンズ登録時に監督職員にメール送信される。 なお、変更時と工事完成時の間が10日間（土曜日、日曜日、祝日等を除く）に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できる。 また、本工事の完成後において訂正または削除する場合においても同様に、コリンズから発注者にメール送信し、速やかに発注者の確認を受けた上で、登録機関に登録申請しなければならない。
5 監督検査の強化について	・ 本工事は低入札価格調査対象工事であるが、本工事が低入札価格工事となった場合、受注者は本工事及びその他岡山県発注の手持ち工事において、主要資材の確認及び不可視部分等の検査を発注者が必要と認める時点で受けなければならない。 ・ 本工事が低入札価格工事とならない場合においても、工期の重複する岡山県発注の手持ち工事の中に低入札価格工事がある場合は、主要資材の確認及び不可視部分等の検査を発注者が必要と認める時点で受けなければならない。 ・ その他検査に必要な書類等については、中間検査実施要領によるものとする。
⑥ 工期設定について	工期設定においては、雨天、休日等を見込み設定している。なお、休日等には、日曜日、祝日、夏期休暇及び年末年始休暇の他、作業期間内の全土曜日を見込んでいる。
⑦ 公害対策関係について	・ 本工事に伴う、公害防止対策のため、次の事項を指定する。 ・対象工事　解体工事 ・作業時間　解体に伴う騒音が出る作業については、事前に工程表（騒音発生時間を明示）を作成し、発注者に承諾を得ること。 ・建設機械、設備　低騒音型の機械を使用すること。 ※ 本工事において、次に示す一般建設機械８機種を使用する場合は、特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律（平成１７年法律第５１号）に基づく技術基準に適合する機械、または、排出ガス対策型建設機械指定要領（平成３年１０月８日付け建設省経機発第２４９号、最終改正平成１４年４月１日付け国総施第２７５号）、排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規定（平成１８年３月１７日付け国土交通省告示第３４８号）もしくは第３次排出ガス対策型建設機械指定要領（平成１８年３月１７日付け国総施第２１５号）に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。ただし、平成７年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業もしくは建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着した建設機械については、排出ガス対策型建設機械と同等とみなすことができる。ただし、これにより難い場合は別途監督職員と協議するものとする。 →般建設機械８機種 機種：○バックホウ　○トラクタショベル（車輪式）　○ブルドーザ　○発動発電機（可搬式）　○空気圧縮機（可搬式）　○油圧ユニット（以下に示す基礎工事用機械のうちベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの）：油圧ハンマ、バイブロハンマ、油圧式圧入引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機　○ローラ（ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ）　○ホイールクレーン（ラフテレーンクレーン） 備考：ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kW以上260kW以下）を搭載した建設機械に限る。 ※ 排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、施工計画書に記載するとともに現場代理人は施工現場において使用する建設機械が確認できる写真撮影を行い提出するものとする。 なお、排出ガス対策型建設機械に貼付けてある「指定ラベル」についても写真撮影を行い提出するものとする。 ・ 本工事箇所は、特に生活環境を保全する必要がある地域であるので、次の工種の施工に当たっては低騒音型、低振動型建設機械指定に関する規程（平成９年７月３１日付け建設省告示第１５３６号、最終改正平成１３年４月９日付け国土交通省告示第４８７号）に基づき指定されている建設機械を使用するものとする。 ・地業工事(杭)－－－－○○○○工法（又は使用機種） ・外壁改修工事－－－－ ・耐震改修工事－－－－ ※ 運搬路等については、粉塵により公衆に迷惑を及ぼすことのないよう散水防塵（○回／日程度）を実施するものとする。 ・ 本工事に伴う○○により事業損失が懸念されるため、その対策として次の調査を行うものとする。 ・調査の区分（　　） ・調査の時期（　　） ・調査方法（　　） ・調査範囲（　　）
⑧ 建設発生土について	本工事で発生する建設発生土については現場内で利用することとし、搬出する場合においては次の場所への搬出を見込んでいるが、工事間利用調整の状況によっては、設計変更の対象とする。また、現地において予定した土質及び土量等に変更があった場合は、速やかに監督職員と協議するものとする。 本工事で発生する建設発生土に混入している草木等の根等やがれきくず等（以下、「混入物」という。）については、分別・除去を行うものとし、作業場所・作業方法については、工事着手前に監督員と協議し承諾を得るものとする。なお、混入物の混入状況によっては、監督員と協議のうえ設計変更の対象とすることができる。 また、分別・除去した混入物の処理方法については同様とする。 改良土プラントは次の施設で積算しているが、受注者が積算及び搬出するプラントを指定するものではない。 なお、受注者の提示するプラント（法令等に基づいた正規な場所であること）と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、受注者の責によらない場合、及びエコ認定に係る新規プラントの参入があった場合については、監督職員と協議のうえ設計変更の対象とすることができる。

項目	特記事項
	種別：1種　搬出量：360m3　搬出先：公益財団法人　岡山県環境保全事業団　搬出時期：令和7年12月 ・ 本工事で発生する建設発生土の内○○m3の処分先については、監督職員と協議のうえ確定し、設計変更の対象とする。
⑨ 建設リサイクル法の特定建設資材廃棄物について	本工事から発生する特定建設資材廃棄物は、次の施設に搬入することを見込んでいる。その再資源化等費（処分費。なお、岡山県内で処理する場合には産業廃棄物処理税相当額、又は産業廃棄物の処理に係る税の条例が施行されている他の県で処理する場合には各県の産業廃棄物の処理に係る税相当額を含む。）については、見積単価を採用している。なお、運搬に先だち受入条件等を確認し、監督職員に報告するものとする。 種別：コンクリート塊／アスファルト・コンクリート塊／建設発生木材　数量：7.6m3　位置：岡山市南区曽根19-3　再資源化施設名称：(株)ケイ・エヌ・ビー 上記再資源化施設で積算しているが、受注者が積算及び搬入する処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設（法令等に基づいた正規な場所であること）と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によらない事項についてはこの限りでない。
⑩ その他の建設副産物について	※伐木・伐根材、建設汚泥等について 本工事から発生する伐木・伐根材、建設汚泥等は、次の施設に搬入することを見込んでいる。その再資源化等費（処分費。なお、岡山県内で処理する場合には産業廃棄物処理税相当額、又は産業廃棄物の処理に係る税の条例が施行されている他の県で処理する場合には各県の産業廃棄物の処理に係る税相当額を含む。）については、見積単価を採用している。なお、運搬に先だち受入条件等を確認し、監督職員に報告するものとする。 種別：建設発生汚泥　数量：341m3(682t)　位置：岡山市南区曽根19-3　再資源化施設名称：(株)ケイ・エヌ・ビー 上記再資源化施設で積算しているが、受注者が積算及び搬入する処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設（法令等に基づいた正規な場所であること）と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によらない事項についてはこの限りでない。 ※その他の建設副産物について 本工事から発生するその他の建設副産物は、次の施設に搬入することを見込んでいる。その処分費（岡山県内で処理する場合には産業廃棄物処理税相当額、又は産業廃棄物の処理に係る税の条例が施行されている他の県で処理する場合には各県の産業廃棄物の処理に係る税相当額を含む。）については、見積単価を採用している。なお、運搬に先だち受入条件等を確認し、監督職員に報告するものとする。 種別：○○ｔ　数量：○○市△△地内（運搬距離○○km）　位置：○○○○○　施設名称：（記入例） 上記施設で積算しているが、受注者が積算及び搬入する処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設（法令等に基づいた正規な場所であること）と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によらない事項についてはこの限りでない。
⑪ 建設汚泥について	本工事から発生する建設汚泥は、「建設汚泥の再生利用に関するガイドライン（国土交通省平成１８年６月）」「建設汚泥の再生利用に関する実施要領（国土交通省平成１８年６月）」により再資源化施設へ搬入する。 なお、これにより難い場合は、監督員と協議すること。
⑫ 不足土について	※ 本工事の不足土については、次の場所からの搬入を見込んでいるが、工事間利用調整の状況によっては、設計変更の対象とする。 改良土プラントは次の施設で積算しているが、受注者の積算及び搬入するプラントを指定するものではなく、受注者の提示するプラント（法令等に基づいた正規な場所であること）と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、受注者の責によらない場合、及びエコ認定に係る新規プラントの参入があった場合については、監督職員と協議のうえ設計変更の対象とすることができる。 真砂土等の土場は次の場所で積算しているが、受注者の積算及び土場を指定するものではなく、受注者の提示する土場（法令等に基づいた正規な場所であること）と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、受注者の責によらない場合、及び新材以外のものを搬入する場合については、監督職員と協議のうえ設計変更の対象とすることができる。 種別：第○種建設発生土／真砂土等　数量：○○m3　場所：○○市△△地内の○○工事（運搬距離○○km）　搬出時期：令和○○年○月（記入例） ※ 本工事で使用する改良土等（エコ製品）については、品質試験結果を承認願に添付して監督職員に提出するものとする。 ※ 本工事の裏込め・埋め戻しに使用する改良土等（エコ製品）の品質については、内部摩擦角○○度以上とする。
⑬ 岡山県エコ製品について	※ 本工事で使用する再生加熱アスファルト混合物（いわゆる改質アスファルト混合物を除く）、再生骨材等（再生砕石、再生砂、再生割栗石）については、「岡山県エコ製品」認定製品を使用するものとする。ただし、次の場合は、別紙「資材調達結果報告」を作成のうえ監督職員と協議を行うものとする。 再生加熱アスファルト混合：工事現場から４０km及び運搬距離１．５時間の範囲内に在庫がない場合 再生骨材等：工事現場から４０kmの範囲内に在庫がない場合 ※ 本工事で使用する資材のうち、○○○○については、岡山県エコ製品に認定された製品の使用に努めるものとする。設計単価は岡山県エコ製品を見込んでいるため、使用しない場合は、監督職員に報告し設計変更の対象とする。 ※ その他本工事で使用する資材については、「岡山県循環型社会形成推進条例」に基づき、循環資源を原料とした再生品をその性能、品質、安全性、数量、価格等について考慮の上、可能な範囲で積極的な使用に努めるものとする。 また、品質及び価格が同等である場合は、岡山県エコ製品の優先的な調達に努め、使用に当たっては監督職員の承認を得ることとし、使用する場合は設計変更の対象とする。 ※ 岡山県エコ製品の基準に適合しないと認められたとき、搬入された資材の撤去等を指示する場合がある。
⑭ アルカリ骨材反応抑制対策について	※ レディーミクストコンクリート 受注者は、高炉セメント及びフライアッシュセメントを使用したレディーミクストコンクリートを使用するときは、セメント内のスラグ及びフライアッシュ混合率を生コンクリート使用報告（承認）に記載するものとする。このとき、使用する高炉セメント及びフライアッシュセメントは、Ｂ種及びＣ種とする。その他のコンクリートを使用するときは、監督職員と協議し、アルカリ骨材反応抑制対策実施要領の２．１又は２．３を実施するものとする。 ※ コンクリート二次製品 受注者は、使用するコンクリート二次製品毎に、アルカリ骨材反応抑制対策実施要領の２．１の確認を行い、監督職員に報告すること。なお、高強度コンクリート使用の製品については、単位セメント量が多いためアルカリ総量が所定の値を満足しない場合があり、このときはアルカリ骨材反応抑制対策実施要領の２．３を実施し、監督職員に報告すること。さらに、この試験に用いる試料を採取するときは、受注者自らが立ち会うこと。 ※ 現場練りコンクリート 受注者は、アルカリ骨材反応抑制対策実施要領の２．１、２．２、２．３のいずれかを必ず実施するものとする。
⑮ 再生コンクリート砂について	本工事で使用するコンクリート塊から製造された再生砂は、平成３年８月２３日付け環境庁告示第４６号に規定されている測定方法に基づき、「六価クロム」の溶出試験を行い、監督職員の承認を得た上で使用するものとする。

項目	特記事項
⑯ 建設副産物について	受注者は、建設副産物の発生量・処理状況及び再生資材等の利用状況把握に資するために、「建設副産物実態調査（センサス）」による搬出先調査の調査を作成するものとする。対象工事は、建設副産物の有無及び搬入資材の有無に関わらず、最終請負代金額１００万円以上の全ての工事とし、調査の作成については、工事完成後調査データを「建設副産物情報交換システム（ＣＯＢＲＩＳ、コプリス）」に入力し、監督職員の確認を受け、監督職員からシステムによる「確認済みマーク」の付与を受けるものとする。 受注者は、下表に該当する資材の搬入、指定副産物の搬出が生じる建設工事については、「資源有効利用促進法」（以下「リサイクル法」という。）によりＣＯＢＲＩＳを用いて再生資源利用計画書・再生資源利用促進計画書を作成し、監督員に提出すること。なお、受注者は、計画書及び実施状況の記録を工事完成後５年間保存すること。 また、法令等に基づき、現場掲示用の再生資源利用計画書・再生資源利用促進計画書を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げること。なお、計画書の現場掲示様式についても、ＣＯＢＲＩＳを用いて作成すること。 再生資源利用計画書：次のような建設資材を搬入する建設工事　１．土砂・・・・・・・・・・・５００m3以上　２．砕石・・・・・・・・・・・５００t以上　３．加熱アスファルト混合物・・２００t以上 再生資源利用促進計画書：次のような指定副産物を搬出する建設工事　１．土砂・・・・・・・・・５００m3以上　２．コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥、建設混合廃棄物※　合計２００t以上 ※建設汚泥、建設混合廃棄物については、リサイクル法で定められている品目ではないが、調査対象となる工事の中で、これらの品目が発生する場合には、併せて調査を実施するものとする。 なお、コプリスへの登録費用は現場管理費に含まれている。　【別途、一般仕様書を参照のこと。】
17 建設リサイクル法について	「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（以下「建設リサイクル法」という。）」について 特定建設資材（コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト・コンクリート）を使用する工事、又は特定建設資材廃棄物（コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材）が発生する工事全てを「建設リサイクル推進工事（以下「推進工事」という。）」と位置づけ、建設リサイクル法施行令第２条第１項の規定による建設工事の規模に関する基準を満たさない工事についても、建設リサイクル法の規定を準用する（但し、罰則規定は除く）。 ① 「推進工事」においては、建設リサイクル法第１２条第１項に規定する説明事項（分別解体等の方法・解体工事に要する費用・再資源化等をするための施設の名称及び所在地・特定建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用等）について、契約書を提出する前に別に定める「通知に係る事前説明事項」の書面を監督職員に提出し協議するものとする。 ② 「推進工事」の契約書７に掲げる「別紙の通り」の「別紙」とは、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第１３条及び特定建設資材に係る分別解体等に関する省令第４条の規定による書面」とする。 ③ 受注者は、「推進工事」において「建設業の許可票」若しくは「解体工事業者登録票」の標識に下図スチカーを貼付しなければならない。 ④ 受注者は、「推進工事」において監督職員から建設リサイクル法第１１条に規定される「通知」が完了した旨の回答があるまでの間、当該工事に着手してはならない。 ⑤ 受注者は、現契約が「推進工事」以外の工事で、工事着手後、現場条件等により「推進工事」となる場合は、監督職員と速やかに協議し、④と同様、監督職員からの回答があるまでの間、当該工事に着手してはならない。 ⑥ 受注者は、「推進工事」において、当初契約時に記載した再資源化等施設と異なる施設で再資源化等を行う際には、監督職員と協議を行わなければならない。 ⑦ 受注者は、「推進工事」における特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、再資源化等報告書を監督職員に提出しなければならない。 「推進工事」（ステッカー）　例 通知年月日 令和　年　月　日 建設リサイクル推進工事 岡山県 注）通知が終了後、監督職員が交付。
18 火災保険等の時期、金額	・普通火災保険に付すべき時期及び金額 ① 工事出来形（検査済工事材料を含む）が５０％になった際に請負代金額の８０％相当額の保険に付するものとし、その後、工事出来形（検査済工事材料を含む）が８０％になった際に請負代金額相当の保険金額となるよう付するものとする。 なお、木造の対象物に対しては、工事出来形（検査済工事材料を含む）が２０％になった際に請負代金額となるよう付するものとする。 ② 初回の付保時期において請負代金額相当の保険金額を付することができるものとする。 ③ 建設工事保険その他の保険を付する場合は、上記①及び②に準ずるものとする。 ④ 保険の期限は、工事完成時期に１４日を加えた期日までとする。ただし、工事が遅延した場合には、その期限も遅延日数に応じて延長するものとする。　＜工事請負契約書第60条関係＞ ・修繕又は模様替等の工事は次による。 ① 請負契約の工事範囲については、請負契約金額に相当する補償額となる保険契約を対象として、工事の着手前に保険契約を締結するものとする。 ② 同一敷地内にある工事範囲外の既設建築物については、監督職員が特に必要と認めた場合を除き付さないものとする。 ③ 保険の期限は、工期末日に１４日を加えた期日までとする。ただし、工事が遅延した場合には、その期限も遅延日数に応じて延長するものとする。　＜工事請負契約書第60条関係＞
19 部分使用について	適用 発注者が、引渡し前において、受注者の承諾を得て使用する工事目的物の部分。 使用する部分（　　） 使用する時期（　　）　＜工事請負契約書第35条関係＞
20 部分引渡しについて	適用 発注者が、工事の完成に先立って部分的に引渡しを受ける部分。 引渡しを受ける部分（　　） 引渡しを受ける時期（　　）　＜工事請負契約書第40条関係＞
21 専任指導技術者の配置について	総合評価（特別簡易型）一般競争入札（条件付）による入札※で、専任指導技術者の配置を申請し、落札者となった場合の特記事項は以下のとおりである。 ※ 入札公告において「専任指導技術者の配置を申請することができる」とされている入札に限る。 ① 契約後は、監理技術者又は主任技術者（以下「監理技術者等」という。）に加えて、配置予定技術者調書（別記様式２－２）に記載した専任指導技術者を配置し、現場代理人等の指名通知書と併せて「専任指導技術者配置届」を提出すること。 ② 専任指導技術者は専任で配置し、工事の全期間に渡り監理技術者等を指導補助すること。ただし、監理技術者等の専任が必要とされない期間は、専任指導技術者については専任であることを要しない。 ③ 病休、死亡、退職等特別な理由以外により配置予定技術者調書（別記様式２－２）に記載した専任指導技術者を配置できない場合（専任で配置すべきところを専任で配置できない場合を含む）は、工事成績評定を３点減ずるとともに、指名停止等の措置を行う場合がある。（契約締結前にあっては、契約を締結しないとともに、指名停止等の措置を行う場合がある。） また、病休、死亡、退職等特別な理由により配置予定技術者調書（別記様式２－２）に記載した専任指導技術者が工期の途中で交代した場合は、交代後の専任指導技術者について、改めて評価を行うものとし、当該評価による得点の小計が交代前の専任指導技術者の得点の小計未満となったときは、工事成績評定を２点減ずる。（上記の特別な理由以外での専任指導技術者の交代は認めない。） ④ 工事完了後の監理技術者等としての施工実績及び工事成績は、監理技術者等となった技術者にのみ付与する。
22 住宅瑕疵担保履行法による資力確保措置について	本工事における次の棟は特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律（平成19年法律第66号）に基づく資力確保措置が義務付けられている。なお、資力確保の措置については、○○○○○○○○○○○○○工事で行うものとする。 ・○○○○棟　・○○○○棟　・○○○○棟
23 架空線及び架空電線の防護措置について	架空線及び架空電線の防護措置に係る費用は計上していないが、契約後、発注者、受注者及びＮＴＴ又は中国電力の協議により必要となった場合は、設計変更の対象とする。 防護措置に係る協議等については、ＮＴＴ又は中国電力への依頼は受注者が行うこととする。また、協議は、受注者の施工計画書作成段階において行うこととする。
24 建設キャリアアップシステム(CCUS)の活用について	※ 本工事は、建設キャリアアップシステム（以下「CCUS」という。）活用工事（受注者希望型）の対象工事である。 ※ 受注者は、契約締結後、工事着手前にCCUS活用の希望の有無を工事打合簿にて発注者へ報告しなければならない。 ※ CCUSを活用する受注者は、「建設キャリアアップシステム(CCUS)活用工事試行要領」（以下「要領」という。）によるほか、「建設キャリアアップシステム現場運用マニュアル」（一般財団法人建設業振興基金）等を参照し、適正に実施すること。なお、要領は、岡山県ホームページ（ https://www.pref.okayama.jp/soshiki/60/ ）を確認すること。

項目	特記事項
25 その他	※ 下請契約における発注者の指導について ① この契約に係る工事の的確な施工を確保するため、下請契約を締結しようとする場合は、下請契約における注文者・下請契約における受注者との合理化が図られるよう、「建設産業における生産システム合理化指針」の趣旨により、下請契約における受注者の適正な選定、合理的な下請契約の締結、請負代金支払等の適正な履行、下請における雇用管理等への指導を行い、本指針の遵守に努めるものとする。 ② 中小建設業者に対する取引条件の適正化及び資金繰りの安定化等に資するため、下請契約における注文者は、下請契約における受注者に対しては、発注者から受取った前払い金の均てん、請負代金における現金比率の改善、手形期間の短縮等請負代金支払の適正化について配慮するものとする。 ※ 建設資材納入業者との契約について この契約に係る建設資材納入業者との契約に当たっては、当該業者の利益を不当に害しないよう公正な取引を確保するよう努めるものとする。 ※ ゴム製品等の品質確認等 受注者は、東洋ゴム化工品（株）、ニッタ化工品（株）（以下「同社」という。）で製造された製品や材料（建築防水資材等）を用いる場合には、同社が製造するゴム製品等に対して受注者が指定した第三者（同社と資金面・人事面で関係がない者）によって作成された品質を証明する書類を提出し、監督員の確認を得るものとする。 なお、第三者による品質証明書類を提出し、監督員の確認を得た場合であっても、後に製品不良等が判明した場合に受注者の瑕疵担保責任が免責されるものではない。 ※ ~~建設業退職金共済組合等への加入等~~　【別途、現場説明書を参照のこと。】 ~~① 建設業者は、建設業退職金共済組合（以下「組合」という。）等に加入するとともに、その建設業退職金共済組合制度等の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼付するものとする。~~ ~~② 建設業者が下請契約を締結する際は、当該契約の受注者に対して、その制度の趣旨を説明し、掛金相当額を請負代金中に算入することにより、当該受注者の組合加入並びに証紙の購入及び貼付けを促進するものとする。~~ ~~③ 受注者は、組合から工事現場に建設業退職金制度適用事業主の工事現場である旨を明示する標識の掲示について要請があった場合には、特別の事情がある場合を除き、これに協力をするものとする。~~ ※ 建設業法等の遵守について ① 建設業法（ 昭和２４年法律第１００号）に違反する一括下請負、その他不適切な形態の下請契約を締結してはならない。 ② 建設業法第２６条の規定により受注者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の主任技術者又は専任の監理技術者については、適切な資格、技術力等を有する者（他の工事現場に係る職務を兼務せず、常時継続的に当該工事現場に係る職務にのみ従事している者で、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあるものに限る）を配置するものとする。 ③ 受注者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の監理技術者は、監理技術者資格者証の交付を受けている者であって、監理技術者講習を過去５年以内に受講した者を配置するものとする。この場合において、発注者から請求があったときは、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を提示するものとする。 ④ 上記①、②及び③のほか、建設業法等に抵触する行為は行なってはならない。 ※ 建設業からの暴力団の排除の徹底について 工事の施工に際して、暴力団等からのあらゆる不正な要求に対し断固としてこれを拒否し、また被害に対しては、すみやかに警察に通報するとともに捜査上必要な協力を行わなければならない。 また、監督職員とも連絡を密にとり工程等被害が生じた場合は、協議を行うものとする。 ※ ~~労働基準法の遵守~~　【別途、現場説明書を参照のこと。】 ~~この契約に係る工事の施工にあたっては、労働基準法の趣旨に則り、労働時間について適守するよう努めなければならない。~~ ※ 不正軽油の排除について 本工事に伴い、ディーゼルエンジン仕様の自動車及び建設機械等を使用する場合は、規格（ＪＩＳ）に合った軽油を使用するものとする。 また、調査のため建設機械等から燃料を採取する場合には、監督職員の指示によりこれに協力しなければならない。 ※ 受注者は、設計図書、仕様書に明示のない事項、その内容に疑義を生じた場合及び設計図書と工事現場の状態が一致しない時は、直ちに監督職員に連絡し、その指示を受けて施工するものとする。 ※ 公共事業労務費調査に対する協力 ① 本工事が公共事業労務費調査の対象工事となった場合は、受注者は、調査票等に必要事項を正確に記入し提出する等、必要な協力を行わなければならない。また、本工事の工期経過後においても、同様とする。 ② 受注者は、調査票等を提出した事業所を事後に訪問して行う調査・指導の対象になった場合、その実施に協力しなければならない。また、本工事の工期経過後においても、同様とする。 ③ 受注者は、公共事業労務費調査の対象工事となった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従って就業規則を作成するとともに共に賃金台帳を調製・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておかなければならない。 ④ 受注者は、本工事の一部について下請契約を締結する場合は、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）が③と同様の義務を負う旨を定めなければならない。 ※ 受注者は、レディーミクストコンクリートに関しては、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者が常駐しており、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる工場（全国生コンクリート品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等）の製品を用いなければならない。 ※ 受注者は、本工事に係る工事監理業務を委託する場合があるので、当該業務を受注した工事監理者が業務の履行に必要な範囲で行う求めに対し、適切これに応じなければならない。 ※ ~~受注者は、（公財）建設技術センター等の現場技術員が監督職員に代わり施工体制の点検や監督職員の補助を行うことがあるので、現場技術員から点検等を求められた場合には、適切にこれに応じなければならない。~~ ※ 単品スライド条項について 単品スライド条項の鋼材費については スクラップ費を含む。 ※ 本工事現場に配置する現場代理人については、次の要件を全て満たしていなければならない。 ① 受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係があること。（健康保険被保険者証の写し等で確認を行う。） ② 建設業法（昭和２４年法律第１００号）第７条第２号又は第１５条第２号に規定する営業所の専任技術者でないこと。 ※ ダンプトラック等の適正な使用について 当該工事にかかる土砂等の運搬が運送契約によって行われるときは、正規の運転免許を受けた者の車両に限って使用するものとする。 ※ ダンプトラック等による過積載の防止について ① 工事用資機材等の積載超過のないようにすること。 ② 過積載を行っている資材納入業者から資材を購入しないこと。 ③ ダンプカーのさし枠装着車等による違法運行は行わないこと。 ・ 工事請負代金の支払いについて ・本工事における請負代金の支払いは、令和○○年○月○日以降とする。 ・契約を締結する会計年度（令和○○年度）の工事請負代金の支払いは、前払率以内とする。また、前払金については、契約会計年度（令和○○年度）に、翌会計年度（令和○○年度）の前払金を含めて支払いを行う。 ※ 設計変更ガイドライン等の遵守義務づけについて 設計変更等については、工事請負契約書第１８条～第２４条に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「岡山県設計変更ガイドライン（公共建築工事）」によることとする。 ※ 労災補償に必要な保険の付与について 本工事において、受注者は労災補償に必要な任意の保険契約を締結するよう努めること。なお、この労災補償に必要な保険料を予定価格に反映している。 ※ 墜落制止用器具の着用について 労働安全衛生法施行令第13条第３項第28号における墜落制止用器具の着用は、「墜落制止用器具の規格」（平成31年１月25日厚生労働省告示第11号）による墜落制止用器具（フルハーネス型墜落制止用器具、胴ベルト型墜落制止用器具及びランヤード等）とする。
26 コンクリートの構造体強度補正等の適用期間について	打込みから材齢28日までの予想平均気温の範囲（普通ポルトランドセメント、混合セメントのA種）：S℃以上 3 / 0℃以上S℃未満 6 / 0℃以下 6 構造体強度補正値(S)(N/mm2)：25℃超 3 / 25℃以下 6 / 構造体強度補正値(S)(N/mm2) 6 暑中コンクリートの適用期間：7月9日 ～ 9月8日 寒中コンクリートの適用期間：1月21日 ～ 2月10日 瀬戸内市（旧邑久町）：3月5日 ～11月21日　11月22日～ 3月4日

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事

岡山県共通特記仕様書

A1 S=N/S　A3 S=N/S　A　06

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

工事区分表

区分は ⊙ 印がついたものを適用する。 ⊙ 印がつかない場合は、※印のついたものを適用する。

⊙ 印と ㊟ 印がついた場合は、共に適用する。

○躯体関係

項目		建築	電気	機械	昇降機	別途		備考
1 ＲＣ造（梁・壁・床）の貫通・開口部	貫通スリーブ	※	※	※	・			
	貫通スリーブの補強	※	・	・	・			
	開口補強を要する型枠材及び取付け	※	※	※	・			
	開口部の補強	※	・	・	・			
	開口補強を要しない型枠材及び取付け	※	※	※	・			
	貫通孔・開口部の墨出し	※	※	※	※			
	スリーブ・型枠の穴埋め	※	※	※	※			
	不要開口部の穴埋・補修（荒埋め）	※	・	・	・			
	既存電気配管貫通部穴埋（荒埋め）	・	※	・	・			
	既存機械配管貫通部穴埋（荒埋め）	・	・	※	・			
	電気配管用貫通口機械はつり	・	※	・	・			
	機械配管用貫通口機械はつり	・	・	※	・			
2 Ｓ・ＳＲＣ造（梁・壁・床）の貫通・開口部	Ｓ・ＳＲＣ造鉄骨貫通鋼管スリーブ・補強	※	・	・	・			
	開口補強を要する型枠材及び取付け	※	※	※	・			
	開口部の補強	※	・	・	・			
	開口補強を要しない型枠材及び取付け	※	※	※	・			
	貫通スリーブ（工場施工部分）	※	・	・	・			
	貫通スリーブ（工場施工部分以外）	※	※	※	・			
	貫通孔・開口部の墨出し	※	・	・	・			
	スリーブ・型枠の穴埋め	※	※	※	※			
	予備スリーブの穴埋め	※	・	・	・			
	不要開口部の穴埋・補修（穴埋め）	※	・	・	・			
	既存電気配管貫通部穴埋（穴埋め）	・	※	・	・			
	既存機械配管貫通部穴埋（穴埋め）	・	・	※	・			
	電気配管用貫通口機械はつり	・	※	・	・			
	機械配管用貫通口機械はつり	・	・	※	・			
3 設備機器の基礎	屋上設置の基礎	※	・	・	・			
	屋上基礎で押さえコンクリートにアンカーしない軽微なもの	・	※	※	・			
	室内設置の基礎	※	・	・	・			
	室内設置の基礎（電気・自家発室）	※	・	・	・			
	受水槽基礎	※	・	・	・			
	屋外設置の基礎（個別エアコン基礎を除く）	※	・	※	・	※		特記による
	機器取付け用アンカー・架台	・	※	※	・	※		特記による
4 防火区画の貫通	防火区画の貫通処理	※	※	※	※			
5 昇降機関連	昇降路（及び機械室）の築造	※	・	・	・			
	昇降路内（又は機械室天井）のフック設置	※	・	・	・			
	ピットの防水仕上げ	※	・	・	・			
	各階出入口三方枠及び位置表示器・乗場ボタン取付け用開口部の仮枠穴開け	※	・	・	・			
	三方枠・出入口扉	・	・	・	※			
	乗り場敷居受け	※	・	・	・			
	乗り場機器取付け後の壁・床・天井仕上げ	※	・	・	・			
	昇降路がＲＣ造の時の軌条・中間ビームブラケット他昇降路内の鉄部材一式	・	・	・	※			
	昇降路がＳ造の時の中間ビームブラケット受けピース、ファスナー	※	・	・	・			
	昇降路がＳ造の時のブラケット受け・中間ビーム・ファスナー以外の昇降路内の鉄部材一式	・	・	・	※			
	電源及び接地線工事	・	※	・	・			
	機械室・ピット内の点検用コンセント	・	※	・	・			
	煙感知器設置工事	・	※	・	・			
	停電時非常電源識別接点引込工事み	・	※	・	・			
	火災時識別リレー接点引込み工事	・	※	・	・			
	放送用信号線引込み工事	・	※	・	・			
	エレベーター監視盤への電源引込み工事	・	※	・	・			
	インターホン・エレベーター監視盤の昇降路外配管工事	・	※	・	・			
	同上配線工事	・	・	・	※			
	ピット点検用タラップ	・	・	・	※			
	機械室の配管用コンクリート及び床用防塵塗料	※	・	・	・			
	機械室床の機器搬入口の仮枠・補強及び復旧	※	・	・	・			
	機械室床のロープ用穴等の仮枠穴あけ	※	・	・	・			
	機械室マシンビーム受け梁設置	※	・	・	・			
	機械室換気設備工事	・	・	※	・			
	機械室照明設備工事	・	※	・	・			
	設備機器メンテナンス歩廊	※	・	・	・			

○コンクリートブロック・ＡＬＣパネル・押出成形セメント板関係

項目		建築	電気	機械	昇降機	別途		備考
1 ＡＬＣ・ＥＣＰの開口部	出入口・窓等の開口	※	・	・	・			
	設備用開口	※	・	・	・			
	上記開口補強	※	・	・	・			

○仕上げ関係

項目		建築	電気	機械	昇降機	別途		備考
1 軽鉄天井・壁下地	建築部材用開口部の墨出し	※	・	・	・			
	電気機器用開口部の墨出し	・	※	・	・			
	機械機器用開口部の墨出し	・	・	※	・			
	軽鉄の切込み	※	・	・	・			
	軽鉄の開口補強	※	・	・	・			
	補強を要しないボードの切込み	※	※	※	・			
	補強を要するボードの切込み及び下地の補強	※	・	・	・			
	リブ天井仕上げ材の機器廻り取合い	※	・	・	・			
	総合図の作成	※	※	※	・			
2 既製間仕切り	切り込み補強	※	・	・	・			
	位置ボックス	・	※	※	・			
	衛生機具類・機器類取付要壁補強	※	・	・	・			
	総合図の作成	※	※	※	・			
3 吊りボルト及びインサート	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用	・	※	※	・			
	~~Ｓ造の場合設備吊りボルト用構造部材~~	※	・	・	・			
	吊りボルト及びインサート墨出し	・	※	※	・			
4 外壁廻り	外壁ガラリ及びダクト接続用フランジ	※	・	・	・			
	ウエザーカバー、ベンドキャップ	・	・	※	・			
	換気扇・天井扇	・	・	※	・			
	換気扇用枠・天井扇取付枠	・	・	※	・			
	換気扇取付用アルミパネル	※	・	・	・			
	上記開口加工	※	・	・	・			
	外壁材、穴あけ、補強	※	・	・	・			
5 湯沸室廻り	流し台	※	・	・	・			
	同上用水栓	・	・	※	・			
	吊り戸棚・コンロ台	※	・	・	・			
	湯沸器	・	・	※	・			
	既製品レンジフード換気扇	※	・	・	・			
	同上ダクト、ダクト接続	・	・	※	・			
	衛生、ガス配管接続	・	・	※	・			
6 便所廻り	~~洗面器用カウンター~~	※	・	・	・			
	~~同上切込み~~	※	・	・	・			
	鏡（Ｗ６００×Ｈ８００まで）【既製品】	・	・	※	・			
	鏡（Ｗ６００×Ｈ８００を超えるもの）	※	・	・	・			
	~~鏡（ステンレス製）~~	※	・	・	・			
	衛生陶器及び水栓類	・	・	※	・			
	手すり（便所内）	・	・	※	・			
	器具取付用壁下地補強	※	・	・	・			
	ペーパーホルダー	・	・	※	・			
	トイレ用タオル掛け	・	・	※	・			
7 浴室廻り	ユニットバス・ユニットシャワー	※	・	・	・			
	同上出入口壁取合い部枠	※	・	・	・			
	同上用水栓	※	・	・	・			
	ユニットバス換気扇（２部屋対応換気扇）	※	・	・	・			
	同上ダクト、ダクト接続	・	・	※	・			
	既製品浴槽（風呂蓋含む）	※	・	・	・			
	浴槽・洗い場の排水金物	・	・	※	・			
	洗濯機パン、洗濯機用排水金物	・	・	※	・			
	洗面化粧台	※	・	・	・			
	脱衣用タオル掛け	・	・	※	・			
8 集会室廻り	ドアガラリ・アンダーカット	※	・	・	・			
	フリーアクセスフロアの切込み及び補強	※	・	・	・			
	フリーアクセスフロア用マーカー	・	※	・	・			
9 その他	２重ピット及びトレンチのマンホール蓋	※	・	・	・			
	機器搬入用フック、ビーム	※	・	・	・			
	化粧マンホール上蓋及び蓋の仕上げ	※	・	・	・			屋外は除く
	点検口（天井・床下・壁）	※	・	・	・			
	排煙口等の天井仕上げ材の取付け	・	・	※	・			
	自動閉鎖装置を取付ける防火戸の切込み補強	※	・	・	・			
	消火器ＢＯＸ（消火器共）	※	・	・	・			
	~~厨房用グリーストラップ~~	・	・	※	・			
	トラフ・ピット類（蓋を含む）	※	・	・	・			
	上記蓋貫通配管部加工	※	・	・	・			
	~~地下各水槽躯体及び防水・マンホール・タラップ~~	※	・	・	・			
	~~油サービスタンク及びポンプの防油堤~~	※	・	・	・			
	フリーアクセスフロア内の防水堤	※	・	・	・			
	~~電気錠~~	※	・	・	・			
	カーテンレール	※	・	・	・			
10 補修・仕上げ	不要開口部のモルタル仕上	※	・	・	・			
	既存電気配管貫通部モルタル仕上	※	・	・	・			
	既存機械配管貫通部モルタル仕上	※	・	・	・			
	上記（床・内壁・外壁・天井）仕上材塗り補修	※	・	・	・			

○屋外排水設備・外構

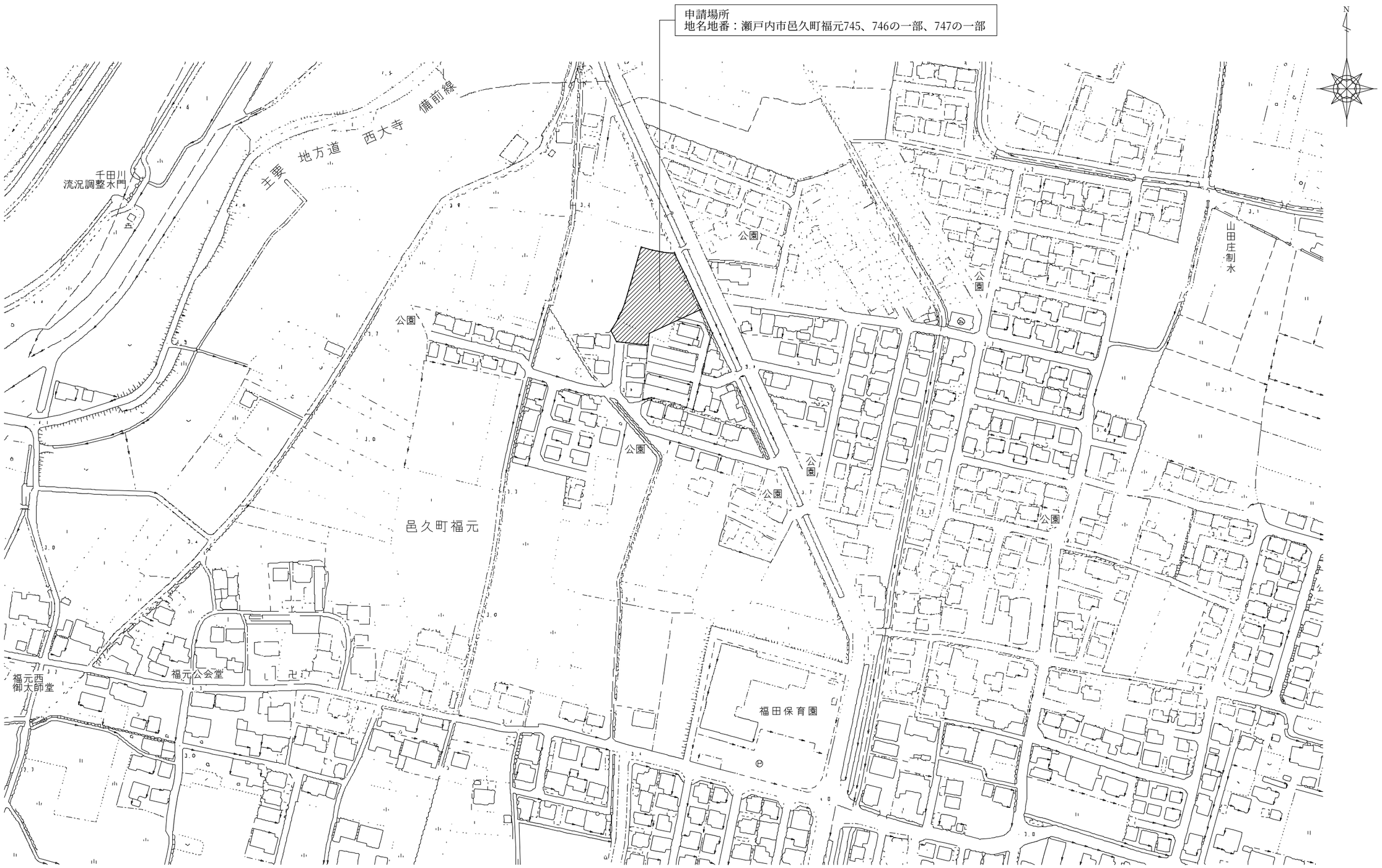
項目		建築	電気	機械	昇降機	別途		備考
1 雨水	屋外雨水排水設備（開渠）	※	・	・	・			
	屋外雨水排水設備（暗渠）	※	・	・	・			
	桝及び桝蓋	※	・	・	・			
	ルーフドレイン	※	・	・	・			
	たて樋	※	・	・	・			
	横引配管（たて樋から第一桝まで）	※	・	・	・			
	道路側溝接続	※	・	・	・			
	同上舗装	※	・	・	・			
2 雑排水・汚水	屋外雑排水及び屋外汚水排水設備	・	・	※	・			
	桝及び桝蓋	・	・	※	・			
	化粧マンホール上蓋及び蓋の仕上	※	・	・	・			
3 煙突	煙突	※	・	・	・			
	発電機室から煙突までの排気管	・	※	・	・			
	煙道接続用スリーブ	※	・	・	・			
4 浄化槽の躯体	現場施工形	※	・	・	・			
	ユニット形	・	・	※	・			
	土留め工事	・	・	※	・			
5 地下貯油槽（タンク室を設ける場合）	タンク室の躯体	※	・	・	・			
	タンク室の乾燥砂充填	・	※	※	・			
	タンク室のタンク本体及び配管	・	※	※	・			
	タンク室を設けない場合のタンク及び設置工事	・	※	※	・			
	土留め関係工事	・	※	※	・			
6 道路舗装	既存舗装部　カッター入・はつり撤去	※	・	・	・			
	舗装部撤去後、復旧及び新設	※	・	・	・			
7 その他	既設給水本管からの分岐引込工事	・	・	※	・			
	既設下水管及び下水桝接続工事	・	・	※	・			
	給水本管からの引込工事　負担金	・	・	・	・	※		
	下水桝接続工事　負担金	・	・	・	・	※		
	メーター取付　負担金	・	・	・	・	※		

○電気配線配管

項目	建築	電気	機械	昇降機	別途		備考
機器付属の制御盤以降の配管配線（設置線共）	・	・	※	※			
機器付属品の制御盤への電源供給配管配線	・	※	・	・			
自動制御と動力盤との電源供給の渡り配管配線	・	※	・	・			
~~自動扉への電源供給~~	・	※	・	・			
~~自動扉キースイッチ及び配管~~	・	※	・	・			
~~電動シャッター電源供給~~	・	※	・	・			
~~電動シャッター操作スイッチ用位置ボックス及び配管~~	・	※	・	・			
~~電動シャッター本体・操作スイッチ及びその間の配線~~ ㊟	・	・	・	・			
室内機と屋外機の渡り（連絡）配線	・	・	※	・			
機器と付属操作スイッチの位置ボックスとその渡り配管	・	※	・	・			
機器と操作スイッチの渡り配線	・	・	※				
小便器用節水装置への電源供給	・	※	・	・			
注油口内アース端子よりアース用配管配線	・	※	・	・			
防火戸の連動制御器・煙感知器・吸着板・ラッチ受座の取付け	・	※	・	・			
上記の配線	・	※	・	・			
~~防火・防煙シャッター及び二次側配線~~	※	・	・	・			
~~上記連動制御器・煙感知器の取付け及び配線~~	・	※	・	・			
~~防煙ダンパー~~	・	・	※	・			
~~上記連動制御器・煙感知器の取付け及び配線~~	・	※	・	・			
~~排煙口~~	・	・	※	・			
~~上記連動制御器・煙感知器の取付け及び配線~~	・	※	・	・			
~~電気錠への電源供給~~	・	※	・	・			
避雷導体間の接続工事	・	※	・	・			
ガス遮断弁の操作、制御配線用配管	・	※	・	・			
換気扇等、空調室内機、室外機電源	・	※	・	・			
リモコン配線	・	・	※	・			
同上用位置ボックスの配管	・	※	・	・			
室内機間の制御配線	・	・	※	・			
換気扇のＯＮ－ＯＦＦスイッチ	・	※	・	・			
換気扇の２４時間換気スイッチ	・	・	※	・			電気設備に支給 本体は機械設備 同取付は電気設備とする

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=N/S A3 S=N/S		A
工事区分表			07

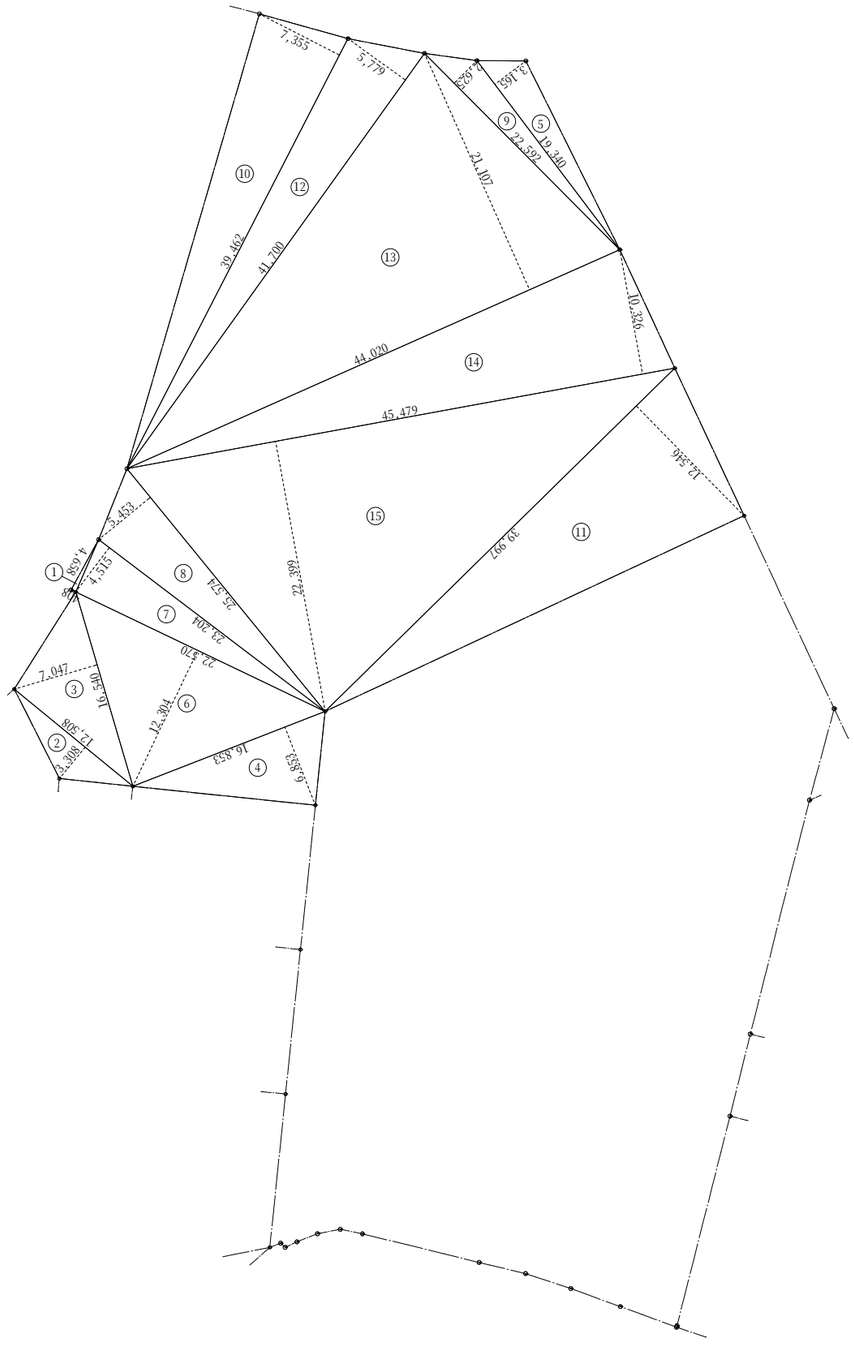
（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号 TEL086-244-0173
１級建築士事務所 岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録 第１１８２３６号 大石雅弘



付近見取図　(A1) S=1/1250
(A3) S=1/2500

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/1250 A3 S=1/2500	A
付近見取図		08

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

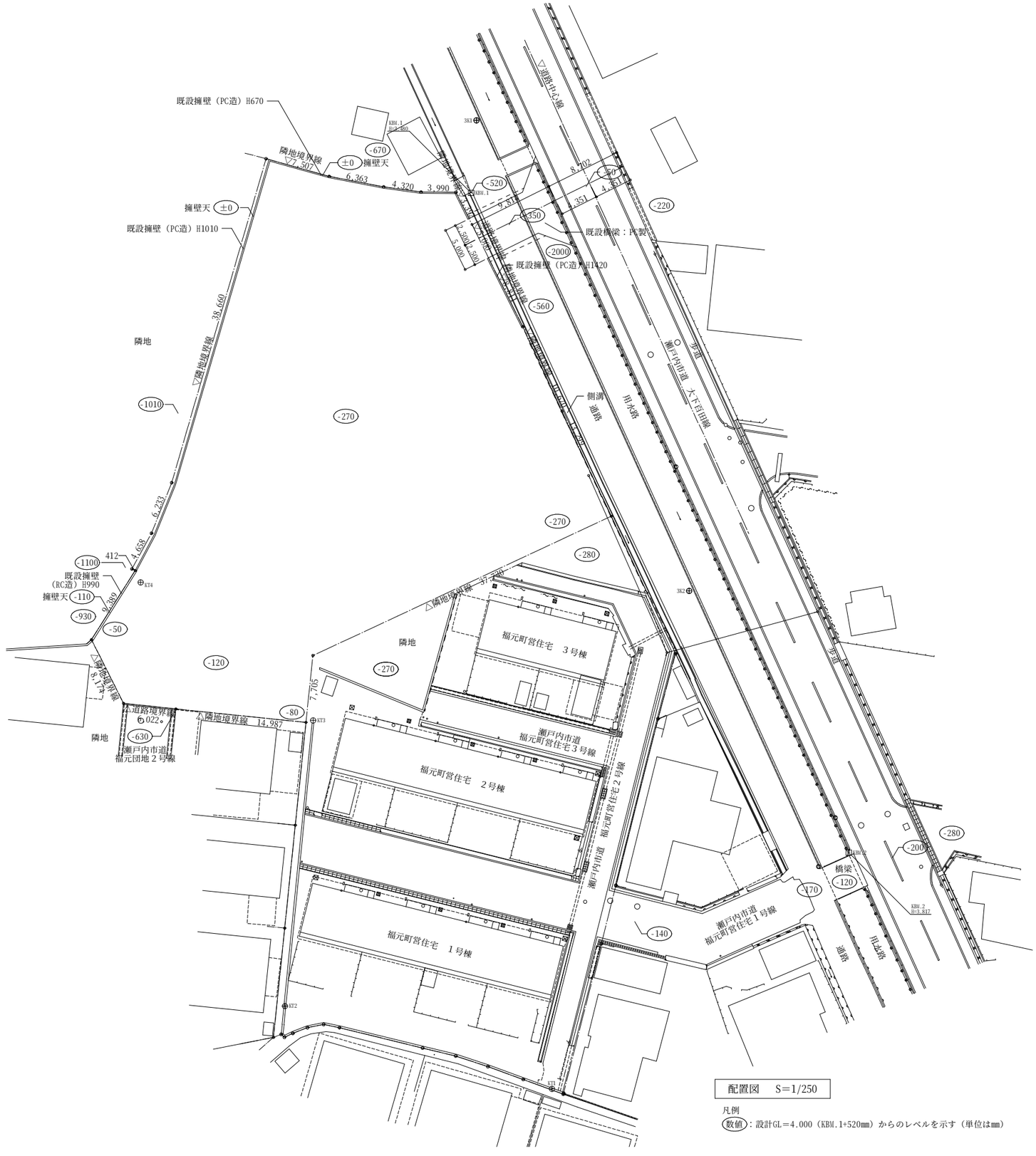


記号	計算式(mm)	面積(㎡)
①	4,658 × 408 ÷ 2	0.950
②	12,508 × 3,308 ÷ 2	20.688
③	16,540 × 7,047 ÷ 2	58.279
④	16,853 × 6,853 ÷ 2	57.747
⑤	19,340 × 3,165 ÷ 2	30.606
⑥	22,570 × 12,304 ÷ 2	138.851
⑦	23,204 × 4,515 ÷ 2	52.383
⑧	25,574 × 5,453 ÷ 2	69.728
⑨	22,592 × 2,625 ÷ 2	29.652
⑩	39,462 × 7,355 ÷ 2	145.122
⑪	39,997 × 12,546 ÷ 2	250.901
⑫	41,700 × 5,779 ÷ 2	120.492
⑬	44,020 × 21,107 ÷ 2	464.565
⑭	45,479 × 10,326 ÷ 2	234.808
⑮	45,479 × 22,399 ÷ 2	509.342
合計面積		2,184.11
敷地面積		2,184.11

敷地面積求積図　S＝1/250

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S＝1/250 A3 S＝1/500				A
敷地面積求積図					09

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘


既設擁壁（PC造）H670
隣地境界線
7,507
±0
擁壁天
-670
6,363
4,320
3,990
-520
9,514
-350
既設擁壁（PC造）H1420
-2000
-560
既設擁壁（PC造）H1010
擁壁天
±0
隣地
38,660
-1010
6,233
4,658
412
-1100
既設擁壁
（RC造）H990
擁壁天
-110
9,389
-930
-50
-120
8,174
-80
14,987
-630
隣地
瀬戸内市道
福元団地２号線
-270
-280
隣地境界線
31,
隣地
福元町営住宅　３号棟
瀬戸内市道
福元町営住宅３号線
福元町営住宅　２号棟
瀬戸内市道
福元町営住宅２号線
福元町営住宅　１号棟
7,705
KBM.1
H=3.480
3H1
3H2
KT1
KT2
KT3
KT4
△道路境界線
△隣地境界線
△隣地境界線
△隣地

申請外建物３
アルミ造 平屋建 その他建築物
（主要構造部・屋根材：不燃材料）

用途　　：自転車置場
最高高さ：　2.373m
最高軒高：　2.310m
建築面積：　11.16㎡
延床面積：　11.16㎡

申請外建物２
アルミ造 平屋建 その他建築物
（主要構造部・屋根材：不燃材料）

用途　　：自転車置場
最高高さ：　2.403m
最高軒高：　2.340m
建築面積：　11.16㎡
延床面積：　11.16㎡

申請建物１
RC造 4階建 耐火建築物

用途　　：市営住宅
最高高さ：　13.350m
最高軒高：　12.850m
建築面積：　489.89㎡
延床面積：1,334.43㎡

申請外建物４
アルミ造 平屋建 その他建築物

用途　　：ゴミ置場
最高高さ：　2.007m
最高軒高：　2.007m
建築面積：　4.00㎡
延床面積：　4.00㎡

配置図　S=1/250

凡例
数値：設計GL＝4.000（KBM.1+520mm）からのレベルを示す（単位はmm）

申請場所：瀬戸内市邑久町福元745、746の一部、747の一部
敷地面積：2,184.11m2
都市計画区域外
用途地域無し
防火地域等無し

●高さの基準
・KBM.1＝3.480
・KBM.2＝3.817
・設計GL＝4.000（KBM.1+520mm）とする
・市営住宅A棟1FL＝4.500（設計GL+500mm）とする

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/250 A3 S=1/500	A
全体配置図		11

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

申請外建物２
アルミ造 平屋建 その他建築物
（主要構造部・屋根材：不燃材料）

用途　　：自転車置場
最高高さ：　2.403m
最高軒高：　2.340m
建築面積：　11.16㎡
延床面積：　11.16㎡

申請外建物３
アルミ造 平屋建 その他建築物
（主要構造部・屋根材：不燃材料）

用途　　：自転車置場
最高高さ：　2.373m
最高軒高：　2.310m
建築面積：　11.16㎡
延床面積：　11.16㎡

申請外建物４
アルミ造 平屋建 その他建築物

用途　　：ゴミ置場
最高高さ：　2.007m
最高軒高：　2.007m
建築面積：　4.00㎡
延床面積：　4.00㎡

申請建物１
RC造 4階建 耐火建築物

用途　　：市営住宅
最高高さ：　13.350m
最高軒高：　12.850m
建築面積：　489.89㎡
延床面積：1,334.43㎡

配置図　　S＝1/150

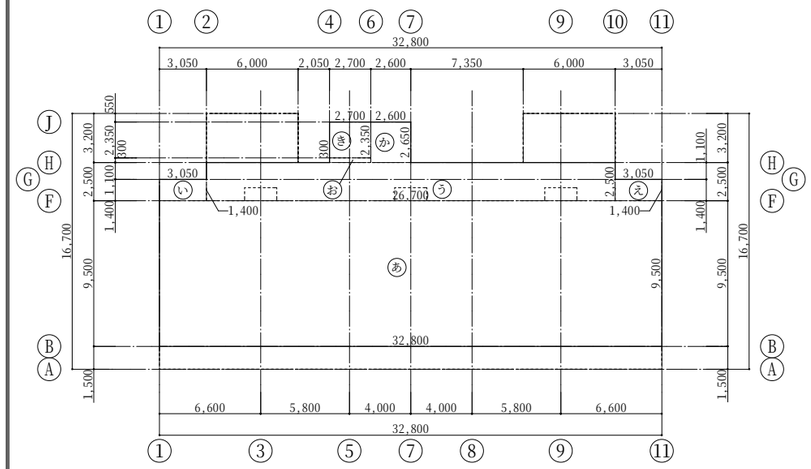
凡例
数値：設計GL＝4.000（KBM.1+520㎜）からのレベルを示す（単位は㎜）

申請場所：瀬戸内市邑久町福元745、746の一部、747の一部
敷地面積：2,184.11m2
都市計画区域外
用途地域無し
防火地域等無し

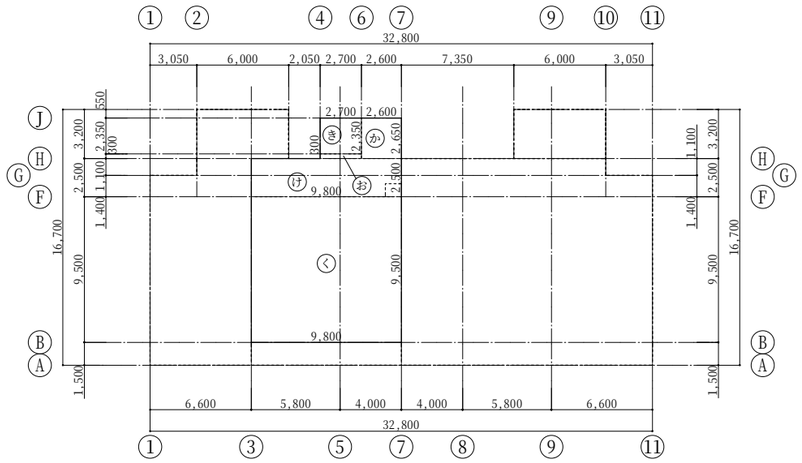
●高さの基準
・KBM.1＝3.480
・KBM.2＝3.817
・設計GL＝4.000（KBM.1+520㎜）とする
・市営住宅A棟1FL＝4.500（設計GL+500㎜）とする

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/150 A3 S=1/300	A
配置図		12

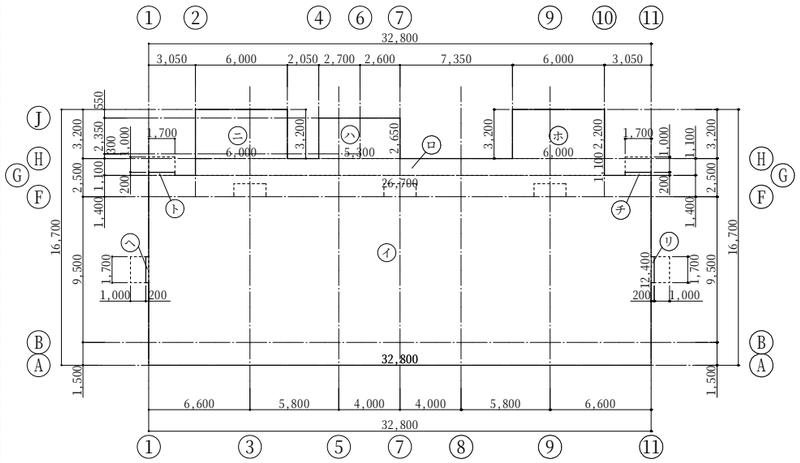
（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



床面積求積図(S=1/200)
(1～3階共通)



床面積求積図(S=1/200)
(4階)



建築面積求積図(S=1/200)

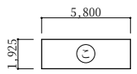
１～３階床面積計算表			
記号	計算式(mm)	面積(㎡)	容積率不算入面積(㎡)
あ	32,800 × 9,500	311.600	
い	3,050 × 1,400	4.270	
う	26,700 × 2,500	66.750	共用廊下等部分
え	3,050 × 1,400	4.270	
お	2,700 × 300	0.810	共用廊下等部分
か	2,600 × 2,650	6.890	共用廊下等部分
き	2,700 × 2,350	6.345	昇降路部分
合計面積(㎡)		400.93〆	80.79〆

４階床面積計算表			
記号	計算式(mm)	面積(㎡)	容積率不算入面積(㎡)
お	2,700 × 300	0.810	共用廊下等部分
か	2,600 × 2,650	6.890	共用廊下等部分
き	2,700 × 2,350	6.345	昇降路部分
く	9,800 × 9,500	93.100	
け	9,800 × 2,500	24.500	共用廊下等部分
合計面積(㎡)		131.64〆	38.54〆

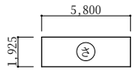
延べ面積計算表			
階数	面積(㎡)	容積率不算入面積(㎡)	容積率対象面積(㎡)
4階	131.64	38.54	93.10
3階	400.93	80.79	320.14
2階	400.93	80.79	320.14
1階	400.93	80.79	320.14
合計面積(㎡)	1,334.43	280.91	1,053.52

建築面積計算表			
記号	計算式(mm)	面積(㎡)	
イ	32,800 × 12,400	406.720	
ロ	26,700 × 1,100	29.370	
ハ	5,300 × 2,650	14.045	
ニ	6,000 × 3,200	19.200	
ホ	6,000 × 3,200	19.200	
ヘ	200 × 1,700	0.340	
ト	1,700 × 200	0.340	
チ	1,700 × 200	0.340	
リ	200 × 1,700	0.340	
合計面積		489.89〆	

申請外建物２・３（自転車置場１・２）　面積求積図・表



面積計算表（自転車置場１）				
記号	計算式(mm)	面積(㎡)	容積率不算入面積(㎡)	容積率対象面積(㎡)
こ	5,800 × 1,925	11.165		
床面積		11.16〆	11.16	—
建築面積		11.16〆		



面積計算表（自転車置場２）				
記号	計算式(mm)	面積(㎡)	容積率不算入面積(㎡)	容積率対象面積(㎡)
さ	5,800 × 1,925	11.165		
床面積		11.16〆	11.16	—
建築面積		11.16〆		

面積求積図(S=1/200)

申請外建物４（ゴミ置場）　面積求積図・表



面積計算表（ゴミ置場）				
記号	計算式(mm)	面積(㎡)	容積率不算入面積(㎡)	容積率対象面積(㎡)
し	2,000 × 2,000	4.000		
床面積		4.00〆	—	4.00
建築面積		4.00〆		

面積求積図(S=1/200)

建築面積計算表				
	Ａ棟	自転車置場１	自転車置場２	ゴミ置場
建築面積（㎡）	489.89	11.16	11.16	4.00
建築面積合計（㎡）				516.21

延床面積計算表				
	Ａ棟	自転車置場１	自転車置場２	ゴミ置場
延べ面積（㎡）	1,334.43	11.16	11.16	4.00
延べ面積合計（㎡）				1,360.75
容積率不算入面積(㎡)	昇降路部分等　280.91	車庫部分　11.16	車庫部分　11.16	—
容積率不算入面積合計(㎡)				303.23
容積率対象面積(㎡)	1,053.52	—	—	4.00
容積率対象面積合計(㎡)				1,057.52

※ 1,334.43（Ａ棟）×1/5＝266.886　＞22.32（自転車置場１・２）
∴自転車置場１・２は容積率不算入対象面積

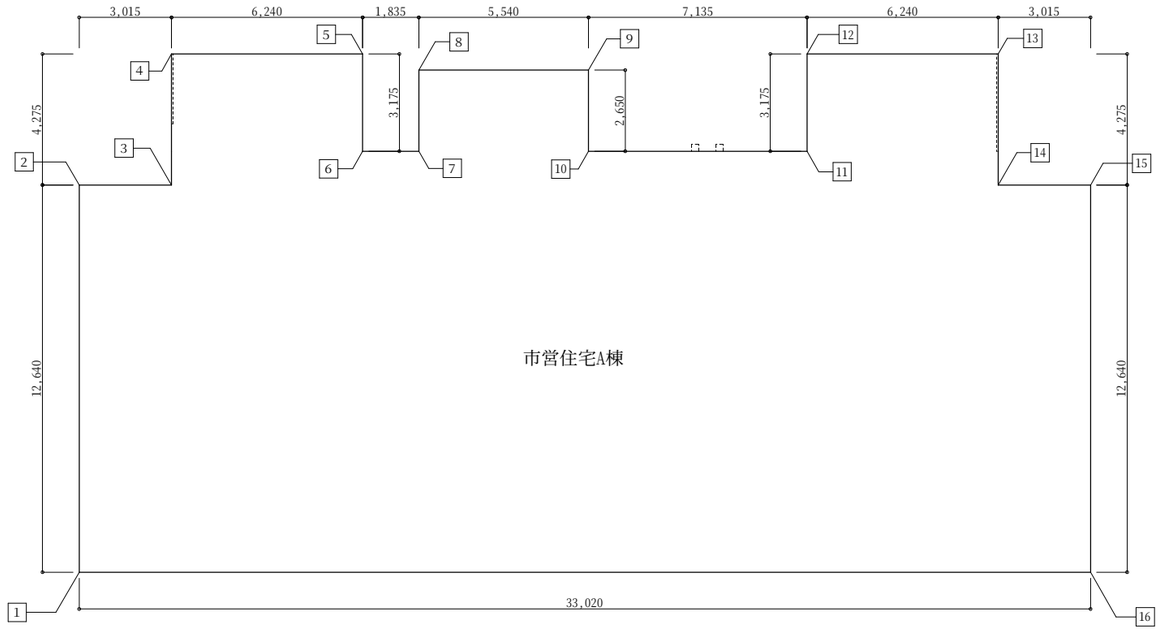
敷地面積：　2,184.11 ㎡

建ぺい率算定
建築面積　　敷地面積
516.21 ㎡ ÷ 2,184.11 ㎡ × 100 ＝ 23.63479…
→ 23.64 %

容積率算定
容積率対象面積　　敷地面積
1,057.52 ㎡ ÷ 2,184.11 ㎡ × 100 ＝ 48.41880…
→ 48.42 %

邑久地区市営住宅（Ａ棟）建替工事	A1 S=1/200 A3 S=1/400	A
面積求積図・表		13

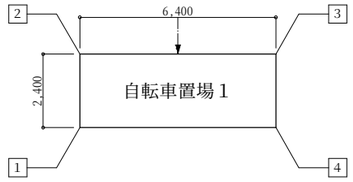
（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



平均地盤面算定表

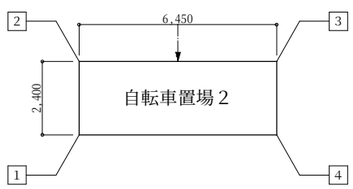
市営住宅A棟				
NO	高さ	距離	高さ×距離÷２	平均GL
1	-240			
2	-200	12,640	-2,780,800	
3	-150	3,015	-527,625	
4	-200	4,275	-748,125	
5	-100	6,240	-936,000	
6	+50	3,175	-79,375	
7	+50	5,590	279,500	
8	+120	2,650	225,250	
9	+180	5,540	831,000	
10	+425	2,650	801,625	
11	+200	7,135	2,229,688	
12	+100	3,175	476,250	
13	-70	6,240	93,600	
14	-150	4,275	-470,250	
15	-200	3,015	-527,625	
16	-240	12,640	-2,780,800	
1	-240	33,020	-7,924,800	
計		115,275	-11,838,488	-102.70

平均GL＝設計GL-102.70
→設計GL-150



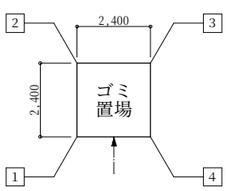
自転車置場１（西側）				
NO	高さ	距離	高さ×距離÷２	平均GL
1	+120			
2	+80	2,400	240,000	
3	+150	6,400	736,000	
4	+190	2,400	408,000	
1	+120	6,400	992,000	
計		17,600	2,376,000	135.00

平均GL＝設計GL+135
→設計GL±0



自転車置場２（東側）				
NO	高さ	距離	高さ×距離÷２	平均GL
1	+100			
2	-80	2,400	24,000	
3	-150	6,450	-741,750	
4	-110	2,400	-312,000	
1	+100	6,450	-32,250	
計		17,700	-1,062,000	-60.00

平均GL＝設計GL-60
→設計GL-100



ゴミ置場				
NO	高さ	距離	高さ×距離÷２	平均GL
1	-240			
2	-90	2,400	-396,000	
3	-90	2,400	-216,000	
4	-240	2,400	-396,000	
1	-240	2,400	-576,000	
計		9,600	-1,584,000	-165.00

平均GL＝設計GL-165
→設計GL-200

●高さの基準
・KBM.1＝3.480
・KBM.2＝3.817
・設計GL＝4.000（KBM.1+520mm）とする
・市営住宅A棟1FL＝4.500（設計GL+500mm）とする

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/100 A3 S=1/200		A
平均地盤面算定表			14

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

外　部　仕　上　表

屋根	平場部（下部屋外階段・共用廊下部を除く）：アスファルト防水層＋断熱材（ポリスチレンフォームｔ50）＋押さえコンクリートｔ80　伸縮目地	ベランダ	床：防水モルタル＋ウレタン塗膜防水（X-2）（防滑性）、その他：アルミ笠木ガラス手摺H1100、バルコニー用隔て板、物干金物、エアコン排水目地
	平場部（下部屋外階段・共用廊下部）：アスファルト防水層＋押さえコンクリートｔ80　伸縮目地、ルーフドレン：鋳鉄製φ100		ルーフドレン（1階）：鋳鉄製φ100、中継用ドレン（2～4階）：鋳鉄製φ100
	パラペット立上り：アスファルト防水層　シルバー塗装、　笠木：アルミ既製品（捨て笠木共）、アルミ水切金物、アルミ防水押え金物	屋上スペース	平場部（下部屋外階段・共用廊下部を除く）：アスファルト防水層＋断熱材（ポリスチレンフォームｔ50）＋押さえコンクリートｔ80　伸縮目地
	太陽光発電設備基礎（天端部）：ウレタン塗膜防水（X-2）・（立上り部）：アスファルト防水層　シルバー塗装、アルミ水切		平場部（下部屋外階段・共用廊下部）：アスファルト防水層＋押さえコンクリートｔ80　伸縮目地、ルーフドレン：鋳鉄製φ100
	その他　：太陽光発電パネル、太陽光発電設備基礎（400ｘ400ｘH500）、塔屋タラップ（安全ガード付き）		パラペット立上り：アスファルト防水層　シルバー塗装、アルミ笠木たて格子手摺H1100
外壁・腰壁	コンクリート打放補修の上　防水形複層塗材E（凹凸状吹付）（トップコート吹付(水性シリコンつやあり)）、腰壁上部：ウレタン塗膜防水（X-2）	屋外階段	床：防水モルタル金コテ押え、SUSノンスリップ金物　、階段下部床：コンクリート直押え
外部巾木	コンクリート打放補修の上　水性フッ素樹脂クリア塗装（誘発目地@2,000内外の上　ウレタンシーリング）		腰壁：コンクリート打放補修の上　防水形複層塗材E（凹凸状吹付）（トップコート吹付(水性シリコンつやあり)）、段裏：コンクリート打放し補修の上、外装薄塗材E
軒裏	コンクリート打放し補修の上、外装薄塗材E		その他：歩行補助手摺（壁付）、階数表示板
竪樋	カラーVPφ100（排水管カバー・スライドソケット・スライドチーズ・掃除口共）、SUS掴み金物@1,200	室外機置場	1階　床：コンクリート直押え
建具	アルミニウム製建具＜一部、防火設備＞、鋼製建具＜防火設備＞		2～3階　床：防水モルタル＋ウレタン塗膜防水（X-2）、腰壁：コンクリート打放補修の上　防水形複層塗材E（凹凸状吹付）（トップコート吹付(水性シリコンつやあり)）、
共用廊下	床：防水モルタル＋ウレタン塗膜防水（X-2）の上、複層ビニル床シートｔ2.5（防滑性）、排水部：防水モルタル＋ウレタン塗膜防水（X-2）、排水溝蓋、ルーフドレン：鋳鉄製φ100		庇：防水モルタル、軒裏：コンクリート打放し補修の上、外装薄塗材E
	天井（スラブ裏）：コンクリート打放し補修の上、外装薄塗材E		ルーフドレン：鋳鉄製φ50、竪樋：カラーVPφ50（排水管カバー・掃除口共）・SUS掴み金物@1,200、その他：アルミ笠木ガラス手摺H1100
	EVホール前：防風スクリーン、1階掲示板（壁付アルミ枠・掲示クロス貼）：W600ｘH900、郵便受け（ダイヤル錠付）18戸分、消火器ボックス	ピット	配管ピット・EVピット内（床・壁）：ケイ酸質系塗布防水
	その他：歩行補助手摺（壁付）、窓面格子、メーターボックス、消火器ボックス、ガラスブロック＜特定防火設備＞、室名札、床下点検口＜1階のみ＞：600角（錠付き）、		
	エアコン用排水パイプ		

外　構

自転車置場	柱・梁・屋根：アルミ押出し形材、背面・側面パネル・サイクルストッパー付き、W2,005ｘL6,078ｘH2,423（10台用）ｘ2セット　＜四国化成：V-Rｸﾛｰｽﾞ600N　同等品＞	フェンス	道路・擁壁側　メッシュフェンス　H=1100　＜朝日スチール工業(株)「UNフェンス(A型)」同等品＞、基礎ブロック
	床：コンクリート直押え		住宅側　目隠しフェンス　H=1800　＜朝日スチール工業(株)「目かくしフェンス　XAブラインド」同等品＞、布基礎共
駐車場	アスファルト舗装ｔ100、車止めブロック×２ヶ所/1区画(アンカーピン固定)、駐車区画：白線引き　W150@2500、車椅子マーク（ゼブラゾーン共）：白線引き、区画番号(数字)：白	LPバルク廻り	メッシュフェンス　H=1500　両開き扉　1箇所　＜朝日スチール工業(株)「UNフェンス(A型)」同等品＞、基礎ブロック
ゴミ置場	既製品ゴミ置場：W2,000ｘD2,000ｘH2,000　＜四国化成：ゴミストッカーAMR2型　1500N　基本　引き戸式（W2000*D2000*H2000）　同等品＞		床：コンクリート直押え、消火器ボックス
	床：コンクリート直押え、排水桝、散水栓＜設備工事＞	側溝	VS側溝W500
車路	敷地内通路：アスファルト舗装ｔ100、構内表示：止まれ標識(白),一時停止線(白),白線	その他	縁石：コンクリート縁石、舗装：コンクリート舗装、既設橋梁（敷地東側）：PC製、既設擁壁：PC製及びRC製
通路	建物廻り：インターロッキングブロック敷ｔ60		

内　部　仕　上　表

階	タイプ	室　名	床 下地	床 仕上	巾木	壁 下地	壁 仕上	認定番号	天　井 下地	天　井 仕上	認定番号	廻　縁	天井高	備　考	室名札
1～3	1ＤＫ	玄関	増打+モルタル金コテ押え	複層ビニル床シートｔ2.0（防滑性）	ソフト巾木 H=75	LGS+GB-Rｔ12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	LGS+GB-Rｔ12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	塩ビ製	2,250	下足箱、I型手摺、上り框	---
		通路	コンクリート直押え	乾式２重床下地（1階：H500、2・3階：H300） パーティクルボードｔ20+捨張合板ｔ12+ クッションフロアｔ3.5	ソフト巾木 H=75	LGS+GB-Rｔ12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	LGS+GB-Rｔ12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	塩ビ製	2,200		---
		ＤＫ	モルタル金コテ押え	クッションフロアｔ3.5	ソフト巾木 H=75	LGS+GB-Rｔ12.5、GB-Rｔ12.5(GL)	EP塗装	不燃 NM-8585	LGS+GB-Rｔ12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	塩ビ製	2,300	流し台・コンロ台・吊戸棚・レンジフード・1段水切棚・SUS面台	---
						LGS+GB-Sｔ12.5	流し台廻り：化粧ケイカル板ｔ6.0	不燃 NM-3348						壁見切、天井点検口	
		洋室	モルタル金コテ押え	クッションフロアｔ3.5	ソフト巾木 H=75	LGS+GB-Rｔ12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	LGS+GB-Rｔ12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	塩ビ製	2,300	カーテンレール（ダブル）正面付、天井点検口	---
						GB-Rｔ12.5(GL)									
		物入	モルタル金コテ押え	クッションフロアｔ3.5	ソフト巾木 H=75	LGS+GB-Rｔ12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	LGS+GB-Rｔ12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	塩ビ製	2,300	中棚	---
						GB-Rｔ12.5(GL)									
		便所	コンクリート直押え	乾式２重床下地（1階：H500、2・3階：H300） パーティクルボードｔ20+捨張合板ｔ12+ クッションフロアｔ3.5	ソフト巾木 H=75	LGS+GB-Sｔ12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	LGS+GB-Rｔ12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	塩ビ製	2,200	SUS面台	---
						GB-Sｔ12.5(GL)								＜設備工事＞L型手摺・タオルリング・紙巻器	
		脱衣室	コンクリート直押え	乾式２重床下地（1階：H500、2・3階：H300） パーティクルボードｔ20+捨張合板ｔ12+ クッションフロアｔ3.5	ソフト巾木 H=75	LGS+GB-Sｔ12.5（LGS内ｸﾞﾗｽｳｰﾙｔ50）	EP塗装	不燃 NM-8585	LGS+GB-Rｔ12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	塩ビ製	2,200	洗面化粧台、I型手摺、SUS面台、床下点検口、壁点検口	---
						GB-Sｔ12.5(GL)								＜設備工事＞洗濯機パン［640ﾀｲﾌﾟ］・タオル掛け	
		浴室	コンクリート直押え	ユニットバス（1216） 設備基礎（120ｘ120ｘ1階：H300・2～3階：H100）		LGS内グラスウールｔ50									---

■特記事項

- 使用材料は全てF☆☆☆☆相当品を使用のこと
- 消防設備は消防設備等計画書に基づいて施工すること
- 腰壁コンクリート面の打継目地及び誘発目地は20×20とする
- 化粧ケイカル板は、専用カラーアルミジョイナー共とし、面材色に合わせること
- 防湿（建物内スラブ下）：ポリエチレンフィルムｔ0.15敷
- 断熱（建物内スラブ下）：ポリスチレンフォームｔ50敷（押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA）
- 外部に面する壁・スラブ裏面（屋内側）：硬質ウレタンフォームｔ35吹付（吹付硬質ウレタンフォームA種1H）
- 断熱材（屋根アスファルト防水部）：ポリスチレンフォームｔ50敷（押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bＡ）
- 壁見切・窓額縁はスプルース　CL塗装とする。
- 石こうボードの出隅は、コーナー保護金物、入隅はジョイントテープをL型に当て、継目処理を行う。
- LGS下地に手摺、棚等が取付く場合は、下地補強を行う。
- 便器等設備機器取付場所には、下地補強を行う。（建築工事）
- 工事施工着手に際し、事前調査、工事期間中の交通安全対策、近隣対策等近隣との協議を十分に行うこと。
- 工事に際し諸官庁への届出等必要な場合は、請負者の責任に於いて遅滞なく行うこと。
- 特記なき限り、軽量鉄骨壁下地LGSは50形とする。

室名札＜屋外＞：W210xH115　壁平付[ﾅｽﾀ「室名札　ｽﾃﾝﾚｽ　KS-N36S」同等品、「ﾙｰﾑﾅﾝﾊﾞｰ　切文字ｼｰﾙﾀｲﾌﾟ　数字　KS-NCY-3-B」同等品]

室名札＜屋内＞：W250xH60　壁平付[杉田ｴｰｽ「ｱｸﾘﾙ室名ｻｲﾝ　FAC-60」同等品]

室名札＜屋内・ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ＞：W200xH200　壁平付[杉田ｴｰｽ「ｱｸﾘﾙﾋﾟｸﾄ　F-4」同等品]

複層ビニル床シートｔ2.5（防滑性）　[サンゲツ「ノンスキッドPX」同等品]	出入口枠（3方枠）［フクビ「UB枠　UHタイプ」同等品]	
複層ビニル床シートｔ2.0（防滑性） [サンゲツ「ノンスキッドPXエクストラ（屋内用スレート）」同等品]	上り框　［アシスト：アシステップ　11-38M　同等品]	
クッションフロアｔ4.5 [サンゲツ「Hフロア（遮音フロアL-45）」(JIS A1440-1 LL値45)同等品]	SUS面台：SUS304　t1.2　曲げ加工　HL	
クッションフロアｔ3.5 [サンゲツ「Hフロア(衝撃吸収フロア)」(JIS A6519 G値98以下)同等品]	床下点検口（共用廊下）：600角［ダイケン「防水・防臭タイプ錠付き　ハンドル無」同等品]	
乾式２重床下地：フクビ「フリーフロアＣＰ」同等品	床下点検口（屋内）：600角［ダイケン「ホーム床点検口　SH3　錠無」同等品]	
流し台：L1,200×D600×H849（下部扉・引出し・フタ付、ステンレス天板仕様） [タカラスタンダード　AP型　同等品]	天井点検口（屋内）：450角［ダイケン「天井点検口　CFZW345」同等品]	
コンロ台：L750ｘD588ｘH674［タカラスタンダード　AP型　同等品]	郵便受け：W360ｘD150ｘH260　18戸分　［ナスタ：前入前出郵便受箱　ポンメール（静音大型ダイヤル錠）KS-MB501S-L　同等品]	
吊戸棚：L1,200ｘD360ｘH500［タカラスタンダード　AP型　同等品]	物干金物　［ナスタ：バルコニー物干金物（自在型）KS-DA516AT　同等品]	
レンジフード：W750ｘD610ｘH500［タカラスタンダード　AP型　同等品]	塔屋タラップ（安全ガード付き）　［ナスタ：ガード付塔屋タラップ　KS-RTRG347S　同等品]	
1段水切棚：L900ｘD250ｘH300［タカラスタンダード　AP型　同等品]	SUSノンスリップ金物　［アシスト：12-35DX（アンカー付）　同等品]	
2段水切棚：L900ｘD250ｘH450［タカラスタンダード　AP型　同等品]	歩行補助手摺（壁付）　[三協立山：歩行補助手すり　アルミ製　同等品]	
ユニットバス(1216）：タカラスタンダード　リラクシア1216　Pタイプ　同等品	バルコニー用隔て板　[三協立山：隔板30型　同等品]	
洗面化粧台：W750×D600×H1,900又はW600×D550×H1,900［タカラスタンダード　SPH　同等品]	防風スクリーン　［三協立山：防風スクリーン　同等品]	
L型手摺：L700+700ｘD120・φ34［TOTO「T112CL10」同等品]　＜設備工事＞	消火器ボックス：屋外用（壁掛・据置タイプ）[ナカ工業「NHD-3000N」同等品]	
I型手摺：L800・φ34［TOTO「T112C8」同等品]　＜一部設備工事＞	掲示板：W600xH900　[ナスタ：掲示板　アルミ枠「KS-EX912A-9060」同等品]	
跳上げ手摺：L600・φ34［TOTO「T112HK7R」同等品]　＜設備工事＞	掲示板：W1800xH900　[杉田エース：木目調ピンマグ掲示板「MOKU-YM918」同等品]	
下足箱：W796ｘD345ｘH782+569［ウッドワン「S-301（下段のみ）」同等品]	壁点検口：300角　[ナカ工業：ウォールハッチ「WHA　□303（標準仕様）」同等品]	
カーテンレール　ダブル（正面付・天井付）[タチカワブラインド「V20」同等品]	インターロッキングブロック：オーシャンエコカラー同等品	

■防火性能認定番号

壁　:石膏ボードｔ12.5	GB-R	不燃 NM-8619	
壁　:シージング石膏ボードｔ12.5	GB-S	不燃 NM-9639	
天井:石膏ボードｔ12.5（不燃）	GB-R	不燃 NM-8619	
壁　:化粧ケイカル板ｔ6.0		不燃 NM-3348	
EP塗装（不燃下地）		不燃 NM-8585	

外壁	鉄筋コンクリート造　ｔ180・ｔ200・ｔ250	H12建告第1399号-1-7-ロ
間仕切壁(耐力壁)	鉄筋コンクリート造ｔ180	H12建告第1399号-1-3-ロ
床	鉄筋コンクリート造ｔ160	H12建告第1399号-3-3-イ
はり	鉄筋コンクリート造　ｔ180・ｔ200・ｔ250	H12建告第1399号-4-4-イ
屋根	鉄筋コンクリート造ｔ160	H12建告第1399号-5-1
階段	鉄筋コンクリート造ｔ160	H12建告第1399号-6-1

■塗料記号

EP	合成樹脂エマルションペイント
CL	クリアラッカー塗
SOP	合成樹脂調合ペイント塗

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=N/S A3 S=N/S	A	
仕上表1		15	

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

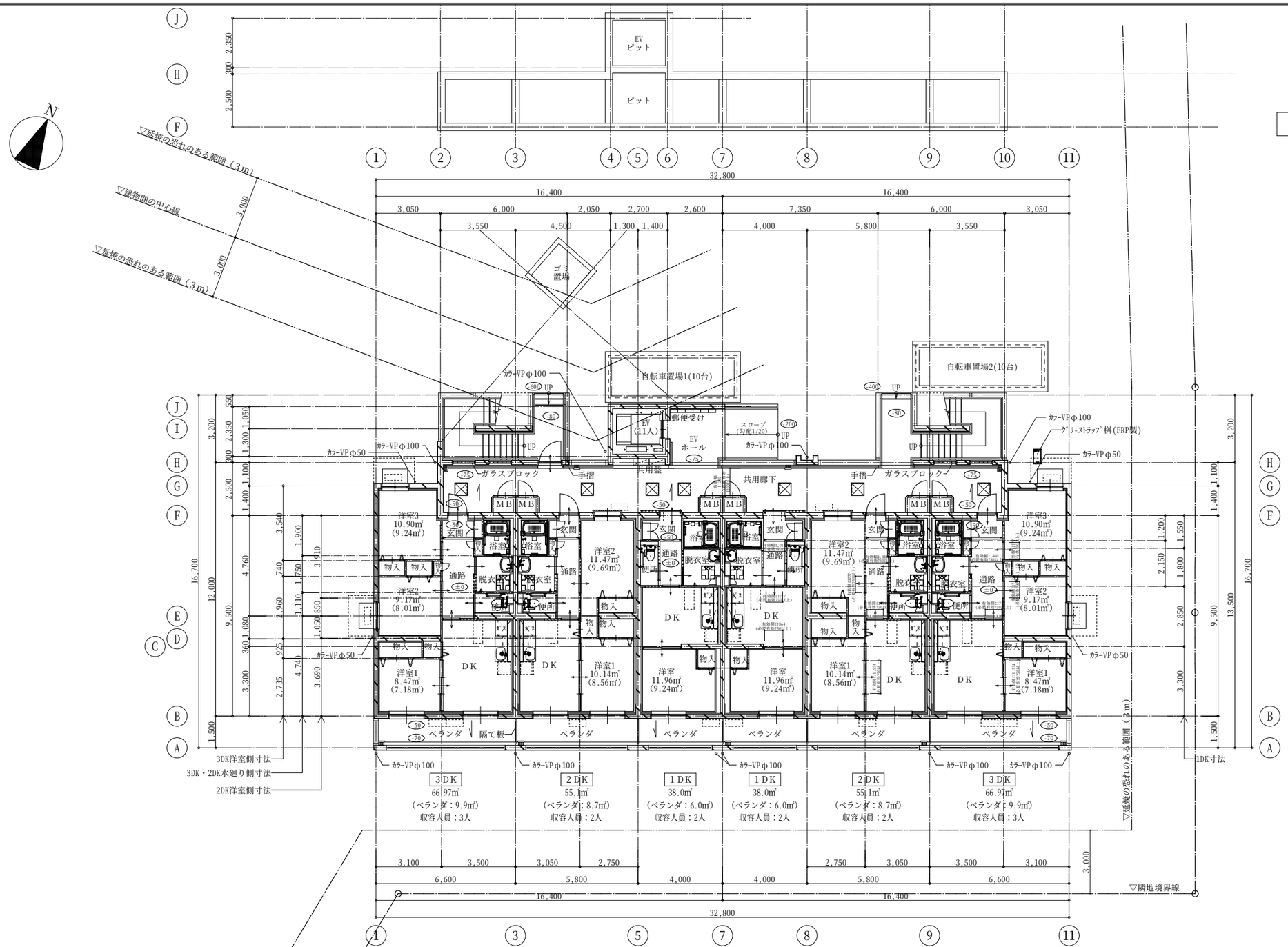
内 部 仕 上 表

階	タイプ	室 名	床 下地	床 仕上	巾木	壁 下地	壁 仕上	認定番号	天 井 下地	天 井 仕上	認定番号	廻 縁	天井高	備 考	室名札
1～3	2DK	玄関	増打+モルタル金コテ押え	複層ビニル床シートt2.0（防滑性）	ソフト巾木 H=75	LGS+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	LGS+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	塩ビ製	2,250	下足箱、I型手摺、上り框	---
		通路	モルタル金コテ押え	クッションフロアt3.5	ソフト巾木 H=75	LGS+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	LGS+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	塩ビ製	2,200		---
		同上 物入	コンクリート直押え	乾式２重床下地（1階：H500、2・3階：H300） パーティクルボードt20+捨張合板t12+ クッションフロアt3.5	ソフト巾木 H=75	LGS+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	LGS+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	塩ビ製	2,200		---
		DK	モルタル金コテ押え	クッションフロアt3.5	ソフト巾木 H=75	LGS+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	LGS+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	塩ビ製	2,300	流し台・コンロ台・吊戸棚・レンジフード・1段水切棚・SUS面台	---
						LGS+GB-St12.5	流し台廻り：化粧ケイカル板t6.0	不燃 NM-3348						壁見切、カーテンレール（ダブル）正面付、天井点検口	
		洋室1（南）	モルタル金コテ押え	クッションフロアt3.5	ソフト巾木 H=75	LGS+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	LGS+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	塩ビ製	2,300	カーテンレール（ダブル）正面付	---
		洋室2（北）	モルタル金コテ押え	クッションフロアt3.5	ソフト巾木 H=75	LGS+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	LGS+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	塩ビ製	2,300	カーテンレール（ダブル）正面付	---
		物入	モルタル金コテ押え	クッションフロアt3.5	ソフト巾木 H=75	LGS+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	LGS+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	塩ビ製	2,300	中棚	---
						GB-Rt12.5(GL)									
		便所	コンクリート直押え	乾式２重床下地（1階：H500、2・3階：H300） パーティクルボードt20+捨張合板t12+ クッションフロアt3.5	ソフト巾木 H=75	LGS+GB-St12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	LGS+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	**塩ビ製**	**2,200**	SUS面台、壁点検口	---
						GB-St12.5(GL)								＜設備工事＞L型手摺・タオルリング・紙巻器	
		脱衣室	コンクリート直押え	乾式２重床下地（1階：H500、2・3階：H300） パーティクルボードt20+捨張合板t12+ クッションフロアt3.5	ソフト巾木 H=75	LGS+GB-St12.5（LGS内ｸﾞﾗｽｳｰﾙt50）	EP塗装	不燃 NM-8585	LGS+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	塩ビ製	2,200	洗面化粧台、I型手摺、SUS面台、床下点検口	---
						GB-St12.5(GL)								＜設備工事＞洗濯機パン［740ﾀｲﾌﾟ］・タオル掛け	
		浴室	コンクリート直押え	ユニットバス（1216）		LGS内グラスウールt50									---
				設備基礎（120ｘ120ｘ1階：H300・2～3階：H100）											
	3DK	玄関	増打+モルタル金コテ押え	複層ビニル床シートt2.0（防滑性）	ソフト巾木 H=75	LGS+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	LGS+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	塩ビ製	2,250	下足箱、I型手摺、上り框	---
		通路	モルタル金コテ押え	クッションフロアt3.5	ソフト巾木 H=75	LGS+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	LGS+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	塩ビ製	2,200		---
		同上 物入	コンクリート直押え	乾式２重床下地（1階：H500、2・3階：H300） パーティクルボードt20+捨張合板t12+ クッションフロアt3.5	ソフト巾木 H=75	LGS+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	LGS+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	塩ビ製	2,200		---
		DK	モルタル金コテ押え	クッションフロアt3.5	ソフト巾木 H=75	LGS+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	LGS+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	塩ビ製	2,300	流し台・コンロ台・吊戸棚・レンジフード・1段水切棚・SUS面台	---
						LGS+GB-St12.5	流し台廻り：化粧ケイカル板t6.0	不燃 NM-3348						壁見切、カーテンレール（ダブル）正面付、天井点検口	
		洋室1（南）	モルタル金コテ押え	クッションフロアt3.5	ソフト巾木 H=75	LGS+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	LGS+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	塩ビ製	2,300	カーテンレール（ダブル）正面付	---
						GB-Rt12.5(GL)									
		洋室2（中央）	モルタル金コテ押え	クッションフロアt3.5	ソフト巾木 H=75	LGS+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	LGS+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	塩ビ製	2,300	カーテンレール（ダブル）天井付	---
						GB-Rt12.5(GL)									
		洋室3（北）	モルタル金コテ押え	クッションフロアt3.5	ソフト巾木 H=75	LGS+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	LGS+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	塩ビ製	2,300	カーテンレール（ダブル）正面付	---
						GB-Rt12.5(GL)									
		物入	モルタル金コテ押え	クッションフロアt3.5	ソフト巾木 H=75	LGS+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	LGS+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	**塩ビ製**	2,300	中棚	---
						GB-Rt12.5(GL)									
		便所	コンクリート直押え	乾式２重床下地（1階：H500、2・3階：H300） パーティクルボードt20+捨張合板t12+ クッションフロアt3.5	ソフト巾木 H=75	LGS+GB-St12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	LGS+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	塩ビ製	**2,200**	SUS面台、壁点検口	---
						GB-St12.5(GL)								＜設備工事＞L型手摺・タオルリング・紙巻器	
		脱衣室	コンクリート直押え	乾式２重床下地（1階：H500、2・3階：H300） パーティクルボードt20+捨張合板t12+ クッションフロアt3.5	ソフト巾木 H=75	LGS+GB-St12.5（LGS内ｸﾞﾗｽｳｰﾙt50）	EP塗装	不燃 NM-8585	LGS+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	塩ビ製	2,200	洗面化粧台、I型手摺、SUS面台、床下点検口	---
						GB-St12.5(GL)								＜設備工事＞洗濯機パン［740ﾀｲﾌﾟ］・タオル掛け	
		浴室	コンクリート直押え	ユニットバス（1216）		LGS内グラスウールt50									---
				設備基礎（120ｘ120ｘ1階：H300・2～3階：H100）											
4	集会所	玄関ホール	増打+モルタル金コテ押え	複層ビニル床シートt2.0（防滑性）	ソフト巾木 H=75	LGS65+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	LGS+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	塩ビ製	2,550	下足箱、上り框、壁見切	壁平付
			モルタル金コテ押え	クッションフロアt4.5		GB-Rt12.5(GL)								カーテンレール（ダブル）天井付、カーテン＜別途＞	
		集会室	モルタル金コテ押え	クッションフロアt4.5	ソフト巾木 H=75	LGS65+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	LGS+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	塩ビ製	2,500	掲示板：W1800ｘH900、天井点検口	壁平付
						GB-Rt12.5(GL)								カーテンレール（ダブル）天井付、カーテン＜別途＞	
		湯沸室	モルタル金コテ押え	クッションフロアt4.5	ソフト巾木 H=75	LGS65+GB-Rt12.5、GB-Rt12.5(GL)	EP塗装	不燃 NM-8585	LGS+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	塩ビ製	2,500	流し台・コンロ台・吊戸棚・レンジフード・2段水切棚・SUS面台	壁平付
			コンクリート直押え	乾式２重床下地（H300） パーティクルボードt20+捨張合板t12+ クッションフロアt4.5		LGS65+GB-St12.5	流し台廻り：化粧ケイカル板t6.0	不燃 NM-3348						壁見切、床下点検口、天井点検口	
														消火器	
		車椅子便所	コンクリート直押え	乾式２重床下地（H250） パーティクルボードt20+捨張合板t12+ 複層ビニル床シートt2.0（防滑性）	ソフト巾木 H=300	LGS65+GB-St12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	LGS+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	塩ビ製	2,350	SUS面台	ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ
						GB-St12.5(GL)								＜設備工事＞L型手摺・跳上げ手摺・手洗器・化粧鏡・タオル掛け・紙巻器	
		物入	モルタル金コテ押え	クッションフロアt4.5	ソフト巾木 H=75	LGS65+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	LGS+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	塩ビ製	2,300		壁平付
						GB-Rt12.5(GL)									
		備蓄倉庫	モルタル金コテ押え	複層ビニル床シートt2.0（防滑性）	ソフト巾木 H=75	LGS65+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	LGS+GB-Rt12.5	EP塗装	不燃 NM-8585	塩ビ製	2,350		壁平付
						GB-Rt12.5(GL)									

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=N/S A3 S=N/S	A
仕上表2		16

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号 TEL086-244-0173
１級建築士事務所 岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録 第１１８２３６号 大石雅弘

ピット平面図　　S＝1/100



1階平面図　　S＝1/100

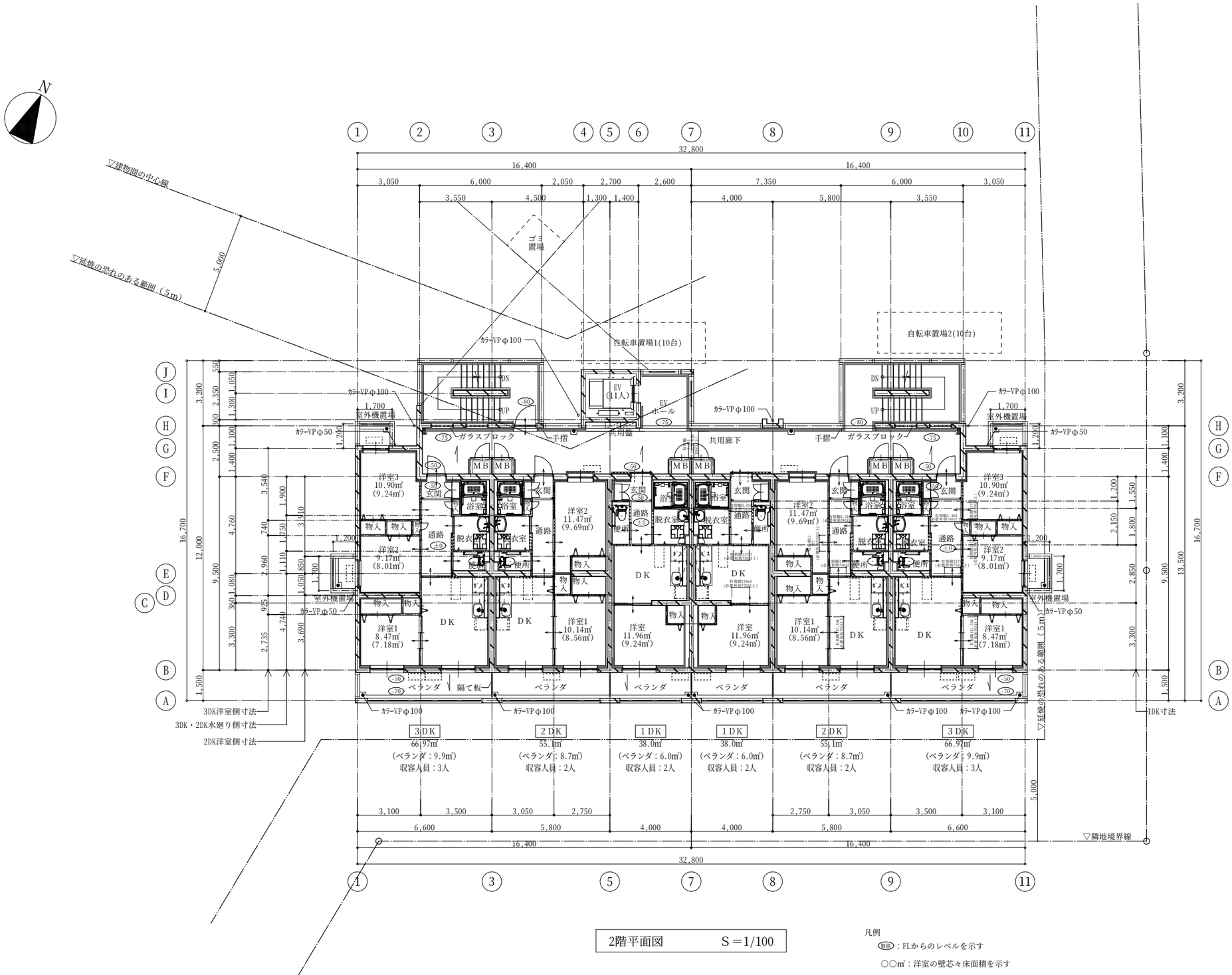
1階床面積：400.93㎡
1階収容人員：14人

凡例
(数値)：FLからのレベルを示す
○○㎡：洋室の壁芯々床面積を示す
（○○㎡）：洋室の内法床面積を示す

特記事項
1.EVホールは、通路一体とし火災報知感知器の設置が必要なく、通路として何も置かない。
2.共用配管及び専用配管で、排水管、給水管、給湯管、ガス管のコンクリート内への埋込及び管上のコンクリート打設はないものとする。
3.専用配管は、他住戸等の専用部分に設置されていないものとする。
4.排水管内面は平滑であり、たわみ、抜け等が生じないよう支持金物を設置する。
5.トラップの種類は、洗面化粧台：Sトラップ、洗濯パン：選択防水パン用逆わんトラップ、
ユニットバス：ユニットバス床排水用逆わんトラップ、流し台：わんトラップとする。

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/100 A3 S=1/200			A
ピット平面図・1階平面図				17

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



2階平面図　　S＝1/100

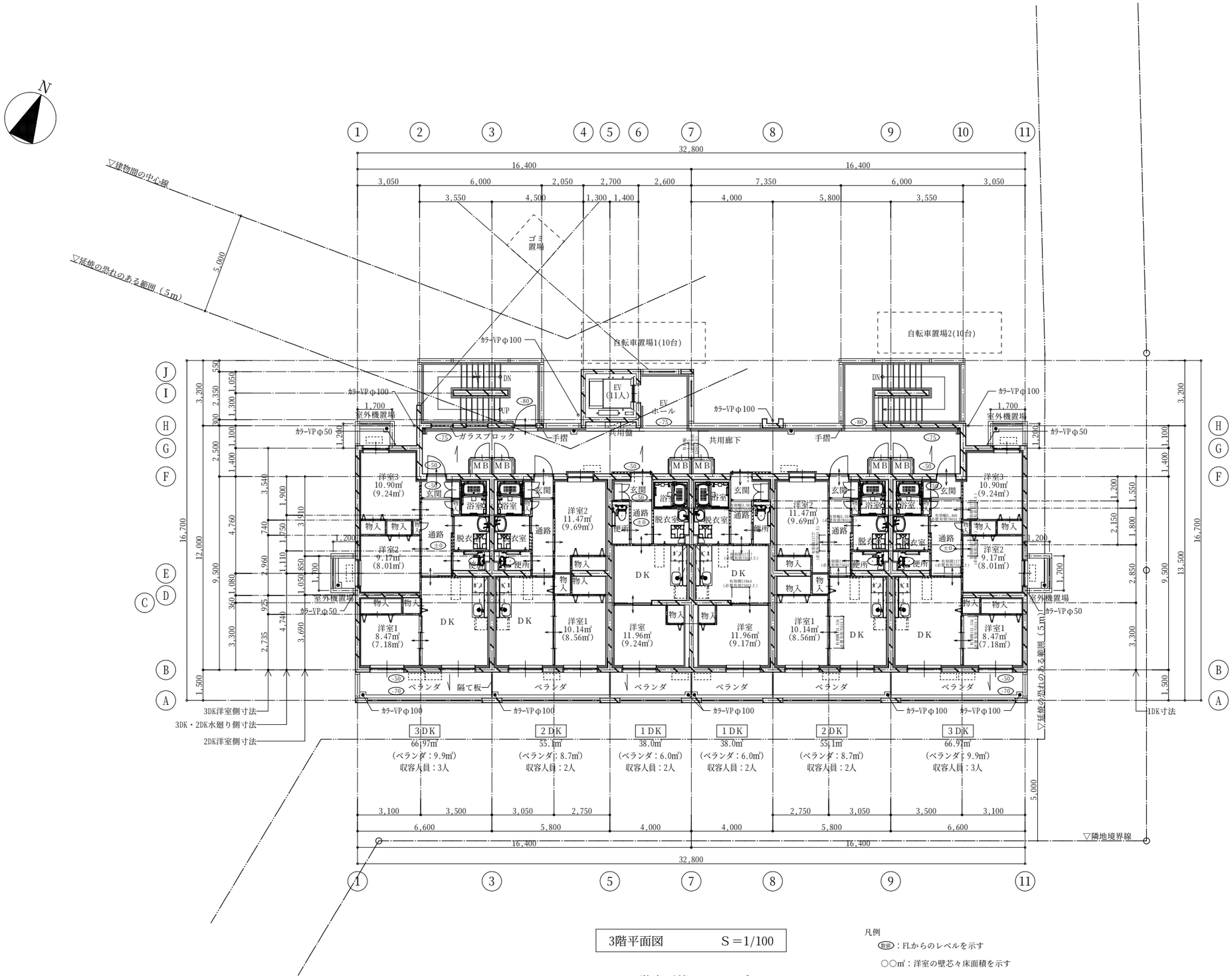
2階床面積：400.93㎡
2階収容人員：14人

凡例
(数値)：FLからのレベルを示す
○○㎡：洋室の壁芯々床面積を示す
（○○㎡）：洋室の内法床面積を示す

特記事項
1.EVホールは、通路一体とし火災報知感知器の設置が必要なく、通路として何も置かない。
2.共用配管及び専用配管で、排水管、給水管、給湯管、ガス管のコンクリート内への埋込及び管上のコンクリート打設はないものとする。
3.専用配管は、他住戸等の専用部分に設置されていないものとする。
4.排水管内面は平滑であり、たわみ、抜け等が生じないよう支持金物を設置する。
5.トラップの種類は、洗面化粧台：Sトラップ、洗濯パン：選択防水パン用逆わんトラップ、
ユニットバス：ユニットバス床排水用逆わんトラップ、流し台：わんトラップとする。

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/100 A3 S=1/200			A
2階平面図				18

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



3階平面図　　S＝1/100

凡例

(数値)：FLからのレベルを示す

○○㎡：洋室の壁芯々床面積を示す

（○○㎡）：洋室の内法床面積を示す

3階床面積：400.93㎡

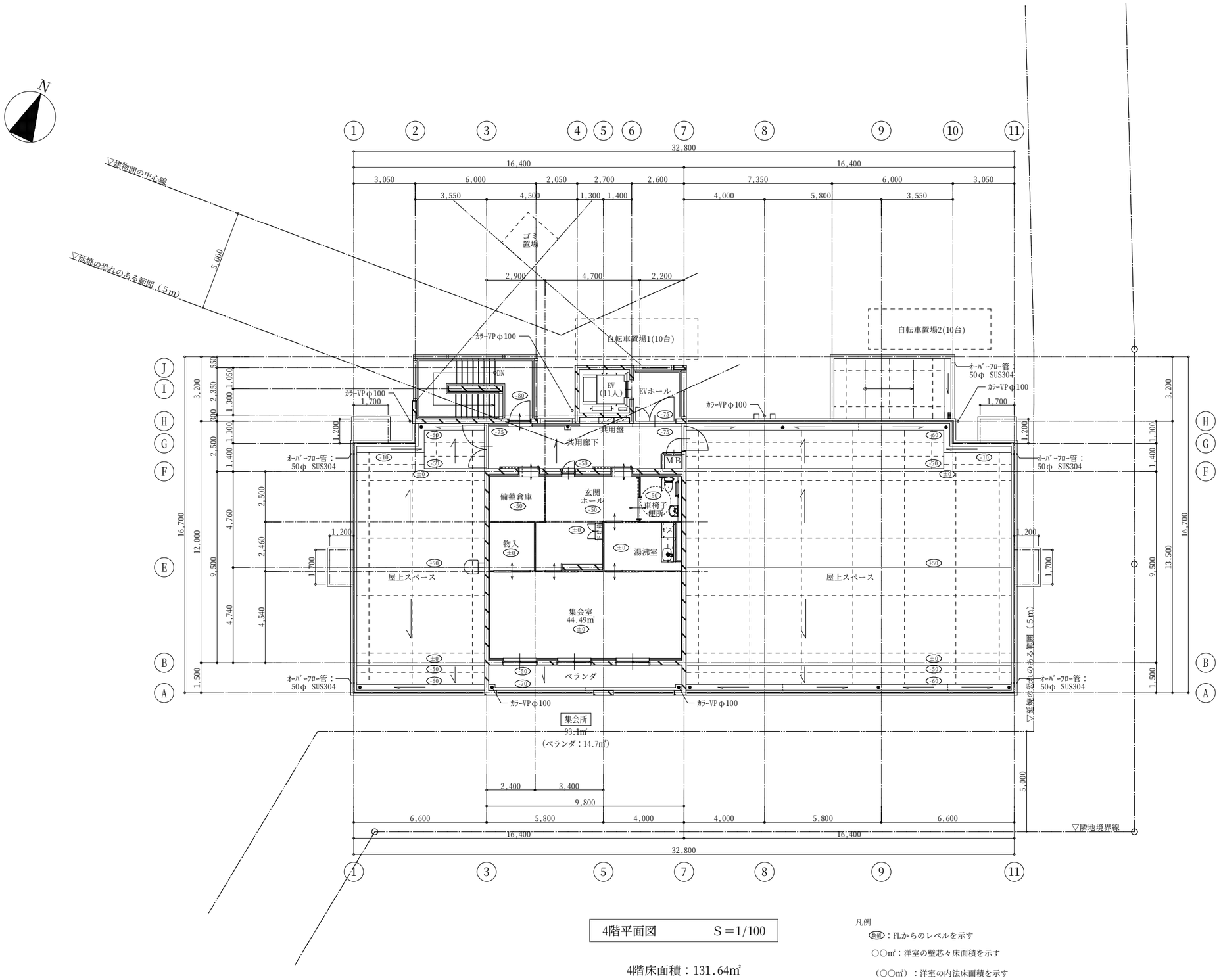
3階収容人員：14人

特記事項

1.EVホールは、通路一体とし火災報知感知器の設置が必要なく、通路として何も置かない。
2.共用配管及び専用配管で、排水管、給水管、給湯管、ガス管のコンクリート内への埋込及び管上のコンクリート打設はないものとする。
3.専用配管は、他住戸等の専用部分に設置されていないものとする。
4.排水管内面は平滑であり、たわみ、抜け等が生じないよう支持金物を設置する。
5.トラップの種類は、洗面化粧台：Sトラップ、洗濯パン：選択防水パン用逆わんトラップ、
ユニットバス：ユニットバス床排水用逆わんトラップ、流し台：わんトラップとする。

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/100 A3 S=1/200			A
3階平面図				19

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



4階平面図　　S＝1/100

4階床面積：131.64㎡

凡例

(数値)：FLからのレベルを示す

○○㎡：洋室の壁芯々床面積を示す

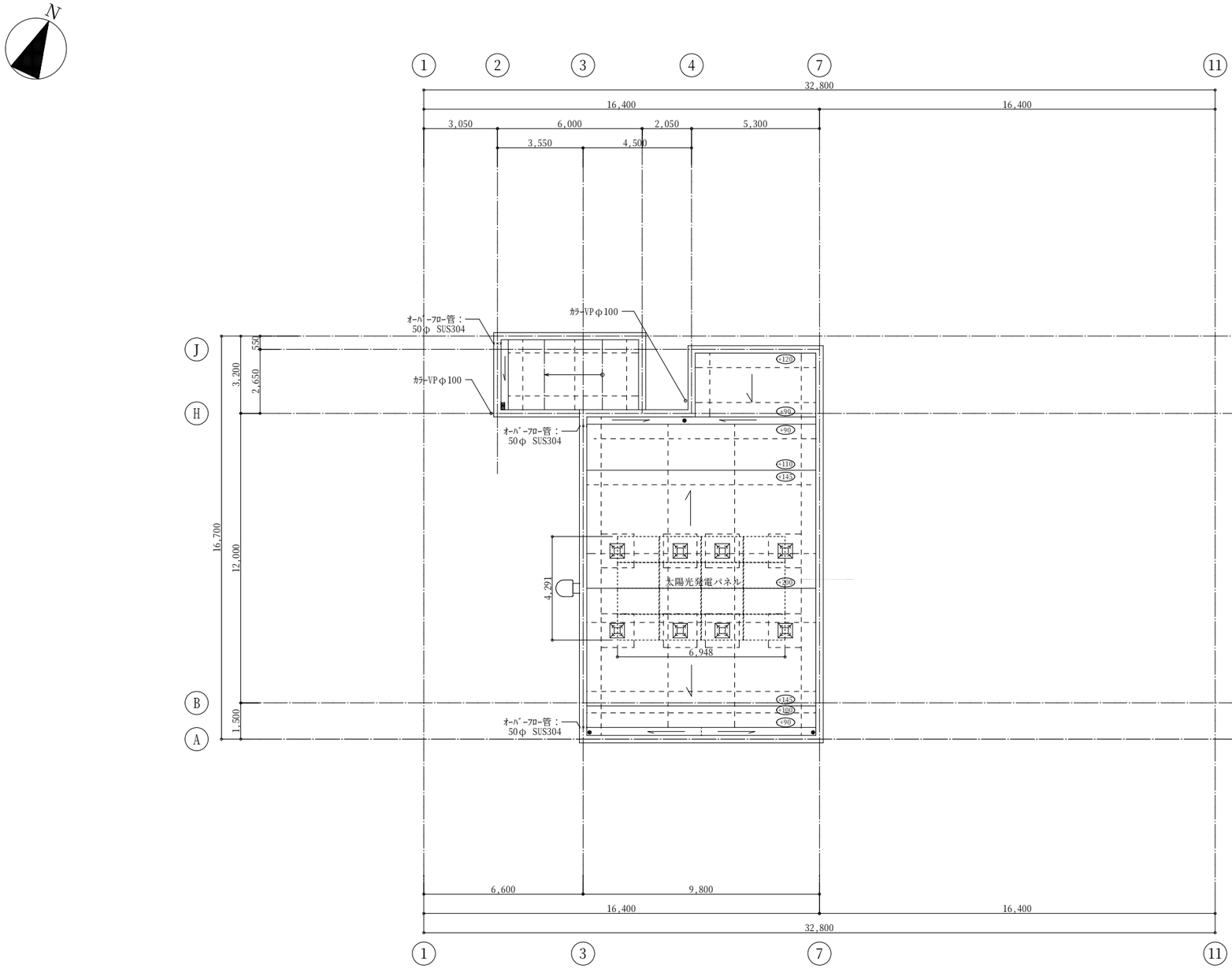
（○○㎡）：洋室の内法床面積を示す

特記事項

1. EVホールは、通路一体とし火災報知感知器の設置が必要なく、通路として何も置かない。
2. 共用配管及び専用配管で、排水管、給水管、給湯管、ガス管のコンクリート内への埋込及び管上のコンクリート打設はないものとする。
3. 専用配管は、他住戸等の専用部分に設置されていないものとする。
4. 排水管内面は平滑であり、たわみ、抜け等が生じないよう支持金物を設置する。
5. トラップの種類は、洗面器：Pトラップ、流し台：わんトラップとする。
6. 集会所は市営住宅住民のみの利用とする。

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/100 A3 S=1/200	A
4階平面図		20

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



■太陽光発電パネルの建築物の高さ検討

水平投影面積が建築面積の1/8以内の場合、建築物の高さに算入しない

市営住宅A棟の建築面積：489.89㎡
太陽光発電パネル水平投影面積：6.948 × 4.291 ＝ 29.81㎡

489.89 ÷ 8 ＝61.24㎡
61.24㎡ ≧ 29.81㎡（1/8以内）

よって、太陽光発電パネルは建築物の高さに算入しない

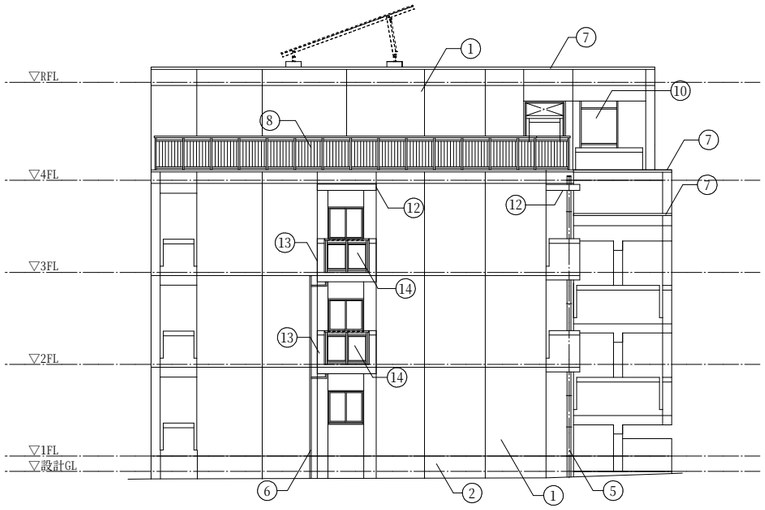
R階平面図　　S＝1/100

凡例
(数値)：FLからのレベルを示す

延床面積：1,334.43㎡
A棟収容人員：42人

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/100 A3 S=1/200	A
R階平面図		21

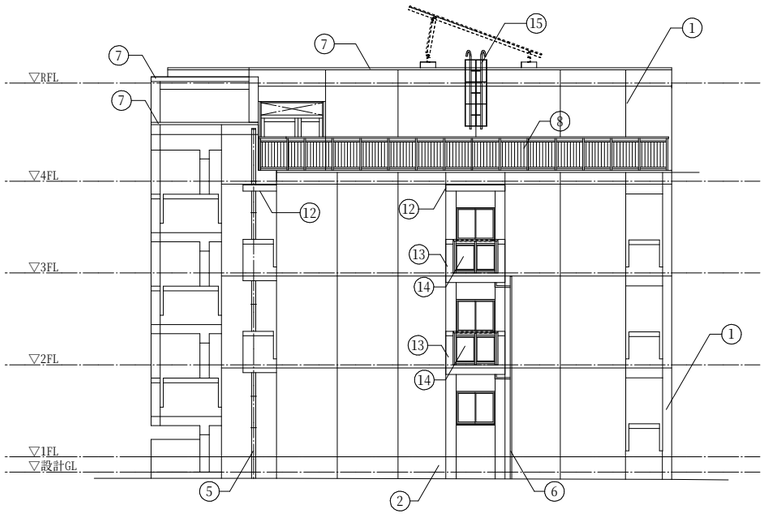
（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



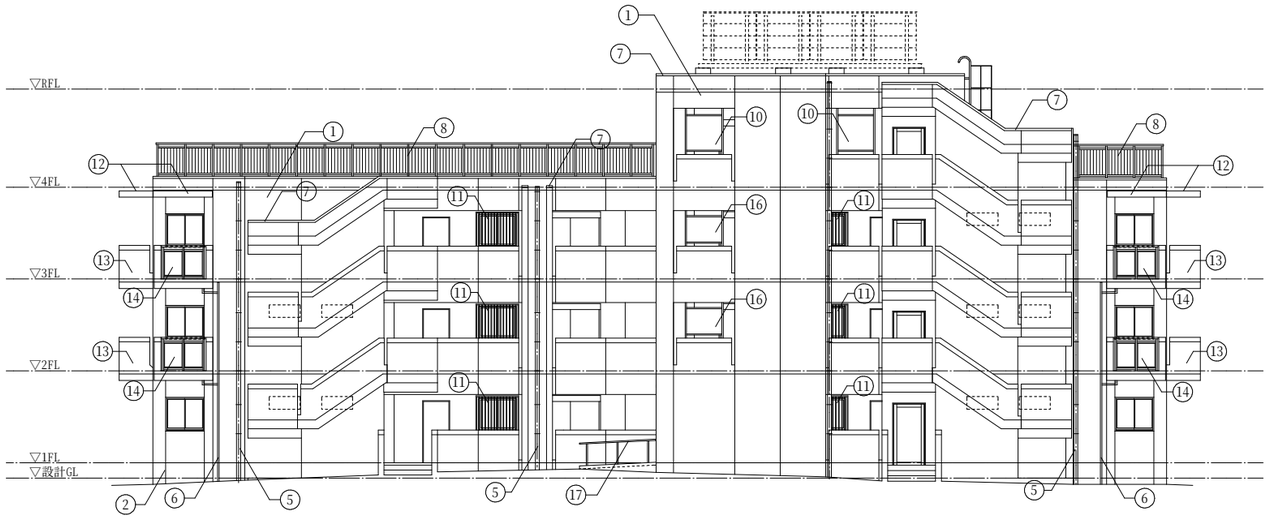
東立面図　　S＝1/100



南立面図　　S＝1/100



西立面図　　S＝1/100



北立面図　　S＝1/100

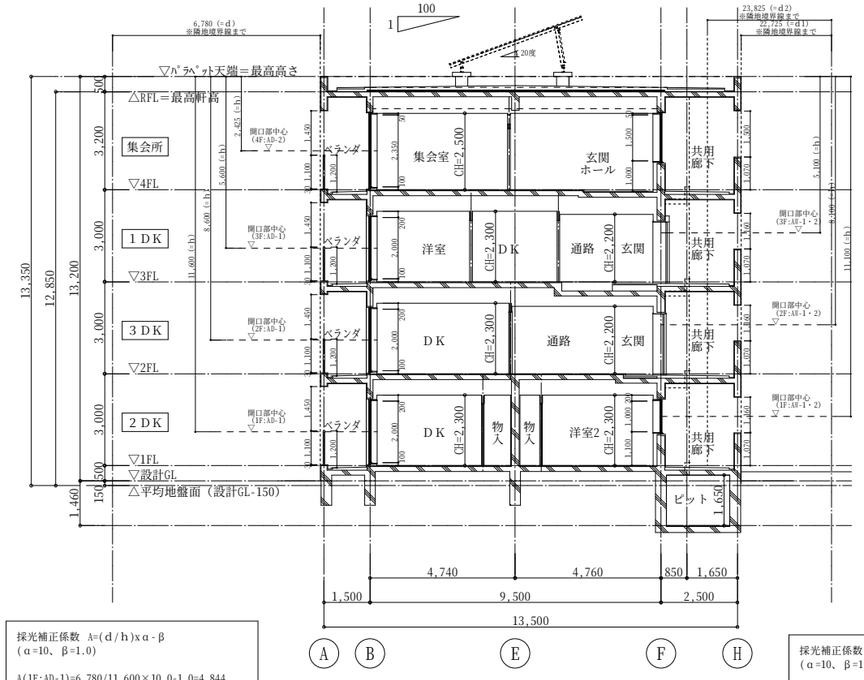
凡　例

①	外　壁	コンクリート打放補修の上　防水形複層塗材E（凹凸状吹付） （トップコート吹付(水性シリコンつやあり)）	⑧	屋上手摺	アルミ笠木たて格子手摺　H=1100	⑮	タラップ	安全ガード付
②	外部巾木	コンクリート打放補修の上　水性フッ素樹脂クリア塗装 （誘発目地@2,000内外の上　ウレタンシーリング）	⑨	ベランダ手摺	アルミ笠木ガラス手摺　H=1100	⑯	防風スクリーン	W=1200ｘH=980
③	~~屋　根~~	~~カラーガルバリウム鋼板t0.4　タテハゼ葺き~~	⑩	防風スクリーン	W=1200ｘH=1280	⑰	スロープ手摺	ステンレス製手摺　H=750
④	~~RT　樋~~	~~塩ビ製　W120×H120~~	⑪	面格子	アルミ製たて面格子（引違い窓W1,200ｘH1,000）	⑱		
⑤	竪　樋	カラーVPφ100（排水管カバー・スライドソケット・スライドチーズ・掃除口共）、SUS掴み金物@1,200	⑫	庇	ウレタン塗膜防水（X-2）	⑲		
⑥	竪　樋	カラーVPφ50（排水管カバー・掃除口共）、SUS掴み金物@1,200	⑬	室外機置場	コンクリート打放補修の上　防水形複層塗材E（凹凸状吹付） （トップコート吹付(水性シリコンつやあり)）	⑳		
⑦	笠　木	アルミ既製品（捨て笠木共）	⑭	室外機置場 手摺	アルミ笠木ガラス手摺　H=1100	㉑		

●高さの基準
・KBM.1＝3.480
・KBM.2＝3.817
・設計GL＝4.000（KBM.1+520㎜）とする
・市営住宅A棟1FL＝4.500（設計GL+500㎜）とする

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1　S=1/100 A3　S=1/200			A
立面図				22

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



採光補正係数 A=(d/h)xα-β
(α=10、β=1.0)

A(1F:AD-1)=6.780/11.600×10.0-1.0=4.844
A≧3より 採光補正係数 3.0
A(4F:AD-2)=6.780/2.425×10.0-1.0=26.958
A≧3より 採光補正係数 3.0

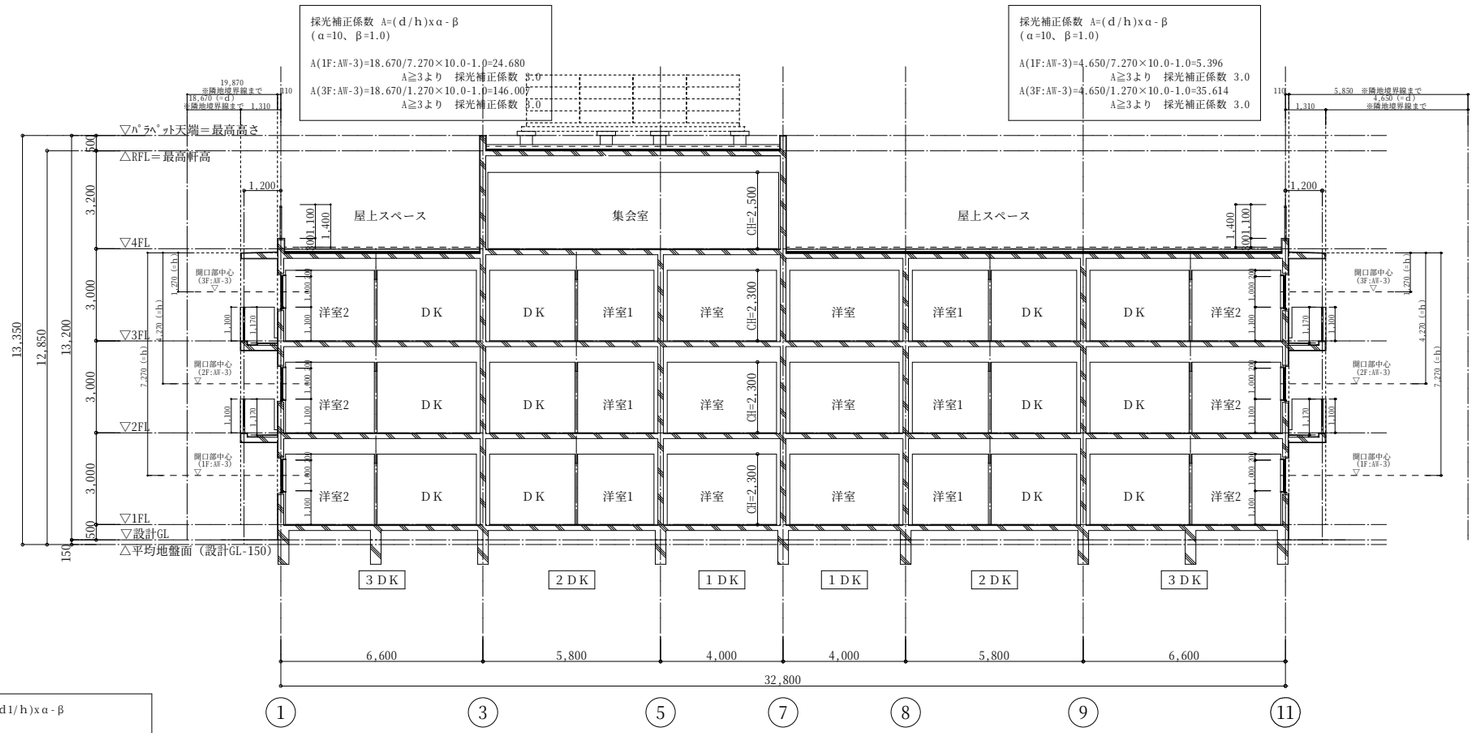
A－A断面図　S＝1/100

採光補正係数 A=(d1/h)xα-β
(α=10、β=1.0)

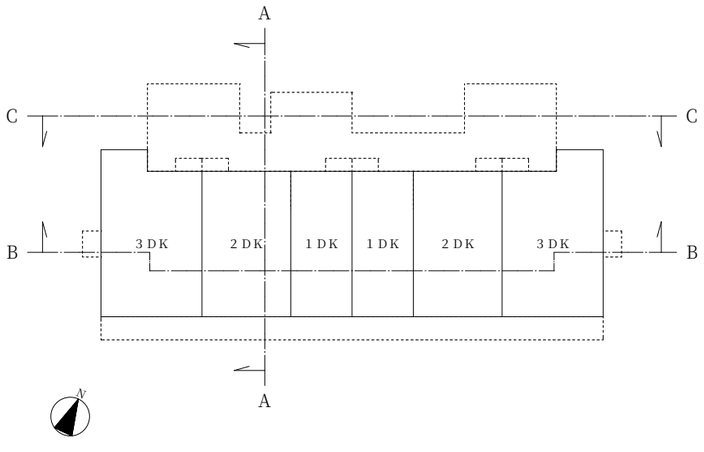
A(1F:AW-1)=22.725/11.100×10.0-1.0=19.472
A≧3より 採光補正係数 3.0

採光補正係数 A=(d2/h)xα-β
(α=10、β=1.0)

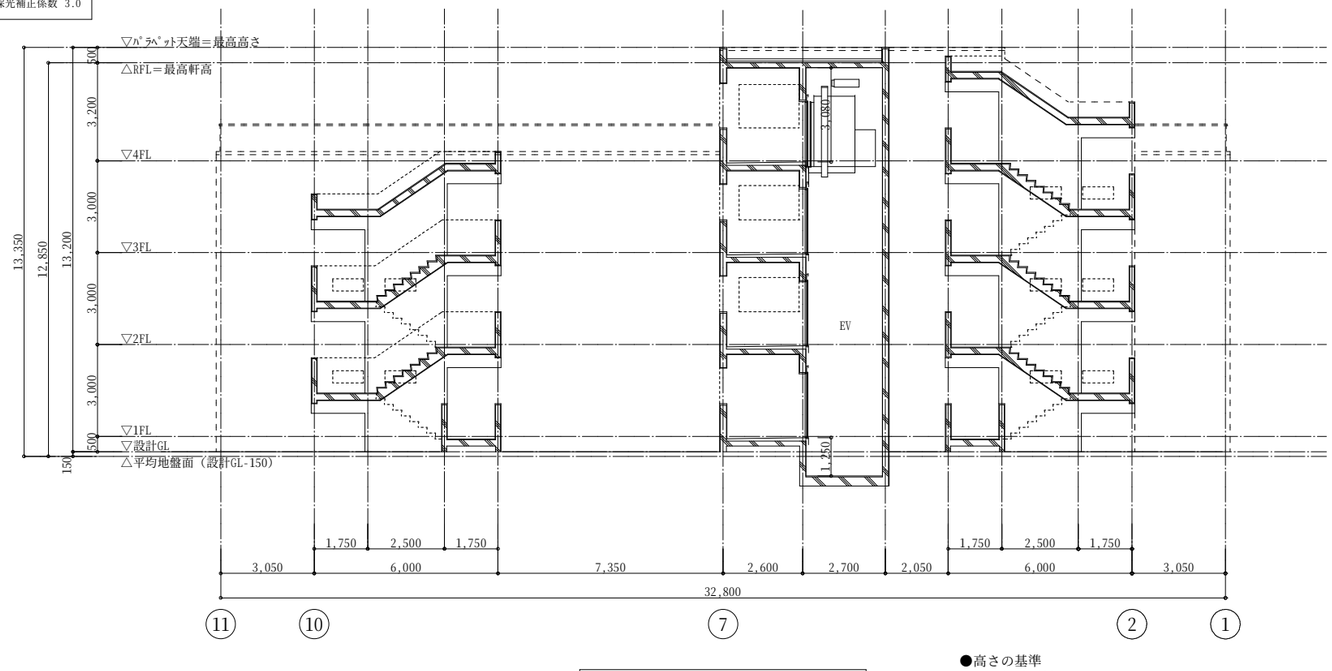
A(1F:AW-2)=23.825/11.100×10.0-1.0=20.463
A≧3より 採光補正係数 3.0



B－B断面図　S＝1/100



建物断面位置図　S＝1/200

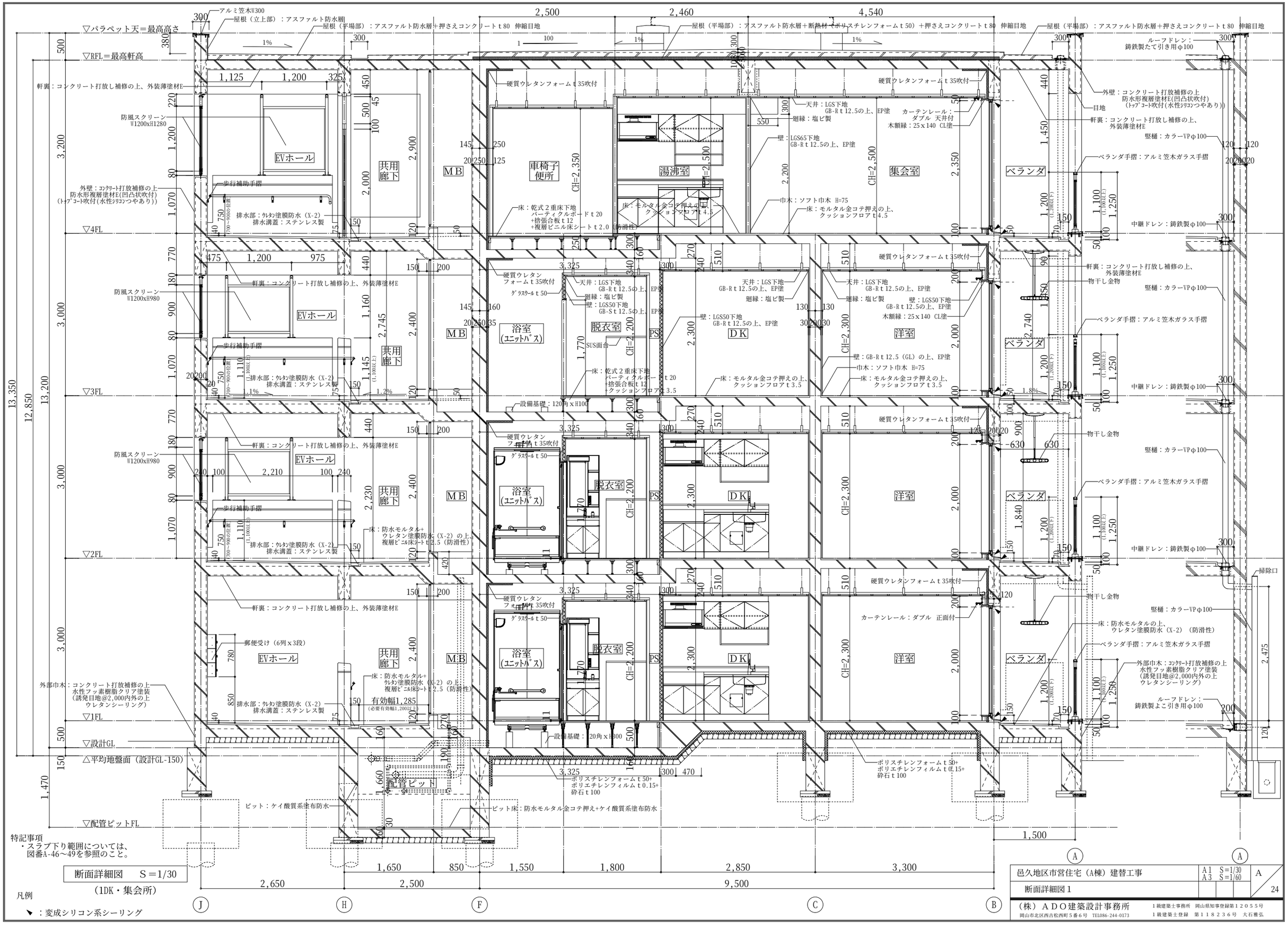


C－C断面図　S＝1/100

●高さの基準
・KBM.1＝3.480
・KBM.2＝3.817
・設計GL＝4.000（KBM.1+520mm）とする
・市営住宅A棟1FL＝4.500（設計GL+500mm）とする

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/100 A3 S=1/200	A
断面図		23

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



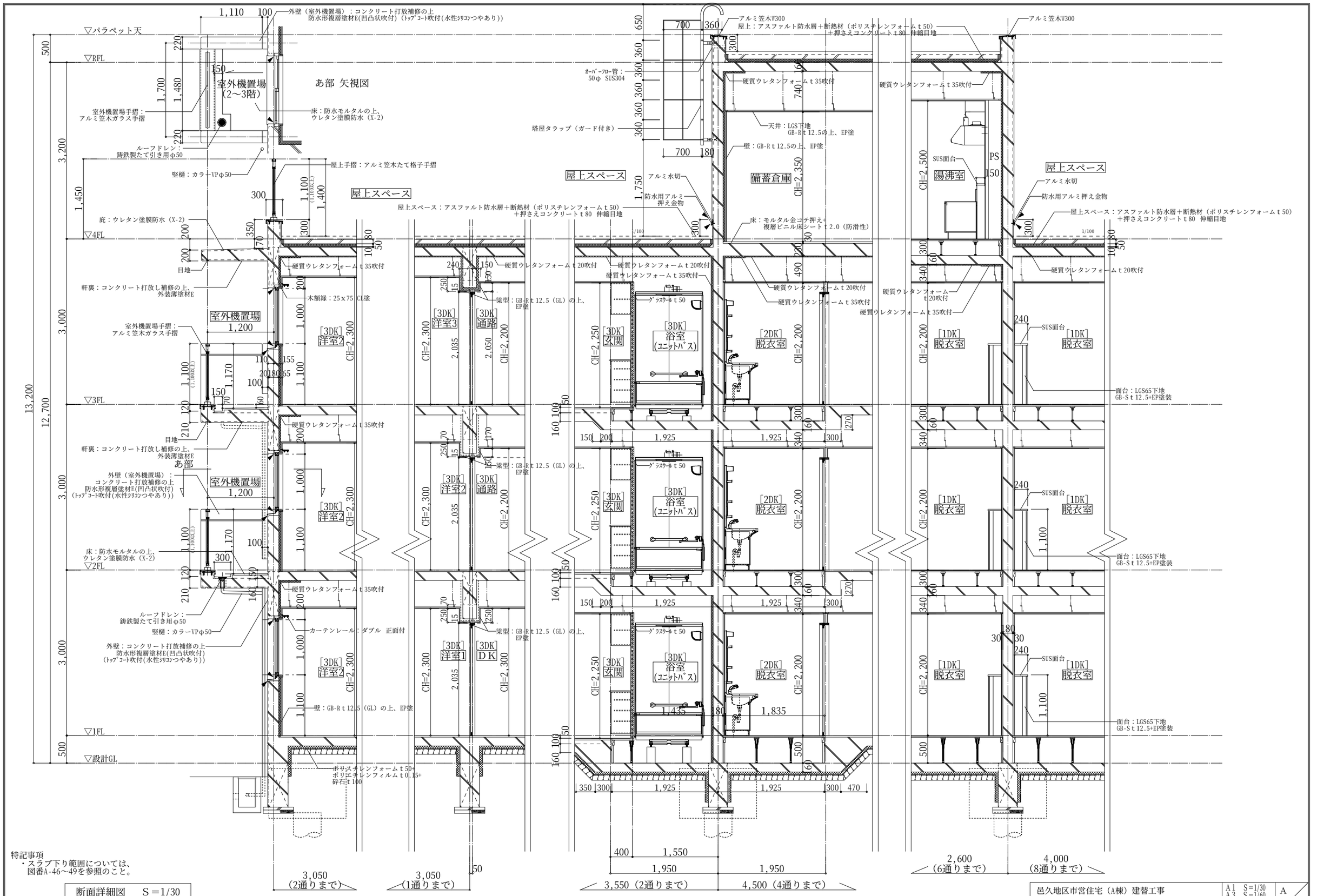
特記事項
・スラブ下り範囲については、
図番A-46～49を参照のこと。

断面詳細図　S＝1/30
（1DK・集会所）

凡例
▼：変成シリコン系シーリング

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/30 A3 S=1/60	A
断面詳細図1		24

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



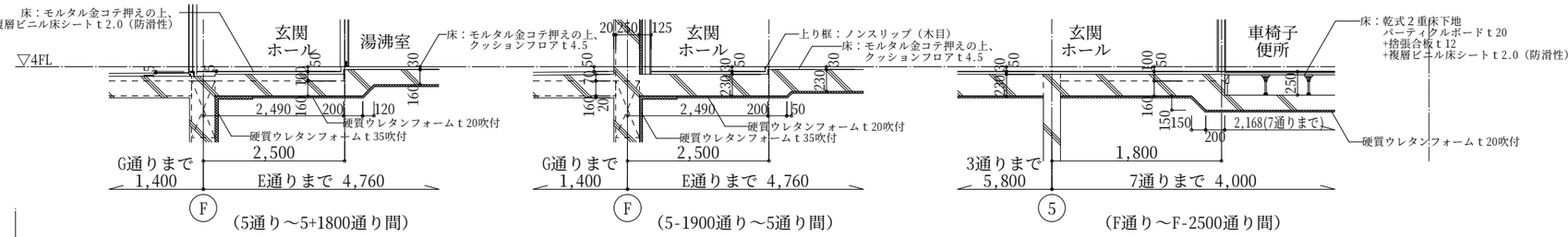
特記事項
・スラブ下り範囲については、
図番A-46～49を参照のこと。

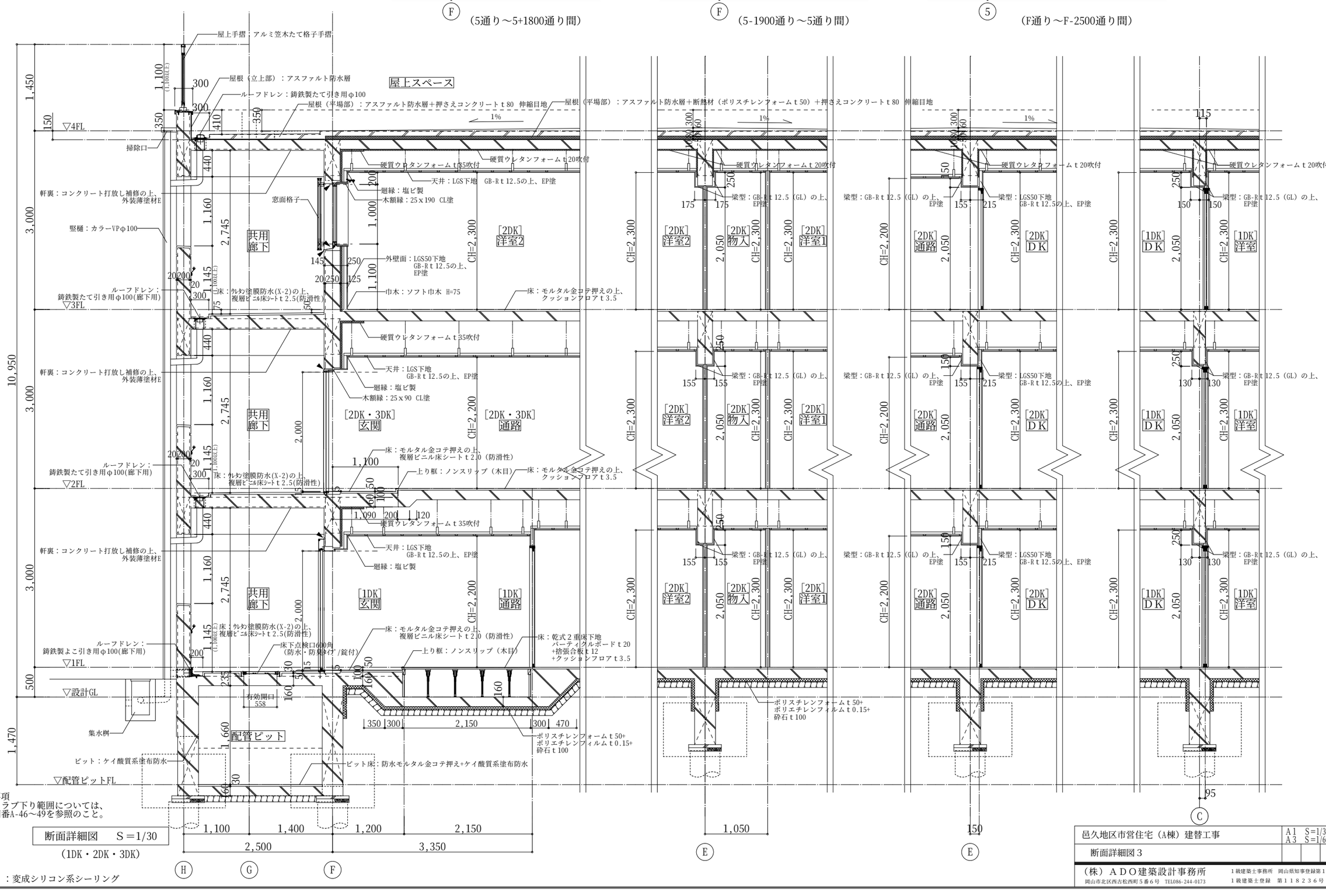
断面詳細図　S＝1/30
（1DK・2DK・3DK・集会所）

凡例
▼：変成シリコン系シーリング

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/30 A3 S=1/60		A
断面詳細図２			25

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号 TEL086-244-0173
１級建築士事務所 岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録 第１１８２３６号 大石雅弘





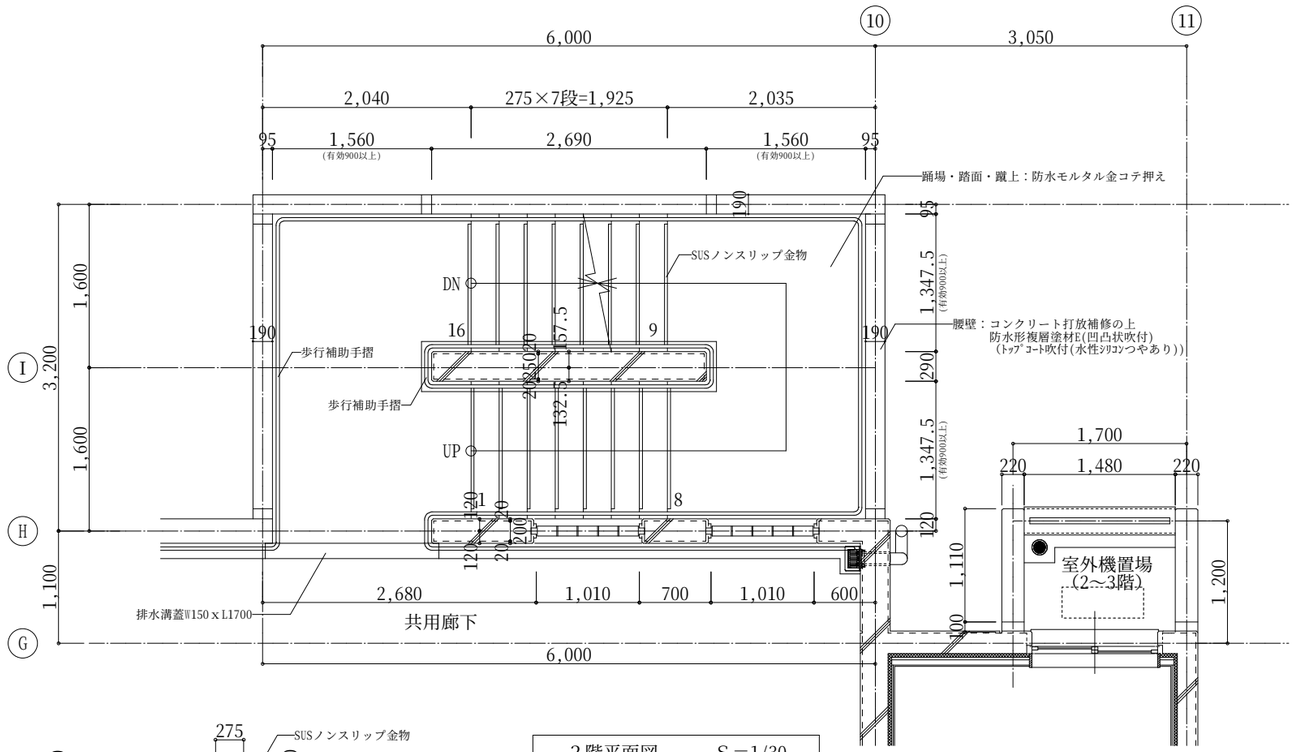
特記事項
・スラブ下り範囲については、
図番A-46～49を参照のこと。

断面詳細図　S＝1/30
（1DK・2DK・3DK）

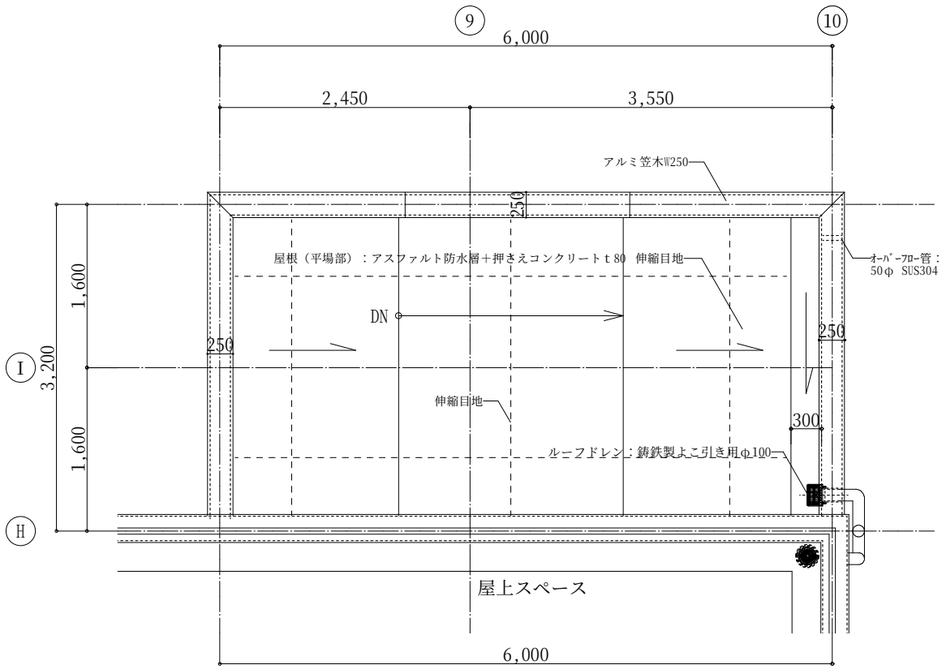
凡例
▼：変成シリコン系シーリング

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/30 A3 S=1/60	A
断面詳細図３		26

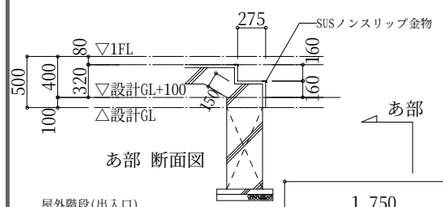
（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号 TEL086-244-0173
１級建築士事務所 岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録 第１１８２３６号 大石雅弘



2階平面図　　S＝1/30

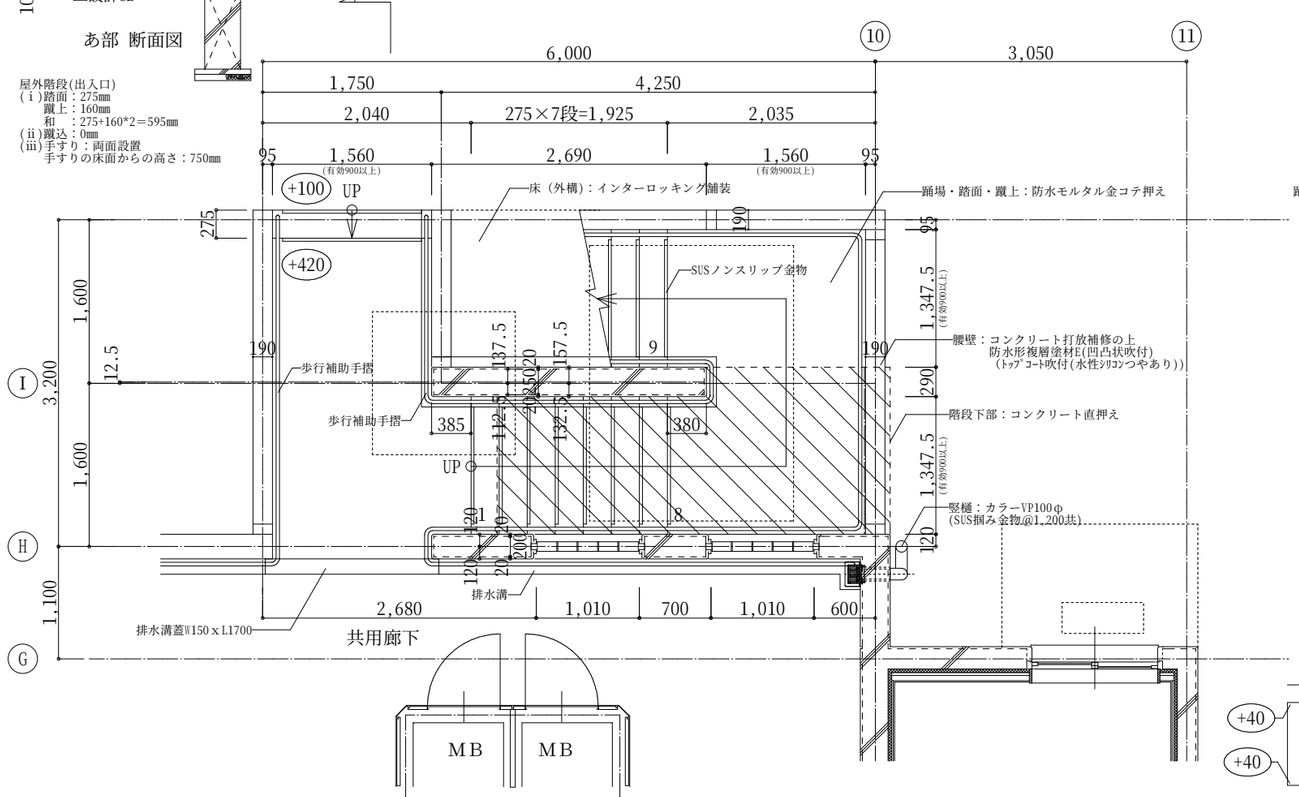


屋根伏図　　S＝1/30



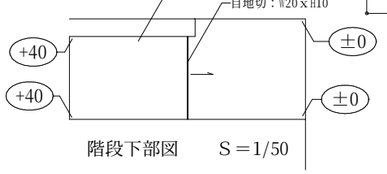
あ部 断面図

屋外階段(出入口)
(ⅰ)踏面：275㎜
蹴上：160㎜
和　：275+160*2＝595㎜
(ⅱ)蹴込：0㎜
(ⅲ)手すり：両面設置
手すりの床面からの高さ：750㎜

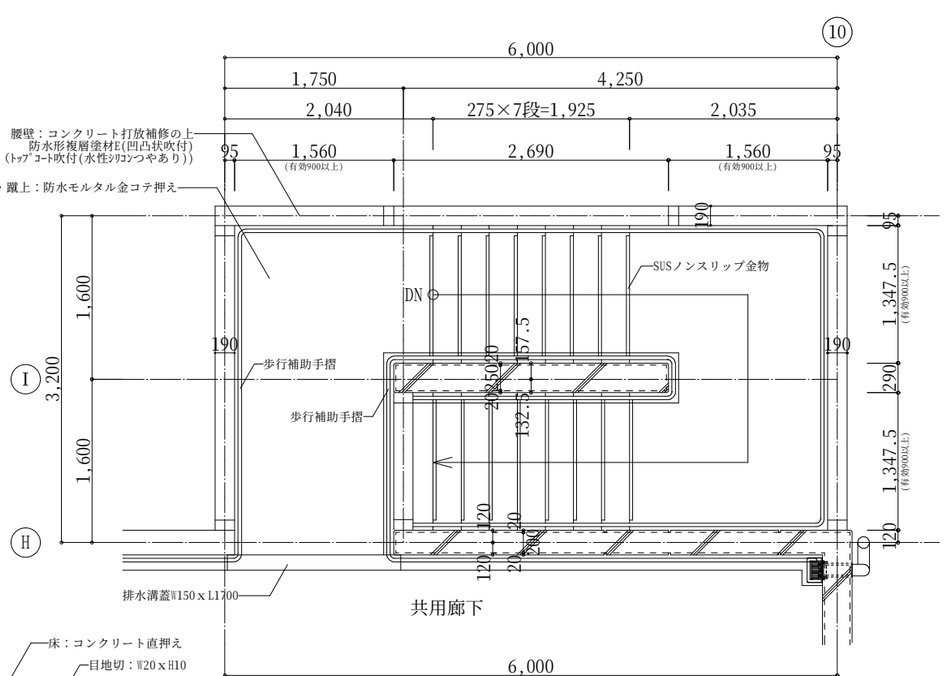


1階平面図　　S＝1/30

数値：設計GLからのレベルを示す



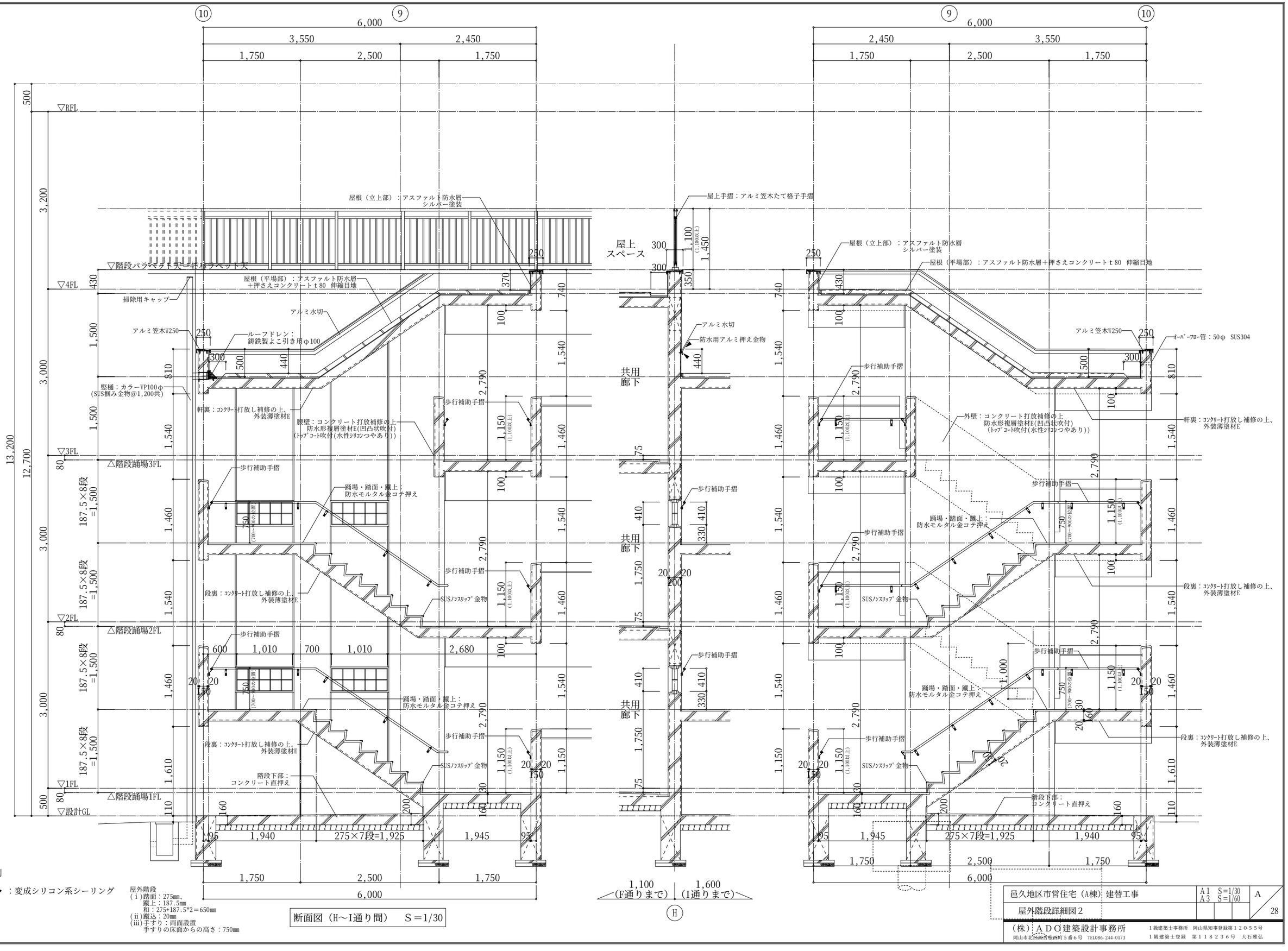
階段下部図　　S＝1/50



3階平面図　　S＝1/30

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/30 A3 S=1/60	A
屋外階段詳細図1		27

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



凡例

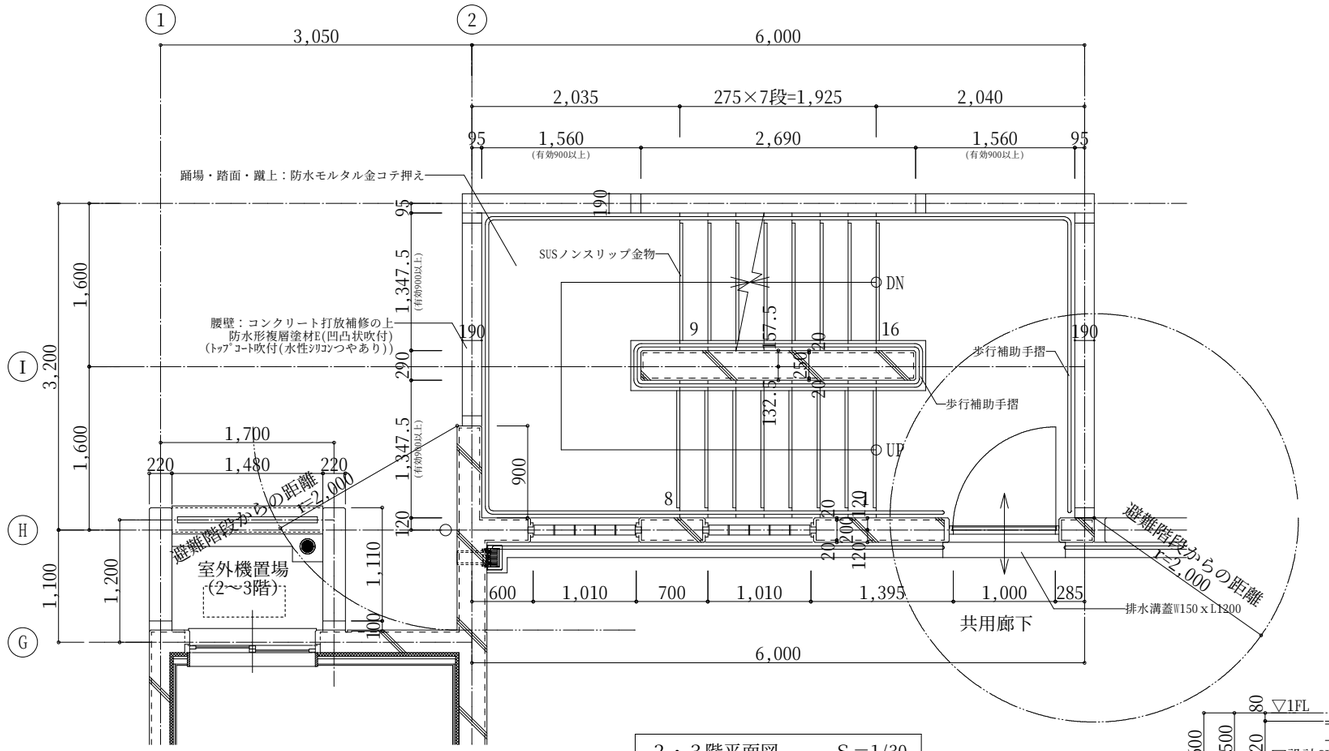
▼：変成シリコン系シーリング

屋外階段
(ⅰ)踏面：275㎜、
蹴上：187.5㎜
和：275+187.5*2＝650㎜
(ⅱ)蹴込：20㎜
(ⅲ)手すり：両面設置
手すりの床面からの高さ：750㎜

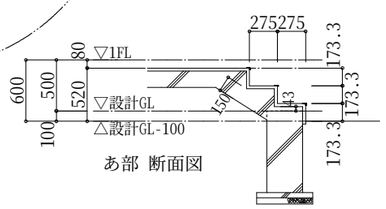
断面図（H～I通り間）　S＝1/30

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/30 A3 S=1/60		A
屋外階段詳細図２			28

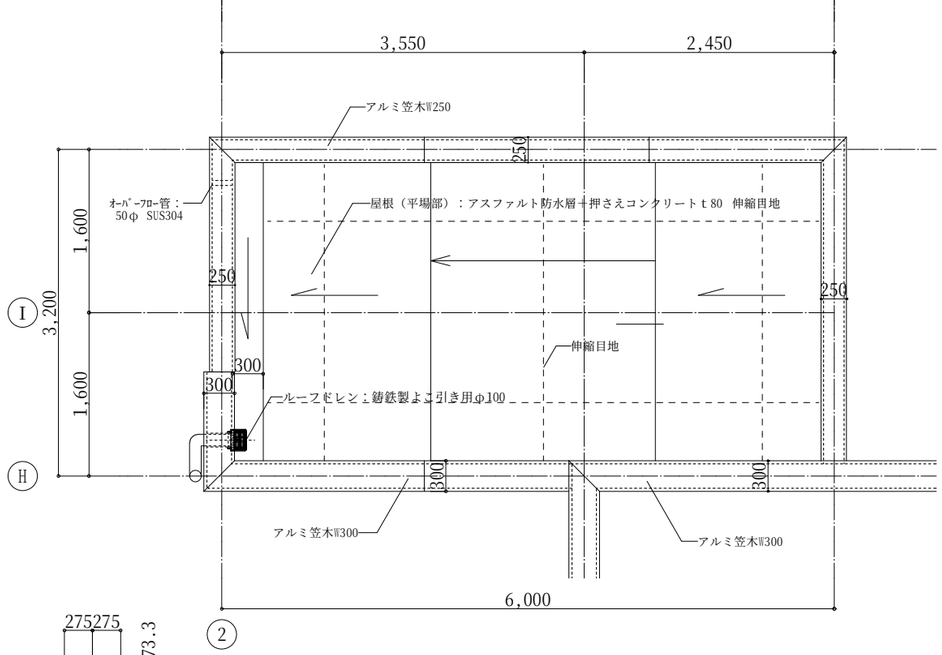
（株）ＡＤＱ建築設計事務所
岡山市北区高松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



2・3階平面図　　S＝1/30

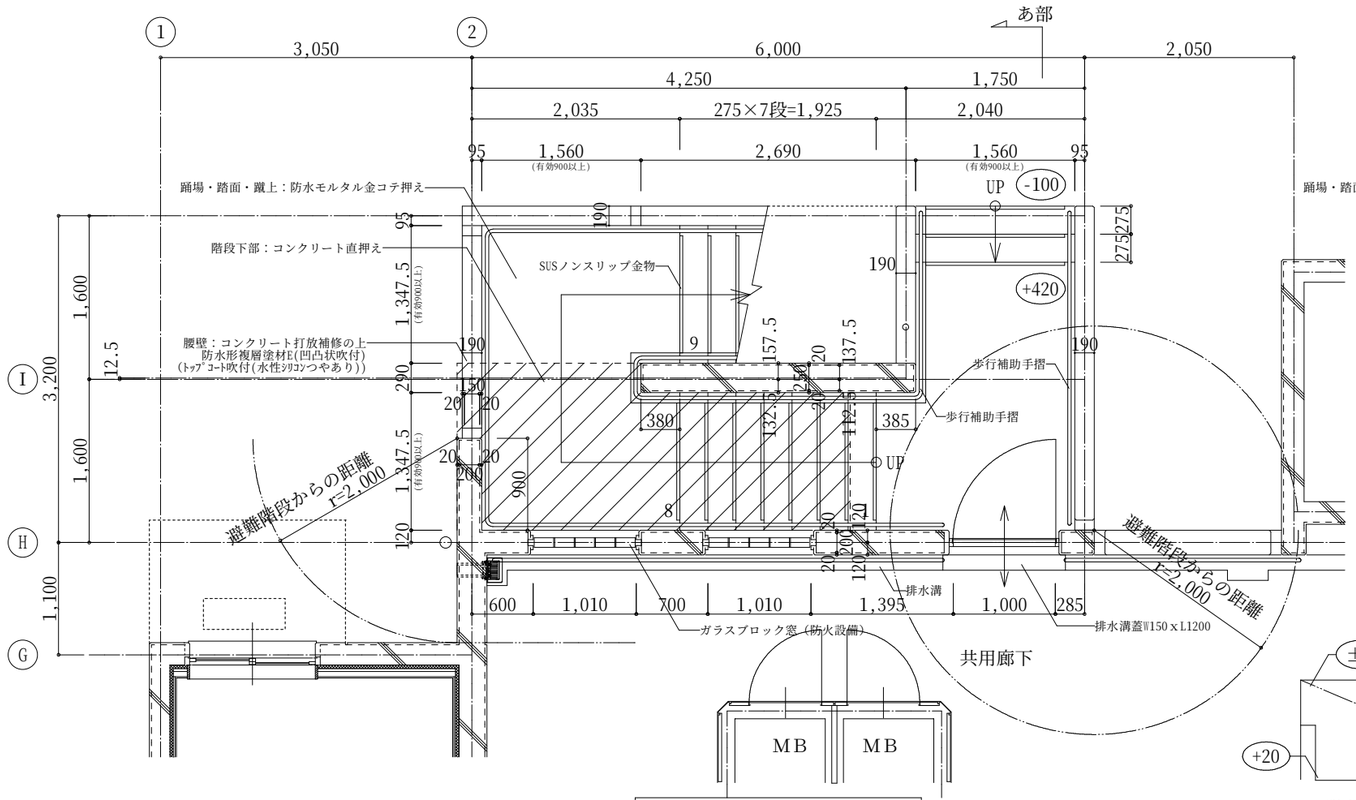


あ部 断面図



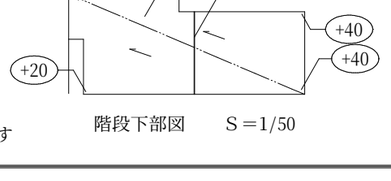
屋根伏図　　S＝1/30

屋外避難階段(出入口)
(ⅰ)踏面：275㎜
蹴上：173.3㎜
和　：275+173.3*2＝622㎜
(ⅱ)蹴込：0㎜
(ⅲ)手すり：両面設置
手すりの床面からの高さ：750㎜

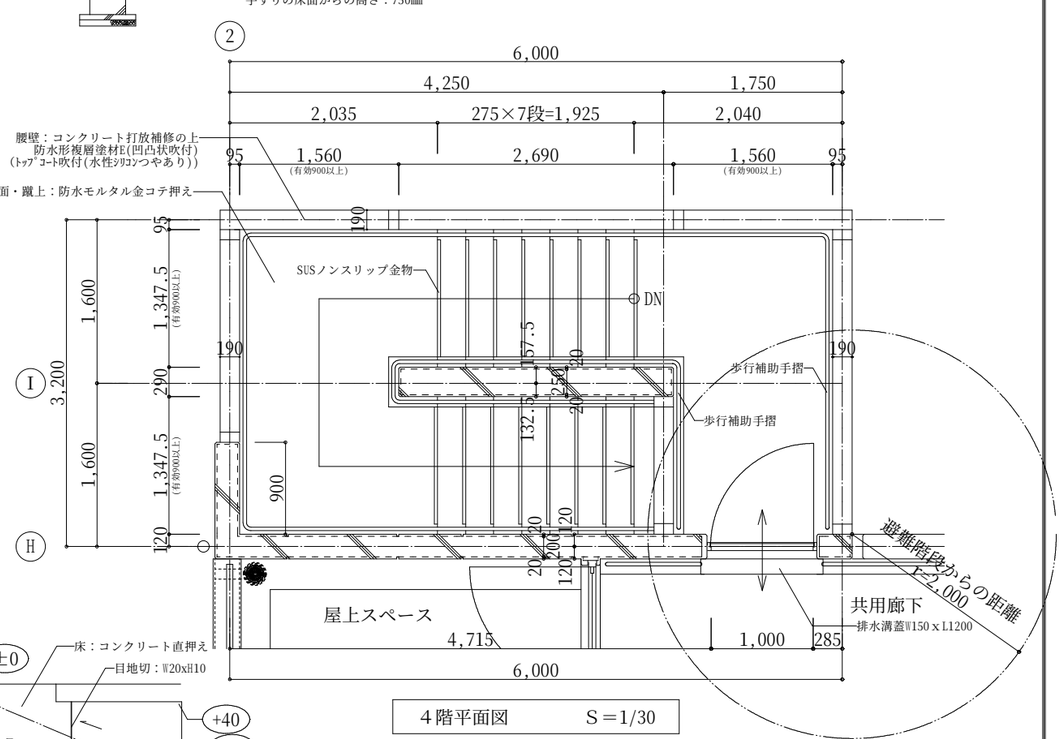


1階平面図　　S＝1/30

数値：設計GLからのレベルを示す



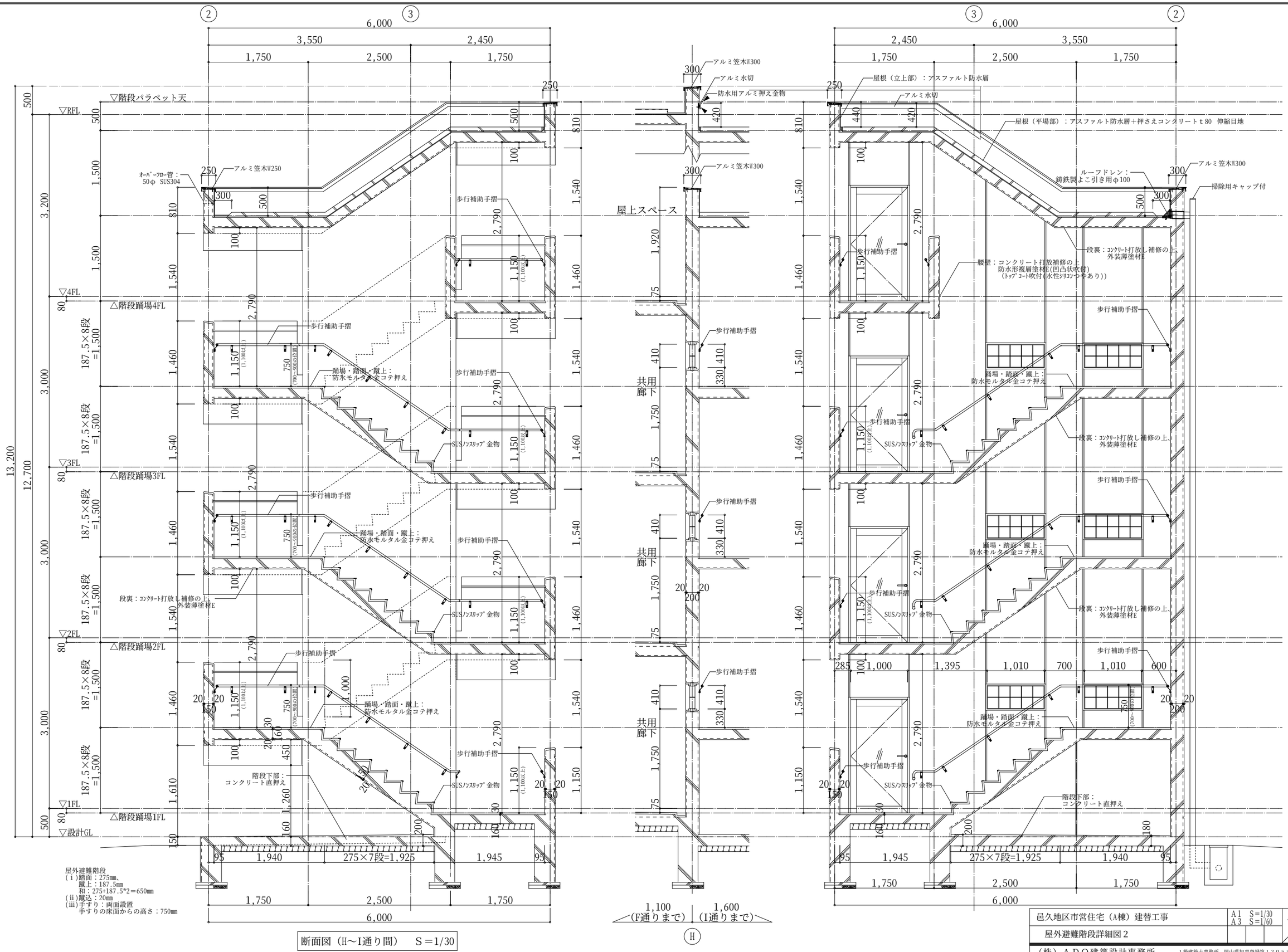
階段下部図　　S＝1/50



4階平面図　　S＝1/30

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/30 A3 S=1/60		A
屋外避難階段詳細図1			29

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

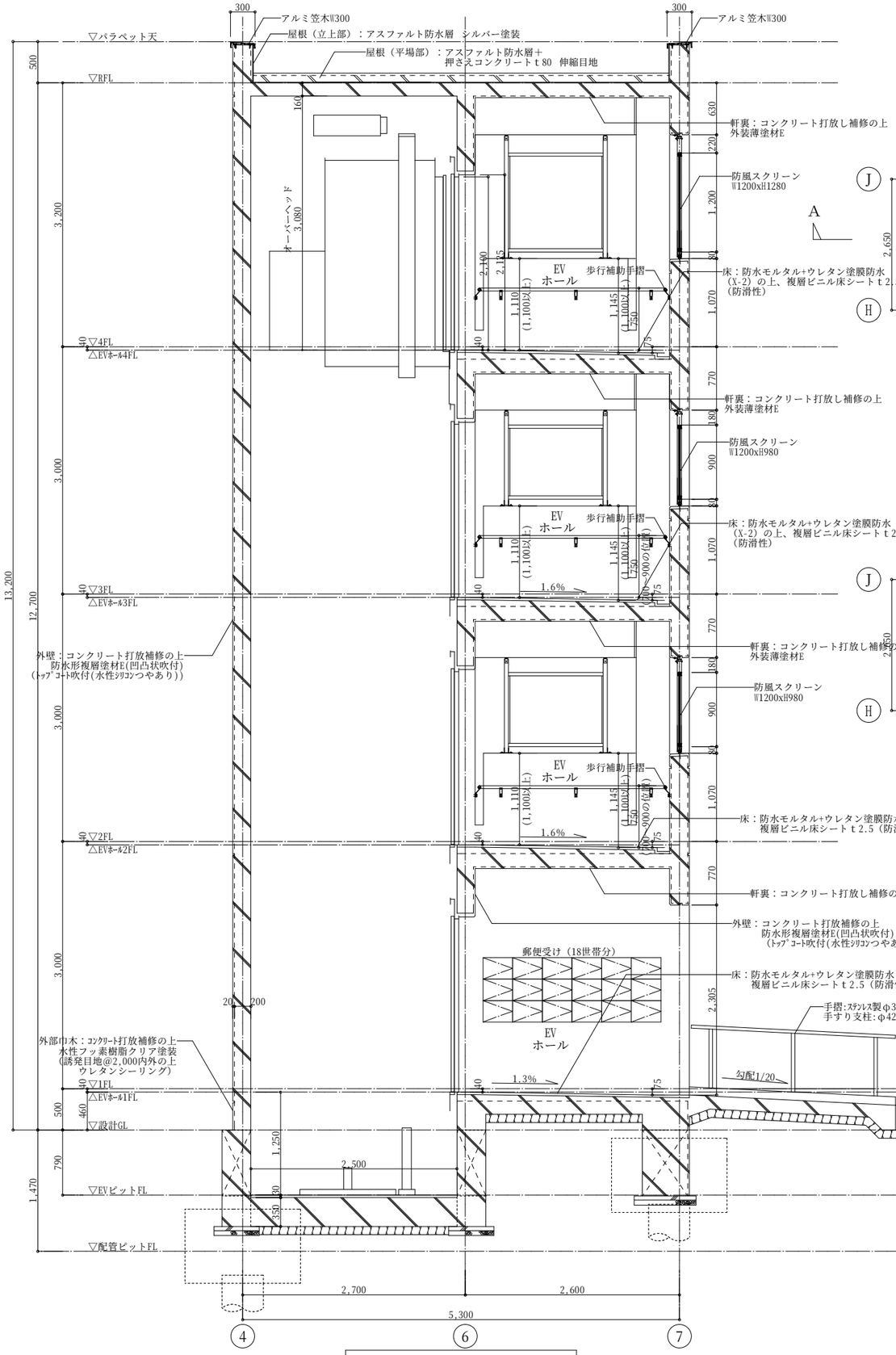


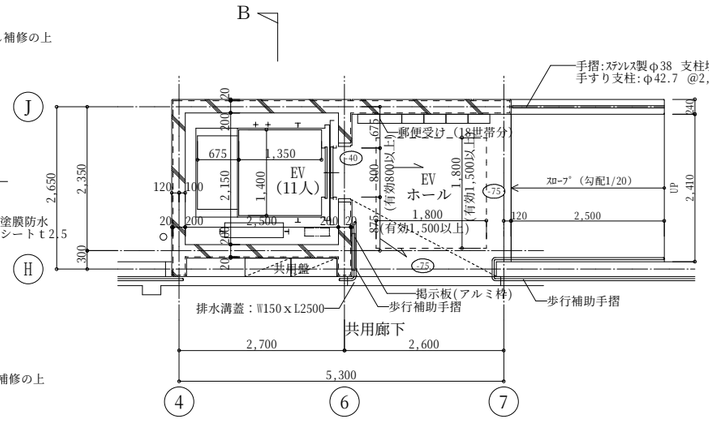
断面図（H～I通り間）　S＝1/30

屋外避難階段
(ⅰ)踏面：275㎜、
蹴上：187.5㎜
和：275+187.5*2＝650㎜
(ⅱ)蹴込：20㎜
(ⅲ)手すり：両面設置
手すりの床面からの高さ：750㎜

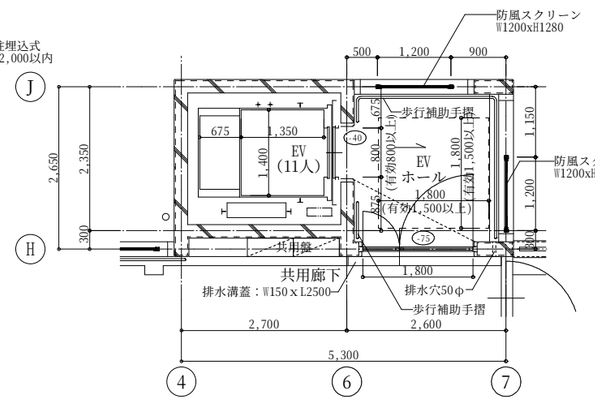
邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/30 A3 S=1/60	A
屋外避難階段詳細図２		30

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号 TEL086-244-0173
１級建築士事務所 岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録 第１１８２３６号 大石雅弘

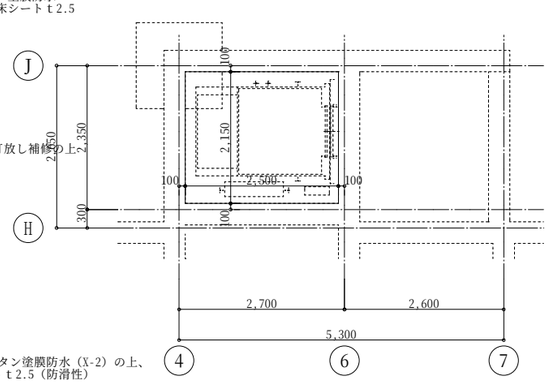




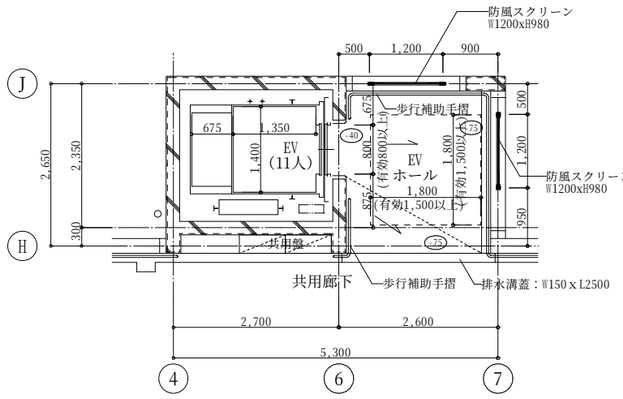
1階平面詳細図 S＝1/50



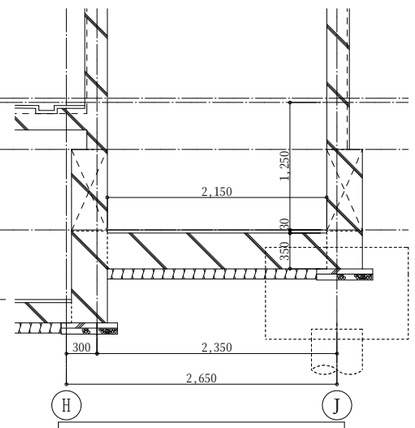
4階平面詳細図 S＝1/50



ピット平面詳細図 S＝1/50



2・3階平面詳細図 S＝1/50



B断面詳細図 S＝1/30

数値：FLからのレベルを示す

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/30, 1/50 A3 S=1/60,1/100	A
エレベーター詳細図1		31

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号 TEL086-244-0173
１級建築士事務所 岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録 第１１８２３６号 大石雅弘

下記の事項については別途見積となります

負荷状況により作業を請負できない可能性がありますので弊社担当へ都度ご相談ください

1	標準施工作業時間以外でご用命の場合（標準：月曜日～金曜日　8:00～17:00）
2	夜間作業発生の場合
3	2階以上の階若しくは地下階への搬入作業の場合
4	荷下ろし場所から設置・仮置き場所までの距離が30mを超える場合
5	横引き通路に段差・階段・障害物がある場合
6	搬入に際し、警備員・誘導員及び道路使用許可を要する場合
7	床・壁に養生を必要とする場合
8	昇降機据付工事以外で立会いが発生する場合
9	据付工事短縮を必要とする場合
10	昇降路を養生する必要がある場合（ガラス壁等）
11	昇降機着工前までに各階出入口開口部養生材設置作業（養生材のみの貸与含む）をご用命の場合
12	昇降機を工事用として使用する場合の社内検査費用・復旧（オーバーホール・消耗部品の交換等）費用・定期保守費用・コールバック対応費用等 ただし、積載量1,000kg以上の場合、別途労働基準監督署の落成検査費用が発生します 落成検査費用につきましてはご利用者様負担となります （検査費用は【労働安全衛生法関係手数料令】別表第一の四をご参照ください）
13	コンクリート基臍圧縮強度が30N/mm²を超える場合
14	その他特殊な事情がある場合

（1台1回線）

電源設備　（仮圧）

号機名		No.1		
電源設備容量	動力	210V　4kVA		
	照明	100V　1.5kVA		
最大電流		20.6A		
動力線サイズ（mm²）		5.5	8	14
最大引込み距離（m）		83	127	223
建屋側MCCB		30A		
接地線最小サイズ		2　mm²		
インターホン用配線		φ0.9×10本		
電話用配管・配線		φ19配管・電話線1P		
ピットコンセント容量		1kVA／台		

特記事項

号機表示
非常呼びボタン応答灯
非常呼びボタンカバー（透明樹脂製）
機械式ドアセフティ（両側）
お知らせドアセンサー
スマートドア（※乗場出入口付近の照度は50ルクス以上必要）
防犯カメラ（記録装置内蔵・映像確認装置付）
床下防食対策（ステンレス化）
磁石式隔離マット（分割形、3面、H1800mm）
［消臭、菌・ウイルス抑制タイプ］
床マット
かご上ブザー
外部インターホン：（　　）に取付［警報盤1面］
各階停止運転
高調波対策
フェッシャープレート
レール割付：4mレール
無償保守期間　12ケ月
公共住宅建設工事共通仕様書

車いす仕様
専用乗場ボタン
かご内専用（主・副）操作盤
かご内鏡（ステンレス製鏡面、3分割）
かご側面手摺（ステンレス製ユニバーサル手摺（φ38）、2方向）
硝子（ステンレス製：1.5、一体形ビス止め、H300mm）

視覚障がい者対策
点字銘板（車いす用品を含む）
音声案内装置
乗場点字注意銘板

（電気工事）
・火報信号　無電圧a接点：φ1.2×3本
・防犯カメラ用信号：5C－FB×1本

（0189288-2）　V.22.03（FC）

積込み荷重制限	荷重条件	250kg（1輌台車を使用するものとし、台車の重量を含む）
	重量物の積込みは、一回当り荷重条件以下で積込み下さい。 ※フォークリフトの使用はできません。	

エレベーター仕様

概略仕様	号機名（台数）		No.1　（1台）
	用途（形式）		乗用　（SPT11－CO45）トランク付　車いす仕様
	積載量（定員）		750kg　（11人）
	速度		45m／min
	制御方式		交流インバータ制御方式（回生無）
	操作方式		乗合全自動方式
	停止ヶ所・出入口方向		（1～4F）　4ヶ所　1方向
	かご内法（WxDxH）		1400mm X1350mmX2300mm
	出入口寸法（WxH）		800mm　X2100mm
	ドア方式		2枚戸中央開き（電動式）
	電動機出力		AC－3.5kW（ギヤレス）
	電源	動力	三相3線　210V 60Hz
		照明	単相　100V 60Hz
	管制運転	地震時	有（P波＋S波感知器（3段検知）リスタート機能付）
		火災時	有
		自家発時	無
		浸水時／冠水時	有　全自動形（ピット冠水時（最階））
	停電時自動着床装置		有
	耐震クラス		A1 4
	かご内通話装置		24V同報通話インターホン
	基本仕様及び標準装備仕様		ローラーガイド（かご、おもり） 照明・換気装置自動休止機能 2D多光軸（マルチビーム）ドアセフティ 反転時呼び一括キャンセル機能 戸閉防止再開自動設定 行先階取消し機能 気配りアナウンス機能（非常時4ヶ国語対応） イオン発生装置 故障時最寄階自動着床運転 しきい間すきまレス 広角ミラー付操作盤
乗場仕様	三方枠		全階　大枠・全鋼製斜　ステンレス製ヘアライン仕上
	ドア		全階　鋼板製単色塗装仕上
		防犯窓	全階　網入ガラス（t6.8）（JIS R3204）とフロートガラス（t3.0）（JIS R3202）を合わせたもの・［ドア面と面一］
		遮煙	全階　有
	敷居		全階　ステンレス製板曲げ
	乗場ボタン	ボタン	全階　抗菌凸文字印ボタン（SIAA認証）
	インジケータ	インジケータ	全階　デジタル階表示式
	ボタン	フェースプレート	全階　板曲げ　ステンレス製ヘアライン仕上　（一部溶接）
かご仕様	天井照明		［STD－11］アルミフレーム導光板LED照明
	換気装置		ファン
	リターンパネル		ステンレス製ヘアライン仕上
	出入口枠		ステンレス製ヘアライン仕上
	ドア		化粧鋼板
		防犯窓	網入ガラス（t6.8）（JIS R3204）とフロートガラス（t3.0）（JIS R3202）を合わせたもの・［ドア面と面一］
	幕板		化粧鋼板
	側板		化粧鋼板
	幅木		ステンレス製ヘアライン仕上
	床		ビニタイル　（t2）
	敷居		ステンレス製　板曲げ
	操作盤	ボタン	抗菌凸文字ボタン（SIAA認証）
		インジケータ	液晶（カラーユニバーサルデザイン認証）
		フェースプレート	標準（広角ミラー付）　抗菌樹脂成形品（SIAA認証・一部溶接）

No.1

遮煙のりばドア（Smokeproof）		
適用階	1～4F	認定番号　CAS－1074（1）

【エレベーター遠隔監視メンテナンス】
※ このエレベーターは、遠隔監視メンテナンス契約可能対応機種です。
※ 遠隔監視メンテナンスでは、エレベーターの遠隔診断・遠隔監視が可能です。
※ 上記サービスに必要な機器は、保守会社との遠隔監視メンテナンス契約時に貸与されます。

注　意　事　項

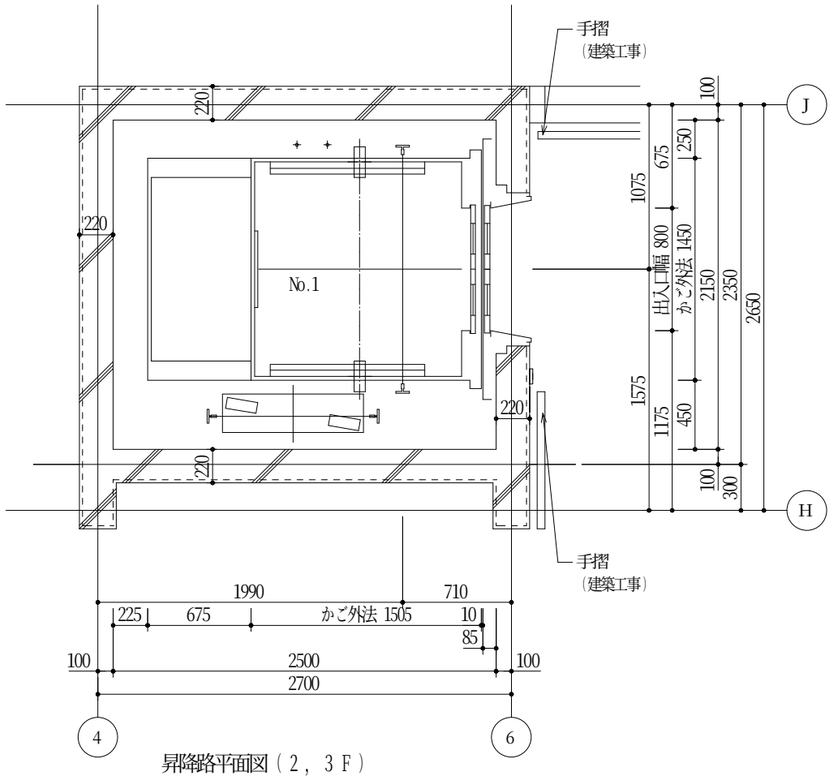
1	躯体と昇降機承諾図に相違がある場合はエレベーター着工までに躯体を是正すること
2	(1)昇降路の壁又は囲いは隙間無きものとすること (2)昇降路の壁又は囲いは難燃材料（不燃材料・準不燃材料含む）とすること (3)昇降路の壁又は囲いは5cm□辺り300Nの外力が作用した時に1.5mmを超える変形及び塑性変形が生じない構造とすること (4)コンクリート厚さは150mm以上とすること (5)コンクリート基臍圧縮強度は21N/mm²以上30N/mm²以下とし、30N/mm²を超える場合は都度対応協議のこと (6)昇降路壁は後施工アンカーが可能な構造とすること
3	昇降路内にはエレベーターに関係のない配管・配線・ダクト・その他の機器を設置しないこと
4	昇降路壁には配管・消火栓等を埋め込まないこと
5	昇降路内には建築金物（ALCクリップ等）が突出しないこと
6	昇降路内に断熱材（ウレタン・スタイロフォーム等）を施工する場合は溶接火花による火災のおそれがあるため難燃材料とすること
7	断熱材はガイドレール支持用ファスナー及び乗場出入口廻りの取付材を避けて施工すること
8	断熱材の施工時期は協議すること
9	昇降路内の温度は5℃以上40℃以下、湿度は月平均90%以下、日平均95%以下とし、氷結・結露しないこと
10	昇降路内及び乗場には風雨・塵埃・塩分・有害ガス等が入らないこと
11	昇降路内に換気設備を設置する場合は外部より点検可能な配置とし、雨水対策を実施すること
12	昇降路内の騒音・振動が居室に伝搬しない配置及び躯体構造防音・防振工事等）とすること
13	エレベーターホールと機械室が近い場合はドラフトによりエレベーターの戸が開閉できなくなるおそれがあるため建物側で気密性を上げること
14	保守・点検・緊急対応のため、外部より最上階のエレベーターホールへアクセスできる通路を設けること また、個人宅や占有部、鍵が必要な場所を経由する必要がないこと
15	電源電圧の変動は動力用±10%以内、照明用±5%以内とし、動力用の電圧不平衡率を5%以内とすること
16	高調波障害回避のため、以下の対応を推奨します (1)弱電機器の電源線・通信線はエレベーター動力線から1m以上分離すること (2)エレベーター動力用電源トランスは弱電機器のトランスと独立して設けること (3)弱電機器とのアース線共用は避けること (4)エレベーター動力線は弱電機器近くの床下や天井に設置しないこと (5)漏電遮断器・漏電継電器を設置する場合、不要動作防止のためインバータ対応のものを使用すること
17	搬入に支障のない経路を確保すること
18	据付工事用現場詰所及びエレベーター材料・据付工事用機材の保管場所を無償提供願います
20	据付工事用電源及び試運転調整時の動力電源を無償提供願います（容量は別途打ち合わせ）
21	必要に応じてモルタルを無償提供願います
22	エレベーターを工事用として使用する場合はこの使用に伴う検査費用・復旧（オーバーホール消耗部品の交換等）費用・定期保守費用・コールバック対応費用等が生じます
23	エレベーターを工事用として使用する場合、電力会社から供給される電源を使用願います 工事用発電機による工事用使用は電源電圧が不安定なため、内部基板への悪影響を引き起こす可能性が高いことから使用しないこと
24	かご内へ一度に搬入可能な積載は4輌台車で積込み荷重制限（台車含む）以下とすること

工　事　区　分　表

分類	No.	工事項目	昇降路構造 RC	昇降路構造 S	建築 建築	建築 電気	建築 設備	建築 昇降機
昇降路	1	昇降路の築造工事及び躯体・オーバーヘッド・ピット寸法が昇降機承諾図と異なる場合の是正工事 オーバーヘッド：昇降機承諾図寸法に対し20mm以上低い場合（ただし、必要寸法を確保のこと） ピット：昇降機承諾図寸法に対し浅い場合又は30mm以上深い場合（防水面から確保のこと）	○	○	○			
	2	天井フック又はトロリービーム設置工事（荷重に対し安全率5を確保のこと）（オーバーヘッド高さが4000mmを超える場合、トロリービーム設置は必須のこと）	○	○	○			
	3	中間ビーム・セパレータビーム設置・インサート埋め込み工事	○	○	○			
	4	ガイドレール支持用ファスナー及び立柱設置・インサート埋め込み工事	○	○	○			
	5	溶接レスの場合のガイドレール支持用ファスナー及び立柱・三方枠固定用アングルへの穴加工	○	○	○			
	6	フェッシャープレート取付材設置工事（フェッシャープレート本体は昇降機工事）		○	○			
	7	昇降路内鉄骨材の耐火処理工事		○	○			
	8	ピット内防水工事	○	○	○			
	9	ピット下を使用する場合の二重スラブ、釣合おもり側の直下部躯体等の建築躯体処置工事	○	○	○			
	10	併設されたエレベーターのピットに段差がある場合の間仕切り工事	○	○	○			
	11	急行ゾーンがある場合の昇降路救出口設置工事	○	○	○			
	12	昇降路建築工事確認申請用（水平養生）の金網、デッキプレート等の撤去工事	○	○	○			
	13	昇降機承諾図に記載のない突出物や不要物の撤去切断等工事	○	○	○			
	14	昇降路内温度が40℃を超える場合の換気設備工事又は空調設備工事	○	○			○	
乗場	1	乗場出入口の敷居取付用欠き込み・敷居受け持ち出し工事及び敷居取付後のモルタル充填工事	○	○	○			
	2	乗場出入口埋穴あけ・乗場出入口用品取付材設置工事及びインサート埋め込み工事（三方枠・バックアングル・ドア・敷居・押しボタン・インジケータ・モニター等）	○	○	○			
	3	乗場出入口用品取付後の壁並びに床・天井等の仕上工事	○	○	○			
	4	三方枠・インジケータ等と壁間のモルタル又はロックウール充填工事	○	○	○			
	5	三方枠・インジケータ等と壁間の塞ぎ板による隙間塞ぎ工事	○	○				○
	6	開放廊下及び屋上等直接外気と接する乗場における雨水対策工事（排水溝・水勾配・庇等）	○	○	○			
電気	1	昇降路頂部の煙感知器設備の設置工事（外部より点検可能な点検口の設置を含む）	○	○		○		
	2	昇降路内配管工事に伴う区画貫通部の耐火処理工事（昇降機工事による押しボタン・警報盤等の配線工事は除く）	○	○		○		
	3	昇降路内受電端子までの動力用電源・照明用電源・接地線の引込・立上工事及び一次側端子への接続工事	○	○		○		
	4	昇降路内受電端子までのインターホン・その他機器の配管配線工事並びに引込・立上工事（放送・遠隔監視・防犯カメラ・故障信号・非常呼信号・火災信号・セキュリティ連動信号・監視盤等）	○	○		○		
	5	遮煙のりばドア適用時の建屋火災信号の供給	○	○		○		
	6	ピット内点検用コンセントの設置工事（単独回路）	○	○		○		
その他	1	エレベーター工事着工前までの各階出入口開口部の養生作業	○	○	○			
	2	エレベーター工事着手後の昇降路内への浸水防止工事、出入口先行着工時の止水工事	○	○	○			
	3	居室側防音及び防振工事	○	○	○			
	4	搬入用仮設開口及び搬入経路の段差解消・搬入後の復旧工事	○	○	○			
	5	エレベーターを工事用として使用する場合の各種養生手配及び設置工事	○	○	○			
	6	その他建築・電気・設備に関する工事	○	○	○	○	○	

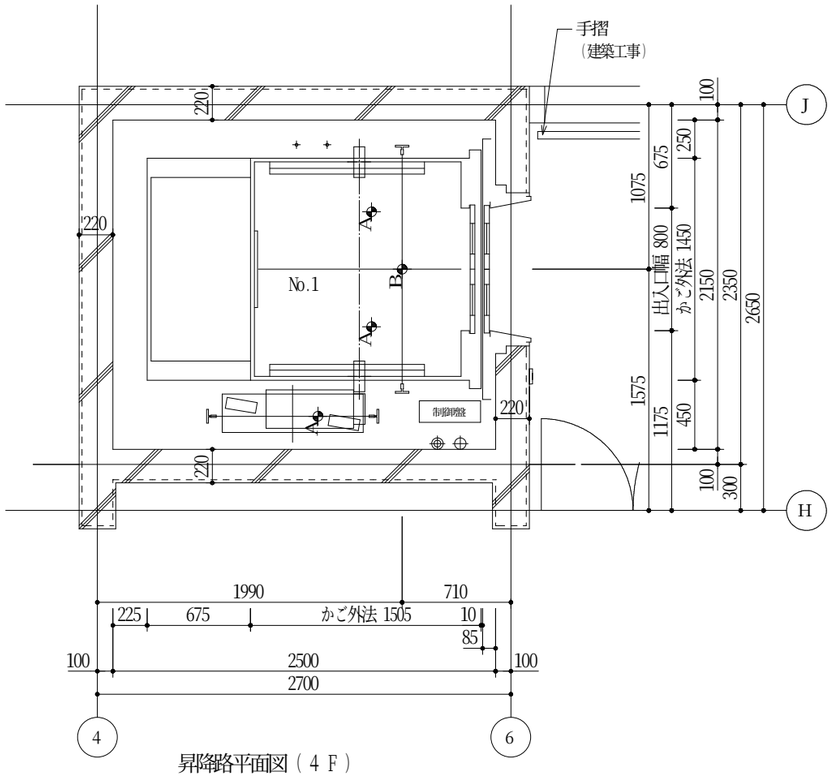
邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1　S=1/30 A3　S=1/60		A
エレベーター詳細図2			32

（株）ADO建築設計事務所
岡山市北区西古松西町5番6号　TEL086-244-0173
1級建築士事務所　岡山県知事登録第12055号
1級建築士登録　第118236号　大石雅弘



昇降路平面図（２，３Ｆ）

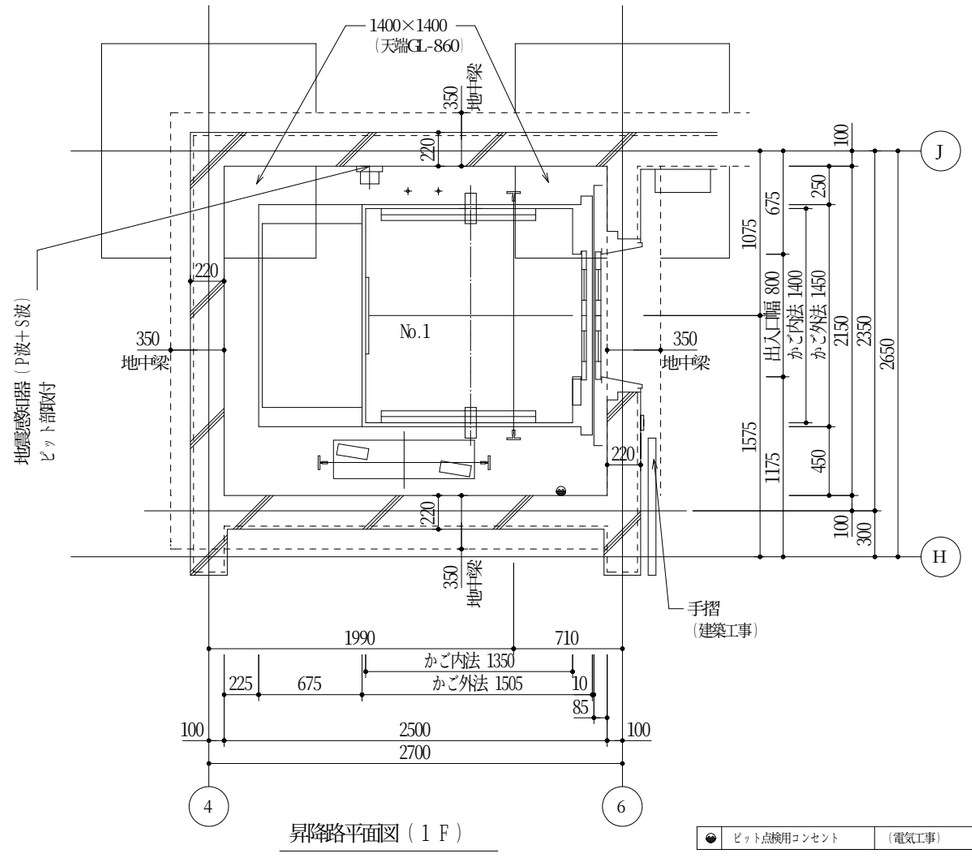
1：20



昇降路平面図（４Ｆ）

1：20

◆	天井フック（材料エレベーター支給） ・荷重：　（A部）９．８ kN （B部）１９．６ kN	（建築工事）
⊕	電源引込み（受電盤への接続） ・動力・照明、接地線 ４階ＦＬ－１３５０ mm　　引出長さ ３ m	（電気工事）
◈	配線引込み ・インターホン配線、電話線 ４階ＦＬ－６５０ mm　　引出長さ ３ m	（電気工事）



昇降路平面図（１Ｆ）

1：20

◒	ピット点検用コンセント	（電気工事）

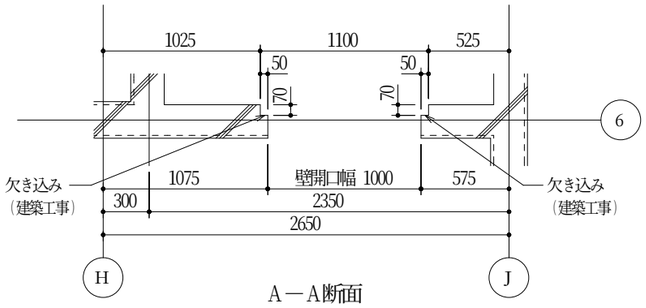
レール反力リスト（地震時作用荷重）

			No．1
	かご側	Px	4．40 kN
	一般階	Py	2．20 kN
	かご側	Px	4．10 kN
	最上階	Py	2．60 kN
	おもり側	Px	6．80 kN
	一般階	Py	3．40 kN
	おもり側	Px	9．40 kN
	最上階	Py	6．00 kN

上記　荷重による柱及び梁のたわみは５mm以下となるよう選定下さい。

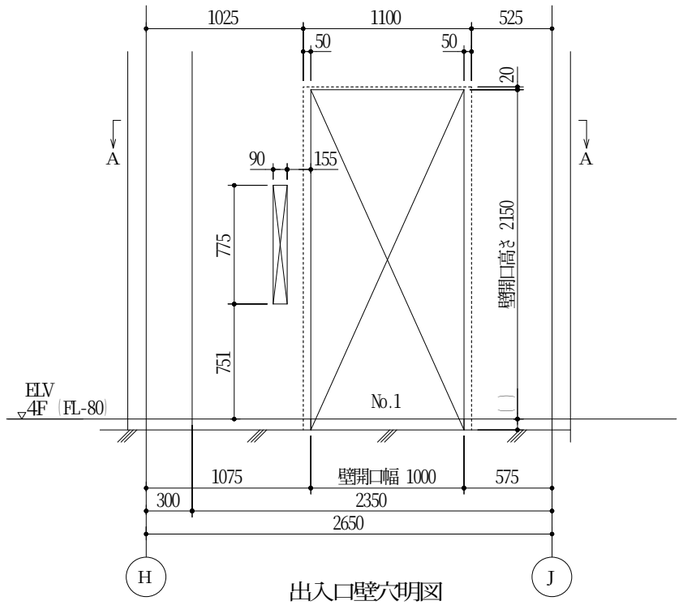
邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A１ S=1/30 A３ S=1/60				A
エレベーター詳細図3					33

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



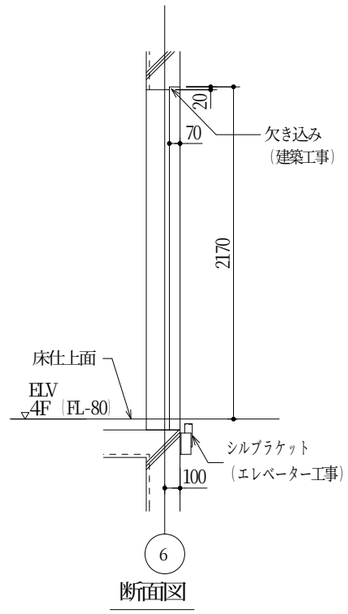
A－A断面

1：20



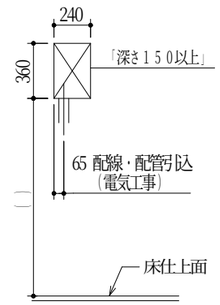
出入口壁穴明図

1：20



断面図

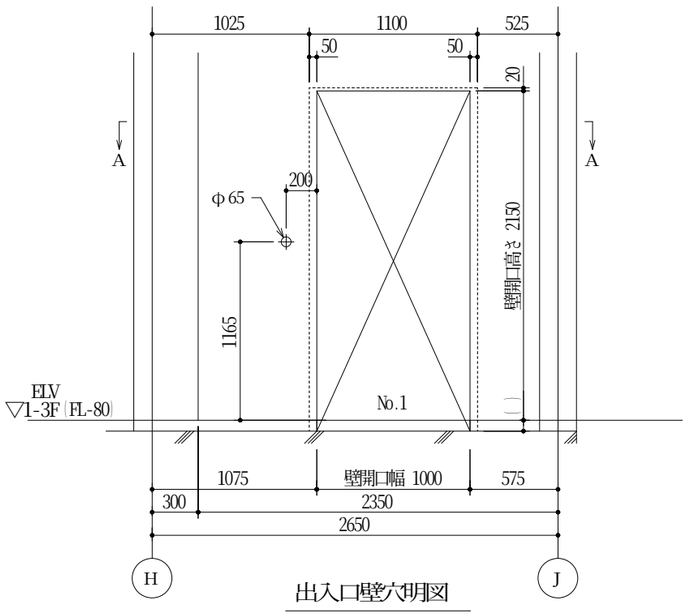
1：20



設置場所：

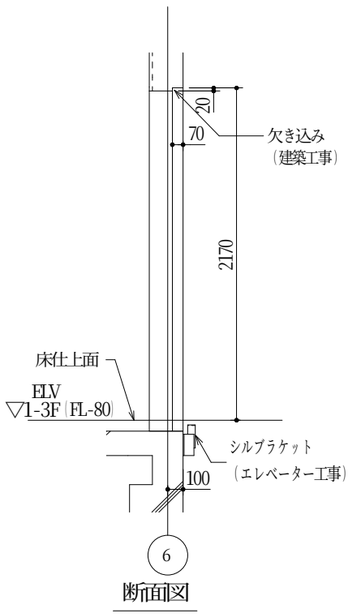
警報盤穴明図

1：20



出入口壁穴明図

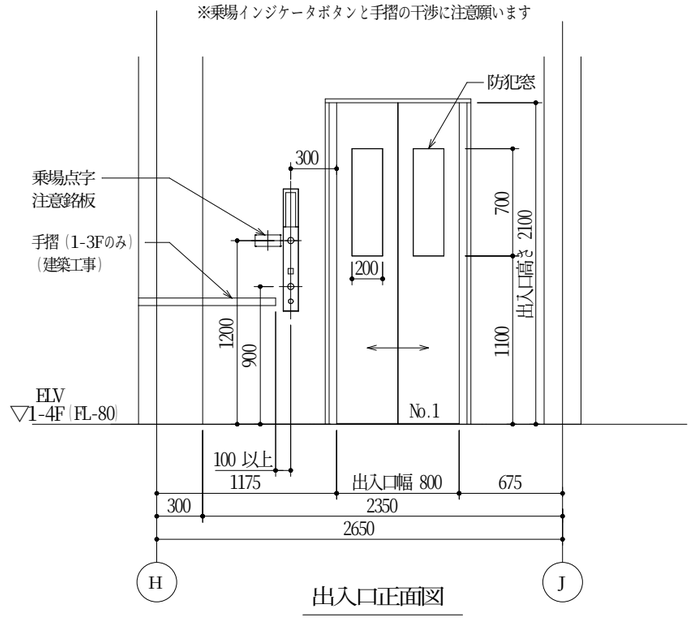
1：20



断面図

1：20

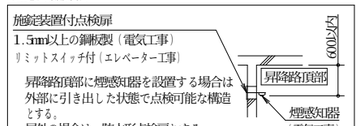
※乗場インジケータボタンと手摺の干渉に注意願います



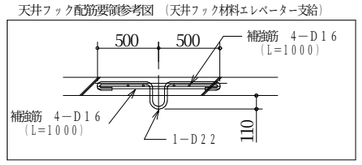
出入口正面図

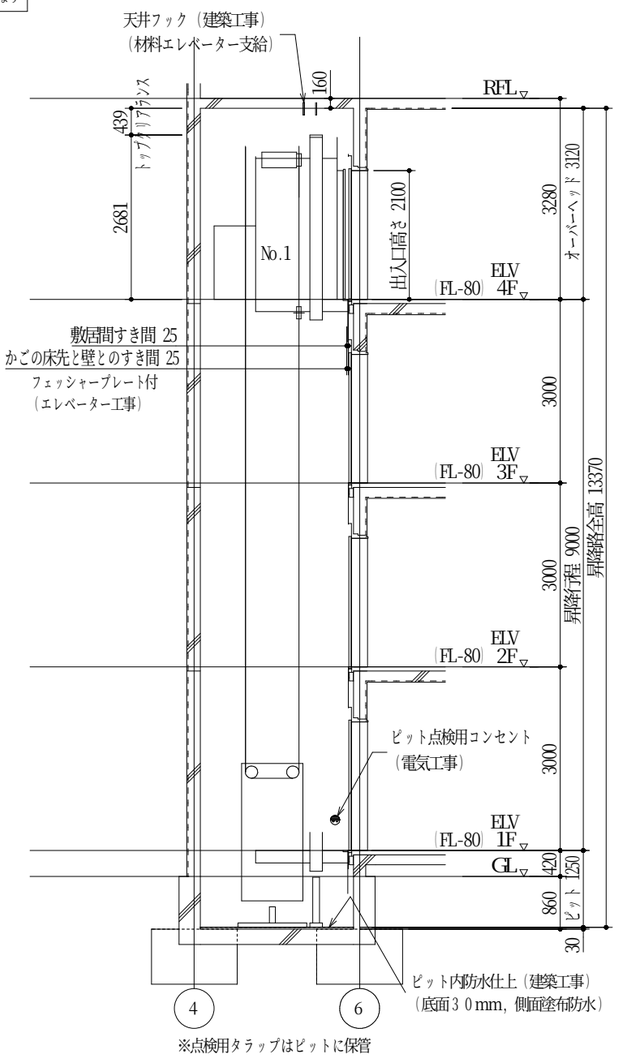
1：20

煙感知器詳細



天井フック配筋要領参考図［天井フック材料エレベーター支給］





昇降路縦断面図

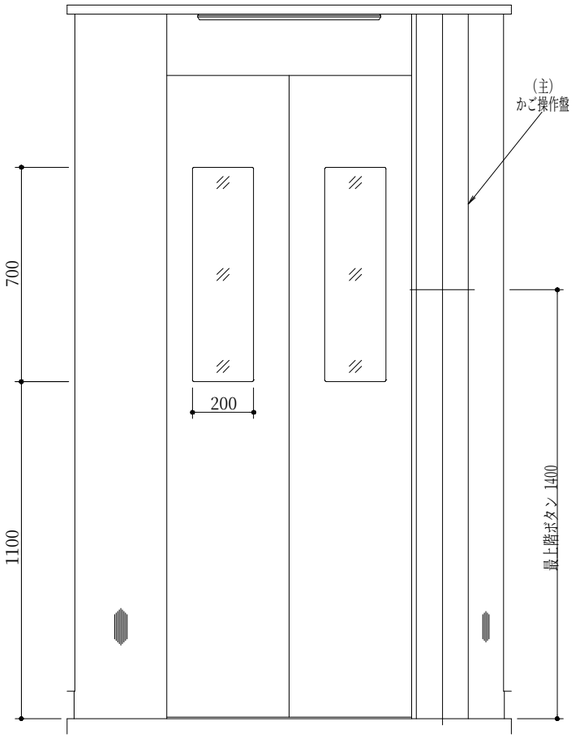
1：50

No.1

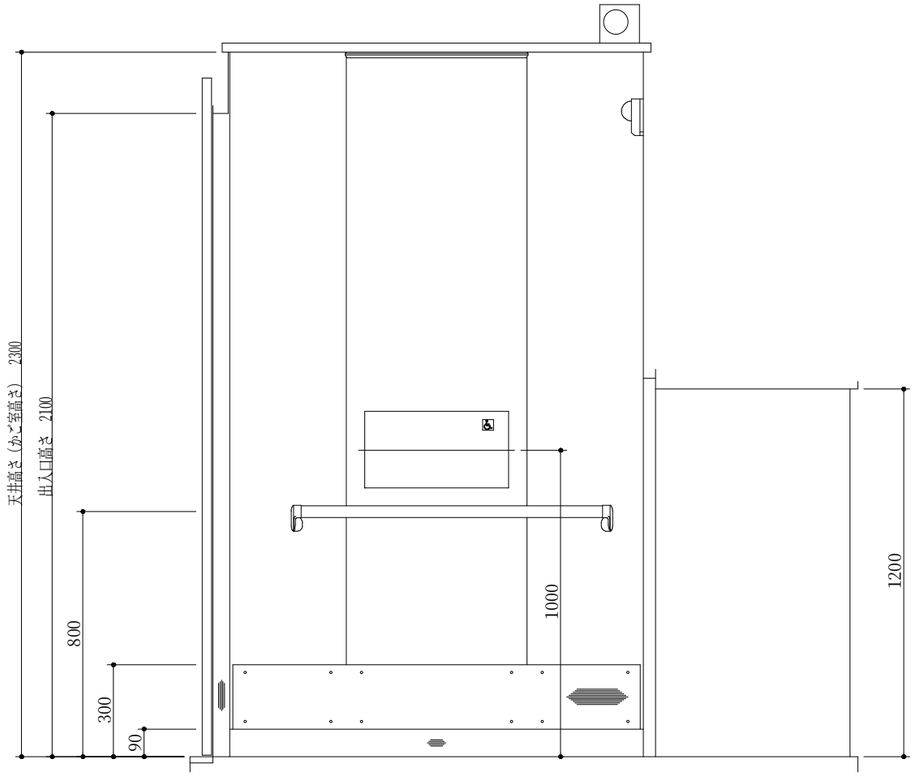
ピット反力		75.70kN
ピット衝撃荷重	かご側	64.80kN
	C／W側	51.70kN

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/30 A3 S=1/60			A
エレベーター詳細図4				34

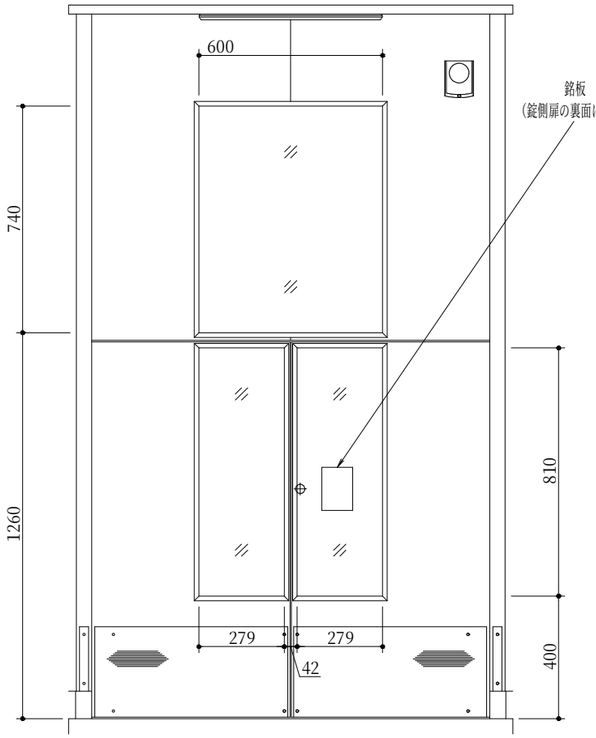
（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号 TEL086-244-0173
１級建築士事務所 岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録 第１１８２３６号 大石雅弘



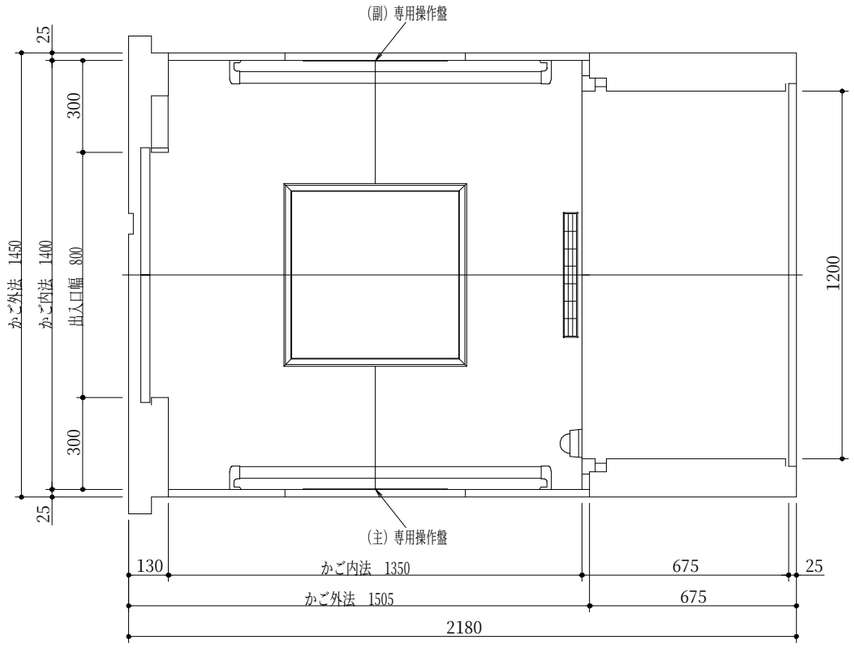
正面図



側面図



背面図



平面図

No. 1
かご室意匠図
1：10

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/30 A3 S=1/60		A
エレベーター詳細図5			35

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

設計住宅性能評価 共同住宅 住宅性能表示制度における性能表示事項 性能表示事項 取得等級等	記載図書	適合	施工者チェック
1 構造の安定に関すること			
1-1 耐震等級（構造躯体の倒壊等防止） 等級1 許容応力度計算等による（ルート１）構造計算に適合	構造特記仕様書 構造図	○	
1-3 その他（地震に対する構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止） 評価対象建築物は免震建築物ではない その他		○	
1-6 地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法 長期に対する杭の許容支持力の根拠を明記通り適合させる		○	
1-7 基礎の構造方法及び形式等 杭基礎　杭種、杭系及び杭長を明記通り適合させる		○	
3 劣化の軽減に関すること			
3-1 劣化対策等級（構造躯体等） 等級3 鉄筋コンクリート造のセメントの種類、コンクリートの水セメント比、部材の設計・配筋、コンクリートの品質、施工計画、その他の構造部材等に記載内容に適合させる	構造特記仕様書	○	
4 維持管理・更新への配慮に関すること			
4-1 維持管理対策等級（専用配管） 等級3 配管の全面的な交換が必要となるまでの期間内における専用配管の維持管理の容易さについて明記通り適合させる ・排水管、給水管、給湯管、ガス管のｺﾝｸﾘｰﾄ内への埋込みをしない ・専用配管が他住戸等の専用部分に設置させない ・排水管、給水管、給湯管、ガス管上のコンクリート打設をしない ・専用排水管内面が平滑で、たわみ、抜け等が生じないよう支持金物を設置する ・専用排水管の掃除措置として、便所は洋室便器（取り外し可）、掃除口を設ける。その他の水回り器具はトラップから清掃を行うことができる。トラップの種類については平面図に記載。 ・配管点検口について、主要接合部等の点検措置等を確保する 点検口の位置はＭＢ扉内に確保する	平面図 矩計図 設備図	○	
4-2 維持管理対策等級（共用配管） 等級3 配管の全面的な交換が必要となるまでの期間内における共用設備配管の維持管理の容易さについて明記通り適合させる ・排水管、給水管、給湯管、ガス管のｺﾝｸﾘｰﾄ内への埋込みをしない ・排水管、給水管、給湯管、ガス管上のコンクリート打設をしない ・共用排水管における掃除口の位置を明記通り適合させる ・配管点検口について、主要接合部等の点検措置等を確保する 点検口の位置とする ・共用排水管内面が平滑で、たわみ、抜け等が生じないよう支持金物を設置する ・横主管の設置位置はピット内、床下進入口を設ける ・共用部分からの共用配管の補修を可能とする		○	
4-3 更新対策（共用排水管） 等級3 共用排水管の更新の容易さについて明記通り適合させる ・排水管、給水管、給湯管、ガス管のｺﾝｸﾘｰﾄ内への埋込みをしない ・排水管、給水管、給湯管、ガス管上のコンクリート打設をしない ・横主管がピット内に設置され、床下進入口により進入可能とする ・共用排水管更新の措置として、コンクリートの床等の貫通部の共通排水管の切断工事を軽減する措置かつ、共用排水管がｺﾝｸﾘｰﾄの床等を貫通する部分に共用排水管の撤去のはつり工事を軽減する措置・排水管の接続替えを容易に行うための措置・共用排水管の撤去、接続替えその他更新のための空間確保する ・共用排水立管の位置は、共用廊下に面する共用部と住戸専用部の脱衣室または便所内PS内に設置する		○	
5 温熱環境・エネルギー消費量に関すること			
5-1 断熱等性能等級 等級5 又は 等級6 地域区分は6地域、外皮平均熱貫流率UA値0.54を取得するために躯体の厚み、断熱仕様種別、開口部のサイズ、開口部の断熱性能の等級を記載内容に適合させる	平面図 建具伏図 建具表 断熱範囲図	○	
5-2 一次エネルギー消費量等級 等級6 地域区分は6地域、一次エネルギー消費量BEI0.74を取得するため ・暖房・冷房方法は居室のみとする ・換気設備方法はダクト式第三種換気設備を使用する ・給湯設備の熱源機はガス潜熱回収給湯機を使用する 配管方式は先分岐方式、水栓は節湯水栓とする ・照明設備はまたも居室・非居室においてはLEDを使用する	矩計図 設備図	○	
6 空気環境に関すること			
6-1 ホルムアルデヒド対策（内装及び天井裏） 等級3 ・居室の内装仕上げ材は特定建材とし、F☆☆☆☆を使用する ・天井裏等の下地材等は特定建材とし、F☆☆☆☆を使用する	仕上表	○	
8 音環境に関すること			
8-1 重量床衝撃音対策 １５㎝以上 ロ　相当スラブ厚について明記通り適合させる	構造図 建具伏図	○	
8-4 透過損失等級（外壁開口部） 等級2 外壁開口部の遮音性能の等級を記載内容に適合させる	建具表	○	
9 高齢者等への配慮に関すること			
9-1 高齢者等配慮対策等級（専用部分） 等級3 各項目（右記）に適合させる	平面図 矩計図 平面詳細図	○	
9-2 高齢者等配慮対策等級（共用部分） 等級3 各項目（右記）に適合させる	UB詳細図 部分詳細図 階段詳細図 EV詳細図	○	

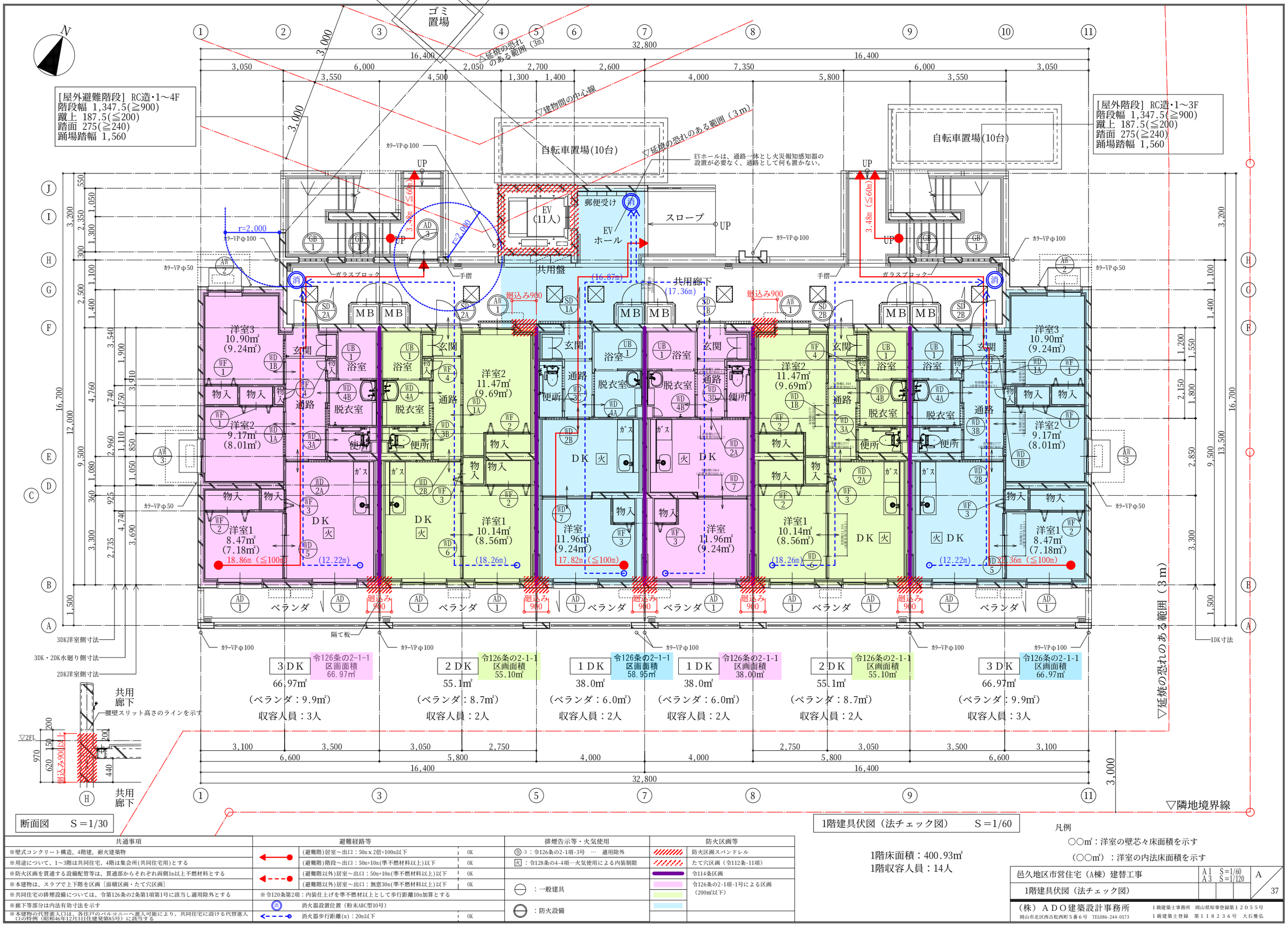
特記事項
- 設計住宅性能評価の性能表示事項について記載内容に適合するように施工すること。
- 施工者は各項目を確認し、施工者チェック欄に確認済チェックを記載したものを最終提出すること。。
- 建設住宅性能評価を取得するため、施工者は監理者の指示（指導）の元申請に必要な書類、図面を作成すること。申請手続きは監理者が行う。

評価方法基準 高齢者等配慮（専用部分） 等級3	9 高齢者等への配慮に関すること 9－1 高齢者等配慮対策等級 （専用部分） (3) 評価基準（新築住宅） ハ 等級３	設計内容	適合	施工者チェック
① 部屋の配置	日常生活空間のうち、便所が特定寝室の存する階にあること	同一階に設置	○	
② 段差 a	日常生活空間内の床が、段差のない構造であること。ただし、次に掲げるものにあっては、この限りでない。			
(ⅰ)	ｲ②aの(ⅰ)、(ⅲ)及び(ⅳ)に掲げるもの			
	ｲ②aの(ⅰ)玄関の出入口の段差で、くつずりと玄関外側の高低差を20㎜ 以下とし、かつ、くつずりと玄関土間の高低差を５㎜ 以下としたもの	くつずりと玄関外側の高低差：15㎜ くつずりと玄関土間の高低差：5㎜	○	
	ｲ②aの(ⅲ)勝手口その他屋外に面する開口（玄関を除く。以下「勝手口等」という。）の出入口及び上がりかまちの段差	該当なし		
	ｲ②aの(ⅳ)居室の部分の床のうち次に掲げる基準に適合するものとその他の部分の床の300㎜ 以上450㎜ 以下の段差 (a) 介助用車いすの移動の妨げとならない位置に存すること (b) 面積が３㎡以上９㎡（当該居室の面積が18 ㎡以下の場合にあっては、当該面積の1/2）未満であること (c) 当該部分の面積の合計が、当該居室の面積の1/2 未満であること (d) 間口（工事を伴わない撤去等により確保できる部分の長さを含む。）が1,500㎜以上であること (e) その他の部分の床より高い位置にあること	該当なし		
(ⅱ)	玄関の上がりかまちの段差	上りかまちの段差：50㎜	○	
(ⅲ)	浴室の出入口の段差で、20㎜ 以下の単純段差としたもの又は浴室内外の高低差を120㎜以下、またぎ高さを180㎜ 以下とし、かつ、手すりを設置したもの	浴室の出入口の段差：11㎜	○	
(ⅳ)	バルコニーの出入口の段差。ただし、接地階を有しない評価対象住戸にあっては、次に掲げるもの並びにバルコニーと踏み段との段差及び踏み段とかまちとの段差で180㎜以下の単純段差としたものに限る。 (a) 180㎜（踏み段を設ける場合にあっては、360㎜）以下の単純段差としたもの (b) 250㎜ 以下の単純段差とし、かつ、手すりを設置できるようにしたもの (c) 屋内側及び屋外側の高さが180㎜ 以下のまたぎ段差（踏み段を設ける場合にあっては、屋内側の高さが180㎜ 以下で屋外側の高さが360㎜ 以下のまたぎ段差）とし、かつ、手すりを設置できるようにしたもの	バルコニーの出入口の段差：150㎜	○	
b	日常生活空間外の床が、段差のない構造であること。ただし、ｲ②bの(ⅰ)から(ⅵ)までに掲げるものは、この限りでない。	該当なし		
③ 階段	専用部分に階段はない	該当なし		
④ 手すり a	手すりが、次の表の(い)項に掲げる空間ごとに、(ろ)項に掲げる基準に適合していること。ただし、便所、浴室、玄関及び脱衣室にあっては、日常生活空間内に存するものに限る。			
(い)	(ろ)			
空間	手すりの設置の基準			
階段	少なくとも片側（勾配が45 度を超える場合にあっては両側）に、かつ、踏面の先端からの高さが700㎜ から900㎜ の位置に設けられていること。ただし、ホームエレベーターが設けられており、かつ、ホ①に掲げる基準に適合している場合にあっては、この限りでない。	該当なし		
便所	立ち座りのためのものが設けられていること。	L型手摺設置	○	
浴室	浴槽出入りのためのものが設けられていること。	L型手摺設置	○	
玄関	上がりかまち部の昇降や靴の着脱のためのものが設置できるようになっていること。	I型手摺設置	○	
脱衣室	衣服の着脱のためのものが設置できるようになっていること。	I型手摺設置	○	
転落防止のための手すり b	転落防止のための手すりが、ｲ④のbからｄまでに掲げる基準に適合していること。 ｲ④のb 次の表の(い)項に掲げる空間ごとに、(ろ)項に掲げる基準に適合していること。ただし、外部の地面、床等からの高さが１m以下の範囲又は開閉できない窓その他転落のおそれのないものについては、この限りでない。			
(い)	(ろ)			
空間	手すりの設置の基準			
バルコニー	(ⅰ) 腰壁その他足がかりとなるおそれのある部分（以下「腰壁等」という。）の高さが650㎜ 以上1,100㎜ 未満の場合にあっては、床面から1,100㎜ 以上の高さに達するように設けられていること。 (ⅱ) 腰壁等の高さが300㎜ 以上650㎜ 未満の場合にあっては、腰壁等から800㎜ 以上の高さに達するように設けられていること。 (ⅲ) 腰壁等の高さが300㎜ 未満の場合にあっては、床面から1,100㎜ 以上の高さに達するように設けられていること。	腰壁1,150㎜	○	
2階以上の窓		該当なし		
廊下及び階段（開放されている側に限る。）		該当なし		
ｲ④のc	転落防止のための手すりの手すり子で床面（階段にあっては踏面の先端）及び腰壁等又は窓台等（腰壁等又は窓台等の高さが650㎜ 未満の場合に限る。）からの高さが800㎜ 以内の部分に存するものの相互の間隔が、内法寸法で110㎜ 以下であること。	該当なし		
ｲ④のd	令第126 条第１項に定める基準に適合していること。 →屋上広場又は二階以上の階にあるバルコニーその他これに類するものの周囲には、安全上必要な高さが一・一メートル以上の手すり壁、さく又は金網を設けなければならない。	該当なし		
⑤ 通路及び出入口の幅員 a	日常生活空間内の通路の有効な幅員が780㎜（柱等の箇所にあっては750㎜）以上であること。	通路の有効幅員1DK・2DK：1,025㎜・3DK：1,475㎜確保	○	
b	日常生活空間内の出入口の幅員（玄関及び浴室の出入口については、開き戸にあっては建具の厚み、引き戸にあっては引き残しを勘案した通行上有効な幅員とし、玄関及び浴室以外の出入口については、軽微な改造により確保できる部分の長さを含む。）が750㎜（浴室の出入口にあっては600㎜）以上であること。	日常生活空間内の出入口の幅員：777㎜確保 浴室の出入口の有効幅員：689㎜	○	
⑥ 寝室、便所及び浴室 a	日常生活空間内の浴室が、次に掲げる基準に適合していること。 (ⅰ) 浴室の短辺が、一戸建ての住宅にあっては内法寸法で1,300㎜ 以上、共同住宅等にあっては内法寸法で1,200㎜ 以上であること。 (ⅱ) 浴室の面積が、一戸建ての住宅にあっては内法寸法で2.0 ㎡以上、共同住宅等にあっては内法寸法で1.8 ㎡以上であること。	浴室の短辺内法寸法は1,200㎜ 浴室面積は1.92㎡確保	○	
b	日常生活空間内の便所が次のいずれかに掲げる基準に適合し、かつ、当該便所の便器が腰掛け式であること。 (ⅰ) 長辺（軽微な改造により確保できる部分の長さを含む。）が内法寸法で1,300㎜以上であること。 (ⅱ) 便器の前方又は側方について、便器と壁の距離（ドアの開放により確保できる部分又は軽微な改造により確保できる部分の長さを含む。）が500㎜ 以上であること。	便器は腰掛け式 長辺の内法寸法は2DK/3DK：1,555㎜、1DK：1,925㎜ 便器前方距離は2DK/3DK：778㎜、1DK：1,148㎜	○	
c	特定寝室の面積が内法寸法で９㎡以上であること。	各住戸の1居室で9㎡以上確保	○	

評価方法基準 高齢者等配慮（共用部分） 等級3	9 高齢者等への配慮に関すること 9－2 高齢者等配慮対策等級 （共用部分） (3) 評価基準（新築住宅） ハ 等級３	設計内容	適合	施工者チェック
① 共用廊下	評価対象住戸から、建物出入口、共用施設、他住戸等その他の日常的に利用する空間に至る少なくとも一の経路上に存する共用廊下が、次に掲げる基準に適合していること。			
a	共用廊下の床が、段差のない構造であること。	該当なし		
b	共用廊下の床に高低差が生じる場合にあっては、次に掲げる基準に適合していること。			
	(ⅰ) 勾配が１/12 以下（高低差が80㎜ 以下の場合にあっては１/８以下）の傾斜路が設けられているか、又は、当該傾斜路及び段が併設されていること。			
	(ⅱ) 段が設けられている場合にあっては、当該段がｲ②aの(ⅰ)から(ⅲ)までに掲げる基準に適合していること。	(ⅰ)①：屋外避難階段(出入口)、②：屋外階段(出入口) 踏面：①275㎜、②275㎜ 蹴上：①173.3㎜・②160㎜ 和　：①275+173.3×2＝622㎜ ②275+160×2＝595㎜ (ⅱ)蹴込は0㎜ (ⅲ)手すりは両面設置 手すりの床面からの高さ750㎜	○	
c	ｲ①のcからｅまでに掲げる基準に適合していること。			
	ｲ①のc 手すりが、共用廊下（次の(ⅰ)及び(ⅱ)に掲げる部分を除く。）の少なくとも片側に、かつ、床面からの高さが700㎜ から900㎜ の位置に設けられていること。 (ⅰ) 住戸その他の室の出入口、交差する動線がある部分その他やむを得ず手すりを設けることのできない部分 (ⅱ) エントランスホールその他手すりに沿って通行することが動線を著しく延長させる部分	手すりは片側のみ設置 手すりの床面からの高さ：750㎜	○	
	ｲ①のd 直接外部に開放されている共用廊下（１階に存するものを除く。）にあっては、次に掲げる基準に適合していること。 (ⅰ) 転落防止のための手すりが、腰壁等の高さが650㎜ 以上1,100㎜ 未満の場合にあっては床面から1,100㎜ 以上の高さに、腰壁等の高さが650㎜ 未満の場合にあっては腰壁等から1,100㎜ 以上の高さに設けられていること。 (ⅱ) 転落防止のための手すりの手すり子で床面及び腰壁等（腰壁等の高さが650㎜未満の場合に限る。）からの高さが800㎜ 以内の部分に存するものの相互の間隔が、内法寸法で110㎜ 以下であること。	腰壁等の高さは1,145～1,110㎜ 腰壁は鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造とする	○	
	ｲ①のｅ 令第119 条及び第126 条第１項に定める基準に適合していること。 →共同住宅の住戸若しくは住室の床面積の合計が百平方メートルを超える階における共用のもの又は三室以下の専用のものを除き居室の床面積の合計が二百平方メートルを超える階におけるもの両側に居室がある廊下における場合一・六m、その他の廊下における場合一・二m →屋上広場又は二階以上の階にあるバルコニーその他これに類するものの周囲には、安全上必要な高さが一・一メートル以上の手すり壁、さく又は金網を設けなければならない。	廊下の有効幅は1,285㎜以上確保 屋上ｽﾍﾟｰｽの手摺は床面から1,400㎜ (立上りから1,100㎜）確保	○	
② 共用階段	各階を連絡する共用階段のうち少なくとも一つが、次に掲げる基準に適合していること。			
a	次の(ⅰ)から(ⅲ)まで（評価対象住戸のある階においてエレベーターを利用できる場合にあっては、(ⅲ)）に掲げる基準に適合していること。 (ⅰ) 踏面が240㎜ 以上であり、かつ、けあげの寸法の２倍と踏面の寸法の和が550㎜ 以上650㎜ 以下であること。 (ⅱ) 蹴込みが30㎜ 以下であること。 (ⅲ) ロ②aの(ⅲ)及び(ⅳ)に掲げる基準に適合していること。	(ⅰ)踏面：275㎜、蹴上：187.5㎜ 和：275+187.5×2＝650㎜ (ⅱ)蹴込は20㎜	○	
	ロ②aの(ⅲ) 最上段の通路等への食い込み部分及び最下段の通路等への突出部分が設けられていないこと。 ロ②aの(ⅳ) 手すりが、少なくとも片側に、かつ、踏面の先端からの高さが700㎜から900㎜ の位置に設けられていること。	手すりは両面設置 手すりの床面からの高さ：750㎜	○	
b	ｲ②のb及びcに掲げる基準に適合していること。			
	ｲ②のb 直接外部に開放されている共用階段にあっては、次に掲げる基準に適合していること。ただし、高さ１m以下の階段の部分については、この限りでない。 (ⅰ) 転落防止のための手すりが、腰壁等の高さが650㎜ 以上1,100㎜ 未満の場合にあっては踏面の先端から1,100㎜ 以上の高さに、腰壁等の高さが650㎜ 未満の場合にあっては腰壁等から1,100㎜ 以上の高さに設けられていること。 (ⅱ) 転落防止のための手すりの手すり子で踏面の先端及び腰壁等（腰壁等の高さが650㎜未満の場合に限る。）からの高さが800㎜ 以内の部分に存するものの相互の間隔が、内法寸法で110㎜ 以下であること。	腰壁等の高さは1,150㎜ 腰壁は鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造とする	○	
	ｲ②のc 令第23 条から第27 条まで及び第126 条第１項に定める基準に適合していること。 →階段及びその踊場の幅九十以上、蹴上げの寸法二二以下、踏面の寸法二一以上 階段でその高さが四メートルをこえるものにあっては高さ四メートル以内ごとに踊場を設けなければならない。直階段の踊場の踏幅は、一・二メートル以上としなければならない。 →屋上広場又は二階以上の階にあるバルコニーその他これに類するものの周囲には、安全上必要な高さが一・一メートル以上の手すり壁、さく又は金網を設けなければならない。	階段の幅：1,347.5㎜ 踊場の幅：1,560㎜ てすり壁の高さ：1,150㎜	○	
③ エレベーター	評価対象住戸が建物出入口の存する階にある場合を除き、評価対象住戸からエレベーター又は共用階段（１階分の移動に限る。）を利用し、建物出入口の存する階まで到達でき、かつ、エレベーターを利用せずに評価対象住戸から建物出入口に到達できる場合を除き、評価対象住戸からエレベーターを経て建物出入口に至る少なくとも一の経路上に存するエレベーター及びエレベーターホールが次に掲げる基準に適合していること。			
a	エレベーター及びエレベーターホールの寸法が、ｲ④aの(ⅰ)及び(ⅲ)に掲げる基準に適合していること。			
	ｲ④a エレベーター及びエレベーターホールが、次に掲げる基準に適合していること。 (ⅰ) エレベーターの出入口の有効な幅員が800㎜ 以上であること。 (ⅲ) エレベーターホールに一辺を1,500㎜ とする正方形の空間を確保できるものであること。	エレベーターの出入口の有効な幅員：800㎜ エレベーターホールの一辺：1,800㎜	○	
b	建物出入口からエレベーターホールまでの経路上の床が、段差のない構造であること。	該当なし		
c	建物出入口とエレベーターホールに高低差が生じる場合にあっては、次に掲げる基準に適合していること。 (ⅰ) ロ①bの(ⅰ)及び(ⅱ)に掲げる基準に適合していること。 b 共用廊下の床に高低差が生じる場合にあっては、次に掲げる基準に適合していること。 ロ①bの(ⅰ) 勾配が１/12 以下の傾斜路及び段が併設されており、かつ、それぞれの有効な幅員が900㎜ 以上であるか、又は、高低差が80㎜ 以下で勾配が１/８以下の傾斜路若しくは勾配が１/15以下の傾斜路が設けられており、かつ、その有効な幅員が1,200㎜以上であること。 ロ①bの(ⅱ) 手すりが、傾斜路の少なくとも片側に、かつ、床面からの高さ700㎜ から900㎜ の位置に設けられていること。	傾斜路（勾配1/20） 手すりの床面からの高さ：750㎜・850㎜ 手すりは両側に設置	○	
	(ⅱ) 段が設けられている場合にあっては、当該段がｲ②aの(ⅰ)から(ⅲ)までに掲げる基準に適合していること。	該当なし		
④ 共用階段の幅員	評価対象住戸のある階においてエレベーターを利用できない場合にあっては、当該階から建物出入口のある階又はエレベーター停止階に至る一の共用階段の有効幅員が900㎜ 以上であること。	該当なし		

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=N/S A3 S=N/S	A
公営住宅設計概要		36

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号 TEL086-244-0173
１級建築士事務所 岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録 第１１８２３６号 大石雅弘



3DK	令126条の2-1-1 区画面積 66.97㎡	66.97㎡	(ベランダ：9.9㎡) 収容人員：3人
2DK	令126条の2-1-1 区画面積 55.10㎡	55.1㎡	(ベランダ：8.7㎡) 収容人員：2人
1DK	令126条の2-1-1 区画面積 58.95㎡	38.0㎡	(ベランダ：6.0㎡) 収容人員：2人
1DK	令126条の2-1-1 区画面積 38.00㎡	38.0㎡	(ベランダ：6.0㎡) 収容人員：2人
2DK	令126条の2-1-1 区画面積 55.10㎡	55.1㎡	(ベランダ：8.7㎡) 収容人員：2人
3DK	令126条の2-1-1 区画面積 66.97㎡	66.97㎡	(ベランダ：9.9㎡) 収容人員：3人

断面図　S＝1/30

1階建具伏図（法チェック図）　S＝1/60

1階床面積：400.93㎡
1階収容人員：14人

凡例
○○㎡：洋室の壁芯々床面積を示す
（○○㎡）：洋室の内法床面積を示す

共通事項	避難経路等		排煙告示等・火気使用	防火区画等
※壁式コンクリート構造，4階建，耐火建築物	(避難階)居室～出口：50m×2倍=100m以下	OK	㊥：3：令126条の2-1項-3号　…　適用除外	防火区画スパンドレル
※用途について，1～3階は共同住宅、4階は集会所(共同住宅用)とする	(避難階)階段～出口：50m+10m(準不燃材料以上)以下	OK	火：令128条の4-4項…火気使用による内装制限	たて穴区画（令112条-11項）
※防火区画を貫通する設備配管等は、貫通部からそれぞれ両側1m以上不燃材料とする	(避難階以外)居室～出口：50m+10m(準不燃材料以上)以下	OK		令114条区画
※本建物は、スラブで上下階を区画［面積区画・たて穴区画］	(避難階以外)居室～出口：無窓30m(準不燃材料以上)以下	OK	：一般建具	令126条の2-1項-1号による区画（200㎡以下）
※共同住宅の排煙設備については、令第126条の2第3項第1号に該当し適用除外とする	※令120条第2項：内装仕上げを準不燃材料以上として歩行距離10m加算とする		：防火設備	
※廊下等部分は内法有効寸法を示す	消 消火器設置位置（粉末ABC型10号）			
※本建物の代替進入口は，各住戸のバルコニーへ進入可能により、共同住宅に設ける代替進入口の特例（昭和46年12月3日住建発第85号）に該当する	消火器歩行距離(m)：20m以下	OK		

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/60 A3 S=1/120		A
1階建具伏図（法チェック図）			37

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

N

ゴミ置場

[屋外避難階段] RC造・1～4F
階段幅 1,347.5(≧900)
蹴上 187.5(≦200)
踏面 275(≧240)
踊場踏幅 1,560

[屋外階段] RC造・1～3F
階段幅 1,347.5(≧900)
蹴上 187.5(≦200)
踏面 275(≧240)
踊場踏幅 1,560

▽建物間の中心線

▽延焼の恐れのある範囲（5m）

EVホールは、通路一体とし火災報知感知器の設置が必要なく、通路として何も置かない。

自転車置場(10台)

自転車置場(10台)

EV (11人)

EV ホール

共用盤

共用廊下 (18.99m)

(14.84m)

r=2,000

r=2,000

5,000

カラーVPφ100

カラーVPφ50

ガラスブロック

手摺

廻込み900

室外機置場

DN

UP

消

洋室3 10.90m² (9.24m²)

洋室2 9.17m² (8.01m²)

洋室1 8.47m² (7.18m²)

洋室2 11.47m² (9.69m²)

洋室1 10.14m² (8.56m²)

洋室 11.96m² (9.24m²)

玄関 物入 浴室 脱衣室 通路 便所 ガス 火 DK ベランダ

MB AD AW SD GB WD WF UB

18.86m (≦60m) (12.22m) 20.32m (≦60m) 24.04m (≦60m) (18.26m) (18.26m) (12.22m)

隔て板

3DK洋室側寸法

3DK・2DK水廻り側寸法

2DK洋室側寸法

1DK寸法

3DK 令126条の2-1-1 区画面積 66.97m² 66.97m² (ベランダ：9.9m²) 収容人員：3人

2DK 令126条の2-1-1 区画面積 55.10m² 55.1m² (ベランダ：8.7m²) 収容人員：2人

1DK 令126条の2-1-1 区画面積 58.95m² 38.0m² (ベランダ：6.0m²) 収容人員：2人

1DK 令126条の2-1-1 区画面積 38.00m² 38.0m² (ベランダ：6.0m²) 収容人員：2人

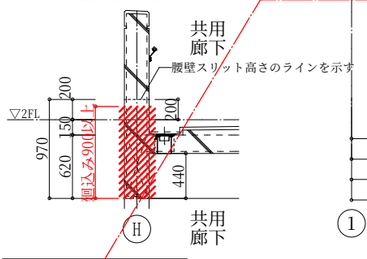
2DK 令126条の2-1-1 区画面積 55.10m² 55.1m² (ベランダ：8.7m²) 収容人員：2人

3DK 令126条の2-1-1 区画面積 66.97m² 66.97m² (ベランダ：9.9m²) 収容人員：3人

▽延焼の恐れのある範囲（5m）

▽隣地境界線

断面図 S＝1/30



2階建具伏図（法チェック図） S＝1/60

2階床面積：400.93m²
2階収容人員：14人

凡例
○○m²：洋室の壁芯々床面積を示す
（○○m²）：洋室の内法床面積を示す

共通事項
※壁式コンクリート構造，4階建，耐火建築物
※用途について、1～3階は共同住宅、4階は集会所(共同住宅用)とする
※防火区画を貫通する設備配管等は、貫通部からそれぞれ両側1m以上不燃材料とする
※本建物は、スラブで上下階を区画［面積区画・たて穴区画］
※共同住宅の排煙設備については、令第126条の2条第1項第1号に該当し適用除外とする
※廊下等部分は内法有効寸法を示す
※本建物の代替進入口は、各住戸のバルコニーへ進入可能により、共同住宅に設ける代替進入口の特例（昭和46年12月3日住建発第85号）に該当する

避難経路等		
	(避難階)居室～出口：50m×2倍=100m以下	OK
	(避難階)階段～出口：50m+10m(準不燃材料以上)以下	OK
	(避難階以外)居室～出口：50m+10m(準不燃材料以上)以下	OK
	(避難階以外)居室～出口：無窓30m(準不燃材料以上)以下	OK
	※令120条第2項：内装仕上げを準不燃材以上として歩行距離10m加算とする	
消	消火器設置位置（粉末ABC型10号）	
	消火器歩行距離(m)：20m以下	OK

排煙告示等・火気使用
令：3：令126条の2-1項-3号 … 適用除外
火：令128条の4-4…火気使用による内装制限
：一般建具
：防火設備

防火区画等
防火区画スパンドレル
たて穴区画（令112条-11項）
令114条区画
令126条の2-1項-1号による区画（200m²以下）

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/60 A3 S=1/120	A
2階建具伏図（法チェック図）		38

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号 TEL086-244-0173
１級建築士事務所 岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録 第１１８２３６号 大石雅弘

N

ゴミ置場

[屋外避難階段] RC造・1～4F
階段幅 1,347.5(≧900)
蹴上 187.5(≦200)
踏面 275(≧240)
踊場踏幅 1,560

[屋外階段] RC造・1～3F
階段幅 1,347.5(≧900)
蹴上 187.5(≦200)
踏面 275(≧240)
踊場踏幅 1,560

▽建物間の中心線

▽延焼の恐れのある範囲（5m）

EVホールは、通路一体とし火災報知感知器の設置が必要なく、通路として何も置かない。

自転車置場(10台)

自転車置場(10台)

EV (11人)

EV ホール

共用盤

共用廊下 (18.99m)

DN

UP

室外機置場

室外機置場

ガラスブロック

手摺

カラーVPφ100

カラーVPφ50

r=2,000

5,000

(14.84m)

廻込み900

洋室3 10.90m² (9.24m²)

洋室2 9.17m² (8.01m²)

洋室1 8.47m² (7.18m²)

洋室2 11.47m² (9.69m²)

洋室1 10.14m² (8.56m²)

洋室 11.96m² (9.24m²)

洋室 11.96m² (9.17m²)

18.86m (≦60m)

(12.22m)

20.32m (≦60m)

24.04m (≦60m)

(18.26m)

玄関 浴室 脱衣室 通路 便所 物入 ガス 火 DK MB

ベランダ

隔て板

3DK洋室側寸法

3DK・2DK水廻り側寸法

2DK洋室側寸法

1DK寸法

▽3FL

腰壁スリット高さのラインを示す

共用廊下

共用廊下

▽延焼の恐れのある範囲（5m）

▽隣地境界線

3ＤＫ	令126条の2-1-1 区画面積 66.97m²	66.97m²	（ベランダ：9.9m²） 収容人員：3人
２ＤＫ	令126条の2-1-1 区画面積 55.10m²	55.1m²	（ベランダ：8.7m²） 収容人員：2人
１ＤＫ	令126条の2-1-1 区画面積 58.95m²	38.0m²	（ベランダ：6.0m²） 収容人員：2人
１ＤＫ	令126条の2-1-1 区画面積 38.00m²	38.0m²	（ベランダ：6.0m²） 収容人員：2人
２ＤＫ	令126条の2-1-1 区画面積 55.10m²	55.1m²	（ベランダ：8.7m²） 収容人員：2人
３ＤＫ	令126条の2-1-1 区画面積 66.97m²	66.97m²	（ベランダ：9.9m²） 収容人員：3人

断面図 S＝1/30

3階建具伏図（法チェック図） S＝1/60

3階床面積：400.93m²
3階収容人員：14人

凡例
○○m²：洋室の壁芯々床面積を示す
（○○m²）：洋室の内法床面積を示す

共通事項
※壁式コンクリート構造，4階建，耐火建築物
※用途について、1～3階は共同住宅、4階は集会所(共同住宅用)とする
※防火区画を貫通する設備配管等は、貫通部からそれぞれ両側1m以上不燃材料とする
※本建物は、スラブで上下階を区画［面積区画・たて穴区画］
※共同住宅の排煙設備については、令第126条の2条第1項第1号に該当し適用除外とする
※廊下等部分は内法有効寸法を示す
※本建物の代替進入口は、各住戸のバルコニーへ進入可能により、共同住宅に設ける代替進入口の特例（昭和46年12月3日住建発第85号）に該当する

避難経路等		
	(避難階)居室～出口：50m×2倍=100m以下	OK
	(避難階)階段～出口：50m+10m(準不燃材料以上)以下	OK
	(避難階以外)居室～出口：50m+10m(準不燃材料以上)以下	OK
	(避難階以外)居室～出口：無窓30m(準不燃材料以上)以下	OK
※令120条第2項：内装仕上げを準不燃材以上として歩行距離10m加算とする		
消	消火器設置位置（粉末ABC型10号）	
	消火器歩行距離(m)：20m以下	OK

排煙告示等・火気使用
令：3 ：令126条の2-1項-3号 … 適用除外
火 ：令128条の4-4…火気使用による内装制限
：一般建具
：防火設備

防火区画等	
	防火区画スパンドレル
	たて穴区画（令112条-11項）
	令114条区画
	令126条の2-1項-1号による区画（200m²以下）

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/60 A3 S=1/120	A
3階建具伏図（法チェック図）		39

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号 TEL086-244-0173
１級建築士事務所 岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録 第１１８２３６号 大石雅弘

N

ゴミ置場

[屋外避難階段] RC造・1～4F
階段幅 1,347.5(≧900)
蹴上 187.5(≦200)
踏面 275(≧240)
踊場踏幅 1,560

5,000

▽建物間の中心線

カラーVPφ100

9,800

自転車置場(10台)

EVホールは、通路一体とし火災報知感知器の設置が必要なく、通路として何も置かない。

自転車置場(10台)

▽延焼の恐れのある範囲（5m）

DN

非常用進入口

r=2,000

EV (11人)

EVホール

消

AD 3

カラーVPφ100 r=2,000 1,700

カラーVPφ100

カラーVPφ100 1,700

共用盤

共用廊下

AD 4

SD 1A

AD 5

AW 4

AD -6

MB

22.22m（≦60m）

備蓄倉庫 ㊦-3

玄関ホール

LSD 1

㊦-3 車椅子便所

WD 1A

ガス

火

湯沸室

14.95m（≦30m）

下足棚

物入 ㊦-3

WD 7

屋上スペース

屋上スペース

WD 1A

VWP 1

上部

集会室
44.49㎡

(12.80m)

AD 2

ベランダ

750

カラーVPφ100

非常用進入口
(W750×H1200確保)

9,800

集会所
93.1㎡
（ベランダ：14.7㎡）

2,400 3,400 9,800

6,600 5,800 4,000 4,000 5,800 6,600

16,400 16,400

32,800

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

J I H G F E D C B A

3,200 550 1,050 2,350 1,300 300 1,100 2,500 1,400 2,500 4,760 2,460 1,700 9,500 1,080 360 3,300 4,540 1,500

16,700 12,000

1,200 1,700

▽隣地境界線

共用廊下

腰壁スリット高さのラインを示す

▽4FL 200 150 620 970 200 440 細込み900以上

共用廊下

断面図 S＝1/30

4階建具伏図（法チェック図） S＝1/60

4階床面積：131.64㎡
延床面積：1,334.43㎡
A棟収容人員：42人

凡例
○○㎡：洋室の壁芯々床面積を示す
（○○㎡）：洋室の内法床面積を示す

共通事項
※壁式コンクリート構造，4階建，耐火建築物
※用途について、1～3階は共同住宅、4階は集会所(共同住宅用)とする
※防火区画を貫通する設備配管等は、貫通部からそれぞれ両側1m以上不燃材料とする
※本建物は、スラブで上下階を区画［面積区画・たて穴区画］
※共同住宅の排煙設備については、令第126条の2第第1項第1号に該当し適用除外とする
※廊下等部分は内法有効寸法を示す
※本建物の代替進入口は、各住戸のバルコニーへ進入可能により、共同住宅に設ける代替進入口の特例（昭和46年12月3日住建発第85号）に該当する

避難経路等		
(避難階)居室～出口：50m×2倍=100m以下		OK
(避難階)階段～出口：50m+10m(準不燃材料以上)以下		OK
(避難階以外)居室～出口：50m+10m(準不燃材料以上)以下		OK
(避難階以外)居室～出口：無窓30m(準不燃材料以上)以下		OK
※令120条第2項：内装仕上げを準不燃材以上として歩行距離10m加算とする		
消	消火器設置位置（粉末ABC型10号）	
	消火器歩行距離(m)：20m以下	OK

排煙告示等・火気使用
㊦-3：令126条の2-1項-3号 … 適用除外
火：令128条の4-4…火気使用による内装制限
：一般建具
：防火設備

防火区画等	
	防火区画スパンドレル
	たて穴区画（令112条-11項）
	令114条区画
	令126条の2-1項-1号による区画（200㎡以下）

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事
4階建具伏図（法チェック図）
A1 S=1/60
A3 S=1/120
A
40

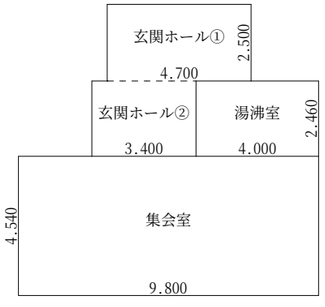
（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号 TEL086-244-0173
１級建築士事務所 岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録 第１１８２３６号 大石雅弘

階	タイプ	室名	床面積 ヨコ	タテ	面積	合計		採光計算 採光率(分母)	必要面積	建具符号	開口部 採光補正	W	H	箇所	有効面積	判定	補正係数	換気計算 換気率(分母)	必要面積	建具符号	開口部 W	H	開口係数	箇所	有効面積	判定
1・2・3階	3DK	DK	3.500	4.590	16.065	16.065		7	2.295	AD-1 (引違い窓)	1.00	1.600	2.000	1	3.200	OK		20	0.803	AD-1	1.600	2.000	0.5	1	1.600	OK
		洋室1	3.100	2.735	8.478	8.478		7	1.211	AD-1 (引違い窓)	1.00	1.600	2.000	1	3.200	OK		20	0.424	AD-1	1.600	2.000	0.5	1	1.600	OK
		洋室2	3.100	2.960	9.176	9.176		7	1.311	AW-3 (引違い窓)	3.00	1.200	1.000	1	3.600	OK	4.650／7.270×10-1=5.396 →3.00	20	0.459	AW-3	1.200	1.000	0.5	1	0.600	OK
		洋室3	3.050 3.100	2.140 1.400	6.634 4.270	10.904		7	1.558	AW-2 (引違い窓)	3.00	1.200	1.000	1	3.600	OK	23.825／11.100×10-1=20.463 →3.00	20	0.545	AW-2	1.200	1.000	0.5	1	0.600	OK
		玄関 通路	1.950 1.550	1.100 3.810	2.145 5.906	8.051			―――										―――							
		脱衣室	1.950	1.750	3.413	3.413			―――										―――							
		浴室	1.550	1.900	2.945	2.945			―――										―――							
		便所	1.950	1.110	2.165	2.165			―――										―――							
	2DK	DK	3.050	4.590	14.000	14.000		7	2.000	AD-1 (引違い窓)	1.00	1.600	2.000	1	3.200	OK		20	0.700	AD-1	1.600	2.000	0.5	1	1.600	OK
		洋室1	2.750	3.690	10.148	10.148		7	1.450	AD-1 (引違い窓)	1.00	1.600	2.000	1	3.200	OK		20	0.507	AD-1	1.600	2.000	0.5	1	1.600	OK
		洋室2 ※3～5通り間	2.750 0.845	3.910 0.850	10.753 0.718	11.471		7	1.639	AW-1 (引違い窓)	3.00	0.600 ↑採光可能範囲（0.550以上）	1.000	1	1.800	OK	22.725／11.100×10-1=19.472 →3.00	20	0.574	AW-1	1.200	1.000	0.5	1	0.600	OK
		玄関 通路	1.500 1.100	1.100 3.810	1.650 4.191	5.841			―――										―――							
		脱衣室	1.950	1.750	3.413	3.413			―――										―――							
		浴室	1.550	1.900	2.945	2.945			―――										―――							
		便所	1.950	1.110	2.165	2.165			―――										―――							
	1DK	DK	4.000	2.850	11.400	11.400		2室1室により一体として計算(W≧A/2) W(1.764) ≧3.520/2=1.76										2室1室により一体として計算(W≧A/2) W(1.764) ≧3.520/2=1.76								
		洋室	2.790 4.000	1.025 2.275	2.860 9.100	11.960	23.360	7	3.338	AD-1 (引違い窓)	3.00	1.600	2.000	1	9.600	OK	6.780／11.600×10-1=4.844 →3.00	20	1.168	AD-1	1.600	2.000	0.5	1	1.600	OK
		玄関 通路	2.100 1.100	1.200 2.150	2.520 2.365	4.885			―――										―――							
		脱衣室	1.950	1.800	3.420	3.420			―――										―――							
		浴室	1.950	1.550	2.945	2.945			―――										―――							
		便所	1.000	2.150	2.150	2.150			―――										―――							

共同住宅の排煙設備については、
令第126条の2条第1項第1号に該当し適用除外とする。

A：室内間口幅
W：建具幅

階	タイプ	室名	床面積 ヨコ	タテ	面積	合計		採光計算 採光率(分母)	必要面積	建具符号	開口部 採光補正	W	H	箇所	有効面積	判定	補正係数	換気計算 換気率(分母)	必要面積	建具符号	開口部 W	H	開口係数	箇所	有効面積	判定	排煙計算 排煙率(分母)	必要面積	建具符号	開口部 W	H	開口係数	箇所	有効面積	判定
4階	集会所	玄関ホール①	4.700	2.500	11.750	20.114			―――										―――								50	0.235	AW-4	0.600	0.450	1.0	1	0.270	OK
		玄関ホール②	3.400	2.460	8.364																													
		集会室	9.800	4.540	44.492	44.492		7	6.356	AD-2 (引違い窓)	1.00	1.600	2.350	3	11.280	OK		20	2.225	AD-2	1.600	2.350	0.5	3	5.640	OK									
		湯沸室	4.000	2.460	9.840	9.840	62.696		―――										―――								50	1.254	AD-2	1.600	0.750	0.5	3	1.800	OK
		車椅子便所	2.200	2.500	5.500	5.500			―――										―――								令第126条の2条第1項第3号								
		物入	2.400	2.460	5.904	5.904			―――										―――								令第126条の2条第1項第3号								
		備蓄倉庫	2.900	2.500	7.250	7.250			―――										―――								令第126条の2条第1項第3号								



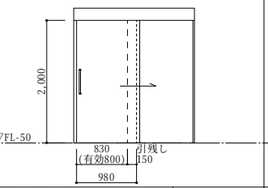
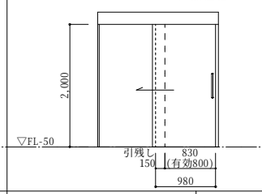
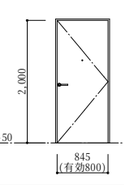
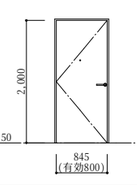
2室1室「排煙上有効に開放されている」に該当
湯沸室：9.840㎡ ÷50 ＝ 0.1968㎡以上
WW-1（ランマ開口部）：0.80 × 0.30＝ 0.24㎡ よって、OK

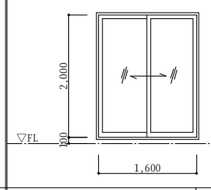
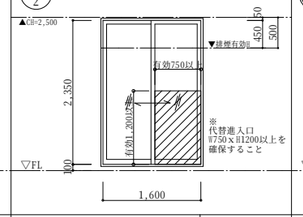
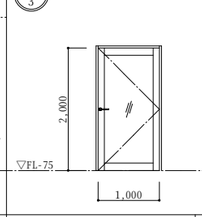
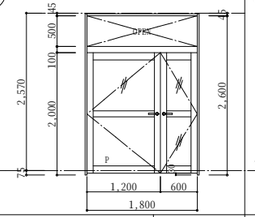
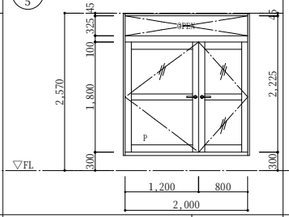
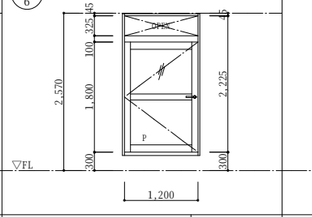
玄関ホール②：8.364㎡ ÷50 ＝0.16728㎡以上
WW-1（ランマ開口部）：0.80 × 0.30＝ 0.24㎡ よって、OK

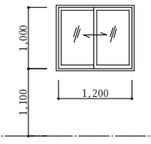
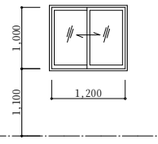
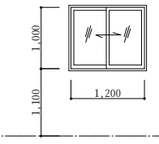
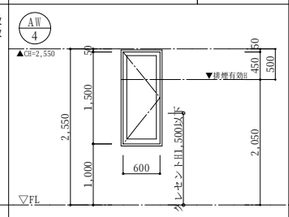
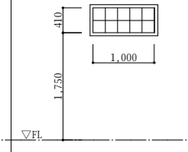
市営住宅(邑久地区)建替 A棟新築工事	A1 S=N/S A3 S=N/S	A
ALVS表		41

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号 TEL086-244-0173
１級建築士事務所 岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録 第１１８２３６号 大石雅弘

建具表１　　Ｓ＝１／５０

形式	数量	片引き戸	5	片引き戸	3	片開き戸	6	片開き戸	6				
記号		SD 1A ＜外観図＞ 遮音性能：音響透過損失20dB以上 断熱性能：H-3等級		SD 1B ＜外観図＞ 遮音性能：音響透過損失20dB以上 断熱性能：H-3等級		SD 2A ＜外観図＞ 特定防火設備 遮音性能：T-1等級 断熱性能：H-3等級		SD 2B ＜外観図＞ 特定防火設備 遮音性能：T-1等級 断熱性能：H-3等級					
姿図													
位置	見込	1～3階 玄関（1DK）、4階 玄関ホール・備蓄倉庫	２８０	1～3階 玄関（1DK）	２８０	1～3階 玄関（2DK・3DK）	８６	1～3階 玄関（2DK・3DK）	８６				
材質	塗装	化粧鋼板ｔ0.6（標準木目）	－	化粧鋼板ｔ0.6（標準木目）	－	化粧鋼板ｔ0.6（標準木目）	－	化粧鋼板ｔ0.6（標準木目）	－				
硝子		―――		―――		―――		―――					
金物		引き棒、CP仕様錠前（鎌錠）、ドアアイ、ドアチェーン		引き棒、CP仕様錠前（鎌錠）、ドアアイ、ドアチェーン		レバーハンドル、CP仕様錠前（ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠）、ドアアイ、ドアガード		レバーハンドル、CP仕様錠前（ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠）、ドアアイ、ドアガード					
備考		三和シャッター「スムード・玄関仕様」同等品		三和シャッター「スムード・玄関仕様」同等品		三和シャッター「エルマーノセレクト」同等品		三和シャッター「エルマーノセレクト」同等品					

形式	数量	引違い窓	30	引違い窓	3	片開き框戸	4	親子開き框戸（ランマ部開放）	1	親子開き框戸（ランマ部開放）	1	片開き框戸（ランマ部開放）	1		
記号		AD 1 遮音性能：T-1等級 断熱性能：H-2等級		AD 2		AD 3 防火設備 EB-2484-3・常時閉鎖式		AD 4		AD 5		AD 6			
姿図															
位置	見込	1～3階 1DK～3DK（DK・洋室）	７０	4階 集会室	７０	1～4階 屋外避難階段	７０	4階 EVホール	７０	4階 屋上スペース	７０	4階 屋上スペース	７０		
材質	塗装	アルミ	カラー	アルミ	カラー	アルミ	カラー	アルミ	カラー	アルミ	カラー	アルミ	カラー		
硝子		複層ガラスＡ		複層ガラスＣ		網入り透明ガラスｔ6.8		網入り透明ガラスｔ6.8		網入り透明ガラスｔ6.8		網入り透明ガラスｔ6.8			
金物		付属金物一式、可動網戸		付属金物一式、可動網戸		レバーハンドル、ドアクローザー、丁番		レバーハンドル、ドアクローザー、丁番 SUSカバー付アルミ下枠		レバーハンドル、ドアクローザー、丁番 SUSカバー付アルミ下枠		レバーハンドル、ドアクローザー、丁番 SUSカバー付アルミ下枠			
備考						SUS沓摺(3)		P：ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞ（非常時避難用注意書き共）		P：ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞ（非常時避難用注意書き共）		P：ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞ（非常時避難用注意書き共）			

形式	数量	引違い窓	6	引違い窓	6	引違い窓	6	片開き窓	1					ガラスブロック窓	10		
記号		AW 1 遮音性能：T-1等級 断熱性能：H-3等級	防火設備 EB-2943-2	AW 2 遮音性能：T-1等級 断熱性能：H-3等級		AW 3 遮音性能：T-1等級 断熱性能：H-3等級		AW 4						GB 1	防火設備 EB-3497		
姿図																
位置	見込	1階 2DK（洋室2）	７０	1～3階 3DK（洋室3）	７０	1～3階 3DK（洋室2）	７０	4階 玄関ホール	７０					1～3階 開放廊下	９５		
材質	塗装	アルミ	カラー	アルミ	カラー	アルミ	カラー	アルミ	カラー					防火設備用 アルミニウム合金製枠			
硝子		複層ガラスＢ		複層ガラスＡ		複層ガラスＡ		複層ガラスＡ						NEGガラスブロック190ｘ190ｘ95			
金物		付属金物一式、可動網戸、面格子(廊下側)		付属金物一式、可動網戸		付属金物一式、可動網戸		付属金物一式									
備考																	

一般事項（特記なき限り下記による．）

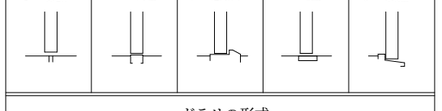
1） 建具寸法（WxH）は枠内法を記入する。
2） ＳＤは特記なき限りポンデ鋼板フラッシュ戸で表面板厚１．６mm貼とする。
3） ＬＳＤは特記なき限りポンデ鋼板フラッシュ戸で表面板厚０．８mm貼とする。
4） プレスド・アングル戸・三方枠は形式欄に記入する。
5） 枠及びドアガラリの仕上は特記なき限り扉と同一とする。
6） 引き戸については戸当りゴムを付けること。

マスターキー　要・不要　組　グランドマスターキー　要・不要　　組
※マスターキー・グランドマスターキーの個数については，再度係員と打合わせを行うこと。

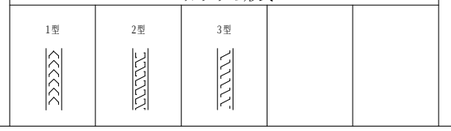
窓の付属金物一式は、下記のものとする。

形式	
引違い、片引き	戸車、レール、クレセント
片開き	丁番、クレセント（レバー式）、あおり止め
縦軸回転	ピボットヒンジ、クレセント（レバー式）、あおり止め
横軸回転	ピボットヒンジ、クレセント（レバー式）、ストッパー
すべり出し	ピボットヒンジ、クレセント（レバー式）、スベリ出しアーム
突出し、内倒し、外倒し	丁番、クレセント、ストッパー

沓摺



ガラリの形式



特記事項

・事前に施工図作成の上、係員の承諾後製作にかかること。尚不明な点については前もって打合せを行うこと。（防火設備仕様の箇所については防火認定品とする。）
・建具金物は特記なき限り、総てステンレス（ＳＵＳ３０４）製ＨＬ仕上とする。尚見本品提出の上係員の承諾を得ること。
・ガラス押えは特記なき限りシーリング押えとする。
・把手、クレセントの取付高さは係員の承諾後製作にかかること。
・材料はＪＩＳ及びＪＡＳ規定による。
・特記なき限り、姿図は内観図とする。
・可動網戸は「ＹＫＫａｐクリアネット」同等品とする。
・ガスチャンバーについては、部分詳細図を参照すること。
・建具の上下には誘発目地２０ｘ２０を設けること。
・音響透過損失とは１００Ｈｚ～２５００Ｈｚの範囲の１／３オクターブバンド毎の音響透過損失の算術平均値を示す。

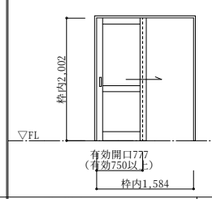
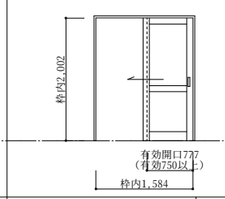
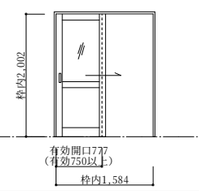
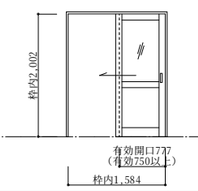
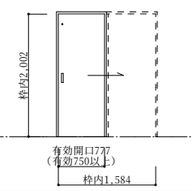
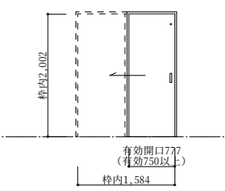
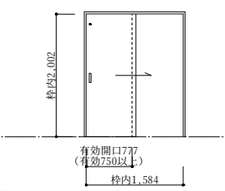
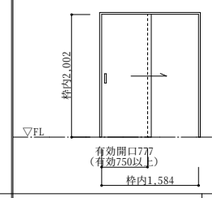
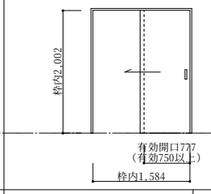
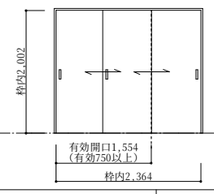
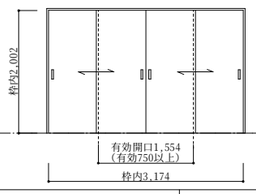
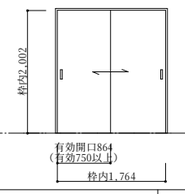
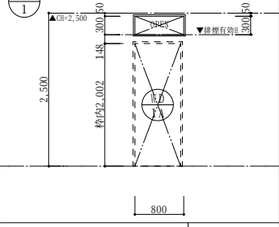
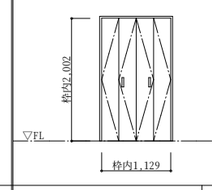
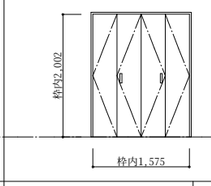
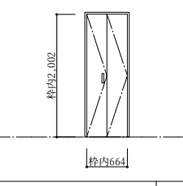
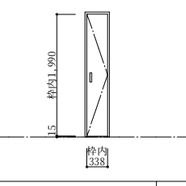
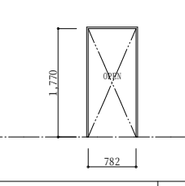
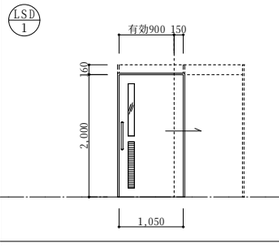
凡例

複層ガラスＡ：［外側］Ｌｏｗ－Ｅガラス４㎜＋空気層６㎜＋［内側］フロートガラス４㎜
複層ガラスＢ：［外側］Ｌｏｗ－Ｅガラス４㎜＋空気層６㎜＋［内側］網入型板ガラス６．８㎜
複層ガラスＣ：［外側］Ｌｏｗ－Ｅガラス５㎜＋空気層６㎜＋［内側］フロートガラス５㎜

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/50 A3 S=1/100	A
建具表１		42

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

建具表２　　Ｓ＝１／５０

形式	数量	片引き戸	12	片引き戸	9	片引き戸	9	片引き戸	9	片引き戸	6	片引き戸	6	片引き戸	3	片引き戸	3
記号		WD 1A		WD 1B		WD 2A		WD 2B		WD 3A		WD 3B		WD 3C		WD 3D	
姿図																	
位置	見込	1～3階 洋室2･3、 4階 集会室・湯沸室	３０	1～3階 洋室2･3	３０	1～3階 DK	３０	1～3階 DK	３０	1～3階 便所	３０	1～3階 便所	３０	1～3階 便所	３０	1～3階 便所	３０
材質	塗装	木製	－	木製	－	木製	－	木製	－	木製	－	木製	－	木製	－	木製	－
硝子		―――		―――		ミスト熱処理ガラスｔ４		ミスト熱処理ガラスｔ４		―――		―――		―――		―――	
金物		引き手		引き手		引き手		引き手		引き手、表示錠、ライトスコープ		引き手、表示錠、ライトスコープ		引き手、表示錠、ライトスコープ		引き手、表示錠、ライトスコープ	
備考		ウッドワン 「ドレタス・固定枠　床直付ﾚｰﾙﾀｲﾌﾟ」同等品		ウッドワン 「ドレタス・固定枠　床直付ﾚｰﾙﾀｲﾌﾟ」同等品		ウッドワン 「ドレタス・固定枠　床直付ﾚｰﾙﾀｲﾌﾟ」同等品		ウッドワン 「ドレタス・固定枠　床直付ﾚｰﾙﾀｲﾌﾟ」同等品		ウッドワン 「ドレタス・固定枠　床直付ﾚｰﾙﾀｲﾌﾟ」同等品		ウッドワン 「ドレタス・固定枠　床直付ﾚｰﾙﾀｲﾌﾟ」同等品		ウッドワン 「ドレタス・固定枠　床直付ﾚｰﾙﾀｲﾌﾟ」同等品		ウッドワン 「ドレタス・固定枠　床直付ﾚｰﾙﾀｲﾌﾟ」同等品	
形式	数量	片引き戸	9	片引き戸	9	3 枚引き違い戸	6	4 枚引き違い戸	6	引違い戸	7			ランマ開口４方枠	2		
記号		WD 4A		WD 4B		WD 5		WD 6		WD 7				WW 1			
姿図																	
位置	見込	1～3階 脱衣室	３０	1～3階 脱衣室	３０	1～3階 洋室1	３０	1～3階 洋室1	３０	1～3階 洋室、4階 物入	３０			4階 玄関ホール・湯沸室	見込：１１０		
材質	塗装	木製	－	木製	－	木製	－	木製	－	木製	－			木製（タモ集成材）	ＣＬ塗装		
硝子		―――		―――		―――		―――		―――				―――			
金物		引き手		引き手		引き手		引き手		引き手				―――			
備考		ウッドワン 「ドレタス・固定枠　床直付ﾚｰﾙﾀｲﾌﾟ」同等品		ウッドワン 「ドレタス・固定枠　床直付ﾚｰﾙﾀｲﾌﾟ」同等品		ウッドワン 「ドレタス・固定枠　床直付ﾚｰﾙﾀｲﾌﾟ」同等品		ウッドワン 「ドレタス・固定枠　床直付ﾚｰﾙﾀｲﾌﾟ」同等品		ウッドワン 「ドレタス・固定枠　床直付ﾚｰﾙﾀｲﾌﾟ」同等品							
形式	数量	クローゼット扉（２折れ）	12	クローゼット扉（２折れ）	18	クローゼット扉（２折れ）	18	収納扉（片開き戸）	18	３方枠	18			ハンガードア			1
記号		WF 1		WF 2		WF 3		WF 4		UB 1				LSD 1			
姿図																	
位置	見込	1～3階 物入（洋室内）	２０	1～3階 物入（洋室内）	２０	1～3階 物入（洋室・DK内）	２０	1～3階 物入（通路内）	２０	1～3階 脱衣室	８０			4階 車椅子便所	４０		
材質	塗装	木製	－	木製	－	木製	－	木製	－	樹脂製	－			軽量スチール	化粧鋼板 （木目調）		
硝子		―――		―――		―――		―――		―――				型板ガラスｔ4.0			
金物		取手		取手		取手		取手						表示錠（内部大型サムターン）、上部サムターン錠（両面）、引き棒、上吊レール、 上吊戸車、振れ止めローラー、戸当り			
備考		ウッドワン 「ドレタス・固定枠　3方下レール無し」同等品		ウッドワン 「ドレタス・固定枠　3方下レール無し」同等品		ウッドワン 「ドレタス・固定枠　3方下レール無し」同等品		ウッドワン「ドレタス・固定枠　4方枠」同等品		フクビ「UB枠　UHタイプ」同等品				非常解錠付、指詰め防止クッション、ガラリ 三和シャッター「スムードS」同等品（ストッパー機能無し）			

一般事項（特記なき限り下記による．）

1）　建具寸法（WxH）は枠内法を記入する。
2）　ＳＤは特記なき限りポンデ鋼板フラッシュ戸で表面板厚１．６mm貼とする。
3）　ＬＳＤは特記なき限りポンデ鋼板フラッシュ戸で表面板厚０．８mm貼とする。
4）　プレス戸・アングル戸・三方枠は形式欄に記入する。
5）　枠及びドアガラリの仕上は特記なき限り扉と同一とする。
6）　引き戸については戸当りゴムを付けること。

マスターキー　要・不要　組　グランドマスターキー　要・不要　　組
※マスターキー・グランドマスターキーの個数については、再度係員と打合わせを行うこと。

窓の付属金物一式は、下記のものとする。

形式	
引違い、片引き	戸車、レール、クレセント
片開き	丁番、クレセント（レバー式）、あおり止め
縦軸回転	ピボットヒンジ、クレセント（レバー式）、あおり止め
横軸回転	ピボットヒンジ、クレセント（レバー式）、ストッパー
すべり出し	ピボットヒンジ、クレセント（レバー式）、スベリ出しアーム
突出し、内倒し、外倒し	丁番、クレセント、ストッパー

沓摺

1　目地棒	2　コの字型	3　建具枠巾	4　板型	5　水切型
				

ガラリの形式

1型	2型	3型
		

特記事項

・事前に施工図作成の上、係員の承諾後製作にかかること。尚不明な点については前もって打合せを行うこと。
　（防火設備仕様の箇所については防火認定品とする。）

・建具金物は特記なき限り、総てステンレス（ＳＵＳ３０４）製ＨＬ仕上とする。
　尚見本品提出の上係員の承諾を得ること。

・ガラス押えは特記なき限りシーリング押えとする。

・把手、クレセントの取付高さは係員の承諾後製作にかかること。

・材料はＪＩＳ及びＪＡＳ規定による。

・特記なき限り、姿図は内観図とする。

・可動網戸は「ＹＫＫａｐクリアネット」同等品とする。

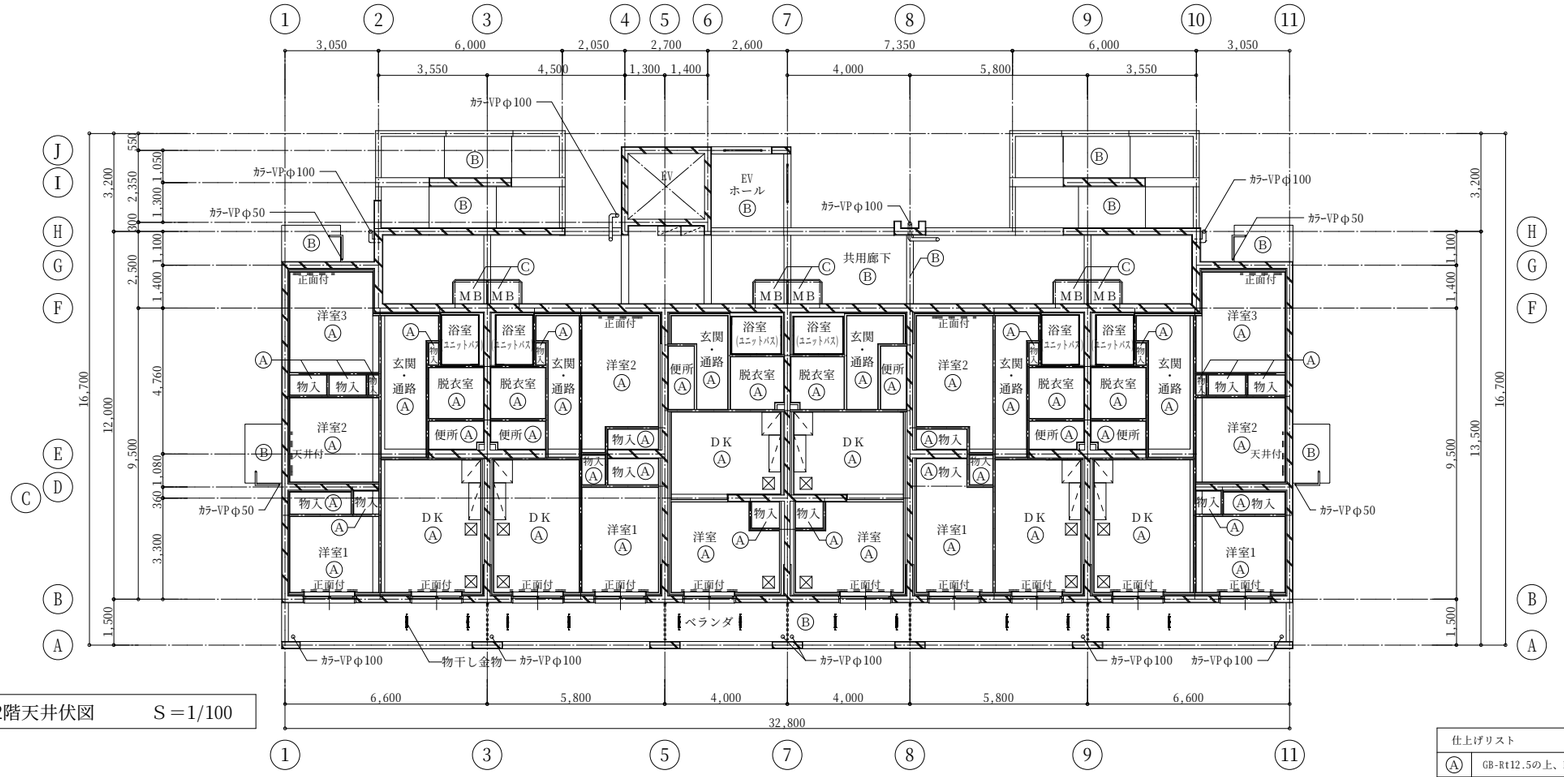
・ガスチャンバーについては、部分詳細図を参照すること。

・建具の上下には誘発目地２０ｘ２０を設けること。

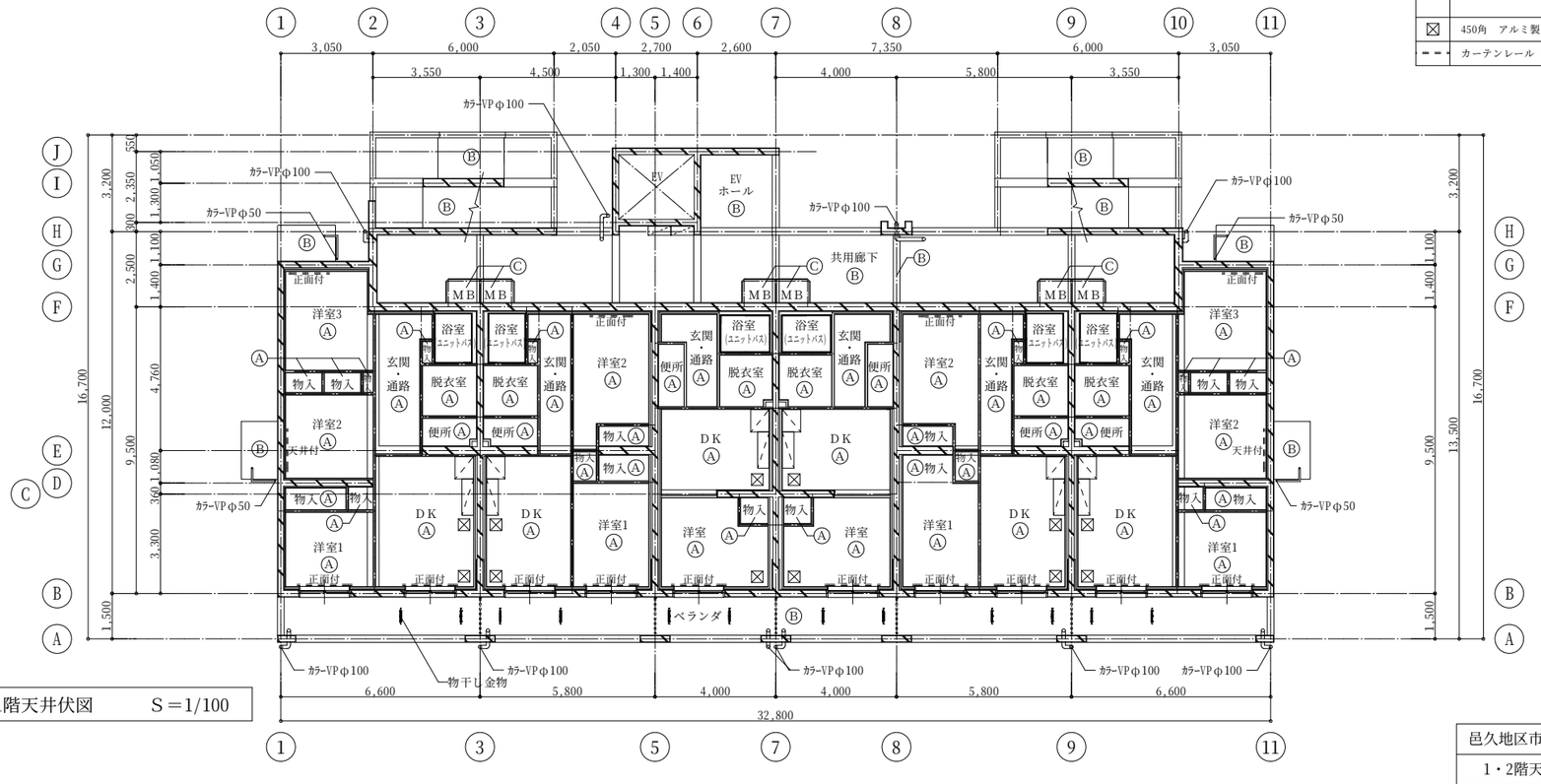
邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1　S=1/50 A3　S=1/100			A
建具表２				43

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘





2階天井伏図　　S＝1/100



1階天井伏図　　S＝1/100

仕上げリスト	
Ⓐ	GB-Rt12.5の上、EP塗装
Ⓑ	コンクリート打放し補修の上、外装薄塗材E
Ⓒ	コンクリート打放し補修仕上
☒	450角　アルミ製
▬ ▬	カーテンレール（ダブル）

特記事項

※ルーフドレンから竪樋への経路について

①RFL～2FL

・3-4通り：ルーフドレンからH通り梁下を経由し、竪樋に接続

・8-9通り：ルーフドレンから8通り梁下を経由し、H通り壁貫通後、竪樋に接続

・2・10通り（H通り）：ルーフドレンから壁貫通し、竪樋に接続

・A通り　：ルーフドレンからA通り壁貫通し、竪樋に接続

②1FL

・共通　：ルーフドレンから壁貫通し、竪樋に接続

③階段屋根

・共通：ルーフドレンからパラペット壁貫通し、竪樋に接続

※竪樋と地盤面部には、排水管カバーを設置すること。

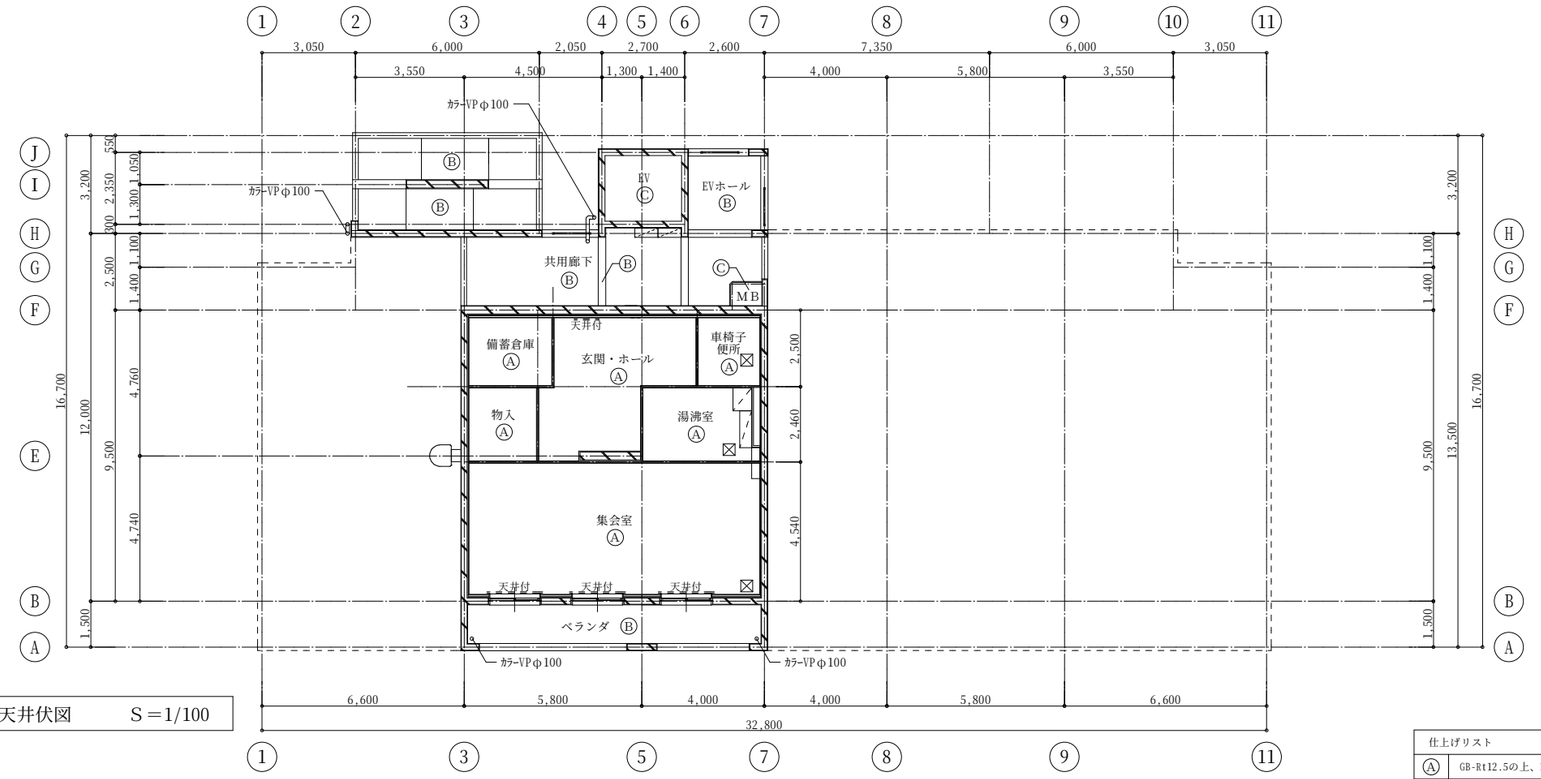
※ルーフドレンから竪樋の接続する部分には、スライドソケット及びスライドチーズを設けること。

※竪樋上部には、掃除口を設置すること。

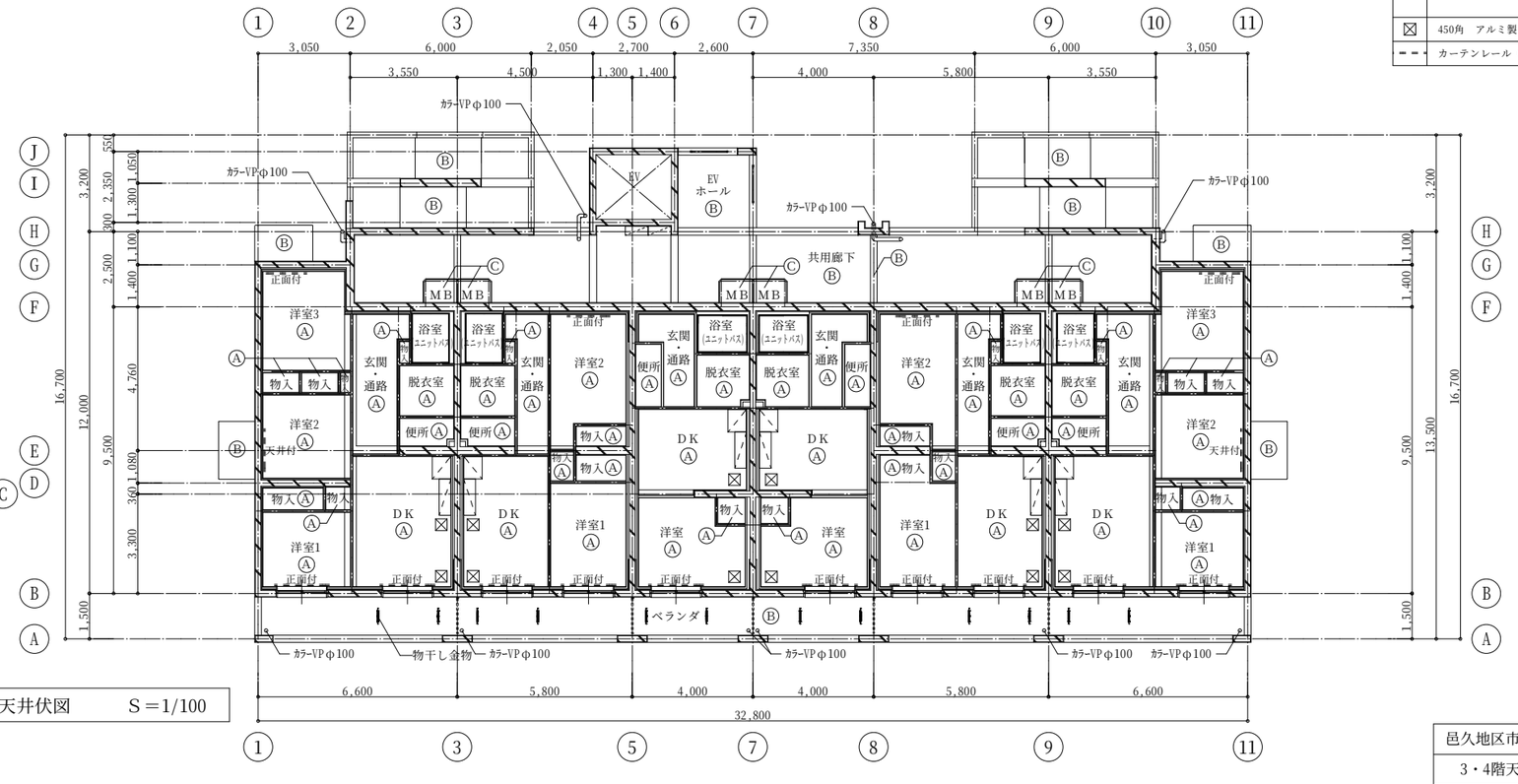
邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1　S=1/100 A3　S=1/200	A
1・2階天井伏図		44

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘





4階天井伏図　　S＝1/100



3階天井伏図　　S＝1/100

特記事項

※ルーフドレンから竪樋への経路について

①RFL～2FL

・3-4通り：ルーフドレンからH通り梁下を経由し、竪樋に接続

・8-9通り：ルーフドレンから8通り梁下を経由し、H通り壁貫通後、竪樋に接続

・2・10通り（H通り）：ルーフドレンから壁貫通し、竪樋に接続

・A通り　：ルーフドレンからA通り壁貫通し、竪樋に接続

②1FL

・共通　：ルーフドレンから壁貫通し、竪樋に接続

③階段屋根

・共通：ルーフドレンからパラペット壁貫通し、竪樋に接続

※竪樋と地盤面部には、排水管カバーを設置すること。

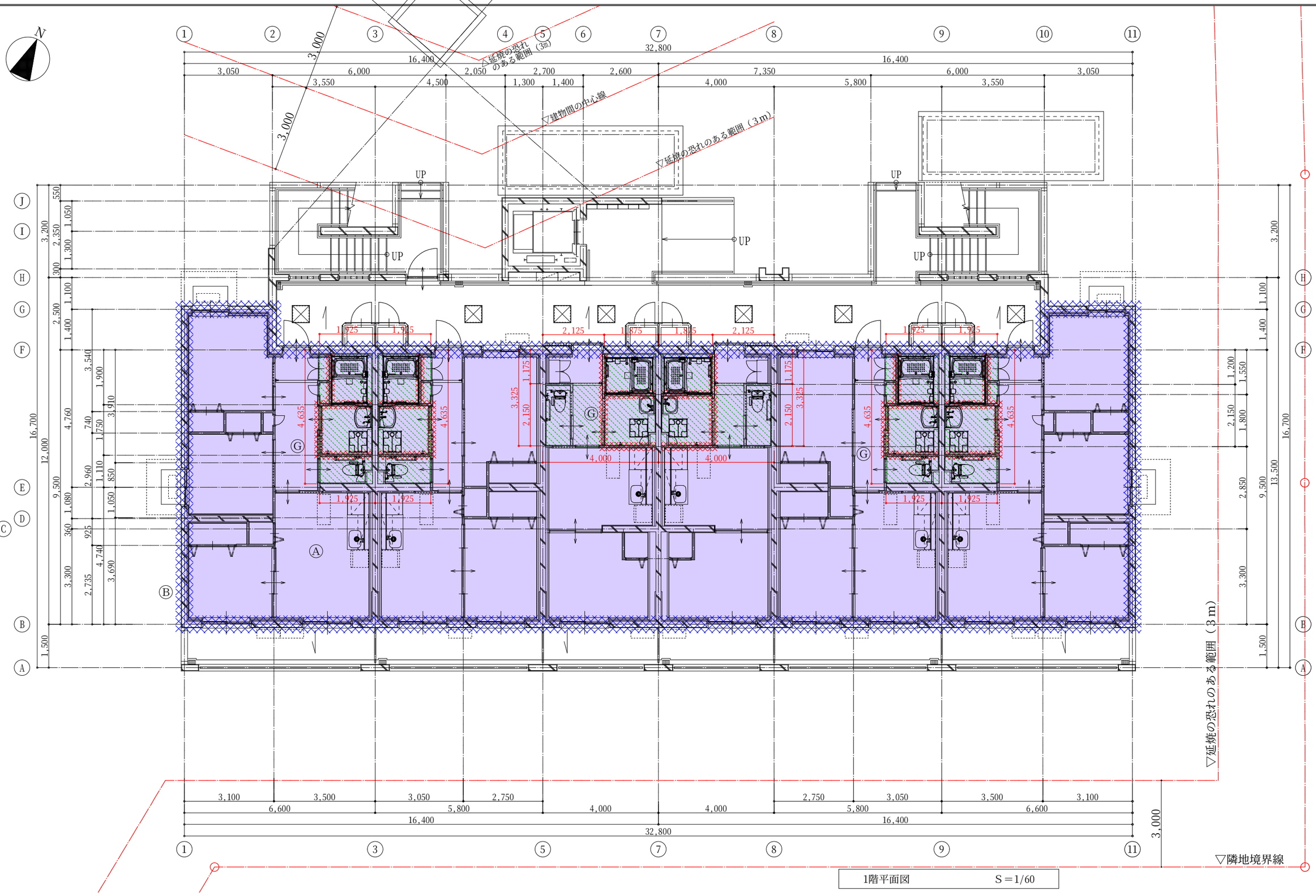
※ルーフドレンから竪樋の接続する部分には、スライドソケット及びスライドチーズを設けること。

※竪樋上部には、掃除口を設置すること。

仕上げリスト	
Ⓐ	GB-Rt12.5の上、EP塗装
Ⓑ	コンクリート打放し補修の上、外装薄塗材E
Ⓒ	コンクリート打放し補修仕上
☒	450角　アルミ製
▬ ▬	カーテンレール（ダブル）

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1　S=1/100 A3　S=1/200		A
3・4階天井伏図			45

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



1階平面図　　S＝1/60

記号	範囲	部位	断熱仕様	備考
Ⓐ		床スラブ下	押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA　t 50	立下り500打込
Ⓑ		外壁に面する部分	吹付硬質ウレタンフォームA種1H　t 35	
Ⓒ		コンクリースラブ裏面	吹付硬質ウレタンフォームA種1H　t 35	
Ⓓ		アスファルト防水部分	押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA　t 50	

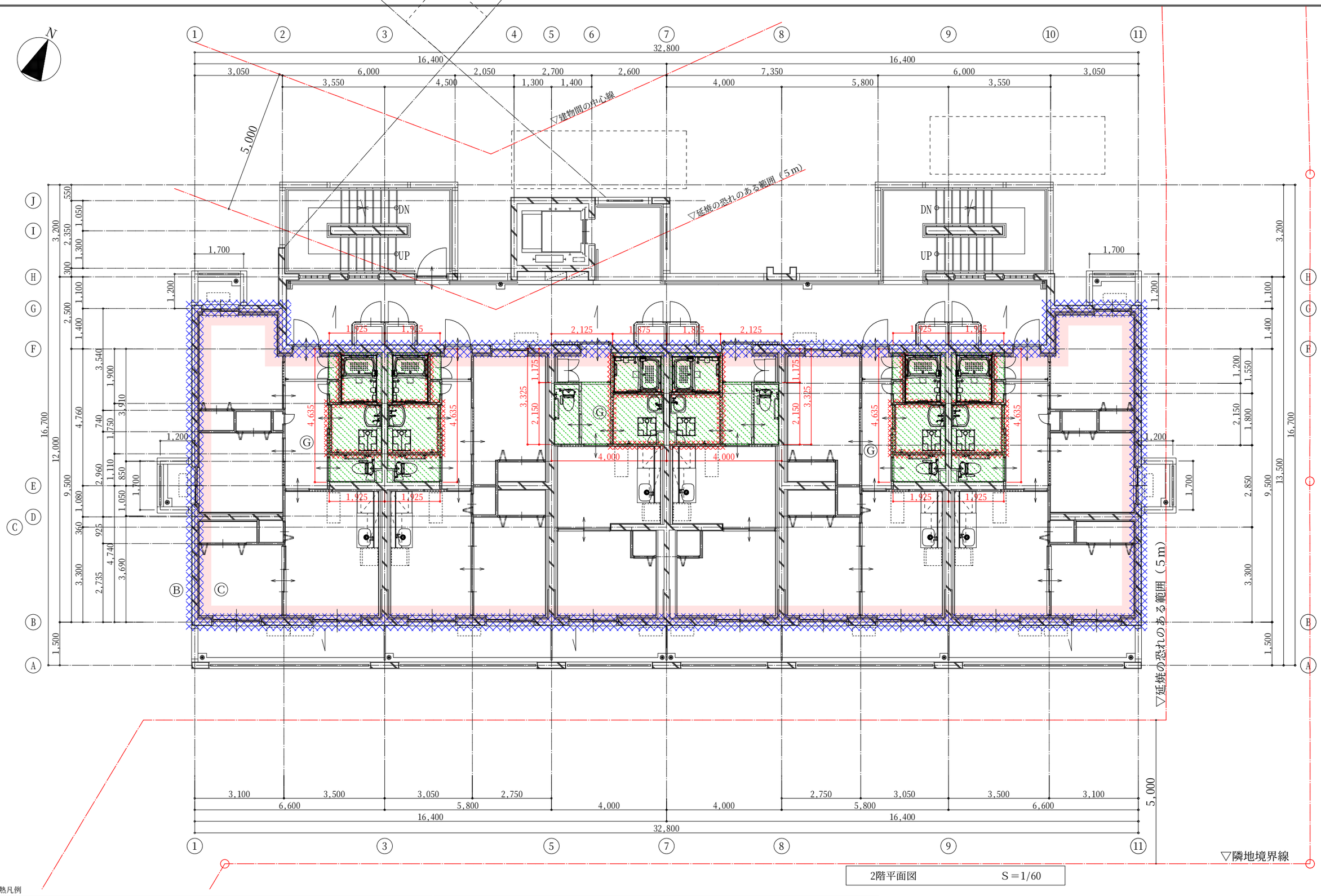
記号	範囲	部位	断熱仕様	備考
Ⓔ		4階アスファルト防水部分 4階コンクリースラブ裏面	防水層側：押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA　t 50 ｽﾗﾌﾞ裏側：吹付硬質ウレタンフォームA種1H　t 20	梁型・耐震壁部 立下り450打込
Ⓕ		コンクリースラブ裏面	吹付硬質ウレタンフォームA種1H　t 20	
Ⓖ		間仕切壁	グラスウール（24kg/m3）t 50	

凡例

：スラブ下り範囲を示す

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/60 A3 S=1/120	A	
断熱範囲平面図1		46	

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



2階平面図　　S＝1/60

断熱凡例

記号	範　囲	部　位	断　熱　仕　様	備　考
Ⓐ		床スラブ下	押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種ｂA　t 50	立下り500打込
Ⓑ		外壁に面する部分	吹付硬質ウレタンフォームA種1H　t 35	
Ⓒ		コンクリースラブ裏面	吹付硬質ウレタンフォームA種1H　t 35	
Ⓓ		アスファルト防水部分	押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種ｂA　t 50	

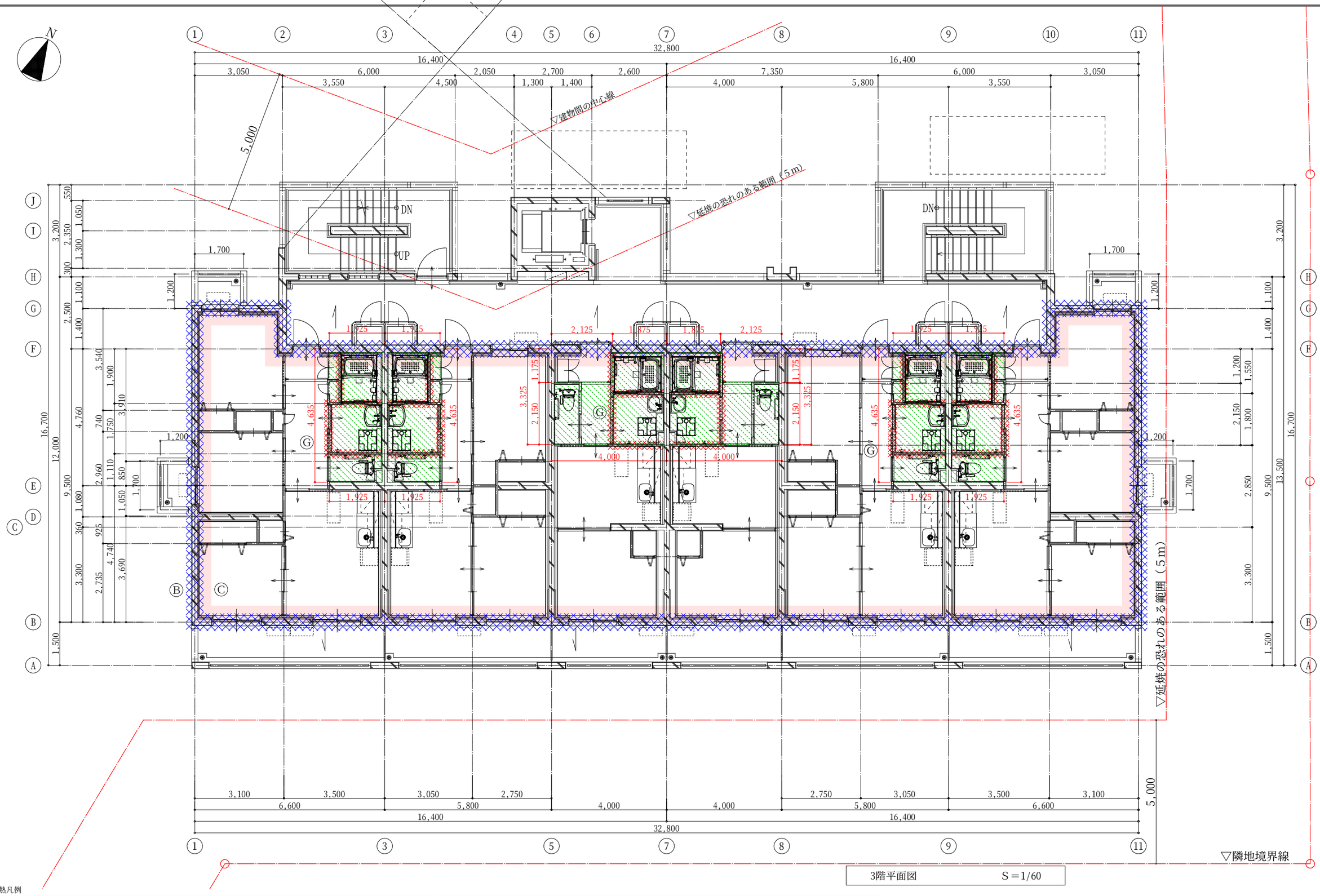
記号	範　囲	部　位	断　熱　仕　様	備　考
Ⓔ		4階アスファルト防水部分 4階コンクリースラブ裏面	防水層側：押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種ｂA　t 50 ｽﾗﾌﾞ裏側：吹付硬質ウレタンフォームA種1H　t 20	梁型・耐震壁部 立下り450打込
Ⓕ		コンクリースラブ裏面	吹付硬質ウレタンフォームA種1H　t 20	
Ⓖ		間仕切壁	グラスウール（24kg/m3）t 50	

凡例

：スラブ下り範囲を示す

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A 1 A 3	S=1/60 S=1/120	A
断熱範囲平面図2			47

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



3階平面図　　S＝1/60

断熱凡例

記号	範　囲	部　位	断　熱　仕　様	備　考
Ⓐ		床スラブ下	押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種ｂA　t 50	立下り500打込
Ⓑ		外壁に面する部分	吹付硬質ウレタンフォームA種1H　t 35	
Ⓒ		コンクリースラブ裏面	吹付硬質ウレタンフォームA種1H　t 35	
Ⓓ		アスファルト防水部分	押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種ｂA　t 50	

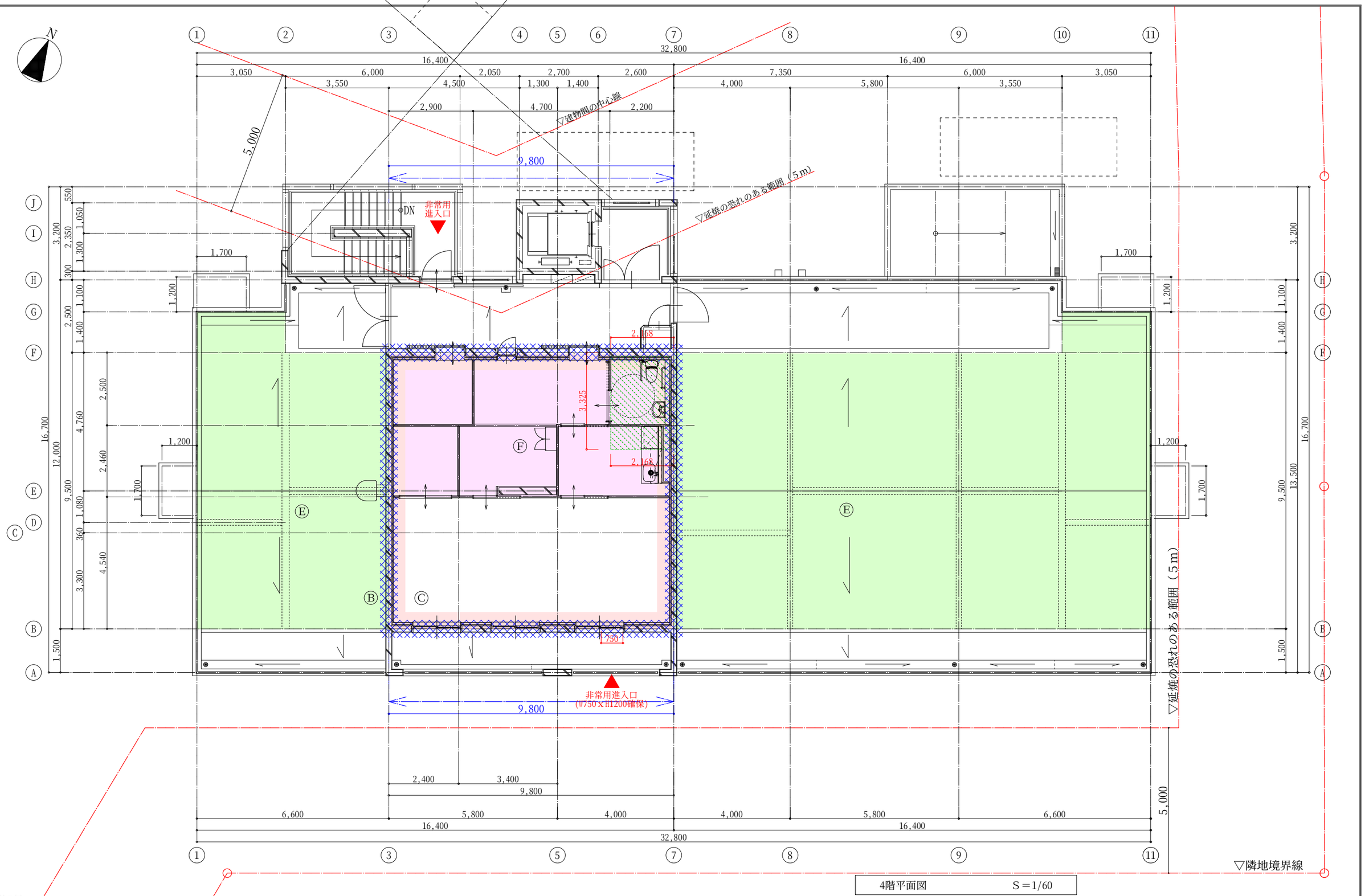
記号	範　囲	部　位	断　熱　仕　様	備　考
Ⓔ		4階アスファルト防水部分 4階コンクリースラブ裏面	防水層側：押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種ｂA　t 50 ｽﾗﾌﾞ 裏側：吹付硬質ウレタンフォームA種1H　t 20	梁型・耐震壁部 立下り450打込
Ⓕ		コンクリースラブ裏面	吹付硬質ウレタンフォームA種1H　t 20	
Ⓖ		間仕切壁	グラスウール（24kg/m3）t 50	

凡例

：スラブ下り範囲を示す

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A 1　S=1/60 A 3　S=1/120		A
断熱範囲平面図3			48

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



4階平面図　　S＝1/60

断熱凡例

記号	範　囲	部　　位	断　熱　仕　様	備　　考
Ⓐ		床スラブ下	押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種ｂA　ｔ50	立下り500打込
Ⓑ		外壁に面する部分	吹付硬質ウレタンフォームA種1H　ｔ35	
Ⓒ		コンクリースラブ裏面	吹付硬質ウレタンフォームA種1H　ｔ35	
Ⓓ		アスファルト防水部分	押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種ｂA　ｔ50	

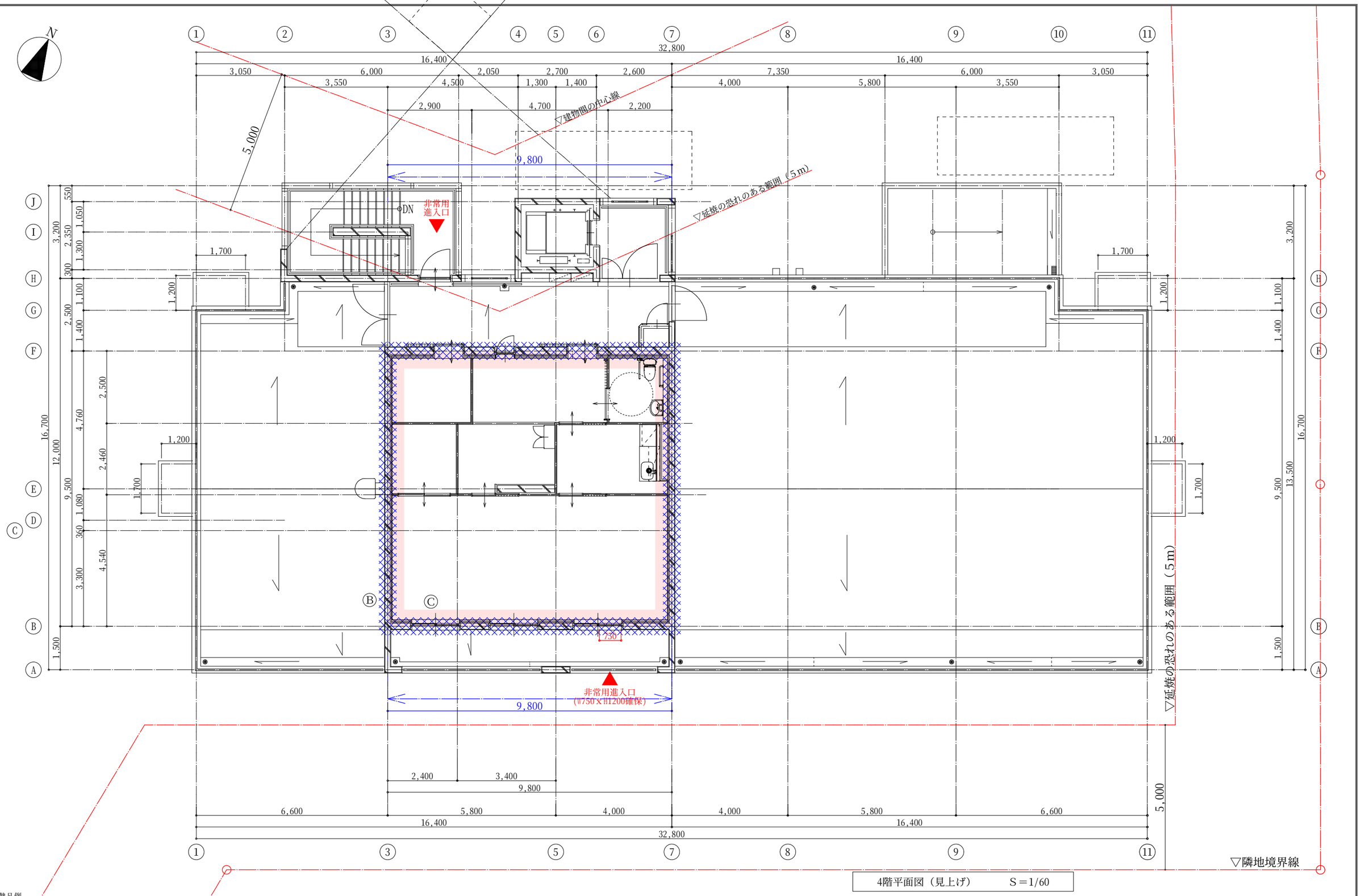
記号	範　囲	部　　位	断　熱　仕　様	備　　考
Ⓔ		4階アスファルト防水部分 4階コンクリースラブ裏面	防水層側：押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種ｂA　ｔ50 ｽﾗﾌﾞ裏側：吹付硬質ウレタンフォームA種1H　ｔ20	梁型・耐震壁部 立下り450打込
Ⓕ		コンクリースラブ裏面	吹付硬質ウレタンフォームA種1H　ｔ20	
Ⓖ		間仕切壁	グラスウール（24kg/m3）ｔ50	

凡例

：スラブ下り範囲を示す

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/60 A3 S=1/120		A
断熱範囲平面図4			49

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



4階平面図（見上げ）　　S＝1/60

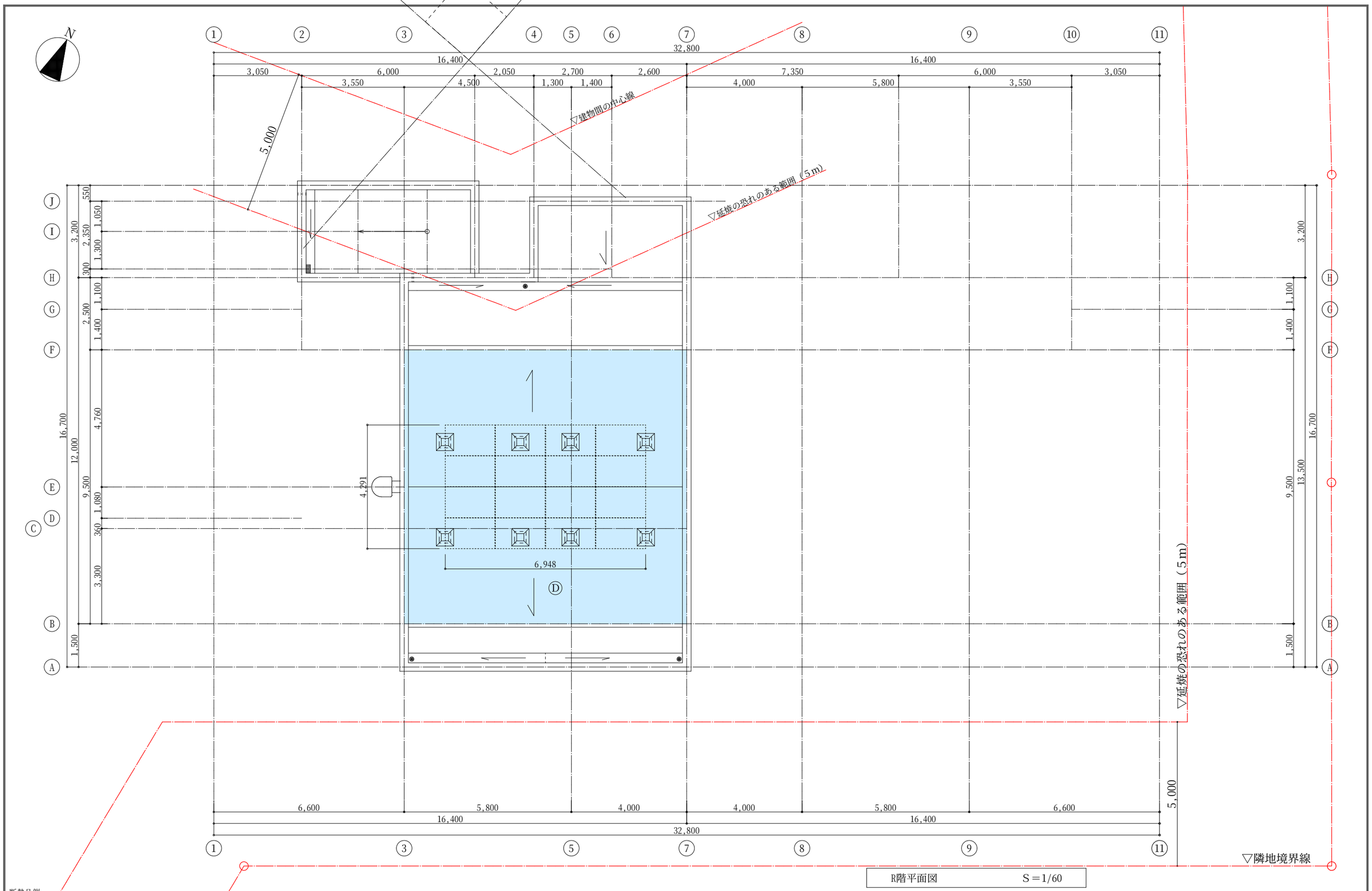
断熱凡例

記号	範　囲	部　位	断　熱　仕　様	備　考
Ⓐ		床スラブ下	押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種ｂA　t 50	立下り500打込
Ⓑ		外壁に面する部分	吹付硬質ウレタンフォームA種1H　t 35	
Ⓒ		コンクリースラブ裏面	吹付硬質ウレタンフォームA種1H　t 35	
Ⓓ		アスファルト防水部分	押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種ｂA　t 50	

記号	範　囲	部　位	断　熱　仕　様	備　考
Ⓔ		4階アスファルト防水部分 4階コンクリースラブ裏面	防水層側：押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種ｂA　t 50 ｽﾗﾌﾞ裏側：吹付硬質ウレタンフォームA種1H　t 20	梁型・耐震壁部 立下り450打込
Ⓕ		コンクリースラブ裏面	吹付硬質ウレタンフォームA種1H　t 20	
Ⓖ		間仕切壁	グラスウール（24kg/m3）t 50	

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1　S=1/60 A3　S=1/120		A
断熱範囲平面図5			50

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



R階平面図　　S＝1/60

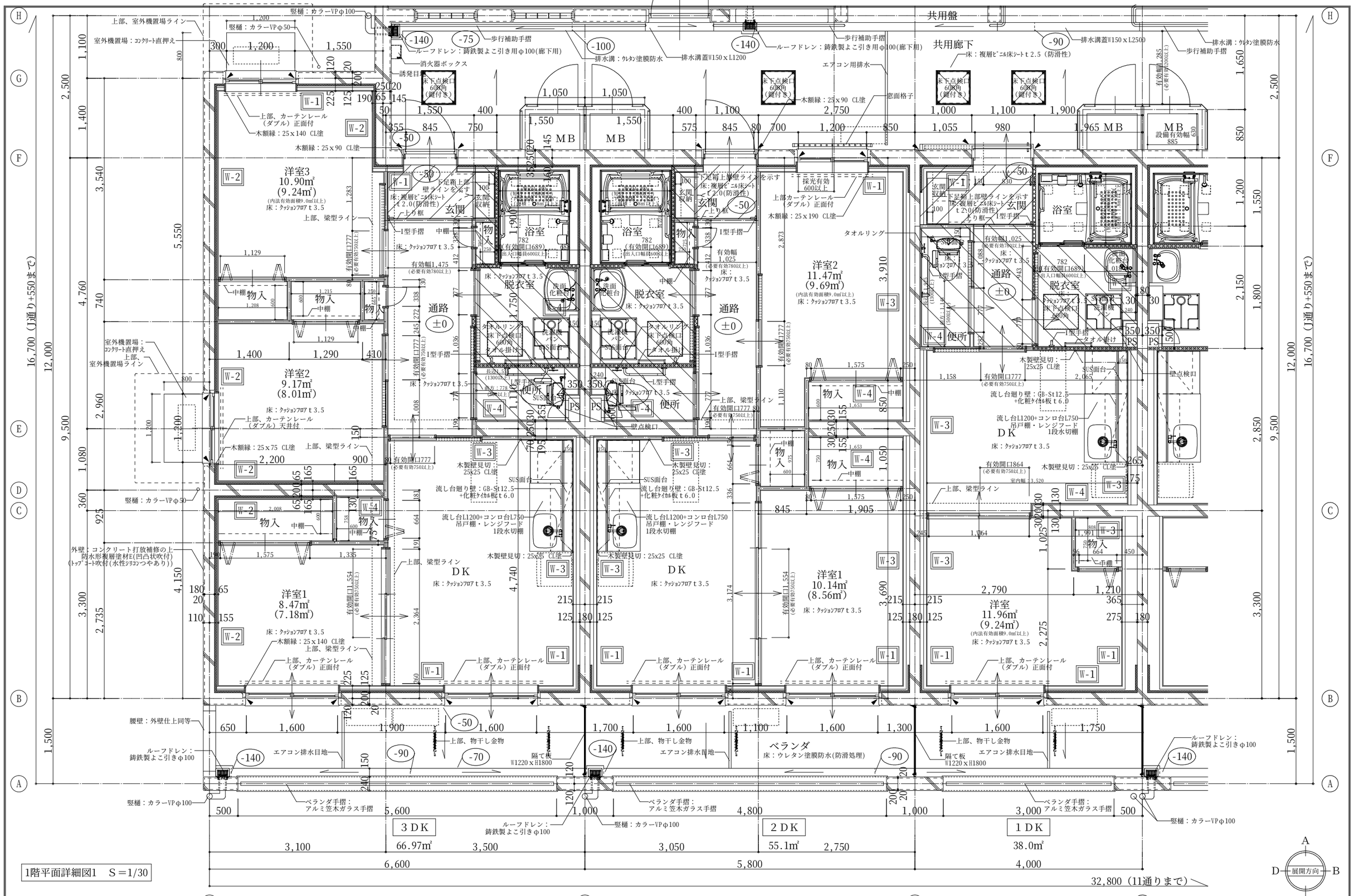
断熱凡例

記号	範　囲	部　位	断　熱　仕　様	備　考
Ⓐ		床スラブ下	押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種ｂA　t 50	立下り500打込
Ⓑ		外壁に面する部分	吹付硬質ウレタンフォームA種1H　t 35	
Ⓒ		コンクリースラブ裏面	吹付硬質ウレタンフォームA種1H　t 35	
Ⓓ		アスファルト防水部分	押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種ｂA　t 50	

記号	範　囲	部　位	断　熱　仕　様	備　考
Ⓔ		4階アスファルト防水部分 4階コンクリースラブ裏面	防水層側：押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種ｂA　t 50 ｽﾗﾌﾞ裏側：吹付硬質ウレタンフォームA種1H　t 20	梁型・耐震壁部 立下り450打込
Ⓕ		コンクリースラブ裏面	吹付硬質ウレタンフォームA種1H　t 20	
Ⓖ		間仕切壁	グラスウール（24kg/m3）t 50	

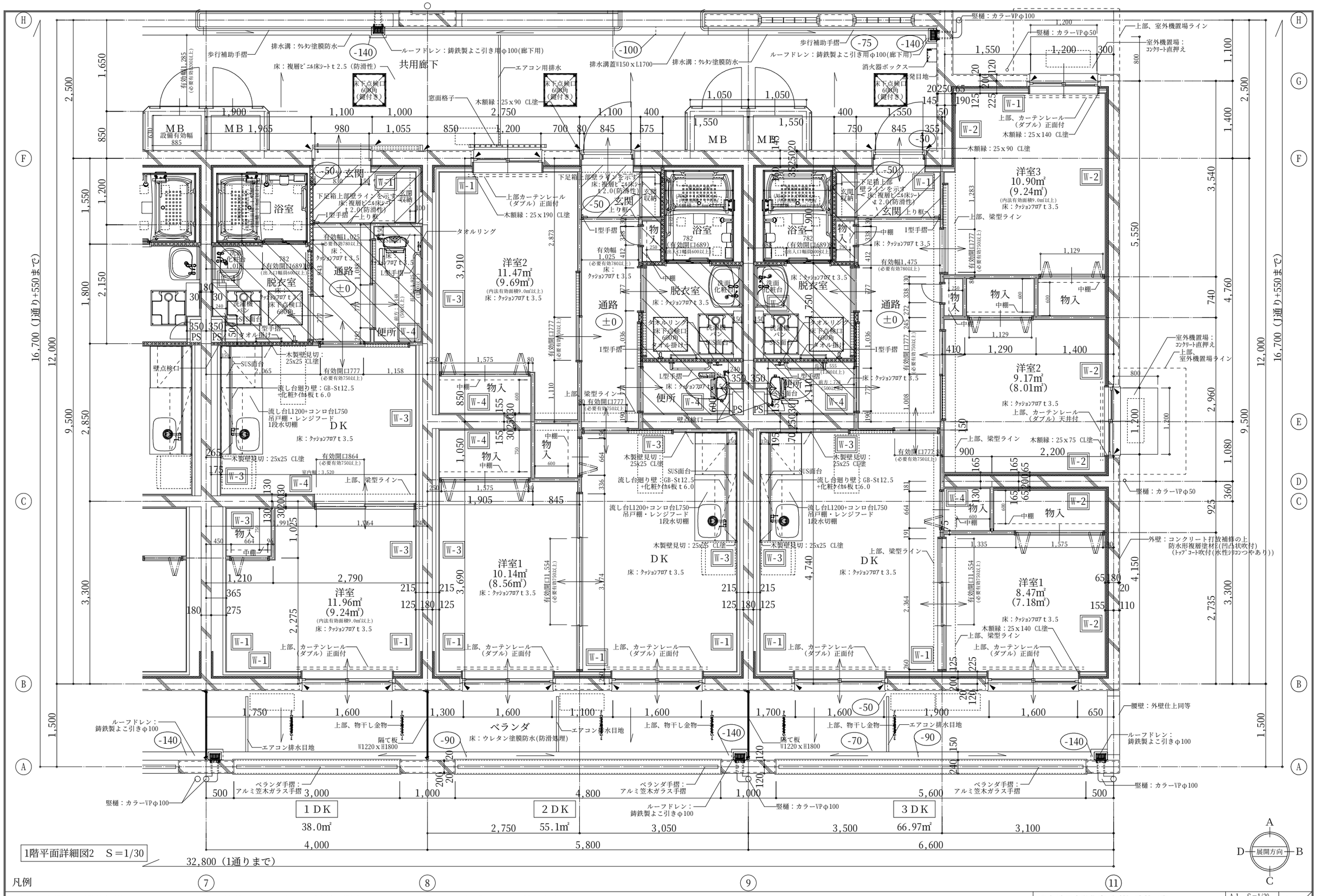
邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A 1　S=1/60 A 3　S=1/120		A
断熱範囲平面図6			51

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/30 A3 S=1/60
１階平面詳細図１	A 52

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号 TEL086-244-0173
１級建築士事務所 岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録 第１１８２３６号 大石雅弘

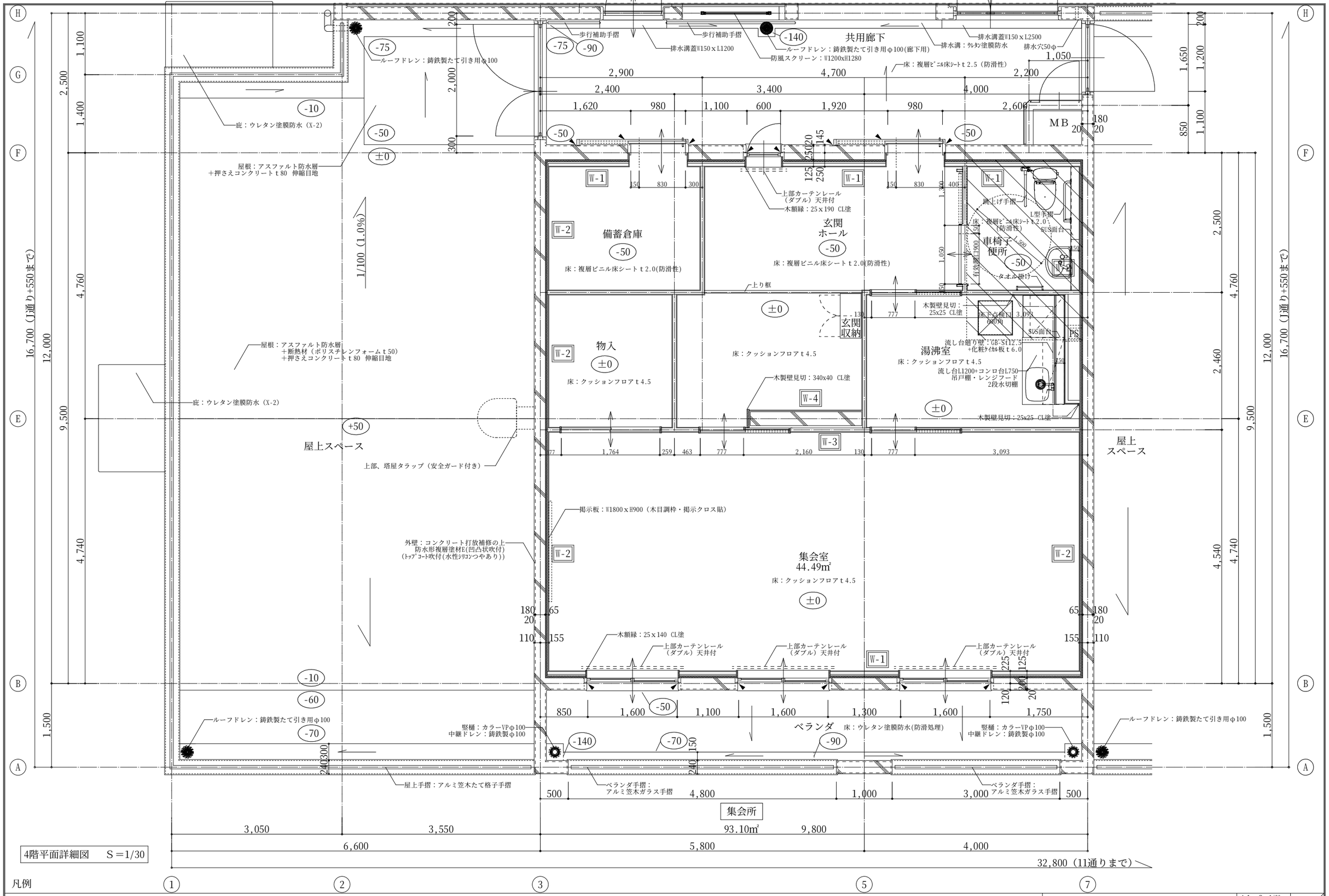


凡例

特記なき限り、間仕切壁はLGS50+GB-Rt12.5+EP塗装とする。但し、便所・脱衣室については「GB-R」を「GB-S」と読み替える。

W-1	硬質ｳｰﾙﾌｫｰﾑt35吹付+LGS50+GB-Rt12.5+EP塗装	W-3	LGS50+GB-Rt12.5+EP塗装	○○㎡	洋室の壁芯々床面積を示す	数値	FLからのレベルを示す	➘：変成シリコン系シーリング
W-2	硬質ｳｰﾙﾌｫｰﾑt35吹付+GB-Rt12.5(GL工法)+EP塗装	W-4	GB-Rt12.5（GL工法）+EP塗装	(○○㎡)	洋室の内法床面積を示す		乾式２重床下地範囲を示す	

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/30 A3 S=1/60	A	
1階平面詳細図2			53
（株）ＡＤＯ建築設計事務所 岡山市北区西古松西町５番６号 TEL086-244-0173	1級建築士事務所 岡山県知事登録第１２０５５号 1級建築士登録 第１１８２３６号 大石雅弘		



4階平面詳細図　S＝1/30

凡例

特記なき限り、間仕切壁はLGS65+GB-Rt12.5+EP塗装とする。但し、便所・脱衣室については「GB-R」を「GB-S」と読み替える。

W-1	硬質ｳｰﾙﾌｫｰﾑt35吹付+LGS50+GB-Rt12.5+EP塗装	W-3	LGS50+GB-Rt12.5+EP塗装	○○㎡	洋室の壁芯々床面積を示す	数値	FLからのレベルを示す
W-2	硬質ｳｰﾙﾌｫｰﾑt35吹付+GB-Rt12.5(GL工法)+EP塗装	W-4	GB-Rt12.5（GL工法）+EP塗装	(○○㎡)	洋室の内法床面積を示す		乾式２重床下地範囲を示す

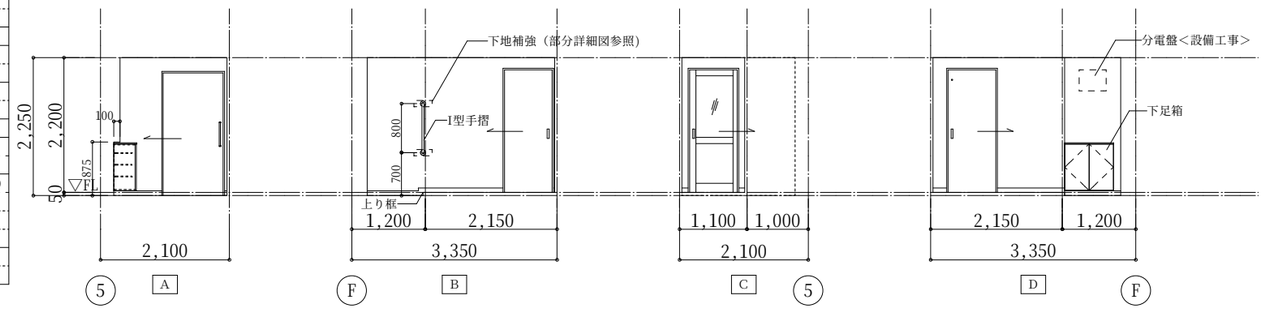
◥：変成シリコン系シーリング

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/30 A3 S=1/60	A
4階平面詳細図		54

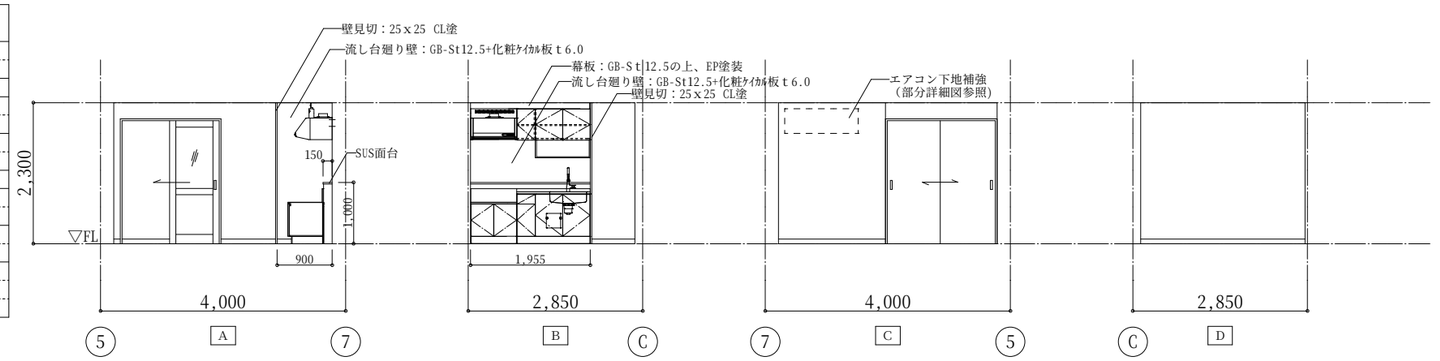
（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

＜1～3階共通＞

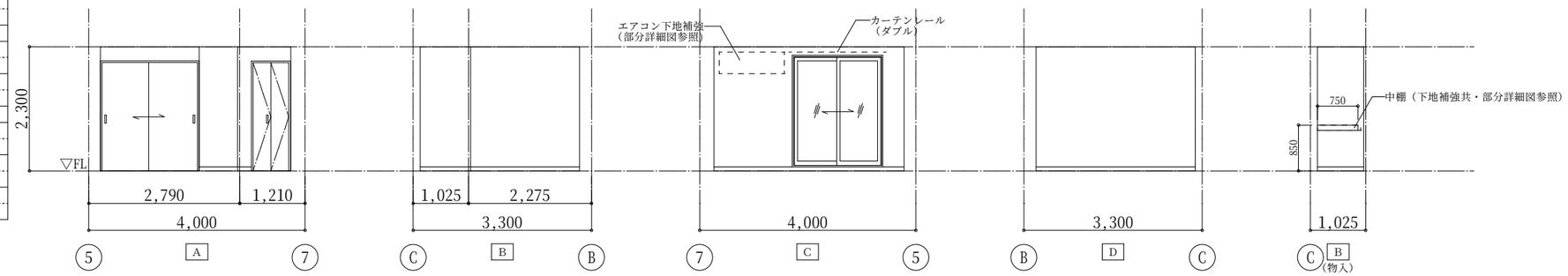
1DK	玄関・通路
天井	LGS+GB-Rt12.5
	EP塗装
廻縁	塩ビ製
壁	LGS+GB-Rt12.5
	EP塗装
巾木	ソフト巾木 H=75
床	増打+モルタル金コテ押え
	コンクリート直押え
	複層ビニル床シートt2.0（防滑性）
	乾式２重床下地
	ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞt20+捨張合板t12
	クッションフロアt3.5
備考	下足箱、I型手摺、上り框



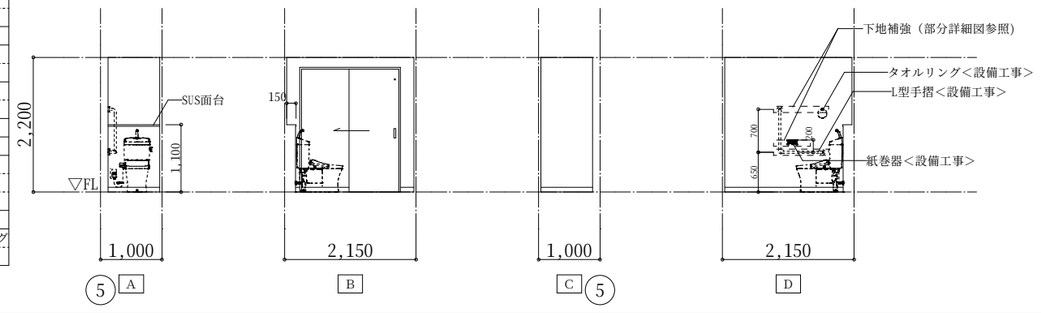
1DK	DK(ダイニングキッチン)
天井	LGS+GB-Rt12.5
	EP塗装
廻縁	塩ビ製
壁	LGS+GB-Rt12.5、GB-Rt12.5(GL)
	LGS+GB-St12.5
	EP塗装
	流し台廻り：化粧ｹｲｶﾙ板t6.0
巾木	ソフト巾木 H=75
床	モルタル金コテ押え
	クッションフロアt3.5
備考	流し台・コンロ台・吊戸棚・
	ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ・1段水切棚・SUS面台
	壁見切、天井点検口



1DK	洋室
天井	LGS+GB-Rt12.5
	EP塗装
廻縁	塩ビ製
壁	LGS+GB-Rt12.5
	GB-Rt12.5(GL)
	EP塗装
巾木	ソフト巾木 H=75
床	モルタル金コテ押え
	クッションフロアt3.5
備考	ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ（ﾀﾞﾌﾞﾙ）正面付、
	天井点検口



1DK	便所
天井	LGS+GB-Rt12.5
	EP塗装
廻縁	塩ビ製
壁	LGS+GB-St12.5
	GB-St12.5(GL)
	EP塗装
巾木	ソフト巾木 H=75
床	コンクリート直押え
	乾式２重床下地
	ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞt20+捨張合板t12
	クッションフロアt3.5
備考	SUS面台
	＜設備工事＞L型手摺・タオルリング
	・紙巻器



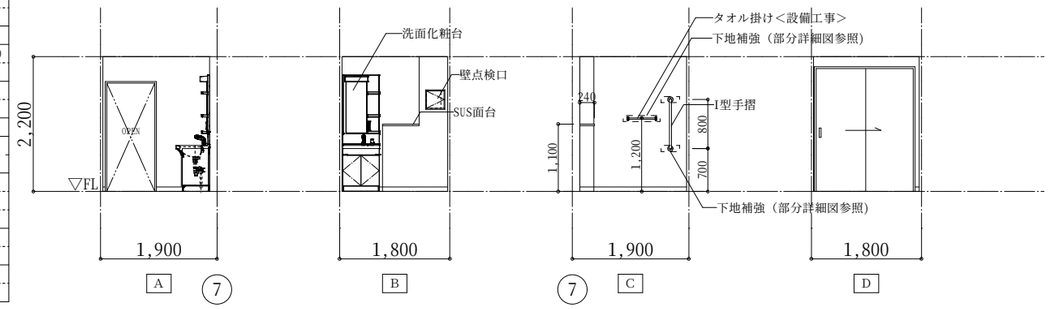
特記事項
・ライニング高さ及び衛生設備、家具等の位置については、現場監督と協議の上決定すること。
・住戸の展開図については、1通りから7通り間の住戸のみ記載している。7通りから11通りは反転したものとする。
・設備工事は本工事に含む。

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/50 A3 S=1/100	A
展開図１		55

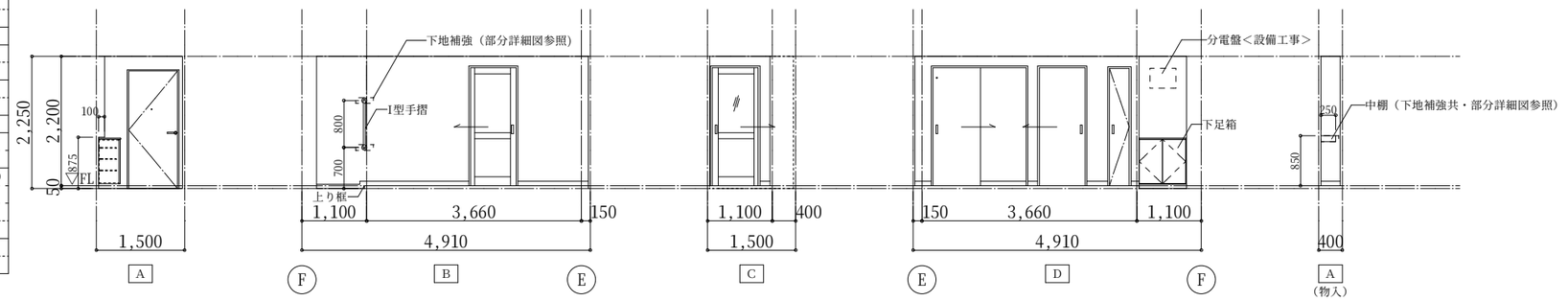
（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号 TEL086-244-0173
１級建築士事務所 岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録 第１１８２３６号 大石雅弘

＜1～3階共通＞

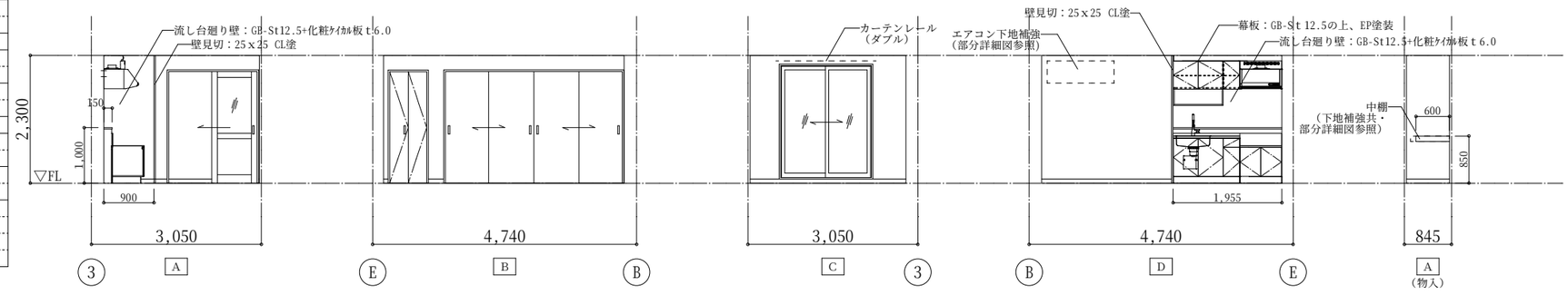
1DK	脱衣室
天井	LGS+GB-Rt12.5
	EP塗装
廻縁	塩ビ製
壁	LGS+GB-St12.5（LGS内ｸﾞﾗｽｳｰﾙｔ50）
	GB-St12.5（GL）
	EP塗装
巾木	ソフト巾木 H=75
床	コンクリート直押え
	乾式２重床下地
	ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞｔ20+捨張合板ｔ12
	クッションフロアｔ3.5
備考	洗面化粧台、I型手摺、SUS面台、
	床下点検口、壁点検口
	＜設備工事＞洗濯機ﾊﾟﾝ[640ﾀｲﾌﾟ]・
	タオル掛け



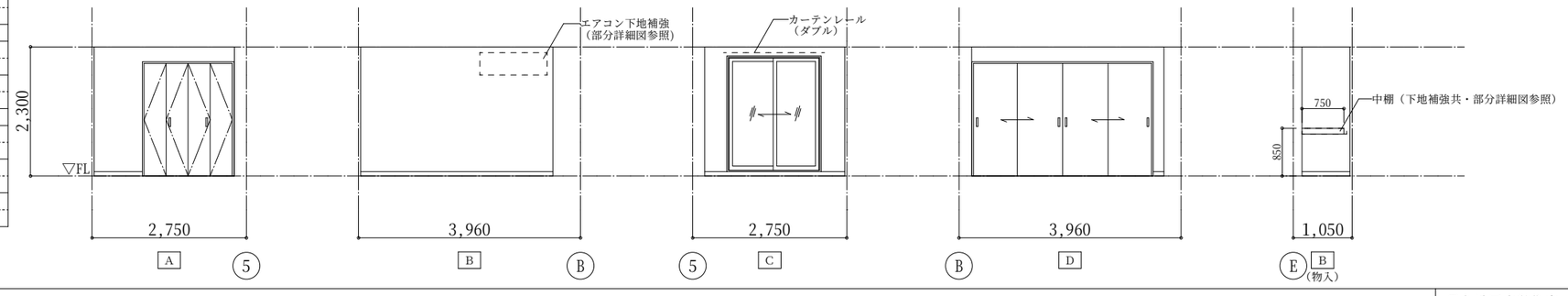
2DK	玄関・通路
天井	LGS+GB-Rt12.5
	EP塗装
廻縁	塩ビ製
壁	LGS+GB-Rt12.5
	EP塗装
巾木	ソフト巾木 H=75
床	増打+モルタル金コテ押え
	モルタル金コテ押え
	複層ビニル床シートｔ2.0（防滑性）
	クッションフロアｔ3.5
備考	下足箱、I型手摺、上り框



2DK	DK(ダイニングキッチン)
天井	LGS+GB-Rt12.5
	EP塗装
廻縁	塩ビ製
壁	LGS+GB-Rt12.5
	LGS+GB-St12.5
	EP塗装
	流し台廻り：化粧ｹｲｶﾙ板ｔ6.0
巾木	ソフト巾木 H=75
床	モルタル金コテ押え
	クッションフロアｔ3.5
備考	流し台・コンロ台・吊戸棚・
	ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ・1段水切棚・SUS面台
	壁見切、天井点検口
	ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ（ﾀﾞﾌﾞﾙ）正面付



2DK	洋室1
天井	LGS+GB-Rt12.5
	EP塗装
廻縁	塩ビ製
壁	LGS+GB-Rt12.5
	EP塗装
巾木	ソフト巾木 H=75
床	モルタル金コテ押え
	クッションフロアｔ3.5
備考	ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ（ﾀﾞﾌﾞﾙ）正面付



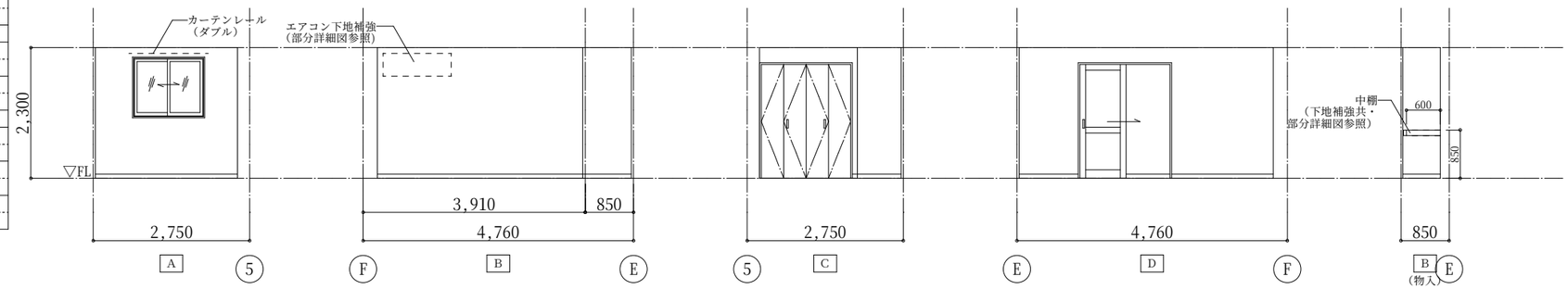
特記事項
・ライニング高さ及び衛生設備、家具等の位置については、現場監督と協議の上決定すること。
・住戸の展開図については、1通りから7通り間の住戸のみ記載している。7通りから11通りは反転したものとする。
・設備工事は本工事に含む。

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/50 A3 S=1/100	A
展開図２		56

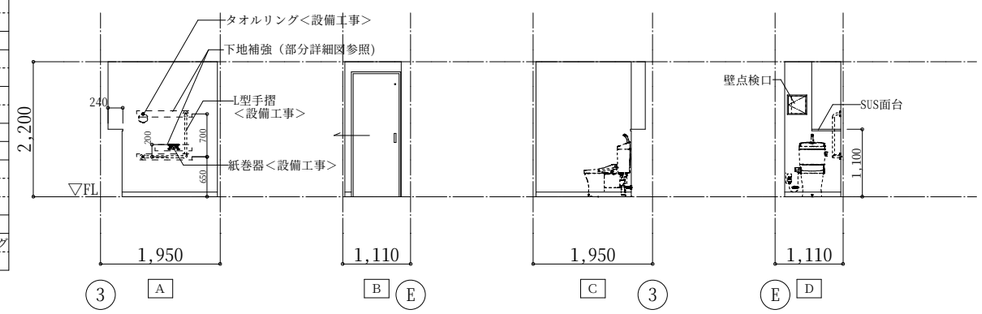
（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号 TEL086-244-0173
１級建築士事務所 岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録 第１１８２３６号 大石雅弘

＜1～3階共通＞

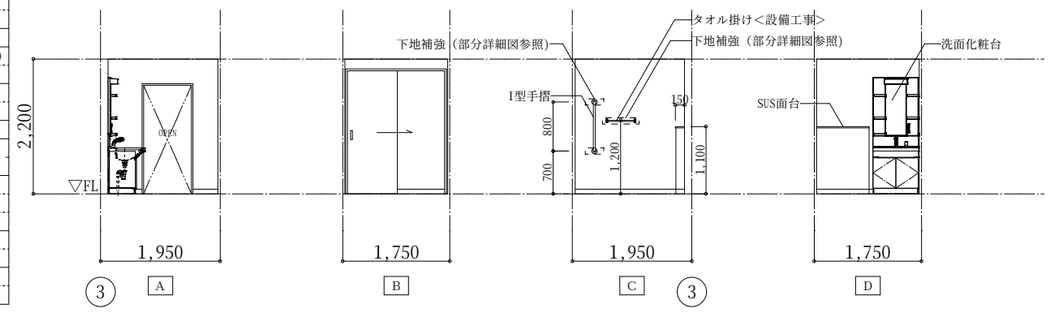
2DK	洋室2
天井	LGS+GB-Rt12.5
	EP塗装
廻縁	塩ビ製
壁	LGS+GB-Rt12.5
	EP塗装
巾木	ソフト巾木 H=75
床	モルタル金コテ押え
	クッションフロアt3.5
備考	ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ（ﾀﾞﾌﾞﾙ）正面付



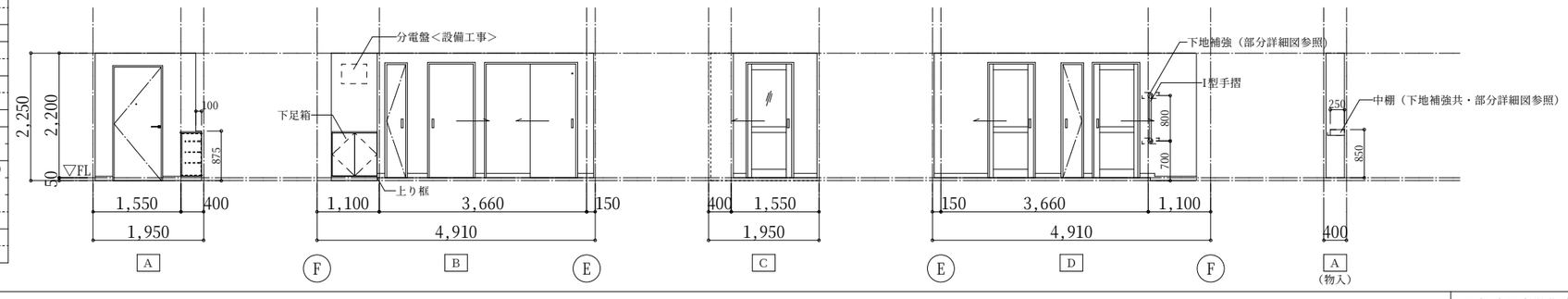
2DK	便所
天井	LGS+GB-Rt12.5
	EP塗装
廻縁	塩ビ製
壁	LGS+GB-St12.5
	GB-St12.5(GL)
	EP塗装
巾木	ソフト巾木 H=75
床	コンクリート直押え
	乾式２重床下地
	ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞt20+捨張合板t12
	クッションフロアt3.5
備考	SUS面台、壁点検口
	＜設備工事＞L型手摺・タオルリング
	・紙巻器



2DK	脱衣室
天井	LGS+GB-Rt12.5
	EP塗装
廻縁	塩ビ製
壁	LGS+GB-St12.5（LGS内ｸﾞﾗｽｳｰﾙt50）
	GB-St12.5（GL）
	EP塗装
巾木	ソフト巾木 H=75
床	コンクリート直押え
	乾式２重床下地
	ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞt20+捨張合板t12
	クッションフロアt3.5
備考	洗面化粧台、I型手摺、SUS面台、
	床下点検口
	＜設備工事＞洗濯機ﾊﾟﾝ[740ﾀｲﾌﾟ]・
	タオル掛け



3DK	玄関・通路
天井	LGS+GB-Rt12.5
	EP塗装
廻縁	塩ビ製
壁	LGS+GB-Rt12.5
	EP塗装
巾木	ソフト巾木 H=75
床	増打+モルタル金コテ押え
	コンクリート直押え
	複層ビニル床シートt2.0（防滑性）
	クッションフロアt3.5
備考	下足箱、I型手摺、上り框



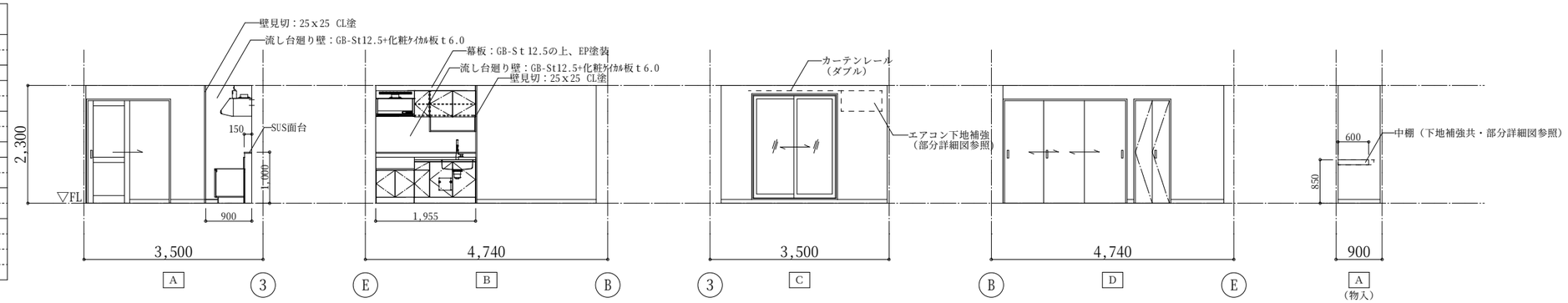
特記事項
・ライニング高さ及び衛生設備、家具等の位置については、現場監督と協議の上決定すること。
・住戸の展開図については、1通りから7通り間の住戸のみ記載している。7通りから11通りは反転したものとする。

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/50 A3 S=1/100	A
展開図３		57

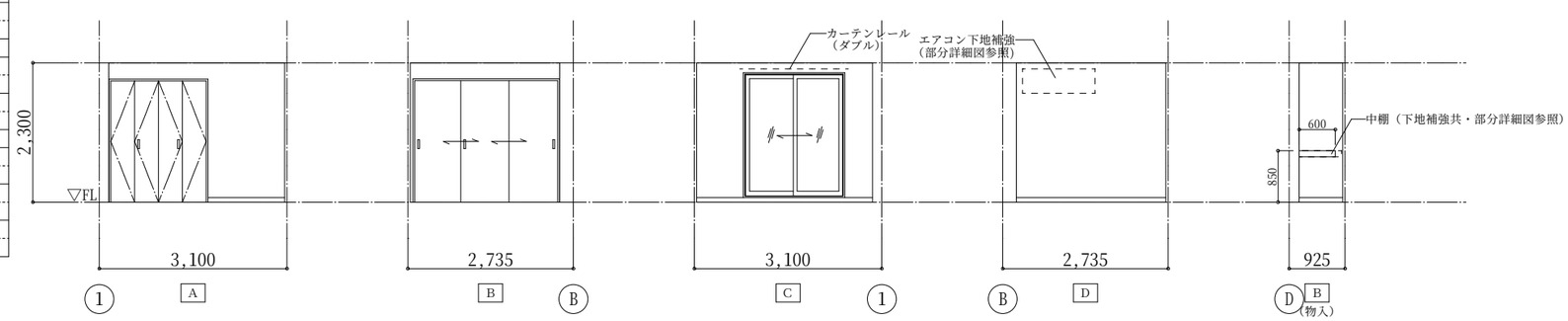
（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号 TEL086-244-0173
１級建築士事務所 岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録 第１１８２３６号 大石雅弘

＜1～3階共通＞

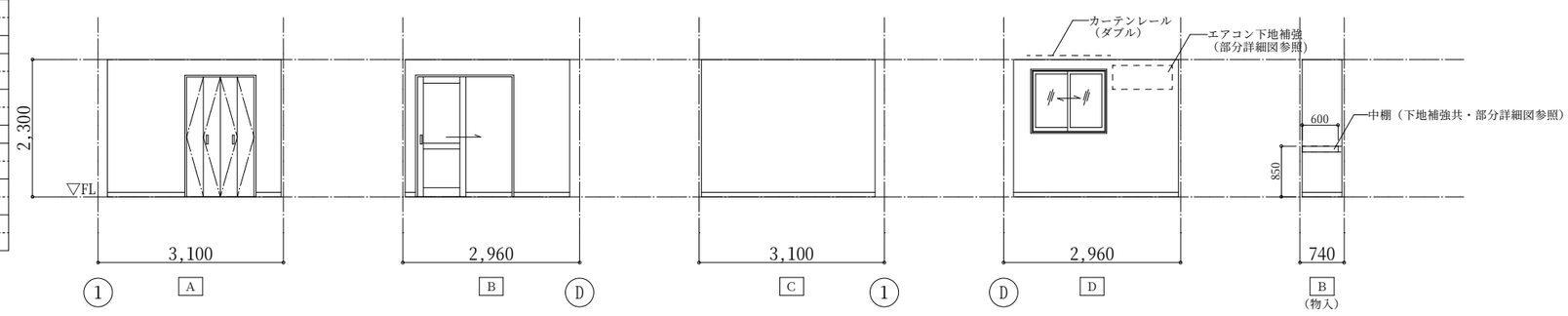
3DK	DK(ダイニングキッチン)
天井	LGS+GB-Rt12.5
	EP塗装
廻縁	塩ビ製
壁	LGS+GB-Rt12.5
	LGS+GB-St12.5
	EP塗装
	流し台廻り：化粧ｹｲｶﾙ板ｔ6.0
巾木	ソフト巾木 H=75
床	モルタル金コテ押え
	クッションフロアｔ3.5
備考	流し台・コンロ台・吊戸棚・
	ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ・1段水切棚・SUS面台
	壁見切、天井点検口
	ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ（ﾀﾞﾌﾞﾙ）正面付



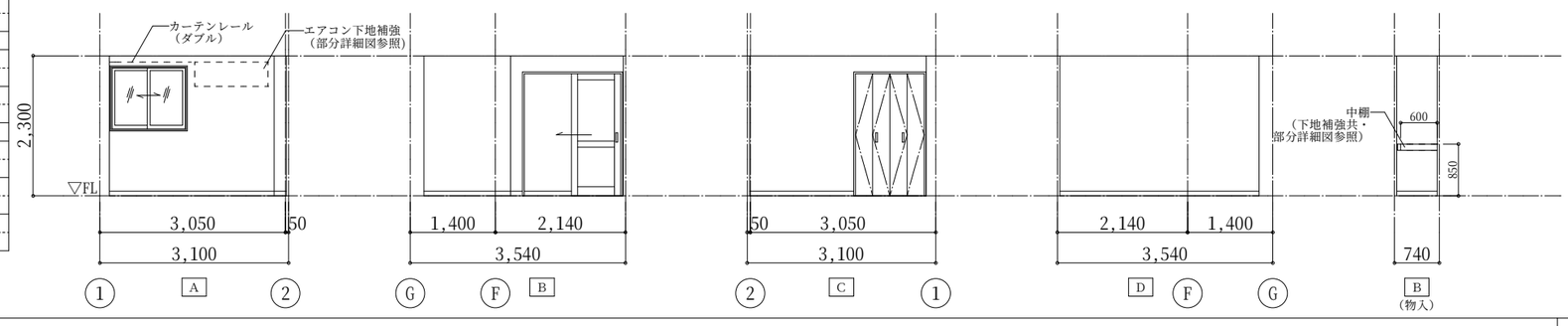
3DK	洋室1
天井	LGS+GB-Rt12.5
	EP塗装
廻縁	塩ビ製
壁	LGS+GB-Rt12.5
	GB-Rｔ12.5(GL)
	EP塗装
巾木	ソフト巾木 H=75
床	モルタル金コテ押え
	クッションフロアｔ3.5
備考	ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ（ﾀﾞﾌﾞﾙ）正面付



3DK	洋室2
天井	LGS+GB-Rt12.5
	EP塗装
廻縁	塩ビ製
壁	LGS+GB-Rt12.5
	GB-Rｔ12.5(GL)
	EP塗装
巾木	ソフト巾木 H=75
床	モルタル金コテ押え
	クッションフロアｔ3.5
備考	ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ（ﾀﾞﾌﾞﾙ）天井付



3DK	洋室3
天井	LGS+GB-Rt12.5
	EP塗装
廻縁	塩ビ製
壁	LGS+GB-Rt12.5
	GB-Rｔ12.5(GL)
	EP塗装
巾木	ソフト巾木 H=75
床	モルタル金コテ押え
	クッションフロアｔ3.5
備考	ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ（ﾀﾞﾌﾞﾙ）正面付



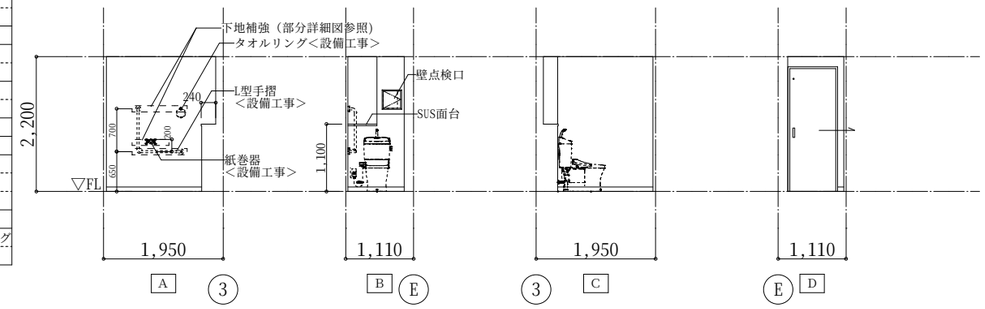
特記事項
・ライニング高さ及び衛生設備、家具等の位置については、現場監督と協議の上決定すること。
・住戸の展開図については、1通りから7通り間の住戸のみ記載している。7通りから11通りは反転したものとする。
・設備工事は本工事に含む。

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/50 A3 S=1/100	A
展開図４		58

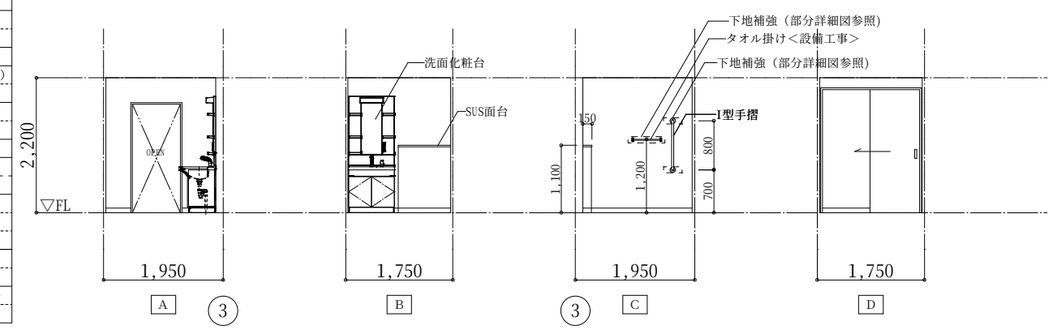
（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号 TEL086-244-0173
１級建築士事務所 岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録 第１１８２３６号 大石雅弘

＜1～3階共通＞

3DK	便所
天井	LGS+GB-Rt12.5
	EP塗装
廻縁	塩ビ製
壁	LGS+GB-St12.5
	GB-St12.5(GL)
	EP塗装
巾木	ソフト巾木 H=75
床	コンクリート直押え
	乾式２重床下地
	ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ t 20+捨張合板 t 12
	クッションフロア t 3.5
備考	SUS面台、壁点検口
	＜設備工事＞L型手摺・タオルリング・紙巻器



3DK	脱衣室
天井	LGS+GB-Rt12.5
	EP塗装
廻縁	塩ビ製
壁	LGS+GB-St12.5（LGS内ｸﾞﾗｽｳｰﾙ t 50）
	GB-St12.5（GL）
	EP塗装
巾木	ソフト巾木 H=75
床	コンクリート直押え
	乾式２重床下地
	ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ t 20+捨張合板 t 12
	クッションフロア t 3.5
備考	洗面化粧台、I型手摺、SUS面台、床下点検口
	＜設備工事＞洗濯機ﾊﾟﾝ[740ﾀｲﾌﾟ]・タオル掛け



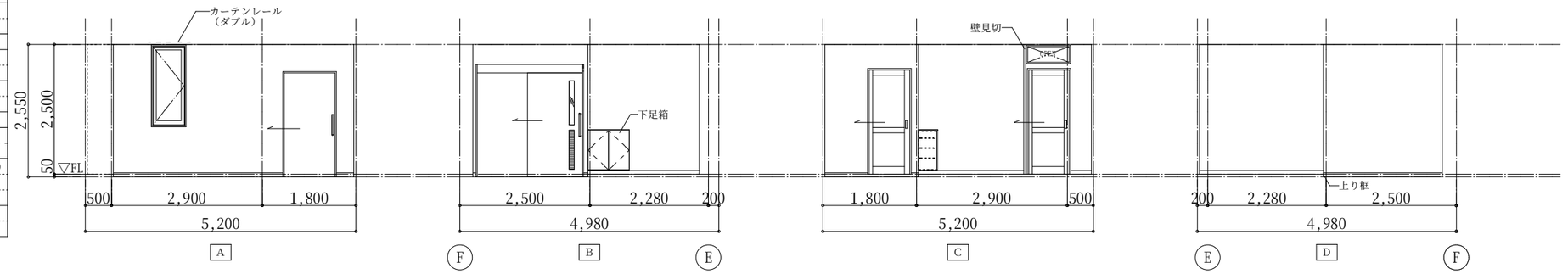
特記事項
・ライニング高さ及び衛生設備、家具等の位置については、現場監督と協議の上決定すること。
・住戸の展開図については、1通りから7通り間の住戸のみ記載している。7通りから11通りは反転したものとする。
・設備工事は本工事に含む。

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/50 A3 S=1/100	A
展開図５		59

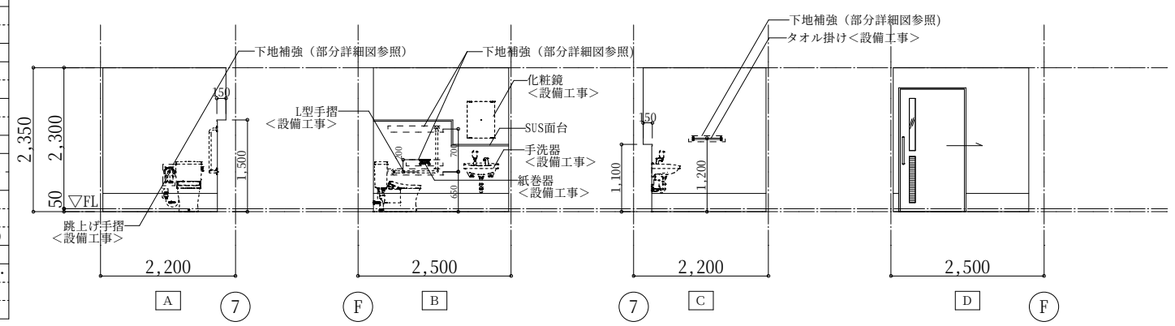
（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

＜4階＞

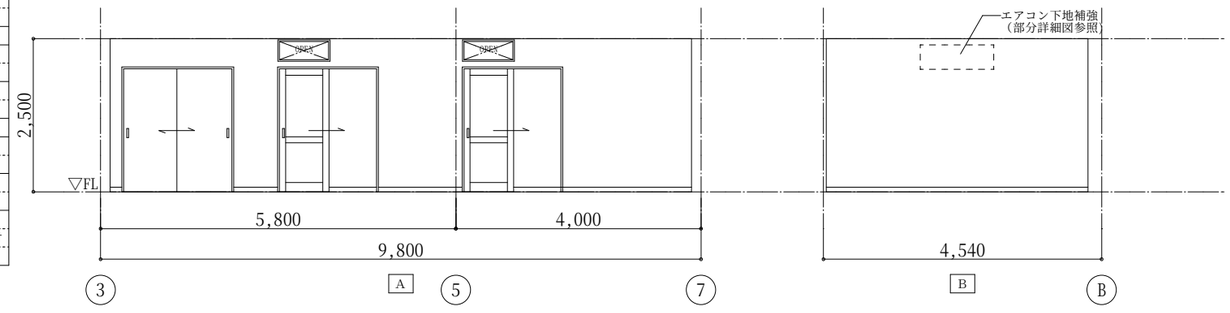
集会所	玄関ホール
天井	LGS+GB-Rt12.5
	EP塗装
廻縁	塩ビ製
壁	LGS65+GB-Rt12.5
	GB-Rt12.5（GL）
	EP塗装
巾木	ソフト巾木 H=75
床	増打+モルタル金コテ押え
	モルタル金コテ押え
	複層ビニル床シートt2.0（防滑性）
	クッションフロアt4.5
備考	下足箱、上り框、壁見切
	ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ（ﾀﾞﾌﾞﾙ）天井付

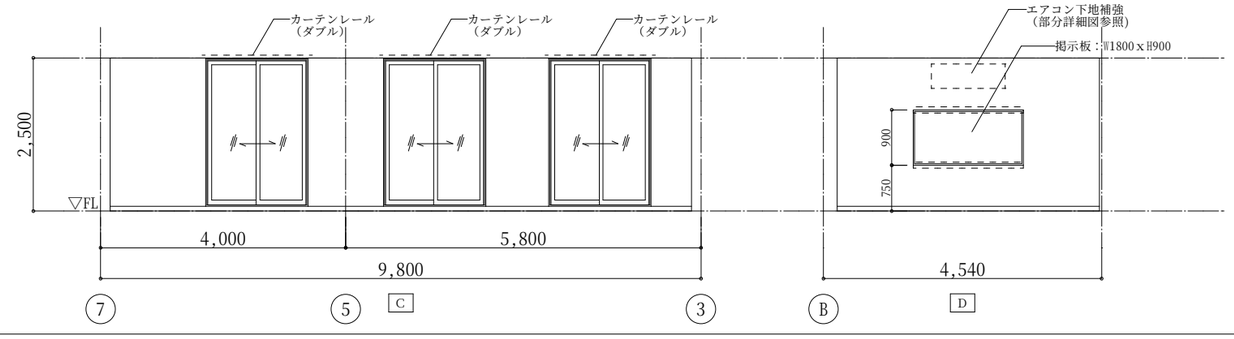


集会所	車椅子便所
天井	LGS+GB-Rt12.5
	EP塗装
廻縁	塩ビ製
壁	LGS+GB-St12.5
	GB-St12.5（GL）
	EP塗装
巾木	ソフト巾木 H=300
床	コンクリート直押え
	乾式２重床下地
	ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞt20+捨張合板t12
	複層ビニル床シートt2.0（防滑性）
備考	SUS面台
	＜設備工事＞L型手摺・跳上げ手摺・
	手洗器・化粧鏡・タオル掛け・
	紙巻器



集会所	集会室
天井	LGS+GB-Rt12.5
	EP塗装
廻縁	塩ビ製
壁	LGS+GB-Rt12.5
	GB-Rt12.5(GL)
	EP塗装
巾木	ソフト巾木 H=75
床	モルタル金コテ押え
	クッションフロアt4.5
備考	掲示板：W1800xH900
	天井点検口、ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ(ﾀﾞﾌﾞﾙ)天井付





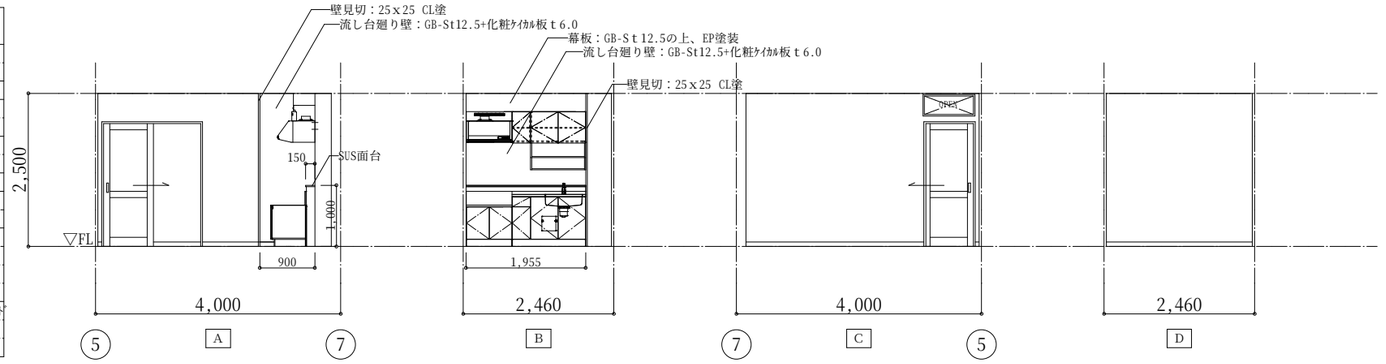
特記事項
・ライニング高さ及び衛生設備、家具等の位置については、現場監督と協議の上決定すること。
・住戸の展開図については、1通りから7通り間の住戸のみ記載している。7通りから11通りは反転したものとする。
・設備工事は本工事に含む。

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/50 A3 S=1/100	A
展開図６		60

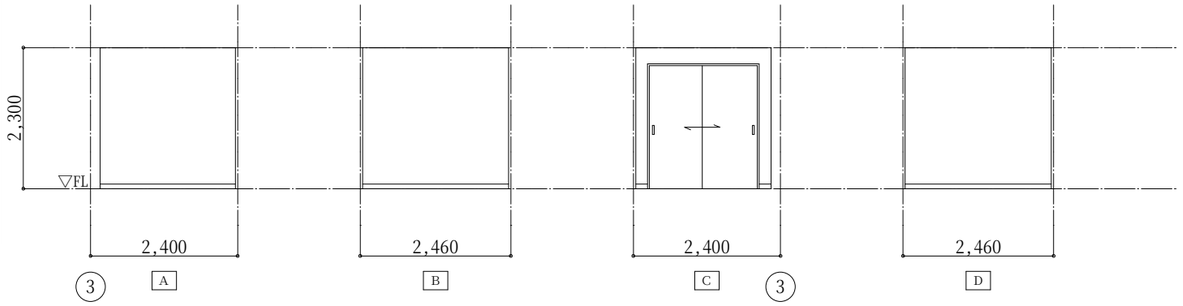
（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

＜4階＞

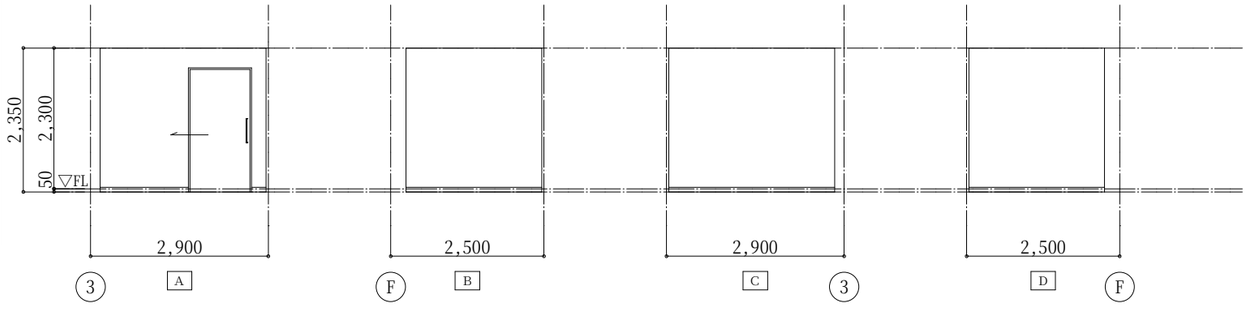
集会所	湯沸室
天井	LGS+GB-Rt12.5
	EP塗装
廻縁	塩ビ製
壁	LGS+GB-Rｔ12.5、GB-Rｔ12.5(GL)
	LGS+GB-Sｔ12.5
	EP塗装
	流し台廻り：化粧ｹｲｶﾙ板ｔ6.0
巾木	ソフト巾木 H=75
床	モルタル金コテ押え
	コンクリート直押え
	クッションフロアｔ4.5
	乾式２重床下地
	ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞｔ20+捨張合板ｔ12
	クッションフロアｔ4.5
備考	流し台・コンロ台・吊戸棚・ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ
	2段水切棚・SUS面台、消火器
	壁見切、床下点検口、天井点検口



集会所	物入
天井	LGS+GB-Rt12.5
	EP塗装
廻縁	塩ビ製
壁	LGS+GB-Rt12.5
	GB-Rｔ12.5(GL)
	EP塗装
巾木	ソフト巾木 H=75
床	モルタル金コテ押え
	クッションフロアｔ4.5
備考	



集会所	備蓄倉庫
天井	LGS+GB-Rt12.5
	EP塗装
廻縁	塩ビ製
壁	LGS+GB-Rt12.5
	GB-Rｔ12.5(GL)
	EP塗装
巾木	ソフト巾木 H=75
床	モルタル金コテ押え
	複層ビニル床シートｔ2.0（防滑性）
備考	



特記事項
・ライニング高さ及び衛生設備、家具等の位置については、現場監督と協議の上決定すること。
・住戸の展開図については、1通りから7通り間の住戸のみ記載している。7通りから11通りは反転したものとする。
・設備工事は本工事に含む。

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/50 A3 S=1/100	A
展開図７		61

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号 TEL086-244-0173
１級建築士事務所 岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録 第１１８２３６号 大石雅弘

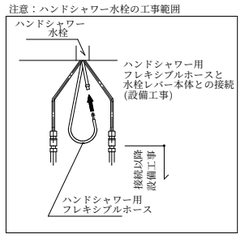
洗面化粧台　仕様・詳細図

品名	仕様	F☆☆☆☆　仕様
下台	寸法	2DK,3DK：W７５０xD６００xH７７０（mm）　x12台 1DK：W６００xD５５０xH７７０（mm）　x 6台
	天板／ボール	硬質ホーロー
	水栓種類	Ｋ３７６１０ＥＪ－２ＴＴＫＮ［節湯 C1 機能付］
	扉	化粧ボード扉<ＴＳ２２色>
	丁番	スライド丁番（標準品）
	本体	化粧合板、化粧ボード
	巾木	化粧ボード
ミラー	寸法	2DK,3DK：W７５０xD１５９xH１１３０（mm）x12台 1DK：W６００xD１５９xH１１３０（mm）　x 6台
	照明器具	ＬＥＤ電球（5W）
	コンセント	消費電力１３００Wまで
	本体	合成樹脂製
	ミラー	防湿塗装鏡　くもり止めコーティング
	歯ブラシ立て	歯ブラシ立て付
シーリング	シーリング	（建築工事）
止　水　栓	止水栓	（設備工事）
仕様確認項目	ボウル種類ー色	未定
	扉の色	ホワイト
	引手	SUS引手（ヨコ使い）
	本体の色	ホワイト　TW色
	巾木の色	ホワイト　TW色

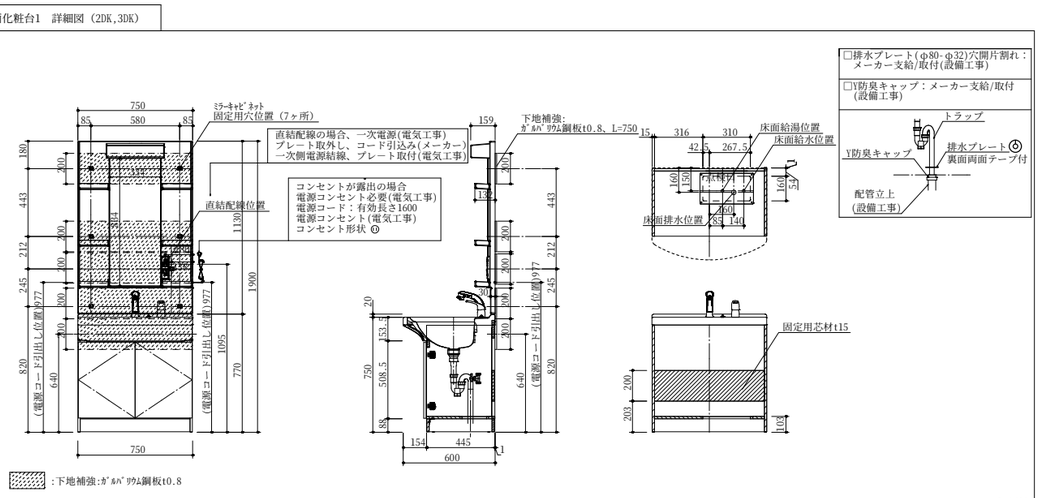
設備工事	給水・給湯の配管工事及び水栓金具との接続工事
	排水トラップ・Y防臭キャップ・排水プレートの取付・接続工事
	止水栓の取付・接続工事
	底板点検口への排水管・止水栓用の穴明け、配管後の点検口取付
電気工事	ミラー付キャビネット(コンセント/スイッチ)への1次電源接続工事
	、配線後のスイッチプレート取付工事(プレート外しとコード引き込みはメーカー)
建築工事	キャビネットの取付用下地
	建築との取り合い工事
	コーキング工事（リネン庫が隣接する場合は隣接箇所も含む）
	商品の設置壁裏面（隠蔽部）に配管・配線が有る場合は商品固定ビスとの
	干渉の恐れがあるため施工時にビス固定禁止箇所のご指示をお願い致します。
メーカー工事	メーカー商品へのコード引き込み

【特記事項】
1.水栓は節湯 C1 機能付を必須とする。

注意：ハンドシャワー水栓の工事範囲

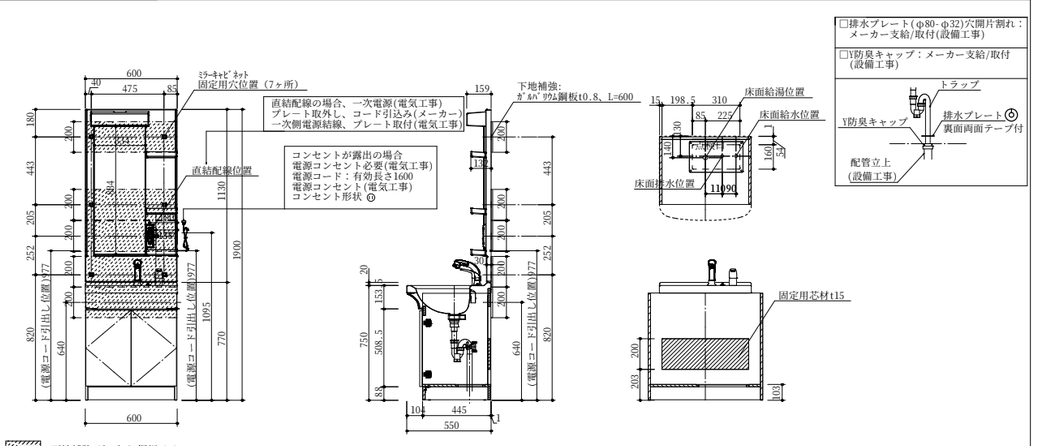


洗面化粧台1　詳細図（2DK,3DK）



S=1/20

洗面化粧台2　詳細図（1DK）



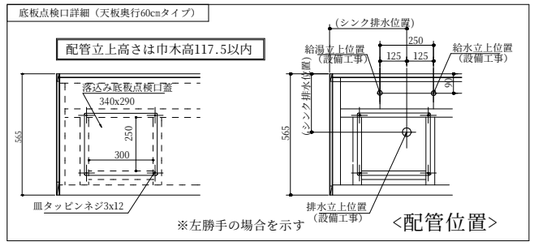
S=1/20

キッチン　仕様・詳細図

品名	仕様	F☆☆☆☆　仕様
ワークトップ	天板材質	SUS430 2B仕上げ
	シンク種類	Sｼﾝｸ
下台	扉	特殊化粧シート扉左右　３Ｒ
	丁番	スライド丁番（標準品）
	本体	化粧合板、化粧ボード
	巾木	化粧シート巻材
	底板面材	化粧MDF
	包丁差し	DXN包丁差し
	引出	1段（木製引出スレ桟仕様）
	側面板	SUS430
吊戸棚	扉	特殊化粧シート扉左右　３Ｒ　扉下がり１０mm
	丁番	スライド丁番（標準品）
	本体	化粧合板、化粧ボード
	部品	棚板
	ラッチ種類	Hﾗｯﾁ
幕板	下がり壁	（建築工事）
加熱器具	加熱器具	（別途）
水栓	水栓種類（住居用）	KM6071ECB3 [節湯 A1,節湯 C1 機能付] AC100Vコンセント必要(電気工事) ※水受けタンク付
	水栓種類（集会所用）	KXS871J-1-T
水切棚	水切棚（住居用）	WS-90NJ
	水切棚（集会所用）	WW-90NJ
シーリング	シーリング	（建築工事）
レンジフード	機種	VU-753
	風量	標準ﾀｲﾌﾟ［100V 強:97W・565(m3/H),弱:57W・300(m3/H)］
	排気仕様	排気風圧
	プラグ形状	2極接地型
仕様確認項目	扉の色	未定
	本体の色	ホワイト　TW色
	本体の前木口色	※見え掛かり部本体同色
	巾木の色	ダークブラウン（Ｎｏ．５３色）
	引手	未定
	フード前面パネルの色	未定

設備工事	給水・給湯の配管工事及び水栓金具との接続工事(止水栓別途)
	排水配管及び排水トラップとの接続工事
	メーカー支給の塩ビ排水蓋取付工事
	点検作業後のキッチンキャビネット点検口蓋取付（復旧）工事
	ダクト工事及びレンジフード接続工事（最終エルボはフード施工後に取り付けて下さい）
	最終まで固定されますとアタッチメントが取付けできません
建築工事	壁仕上げ工事
	コーキング工事
	幕板工事
	吊戸棚・レンジフード取付用下地の造作取付工事
	建築との取り合い工事
	商品の設置壁裏面（隠蔽部）に配管・配線が有る場合は商品固定ビスとの
	干渉の恐れがあるため施工時にビス固定禁止箇所のご指示をお願い致します。
電気工事	レンジフード用電源及びコンセント取付工事
	棚下灯用電源（ＶＶＦ線含む）及び棚下灯取付工事
	タッチレス水栓用電源及びコンセント取付工事（※住居用のみ）

底板点検口詳細（天板奥行60cmタイプ）

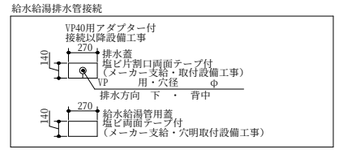


【特記事項】
1.住居用の水栓は節湯 A1,節湯 C1 機能付を必須とする。

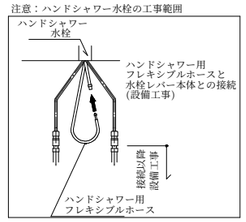
コンセント（電気工事）

レンジフード	⓪ 2極接地型コンセント
タッチレス水栓	ⓒ 平行２極コンセント

給水給湯排水管接続

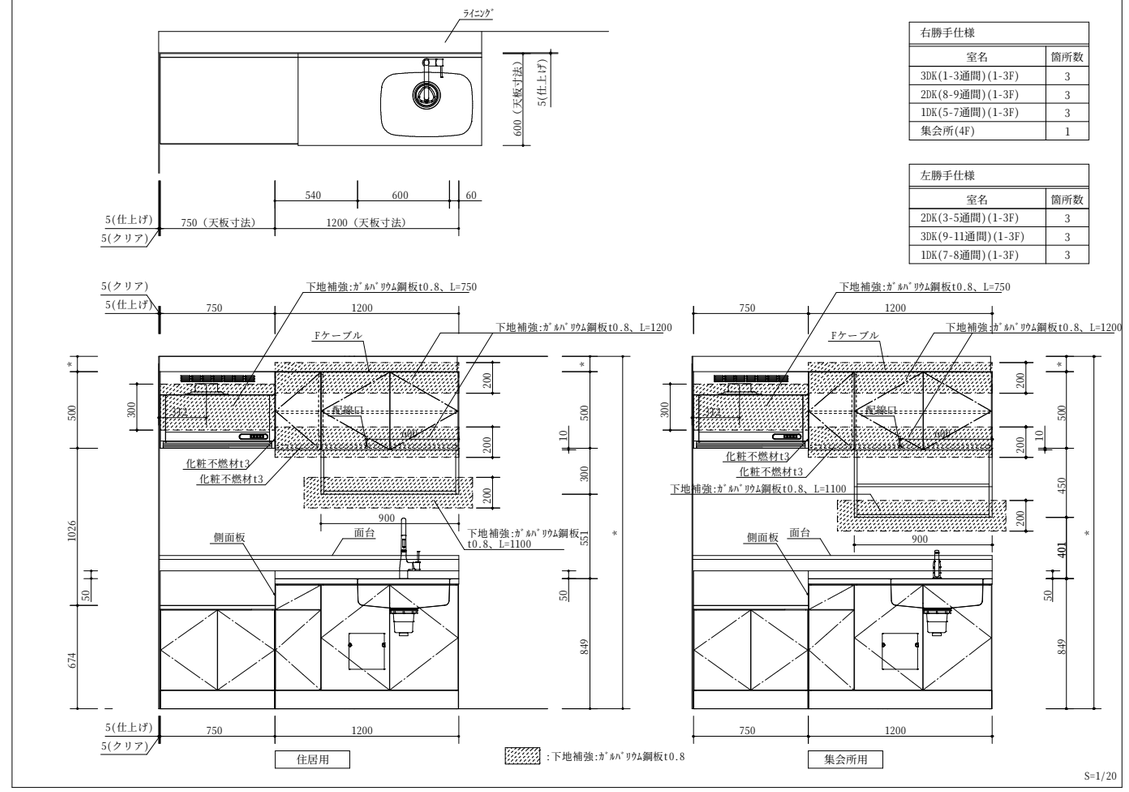


注意：ハンドシャワー水栓の工事範囲



キッチン　詳細図（右勝手仕様）

※左勝手仕様は反転したものとする



右勝手仕様	
室名	箇所数
3DK(1-3通間)(1-3F)	3
2DK(8-9通間)(1-3F)	3
1DK(5-7通間)(1-3F)	3
集会所(4F)	1

左勝手仕様	
室名	箇所数
2DK(3-5通間)(1-3F)	3
3DK(9-11通間)(1-3F)	3
1DK(7-8通間)(1-3F)	3

S=1/20

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/20 A3 S=1/40		A
水まわり設備詳細図1			62

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

システムバス１　仕様・詳細図

本体仕様表

浴室サイズ	1216 サイズ(室内容量3.8 立方ﾒｰﾄﾙ)
ﾄﾞｱ勝手	BL/BR 勝手
架台	ﾎﾞﾙﾄ脚架台(低床タイプ)：亜鉛メッキ鋼板
洗場パン	ガラス繊維強化樹脂（FRP）
浴槽材質	ガラス繊維強化樹脂（FRP） 裏面保温材（発泡ウレタン）
浴槽形状	セミスクエア浴槽 (12 浴槽・265 リットル) 追い焚き穴:なし
浴槽パン	—
浴槽エプロン	ABS樹脂
カウンター	中間棚：AS 樹脂
浴室パネル	パネル高さFタイプ 鋼板硬質ホーロー 裏面保温材 タオル掛け穴:なし
天井	化粧ｻﾝﾄﾞｲｯﾁﾊﾟﾈﾙ (内部発泡樹脂) 換気機器開口 あり 天井照明開口 なし
ドア	ｷｰﾌﾟｸﾘｰﾝﾄﾞｱ:18 高さ折戸(ｱﾙﾐ 枠/ 樹脂ｶﾞﾗｽ/ 上部換気口)
窓１	—
窓２	—
窓枠１	—
窓枠２	—
排水トラップ	ASA樹脂 封水50㎜
雑排水配管	硬質塩ビパイプ VP50
製品重量	215kg

アクセサリー仕様表

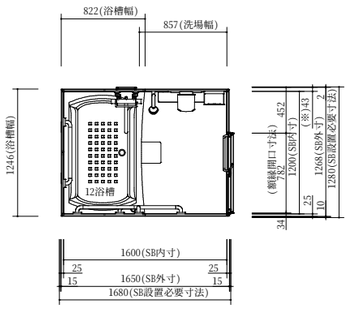
ミラー	ショートミラー（フック固定）
収納棚	スクエアタイプ：ABS 樹脂製 (2 段)
タオル掛け	—
洗場側水栓	—
浴槽側水栓	—
兼用水栓	ｻｰﾓｽﾀｯﾄ (TBV03415SC-1EN)(樹脂ﾎｰｽ: ｼﾙﾊﾞｰ) [節湯 A1,節湯 B1 機能付]
ﾌｯｸ/ｽﾗｲﾄﾞﾊﾞｰ	シャワーフック（ｼｬﾜｰﾌｯｸ T0 ）
照明	照明Ⅱ (LED 8W 電球色)
換気機器	2室換気対応型天井換気扇(100V ・最大消費電力15.5W)(ﾀﾞｸﾄ径φ 98) ホワイト
フロフタ	シャッター式 フロフタ（PP）
給水給湯管	銅管(10A)
循環金具	—
ハンドバー①	—
ハンドバー②	—
ハンドバー③	樹脂製 L型600 × 600 タイプ 色未定
ハンドバー④	樹脂製 Ⅰ型600 タイプ 色未定
ハンドバー⑤	—
ハンドバー⑥	樹脂製 Ⅰ型600 タイプ 色未定
ハンドバー⑦	—

【特記事項】
1.水栓は節湯 A1,節湯 B1 機能付を必須とする。

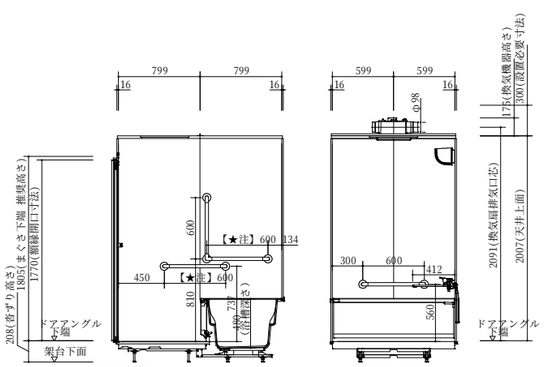
システムバス1　詳細図（BL勝手仕様）　※BR勝手仕様は反転したものとする

BL勝手仕様	
室名	箇所数
3DK(1-3通間)(1-3F)	3
2DK(8-9通間)(1-3F)	3

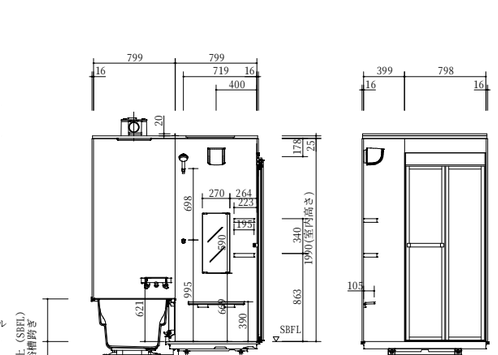
BR勝手仕様	
室名	箇所数
2DK(3-5通間)(1-3F)	3
3DK(9-11通間)(1-3F)	3



＜平面図＞



＜カウンター対面図＞　＜浴槽側面図＞



＜カウンター面図＞　＜洗場側面図＞

S=1/30

システムバス２　仕様・詳細図

本体仕様表

浴室サイズ	1216 サイズ(室内容量3.8立方ﾒｰﾄﾙ)
ﾄﾞｱ勝手	AL/AR 勝手
架台	ﾎﾞﾙﾄ脚架台(低床タイプ) :亜鉛メッキ鋼板
洗場パン	ガラス繊維強化樹脂（ FRP）
浴槽材質	ガラス繊維強化樹脂（ FRP）裏面保温材 発泡ウレタン）
浴槽形状	セミスクエア浴槽 (12 浴槽・265リットル) 追い焚き穴:なし
浴槽パン	—
浴槽エプロン	ABS 樹脂
カウンター	中間棚：AS 樹脂
浴室パネル	パネル高さFタイプ 鋼板硬質ホーロー 裏面保温材 タオル掛け穴:なし
天井	化粧ｻﾝﾄﾞｲｯﾁﾊﾟﾈﾙ (内部発泡樹脂) 換気機器開口 あり 天井照明開口 なし
ドア	ｷｰﾌﾟｸﾘｰﾝﾄﾞｱ:18高さ 折戸(ｱﾙﾐ 枠/ 樹脂ｶﾞﾗｽ/ 上部換気口)
窓１	—
窓２	—
窓枠１	—
窓枠２	—
排水トラップ	ASA 樹脂・封水50㎜
雑排水配管	硬質塩ビパイプ VP50
製品重量	215kg

アクセサリー仕様表

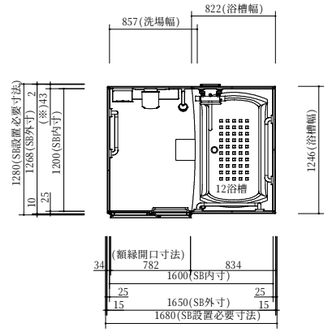
ミラー	ショートミラー（フック固定）
収納棚	スクエアタイプ：ABS 樹脂製 (2 段)
タオル掛け	—
洗場側水栓	—
浴槽側水栓	—
兼用水栓	ｻｰﾓｽﾀｯﾄ (TBV03415SC-1EN)(樹脂ﾎｰｽ ：ｼﾙﾊﾞｰ) [節湯 A1,節湯 B1 機能付]
ﾌｯｸ/ｽﾗｲﾄﾞﾊﾞｰ	シャワーフック（ｼｬﾜｰﾌｯｸ T0 ）
照明	照明Ⅱ (LED 8W 電球色)
換気機器	2室換気対応型天井換気扇(100V ・最大消費電力15.5W)(ﾀﾞｸﾄ径φ 98) ホワイト
フロフタ	シャッター式 フロフタ（PP）
給水給湯管	銅管(10A)
循環金具	—
ハンドバー①	—
ハンドバー②	—
ハンドバー③	樹脂製 L型600 × 600 タイプ 色未定
ハンドバー④	樹脂製 Ⅰ型600 タイプ 色未定
ハンドバー⑤	—
ハンドバー⑥	樹脂製 L型600 × 400 タイプ 色未定
ハンドバー⑦	—

【特記事項】
1.水栓は節湯 A1,節湯 B1 機能付を必須とする。

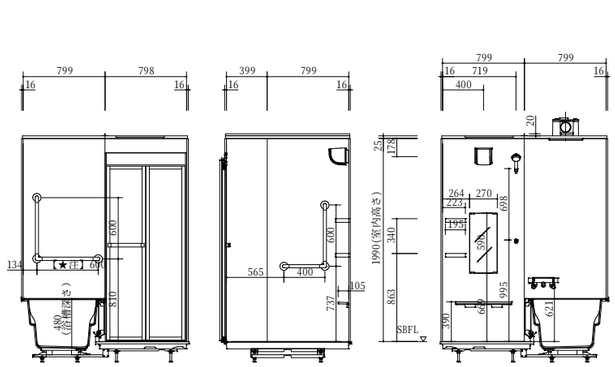
システムバス2　詳細図（AL勝手仕様）　※AR勝手仕様は反転したものとする

AL勝手仕様	
室名	箇所数
1DK(5-7通間)(1-3F)	3

AR勝手仕様	
室名	箇所数
1DK(7-8通間)(1-3F)	3



＜平面図＞



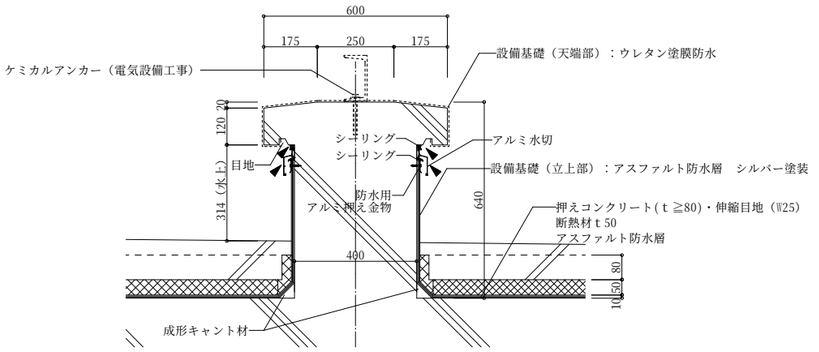
＜カウンター対面図＞　＜洗場側面図＞　＜カウンター面図＞　＜浴槽側面図＞

S=1/30

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/30 A3 S=1/60		A
水まわり設備詳細図2			63

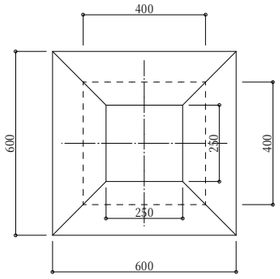
（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

太陽光発電 設備基礎 詳細図　S=1/50・1/10



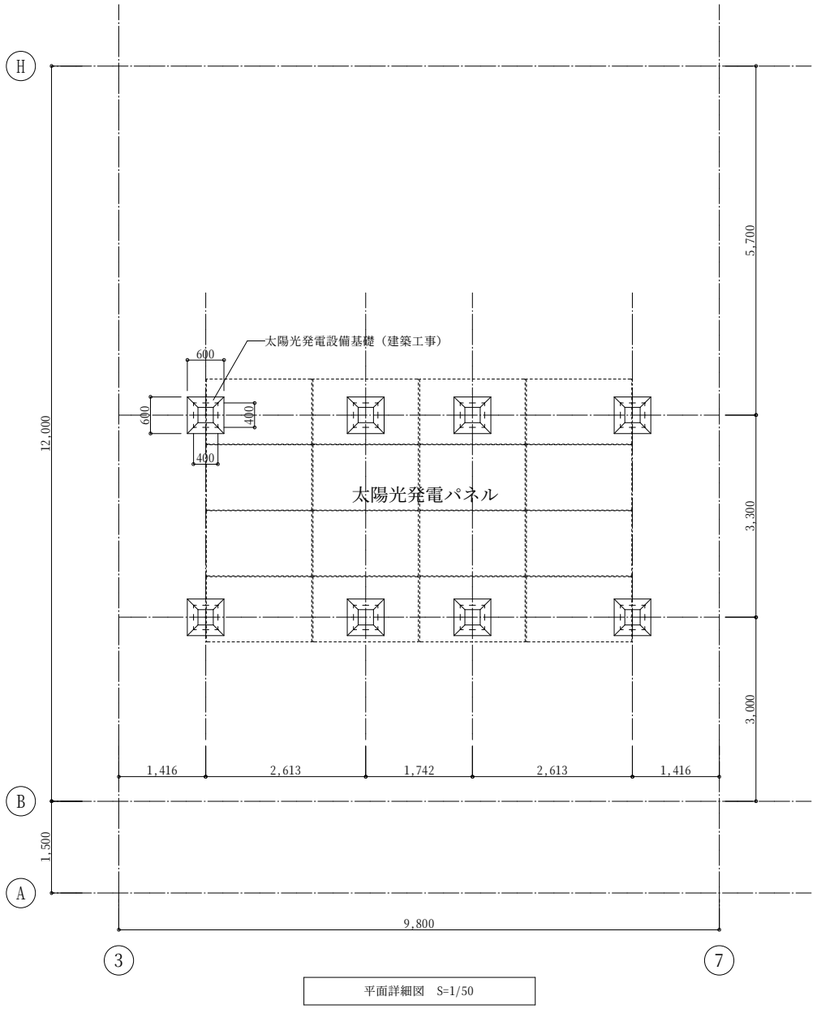
断面図

※設備基礎の配筋は構造図による



平面図

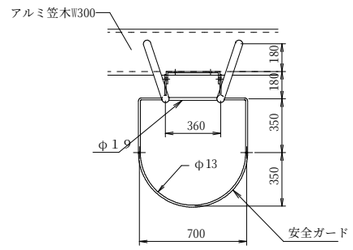
＜電気工事と防水工事取り合い手順＞
1. 基礎設置
2. ケミカルアンカー（電気設備工事）
3. ウレタン塗膜防水（X-2）
   ケミカルアンカー部ウレタン防水塗上げ
4. 太陽光発電設備架台設置
   ボルト締め付け



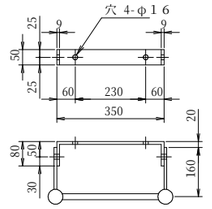
平面詳細図　S=1/50

▲：変成シリコーン系シーリングを示す

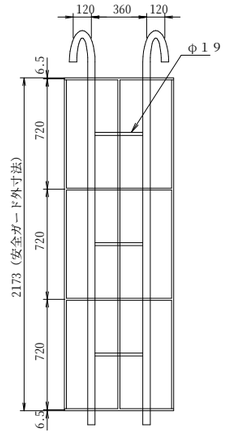
塔屋タラップ 詳細図　S=1/20・1/10



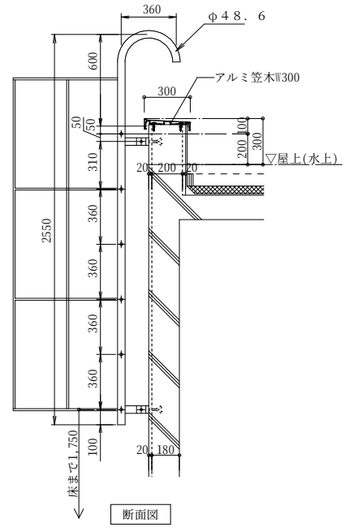
平面図



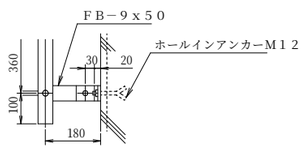
後付け用金具（１：１０）



姿図



断面図

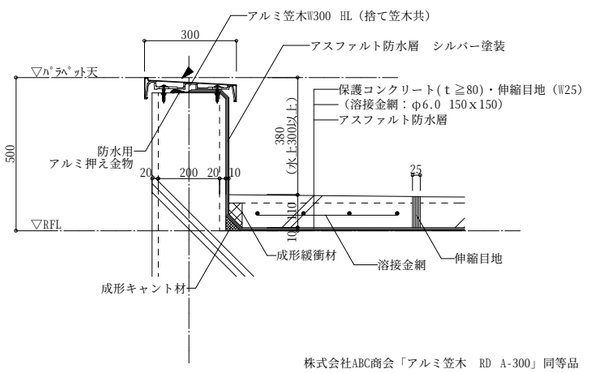


アンカー詳細部（１：１０）

特記なき限り材質はステンレスとする。

株式会社ナスタ「ガード付塔屋タラップ　KS-RTRG347S」同等品

パラペット立上り（J通り）　詳細図　S=1/10

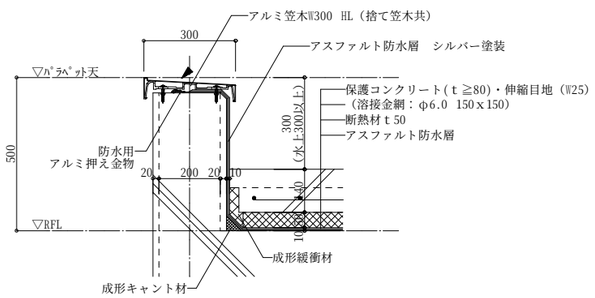


株式会社ABC商会「アルミ笠木　RD　A-300」同等品

▲：変成シリコーン系シーリングを示す

J

パラペット立上り（3・7通り-B～F通り間）　詳細図　S=1/10



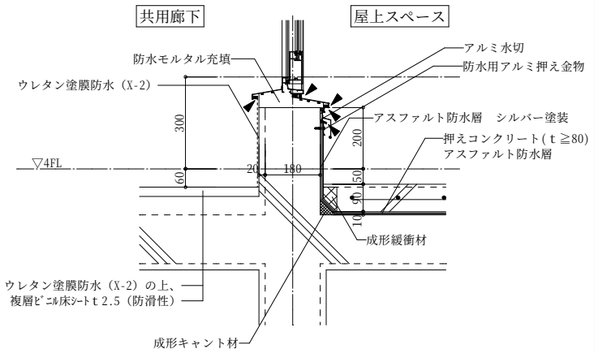
株式会社ABC商会「アルミ笠木　RD　A-300」同等品

▲：変成シリコーン系シーリングを示す

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=図示 A3 S=図示		A
部分詳細図1			64

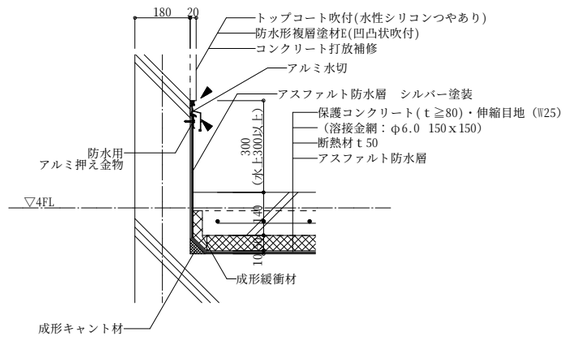
（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

立上り（3・7通り-F～H通り間） 詳細図 S=1/10



▲：変成シリコーン系シーリングを示す

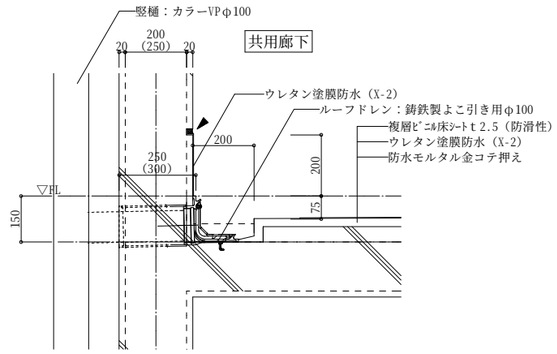
壁立上り（3・7通り） 詳細図 S=1/10



▲：変成シリコーン系シーリングを示す

ルーフドレン（共用廊下） 詳細図 ＜1階　2・4・8・10通り、2～3階　2・10通り＞ S=1/10

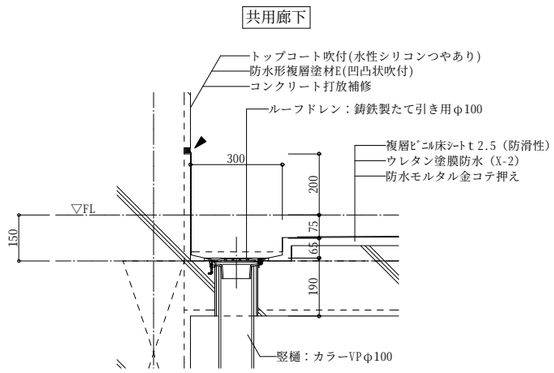
※（ ）内寸法は、2・10通りを示す
※L250は2箇所、L300は6箇所



カネソウ株式会社「鋳鉄製ルーフドレン　よこ引き用　打込型　ねじ込み式
塗膜・モルタル防水用　EXG-L-100」同等品

▲：変成シリコーン系シーリングを示す

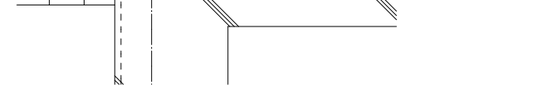
ルーフドレン（共用廊下） 詳細図 ＜2～3階　4・8通り、4階　4通り　計5箇所＞ S=1/10



カネソウ株式会社「鋳鉄製ルーフドレン　たて引き用　打込型　差し込み式
塗膜・モルタル防水用　EMF-1-100」同等品

▲：変成シリコーン系シーリングを示す

ルーフドレン（ベランダ） 詳細図 ＜1階　1・3・7・9・11通り　計5箇所＞ S=1/10

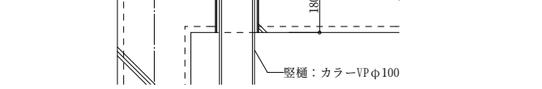


カネソウ株式会社「鋳鉄製ルーフドレン　よこ引き用　打込型　ねじ込み式
塗膜・モルタル防水用　EXG-L-100」同等品

▲：変成シリコーン系シーリングを示す

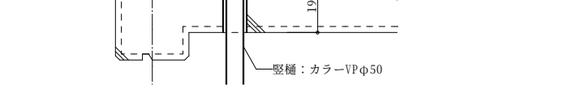
ルーフドレン（ベランダ） 詳細図 ＜2～3階　1・3・7・9・11通り、4階　3・7通り＞ S=1/10

計　14箇所



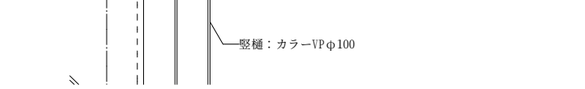
カネソウ株式会社「鋳鉄製ルーフドレン　たて引き用　打込型　差し込み式
塗膜・モルタル防水用　EMB-1-100」同等品

ルーフドレン（室外機置場） 詳細図＜2～3階　各階4箇所　計8箇所＞ S=1/10



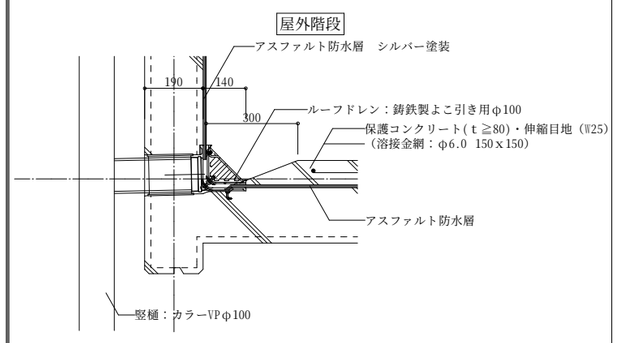
カネソウ株式会社「鋳鉄製ルーフドレン　たて引き用　打込型　差し込み式
塗膜・モルタル防水用　EMF-1-50」同等品

ルーフドレン（屋上スペース・屋根） 詳細図 ＜計10箇所＞ S=1/10



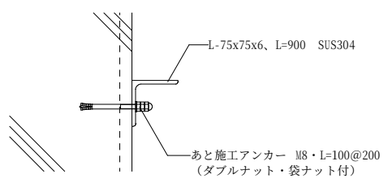
カネソウ株式会社「鋳鉄製ルーフドレン　たて引き用　打込型　差し込み式
アスファルト・シート防水用　ESR-1-100」同等品

ルーフドレン（屋外階段） 詳細図 ＜計2箇所＞ S=1/10



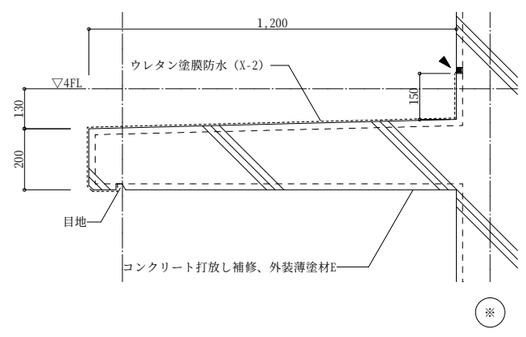
カネソウ株式会社「鋳鉄製ルーフドレン　よこ引き用　打込型　ねじ込み式
アスファルト・シート防水用　EXC-100」同等品

電気引込線取付金物 詳細図 S=1/5



※取付け位置は、電気設備図を参照すること

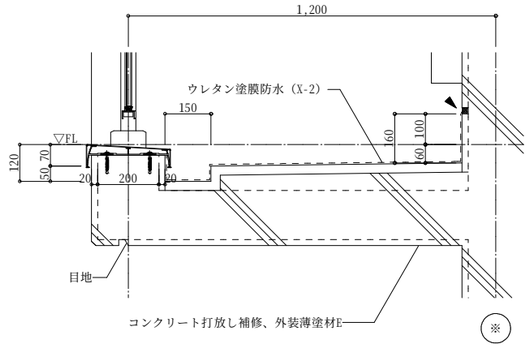
庇（室外機置場） 詳細図 S=1/10



※1・11・G通り

▲：変成シリコーン系シーリングを示す

室外機置場 詳細図 S=1/10



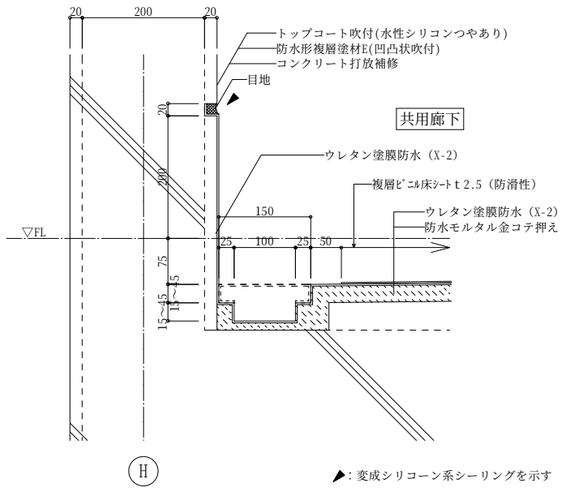
※1・11・G通り

▲：変成シリコーン系シーリングを示す

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1　S=図示 A3　S=図示	A
部分詳細図2		65

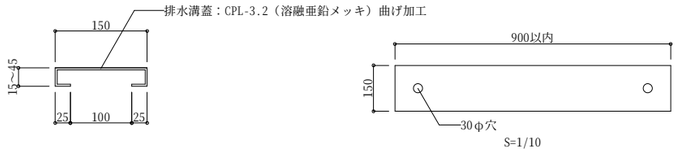
（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

腰壁立上り・排水溝（H通り） 詳細図　S=1/5

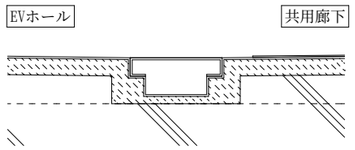


▲：変成シリコーン系シーリングを示す

排水溝蓋 詳細図　S=1/5



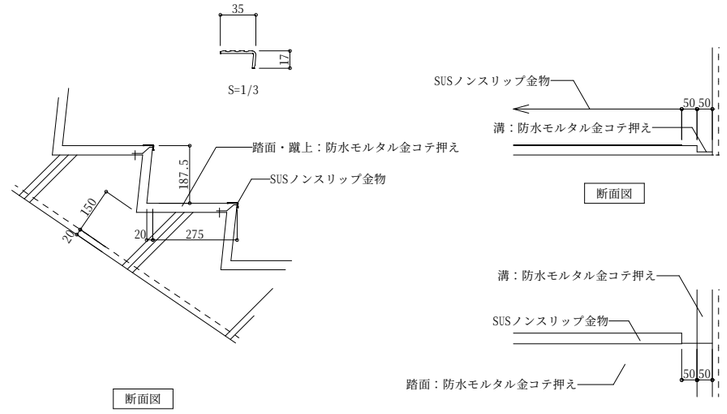
S=1/10



（単位㎜）

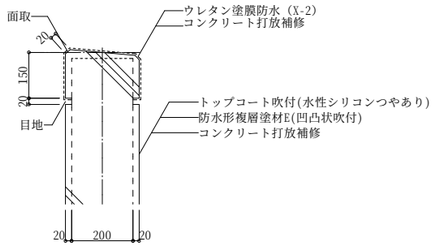
場所	L	数量
EVホール	2,500	4ヶ所
屋外避難階段	1,200	4ヶ所
屋外階段	1,700	3ヶ所

屋外階段 詳細図　S=1/10

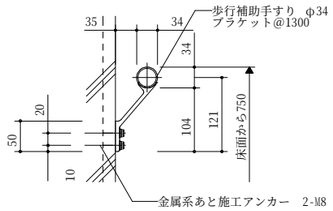


株式会社アシスト「アシステップ　12-35DX・アンカー共」同等品

腰壁上部 詳細図　S=1/10

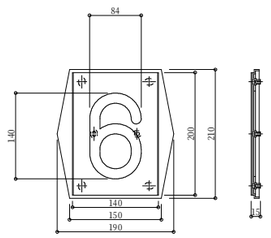


歩行補助手すり（共用廊下・屋外階段） 詳細図　S=1/5



三協立山株式会社：「歩行補助手すり　アルミ製(SB34A型）」同等品

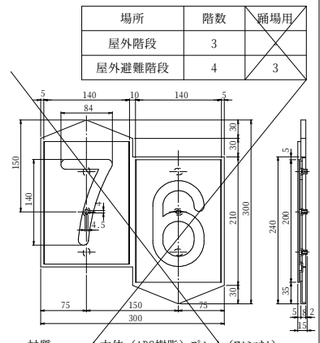
階数表示板（屋外階段） 詳細図　S=1/5



材質　　：本体（ABS樹脂）ﾌﾟﾚｰﾄ（ｱﾙﾐﾆｳﾑ）
仕上　　：ﾌﾟﾚｰﾄ（HL，ｱﾙﾏｲﾄ処理）
色　　：本体　（黒）
表面外寸法：210ｘ190

コンクリートビス共

場所	階数	踊場用
屋外階段	3	
屋外避難階段	4	3



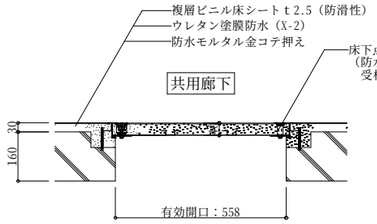
材質　　：本体（ABS樹脂）ﾌﾟﾚｰﾄ（ｱﾙﾐﾆｳﾑ）
仕上　　：ﾌﾟﾚｰﾄ（HL，ｱﾙﾏｲﾄ処理）
色　　：本体　（黒）
表面外寸法：300ｘ300

コンクリートビス共

R＝右上り階段用
L＝左上り階段用
図はL型を示す

株式会社ナスタ：　「階数表示板　KS-EX950-AA」同等品
~~「階数表示板　踊場用　KS-EX950-BAR」同等品~~

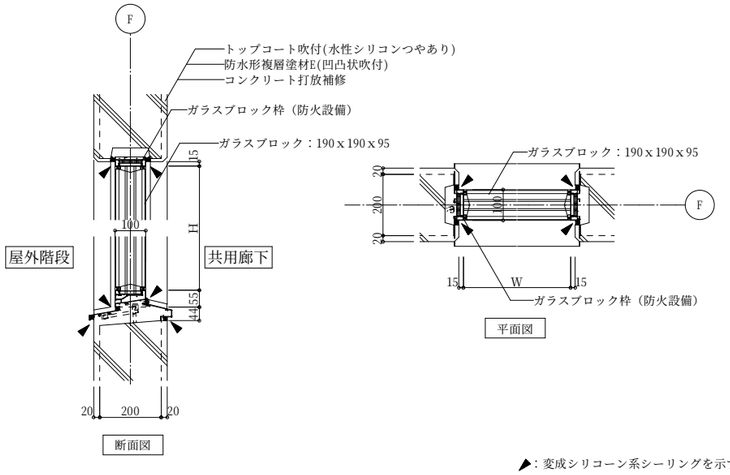
床下点検口（共用廊下） 詳細図　S=1/10



配管ピット

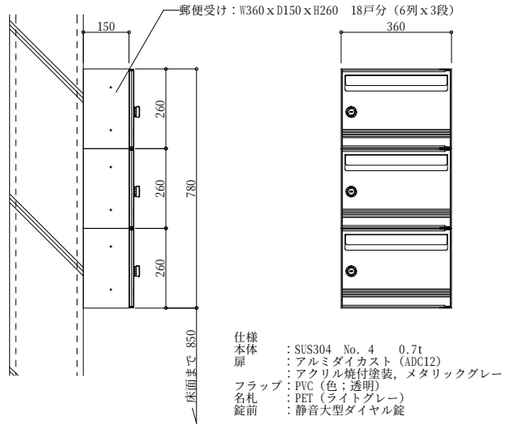
株式会社ダイケン「床点検口　防水・防臭タイプ錠付き　ハンドルなし」同等品

ガラスブロック枠 詳細図　S=1/10



▲：変成シリコーン系シーリングを示す

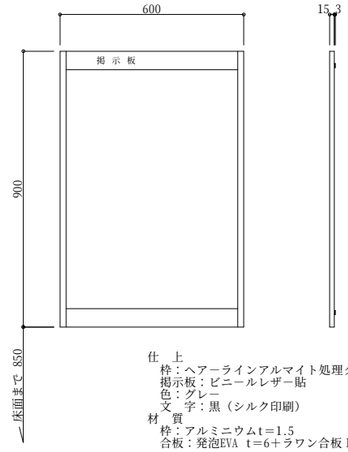
郵便受け（EVホール：1階） 詳細図　S=1/10



仕様
本体　　：SUS304　No．4　　0.7t
扉　　：アルミダイカスト（ADC12）
　　：アクリル焼付塗装，メタリックグレー
フラップ：PVC（色；透明）
名札　　：PET（ライトグレー）
錠前　　：静音大型ダイヤル錠

株式会社ナスタ：「前入前出郵便受箱
ボンメール（静音大型ダイヤル錠）KS-MB501S-L」同等品

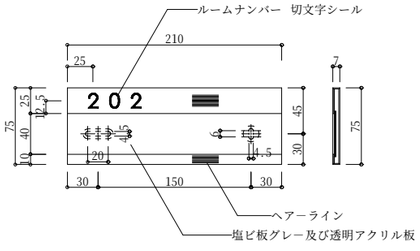
掲示板（EVホール：1階） 詳細図　S=1/10



仕　上
　枠：ヘアーラインアルマイト処理クリア塗装
　掲示板：ビニールレザー貼
　色：グレー
　文　字：黒（シルク印刷）
材　質
　枠：アルミニウムt＝1.5
　合板：発泡EVA　t＝6＋ラワン合板Ⅰ類　t＝3

株式会社ナスタ：「掲示板　アルミ枠　KS-EX912A-9060」同等品

室名札（共用廊下） 詳細図　S=1/3



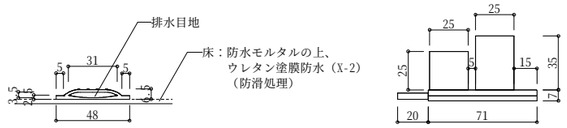
※　ルームナンバーは、シール貼付標準位置を示す。
※　＊寸法は、文字センターを目安にしています。
材質　　：本体　ステンレス（SUS304）t＝1
　　名札板　塩ビ板t＝0.5
仕上　　：本体　HL，光沢クリアー塗装
色　　：名札板　グレー
表面外寸法：75ｘ210

株式会社ナスタ：「室名札　ステンレス　KS-N36S」同等品
「ルームナンバー　切文字シールタイプ　数字　KS-NCY-3-B」同等品

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=図示 A3 S=図示	A
部分詳細図3		66

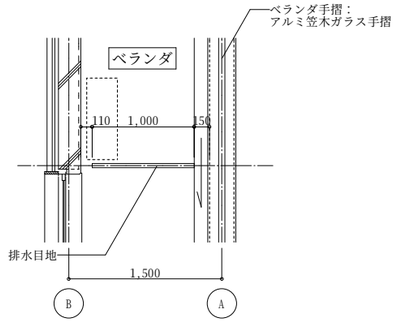
（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

エアコン排水目地（ベランダ）　詳細図　S=1/2・1/30



＜ホース受け：2口＞

断面図　S＝1/2

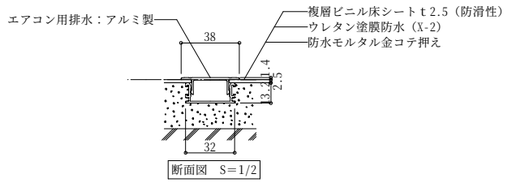


平面図　S＝1/30

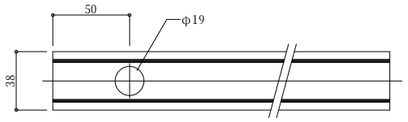
※ホース受け2口
（1DK：1ヶ所ｘ6戸・2DK：1ヶ所ｘ6戸・3DK：1ヶ所ｘ6戸　計18ヶ所）

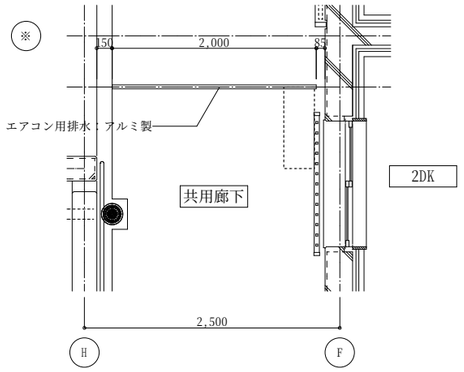
株式会社サンゲツ「排水目地：PXD・ホース受け：PXC」同等品

エアコン用排水（共用廊下）　詳細図　S=1/2・1/30



断面図　S＝1/2



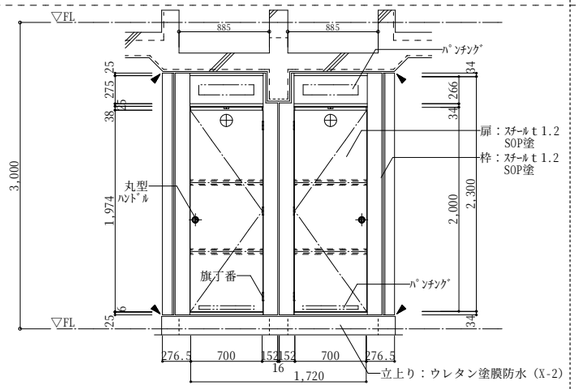


平面図　S＝1/30

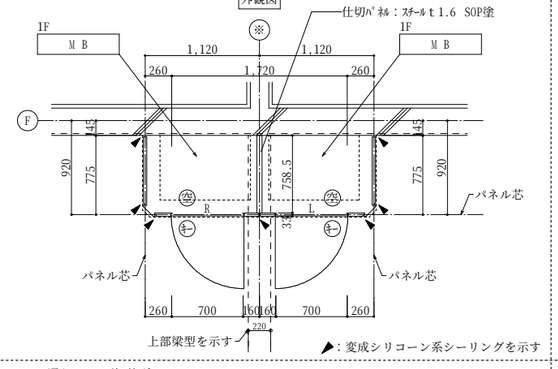
株式会社ダイケン「エアコン用排水パイプ　埋込式EDF」同等品

メーターボックス（共用廊下）　詳細図　S=1/30

＜1・2階＞　3・7・9通り（各フロア3箇所）　計6箇所

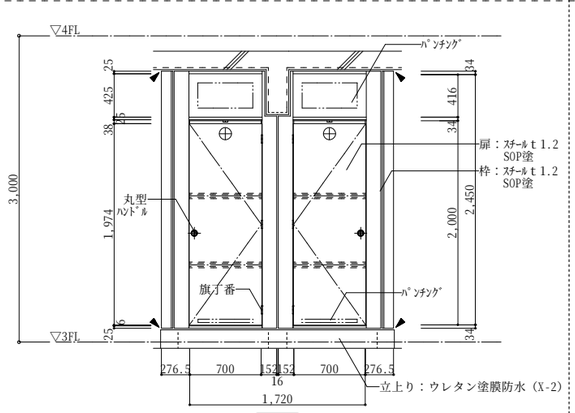


外観図

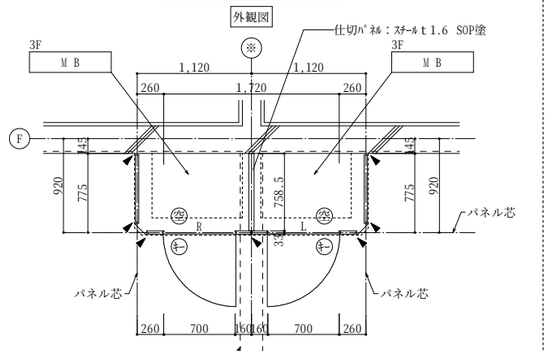


▲：変成シリコーン系シーリングを示す

＜3階＞　3・9通り　　計2箇所

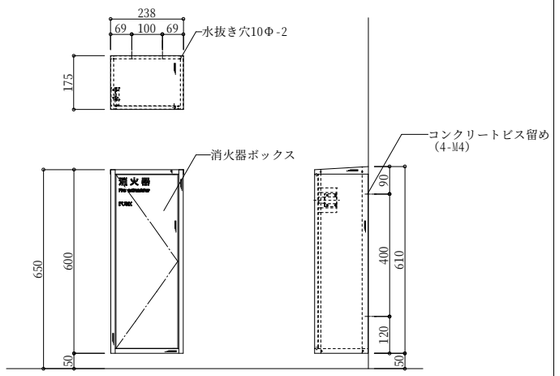


外観図



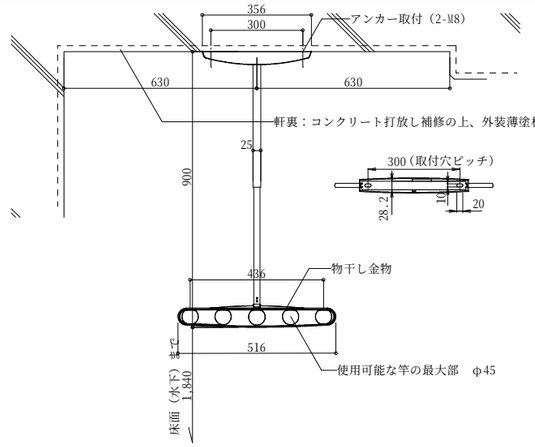
▲：変成シリコーン系シーリングを示す

消火器ボックス（EVホール・共用廊下）　詳細図　S=1/10



ナカ工業株式会社：「消火器ボックス　屋外用　NHD-3000N」同等品
ﾌｯｸ消火器取付・表示ｽﾃｯｶｰ共

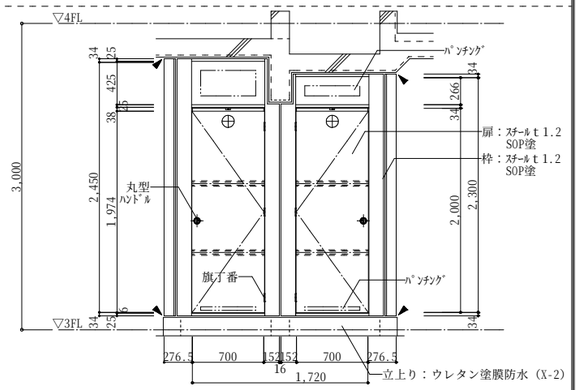
物干し金物（ベランダ：1～3階）　詳細図　S=1/10



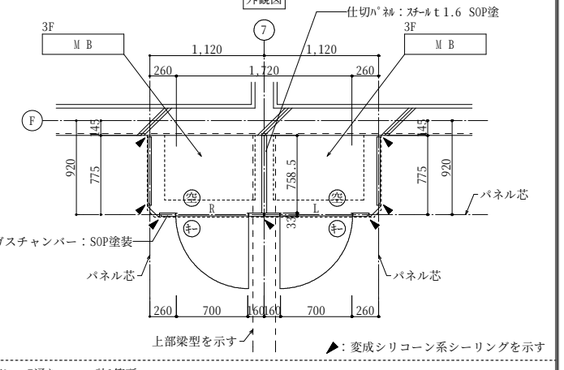
株式会社ナスタ：「バルコニー物干金物（自在型）KS-DA516AT・
Lﾊﾟｰﾂ（RC壁取付用ｱﾝｶｰ・ｽﾃﾝﾚｽ）　KS-501LPS　共」同等品

メーターボックス（共用廊下）　詳細図　S=1/30

＜3階＞　7通り　　計1箇所

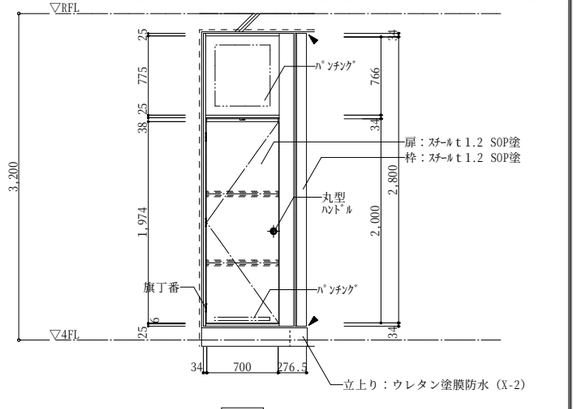


外観図

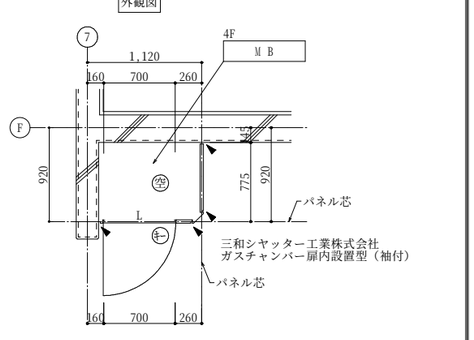


▲：変成シリコーン系シーリングを示す

＜4階＞　7通り　　計1箇所



外観図

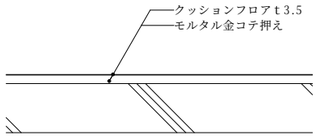


▲：変成シリコーン系シーリングを示す

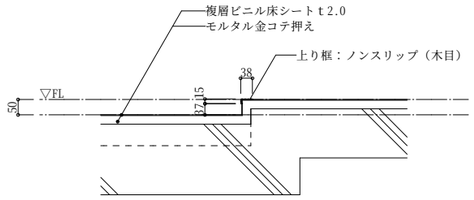
邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1　S=図示 A3　S=図示	A
部分詳細図4		67

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

床仕上　詳細図　S=1/10

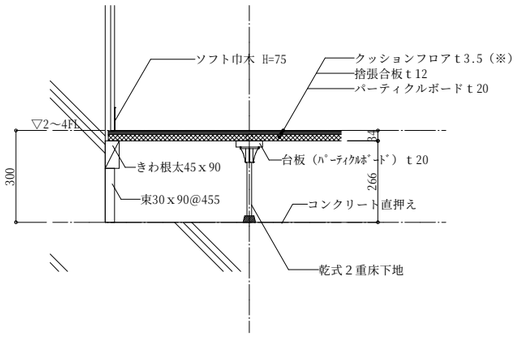


上り框　詳細図　S=1/10



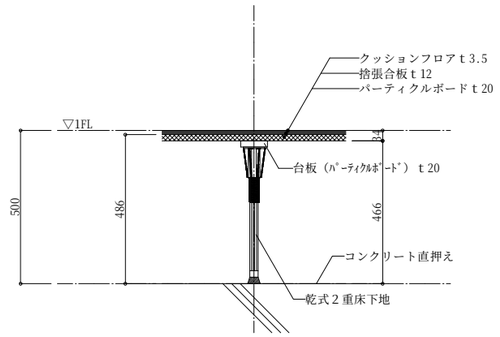
株式会社アシスト「アシステップ　11-38Ⅱ」同等品

乾式2重床　詳細図　S=1/10



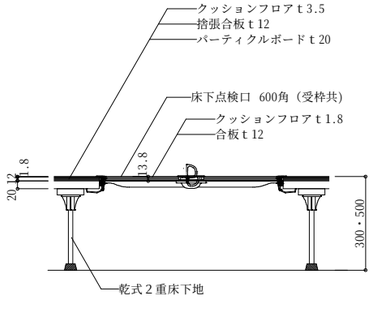
※4階集会室はクッションフロアｔ4.5とする

株式会社フクビ「乾式2重床　フリーフロアCP支持脚」同等品



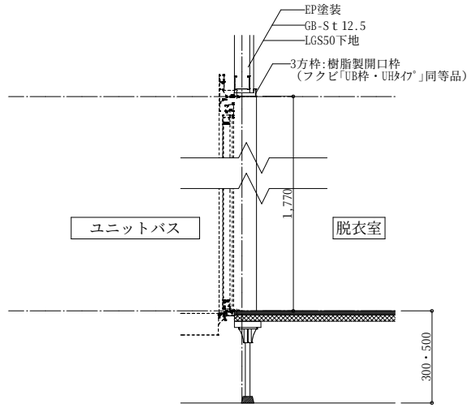
株式会社フクビ「乾式2重床　フリーフロアCP支持脚・高床用」同等品

床下点検口（脱衣室）　詳細図　S=1/10

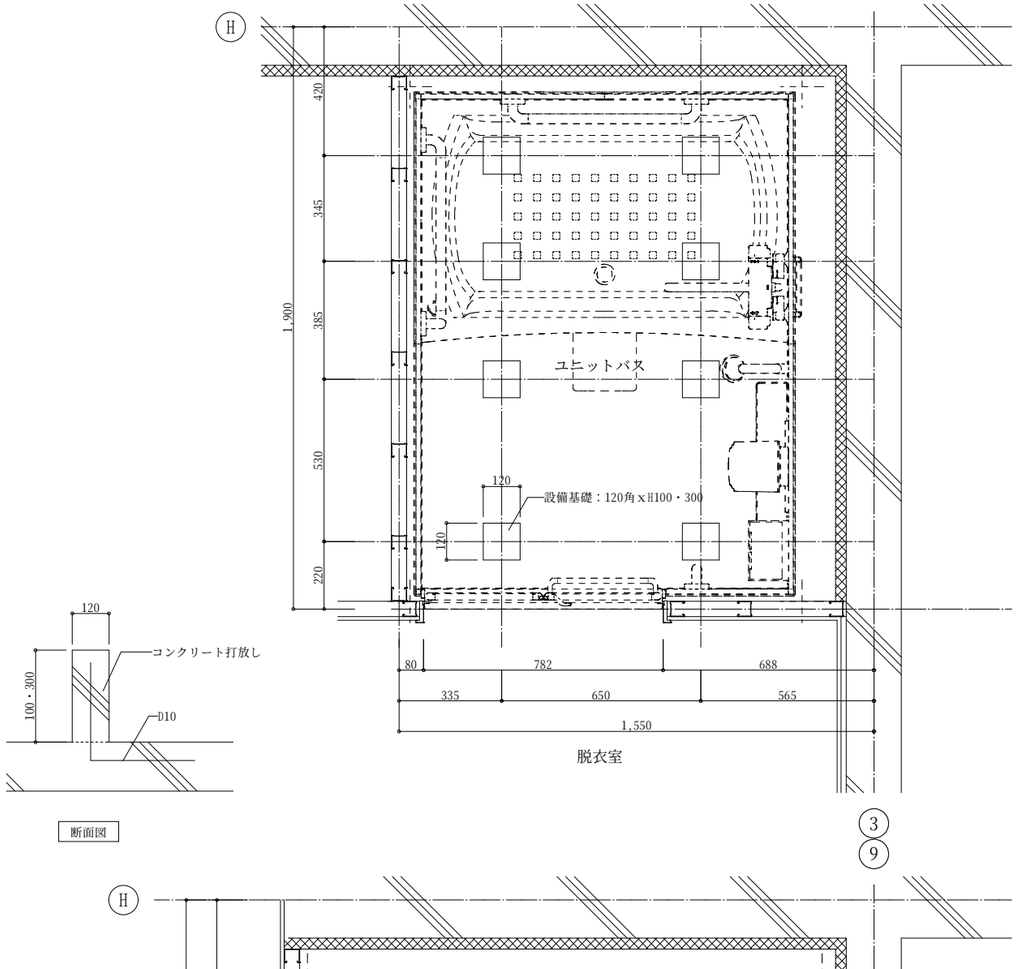


株式会社ダイケン「床点検口　ホーム床点検口　SH3　錠無」同等品

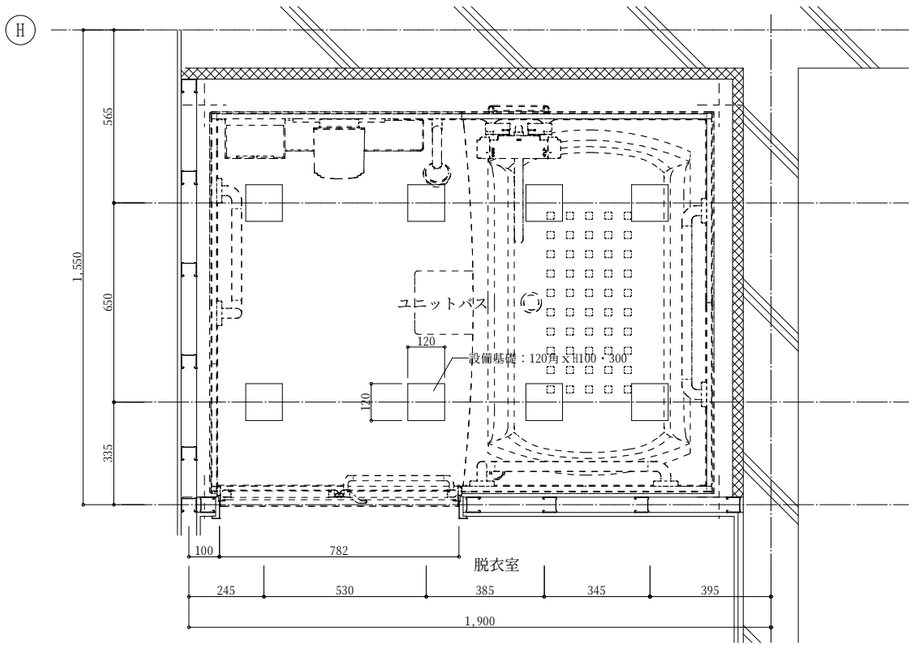
ユニットバス枠　詳細図　S=1/10



ユニットバス　設備基礎　詳細図　S=1/10



断面図



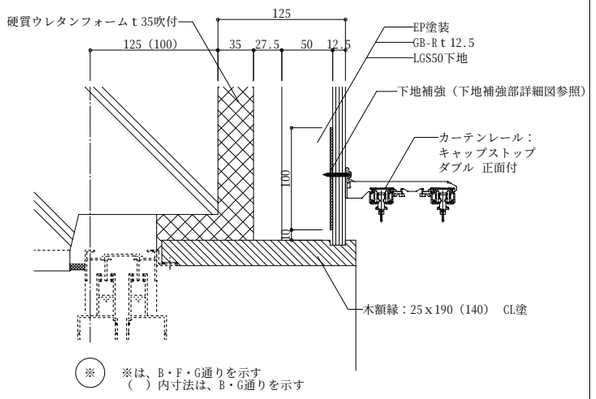
平面詳細図　S=1/10

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=図示 A3 S=図示		A
部分詳細図5			68

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

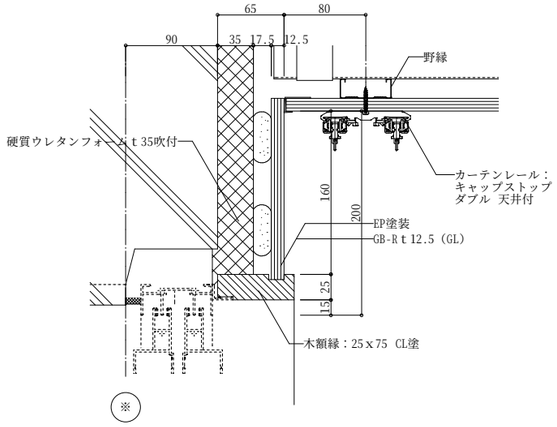
カーテンレール取付下地補強　詳細図　S=1/3

＜1DK・2DK・3DK＞



立川ブラインド工業株式会社「V20・正面付 アルミ製」同等品

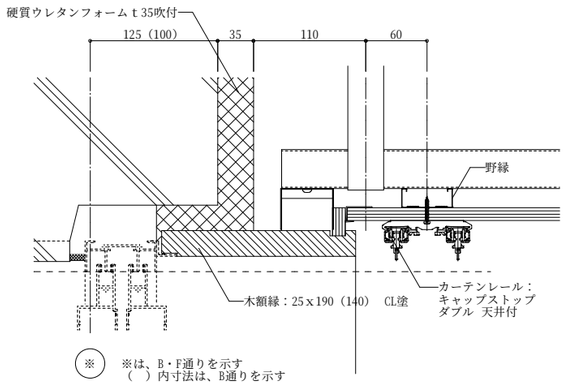
＜3DK＞



※は、1・11通りを示す

立川ブラインド工業株式会社「V20・天井付 アルミ製」同等品

＜集会所＞

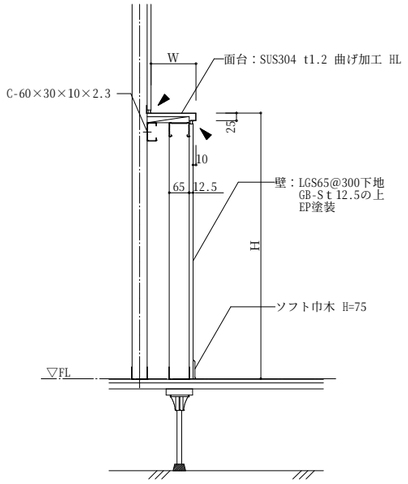


立川ブラインド工業株式会社「V20・天井付 アルミ製」同等品

ライニング部　詳細図　S=1/10

（単位㎜）

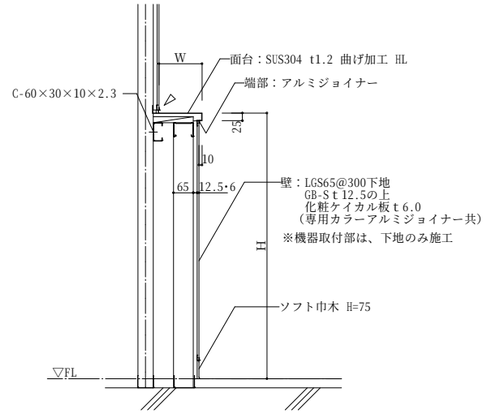
タイプ	室名	W	H	L
1DK	便所	150	1,100	840
	脱衣室	240	1,100	600
2DK・3DK	便所	240	1,100	470
	脱衣室	150	1,100	850
集会所	車椅子便所	150	1,500・1,100	1,300+400+900



▲：変成シリコーン系シーリングを示す

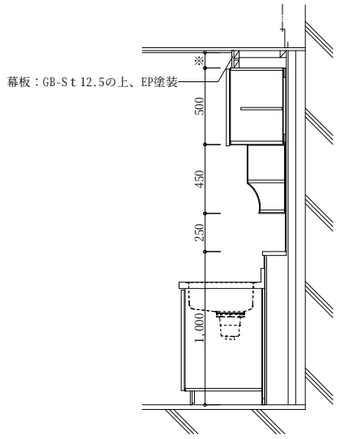
（単位㎜）

タイプ	室名	W	H	L
1DK・2DK・3DK	DK	150	1,000	1,950
集会所	湯沸室	150	1,000	1,950



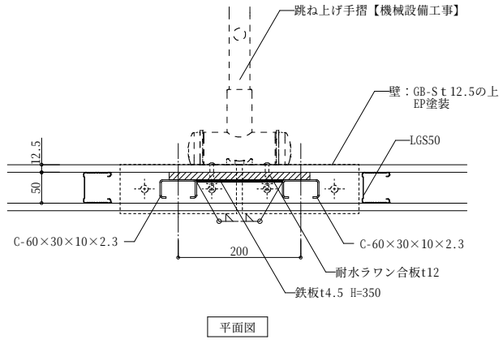
△：シリコーン系シーリングを示す

吊戸棚幕板　詳細図　S=1/20

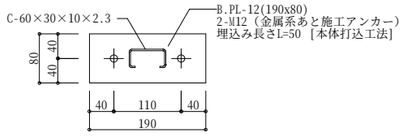


※寸法は、住居部は100・集会所部は300とする

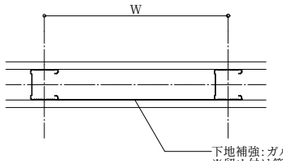
手摺取付下地補強　詳細図　S=1/5



平面図



下地補強部　詳細図　S=1/5



（単位㎜）

室名	場所	W	H	備考	数量
玄関	I型手摺	300	100	2段	18ヶ所（18戸）
脱衣室	I型手摺	300	100	2段	18ヶ所（18戸）
	タオル掛け	600	100		18ヶ所（18戸）
便所	L型手摺	900	100	2段	18ヶ所（18戸）
	紙巻器	600	100		18ヶ所（18戸）
洋室・DK	エアコン	1,000	400		1DK(6戸)ｘ2部屋＝12ヶ所 2DK(6戸)ｘ3部屋＝18ヶ所 3DK(6戸)ｘ4部屋＝24ヶ所 計＝54ヶ所
	カーテンレール	1,800	100	正面付部	30ヶ所
		1,200	100	正面付部	12ヶ所
車椅子便所	L型手摺	900	100	2段	1ヶ所
	タオル掛け	600	100		1ヶ所
	紙巻器	600	100		1ヶ所
集会室	掲示板	1,800	100	2段	1ヶ所
	エアコン	1,000	400		2ヶ所

※取付高さ位置について、現場監督と協議し決定すること。

（単位㎜）

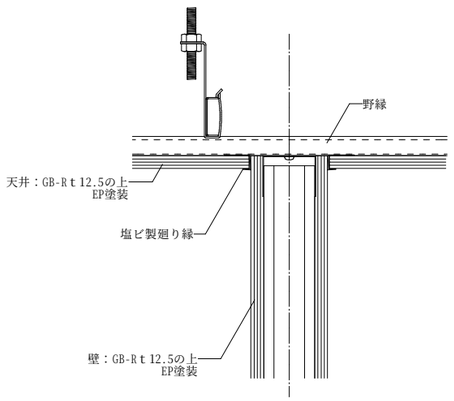
室名	場所	W	H	備考	数量
物入(中棚)	通路	250+665+250	100		6ヶ所（3DK）
		250+725+250	100		12ヶ所（2DK・3DK）
	DK	600+950+600	100		6ヶ所（2DK）
		600+750+600	100		6ヶ所（3DK）
	1DK 洋室内	750+800+750	100		6ヶ所
	2DK 洋室1内	750+1650+750	100		6ヶ所
	〃 洋室2内	600+1650+600	100		6ヶ所
	3DK 洋室1内	600+2000+600	100		6ヶ所
	〃 洋室2・3内	600+1200+600	100		12ヶ所

※物入内の中棚（化粧桟木・雑巾ずり・化粧キャップ付きビス・隙間キャップ共）とし、
材質は、トライウッド基材（ホワイト柄・特殊樹脂シートタイプ）＜ウッドワン 同等品＞とする。

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=図示 A3 S=図示		A
部分詳細図6			69

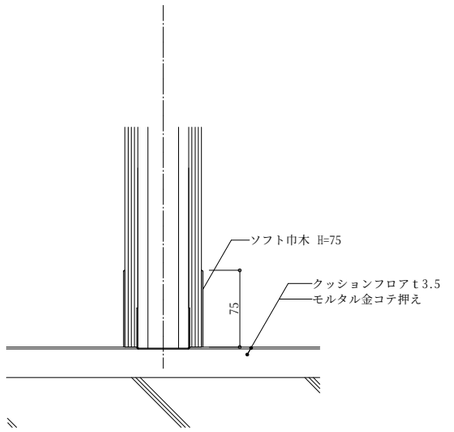
（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号 TEL086-244-0173
１級建築士事務所 岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録 第１１８２３６号 大石雅弘

廻縁（壁納まり）　詳細図　S=1/3

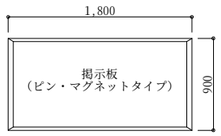


株式会社創建「ビニール天井見切縁コ型　AP-12」同等品

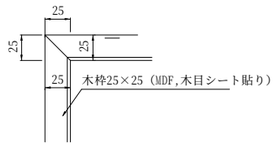
巾木（壁納まり）　詳細図　S=1/3

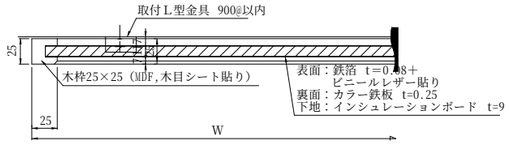


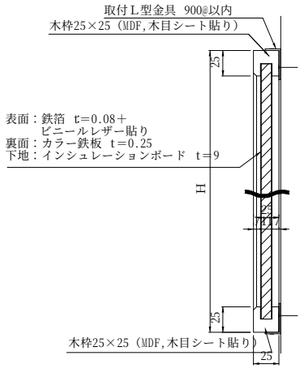
掲示板（集会室）　詳細図　S=1/3



姿図　S=1/30

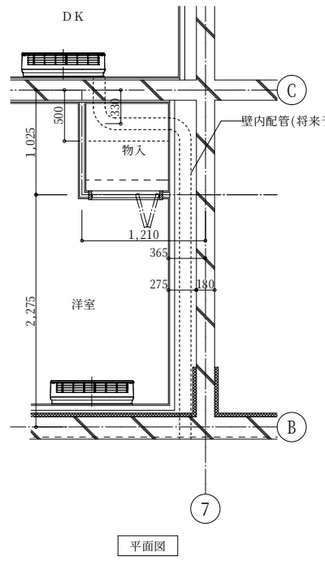




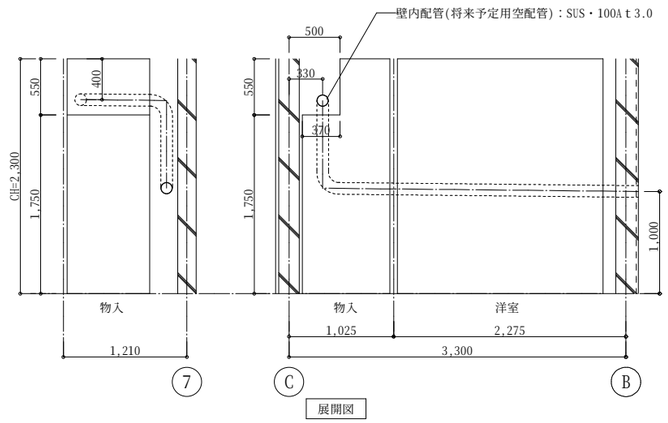


杉田エース株式会社「木目調ピンマグ掲示板 MOKU-YM918」同等品

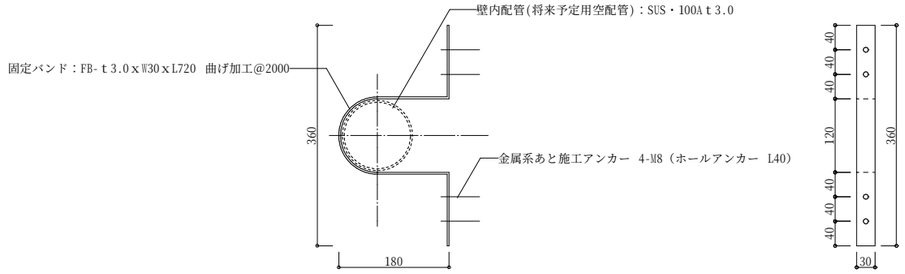
二重壁内配管（1DK：将来予定用空配管）　詳細図　S=1/30、S=1/5



平面図

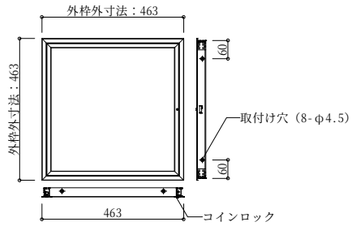


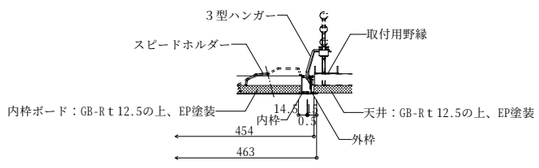
展開図



断面図　S=1/5

天井点検口　詳細図　S=1/10・1/5





３型鋼製下地納まり図　S＝1/5

株式会社ダイケン「天井点検口　CFZW345」同等品

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1　S=図示 A3　S=図示
部分詳細図7	A 70

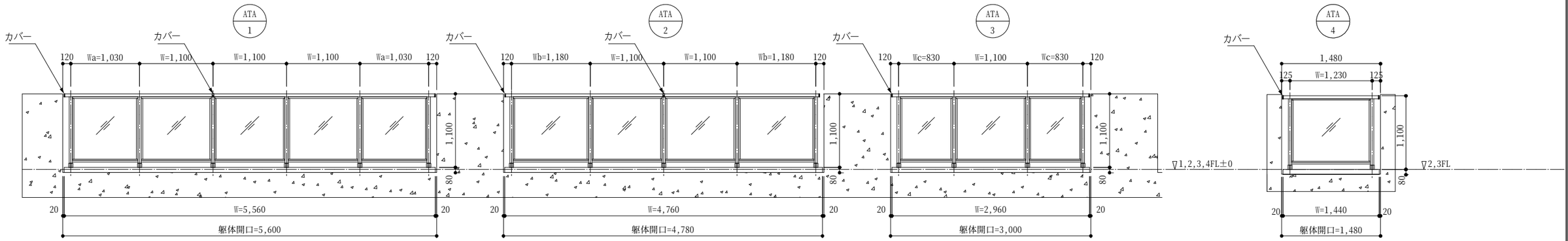
（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

窓番	ATA-1	数量	6	金具
シリーズ	アルミ手すり 笠木付６１型			取付金物一式
	笠木（笠木幅275）			
色仕上	複合皮膜標準色			
溝幅				
ガラス押え				
ガラス				
備考		取付場所	1F ベランダ x2 2F ベランダ x2 3F ベランダ x2	

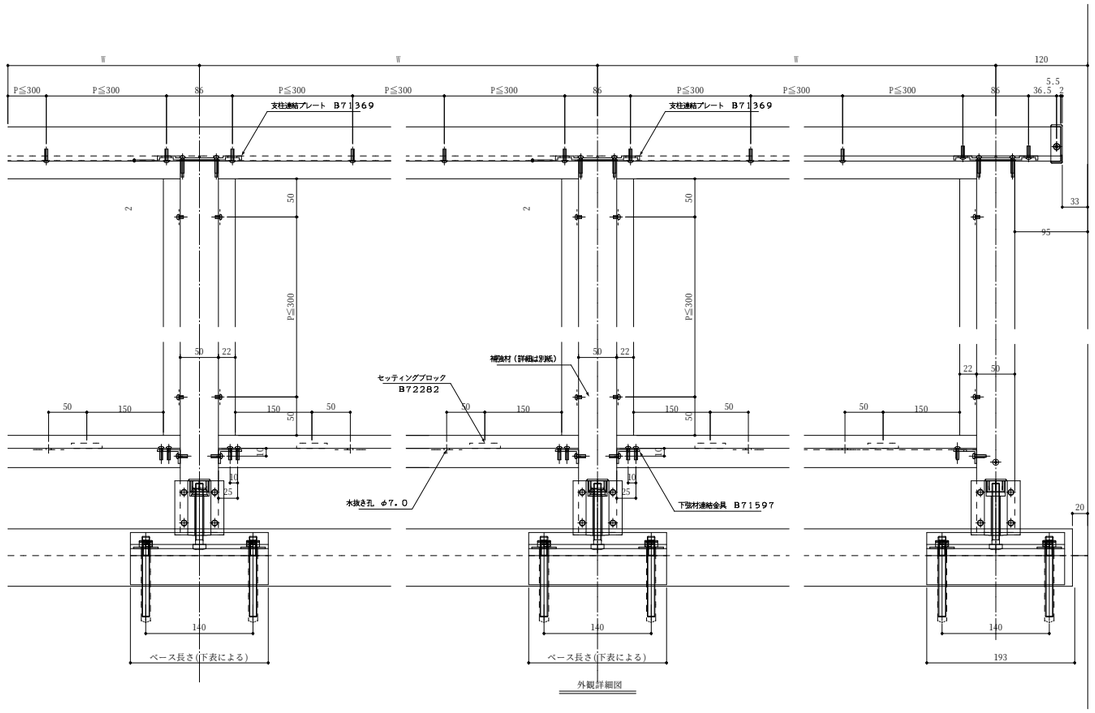
窓番	ATA-2	数量	7	金具
シリーズ	アルミ手すり 笠木付６１型			取付金物一式
	笠木（笠木幅275）			
色仕上	複合皮膜標準色			
溝幅				
ガラス押え				
ガラス				
備考		取付場所	1F ベランダ x2 2F ベランダ x2 3F ベランダ x2 4F ベランダ x1	

窓番	ATA-3	数量	7	金具
シリーズ	アルミ手すり 笠木付６１型			取付金物一式
	笠木（笠木幅275）			
色仕上	複合皮膜標準色			
溝幅				
ガラス押え				
ガラス				
備考		取付場所	1F ベランダ x2 2F ベランダ x2 3F ベランダ x2 4F ベランダ x1	

窓番	ATA-4	数量	8	金具
シリーズ	アルミ手すり 笠木付６１型			取付金物一式
	笠木（笠木幅275）			
色仕上	複合皮膜標準色			
溝幅				
ガラス押え				
ガラス				
備考		取付場所	2F 室外機置場 x4 3F 室外機置場 x4	



S=1/4

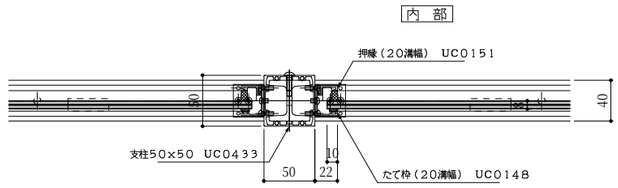


強度区分	150型
有効埋込み長さ	80以上
ベース長さ	180

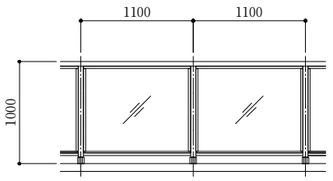
S=1/3

アルミ手すり 笠木付６１型ＢＬ・笠木付６１型 芯納まり

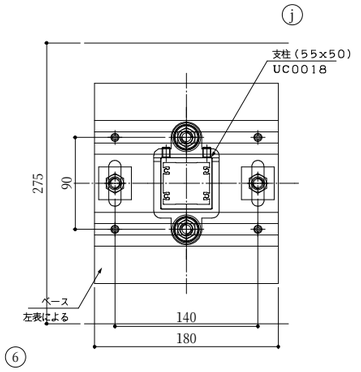
一段タイプ ガラス２０溝幅クローズ



B-B 断面詳細図



外観姿図



よこ断面詳細図（ベース部）

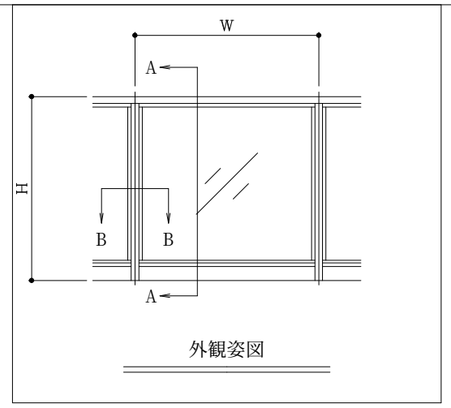
強度区分150型用 W≦1500

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=図示 A3 S=図示		A
部分詳細図8			71

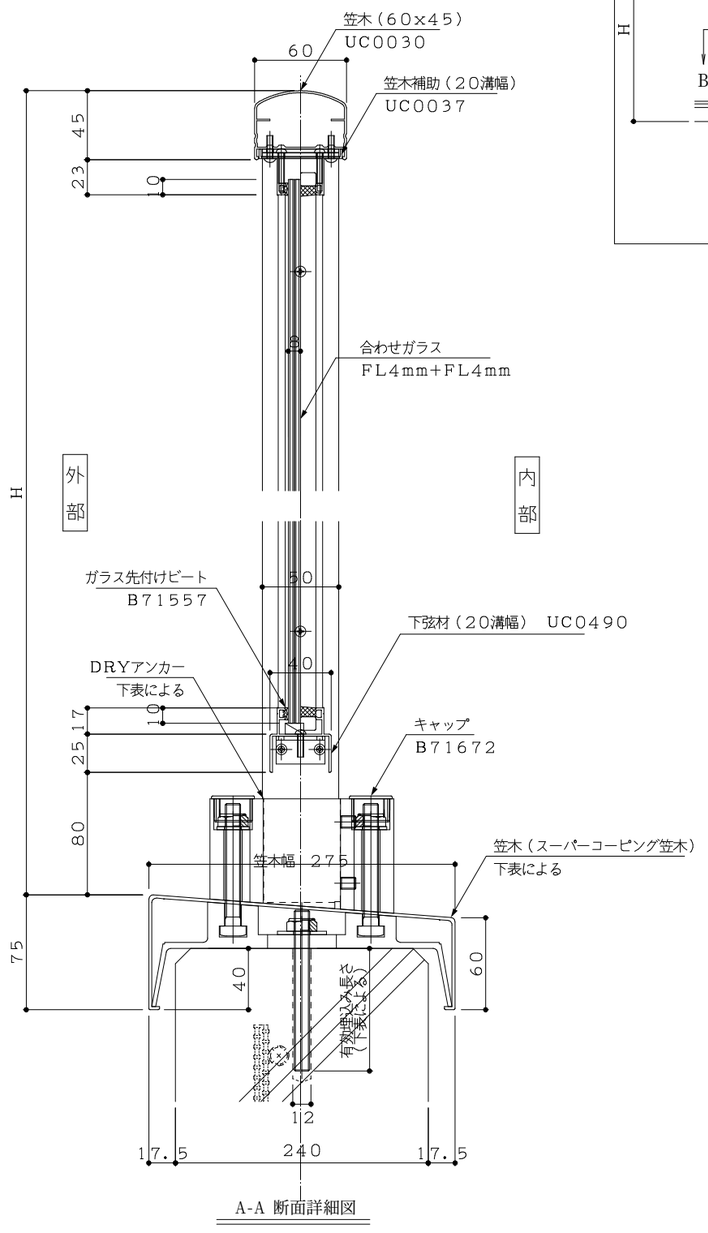
（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号 TEL086-244-0173
１級建築士事務所 岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録 第１１８２３６号 大石雅弘

アルミ手すり 笠木付61型BL・笠木付61型 芯納まり

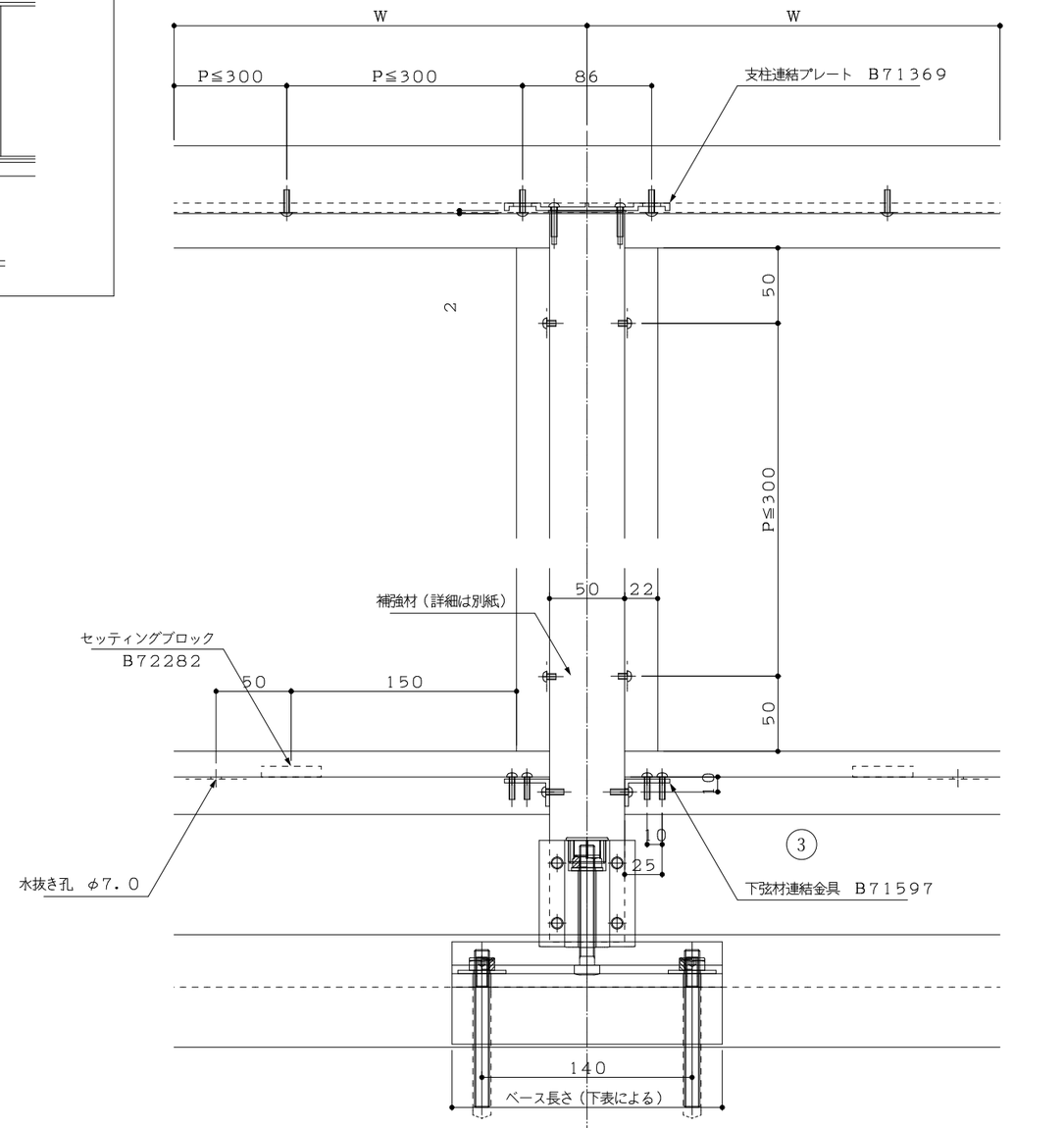
一段タイプ ガラス20溝幅クローズ



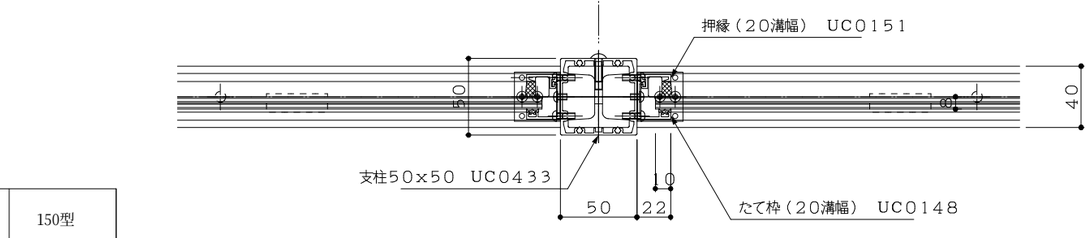
外観姿図



A-A 断面詳細図



外観詳細図　　内部



B-B 断面詳細図　　外部

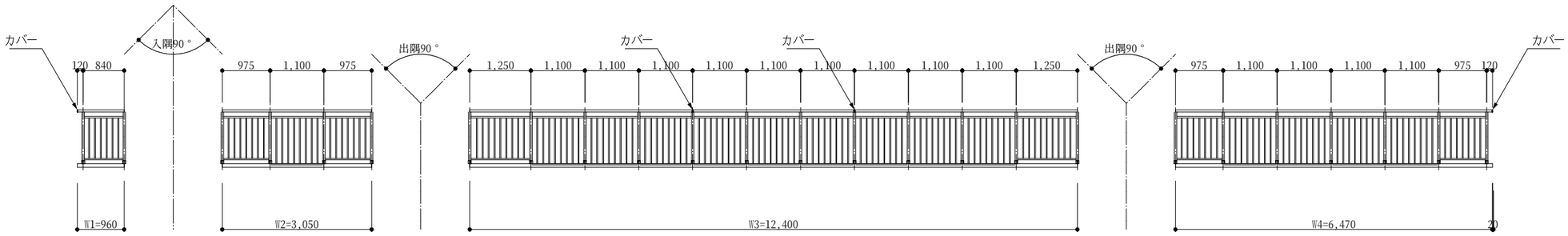
笠木幅	①	④	⑥	⑦
275	UC5010	B71670 type5	B71664	B71669

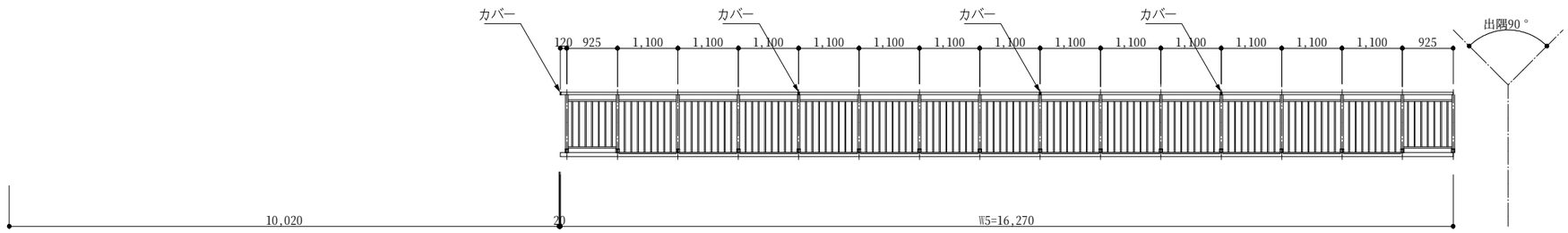
強度区分	150型
有効埋込み長さ	80以上
ベース長さ	180

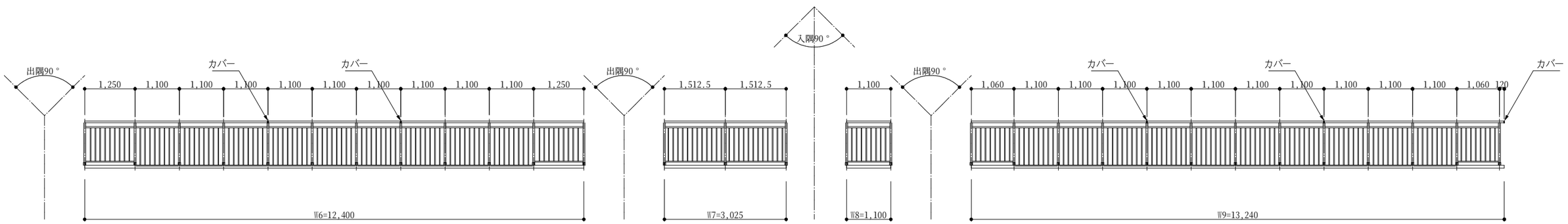
邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=図示 A3 S=図示	A
部分詳細図9		72

（株）ADO建築設計事務所
岡山市北区西古松西町5番6号 TEL086-244-0173
1級建築士事務所 岡山県知事登録第12055号
1級建築士登録 第118236号 大石雅弘

窓番	ATA-5	数量	1	金具	
シリーズ	アルミ手すり 笠木付６１型			取付金物一式	
	笠木（笠木幅275）				
色仕上	複合皮膜標準色				
溝幅					
ガラス押え					
ガラス					
備考				取付場所	RF 屋上スペース 屋上(西側) W1=960 W2=3,050 W3=12,400 W4=6,470 屋上(東側) W5=16,270 W6=12,400 W7=3,025 W8=1,100 W9=13,240





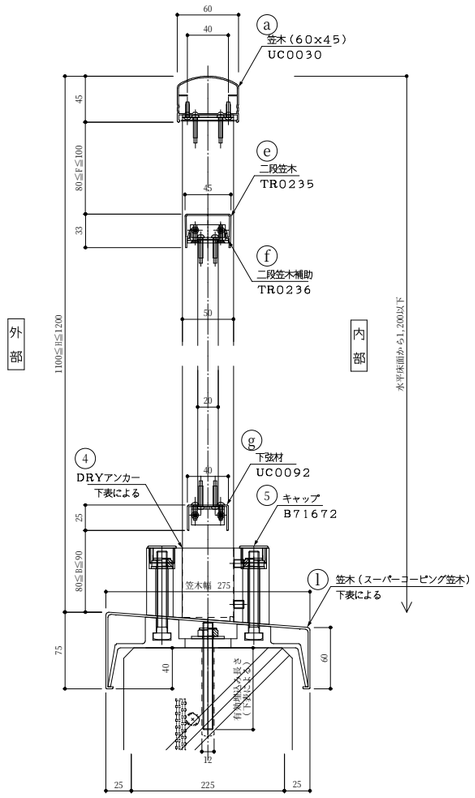


邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=図示 A3 S=図示		A
部分詳細図10			73

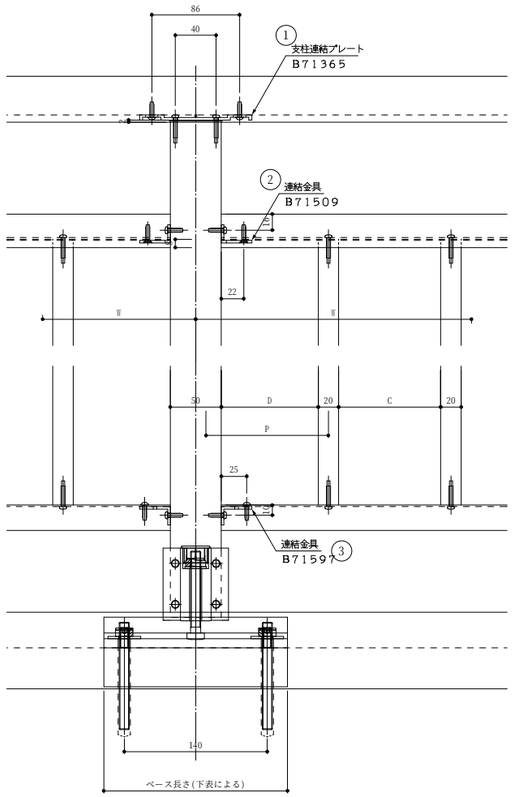
（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

アルミ手すり 笠木付６１型ＢＬ・笠木付６１型 芯納まり

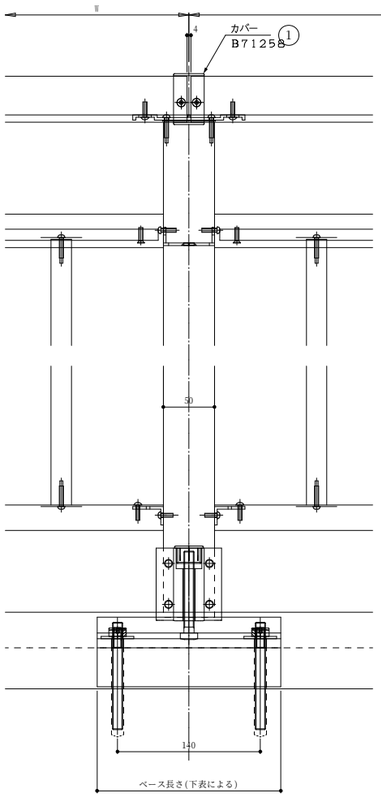
二段タイプ　手すり子　直線部（基準部）

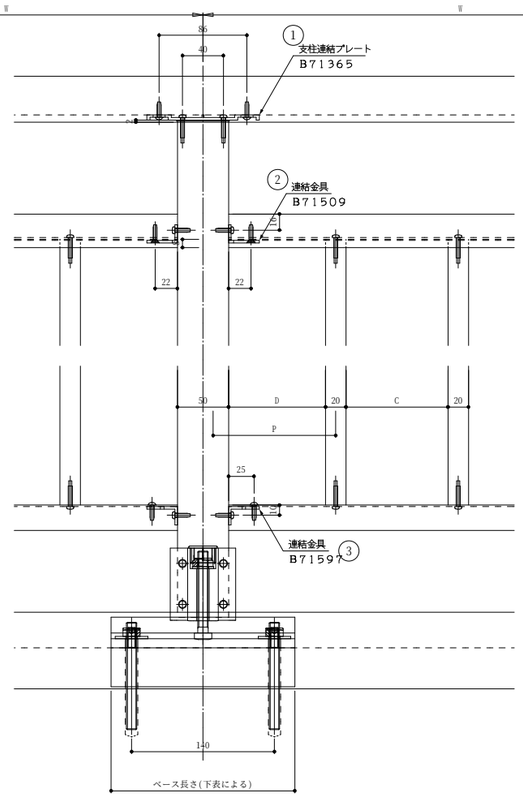


たて断面詳細図

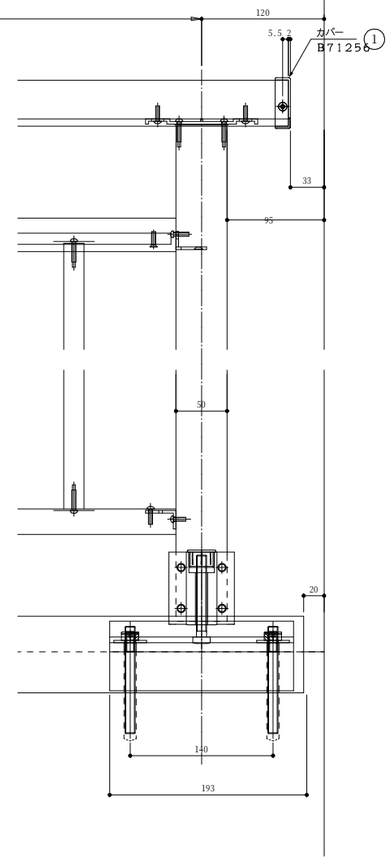


外観詳細図



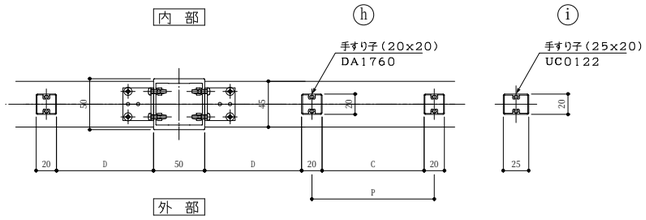


外観詳細図

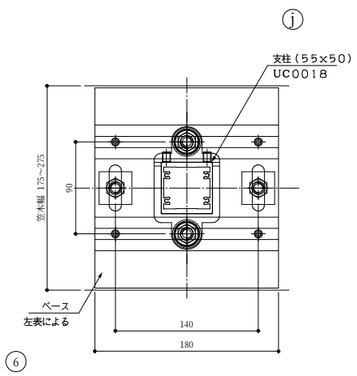


強度区分	150型	300型
有効埋込み長さ	80以上	100以上
ベース長さ	180	290

笠木幅	l	4	6	7
275	UC5010	B71670 type5	B71664	B71669



よこ断面詳細図（下弦材部）



よこ断面詳細図（ベース部）

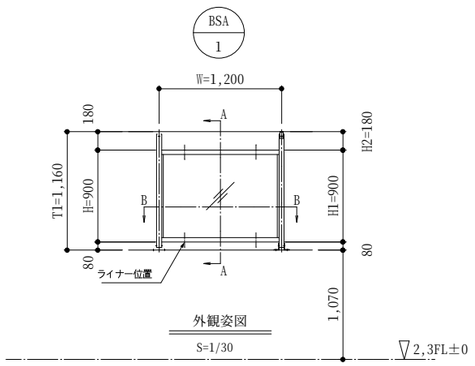
強度区分150型用 W≦1500

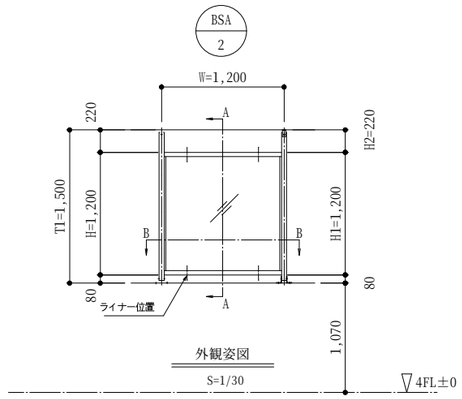
邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=図示 A3 S=図示		A
部分詳細図11			74

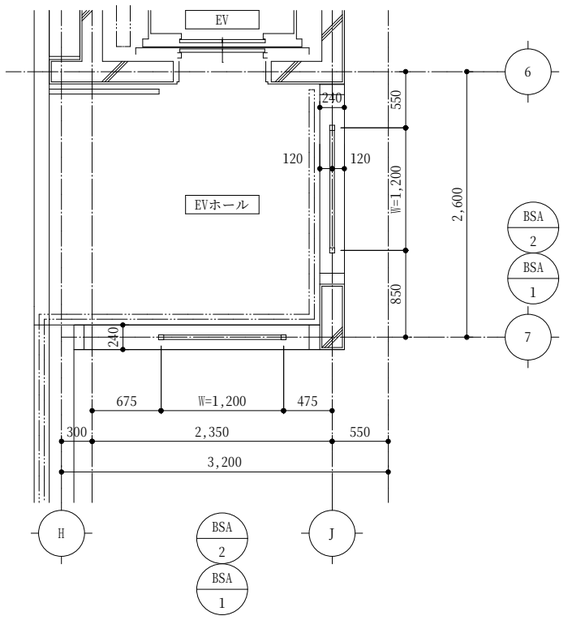
（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

窓番	BSA-1	数量	4	金具
シリーズ	防風スクリーン_WS-42			取付金物一式
	ー／ー			
色仕上	複合皮膜標準色			
溝幅	13			
ガラス押え	詳細			
ガラス	網入りガラス 6.8mm			
備考			取付場所	2F EVホール x2 3F EVホール x2

窓番	BSA-2	数量	3	金具
シリーズ	防風スクリーン_WS-42			取付金物一式
	ー／ー			
色仕上	複合皮膜標準色			
溝幅	13			
ガラス押え	詳細			
ガラス	網入りガラス 6.8mm			
備考			取付場所	4F EVホール x2 4F 共用廊下 x1

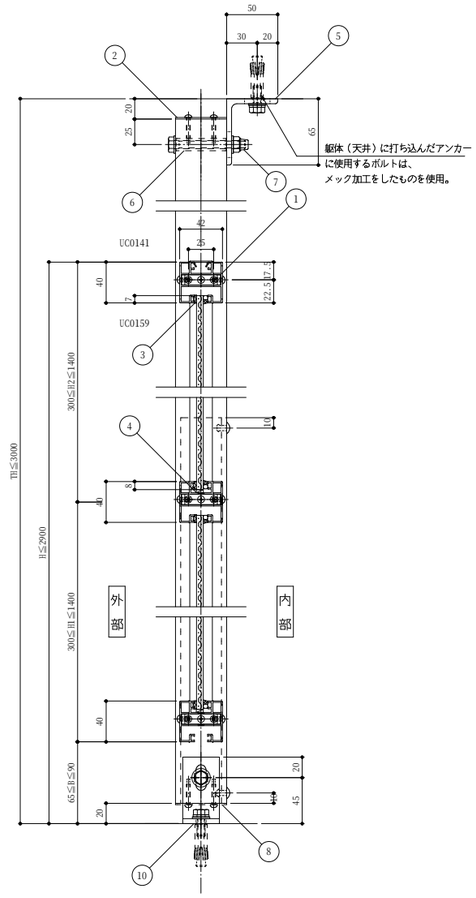




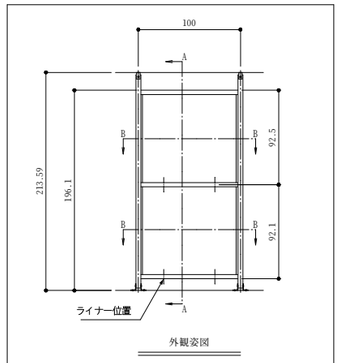


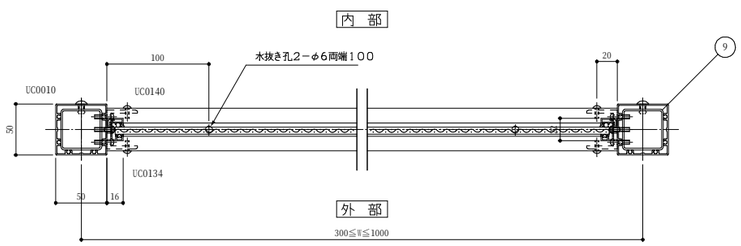
平 面 図
S=1/30

防風スクリーン ＷＳ－４２



A-A 断面詳細図
S=1/3





B-B 断面詳細図
S=1/3

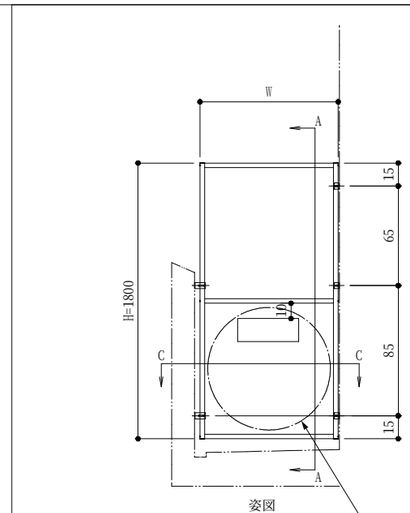
邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=図示 A3 S=図示	A
部分詳細図12		75

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

S=1/20・1/2

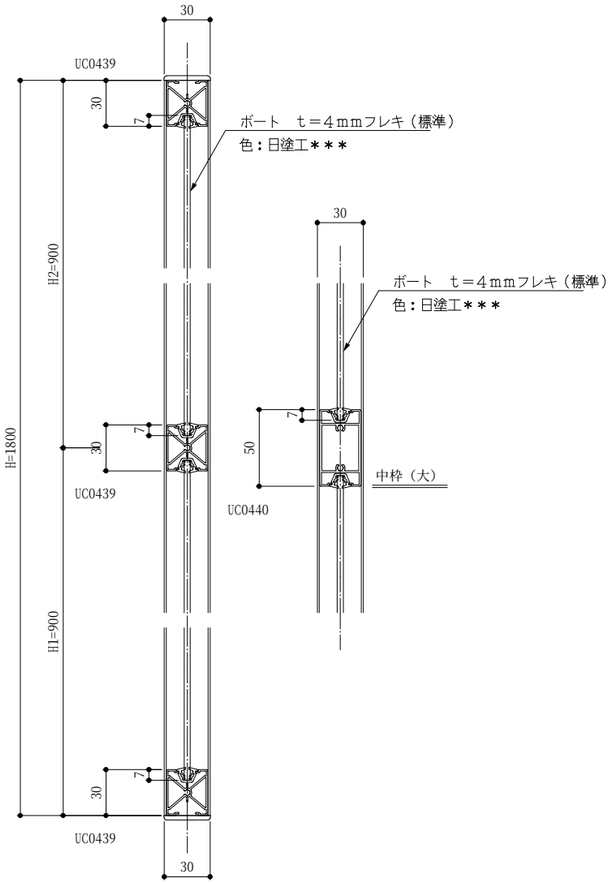
窓番	HTA-1	数量	15	金具
シリーズ	隔板30型			取付金物一式
色仕上	複合皮膜標準色			
溝幅				
ガラス	押え			
ガラス	ボート t=4㎜フレキ			
備考		取付場所		1F ベランダ x5 2F ベランダ x5 3F ベランダ x5

	品質確認			照査
水密	強度	安全性	施工性	

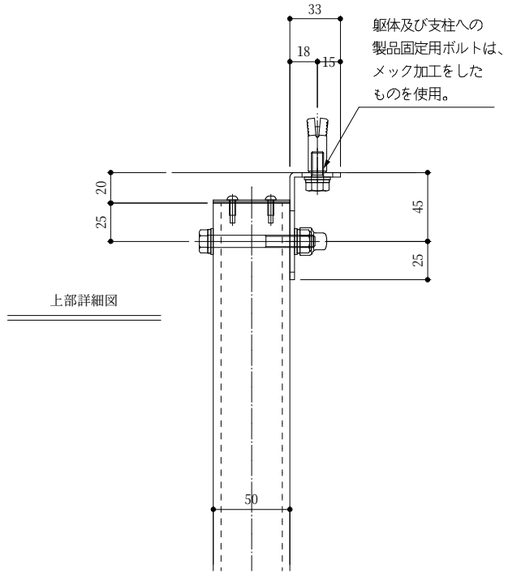


姿図

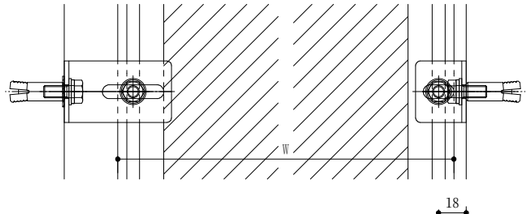
注１：有効最小寸法は、
設置される地域の消防
に確認の上、設計する。

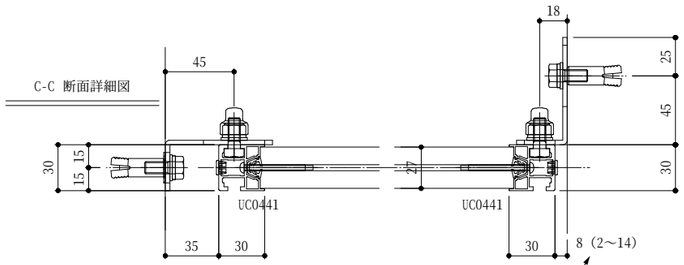


A-A 断面詳細図

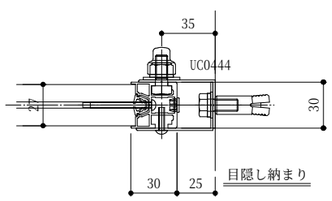


上部詳細図



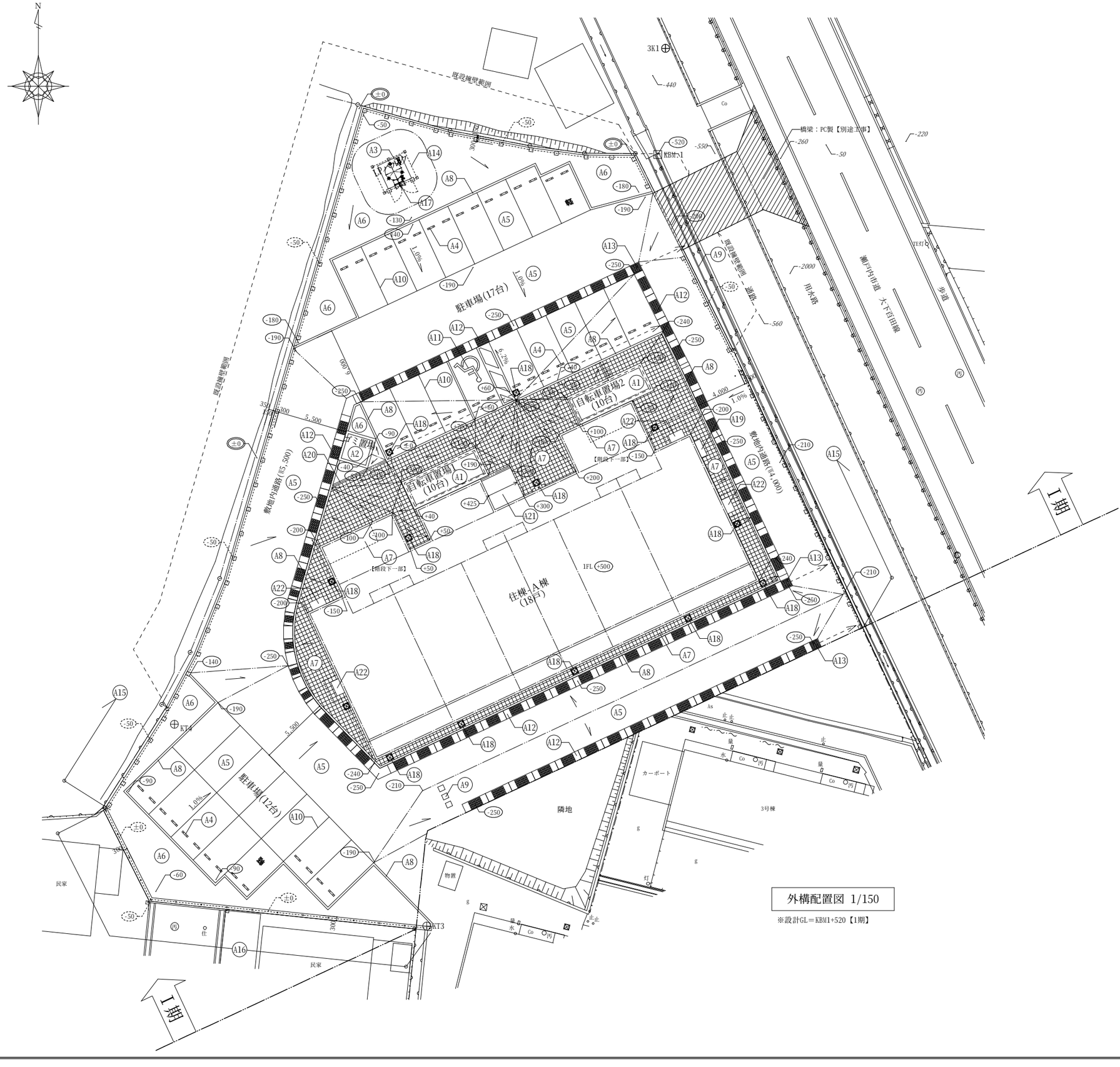


C-C 断面詳細図



邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=図示 A3 S=図示	A
部分詳細図13		76

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号 TEL086-244-0173
１級建築士事務所 岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録 第１１８２３６号 大石雅弘



◆外構凡例

A1	自転車置場：W2,005ｘL6,078ｘH2,423（10台用）ｘ2セット　[四国化成「V-Rｸﾛｰｽﾞ600N」同等品]
A2	ゴミ置場：　W2,000ｘD2,000ｘH2,000　[四国化成「ｺﾞﾐｽﾄｯｶｰAMR2型1500N　引き戸式」同等品]
A3	LPパルク基礎
A4	車止めブロックｘ2ヶ所/1区画(アンカーピン固定)
A5	アスファルト舗装
A6	コンクリート舗装
A7	インターロッキング舗装：インターロッキングブロック敷　t60
A8	地先境界ブロック：150×150×L600
A9	構内表示：指導停止線(白色破線)
A10	駐車区画：白線引(シングルライン)W150　@2,500
A11	身障者用駐車区画：白線引(シングルライン)W150　@3,500,ゼブラゾーン(白),車椅子マーク
A12	自由勾配側溝W500（グレーチング蓋）
A13	自由勾配側溝用集水桝（グレーチング蓋）
A14	メッシュフェンス：H=1500　[朝日スチール工業「UNフェンス(A型)」同等品]、基礎ブロック
A15	メッシュフェンス：H=1100　[朝日スチール工業「UNフェンス(A型)」同等品]、基礎ブロック
A16	目隠しフェンス：H=1800 [朝日スチール工業「目かくしフェンス　XW型(XAブラインド)」同等品]、布基礎共
A17	フェンス扉：メッシュフェンス両開き門扉　W2,000×H1,500　補助錠付 [朝日スチール工業(株)「UNフェンス(A型)」同等品]
A18	集水桝：350角（グレーチング蓋）
A19	開閉器盤基礎
A20	手摺:ｽﾃﾝﾚｽ製φ38　支柱埋込式　[四国化成「ｾｲﾌﾃｨﾋﾞｰﾑSB型」同等品]　H=850
A21	スロープ+手摺（ｽﾃﾝﾚｽ製φ38　支柱埋込式　[四国化成「ｾｲﾌﾃｨﾋﾞｰﾑSB型」同等品]　H=850）
A22	室外機置場

◆凡例

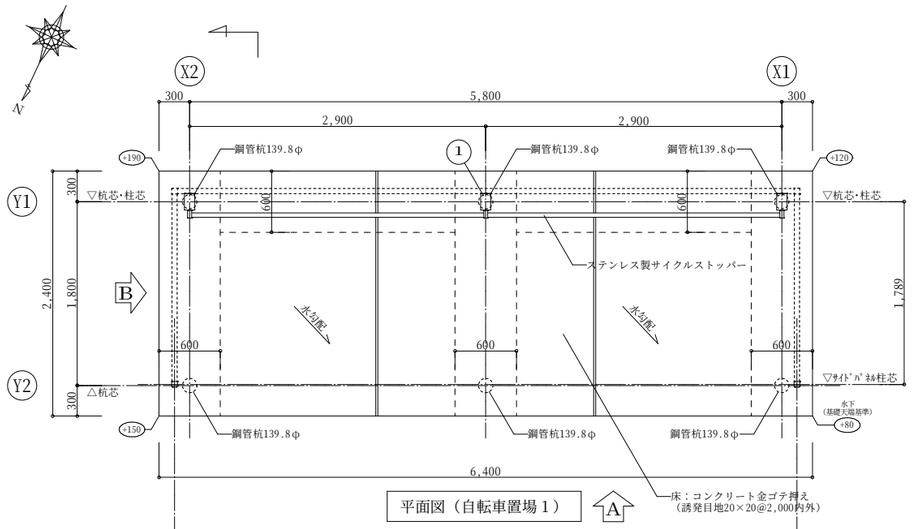
数値	設計GLからの新規地盤レベルを示す
数値	設計GLからの既設擁壁天端レベルを示す
数値	設計GLからの新規フェンス基礎天端レベルを示す
- - ->	埋設配管を示す
備　考	・駐車台数：２９台(内車いす用１台) ・駐輪場：２０台

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1　S=1/150 A3　S=1/300	A
外構配置図		77

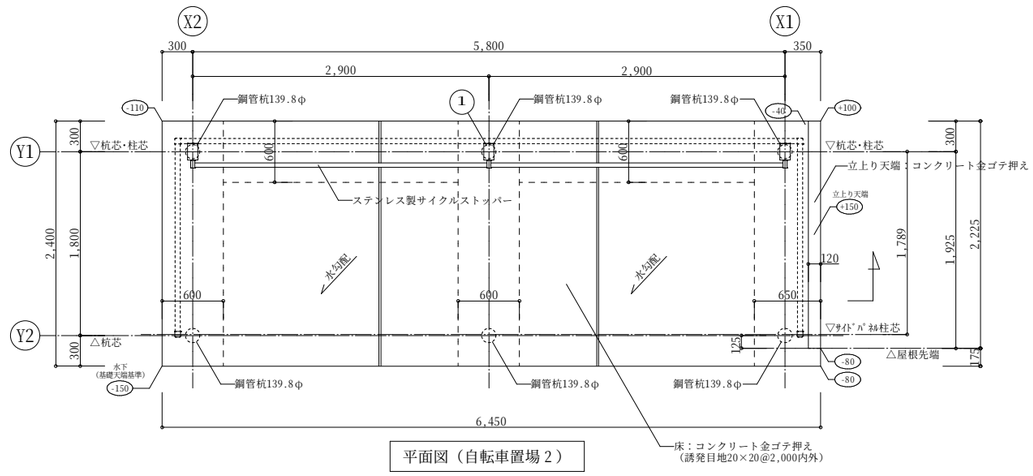
（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

＜四国化成「V-Rクローズ600N」同等品＞
W2,005×L6,078×H2,423(10台用)×2セット
サイクルストッパー付（照明・人感センサー別途）

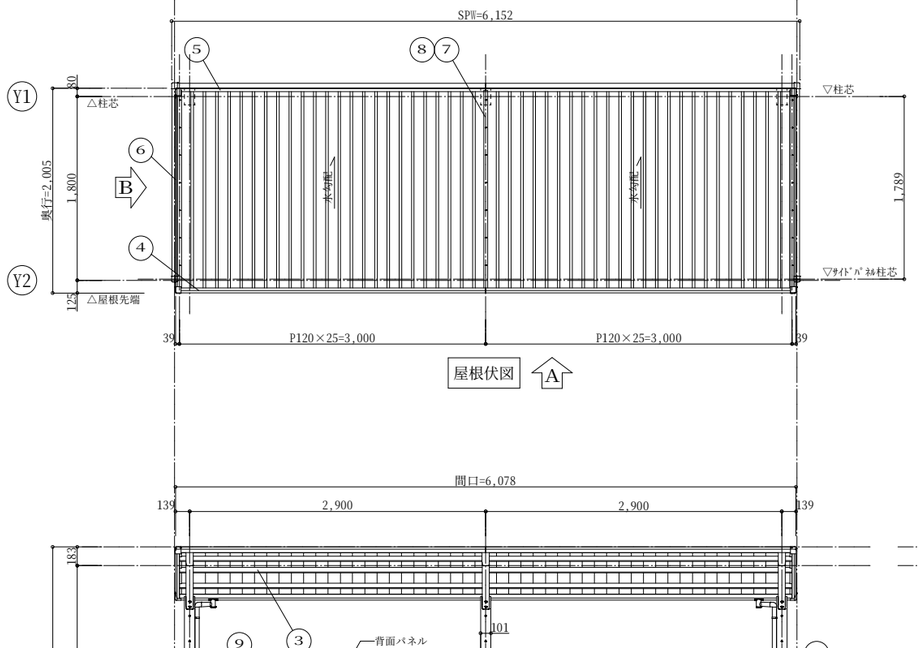
主要部材	仕様(材質・塗装)
① 支柱	アルミ押出形材(A6005CS) 陽極酸化・塗装複合被膜
② 昇り梁	アルミ押出形材(A6005CS) 陽極酸化・塗装複合被膜
③ 母屋	アルミ押出形材(A6005CS) 陽極酸化・塗装複合被膜
④ 前枠	アルミ押出形材(A6005CS) 陽極酸化・塗装複合被膜
⑤ 後枠	アルミ押出形材(A6005CS) 陽極酸化・塗装複合被膜
⑥ 側枠	アルミ押出形材(A6005CS) 陽極酸化・塗装複合被膜
⑦ 小梁	アルミ押出形材(A6005CS) 陽極酸化・塗装複合被膜
⑧ 屋根押え	アルミ押出形材(A6063S) 陽極酸化・塗装複合被膜
⑨ 縦樋	アルミ押出形材(A6063S) 陽極酸化・塗装複合被膜
⑩ サイドパネル 前柱	アルミ押出形材(A6005CS) 陽極酸化・塗装複合被膜
⑪ サイドパネル 端部支柱	アルミ押出形材(A6005CS) 陽極酸化・塗装複合被膜
⑫ サイドパネル 上下桟	アルミ押出形材(A6005CS) 陽極酸化・塗装複合被膜
屋根材	アルミ押出形材(A6063S) 陽極酸化・塗装複合被膜
サイドパネル材	アルミ押出形材(A6063S) 陽極酸化・塗装複合被膜
ボルト類	SUS



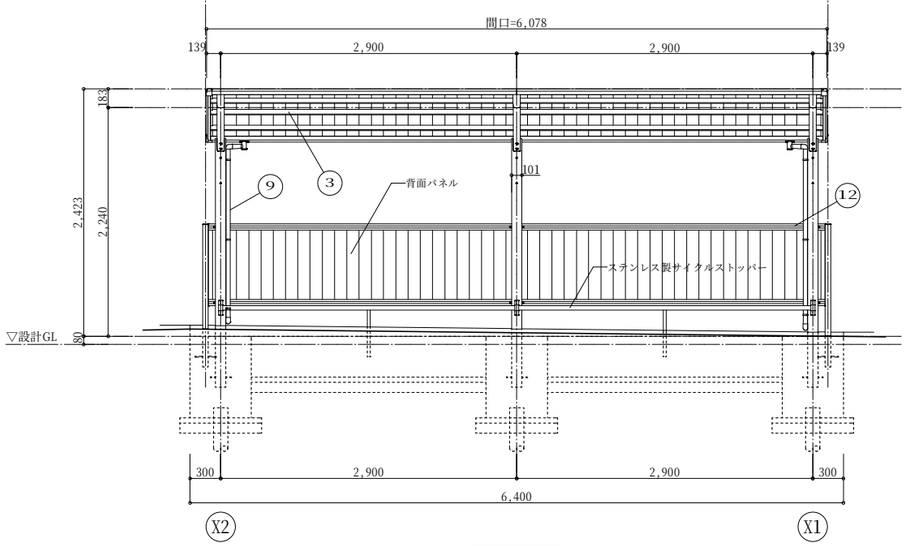
平面図（自転車置場１）



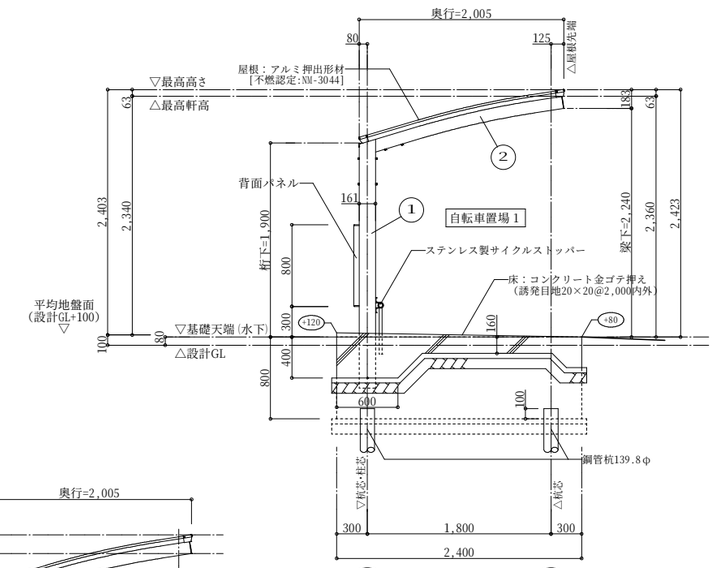
平面図（自転車置場２）



屋根伏図

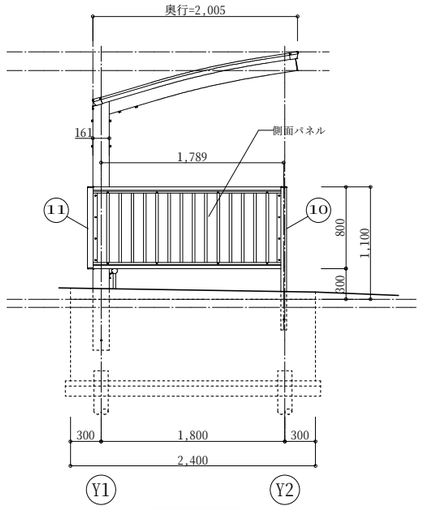


A側立面図　※基礎・ｽﾗﾌﾞ天端ﾚﾍﾞﾙは平面図参照のこと

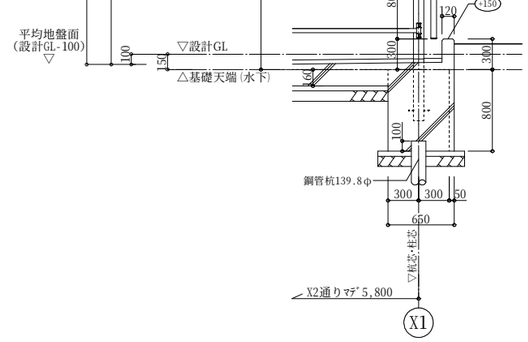


断面図

※基礎・ｽﾗﾌﾞ天端ﾚﾍﾞﾙは平面図参照のこと
※基礎・ｽﾗﾌﾞの配筋は構造図による



B側立面図



凡例
(±0)：設計GL＝4.000(KBM.1+520mm)からのレベルを示す（単位はmm）

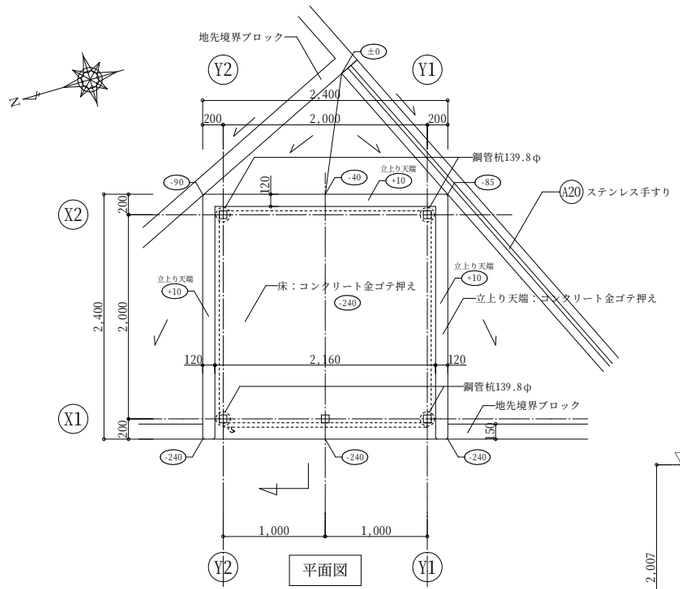
邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/30 A3 S=1/60		A
外構詳細図1			78

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

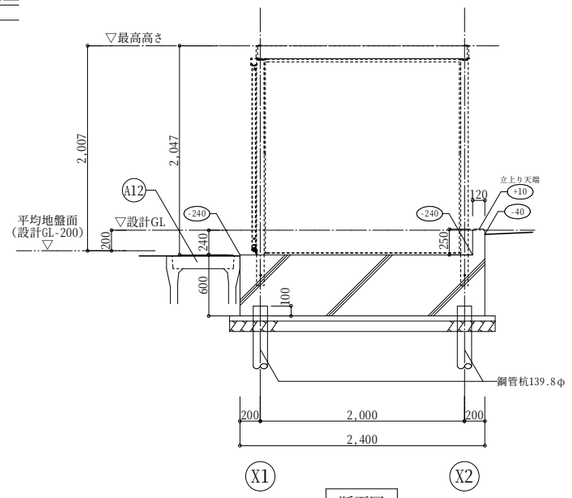
A2 ゴミ置場 詳細図 S=1/30

＜四国化成「ゴミストッカーAMR2型 1500N 引き戸式」同等品＞
W2,000×L2,000×H2,000

主要部材：アルミ押出形材

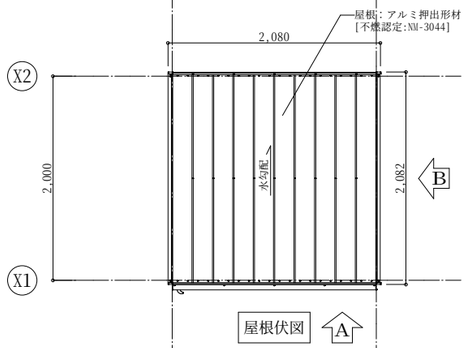


凡例
±0：設計GL＝4.000(KBM.1+520mm)からのレベルを示す（単位はmm）

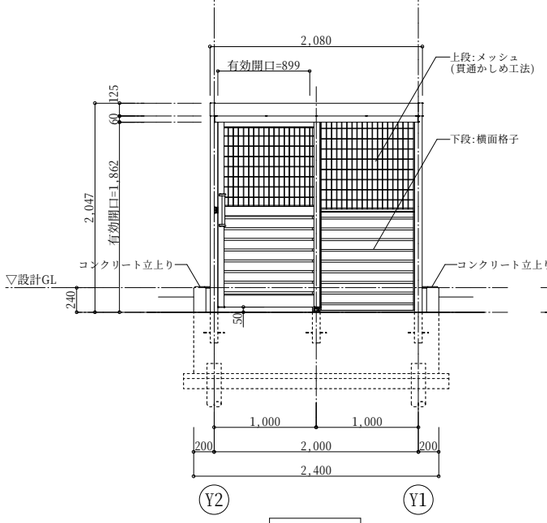


断面図

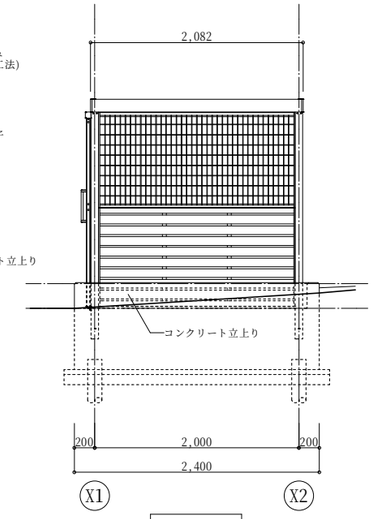
※基礎の配筋は構造図による



屋根伏図



A側立面図

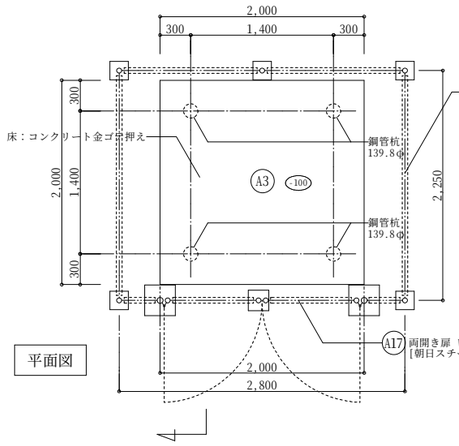


B側立面図

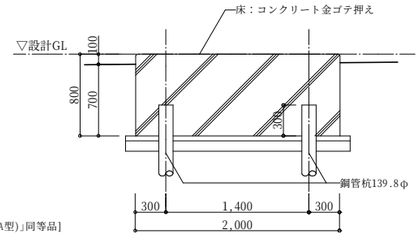
A3 A14 A17 LPバルク廻り 詳細図 S=1/30

＜朝日スチール工業(株)「UNフェンス(A型)」同等品＞
H=1500 両開き扉x1、基礎ブロック共

凡例
±0：設計GL＝4.000(KBM.1+520mm)からのレベルを示す（単位はmm）

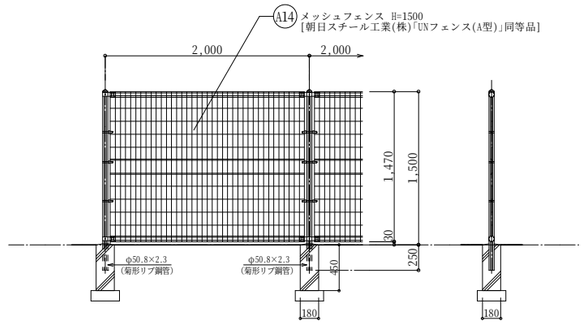


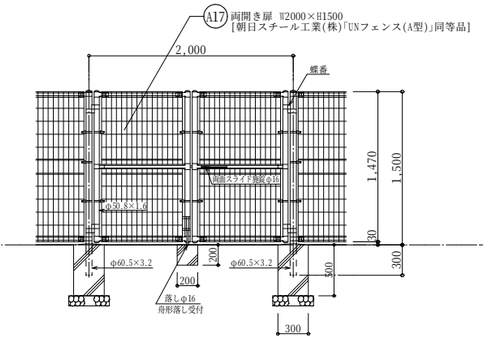
平面図



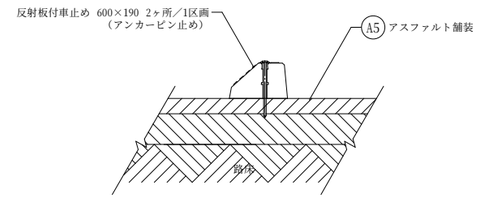
断面図

※基礎の配筋は構造図による

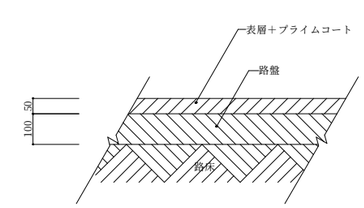




A4 車止めブロック 詳細図 S=1/10

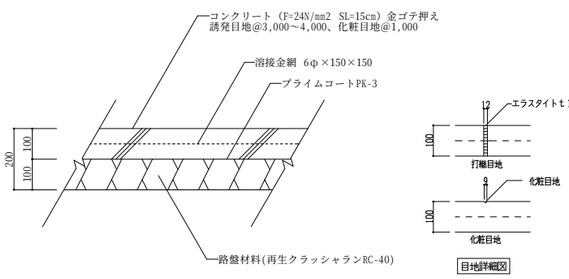


A5 アスファルト舗装 詳細図 S=1/10



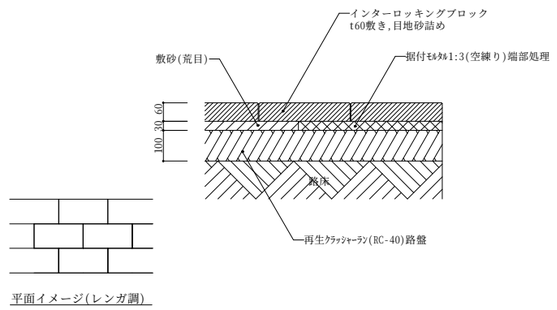
表層－再生密粒度アスコン(13mm) t=50
路盤－再生砕石(RC-40) t=100
プライムコート(PK-3)

A6 コンクリート舗装 詳細図 S=1/10



目地詳細図

A7 インターロッキング舗装 詳細図 S=1/10

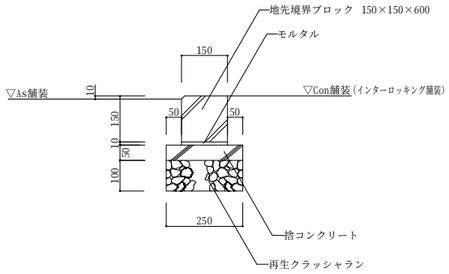


平面イメージ(レンガ調)

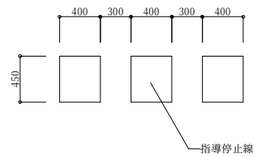
邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=図示 A3 S=図示		A
外構詳細図2			79

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号 TEL086-244-0173
１級建築士事務所 岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録 第１１８２３６号 大石雅弘

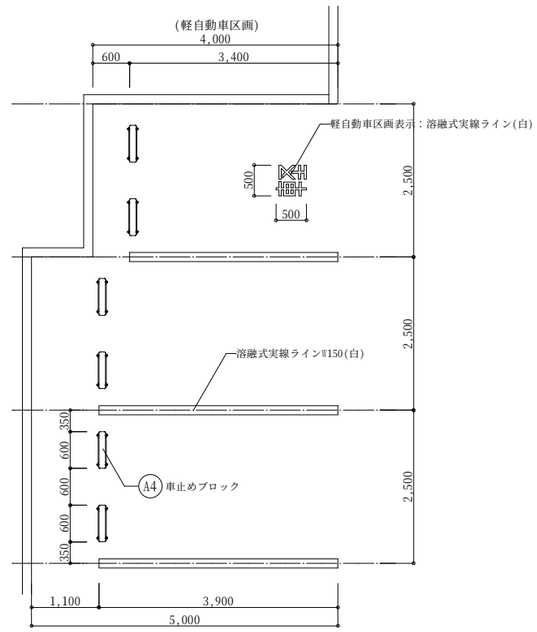
A8 地先境界ブロック 詳細図 S=1/10



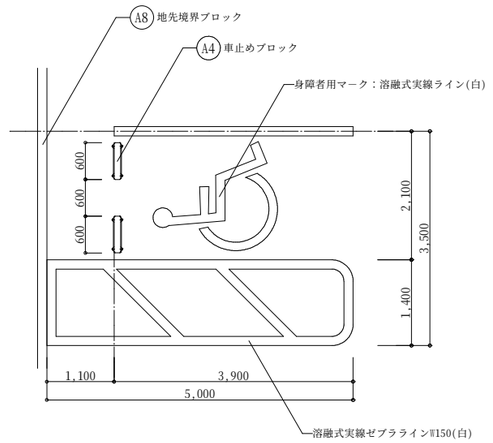
A9 構内表示 詳細図 S=1/30



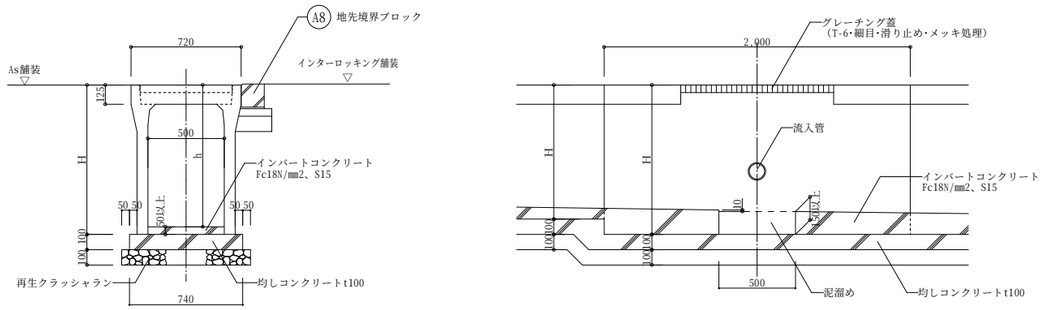
A10 駐車区画ライン 詳細図 S=1/50



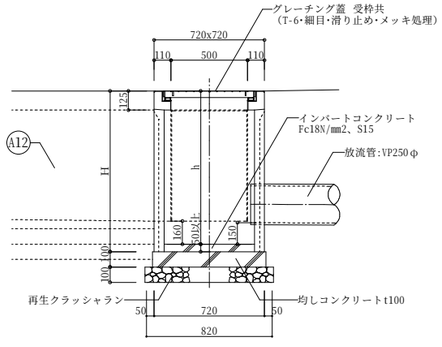
A11 身障者用駐車区画ライン 詳細図 S=1/50



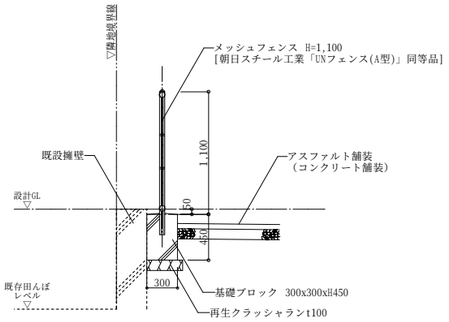
A12 自由勾配側溝 詳細図 S=1/20



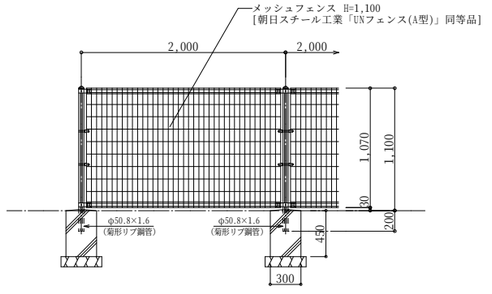
A13 自由勾配側溝用集水桝 詳細図 S=1/20



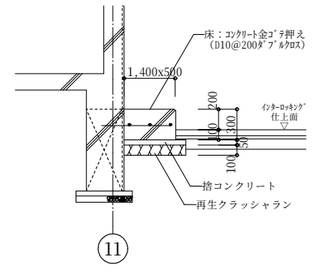
A15 メッシュフェンス 詳細図 S=1/30



西側隣地(田んぼ)取り合い

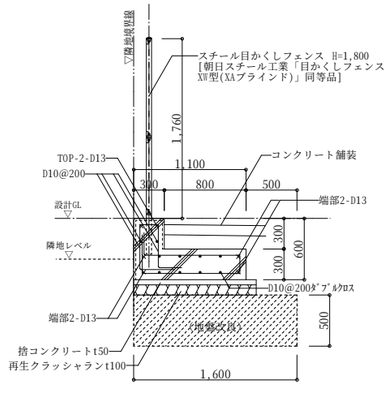


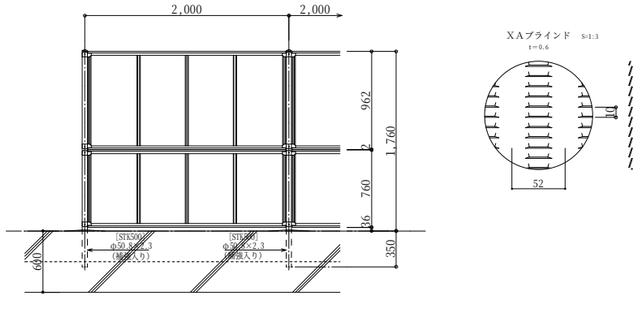
A19 開閉器盤基礎 詳細図 S=1/30



※基礎寸法は現場にて開閉器盤寸法と調整のこと

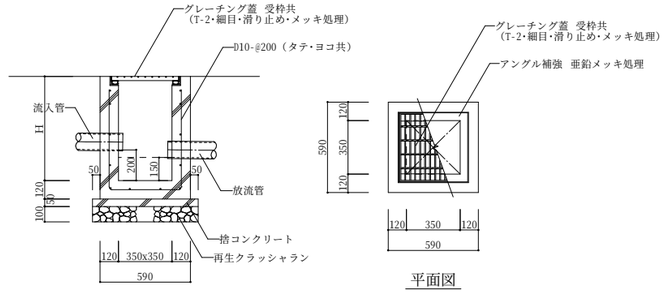
A16 目隠しフェンス 詳細図 S=1/30





※地盤改良固化剤は60kg/m3低粉塵対策型（参考:TL-ACE同等品）とする

A18 集水桝 詳細図 S=1/20



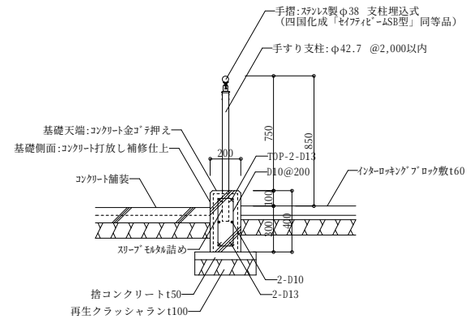
断面図

平面図

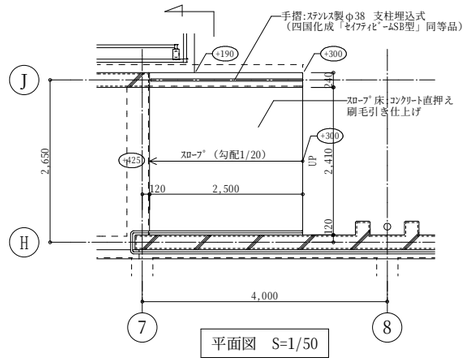
邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=図示 A3 S=図示/2	A
外構詳細図3		80

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号 TEL086-244-0173
１級建築士事務所 岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録 第１１８２３６号 大石雅弘

A20 手すり 詳細図 S=1/20

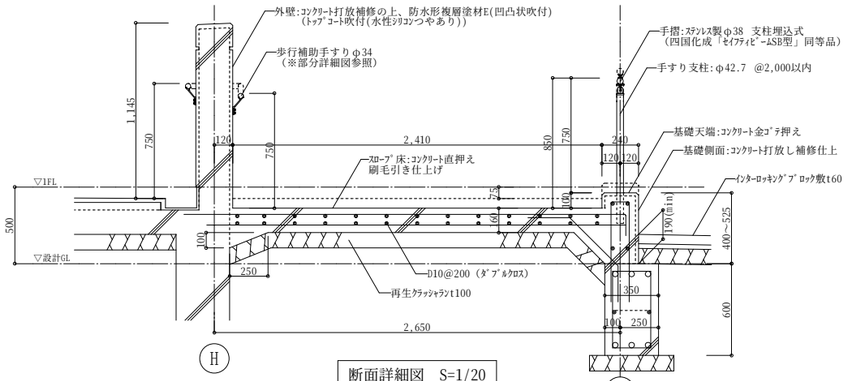


A21 スロープ 詳細図 S=1/50,1/20



平面図 S=1/50

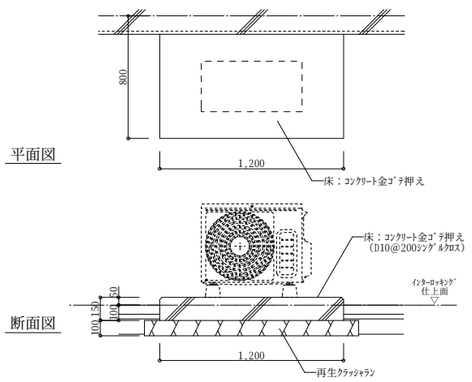
凡例
(±0)：設計GL＝4.000(KBM.1+520mm)からの
レベルを示す（単位はmm）



断面詳細図 S=1/20

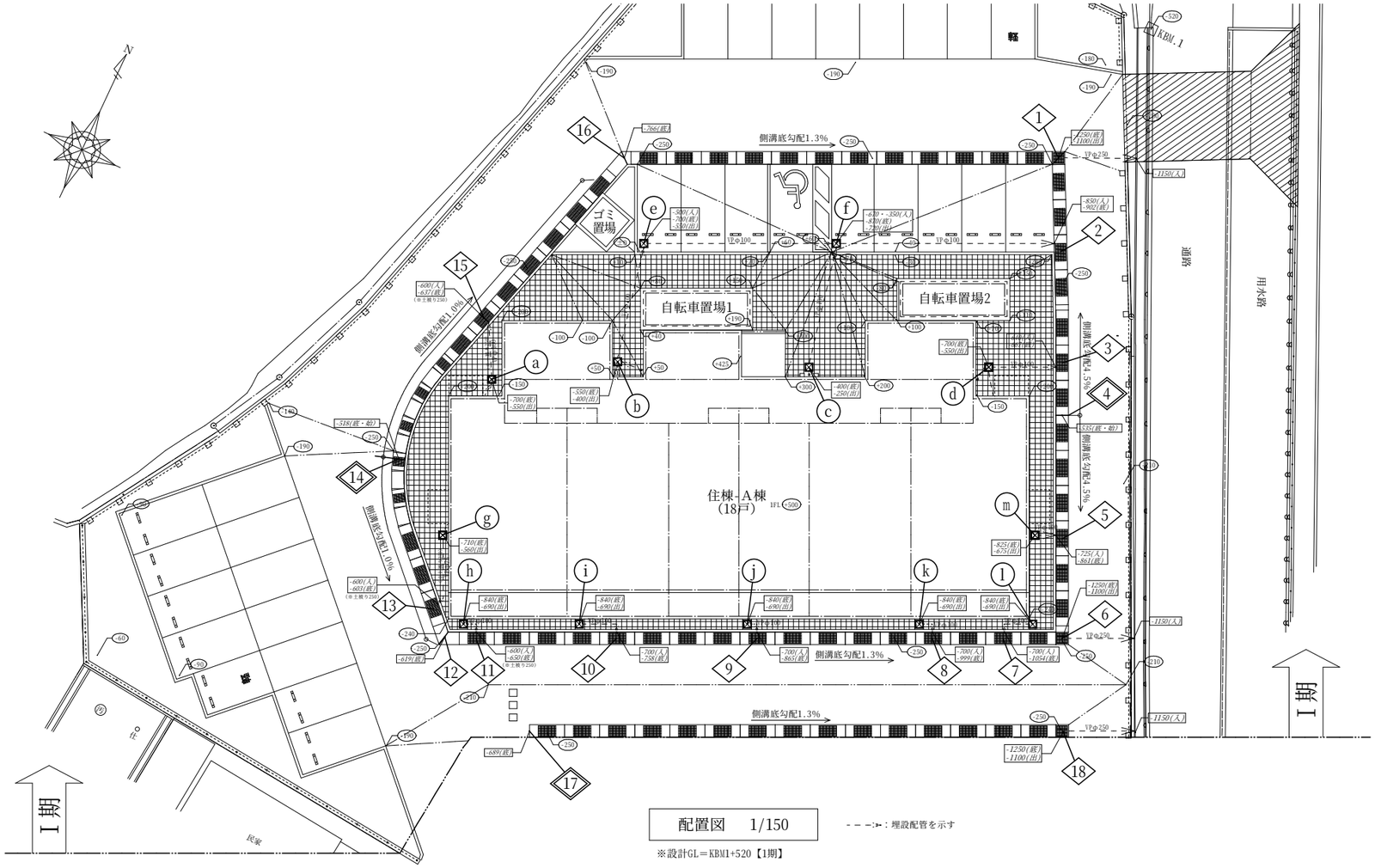
※基礎・ｽﾗﾌﾞの配筋は構造図による

A22 室外機置場 詳細図 S=1/20



邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=図示 A3 S=図示/2		A
外構詳細図4			81

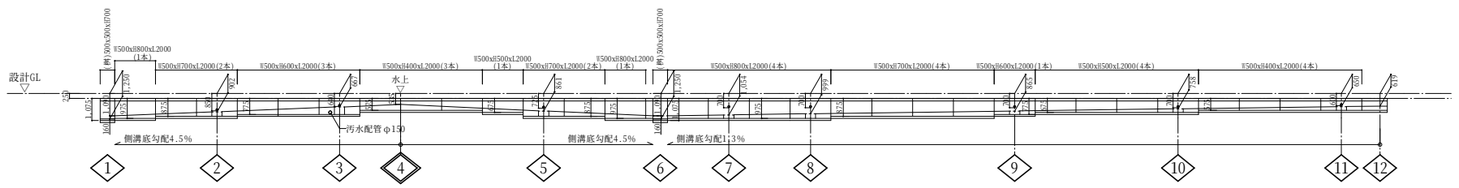
（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号 TEL086-244-0173
１級建築士事務所 岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録 第１１８２３６号 大石雅弘

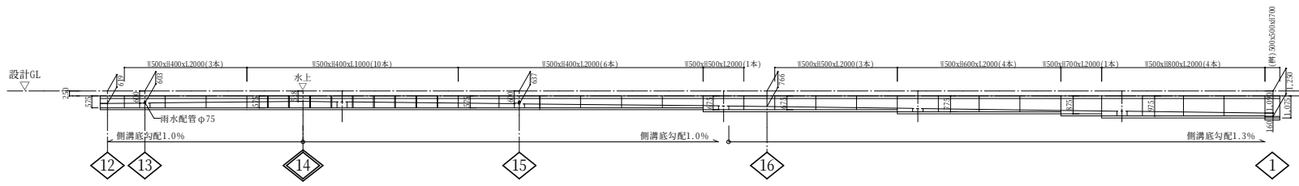


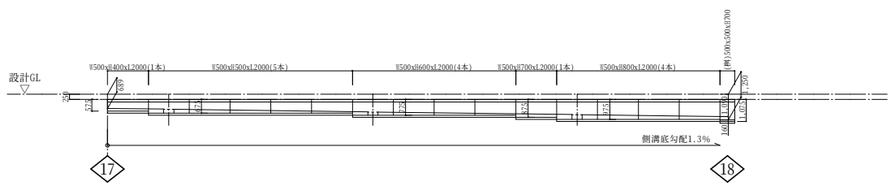
配置図　1/150

－－－▸：埋設配管を示す

※設計GL＝KBM1+520【1期】







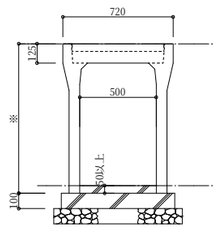
自由勾配側溝断面図　1/150

※10m以内に泥溜めを設けること

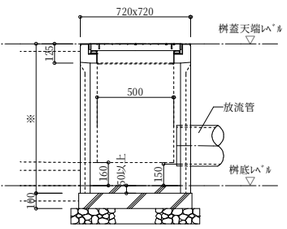
※自由勾配側溝・自由勾配側溝用桝の孔明けの大きさは下記とする
接続する配管がφ250の場合φ300
接続する配管がφ150の場合φ200
接続する配管がφ100の場合φ150
接続する配管がφ75の場合φ125

桝リスト　　設計GL＝4.000(KBM.1+520㎜)からのレベルを示す（単位は㎜）

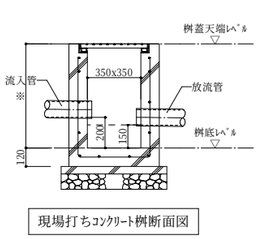
記号	寸法	桝仕様	桝蓋天端レベル	桝底レベル	流入側管底 / 流出側管底	備考
◇1	500x500	自由勾配側溝用桝	-250	-1250	-1110 / -1100	既設側溝へ接続 流入側管底:設計GL-1150
◇2	W500	自由勾配側溝	-250	-902	-850 / —	
◇3	W500	自由勾配側溝	-250	-667	-640 / —	
◇4	W500	自由勾配側溝	-250	-535（桝底水上）	—	
◇5	W500	自由勾配側溝	-250	-861	-725 / —	
◇6	500x500	自由勾配側溝用桝	-250	-1250	-1110 / -1100	既設側溝へ接続 流入側管底:設計GL-1150
◇7	W500	自由勾配側溝	-250	-1054	-700 / —	
◇8	W500	自由勾配側溝	-250	-999	-700 / —	
◇9	W500	自由勾配側溝	-250	-865	-700 / —	
◇10	W500	自由勾配側溝	-250	-758	-700 / —	
◇11	W500	自由勾配側溝	-250	-650	-600 / —	
◇12	W500	現場打ちｺﾝｸﾘｰﾄ側溝（ｺｰﾅｰ）	-250	-619	—	
◇13	W500	自由勾配側溝	-250	-603	-600 / —	
◇14	W500	自由勾配側溝	-250	-518（桝底水上）	—	
◇15	W500	自由勾配側溝	-250	-637	-600 / —	
◇16	W500	現場打ちｺﾝｸﾘｰﾄ側溝（ｺｰﾅｰ）	-250	-766	—	
◇17	W500	自由勾配側溝	-250	-689（桝底水上）	—	
◇18	500x500	自由勾配側溝用桝	-250	-1250	-1110 / -1100	既設側溝へ接続 流入側管底:設計GL-1150
ⓐ	350x350	現場打ちｺﾝｸﾘｰﾄ桝	-170	-700	— / -550	
ⓑ	350x350	現場打ちｺﾝｸﾘｰﾄ桝	+45	-550	— / -400	
ⓒ	350x350	現場打ちｺﾝｸﾘｰﾄ桝	+270	-400	— / -250	
ⓓ	350x350	現場打ちｺﾝｸﾘｰﾄ桝	-120	-700	— / -550	
ⓔ	350x350	現場打ちｺﾝｸﾘｰﾄ桝	±0	-700	-500 / -550	
ⓕ	350x350	現場打ちｺﾝｸﾘｰﾄ桝	+60	-870	-350(c側) -670(e側) / -720	
ⓖ	350x350	現場打ちｺﾝｸﾘｰﾄ桝	-225	-700	— / -550	
ⓗ	350x350	現場打ちｺﾝｸﾘｰﾄ桝	-240	-840	— / -690	
ⓘ	350x350	現場打ちｺﾝｸﾘｰﾄ桝	-240	-840	— / -690	
ⓙ	350x350	現場打ちｺﾝｸﾘｰﾄ桝	-240	-840	— / -690	
ⓚ	350x350	現場打ちｺﾝｸﾘｰﾄ桝	-240	-840	— / -690	
ⓛ	350x350	現場打ちｺﾝｸﾘｰﾄ桝	-240	-840	— / -690	
ⓜ	350x350	現場打ちｺﾝｸﾘｰﾄ桝	-225	-825	— / -675	



自由勾配側溝断面図



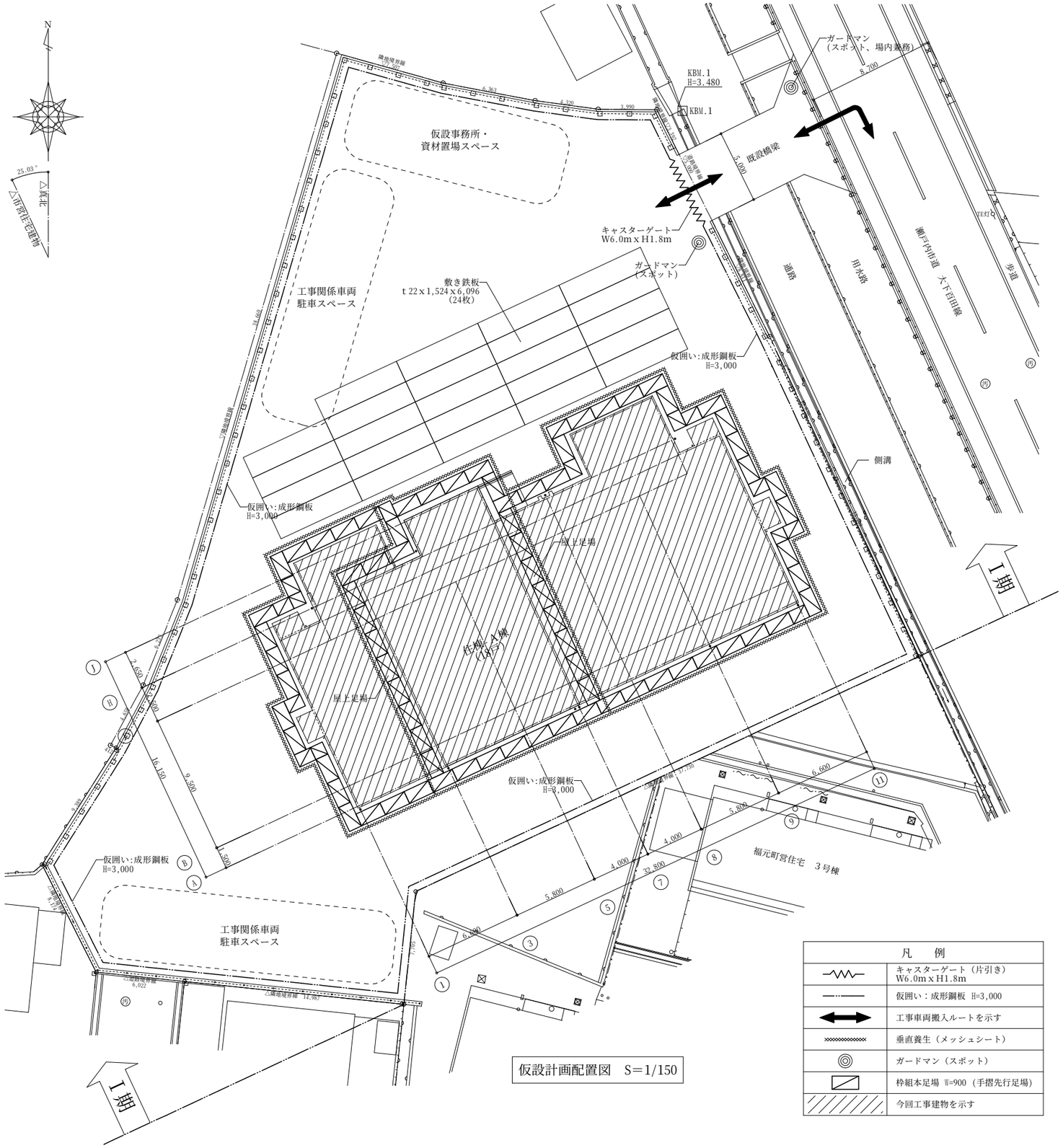
自由勾配側溝用桝断面図



現場打ちｺﾝｸﾘｰﾄ桝断面図

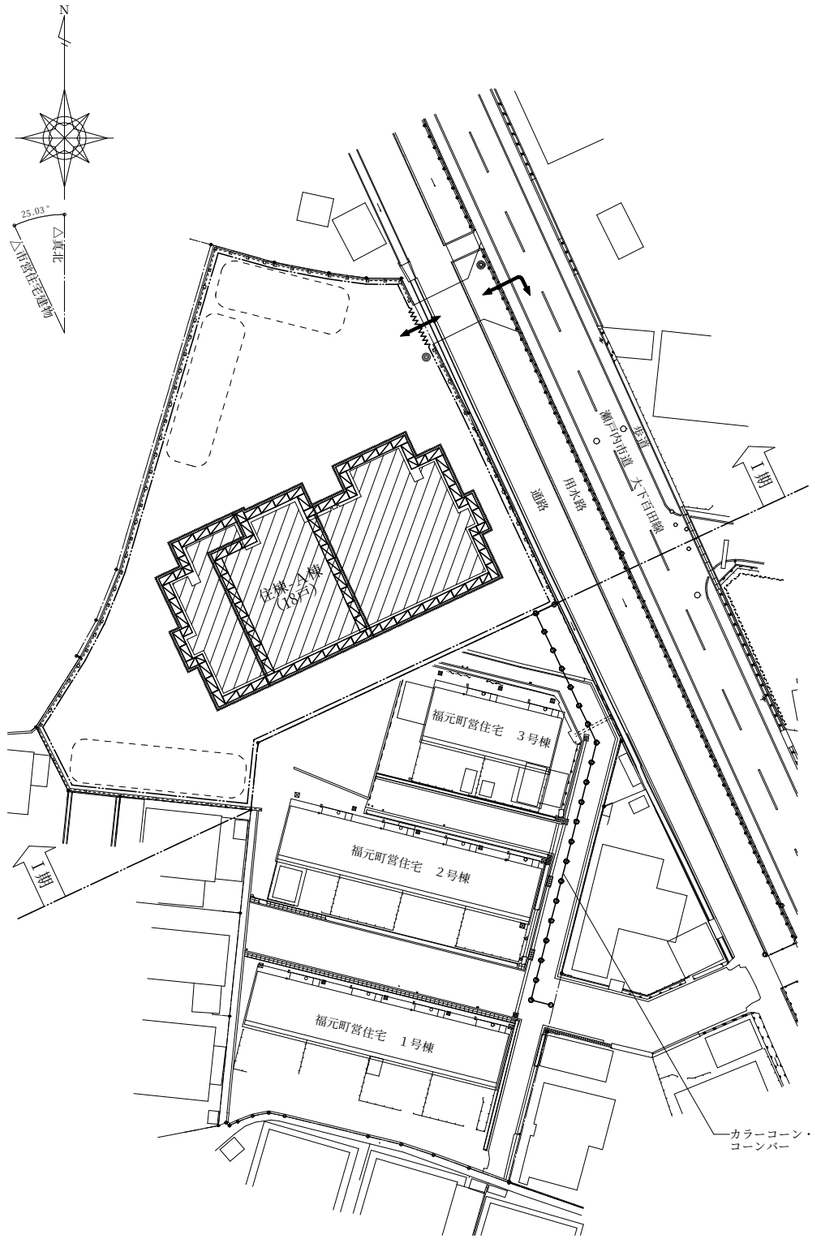
邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1　S=1/150 A3　S=1/300	A	
集水桝計画図			82

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



仮設計画配置図　S＝1/150

凡　例	
	キャスターゲート（片引き） W6.0m×H1.8m
	仮囲い：成形鋼板 H=3,000
	工事車両搬入ルートを示す
	垂直養生（メッシュシート）
	ガードマン（スポット）
	枠組本足場 W=900（手摺先行足場）
	今回工事建物を示す



凡　例	
	カラーコーン・コーンバー

仮設計画配置図（隣接敷地）S＝1/350

[特記事項]
・仮設計画図は参考のため、施工者で図面以外に必要な仮設は入札時に見込むこと

参考図

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/150,1/350 A3 S=1/300,1/700	A
参考仮設計画図		83

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

構 造 特 記 仕 様 書　　２０２３年度版

§1 一般事項

選択項目は ⦿ 印を適用し､⦿ 印が無い場合は ※ 印を適用する。
○ 印が複数有る場合は、共に適用する。

1-1　使用材料は原則としてJIS規格品、JAS規格品、又は大臣認定品とする。

1-2　設計図書の優先順位は下記による。
1)本特記仕様書
2)設計図
3)標準図　⦿ 鉄筋コンクリート構造配筋標準図　• 鉄骨工作標準図　• 鉄筋鉄骨コンクリート構造標準図　• 高強度せん断補強筋施工仕様書　• 鉄筋コンクリート壁式標準配筋図
4)仕様書 (　⦿公共建築協会　※日本建築家協会　)
5)日本建築学会標準仕様書 , JASS5 , JASS6 (最新版とする)

1-3　各工事に際して、施工計画書及び施工図を提出し、工事監理者の承諾を得る。

1-4　構造関係材料及び各種試験成績書・検査報告書を作成し提出する。
第三者機関による検査・試験費用は工事費に (※含む　• 含まない)

1-5　設計図書に示されていない材料、工法等を採用する場合は文書にて工事監理者の承諾を得る。

1-6　梁貫通位置、径、及び箇所数は(•意匠図　• 構造図　※設備図)による。

1-7　その他

§2 構造計算ルート

2-1

方　向	構造計算ルート
X	⦿ルート1　•ルート2　•ルート3　•
Y	⦿ルート1　•ルート2　•ルート3　•

2-2　鉄筋の継手(定着については設計図若しくは標準図による)
構造計算ルート別による主筋又は、耐力壁の鉄筋の継手の重ね長さ
※　建築基準法施行令第73条第2項による仕様規定
• 日本建築学会　JASS5(2018),鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説
• 日本建築学会　RC規準2018
XY両方向共ルート3及び限界耐力計算の場合は、令第73条第2項の仕様規定によらずJASS5(2018),鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説及びRC規準2018とすることができる。

§3 仮設工事,土工事

3-1　山留め、根切り

3-2　埋戻し土、盛土、残土処分
埋戻し土　※ 根切り土の中の良土　• 搬入良土(埋戻し土は30cm毎に転圧締固めを行うこと)
盛土　※ 根切り土の中の良土　• 搬入良土(盛土は30cm毎に転圧締固めを行うこと)
残土処分　• 場内地均し　※ 場外搬出処分(※ 自由　• 指定場所)

§4 地業工事

4-1　基礎及びスラブ下地業　(単位mm)

場　所		捨てコンクリート厚さ 注1)	A : 砕石 / B : 割栗石	厚　さ
基礎	独立,布	※ 50 • 60 • 100	※ A • B	※ 60 • 100 • 150 •
	ベタ	※ 50 • 60 • 100	※ A • B	※ 60 • 100 • 150 •
基礎梁		※ 50 • 60 • 100	※ A • B	※ 60 • 100 • 150 •
構造スラブ		※ 50 • 60 • 100	※ A • B	※ 60 • 100 • 150 •
土間コンクリート	屋内	※ 50 • 60 • 100	※ A • B	※ 60 • 100 • 150 •
	屋外	• 50 • 60 • 100	※ A • B	• 60 ※ 100 • 150 •

注1).アンカーボルト支持用フレームの、あと施工アンカーを打込む部分は100以上とする。
注2).端部aは100以上とする。



~~4-2~~　設計地耐力　長期　kN/㎡　短期　kN/㎡　終局　kN/㎡
地耐力載荷試験　• 行う (箇所,長期設計耐力の3倍を確認する)　※ 行わない

~~4-3~~　地盤改良
• 無筋コンクリート地業　• 締固め工法　• ソイルセメント杭
• セメント系固化材撹拌　• 圧密排水工法　•
[• 載荷試験　• 一軸圧縮試験]　• 行う (箇所)　※ 行わない
[• 六価クロム溶出試験　]　• 行う　※ 行わない

4-4　既製コンクリート杭、鋼管杭、その他特殊杭
1)杭種
• PHC杭　• A種　• B種　• C種　•
• ST杭　• A種　• B種　• C種　•
• SC杭　t =mm　•　•　•　•
⦿ PRC杭　⦿ Ⅰ種　• Ⅱ種　• Ⅲ種　⦿ Ⅳ種
⦿ 節杭　⦿ A種　• B種　• C種　•
• 鋼管杭
2)工法
• 打撃工法　• 油圧ハンマー　• ディーゼルハンマー
⦿ 埋込み工法　• プレボーリングセメントミルク注入工法
⦿ プレボーリング拡大根固め工法(HyperMEGA工法)
杭周固定液　※ あり　• なし
• 中掘拡大根固め工法(認定工法)
• 回転埋設根固め工法(認定工法)
• 回転杭工法
先行掘削　※ あり　• なし
3)杭径,設計耐力,本数表

杭径(拡底部)mm	長期kN	短期kN	終局kN	本数	備　考
500,500-700(-)	2360			10	
500,350-500(-)	1450			25	
( )					
( )					

4)杭の構成は設計図による。
5)杭頭補強
• かご筋　• スタッド溶接　• 杭外周溶接　⦿ NCPアンカー

~~4-5~~　場所打鉄筋コンクリート杭,場所打鋼管コンクリート杭
1)工法
• アースドリル工法　• 拡底アースドリル工法
• リバース工法　• オールケーシング工法　(• ベノト工法 •)
• BH工法　•
2)杭径,設計耐力,本数表(拡底部は施工径を示す)

杭径(拡底部)mm	管厚 mm	長期kN	短期kN	終局kN	本数	備　考
( )						
( )						
( )						
( )						
( )						

3)杭先端深さ　• GL- m　• 杭リストによる　• 杭伏図による
4)孔壁測定　(2 方向)
※ 行う　(• 全数　• %　)　• 行わない
5)使用材料　コンクリートの仕様は設計図による。特記のない場合JASS5水中コンクリートによる。
コンクリート　Fc　(• 普通ポルトランドセメント　• 高炉セメントB種)
鉄筋　• D 以下　SD295　• D 以上　SD345
• D 以上　SD390
鋼管(リブ付)　• SKK400　• SKK490

4-6　杭打地業共通事項
1)[• 試験杭　• 試験掘] ⦿ 行う(1 本)　• 行わない
2)載荷試験　• 行う (箇所,長期設計耐力の3倍を確認する)　※ 行わない
3)SL塗布　• 行う　※ 行わない

§5 鉄筋工事

5-1　材種

種　類	径	継　手
⦿SD295	D 16 以下	※ 重ね継手　•スパイラル　• 工場溶接
⦿SD345	D 19 以上	• 重ね継手　※ ガス圧接　• 溶接継手
• SD390	D 以上	※ ガス圧接　•溶接継手　• 機械継手(級)
• SD490	D 以上	• ガス圧接　※ 溶接継手　• 機械継手(級)
• 溶接金網		• 重ね継手
• 高強度せん断補強筋	• 1275級 P • 785級 K • 685級 U	•フック加工　• スパイラル　• 工場溶接

5-2　ガス圧接部の検査(第三者機関による)外観検査全数(引張り試験の場合、施工者自主検査でもよい)
⦿ 抜取り検査
• 引張り試験(JISZ3120)
1検査ロットにつき　※ 3本　• 原則 柱・梁の径毎に3本
⦿ 超音波探傷試験(JISZ3062)　• 熱間押抜き試験
1検査ロットにつき　⦿ 30箇所　•
○ 不合格となった圧接部は切り取って再圧接を行う。また残り全数に対して超音波探傷試験を行う。
1検査ロットは1組の作業班が1日に施工した圧接箇所の数量で200箇所以内

5-3　溶接、機械式継手の検査は各々の認定方法による他,日本継手協会仕様書(2017年)及び下記を参照する。
JIS Z 3063 (鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波探傷試験方法及び判定基準)
JIS Z 3064 (鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定試験方法及び判定基準)

5-4　梁貫通補強
補強筋は原則として工場製品(評定品)を使用する。

5-5　その他
基礎梁、基礎小梁の継手及び定着は原則として　⦿ ①一般　• ②地反力を受ける　• ③上載荷重が大きい場合　とする。
梁の余長ℓ_1の採用　大梁・小梁　※ D'（梁有効成)　• 端部上下筋15d　中央上下筋20d
基礎梁　※ min(D' ,L_2)　• 端部上下筋15d　中央上下筋20d
鉄筋の組立は適切な位置にスペーサーを使用し、組立後は形状保持のための養生を行う。
コンクリートを2回打する部材は、初回の打設後に鉄筋の清掃を行う。
コンクリート打設前に工事監理者の検査を受け不備な箇所は修正を行う。
現場施工前に鉄筋加工図を作成し、構造監理者を交えた検討会を実施してから加工、施工すること。

§6 コンクリート工事

6-1　レディーミクストコンクリート(JIS A5308-2019)
1)セメント　※ 普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄJISR5210　• 高炉ｾﾒﾝﾄB種
• 低熱ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄJISR5210　•
2)粗骨材　⦿砂利　㊙ 砕石　• 高炉ｽﾗｸﾞ骨材　•人工軽量骨材　•再生骨材
最大径(mm)　※ 20　• 25　• 40
3)設計基準強度　(N/㎜²)　(使用区分は設計図の軸組図に示す)
⦿ 普通コンクリート
• Fc18　• Fc21　⦿ Fc24　• Fc27　• Fc30　• Fc　• Fc
• 軽量コンクリート(※ 1種　• 2種　気乾単位容積質量　※ 18.5 •)
• LFc18　• LFc21　• LFc24　• LFc27　• LFc30　• LFc
4)土間コンクリート　⦿ Fc 24　(ただし柱,壁等と同時に打込む場合は躯体の強度とする)
5)捨てコンクリート　⦿ Fc 18
6)防水押さえコンクリート　• Fc　• LFc　(気乾単位容積質量　※ 18.5 •)
7)かさ上げコンクリート　• Fc　• LFc　(気乾単位容積質量　※ 18.5 •)

6-2　混和材　※AE減水剤　• 高性能AE減水剤　• 躯体防水材　• 膨張材
注1).混和剤は所定の品質を確保するためにプラントの特性に応じたもの使用する。

6-3

箇　所	基礎, 基礎梁	床(1階)	躯体		備　考
スランプ　cm	15	15	18		
水セメント比　%	50以下	50以下	50以下		
単位水量　kg/㎥	185以下	185以下	185以下		
単位セメント量 kg/㎥	270以上	270以上	270以上		
空気量　%	4.5	4.5	4.5	4～6%を厳守すること	

6-4　試験 (躯体コンクリートの28日圧縮試験は公的機関において行う)
1)骨材　[• 塩分含有量　• アルカリシリカ反応性]　※ 行う　• 行わない
2)フレッシュコンクリート　[• スランプ　• 空気量]　※ 行う　• 行わない
3)躯体のせき板取り外し時期決定圧縮試験　※ 行う　• 行わない
4)コンクリートコア抜き取り圧縮試験　• 行う　※ 行わない
5)マスコンクリートのひび割れ照査(温度応力解析)　• 行う　※ 行わない
6)単位水量測定　• 行う　• 行わない

6-5　調合 (補正値は工事費に含む)
計画供用期間の級( )は耐久設計基準強度Fd
• 短期(18)　• 標準(24)　• 長期(30)　• 超長期(36)
調合管理強度　Fm=Max(Fc,Fd)+S　S=3～6
材齢28日の調合強度Fmは下記の両式を満足するものとする。
$F \geqq Fn+1.73\sigma$　$F \geqq 0.85Fn+3\sigma$

6-6　せき板及び支柱の在置期間(普通ポルトランドセメントの場合)

		基礎、梁側、柱、壁	スラブ下	梁　下
コンクリートの材齢による場合	15 ℃以上	3 日	17 日	28 日
	5 ℃以上	5 日	25 日	
	0 ℃以上	8 日	28 日	
圧縮試験による場合		5N/㎟	注)0.85Fcまたは12N/㎟	注) 設計基準強度

注) かつ、施工中の荷重及び外力について、構造計算により安全が確認されるまで。

6-7　住宅性能表示　劣化等級　• 等級2　⦿ 等級3
劣化等級2又は3を指定する場合は、鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)2-7かぶり厚さが変わる為､かぶりを訂正又は､設計図に明示する

~~6-8~~　Fc36を超える場合は高強度コンクリートとし、仕様は別記特記仕様書(JASS5等)による

§7 鉄骨工事

7-1　材種及び使用箇所

規格名称	鋼材名	柱	通しダイア	内ダイア	大梁	ﾌﾞﾚｰｽ	小梁他
一般構造用圧延鋼材	• SS400　•						
溶接構造用圧延鋼材	• SM400A　• SM490A						
建築構造用圧延鋼材	• SN400A　•						
	• SN400B　• SN490B						
	• SN400C　• SN490C						
一般構造用角形鋼管	• STKR400　• STKR490						
冷間成形角形鋼管	• BCR295　•						
	• BCP235　• BCP325						
熱間成形角形鋼管	• SHC400B　• SHC400C						
	• SHC490B　• SHC490C						
一般構造用炭素鋼管	• STK400　• STK490						
	• STKN400　• STKN490						
一般構造用軽量形鋼	• SSC400　•						
建築構造用圧延棒鋼	• SNR400						

7-2　高力ボルト

高力ボルトの種類		使用箇所
トルシア形高力ボルト	※ S10T	全般
JIS形高力ボルト	• F10T	トルシア形が使用できない部分
溶融亜鉛メッキ高力ボルト	• F8T	母材が亜鉛メッキされている部分
超高力ボルト	• S14T	屋内環境

7-3　普通ボルト,アンカーボルト
1)材質　• SS400　• SS400(M 以上)
• ABR400　• ABR490　• ABM400　• ABM490(ABMはM24以上)
2)大臣認定柱脚(メーカー仕様による)　• 使用する　• 使用しない

7-4　頭付きスタッド

径	長　さ(mm)	使用箇所
16 φ	• 80　• 100　• 120　• 150　•	
19 φ	• 80　• 100　• 120　• 150　•	
22 φ	• 100　• 120　• 150　•　•	

7-5　溶接材料
1)アーク溶接に使用する溶接棒,ワイヤ及びフラックスは母材の種類,寸法,及び溶接条件に相応したものを選定する。
2)ガスシールドアーク溶接に使用するシールドガスは溶接に相応したものとする。

7-6　スカラップ形状　※ ノンスカラップ工法　• スカラップ工法

7-7　継手

	柱		梁	
フランジ	• 高力ボルト	• 現場溶接	※ 高力ボルト	• 現場溶接
ウェブ	• 高力ボルト	• 現場溶接	※ 高力ボルト	• 現場溶接

7-8　溶接手法及び管理
1)　使用する溶接ワイヤー、入熱量及びパス間温度等の仕様については鉄建協又は全構協の仕様で、専任の溶接施工管理技術者により管理を行うこと。
2)　完全溶け込み溶接はAW検定の有資格者が行うとする指定を　• 行う　• 行わない
3)　本工事で代替タブを使用する場合は、代替タブ溶接技術者技量検定付加試験を　• 行う　• 行わない
但し、代替タブのAW検定有資格者は技量検定付加試験を免除する。

7-9　デッキプレート　(単位　mm)
1)　床用　高さ •　板厚 •
2)　合成スラブ用　高さ •　板厚 •
3)　型枠用　高さ •　板厚 •　形版　タイプ
4)　防錆処理　• プライマー　• 亜鉛メッキ　• Z12　• Z27

7-10　塗装(工場塗 ※ 2回　• 1回、現場タッチアップ程度とする)
1)　素地調整　※ ケレン　• ブラスト
2)　下塗り用塗料

適用 屋外	適用 室内	塗　料	種　別		標準膜厚
	※	鉛、クロムフリ-錆び止め　JISK5674	※ 1種	• 2種	30μm
	•	水系さび止めペイント　JASS18　M-111			30μm
•		変性エポキシ樹脂プライマー　JASS18　M-109	• 1種	• 2種	40μm
•		有機ジンクリッチプライマー　JISK5552		• 2種	15μm
•		構造物用さび止めペイント　JISK5551	A種		30μm

3)　溶融亜鉛メッキ　• 行う　• 行わない
4)　常温亜鉛メッキ　• 行う　• 行わない
5)　高耐食メッキ鋼板 (t3.2mm以下)　• 用いる　• 用いない

7-11　溶接部の検査(受入検査)　※　行う　• 行わない
1)受入検査を行う第三者検査機関は、建築主、設計者、工事監理者又は工事施工者(元請)との直接契約による。
2)第三者検査機関は(社)日本溶接協会による UT検査事業者認定種別における超音波探傷検査部門の認定を取得した事業者とし、当該工事の鉄骨製作工場の社内検査を行っていない事業者とする。
3)受入検査は目視による外観検査と超音波探傷検査とし、社内検査完了後に行う。
4)外観検査の合否判定は国土交通省告示1464号による。ただし告示に定めのないものは日本建築学会「JASS6 鉄骨工事 2018 付則6. 鉄骨精度検査基準」の限界許容差による。
5)超音波探傷検査は日本建築学会「鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査規準・同解説」2018により、合否判定は7.2.1疲労を考慮しない溶接部のうち、引張応力が作用する溶接部の項を適用する。
6)溶接箇所数の数え方は「JASS6 鉄骨工事 2018」表10.1溶接箇所数の数え方による。
7)受入検査の抜取り方法及び抜取り率は以下による。
a)工場溶接の場合
ⅰ.検査ロットは各節、各工区毎に溶接箇所300箇所以内で構成する。
ⅱ.抜取り数は各ロット毎に30箇所をランダムにサンプリングする。
ⅲ.大きさ50個のサンプル中の不適合個数が1個以下のときはロットを合格とし、4個以上のときはロットを不合格とする。ただし、サンプル中の不適合数が1個を超え4個未満のときは、同じロットからさらに30個のサンプルを抜取検査する。総計60個のサンプルについての不適合個数の合計が4個以下のときはロットを合格とし、5個以上のときはロットを不合格とする。
b)現場溶接の場合
ⅰ.全数検査とする。
8)検査により不合格と判定された溶接部はすべて補修を行い、再検査して合格とならねばならない。
9)「すれ・食い違いの補修方法は、独立行政法人 建築研究所監修「突き合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による。

7-12　鉄骨製作工場　下記○印のグレード認定工場の内、納期・製作能力・鉄骨数量を勘案して工場選択のこと

国土交通省大臣認定(グレード)					
S	H	M	R	J	

建築設備の安全性の確保

令第１２９条の２の3の事項

・ 建築物に設ける建築設備にあっては、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。

□ 建築設備（昇降機を除く。）、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとすること。
□ 屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。
□ 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支枠を設けたものを除き、90cm以下とすること。
□ 煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。
□ 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、
□ 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
□ 建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
□ 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
□ 管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
□ 法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものにあっては建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとすること。
□ 給湯設備※は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の振動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
満水時の質量が15kgを超える給湯設備については、地震に対して安全上支障のない構造として、平成12年建設省告示第1388号第5に規定する構造方法によること。
※「給湯設備」：建設物に設ける電気給湯器その他の給湯設備で、屋上水槽等のうち給湯設備に該当するものを除いたもの

※　§6コンクリート工事において
JIS A 5308に適合したレディミクストコンクリートとする。
コンクリートの材料は、施行令７２条に適合した材料とする。
コンクリートの強度は施行令７４条に適合すること。
コンクリートの養生は、施行令７５条に適合すること。
※　§7-2高力ボルトの接合面の処理は、締め付け摩擦面を平グラインダー掛け等を行い黒皮を除去して一様に赤さびを自然発生させる。ただし、ショットブラスト等を行った場合にはこの限りではない。
※　§7-2の溶融亜鉛メッキ高力ボルトは接合面の摩擦係数μ＝0.4Nを確保すること。
プラスト処理面（50μmRz以上）とする。
※　外装材等の取付部の構造方法は施工令３９条に適合すること。

(販売元)一般社団法人日本建築構造設計事務所協会連合会　http://fasa-net.jp
(発行元)一般社団法人関西建築構造設計事務所協会　TEL(06)6763-8205　FAX(06)6763-8206　http://www.kse-web.com/
2023年2月1日作成　(不許複製)

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=N/S A3 S=N/S	S
構造特記仕様書		01

作図：一級建築士登録　第315826号　吉永　伸太郎
構造設計一級建築士　第8425号
（株）ＡＤＯ建築設計事務所　１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173　１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１） ２０２３年度版

§１ 一般事項

1－1 基本事項

1．使用材料、工法等は構造特記仕様書による。
2．設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。
　また本標準図に明記なき場合は構造特記仕様書１－２－４に指定した共通仕様書及び日本建築学会「JASS5(2018)」及び「鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説(2021)」による。
3．本標準図は異形鉄筋を対象とし、dは呼び名に用いた数値とする。

1－2 その他

4．本標準図に示す単位は特記なき限りすべてmmとする。

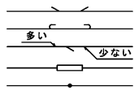
§２ 共通事項

2－1 鉄筋の表示記号

鉄筋の表示記号及び最外径は下表による。

記号	・	×	⌀	●	○	⊙	⊠	⊚	⊕	✦	▣
呼び径 d	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41
最外径 D	11	14	18	22	26	29	33	37	40	43	47

○ フックのない場合
○ フックのある場合
○ 本数に差がある場合
○ 機械式継手表示
○ ガス圧接、溶接継手表示



2－2 鉄筋の折り曲げ

柱・梁・基礎の主筋、及び、その他の鉄筋の折曲げ形状・寸法

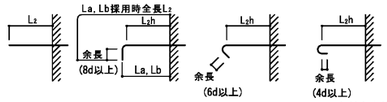
折曲げ角度	図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内法直径 (D)
180°	余長 4d 以上	柱・梁主筋 基礎主筋 帯　筋 あばら筋 スパイラル筋 スラブ筋 壁　筋	SD295	D16以下	3d以上
			SD345	D19～D41	4d以上
135°	余長 6d 以上		SD390	D41以下	5d以上
90°	余長 8d 以上		SD490	D25以下	5d以上
	(SD490は90°のみ)			D29～D41	6d以上

2－3 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

「JASS5 (2018)」に準拠

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 (N/mm²)	重ね継手の長さ	定着の長さ 一般	定着の長さ 小梁・床スラブ 上端筋	定着の長さ 小梁・床スラブ 下端筋
		上段 直線 L_1 下段 フック付き L_1h	上段 直線 L_2 下段 フック付き L_2h, La	フック付き Lb	L_2, L_2h
SD295 SD345 ()はSD345を示す	18	45d(50d) 35d	40d 30d, 20d	15d (20d)	L_2=20d L_2h=10d 床スラブの場合 L_2=10d かつ 150 以上
	21	40d(45d) 30d	35d 25d,15(20)d		
	24～27	35d(40d) 25d(30d)	30d(35d) 20d(25d), 15(20)d	15d	
	30～36	35d 25d	30d 20d,15d		
	39～45	30d(35d) 20d(25d)	25d(30d) 15d(20d), 15d		
	48～60	30d 20d	25d 15d,15d		
SD390 (SD490) ()は適用外	21	50d(-) 35d(-)	40d(-) 30d(-), 20d(-)	20d (-)	SD490は適用外
	24～27	45d(55d) 35d(45d)	40d(45d) 30d(35d), 20(25)d		
	30～36	40d(50d) 30d(35d)	35d(40d) 25d(30d), 20(25)d	15d (-)	
	39～45	40d(45d) 30d(35d)	35d(40d) 25d(30d), 15(20)d		
	48～60	35d(40d) 25d(30d)	30d(35d) 20d(25d), 15(20)d		

一般定着の直線L_2またはフック付きL_2h, La, Lbの図



直線定着　90°フック付き定着　135°フック付き定着　180°フック付き定着

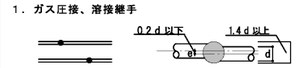
1．重ね継手の長さは鉄筋の折曲げ起点間の距離、又、フック付きのL_2h は仕口面から鉄筋の折曲げ起点までとし、末端のフックは定着長さに含まない。
2．軽量コンクリートを使用する場合は、2-3の数値に5ｄを加算する。

2－4 継手一般

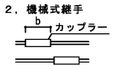
3．構造特記仕様書2-2で令第73条を選択した場合、主筋又は耐力壁の鉄筋の継手重ね長さは左下表L1かつ40ｄ(軽量コンクリートを使用する場合は50ｄ)とする。
4．構造特記仕様書2-2でJASS5(2018)、RC規準2018とした場合、主筋又は、耐力壁の鉄筋の継手重ね長さは設計図によるが、参考値として左下表JASS5(2018)にL_1 L_2を示す。

ガス圧接継手・溶接継手・機械式継手に関する事項は、標準仕様書および施工要領ならびに鉄筋継手工事特記仕様書(2019年版)共に公益社団法人日本鉄筋継手協会編に準拠。

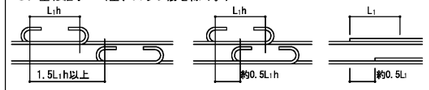
1．ガス圧接、溶接継手



2．機械式継手



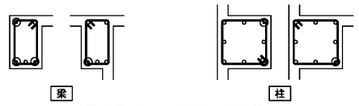
3．重ね継手　（壁、スラブ筋を除く。）



4．D35以上の鉄筋は原則として重ね継手は用いない。
　（ガス圧接、溶接、機械式継手等による）
5．溶接継手及び機械式継手の場合はメーカー仕様による。

2－5 鉄筋のフック

○ 下記の１．～７．に示す鉄筋の末端部にはフックをつける。
1．あばら筋及び帯筋　　2．煙突の鉄筋
3．柱及び梁（基礎梁を除く）の出隅部分の鉄筋（下図参照）



上図の◎印の鉄筋の末端にはフックが必要。
4．片持ちスラブの上端筋の先端
5．最上階及びこれに準ずる箇所の柱頭の四隅の鉄筋
6．杭基礎の基礎筋（偏心基礎及び杭２本打以上の場合）
7．鉄骨柱の脚部の基礎柱、又は根巻コンクリートの四隅の鉄筋

2－6 鉄筋のあき

○ 鉄筋のあきａは原則として下記による。
　呼び名の数値dの　1.5 倍以上
　粗骨材の最大寸法の 1.25 倍以上　} かつ 25 以上

※dは最外径を示す

○ 鉄筋径が異なる場合は大きい方による。
○ 二段筋のあきは1.5d且つ粗骨材最大値の1.25倍以上とする。

2－7 かぶり厚さ

鉄筋に対するコンクリートの設計かぶり厚さと最小かぶり厚さ

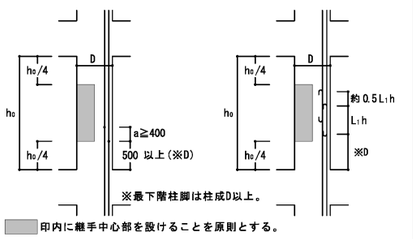
部位			かぶり厚さ 仕上げあり	かぶり厚さ 仕上げなし
土に接しない部分	屋根スラブ 床スラブ 非耐力壁	屋内	40 ~~30 (20)~~ (30)	40 ~~30 (20)~~ (30)
		屋外	50 ~~30 (20)~~ (40)	50 ~~40 (30)~~ (40)
	柱 梁 耐力壁	屋内	50 ~~40 (30)~~ (40)	50 ~~40 (30)~~ (40)
		屋外	60 ~~40 (30)~~ (50)	60 ~~50 (40)~~ (50)
	擁壁		※1 ※1 50 (40)	※1 ※1 50 (40)
土に接する部分	柱・梁・床スラブ・壁 布基礎の立上り		60 ~~※2 50 (40)~~ ※2 (50)	
	基礎・擁壁		80 ~~※2 70 (60)~~ ※2 (70)	

1．( ) 内の数値は最小かぶり厚さを示す。
2．仕上げあり　とは、鉄筋の耐久性上有効な仕上げのある場合とする。
~~3．※1 品質・施工法に応じ、工事監理者の承認で10減の値とすることができる。~~
4．※2　軽量コンクリートの場合は、これに10加算する。
5．柱・梁の主筋の最小かぶり厚さは、表の数値以上かつ主筋径の1.5倍以上とする。

§３ 柱

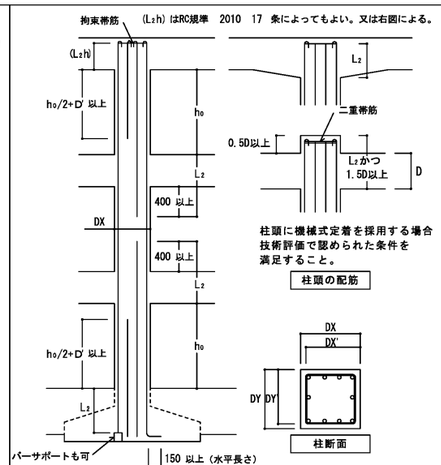
3－1 主筋の継手

ガス圧接、溶接、機械式継手　　重ね継手

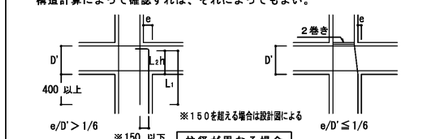


○ 印内に継手中心部を設けることを原則とする。
　設計者判断により、認定を取得した工法ではa=0とできる。

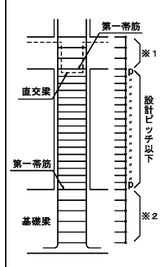
3－2 主筋の定着



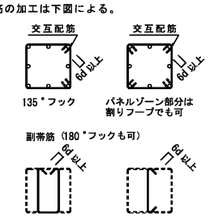
※ 余長 D' は柱有効成 (DX' DY' の大きい方)とし、構造計算によって確認すれば、それによってもよい。



3－3 帯筋 副帯筋

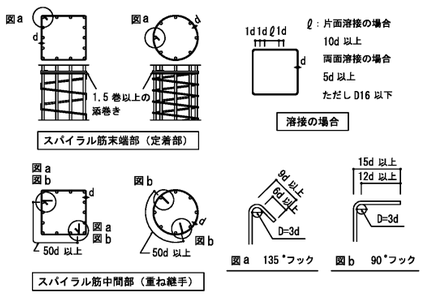


○ 第一帯筋 (D13 以上使用の事) は梁上端筋直上に入れ、その間を設計ピッチ以下に割り付ける。
○ 帯筋の加工は下図による。

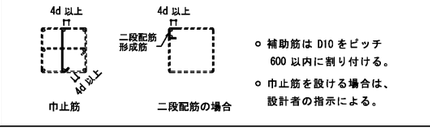


○ パネルゾーンの帯筋は設計図によるが、明記なき場合は下記による。ただし、帯筋量 (pw)は 0.2%以上とする。
※1．設計ピッチの 1.5 倍以下とする。 ⊟ 形以上の場合は同径同材質で □ 形 @100以下とする。
※2．基礎梁部分は、同径で □ 形 @150以下とする。

○ スパイラル筋の末端処理及び継手は下記のとおりとする。
1．末端は 1.5 巻以上の添巻きをし、図a のフックをつける。
2．重ね継手は重ね長さ 50d 以上とし、図a 又は図b のフックをつける。



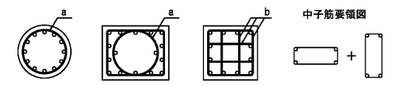
3－4 補助筋



○ 補助筋は D10 をピッチ 600 以内に割り付ける。
○ 巾止筋を設ける場合は、設計者の指示による。

3－5 柱のコンファインド補強

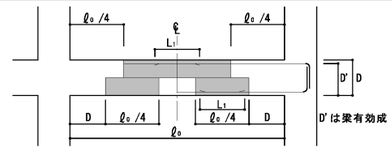
補強する柱は設計図による。（柱頭、柱脚柱成の範囲を補強する。）



a スパイラル帯筋 @60～75 （有効間隔50 程度）
b 溶接閉鎖型帯筋 @60～75 （有効間隔50 程度）

§４ 梁

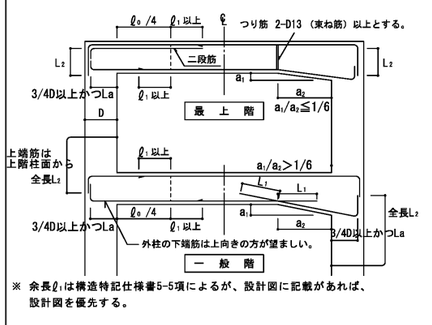
4－1 主筋の継手



○ 印内に継手中心部を設けることを原則とする。(告示平 12 第1463 号使用基準参照) 溶接継手の場合でも柱面より 500 以上はなすこと。
○ 定着形状を下記以外とする場合は設計図書による。

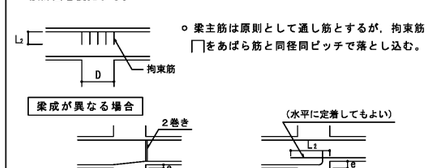
4－2 主筋の定着及び余長

外柱



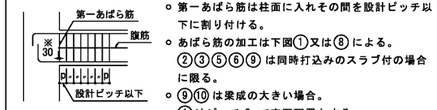
※ 余長ℓ1は構造特記仕様書5-5項によるが、設計図に記載があれば、設計図を優先する。

中柱



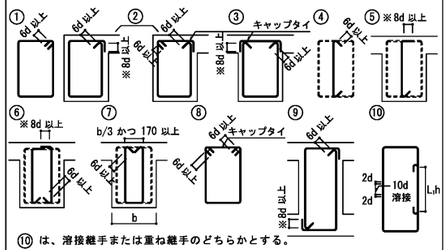
○ 梁主筋は原則として通し筋とするが、拘束筋 ⌐⌐ をあばら筋と同径同ピッチで落とし込む。

4－3 あばら筋 副あばら筋



※ ねじれ応力を受ける腹筋は定着長さL_2とする。

○ 第一あばら筋は柱面に入れその間を設計ピッチ以下に割り付ける。
○ あばら筋の加工は下図①又は⑧による。②③⑤⑥⑨は同時打込みのスラブ付の場合に限る。
○ ⑨⑩は梁成の大きい場合。
○ ①はピッチ 2p で交互配置とする。
○ 135° フックは 180° フックでも可とする。
○ 溶接継手は帯筋の項を参照のこと。



⑩ は、溶接継手または重ね継手のどちらかとする。
※ 柱面より梁成の範囲は、180° フック又は 135°フックが望ましい。

（販売元）一般社団法人日本建築構造設計事務所協会連合会　http://fasa-net.jp
（発行元）一般社団法人関西建築構造設計事務所協会　TEL(06)6763-8205　FAX(06)6763-8206　http://www.kse-web.com/
2023年2月1日作成

（不許複製）

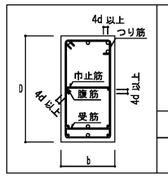
邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=N/S A3 S=N/S	S
鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)		02

作図：一級建築士登録　第315826号　吉永　伸太郎
構造設計一級建築士　第8425号

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２） ２０２３年度版

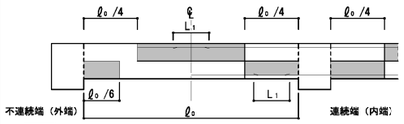
4－4 補助筋



腹筋	D＜600 不要
	600 ≦D＜900 2-D10 （1段）
	900 ≦D＜1200 4-D10 （2段）
	1200 ≦D D10 @300以内
巾止筋	D10 @1000 以内で割り付ける。
受筋つり筋	D10 @1000 以内で割り付ける。

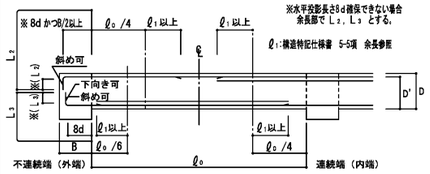
4－5 小梁及び片持梁

a) 小梁継手



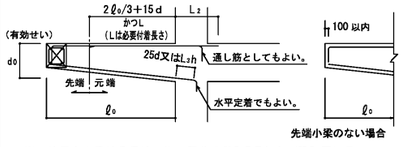
○ 印内に継手中心部を設けること。ただし溶接継手の場合は梁面より 500 以上はなすこと。

定着



b) 片持梁 定着 継手

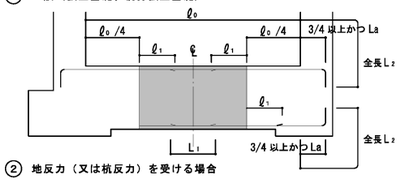
○ 下端筋は水平定着でも可。上端筋には継手を設けてはならない。



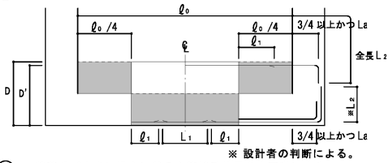
4－6 基礎梁及び基礎小梁

※ 地反力を受ける梁は構造特記仕様書5-5項および設計図に示す。
余長ℓ1は設計図に記載があれば、設計図を優先する。

① 一般（独立基礎、杭打独立基礎）



② 地反力（又は杭反力）を受ける場合

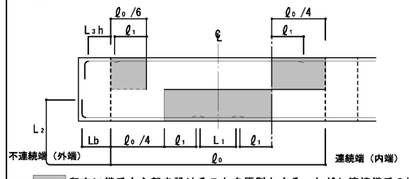


※ 設計者の判断による。

③ 上載荷重が大きい場合は②の主筋継手位置を上下逆にする。

b) 基礎小梁の継手及び定着

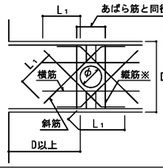
① 地反力を受けない場合は (4-5) による。
② 地反力を受ける場合



○ 印内に継手中心部を設けることを原則とする。ただし溶接継手の場合は柱面（基礎小梁の場合は梁面）より 500 以上はなすこと。Lb とれない場合 4-5 a 定着によってよい。

4－7 梁の貫通補強

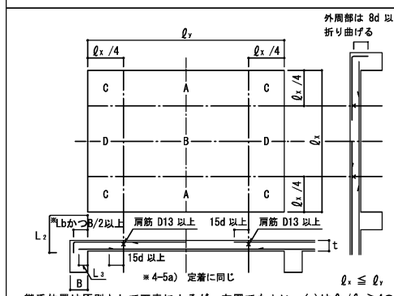
1．補強筋は原則として工場製品（認定品）を使用する。
2．認定品を使用しない場合は下図によるが、補強筋は設計図による。



○ 梁貫通孔は梁成の 1/3 以下とする。
○ 孔が複数の場合は中心間隔を径 (φ) の 3倍以上とする。
また位置は原則として柱面から梁成 D 以上はなし、梁成の中央 D/2 の範囲内とする。
○ φが 100㎜未満、かつ D/10以下の場合は補強を省略することができるが、孔際の両側にかぶり厚さを確保してあばら筋を追加する。
○ ※縦筋はあばら筋加工とする。

5－1 鉄筋の折り曲げ及び定着

§5 スラブ



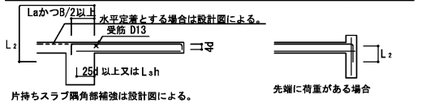
継手位置は原則として下表によるが、右図でもよい。（ ）は ℓy/ℓx ≧4の長辺方向

		標準継手位置
上端筋	短辺方向	B D
	長辺方向	A B
下端筋	短辺・長辺方向	A (B) C D



5－2 継手

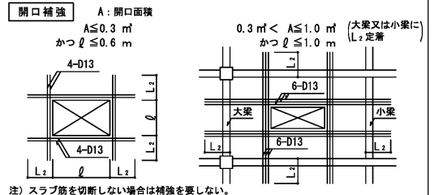
5－3 片持ちスラブ



片持ちスラブ隅角部補強は設計図による。

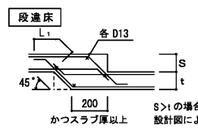
5－4 補強筋

開口補強　A：開口面積

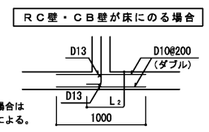


注）スラブ筋を切断しない場合は補強を要しない。

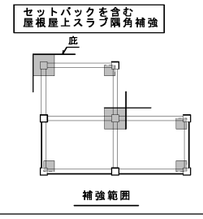
段違床



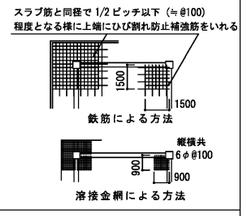
RC壁・CB壁が床にのる場合



セットバックを含む屋根屋上スラブ隅角補強

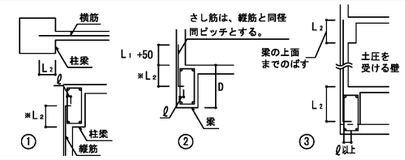


スラブ筋と同径で 1/2 ピッチ以下（≒@100）程度となる様に上端にひび割れ防止補強筋をいれる



§6 壁

6－1 定着及び継手

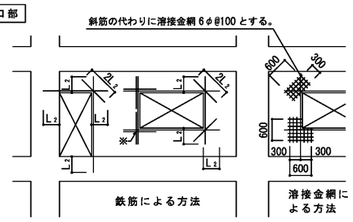


6－2 壁配筋

○ 定着長さは L_2、及び継手長さは L_1とする。
※ただし耐震壁で帯筋、あばら筋の内側に定着できない場合は、ℓ=8d かつ 150 以上 45～90°折り曲げ、定着長さは L_2かつ D/2 以上とする。
（通し配筋の場合は不要）
○ 土圧を受ける壁の外側鉄筋の定着は③図による。
○ 継手位置はどの部分でもよいが、土圧を受ける壁は 5-2 項の土圧面側を上端筋側に読み替える。
壁の配筋は設計図書による。
○ ダブル配筋では巾止筋を縦横共 D10@1000 以内を標準とする。

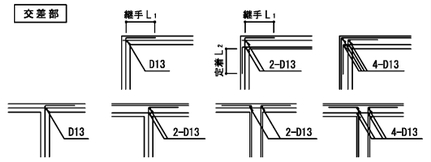
6－3 補強筋

開口部



○※ 斜筋を縦・横補強筋でおきかえる場合は設計図による。
○ 斜筋は内側に配置する。壁筋を切断しない場合は補強を要しない。

交差部

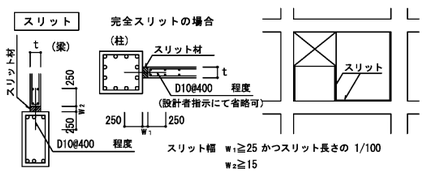


端部



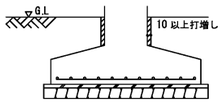
○ 開口補強筋はリストによる

スリット



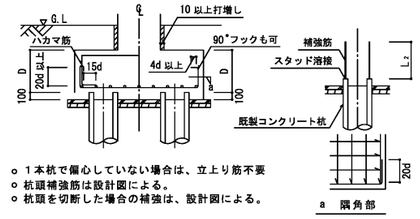
§7 基礎

7－1 独立基礎



ただしかぶり厚さ 50（軽量コンクリートの場合 60）の場合は不要

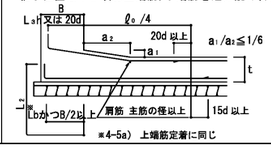
7－2 杭基礎



○ 1本杭で偏心していない場合は、立上り筋不要
○ 杭頭補強筋は設計図による。
○ 杭頭を切断した場合の補強は、設計図による。

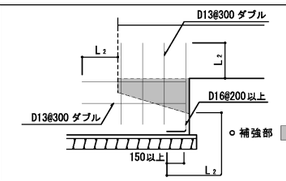
7－3 べた基礎継手及び定着

継手位置は 5-2 項の上端筋、下端筋を逆に読み替える。



※4-5a) 上端筋定着に同じ

7－4 基礎と基礎梁

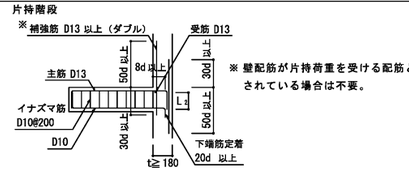


○ 補強部 の厚さは梁巾とする。

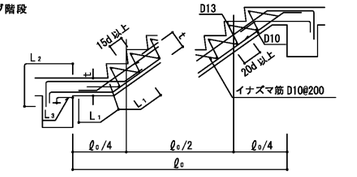
§8 その他

8－1 階段

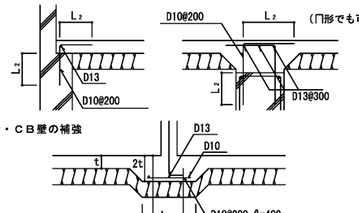
片持階段



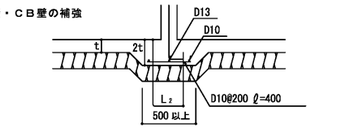
スラブ階段

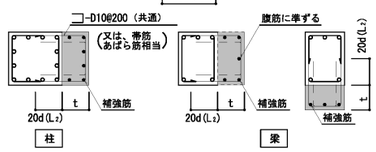


8－2 土間コンクリート



RC壁・CB壁の補強

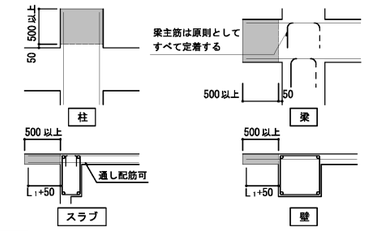




○ 印は打増し部分を示す。- - -と配筋してもよい。
○ 補強筋 定着は 20d(L2)（ ）は、主要な耐力壁等が取付く場合で設計図による。
t≦ 50 補強なし　50<t≦100 D13@300
100<t≦200 D16@300　200<t≦300 D16@200
t>300 設計図による
原則として、構造図に記載された個所以外に打増ししてならない。

8－3 打増し補強

8－4 増築予定



○ 印は、はつり部分を示す。
○ 増築時の継手は、原則として柱・梁の主筋は溶接継手する。
（増築側の鉄筋は水平定着でもよい。）

（販売元）一般社団法人日本建築構造設計事務所協会連合会　http://fasa-net.jp
（発行元）一般社団法人関西建築構造設計事務所協会　TEL(06)6763-8205　FAX(06)6763-8206　http：／／www. kse-web. com／
2023年2月1日作成

（不許複製）

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=N/S A3 S=N/S		S
鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)			03

作図：一級建築士登録　第315826号　吉永　伸太郎
構造設計一級建築士　第8425号
（株）ＡＤＯ建築設計事務所　１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173　１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

壁式構造配筋標準図１／３（単位㎜）

§１　一般事項

この標準図は以下のコンクリートおよび鉄筋を使用する一般の壁式構造に適用する。
ただし，設計書の指示ある場合は，その指示による。

1．　コンクリート
a．壁式ＲＣ造の耐力壁，基礎・壁ばり・がりょう・小ばり，およびスラブに用いるコンクリートは，　普通コンクリートおよび軽量コンクリート１種および２種とする。
b．コンクリートの材料は，日本建築学会「建築工事標準仕様書ＪＡＳＳ５鉄筋コンクリート工事」および日本建築学会「建築工事標準仕様書ＪＡＳＳ７メーソンリー工事」による。
c．コンクリートの粗骨材の最大寸法は，２０㎜とする。
2．　鉄筋
a．鉄筋はＪＩＳ　Ｇ　３１１２（鉄筋コンクリート用棒鋼）に示す異形棒鋼および丸鋼，およびＪＩＳＧ３１１７（鉄筋コンクリート用再生棒鋼）に示す再生棒鋼とする。
b．溶接金網は，ＪＩＳ　Ｇ　３５５１（溶接金網）の規定に適合するものである。
c．再生棒鋼をアーク溶接する場合は，事前に可否を検討する。
d．鉄筋の引張試験において降伏点（または耐力）と引張強さを求める場合，原則として公称断面積を用いる。
e．ｄは，丸鋼では径，異形鉄筋では呼び名に用いた数値（㎜）とする。

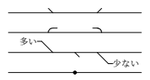
§２　鉄筋加工共通事項

２－１　鉄筋表示記号

鉄筋の表示記号は下図による。

記　号	・	×	∅	●	○	⊙	⊠	◎
異形鉄筋	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
丸　鋼	9φ	13φ	16φ	19φ	22φ	25φ	—	—

・フックのない場合
・フックのある場合
・本数に差がある場合
・圧接継手表示



２－２　鉄筋の間隔・あきの最小寸法

・鉄筋のあきは，原則として下記による。

丸　鋼　　１．５ｄ以上　且つ２５㎜以上
異形鉄筋　　１．７ｄ以上　且つ２５㎜以上
粗骨材の最大寸法の１．２５倍以上　且つ２５㎜以上

ｄ＝公称直径



・鉄筋径が異なる場合は大きい方による。

２－３　折曲げ形状・寸法

a．　鉄筋末端部

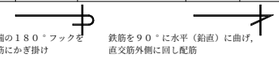
折曲げ角度	形　状	種　類	折曲げ内のり直径（D）
180° 135° 90°		SR235　SRR235 SD295A　SD295B SDR235 SR295　SRR295 SD345　SDR345	3d以上 D16以下　3d以上 D19～D25　4d以上

1）　折曲げ角度９０°は，スラブ筋・壁筋の末端部またはスラブと同時に打ち込むＴ形およびＬ形ばりに用いるU字形あばら筋と対のキャップタイのみに用いる。
2）　片持ちスラブの上端の先端，壁の自由端に用いる先端の余長は４ｄ以上でよい。
3）　ＳＲ２３５，ＳＲ２９５，ＳＤ２９５Ａ・ＢおよびＳＤ３４５の鉄筋でかつ径がＤ１３以下であって，端部の折曲げ内部にＤ１３以上の直交筋がある場合には，折曲げ内のり直径を２ｄとしてもよい。

b．　鉄筋中間部

折曲げ角度	形　状	鉄筋の使用箇所による呼称	種　類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内のり寸法(D)
90°以下		壁ばりの縦・横筋，あばら筋	SR235 SD295A　SD295B SDR295　SR295 SRR295　SD345 SDR345	D16以下	3d以上
				D19以上	4d以上
		上記以外の鉄筋	SR235　SRR235 SD295A　SD295B SDR295　SRR295 SD345　SDR345	D16以下	4d以上
				D19～D25	6d以上

鉄筋の組立表示例



２－４　フックの必要な箇所

1）　丸鋼の末端。
2）　あばら筋および壁ばり断面の縦筋の末端
3）　はり（基礎ばりを除く）出隅部分の主筋の末端

２－５　定着と継手　※Ｓ－０１図参照

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度（Ｎ／㎟）		重ね継手長さ（Ｌ１）	定着の長さ	
	普通コンクリート	軽量コンクリート		一般（Ｌ２）	下端筋（Ｌ３）
	１８		４５ｄ（３５ｄ）	４０ｄ（３０ｄ）	小はりなど：２５ｄ（１５ｄ） 床・屋根スラブなど：１０ｄかつ１５０㎜
SD295 SDR295 SD345 SDR345	２１～２７	２１～２４	４０ｄ（３０ｄ）	３５ｄ（２５ｄ）	
SR235 SRR235	１８		（４５ｄ）	（４５ｄ）	（２５ｄ）：１５０㎜フック付
	２１～２４	２１～２２．５	（３５ｄ）	（３５ｄ）	

1）　（　）はフック付を示す。
2）　径の異なる鉄筋の重ね継手の長さは，細いほうのｄを用いる。

隣接するはり主筋の重ね継手のずらし方

a）フック付の場合



b）フック無の場合



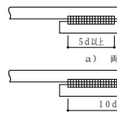
c）圧接継手の場合



・Ｄ２９，Ｄ３２の継手は圧接とする。
・鉄筋径の差が７ｍこえる場合は，圧接としてはいけない。

２－６　鉄筋の溶接

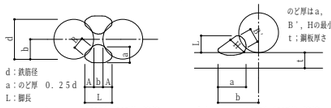
a．　ガス圧接継手の仕様は，日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。
b．　溶接継手を用いる場合はアーク手溶接とし，日本建築学会「鉄骨工事技術指針」を準用する。
c．　アーク溶接による重ね継手を用いる場合はフレアグレーブ溶接とし，溶接長さは，両面溶接の場合５ｄ以上，片面溶接の場合は１０ｄ以上とする。
d．　特殊継手を用いる場合は設計図書に指示する。



a）　両面溶接　　b）　片面溶接



鉄筋の重ねフレアグループ溶接

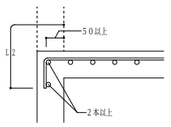


a）　フレアＸ形（Ｖ形）溶接　　b）　フレアＫ形（Ｖ形）溶接

鉄筋のアーク溶接断面

２－７　溶接金網の継手および定着

a．　溶接金網の定着



b．　溶接金網の重ね継手



※を横線間隔＋５０㎜かつ１５０㎜以上とする。　※を横線間隔かつ１００㎜以上とする。

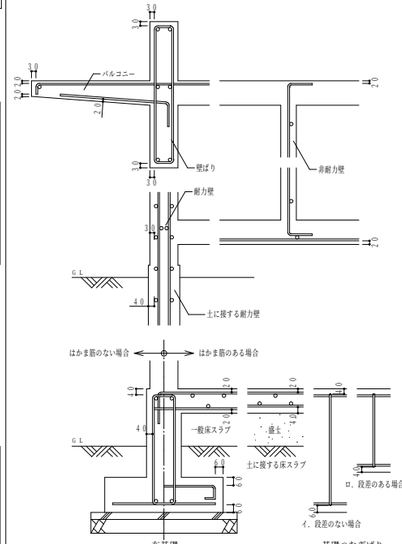
（a）応力伝達継手　　（b）ひび割れ防止用メッシュの場合

§３　鉄筋のかぶり厚さ

３－１　かぶり厚さ　※Ｓ－０１図参照

構造部分	最小かぶり厚さ（㎜）
屋根スラブ・床スラブ・片持ちスラブ・非耐力壁	２０
耐力壁・壁ばり・小ばり・片持ちばり	３０
土に接する耐力壁・床スラブ・布基礎の立上り部分・基礎つなぎばり	４０
基礎	６０（捨コンクリート部分を除く）

（注）　＊耐久性上有効な仕上げがない場合は，屋内・屋外にかかわらず１０㎜増しとする。
＊＊片持ちスラブ先端は，３０㎜とする。



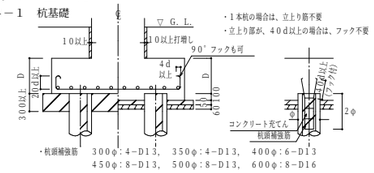
３－２　バーサポート・スペーサ

部　位	壁・地下外壁	壁ばり・がりょう・小ばり	布基礎	布基礎の立上り部分・基礎ばり・基礎つなぎばり	スラブ
種　類	鋼製・コンクリート製	鋼製・コンクリート製	鋼製・コンクリート製	鋼製・コンクリート製	鋼製・コンクリート製
数量または配置	上第一横筋に設置，左右背一縦筋に設置，間隔は１５００程度	間隔は１５００程度 端部は１５００以内	間隔は１５００程度 端部・交差部に設置 断面中央部鉄筋に設置	間隔は１５００程度 端部は１５００以内	上端筋，下端筋それぞれ，１．３個／㎡程度，間隔は９００程度
備　考		外側ばり以外のはりは上または下に設置，外側ばりは側面にも設置	ベース筋のある場合はベース筋にも設置	上または下と側面に設置	片持ちスラブには，２か所以上連続するバーサポートを設置

1）　壁・壁ばり・がりょう・小ばり・布基礎の立上り部分・基礎ばり・基礎つなぎばりのスペーサはプラスチック製でもよい。

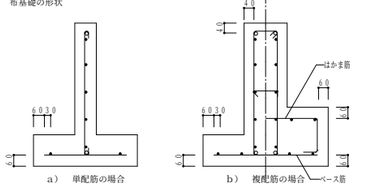
§４　基　礎

４－１　杭基礎



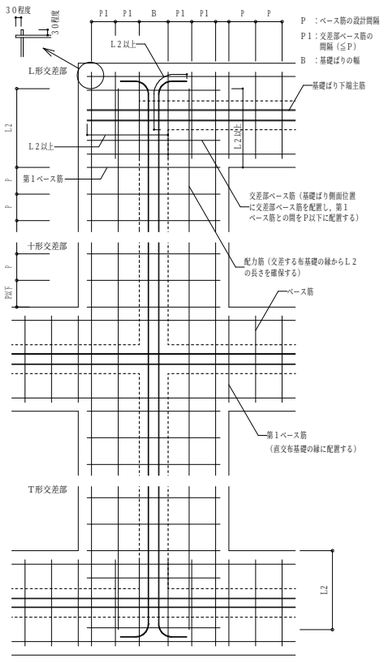
４－２　布基礎

a．　布基礎の形状

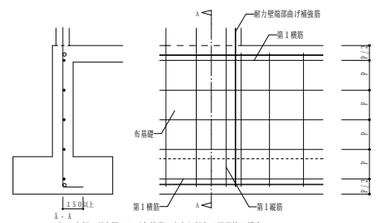


a）　単配筋の場合　　b）　複配筋の場合　ベース筋

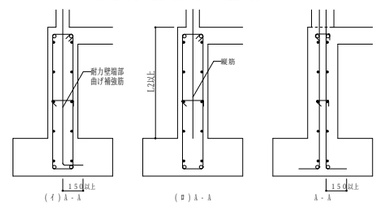
b．　布基礎の基礎部分の配筋
基礎部分には，原則として基礎ばり下端主筋・ベース筋・配力筋および交差部ベース筋（または補強ベース筋）を配置する。また，特殊な場合には，はかま筋を配置する。



C．　布基礎の立上り部分の配筋
（１）　第１縦筋は両端の耐力壁鉛直縁より，第１横筋は布基礎上下端より設計間隔の１／２に配置し，その他の縦横筋は設計間隔に基づき配置する。
（２）　布基礎の立上り部分の上部の耐力壁の縦筋および曲げ補強筋は，原則として基礎のベース筋位置まで延ばす。

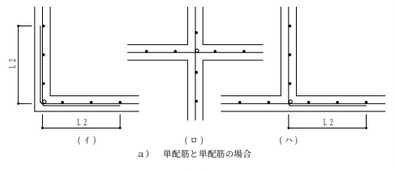


a）　上部の耐力壁および布基礎の立上り部分が単配筋の場合

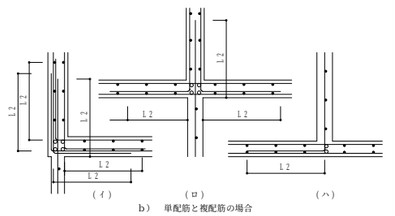


b）　上部の耐力壁が単配筋で布基礎の立上り部分が複配筋の場合　　c）　上部の耐力壁および布基礎の立上り部分が複配筋の場合

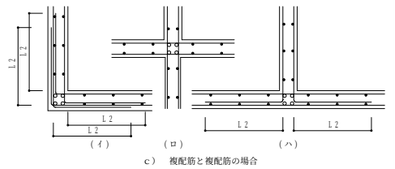
（３）　布基礎の立上り部分の交差部における主筋・横筋および耐力壁曲げ補強筋の配筋



a）　単配筋と単配筋の場合



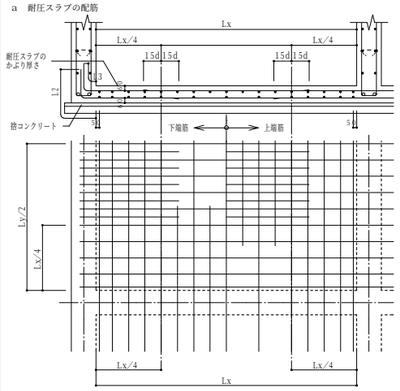
b）　単配筋と複配筋の場合



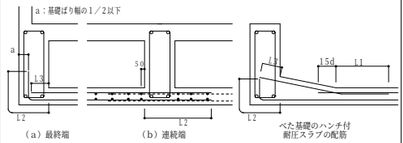
c）　複配筋と複配筋の場合

４－３　べた基礎

a　耐圧スラブの配筋



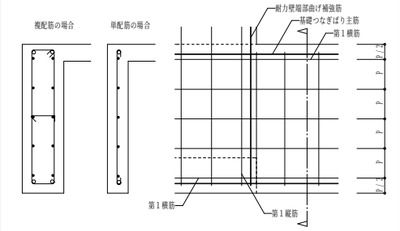
b　基礎ばりとの定着



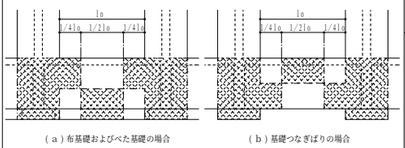
（a）最終端　　（b）連続端　　べた基礎のハンチ付耐圧スラブの配筋

４－４　基礎つなぎばり

a．　基礎つなぎばりの配筋
（１）　第１縦筋は両端の耐力壁鉛直縁，第１横筋は基礎つなぎばり上下端より設計間隔の１／２に配置し，その他の縦横筋は設計間隔に基づき配置する。
（２）　基礎つなぎばりの縦筋は，あばら筋方式とする。



４－５　布基礎，べた基礎および基礎つなぎばりの主筋の継手位置



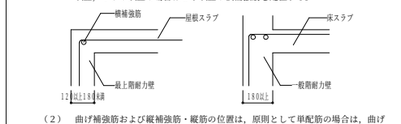
（a）布基礎およびべた基礎の場合　　（b）基礎つなぎばりの場合

：継手の好ましい位置

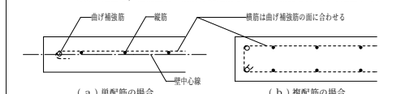
§５　耐力壁など

５－１　耐力壁

（１）　耐力壁と床スラブ・屋根スラブの交差部には，壁厚１８０未満の場合は１本以上，１８０以上の場合は２本以上の横補強筋を配置する。

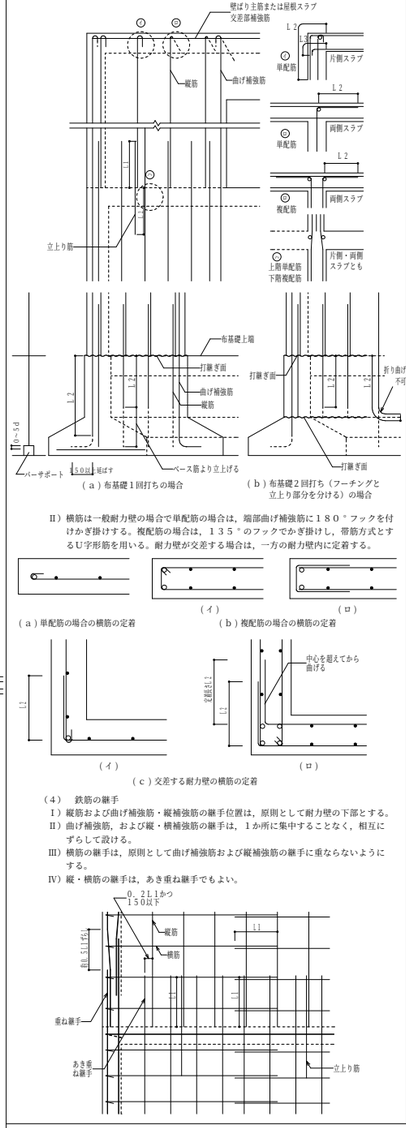


（２）　曲げ補強筋および縦補強筋・縦筋の位置は，原則として単配筋の場合は，曲げ補強筋を壁の中心線上に，縦補強筋・縦筋は片面を曲げ補強筋の面に合わせて配置する。複配筋の場合は，曲げ補強筋を，かぶり厚さが十分確保できる位置に対称に配置し，縦補強筋・縦筋は単配筋と同様に外側面を合わせて配置する。



（ａ）単配筋の場合　　（ｂ）複配筋の場合

（３）　鉄筋の定着
Ⅰ）縦筋および曲げ補強筋・縦補強筋の下端は，布基礎または下階の耐力壁に定着する。上端は，最上階および直上に耐力壁のない場合は，スラブ内に定着する。ただし片側スラブの場合は，１８０°フックを付け壁ばり主筋またはスラブ交差部横補強筋（以下，横補強筋という）にかぎ掛けして止める。



（ａ）布基礎１回打ちの場合　　（ｂ）布基礎２回打ち（フーチングと立上り部分を分ける）の場合

Ⅱ）横筋は一般耐力壁の場合で単配筋の場合は，端部曲げ補強筋に１８０°フックを付けかぎ掛けする。複配筋の場合は，１３５°のフックでかぎ掛け，帯筋方式とするU字形筋を用いる。耐力壁が交差する場合は，一方の耐力壁内に定着する。

（ａ）単配筋の場合の横筋の定着　　（ｂ）複配筋の場合の横筋の定着

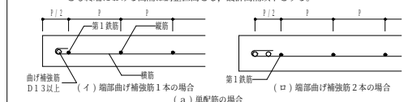
（イ）　　（ロ）

（ｃ）交差する耐力壁の横筋の定着

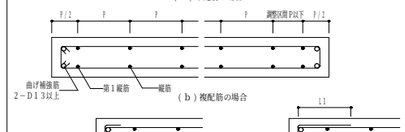
（４）　鉄筋の継手
Ⅰ）縦筋および曲げ補強筋・縦補強筋の継手位置は，原則として耐力壁の下部とする。
Ⅱ）曲げ補強筋，および縦・横補強筋の継手は，１か所に集中することなく，相互にずらして設ける。
Ⅲ）横筋の継手は，原則として曲げ補強筋および縦補強筋の継手に重ならないようにする。
Ⅳ）縦・横筋の継手は，あき重ね継手でもよい。

（ａ）単配筋の場合　　（ｂ）複配筋の場合

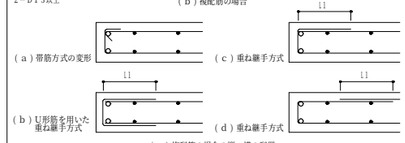
（５）　各部配筋
Ⅰ）一般耐力壁の場合
第１縦筋は，耐力壁両端鉛直縁から，設計間隔の１／２の箇所に，ただし，曲げ補強筋が２本配筋の場合は最外側補強筋の中心から測るものとする。その他の縦筋は設計間隔に基づき左端より配置する。第１横筋は耐力壁上・下端より設計間隔の１／２の箇所に，その他の横筋は，設計間隔に基づき下端より配置する。縦・横筋とも終端における間隔は調整区間とし，設計間隔以下とする。



（ａ）単配筋の場合

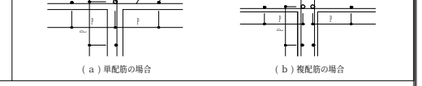


（ｂ）複配筋の場合



（ｃ）複配筋の場合の縦・横の配筋

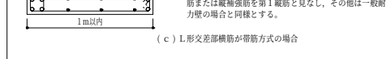
Ⅱ）耐力壁が交差する場合
①L形部；単配筋の場合，交差部には１本以上の曲げ補強筋を配置する。耐力壁の横筋は交差部曲げ補強筋の外側を回して直交壁に定着し，直交壁横筋は曲げ補強筋にかぎ掛けするか，通し筋または重ね継手とする。複配筋の場合は３本以上の曲げ補強筋および１本以上の縦補強筋を配置する。耐力壁の外側横筋は曲げ補強筋の外側を回して直交壁に定着し，内側横筋は直交壁中心を超えてから折り曲げ定着する。直交壁横筋は帯筋式とする。ただし，外側横筋を重ね継手とし，内側筋を両方向耐力壁に定着する方法としても差し支えない。縦筋の配置は，一般耐力壁の場合と同様とするが，複配筋の場合は内側補強筋を第１縦筋とみなす。



（ａ）単配筋の場合

（ｂ）複配筋の場合

横筋を両方向帯筋式とする方法は，一方の耐力壁長さが１ｍ程度以下でフックを交差部では，設けないようにすることが望ましい。
縦筋の配置は交差部では，両方向とも２段目の曲げ補強筋または縦補強筋を第１縦筋と見なし，その他は一般耐力壁の場合と同様とする。

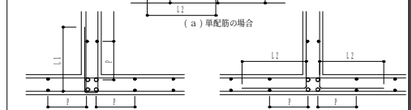


（ｃ）Ｌ形交差部横筋かぎ帯筋方式の場合

②T形部；単配筋の場合，交差部には１本以上の曲げ補強筋を配置する。耐力壁の横筋は通し筋とし，交差部では継手を設けない。複配筋の場合は２本以上の曲げ補強筋および２本以上の縦補強筋を配置し，直交壁の横筋は重ね継手とするか，耐力壁に定着する。縦筋の配置は直交壁方向はＬ形直交部側と同様とし，耐力壁方向は曲げ補強筋および縦補強筋を縦筋と見なす。



（ａ）単配筋の場合



（ｂ）複配筋の場合

③十形部；交差部には単配筋の場合１本以上，複配筋の場合４本以上の縦補強筋を配置する。横筋は直交する耐力壁ごとに，それぞれ通し筋とし，交差部では原則として横筋の重ね継手を設けない。

（ａ）単配筋の場合　　（ｂ）複配筋の場合

作図：一級建築士登録　第315826号　吉永　伸太郎
構造設計一級建築士　第8425号

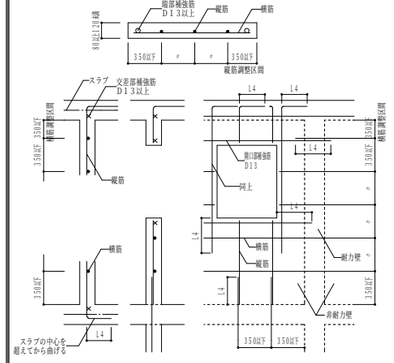
邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1　S=N/S A3　S=N/S	S
壁式構造配筋標準図１		04

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

壁式構造配筋標準図２／３（単位㎜）

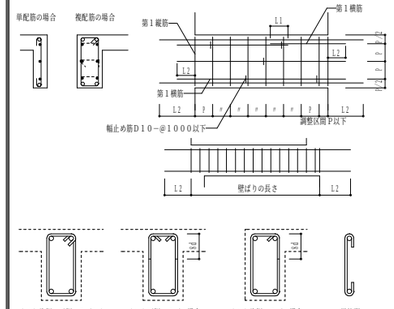
５－２　非耐力壁

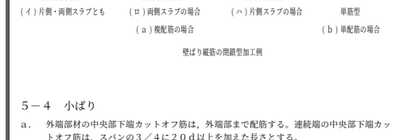
a.　非耐力壁は，８０以上１２０未満の厚さの壁とする。
b.　非耐力壁の端部・交差部および非耐力壁とスラブとの交差部，ならびに開口部周囲にはＤ１３以上の補強筋を配置する。
c.　非耐力壁の縦・横筋，および曲げ・縦・横補強筋の定着と重ね継手長さ
（１）縦・横筋は，耐力壁・スラブ・壁ばり・小ばり・布基礎・基礎つなぎばり，直交する非耐力壁に２５ｄ（Ｌ４）以上定着する。
（２）縦・横筋の重ね継手長さは，２５ｄ（Ｌ４）以上とする。
（３）曲げ・縦・横補強筋の定着，および重ね継手長さは，２５ｄ（Ｌ４）以上とする。



５－３　壁ばり

a.　壁ばり主筋の重ね継手は，原則としてはり中間部には設けないものとする。
b.　直上階の耐力壁の長さが異なる場合の壁ばりの長さは，上下階の耐力壁の重なった部分までとする。
c.　壁ばりの第１縦筋は両端の耐力壁鉛直線に，第１横筋は壁ばり上下端より設計間隔の１／２以下に配置し，他の縦・横筋は設計間隔に配置する。
d.　幅止め筋はＤ１０とし，横筋に間隔１０００以下で交互に配置する。

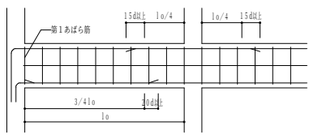




壁ばり縦筋の開閉型加工例

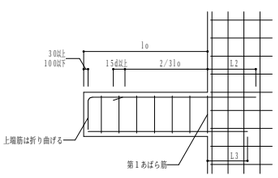
５－４　小ばり

a.　外端部材の中央部下端カットオフ筋は，外端部まで配筋する。連続端の中央部下端カットオフ筋は，スパンの３／４に２０ｄ以上を加えた長さとする。
b.　内端部の上端カットオフ筋は，スパン長さの１／４に１５ｄ以上を加えた長さとする。
c.　腹筋はＤ１０以上とし，第１あばら筋まで配筋する。間隔は設計図による。



５－５　片持ちばり

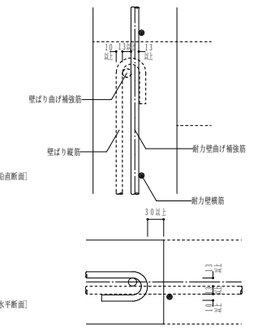
d.　片持ちばりの上端カットオフ筋は，持出し長さの２／３に１５ｄ以上を加えた長さとする。
e.　片持ちばりの上端筋先端は，垂直に折り曲げる。



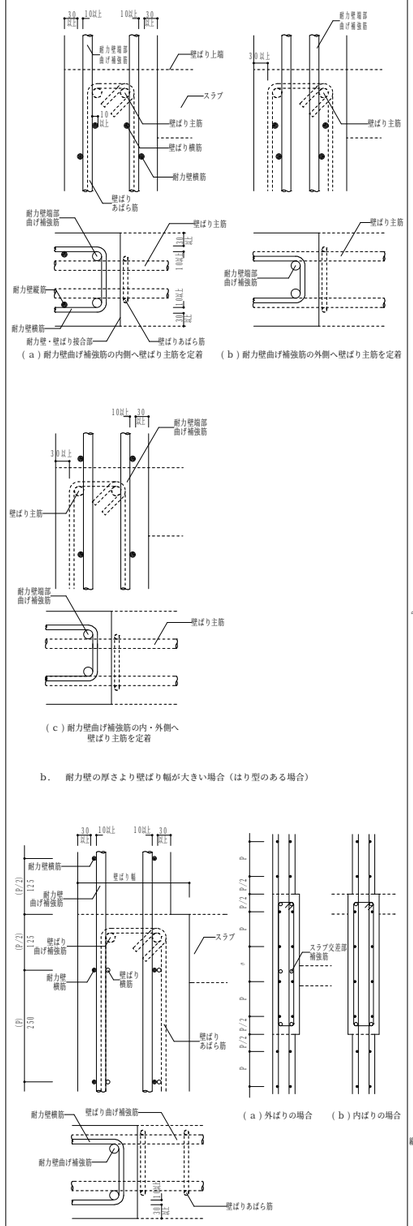
§６　接合部

６－１　耐力壁と壁ばり

a.　耐力壁の厚さと壁ばりが同じ場合
（１）耐力壁と壁ばりが単配筋の場合

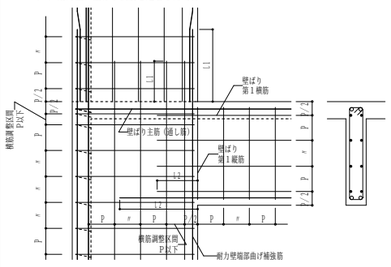


（２）耐力壁と壁ばりが複配筋の場合

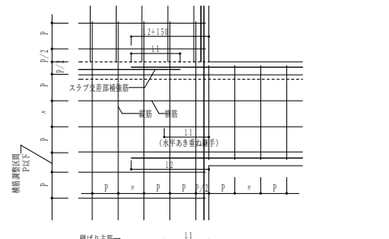


b.　耐力壁の厚さより壁ばり幅が大きい場合（はり型のある場合）

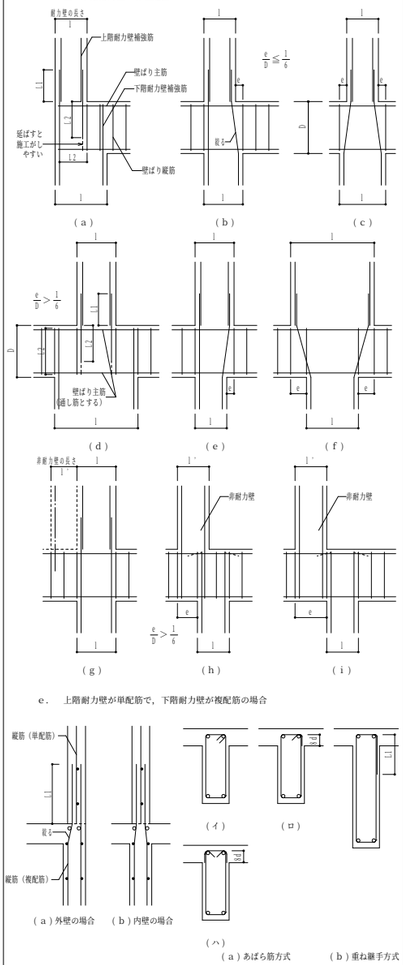
c.　耐力壁と壁ばりの接合部の配筋
（１）耐力壁に壁ばり横筋を定着した場合



（２）耐力壁横筋に壁ばり横筋をあき重ね継手とした場合



d.　上・下階耐力壁の各種配置

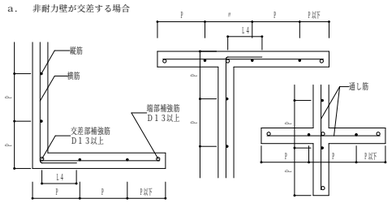


e.　上階耐力壁が単配筋で，下階耐力壁が複配筋の場合

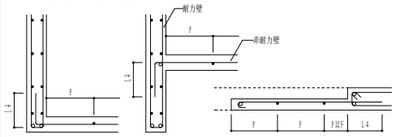
壁ばり縦筋の配筋

６－２　非耐力壁と非耐力壁・耐力壁・スラブ・壁ばり・小ばり・基礎

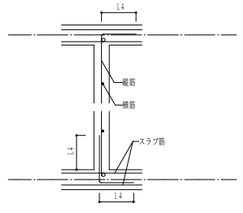
a.　非耐力壁が交差する場合



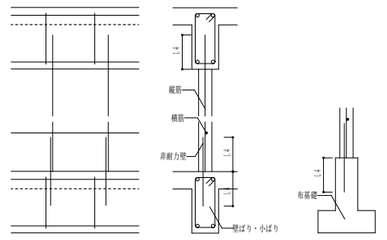
b.　非耐力壁と耐力壁が交差または平行して接合する場合



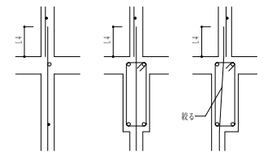
c.　非耐力壁がスラブへ定着する場合



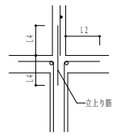
d.　非耐力壁が壁ばり・小ばり・布基礎・基礎つなぎばりへ定着する場合



e.　非耐力壁が上・下階の同じ場所で，スラブ・壁ばり・小ばりに定着する場合

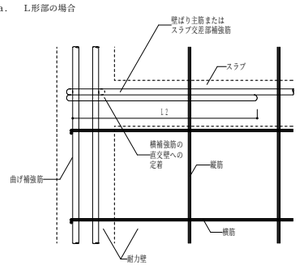


f.　非耐力壁が下階の耐力壁の上に定着する場合

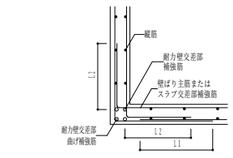


６－３　壁ばり主筋およびスラブ交差部の補強筋が各交差する場合

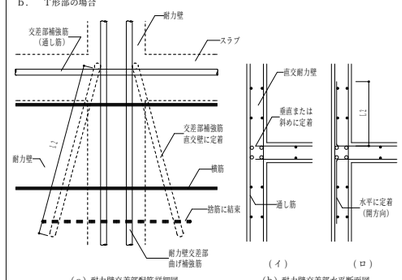
a.　L形部の場合



(a) 耐力壁交差部配筋詳細図（(b) (ロ) の場合）

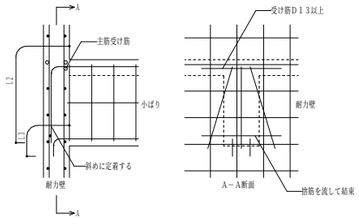


b.　T形部の場合



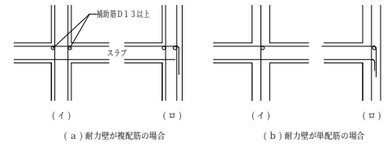
６－４　耐力壁と小ばり

a.　小ばり外端部の定着

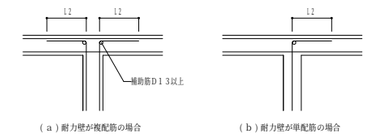


６－５　耐力壁と床・屋根スラブ，片持ちスラブ

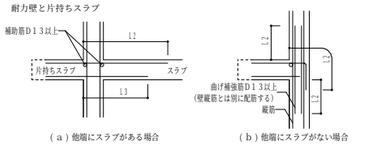
a.　耐力壁とスラブ



b.　耐力壁と屋根スラブ

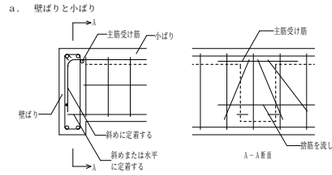


C.　耐力壁と片持ちスラブ

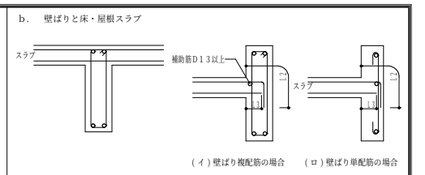


６－６　壁ばり・小ばりと，床・屋根スラブ，片持ちスラブ

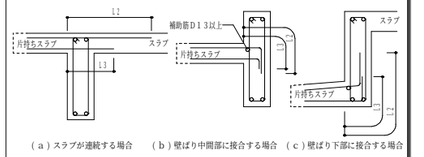
a.　壁ばりと小ばり



b.　壁ばりと床・屋根スラブ

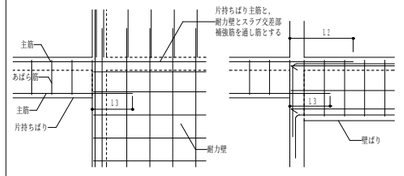


c.　壁ばりと片持ちスラブ

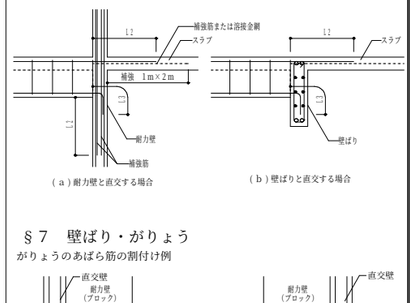


６－７　耐力壁または壁ばり・小ばりと連続する片持ちばり，および耐力壁または壁ばりと直交する片持ちばり

a.　連続する片持ちばりの配筋

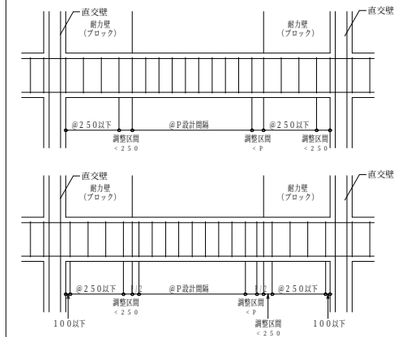


b.　直交する片持ちばりの配筋



§７　壁ばり・がりょう

がりょうのあばら筋の割付け例



§８　幅止め筋

壁・がりょう・壁ばり・小ばりにおける幅止め筋はＤ１０とし，壁長またははりせいが６００以上のものに設置する。その間隔は，水平方向１０００程度，垂直方向５００程度（耐力壁は１０００程度）とし，フックの曲げ角度は１８０°，１３５°，９０°のいずれでもよい。

作図：一級建築士登録　第315826号　吉永　伸太郎
構造設計一級建築士　第8425号

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1　S=N/S A3　S=N/S	S
壁式構造配筋標準図２		05

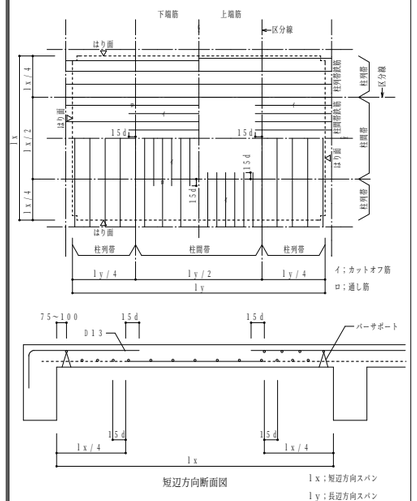
（株）ＡＤＯ建築設計事務所　１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173　１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

壁式構造配筋標準図３／３（単位㎜）

§９　スラブ

９－１　スラブの配筋

（１）　鉄筋間隔は設計図による。
（２）　スラブ上端筋は，原則として壁ばりまたはがりょう内に定着するか，あるいは通し筋とする。
（３）　スラブ下端筋は，壁ばりまたはがりょうなどの中に１０ｄかつ１５０以上定着するか，または通し筋とする。
（４）　スラブ筋は，バーサポートによって堅固に保持する。
（５）　片持ちスラブは他の支持条件のスラブよりバーサポートによる鉄筋の保持を特に堅固する。
（６）　周辺固定スラブの配筋原則は下図による。


下端筋
上端筋
区分線
はり面
柱筋
柱筋
柱筋

Hyper-MEGA工法　特記仕様書

1．一般事項

1）本工事に採用する工法は「Hyper-MEGA工法」(認定番号：TACP-0530号,TACP-0531号,TACP-0532号）とする。

2）工事着手前に、工事概要・工程・使用する杭の明細・使用機械等を明記した施工計画書を作成し、監督員の承認を得る。

3）工事施工者および管理者は、日本コンクリート工業㈱もしくは日本コンクリート工業㈱が承認した施工会社とする。ただし、後者の場合でも地盤の許容支持力については、日本コンクリート工業㈱が責任を負う。

2．使用杭

1）杭の構造

使用する杭は下記のものとする。

①平成13年国土交通省告示第1113号8号第二号、第三号、第四号、第五号及び第六号の何れかに基づきｺﾝｸﾘｰﾄの許容応力度が規定された既製ｺﾝｸﾘｰﾄくい。

②建築基準法施工令第90条、平成12年国土交通省告示第2464号第1、第2に基づき鋼材の許容応力度が規定された鋼管。

2）杭の構成

節杭(拡頭節杭,複合杭を含む)のみ、または節杭拡頭節杭を含む)とこの上方に継いで使用するｽﾄﾚｰﾄ杭(拡頭杭を含む)により基礎杭を構成する。なお、下杭には必ず節杭(拡頭節杭を含む)を使用する。

3）杭径

①節杭(拡頭節杭を含む)の径は、以下のものとする。

節部径　φ1200～φ450

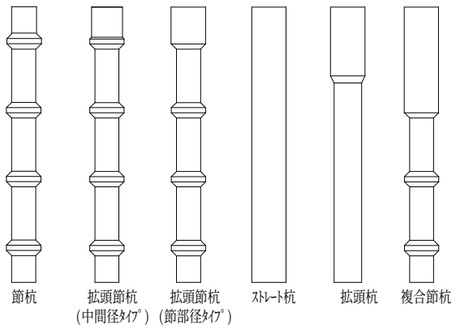
軸部径　φ1000～φ300

②ｽﾄﾚｰﾄ杭(拡頭杭を含む)の径は、以下のものとする。

杭径　φ298.4～φ1200

4)杭姿図

使用する杭の姿図の例を示す。



5）最大施工深さ

最大施工深さは、先端地盤が砂質地盤の場合は杭施工地盤面－68.0m、先端地盤が礫質地盤の場合は杭施工地盤面－68.0m、先端地盤が粘土質地盤の場合は杭施工地盤面－60.0mとする。

3．試験杭

1）試験杭の位置および数量は、地盤調査・敷地状況・建築物の平面計画等を考慮し、設計者・監督員と協議して決定する。

2）試験杭は、本工事に先立ち、設計・施工計画の妥当性を確認するために実施する。

3）試験杭は、本工事と同一寸法の杭を用いることを原則とし、施工性能、地盤の崩壊、逸水の有無および高止まり量等の観察と確認を行い、本杭の施工の参考とする。

4．施工方法

本工法の標準的な施工手順を下図に示し、その概要を以下に記述する。

①施工機据え付け・杭芯ｾｯﾄ

掘削芯を確認しつつ、適宜、掘削液を送りながら地盤に適した速度で所定の位置まで掘削する。

②拡翼・拡大掘削

先端部でｵｰｶﾞｰを逆転させ、拡大羽根を開き、充填液を吐出しながら、所定の深度まで、拡大掘削して引き上げる。

③再掘削・混合撹拌

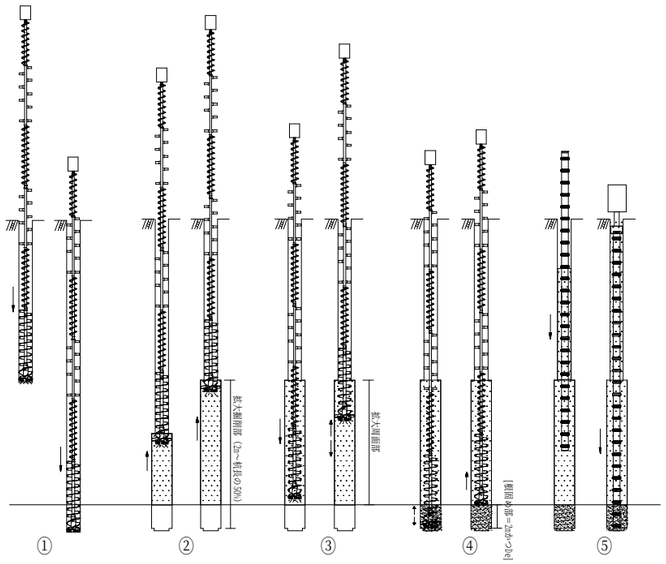
正転に切り替えて、拡大周面部を掘削した後、再度逆転にて拡翼し、拡大周面部でｵｰｶﾞｰを上下反復して、充填液と掘削土砂とを混合撹拌し、逆転で所定深度に到達するまで且つ3回以上これを繰り返す。

④根固め部築造・引き上げ

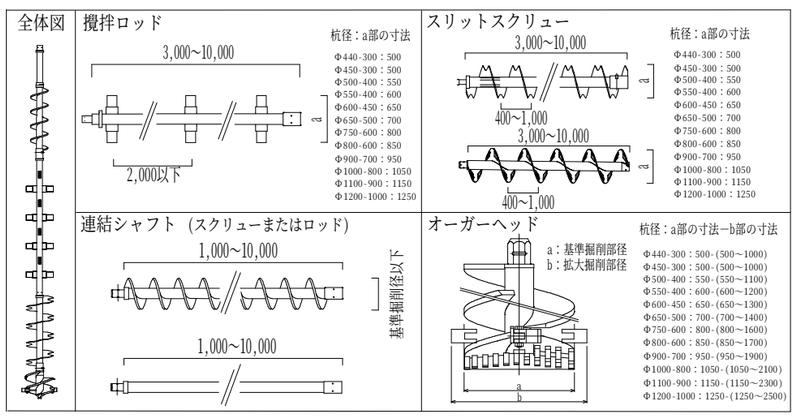
所定範囲にて根固め液を注入しながら、根固め部で上下反復を3回以上、且つ3分以上、混合撹拌し根固め部を築造した後、ｵｰｶﾞｰを引き上げる。

⑤杭の建て込み

鉛直性を確認しながら杭を建て込み、所定位置に定着させる。



5．掘削装置の形状および寸法



(単位：mm)

6．充填材の配合と管理

1）材料

1.セメントは、普通ポルトランドセメント、早強セメントおよび混合セメントを用いる。

2.練り混ぜに使用する水は、上水道水またはセメント硬化に悪影響のない水とする。

2）杭周充填液（W/C=100%・圧縮強さ：10N/㎟ ）

杭周充填液は、杭体と地盤とを一体化させる目的で注入する。

杭周充填液材料の基準量(対象土1㎥ あたり)を下表に示す。

セメント種類	水セメント比 W/C (%)	セメント C (kg)	水 W (%)	注入量 (㎥)
普通ポルトランドセメント	100	380	380	0.500
高炉セメントB種	100	377	377	0.500

＊普通ポルトランドセメント：比重3.15、高炉セメント：比重3.05

3）根固め液

杭先端部に、先端支持力を確保するために拡大根固め部の体積量を注入し、杭先端平均N値（N）と拡大比（ω）に応じて、水セメント比は下記を標準とする

拡大比	水セメント比		
	N≦20	20<N≦40	40<N
1.0≦ω≦1.25	100% (10N/mm²)	85% (17N/mm²)	65% (22N/mm²)
1.25<ω≦1.75	85% (17N/mm²)	60% (25N/mm²)	60% (25N/mm²)
1.75<ω≦2.0	85% (17N/mm²)	60% (25N/mm²)	55% (30N/mm²)

＊（ ）内は、管理強度

4）強度の管理

管理試験は、充填液について下表により行う。

杭 の 種 別		回 数
試験杭		1本毎
本杭	継ぎ手のある場合	20本毎またはその端数につき1回
	継ぎ手のない場合	30本毎またはその端数につき1回

1.1回の試験の、供試体の数は杭周充填液および根固め液を各3個とする。

2.供試体は、(社)土木学会「コンクリート標準示方書（規準編）」のブリージング率および膨張率試験方法案(体積方法)によるポリエチレン袋を用いて、グラウトプラントより採取し、直径50㎜・高さ100㎜程度の円柱形に仕上げる。

3.圧縮試験は、JIS A 1108（コンクリートの圧縮試験方法）による。

4.充填液の圧縮強さは、材齢28日として管理する。（　上記３）根固め液 参照　）

7．施工記録

試験杭および本工事完了後、下記事項を記録した施工報告書を作成し、提出する。

1. 工事概要
2. 実施工程表
3. 使用杭の仕様
4. 充填液の材料・配合・使用量
5. 施工機械の仕様
6. 試験杭または試験掘削の記録
7. 本杭施工記録
8. その他必要事項

8．安全・公害対策

1）安全対策

1. 災害の種類

杭の施工に伴って発生する労働災害には、杭打機の転倒・接触、挟まれ巻き込まれ・衝突・飛来落下・墜落・感電等がある。

2. 災害の防止

a) 作業指揮者および作業者は、予め定めた手順に従って規律ある正しい作業を行い、安全活動には全面的・積極的に参加する。

b) 各種機械の運転者は、使用する機械器具の使用前点検を行い、損傷・変形・機能不具合等があれば修理・交換等必要な措置を講じ、その記録を残す。

c) 杭打機の組立・据え付け・解体は、予め定めた計画に基づき、作業指揮者の指揮のもとに行う。

d) 現場内の作業地盤は平坦にし、軟弱地盤の場合は転倒防止のためにサンドマット・敷き鉄板・地盤改良等で補強を行う。

e) 杭打機等機械器具の運転は専任の者によることとし、資格を要する作業は必ず有資格者が行う。

f) 鉄道・道路・高圧架線・電灯線・通信線・建築物・地下埋設物等既存のものに近接して作業を行う場合は、元請業者と打ち合わせを行い、関係者の立ち会いを求める等して事故防止につとめる。

g) 作業者または第３者の接触・挟まれ・転落落下をおこさないように、立入禁止措置または監視・誘導を充分に行う。

h) 現場での作業開始前に、作業員全員による打ち合わせ・確認を行い、作業者の配置(役割分担)を定め、元請業者への届け出を行う。

2）公害対策

本工法の施工に伴って発生する可能性のある公害は、騒音・振動・粉塵地盤沈下・地下水汚染・泥土や泥水の場外流出による汚損・土砂の飛散等がある。これらが発生して、近隣環境や第３者に影響を及ぼすことのないよう留意して施工する。

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=N/S A3 S=N/S		S
Hyper-MEGA工法　特記仕様書			07

作図：一級建築士登録　第31582 6号　吉永　伸太郎
構造設計一級建築士　第8425号

（株）ＡＤＯ建築設計事務所　１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173　１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

■構法概要

1．本構法は、地震時の杭基礎の損傷低減を目的とした杭頭接合方法であり、既製コンクリート杭に用いる。

2．杭頭を基礎（パイルキャップ）へ50～150㎜の範囲で埋め込み、埋め込み部分において杭外周部とパイルキャップの界面にテーパー状のクリアランスを設ける。

3．杭頭接合方法は、地震時に杭頭に引抜き力が作用しない箇所に適用する標準タイプと、引抜き力が作用する箇所にも適用できる引抜き対応タイプの２タイプがある。

■使用材料（適用範囲）

・杭　：　各種の既製コンクリート杭（PHC杭、SC杭、PRC杭、RC杭　等）

・杭径　：　300㎜～1200㎜

・コンクリート（基礎（パイルキャップ）部）　：　普通コンクリート　設計基準強度：18～60 N/㎟

（法第37条第一号もしくは第二号に該当するコンクリート）

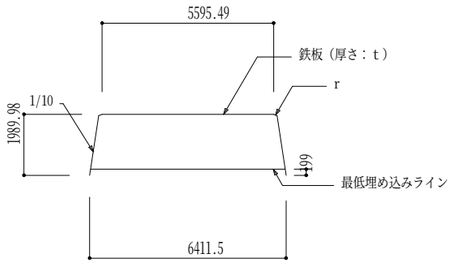
■施工手順

既製コンクリート杭の施工
（各種工法による）
↓
掘　削
↓
基礎底地盤の整地
↓
杭芯・杭頭レベルの確認
↓
FTキャップの設置
（仮止めボルトによる固定）
↓
レベルコンクリートの打設
↓
仮止めボルトの撤去
↓
基礎の配筋・型枠
↓
基礎コンクリートの打設

＊留意事項

・施工開始前に施工計画書を作成し、工事監理者の承認を得ること。
・F.T.Pile構法の施工は、FTキャップ設置前にパイルメーカーによる施工説明・指導を受けた後、実施する。
・FTPの刻印があるFTキャップ（テーパー型枠）を使用すること。
・FTキャップの受入時にはFTPの刻印と変形や損傷の有無を確認する。
・既製コンクリート杭の設置に先立ち、杭頭の端板のボルト孔に泥土が入らないように養生を行う。
・杭頭レベルの誤差が品質管理許容差を超えた場合には、工事監理者・設計者と協議のこと。
・FTキャップを設置する際は、杭周囲の砕石等のレベルが周辺よりも高くなっていないことを確認する。
・FTキャップ設置後に木槌等でFTキャップを軽打し、端板との間に小石・砂等により、浮き・隙間が生じていないか確認する。
・レベルコンクリート打設前にFTキャップの最低埋め込みラインが隠れるまで砕石または現地発生土に埋め込まれているか目視確認する。
・仮止めボルトは、レベルコンクリート硬化後に撤去する。
・FTキャップの上には原則として基礎配筋用のスペーサー等を置かないこと。
・施工完了後、施工結果を「施工チェックシート」に記録し、工事監理者に提出すること。

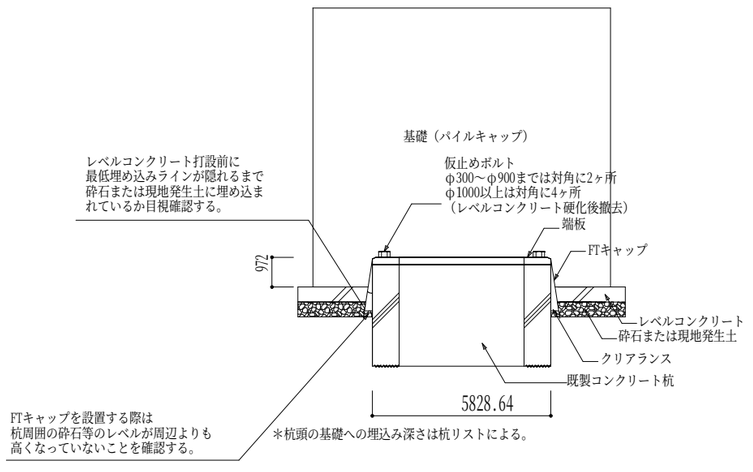
■FTキャップ（テーパー型枠）仕様



杭径：φ	鉄板厚さ：ｔ(㎜)	D1(㎜)	D2(㎜)	H(㎜)	r(㎜)	W(kg)
300	1.2	301	345	201	2.0	1.8
350	1.2	351	395	201	2.0	2.3
400	1.2	401	445	201	2.0	2.7
450	1.2	451	495	201	2.0	3.2
500	1.2	501	545	201	2.0	3.8
600	1.6	601	645	201	2.0	7.2
700	1.6	701	745	201	2.0	9.0
800	2.0	801	845	201	2.0	13.8
900	2.0	901	945	201	2.0	17.4
1000	2.3	1001	1045	201	2.0	23.9
1100	3.2	1101	1145	201	2.0	38.6
1200	3.2	1201	1245	201	2.0	44.3

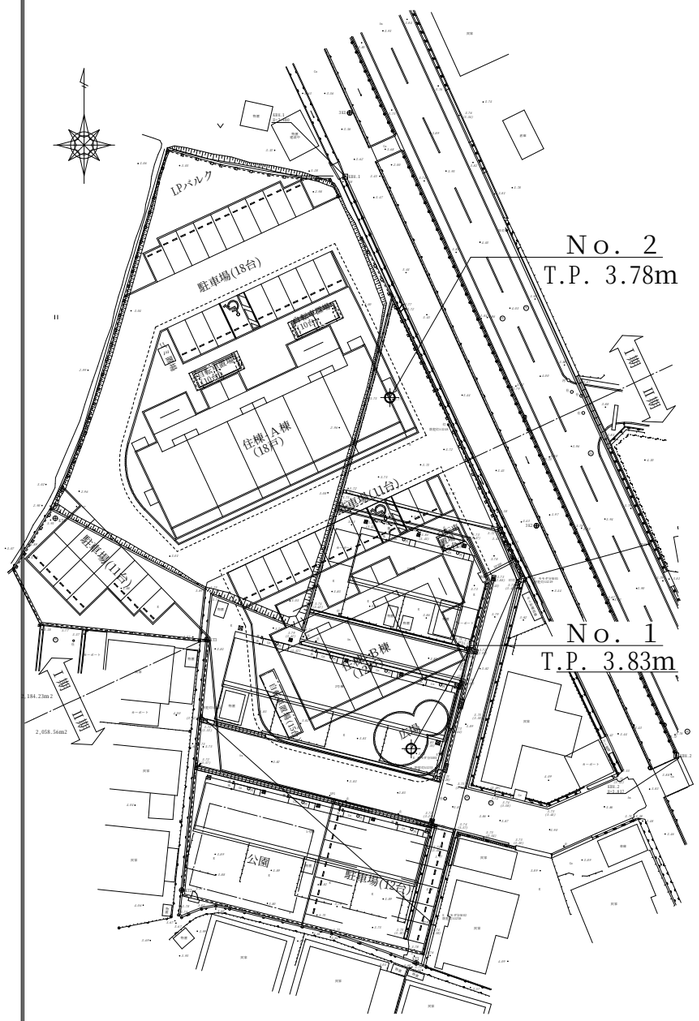
＊FTキャップの品質管理は製作工場で行われているため、施工時には下記の確認を行う。
・FTキャップに「FTP」の刻印があること。
・FTキャップに変形や損傷がないこと。

■杭頭部詳細図



作図：一級建築士登録　第315826号　吉永　伸太郎
構造設計一級建築士　第8425号

（株）ＡＤＯ建築設計事務所　１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173　１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



ボーリング位置図　　S＝1/400

参考

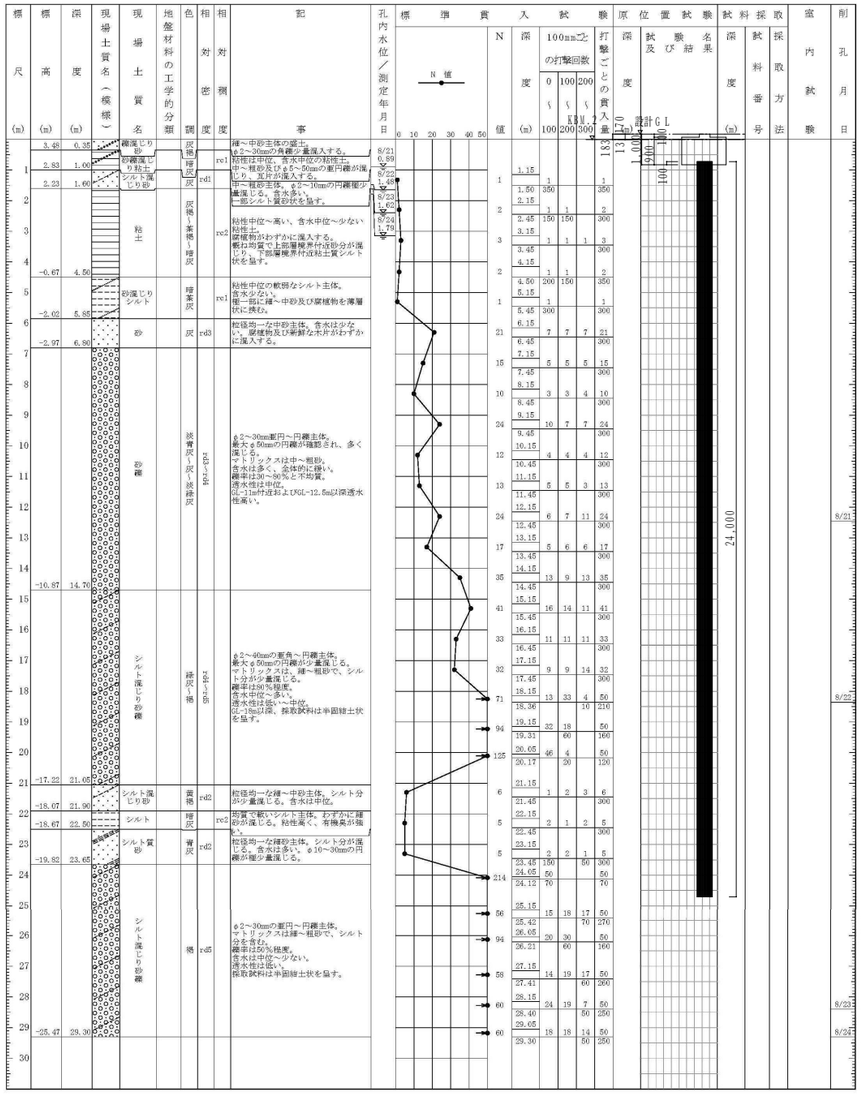
土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名　5-208 地質調査業務　邑久地区市営住宅

事業名または工事名

調査目的及び調査対象　建築　構造物基礎

ボーリング名	No.1	調査位置	瀬戸内市邑久町福元地内			北緯	34° 40′ 33.4539″
発注機関	瀬戸内市産業建設部建築住宅課			調査期間	2023年08月21日～2023年08月24日	東経	134° 5′ 17.3233″
調査業者名	西部技術コンサルタント株式会社 電話(086-246-5667)	主任技師	丸尾愛美	現場代理人	大嶋優斗	コア鑑定者	大嶋優斗
孔口標高	T.P. 3.83 m	角度	上 90° 0°	方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°
総削孔長	29.00 m	使用機種	試錐機	TOHO D1-C			
			エンジン	YANMAR NFD12	ポンプ	TOHO BG-3C	



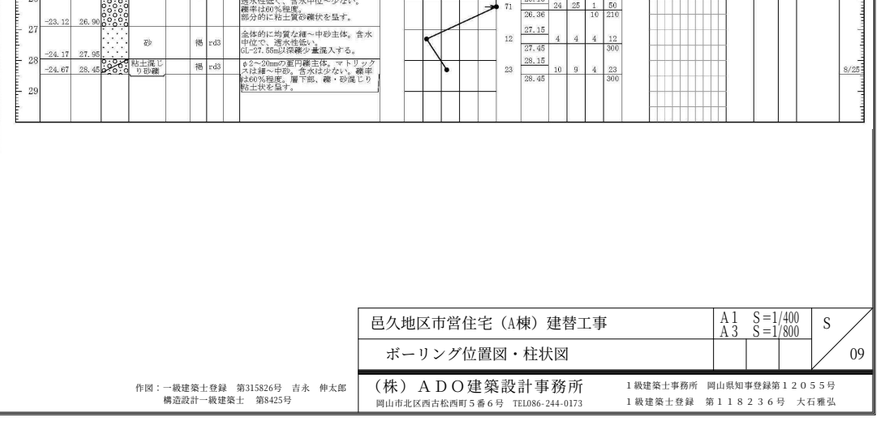
土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名　5-208 地質調査業務　邑久地区市営住宅

事業名または工事名

調査目的及び調査対象　建築　構造物基礎

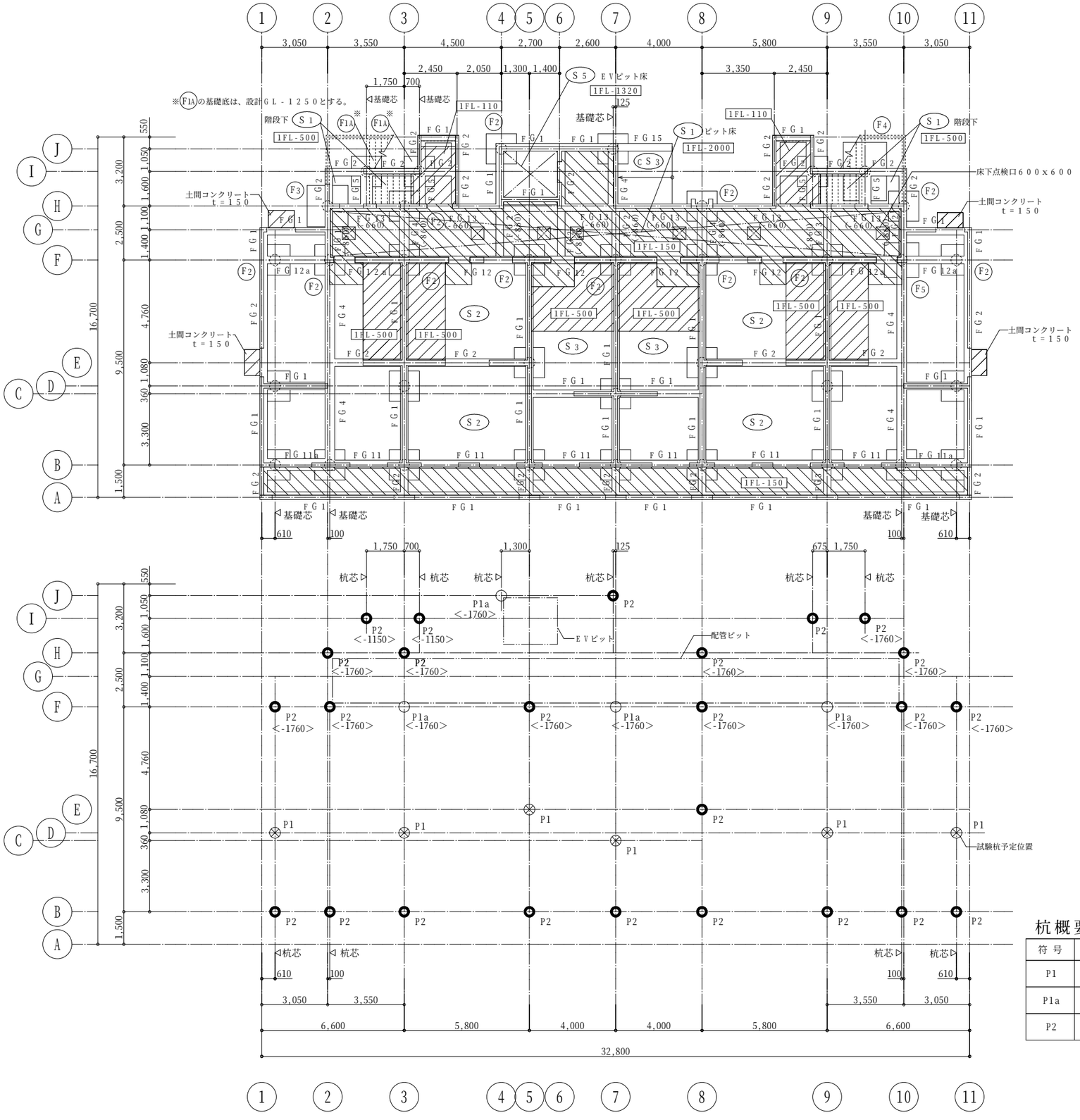
ボーリング名	No.2	調査位置	瀬戸内市邑久町福元地内			北緯	34° 40′ 34.9443″
発注機関	瀬戸内市産業建設部建築住宅課			調査期間	2023年08月23日～2023年08月25日	東経	134° 5′ 17.2074″
調査業者名	西部技術コンサルタント株式会社 電話(086-246-5667)	主任技師	丸尾愛美	現場代理人	大嶋優斗	コア鑑定者	大嶋優斗
孔口標高	T.P. 3.78 m	角度	上 90° 0°	方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°
総削孔長	28.00 m	使用機種	試錐機	TOHO D1-C			
			エンジン	YANMAR YF120V-E	ポンプ	TOHO BG-3C	



邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/400 A3 S=1/800	S 09
ボーリング位置図・柱状図		

作図：一級建築士登録　第315826号　吉永　伸太郎
構造設計一級建築士　第8425号

（株）ＡＤＯ建築設計事務所　1級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173　1級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



基礎伏図　　S＝1/100

※　特記なき基礎は、Ｆ１とする。
※　特記なき基礎底は、Ｆ１：設計ＧＬ－１０００、Ｆ２・Ｆ３・Ｆ４・Ｆ５：設計ＧＬ－１８６０とする。
※　特記なき地中梁天は、設計ＧＬ±０とする。
※　（　）内数値は、設計ＧＬからの梁天レベルを示す。
※　特記なきスラブは、Ｓ１とする。
※　特記なきスラブ天端は、設計ＧＬ＋４７０とする。
※　▨: 床下がりを示し、 1FL-*** はスラブの天端レベルを示す。
※　土間コンクリートｔ＝１５０の配筋は、Ｄ１０@２００シングルクロスとする。

杭伏図　　S＝1/100

※　特記なき杭頭位置は、設計ＧＬ－９００とする。
※　＜　＞内数値は、設計ＧＬからの杭頭位置を示す。

杭概要

工法：Hyper-MEGA工法（認定番号：TACP-0530, 0531）

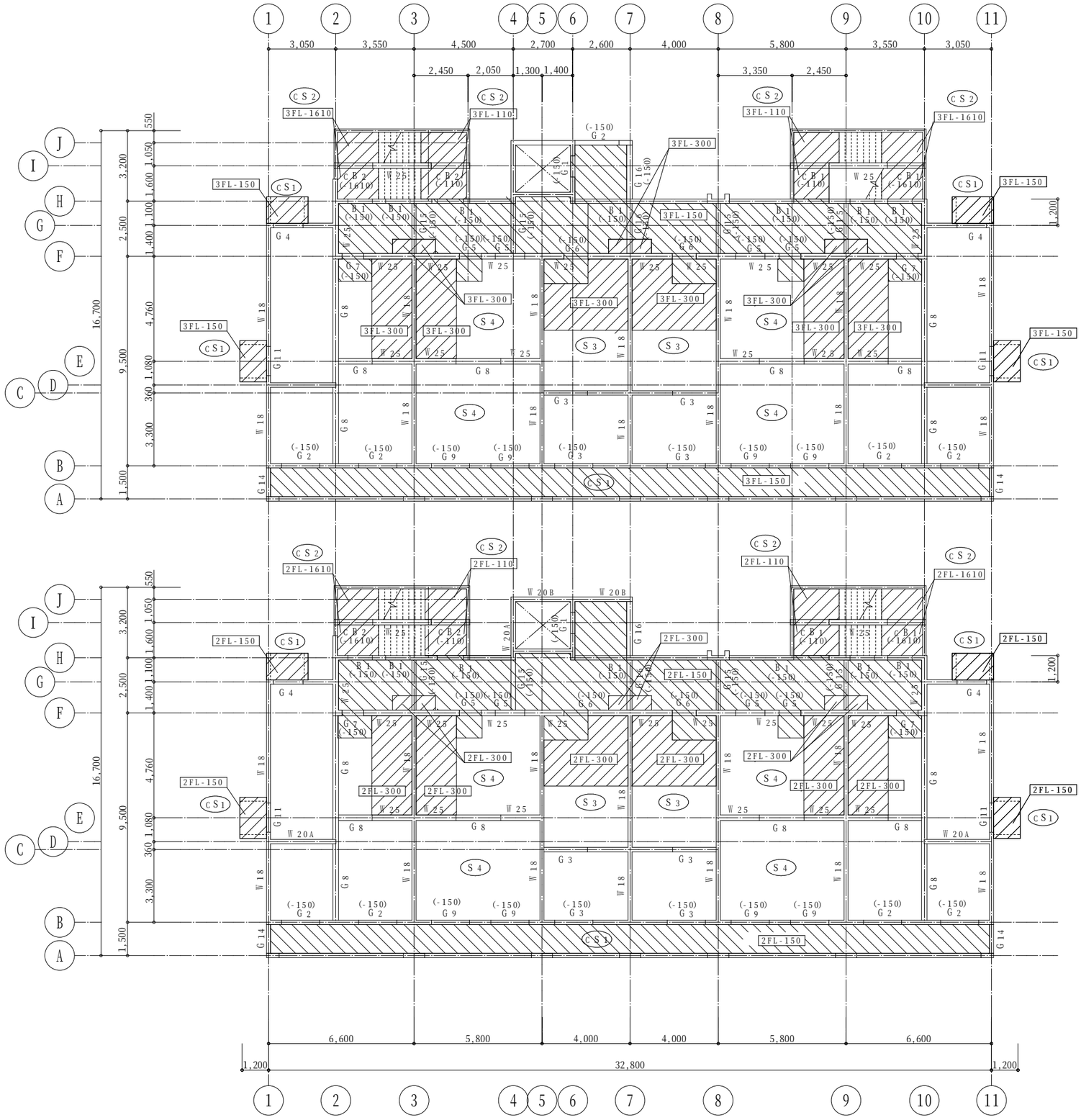
符号	記号	杭頭径	設計支持力 (kN/本)	杭全長	拡大比	上杭	中杭	下杭	杭本数 (セット)	杭頭補強
P1	⊗	φ500	2360	24m	1.23	φ500-8m CPRC105-Ⅰ	φ500-8m ONA105-A1	φ500・700-8m HF-ONA105-A1	6	パイルキャップ
P1a	○	φ500	2360	24m	1.23	φ500-8m CPRC105-Ⅳ	φ500-8m ONA105-A1	φ500・700-8m HF-ONA105-A1	4	パイルキャップ
P2	●	φ500	1450	24m	1.23	φ500-8m CPRC105-Ⅰ	φ500-8m ONA105-A1	φ350・500-8m HF-ONA105-A1	25	パイルキャップ

杭接手部：トリプル　プレート　ジョイント（T・P　JOINT）BCJ認定-FD0183-08

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事
A1 S=1/100　A3 S=1/200
杭伏図・基礎伏図
S 10

作図：一級建築士登録　第31582６号　吉永　伸太郎
構造設計一級建築士　第8425号

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



３階伏図　　S＝1/100

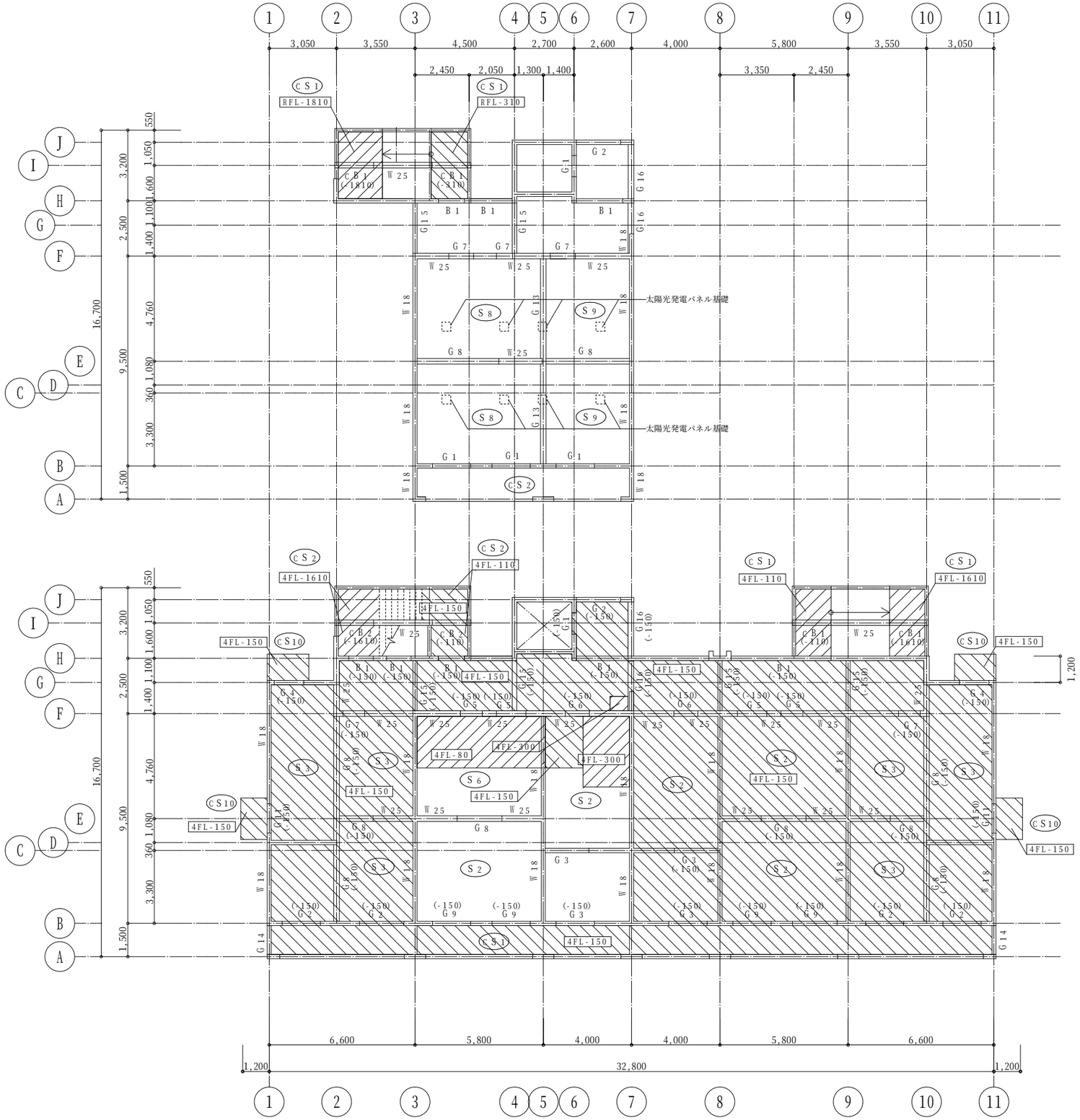
※　特記なき梁天は、３ＦＬ－３０とする。
※　（　）内数値は、３ＦＬからの梁天レベルを示す。
※　特記なきスラブは、Ｓ１とする。
※　特記なきスラブ天は、３ＦＬ－３０とする。
※　▨：床下がりを示し、３ＦＬ－＊＊＊　はスラブ天端レベルを示す。
※　特記なき壁は、Ｗ２０とする。

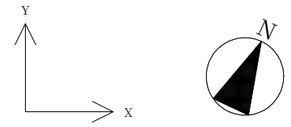
２階伏図　　S＝1/100

※　特記なき梁天は、２ＦＬ－３０とする。
※　（　）内数値は、２ＦＬからの梁天レベルを示す。
※　特記なきスラブは、Ｓ１とする。
※　特記なきスラブ天は、２ＦＬ－３０とする。
※　▨：床下がりを示し、２ＦＬ－＊＊＊　はスラブ天端レベルを示す。
※　特記なき壁は、Ｗ２０とする。

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/100 A3 S=1/200	S
２・３階伏図		11

（株）ＡＤＯ建築設計事務所　　１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173　　１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘
作図：一級建築士登録　第315826号　吉永　伸太郎
構造設計一級建築士　第8425号





R階伏図　　S＝1/100

※　特記なき梁天は、ＲＦＬ±０とする。
※　（ ）内数値は、ＲＦＬからの梁天レベルを示す。
※　特記なきスラブは、Ｓ１とする。
※　特記なきスラブ天は、ＲＦＬ±０とする。
※　：床下がりを示し、[ＲＦＬ－＊＊＊] はスラブ天端レベルを示す。
※　特記なき壁は、Ｗ２０とする。

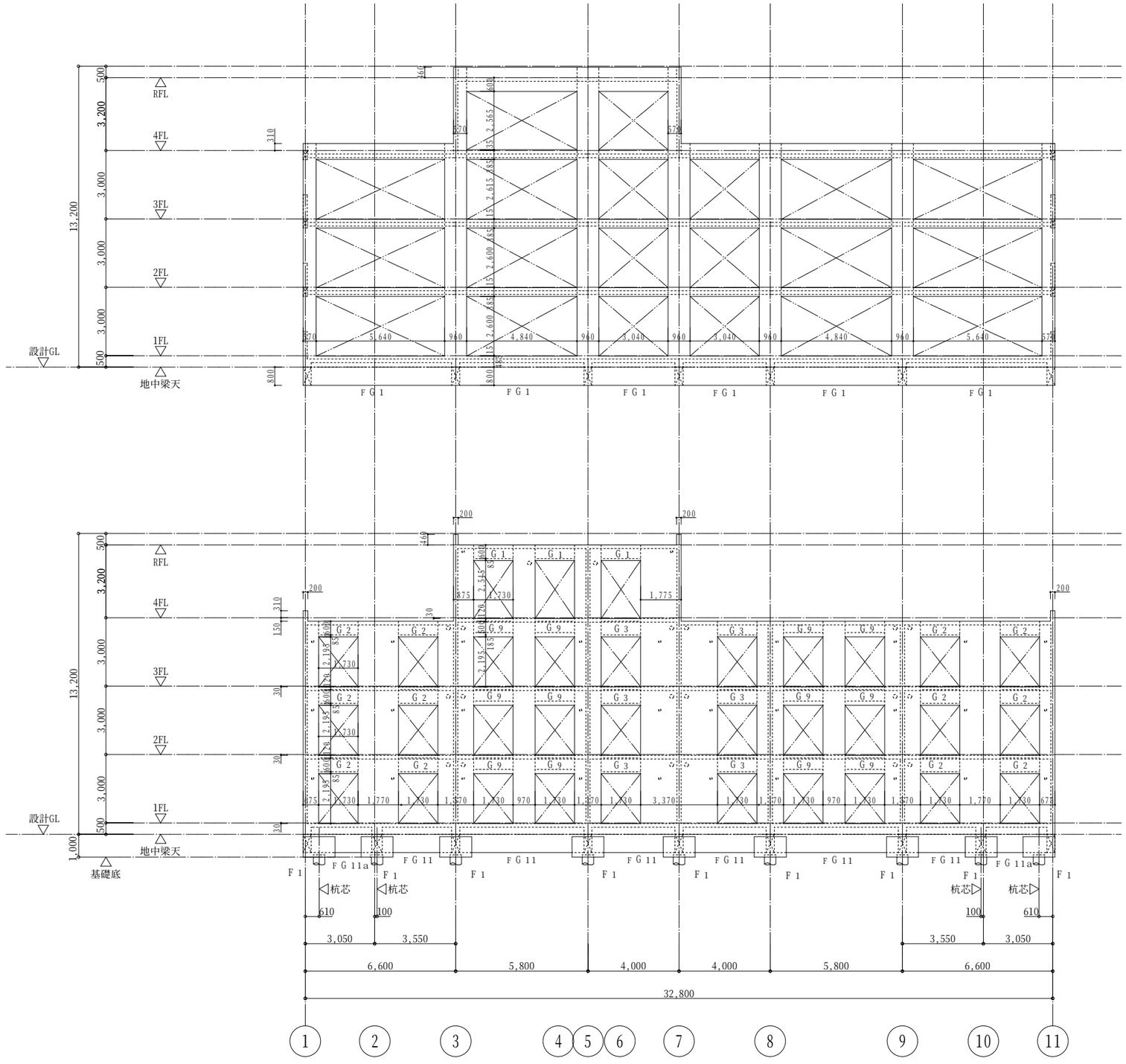
４階伏図　　S＝1/100

※　特記なき梁天は、４ＦＬ－３０とする。
※　（ ）内数値は、４ＦＬからの梁天レベルを示す。
※　特記なきスラブは、Ｓ１とする。
※　特記なきスラブ天は、４ＦＬ－３０とする。
※　：床下がりを示し、[４ＦＬ－＊＊＊] はスラブ天端レベルを示す。
※　特記なき壁は、Ｗ２０とする。

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/100 A3 S=1/200	S
４・R階伏図		12

作図：一級建築士登録　第31582 6号　吉永　伸太郎
構造設計一級建築士　第8425号

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



A通り軸組図　　S＝1/100

※　特記なき壁符号は、Ｗ２０とする。

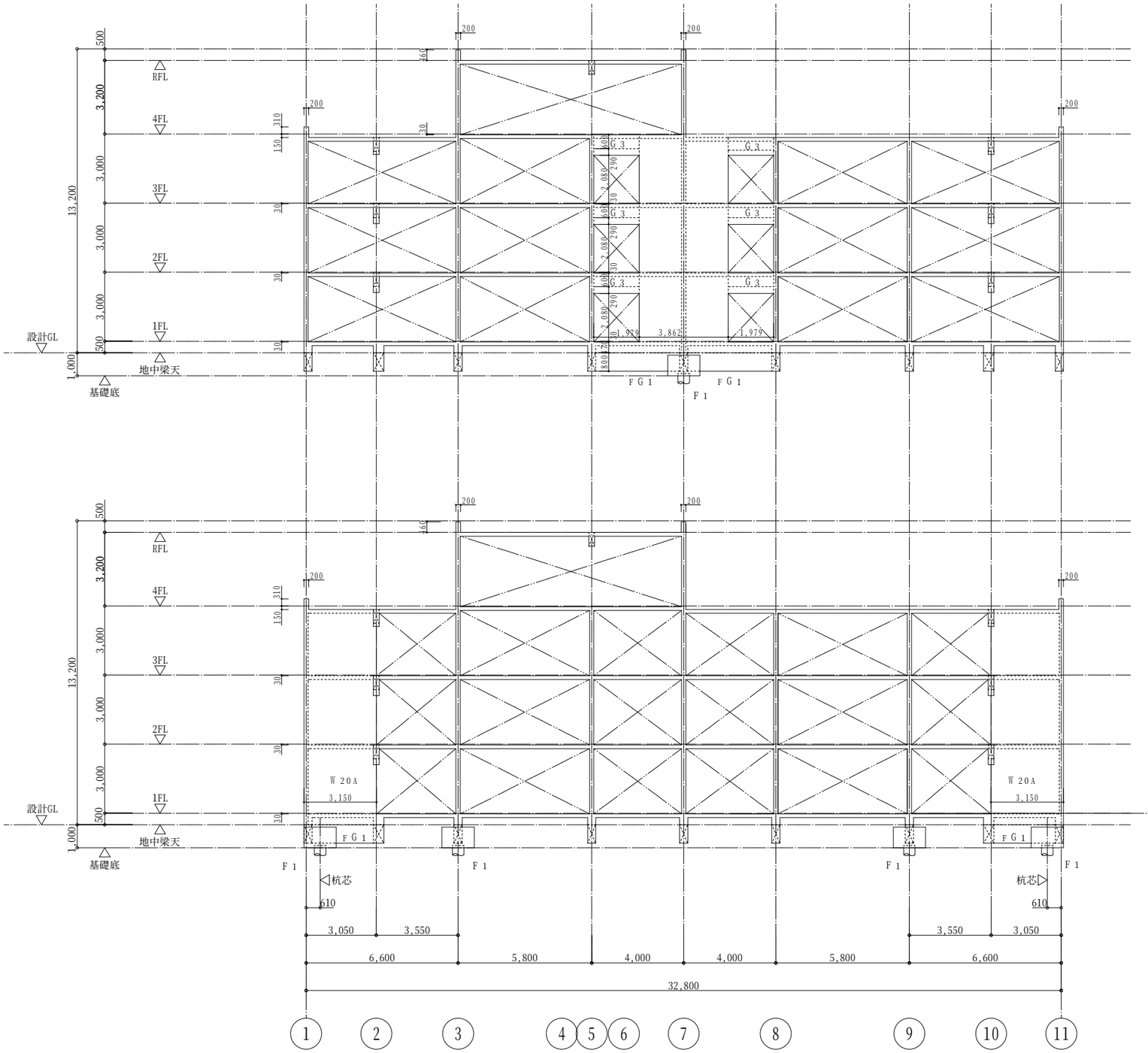
B通り軸組図　　S＝1/100

※　特記なき壁符号は、Ｗ２０とする。

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/100 A3 S=1/200	S
軸組図１（A・B通り）		13

作図：一級建築士登録　第315826号　吉永　伸太郎
構造設計一級建築士　第8425号

（株）ＡＤＯ建築設計事務所　１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173　１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



C通り軸組図　　S＝1/100

※　特記なき壁符号は、Ｗ２０とする。

D通り軸組図　　S＝1/100

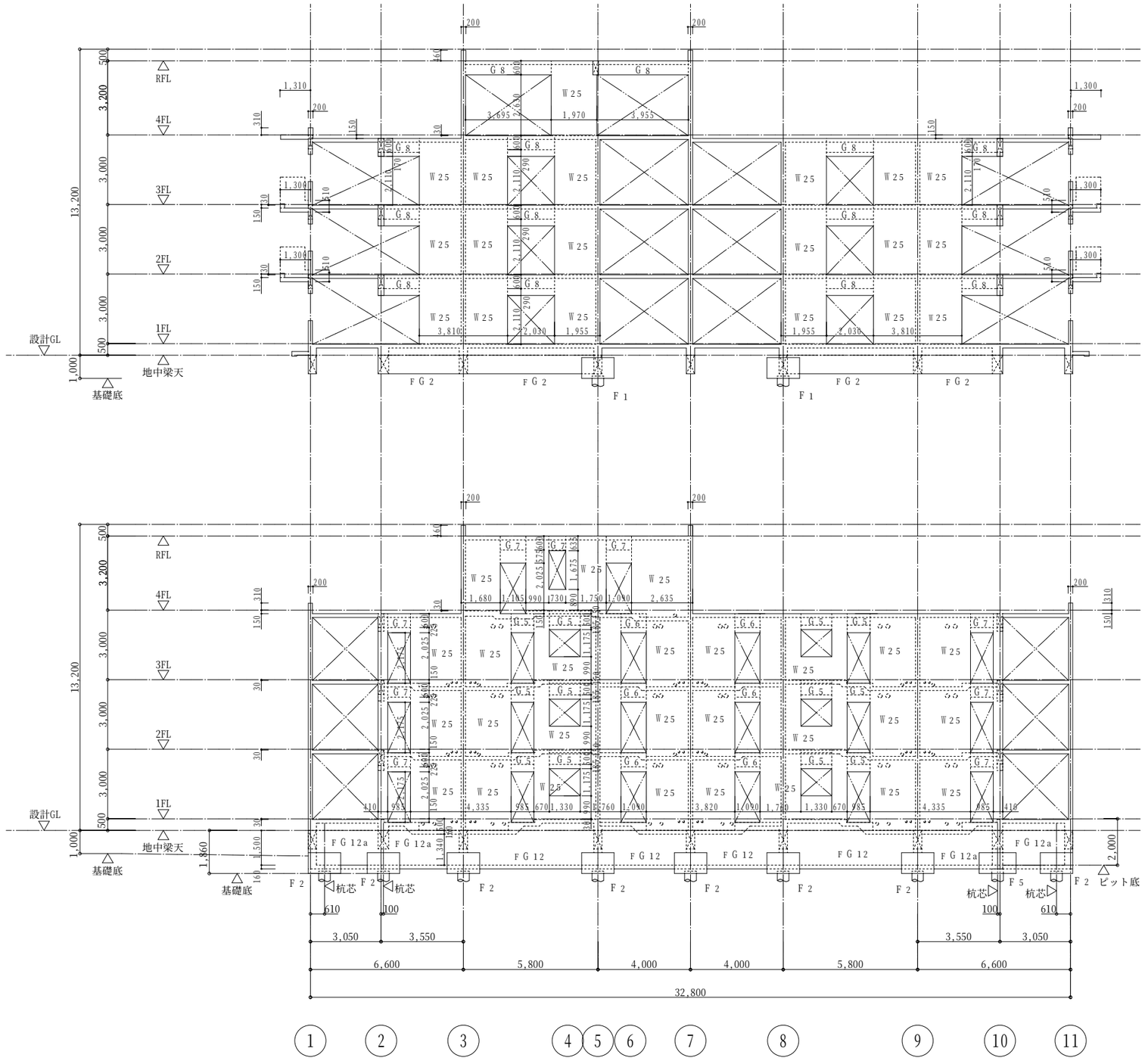
※　特記なき壁符号は、Ｗ２０とする。

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/100 A3 S=1/200	S
軸組図２（C・D通り）		14

作図：一級建築士登録　第315826号　吉永　伸太郎
構造設計一級建築士　第8425号

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173

１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



E通り軸組図　　S＝1/100

※　特記なき壁符号は、Ｗ２０とする。

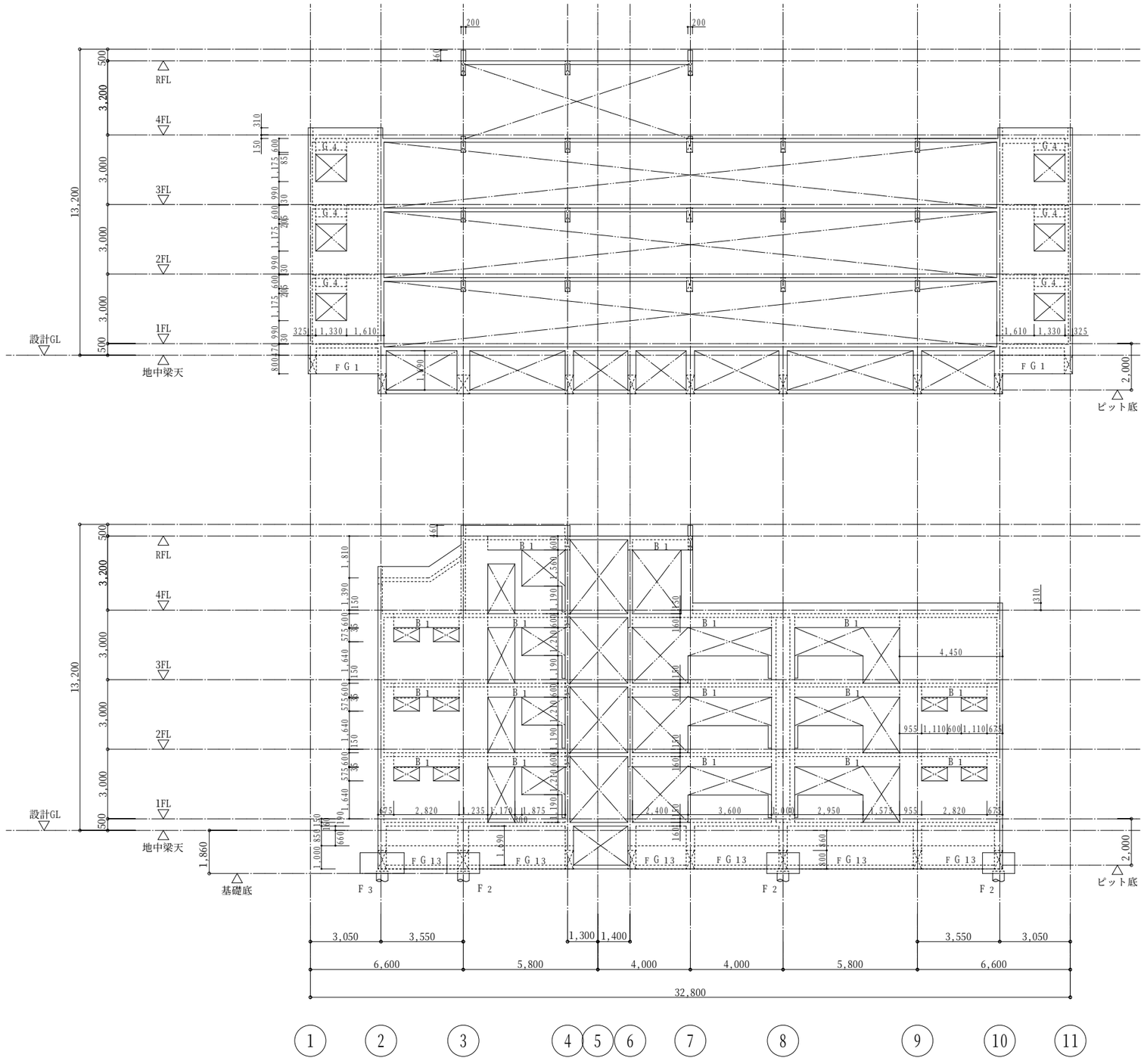
F通り軸組図　　S＝1/100

※　特記なき壁符号は、Ｗ２０とする。

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/100 A3 S=1/200	S
軸組図３（E・F通り）		15

作図：一級建築士登録　第315826号　吉永　伸太郎
構造設計一級建築士　第8425号

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



G通り軸組図　　S＝1/100

※　特記なき壁符号は、Ｗ２０とする。

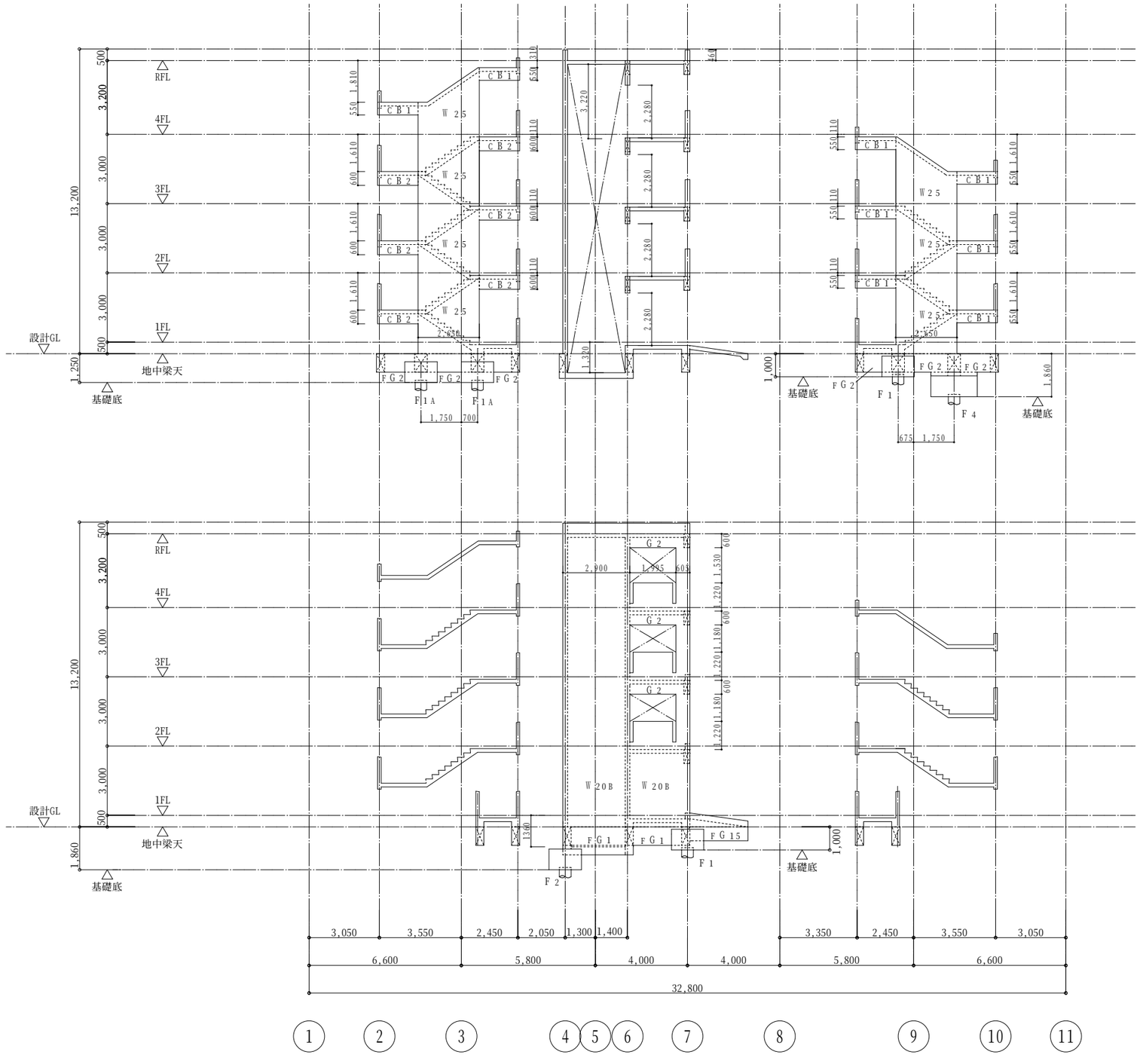
H通り軸組図　　S＝1/100

※　特記なき壁符号は、Ｗ２０とする。

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/100 A3 S=1/200	S
軸組図４（G・H通り）		16

作図：一級建築士登録　第315826号　吉永　伸太郎
構造設計一級建築士　第8425号

（株）ＡＤＯ建築設計事務所　１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173　１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



Ｉ通り軸組図　　Ｓ＝1/100

※　特記なき壁符号は、Ｗ２０とする。

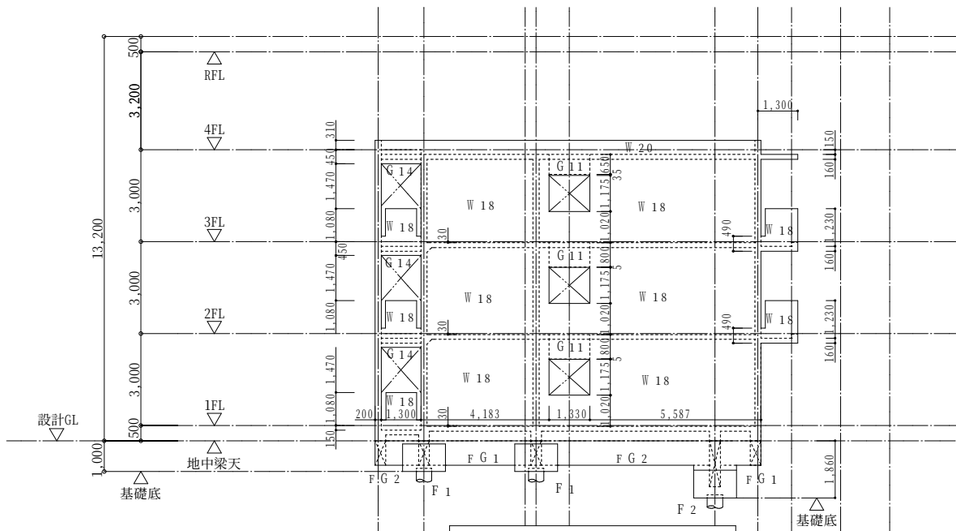
Ｊ通り軸組図　　Ｓ＝1/100

※　特記なき壁符号は、Ｗ２０とする。

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/100 A3 S=1/200	S
軸組図５（Ｉ・Ｊ通り）		17

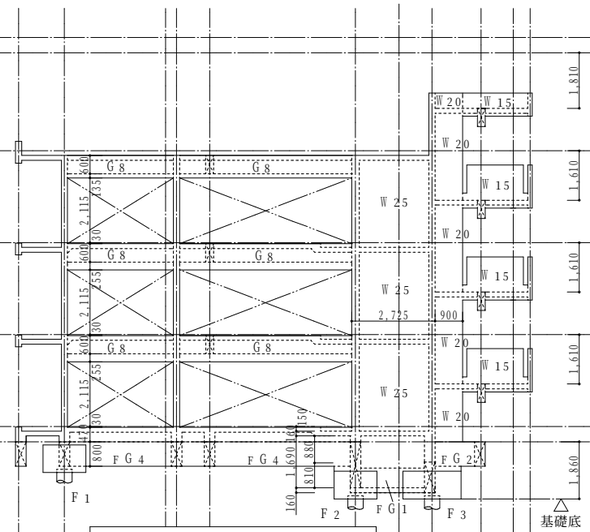
作図：一級建築士登録　第315826号　吉永　伸太郎
構造設計一級建築士　第8425号

（株）ＡＤＯ建築設計事務所　１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173　１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



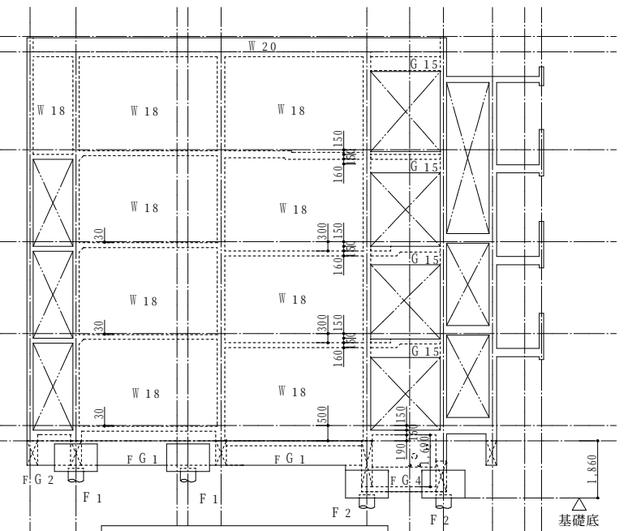
1 通り軸組図　　S＝1/100

※　特記なき壁符号は、Ｗ２０とする。



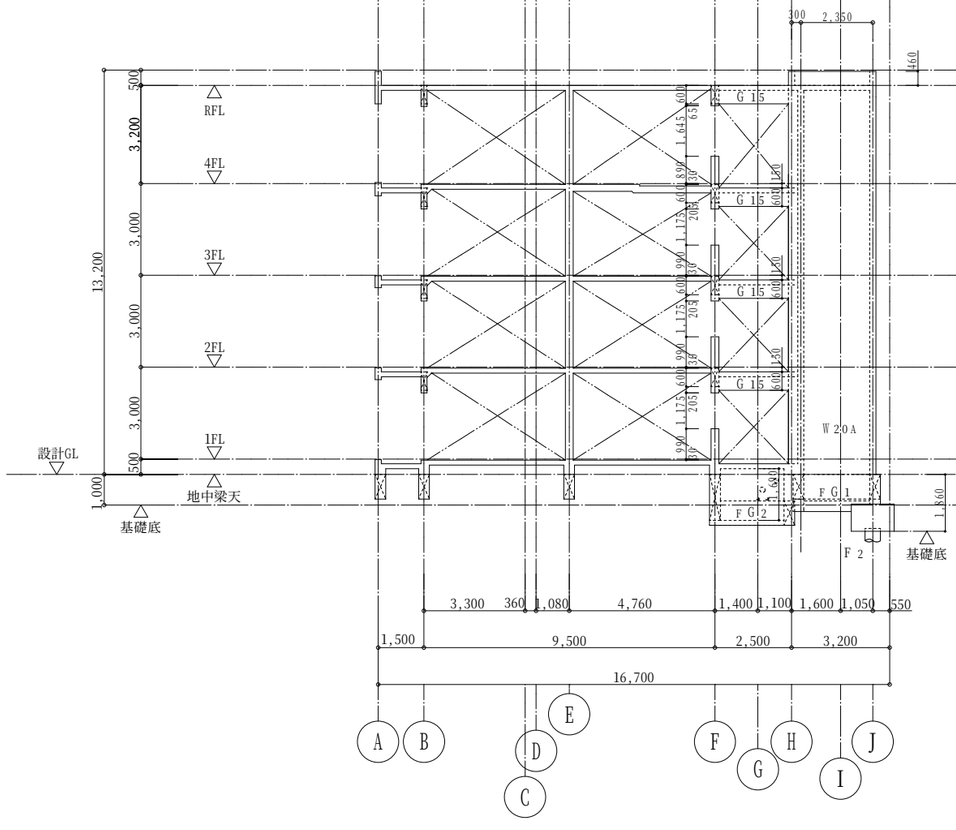
2 通り軸組図　　S＝1/100

※　特記なき壁符号は、Ｗ２０とする。



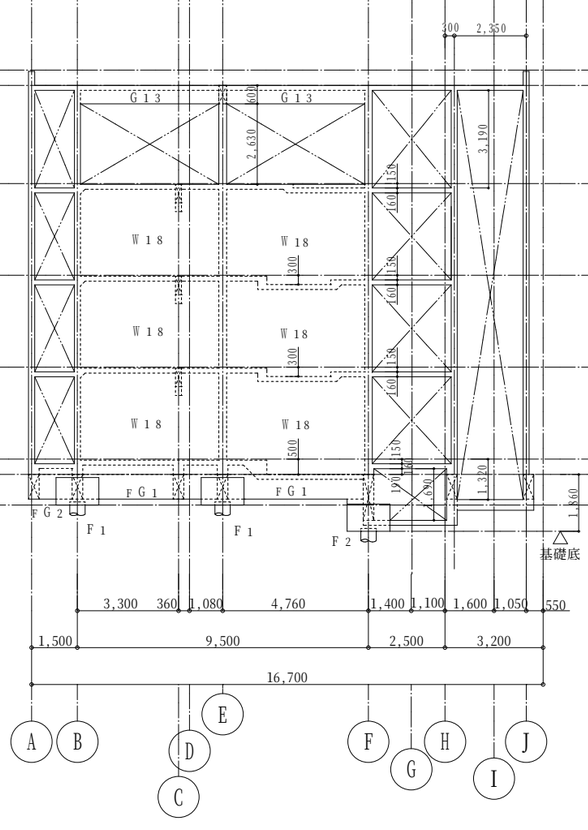
3 通り軸組図　　S＝1/100

※　特記なき壁符号は、Ｗ２０とする。



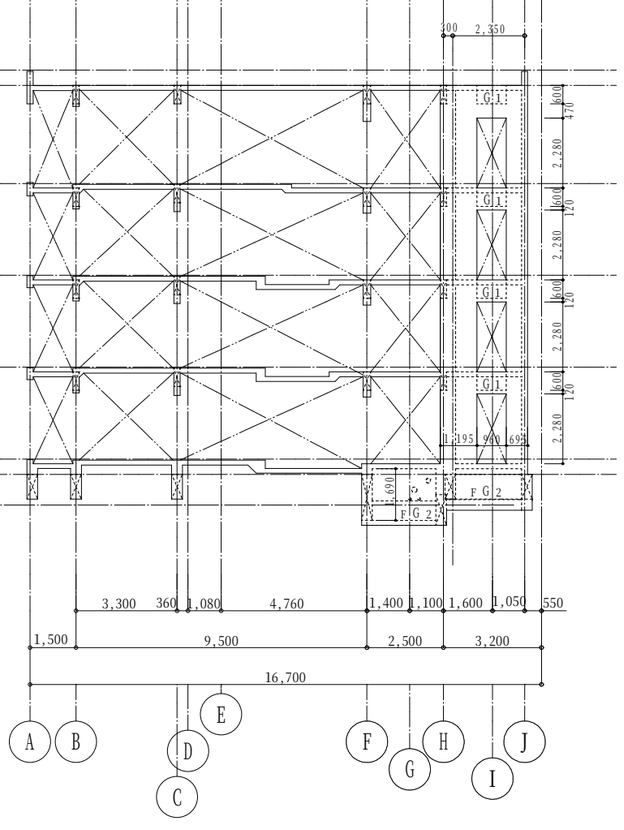
4 通り軸組図　　S＝1/100

※　特記なき壁符号は、Ｗ２０とする。



5 通り軸組図　　S＝1/100

※　特記なき壁符号は、Ｗ２０とする。

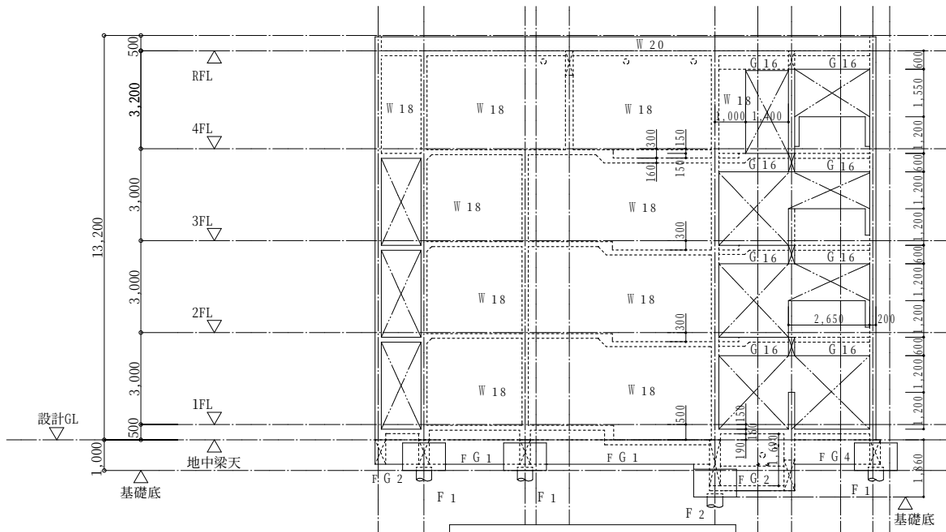


6 通り軸組図　　S＝1/100

※　特記なき壁符号は、Ｗ２０とする。

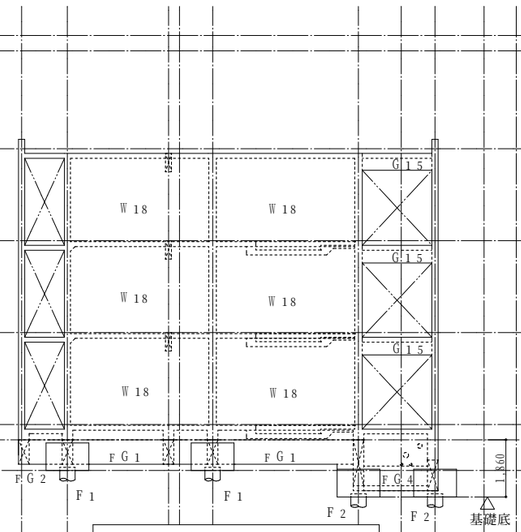
邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1　S=1/100 A3　S=1/200	S
軸組図６（１～６通り）		18

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘
作図：一級建築士登録　第315826号　吉永　伸太郎
構造設計一級建築士　第8425号



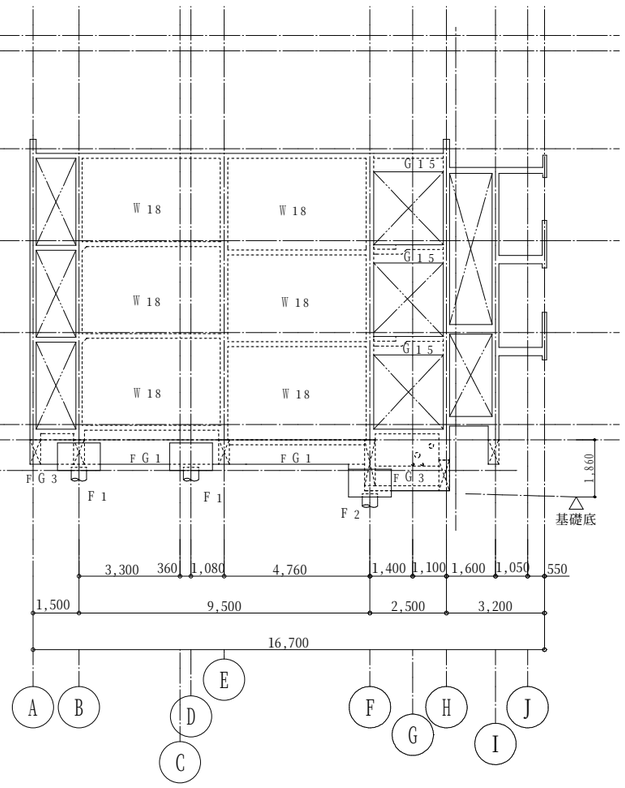
7通り軸組図　S=1/100

※　特記なき壁符号は、W20とする。



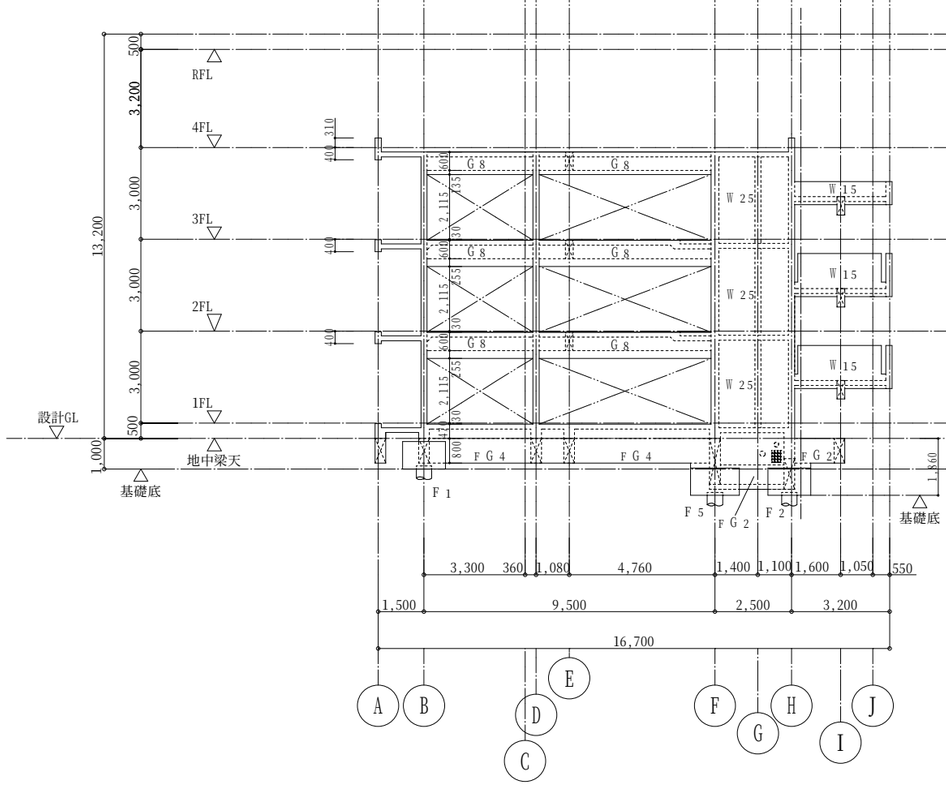
8通り軸組図　S=1/100

※　特記なき壁符号は、W20とする。



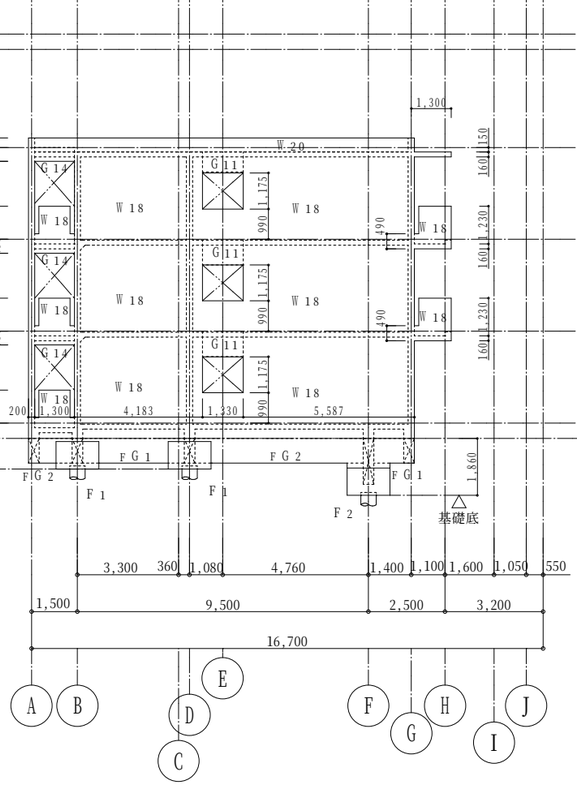
9通り軸組図　S=1/100

※　特記なき壁符号は、W20とする。



10通り軸組図　S=1/100

※　特記なき壁符号は、W20とする。



11通り軸組図　S=1/100

※　特記なき壁符号は、W20とする。

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/100 A3 S=1/200	S
軸組図7（7～11通り）		19

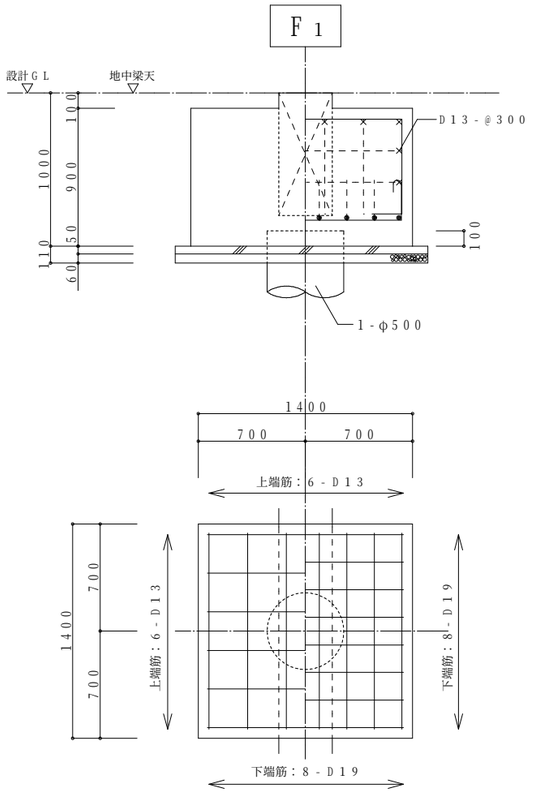
作図：一級建築士登録　第315826号　吉永　伸太郎
構造設計一級建築士　第8425号

（株）ADO建築設計事務所
岡山市北区西古松西町5番6号　TEL086-244-0173

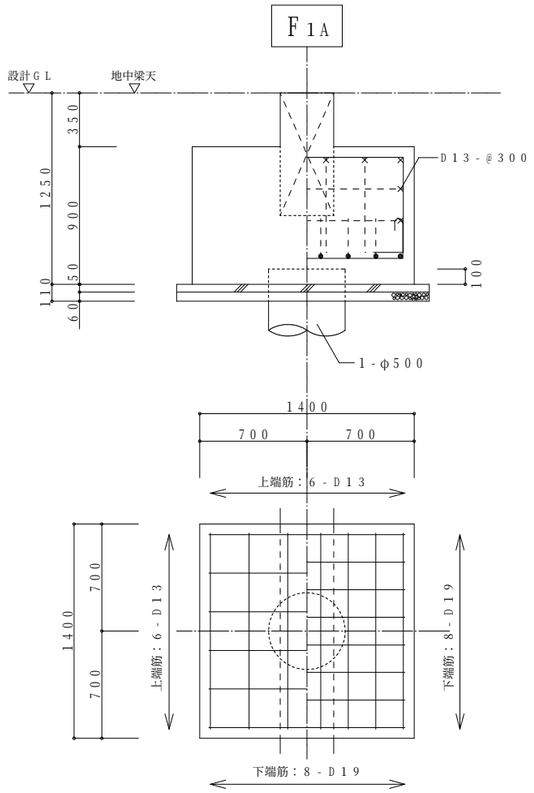
1級建築士事務所　岡山県知事登録第12055号
1級建築士登録　第118236号　大石雅弘

基礎リスト１　　S＝1/20

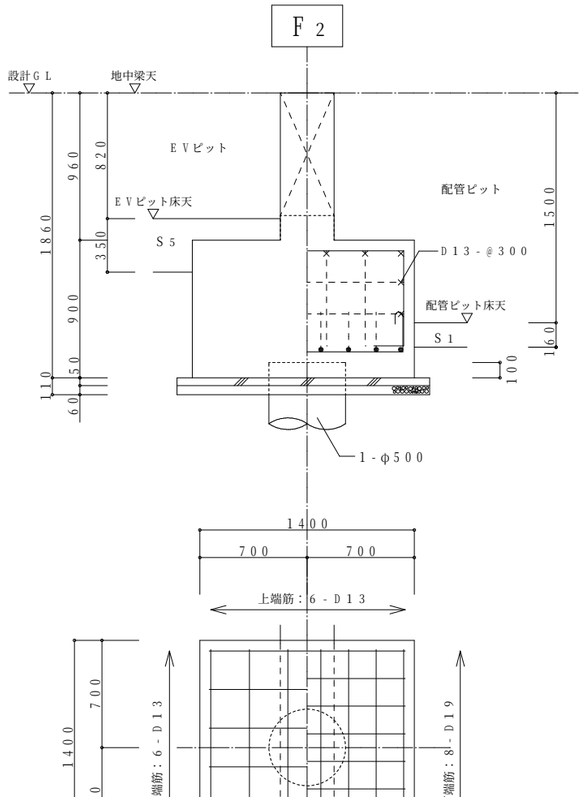
F１



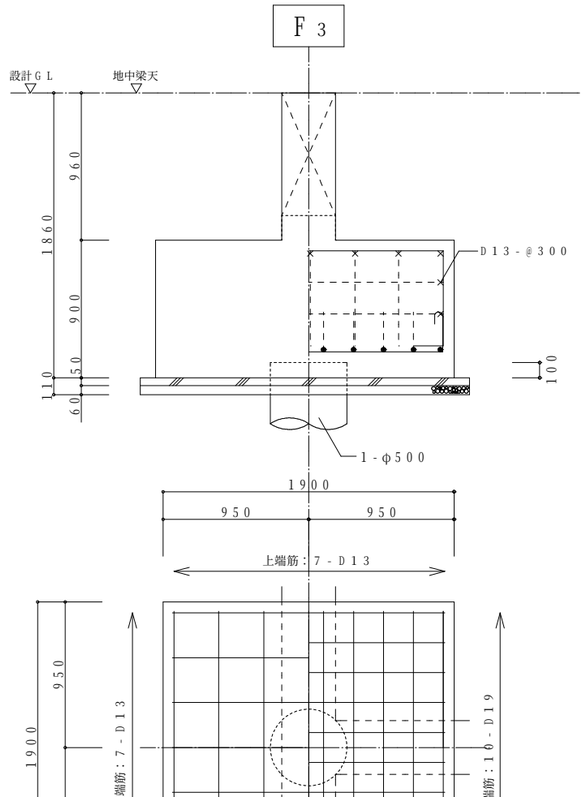
F１A



F２



F３

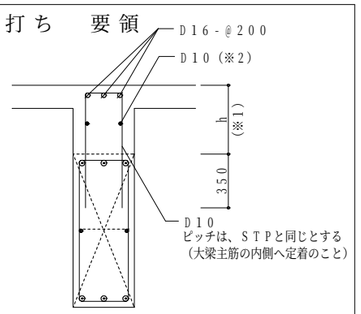


地中梁リスト　　S＝1/20

※　幅止め筋は、Ｄ１０－@１０００以下とする。

符　号	ＦＧ１	ＦＧ２	ＦＧ３	ＦＧ４	ＦＧ５	ＦＧ１１	ＦＧ１１a	ＦＧ１２	ＦＧ１２a	ＦＧ１３	ＦＧ１５
位　置	全域	全域	全域	全域	全域	全域	全域	全域	全域	全域	全域
断面	設計ＧＬ ▽ 800 / 350	800 / 350	800 / 350	800 / 450	800 / 550	800 / 400	800 / 550	1500 / 350	1500 / 350	1000 / 350	600 / 350
上端筋	3－Ｄ22	5－Ｄ22	6－Ｄ22	8－Ｄ22	8－Ｄ22	6－Ｄ22	7－Ｄ22	6－Ｄ22	6－Ｄ22	6－Ｄ22	6－Ｄ22
下端筋	3－Ｄ22	5－Ｄ22	6－Ｄ22	8－Ｄ22	8－Ｄ22	6－Ｄ22	7－Ｄ22	6－Ｄ22	6－Ｄ22	6－Ｄ22	6－Ｄ22
肋　筋	Ｄ10－□－@２００	Ｄ10－□－@１００	Ｄ10－□－@１００	Ｄ13－□□－@１５０	Ｄ13－□－@１００	Ｄ10－□－@１５０	Ｄ13－□□－@１００	Ｄ10－□－@２００	Ｄ13－□－@２００	Ｄ10－□－@１００	Ｄ10－□－@２００
腹　筋	2x2－Ｄ10	2x2－Ｄ10	2x2－Ｄ10	2x2－Ｄ10	2x2－Ｄ10	2x2－Ｄ10	2x2－Ｄ10	2x4－Ｄ10	2x4－Ｄ10	2x3－Ｄ10	2x1－Ｄ10

梁増打ち　要領



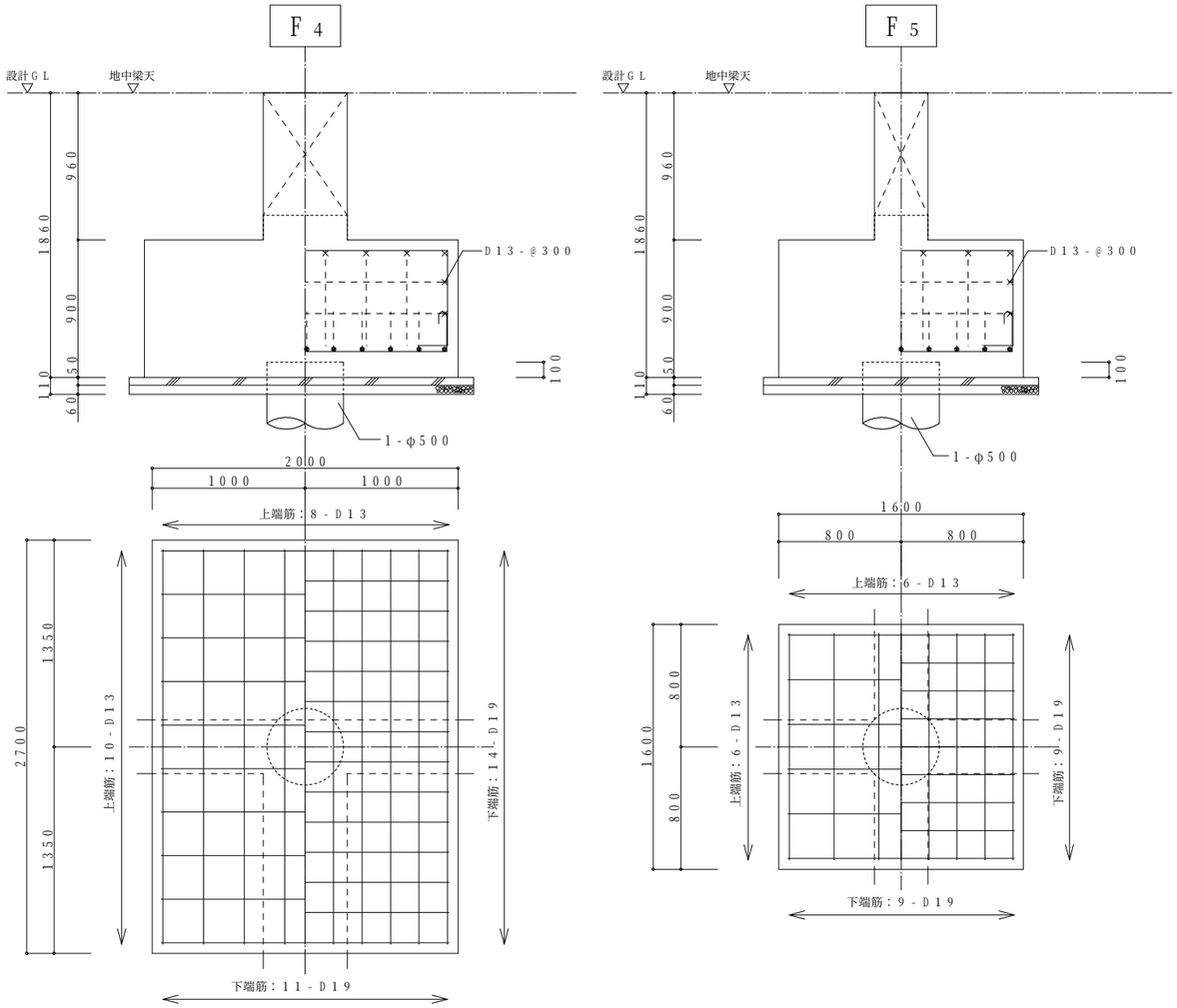
＊１　ｈ寸法が７０を越える部分のみとする。
＊２　ｈ寸法が３５０を越える場合@３００とする。

作図：一級建築士登録　第31582６号　吉永　伸太郎
構造設計一級建築士　第8425号

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A１　S=1/20 A３　S=1/40	S
基礎リスト１・地中梁リスト		20

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

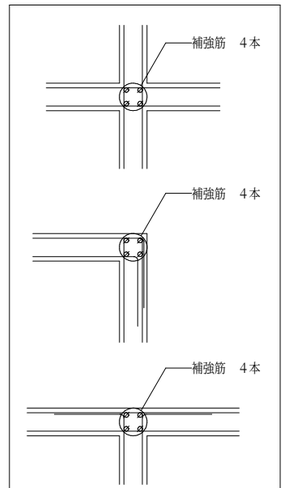
基礎リスト２　　S＝1/20



壁配筋リスト　　S＝1/20

※　幅止め筋は、１－Ｄ１０／㎡とする。

記　号		Ｗ１５	Ｗ１８	Ｗ２０	Ｗ２０Ａ	Ｗ２０Ｂ	Ｗ２５
厚　サ		１５０	１８０	２００	２００	２００	２５０
断　面							
		シングルクロス	ダブルクロス	ダブルクロス	ダブルクロス	ダブルクロス	ダブルクロス
縦　筋		Ｄ１３－@２００	Ｄ１０－@２００	Ｄ１０Ｄ１３－@２００	Ｄ１０Ｄ１３－@２００	Ｄ１３－@２００	Ｄ１３－@２００
横　筋		Ｄ１０－@２００	Ｄ１０－@２００	Ｄ１０Ｄ１３－@２００	Ｄ１０Ｄ１３－@２００	Ｄ１３－@２００	Ｄ１３－@２００
開口部補強筋	縦　筋	１－Ｄ１３	２－Ｄ１６	２－Ｄ１６	４－Ｄ１６	４－Ｄ１６	２－Ｄ１６
	横　筋	１－Ｄ１３	２－Ｄ１６	２－Ｄ１６	４－Ｄ１６	４－Ｄ１６	２－Ｄ１６
	斜メ筋	１－Ｄ１３	２－Ｄ１３	２－Ｄ１３	２－Ｄ１３	２－Ｄ１３	２－Ｄ１３
壁端部曲げ補強筋		１－Ｄ１３	２－Ｄ１６	２－Ｄ１６	４－Ｄ１６	４－Ｄ１６	２－Ｄ１６
備　考							



【壁交差部分図】

※　補強筋は　端部曲げ補強筋に準ずる。
　　但し，壁厚の大きな方を優先すること。
※　特記なき限り，交差部は4-D16とする。

床スラブ配筋リスト

符　号	厚サ	位置	短辺方向		長辺方向		備考
			端部	中央	端部	中央	
Ｓ１	１６０	上端筋	Ｄ１０－@２００	〃	Ｄ１０－@２００	〃	
		下端筋	Ｄ１０－@２００	〃	Ｄ１０－@２００	〃	
Ｓ２	１６０	上端筋	Ｄ１３－@２００	〃	Ｄ１３Ｄ１０－@２００	〃	
		下端筋	Ｄ１３Ｄ１０－@２００	〃	Ｄ１０－@２００	〃	
Ｓ３	１６０	上端筋	Ｄ１３Ｄ１０－@２００	〃	Ｄ１０－@２００	〃	
		下端筋	Ｄ１０－@２００	〃	Ｄ１０－@２００	〃	
Ｓ４	１６０	上端筋	Ｄ１３Ｄ１０－@２００	〃	Ｄ１３Ｄ１０－@２００	〃	
		下端筋	Ｄ１０－@２００	〃	Ｄ１０－@２００	〃	
Ｓ５	３５０	上端筋	Ｄ１３－@２００	〃	Ｄ１３－@２００	〃	ＥＶピット
		下端筋	Ｄ１３－@２００	〃	Ｄ１３－@２００	〃	
Ｓ６	２３０	上端筋	Ｄ１３－@２００	〃	Ｄ１３Ｄ１０－@２００	〃	
		下端筋	Ｄ１３Ｄ１０－@２００	〃	Ｄ１０－@２００	〃	
Ｓ８	１６０	上端筋	Ｄ１３－@１５０	〃	Ｄ１３－@１５０	〃	
		下端筋	Ｄ１３Ｄ１０－@１５０	〃	Ｄ１０－@１５０	〃	
Ｓ９	１６０	上端筋	Ｄ１３－@２００	〃	Ｄ１３－@２００	〃	
		下端筋	Ｄ１３Ｄ１０－@２００	〃	Ｄ１３Ｄ１０－@２００	〃	

符　号	厚サ	位置	短辺方向		長辺方向		備考
			端部	中央	端部	中央	
ＣＳ１	１６０	上端筋	Ｄ１３－@１５０	〃	Ｄ１０－@２００	〃	
		下端筋	Ｄ１０－@１５０	〃	Ｄ１０－@２００	〃	
ＣＳ２	１６０	上端筋	Ｄ１３－@１００	〃	Ｄ１０－@２００	〃	
		下端筋	Ｄ１０－@１００	〃	Ｄ１０－@２００	〃	
ＣＳ３	１６０	上端筋	Ｄ１０－@２００	〃	Ｄ１０－@２００	〃	
		下端筋	Ｄ１０－@２００	〃	Ｄ１０－@２００	〃	
ＣＳ１０	１６０	上端筋	Ｄ１３－@２００	〃	Ｄ１０－@２００	〃	屋外機置場
		下端筋	Ｄ１０－@２００	〃	Ｄ１０－@２００	〃	

作図：一級建築士登録　第315826号　吉永　伸太郎
構造設計一級建築士　第8425号

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/20 A3 S=1/40	S
基礎リスト２・壁・床スラブ配筋リスト		21

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

大梁リスト　S＝1/20

※　腹筋は、壁にＬ２定着のこと。
※　幅止め筋は、Ｄ１０-@１０００以下とする。

符号	G 1	G 2	G 3	G 4	G 5	G 6	G 7	G 8	G 9	G 11	G 13	G 14	G 15	G 16
位置	全域	全域	全域	全域	全域	全域	全域	全域	全域	全域	全域	全域	全域	全域
R 階	600 / 200	600 / 200					600 / 250	600 / 250			600 / 250		600 / 180	600 / 250
上端筋	2-D16	3-D16					5-D16	5-D16			4-D16		4-D16	5-D16
下端筋	2-D16	3-D16					4-D16	5-D16			4-D16		4-D16	4-D16
肋筋	D10-□-@200	D10-□-@200					D10-□-@100	D10-□-@200			D10-□-@200		D10-□-@200	D10-□-@200
腹筋	2-D13-@200	2-D13-@200					2-D13-@200	2-D13-@200			2-D13-@200		2-D13-@200	2-D13-@200
4 階	600 / 200	600 / 200	600 / 200	500 / 200	500 / 250	600 / 250	600 / 250	600 / 250	500 / 200	650 / 180		450 / 180	600 / 180	600 / 250
上端筋	2-D16	3-D16	4-D16	2-D16	4-D16	4-D16	5-D16	6-D16	4-D16	2-D16		2-D16	4-D16	6-D16
下端筋	2-D16	3-D16	4-D16	2-D16	4-D16	4-D16	4-D16	6-D16	4-D16	2-D16		2-D16	4-D16	4-D16
肋筋	D10-□-@200	D10-□-@200	D10-□-@200	D10-□-@200	D10-□-@100	D10-□-@150	D10-□-100	D10-□-@100	D10-□-@100	D10-□-@200		D10-□-@200	D10-□-@200	D10-□-@200
腹筋	2-D13-@200	2-D13-@200	2-D13-@200	2-D13-@200	2-D13-@200	2-D13-@200	2-D13-@200	2-D13-@200	2-D13-@200	2-D13-@200		2-D13-@200	2-D13-@200	2-D13-@200
3 階	600 / 200	600 / 200	600 / 200	500 / 200	500 / 250	600 / 250	600 / 250	600 / 250	500 / 200	800 / 180		450 / 180	600 / 180	600 / 250
上端筋	2-D16	3-D16	4-D16	2-D16	4-D16	5-D16	5-D16	6-D16	4-D16	2-D16		2-D16	4-D16	6-D16
下端筋	2-D16	3-D16	4-D16	2-D16	3-D16	5-D16	4-D16	6-D16	4-D16	2-D16		2-D16	4-D16	4-D16
肋筋	D10-□-@200	D10-□-@200	D10-□-@200	D10-□-@200	D10-□-@100	D10-□-@100	D10-□-100	D10-□-100	D10-□-@100	D10-□-@200		D10-□-@200	D10-□-@200	D10-□-@200
腹筋	2-D13-@200	2-D13-@200	2-D13-@200	2-D13-@200	2-D13-@200	2-D13-@200	2-D13-@200	2-D13-@200	2-D13-@200	2-D13-@200		2-D13-@200	2-D13-@200	2-D13-@200
2 階	600 / 200	600 / 200	600 / 200	500 / 200	500 / 250	600 / 250	600 / 250	600 / 250	500 / 200	800 / 180		450 / 180	600 / 180	600 / 250
上端筋	3-D16	3-D16	4-D16	2-D16	4-D16	5-D16	5-D16	6-D16	4-D16	4-D16		3-D16	4-D16	6-D16
下端筋	3-D16	3-D16	4-D16	2-D16	3-D16	5-D16	4-D16	6-D16	4-D16	4-D16		3-D16	4-D16	4-D16
肋筋	D10-□-@200	D10-□-@200	D10-□-@200	D10-□-@200	D10-□-@100	D10-□-@100	D10-□-100	D10-□-@100	D10-□-@100	D10-□-@200		D10-□-@200	D10-□-@200	D10-□-@200
腹筋	2-D13-@200	2-D13-@200	2-D13-@200	2-D13-@200	2-D13-@200	2-D13-@200	2-D13-@200	2-D13-@200	2-D13-@200	2-D13-@200		2-D13-@200	2-D13-@200	2-D13-@200

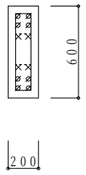
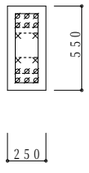
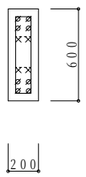
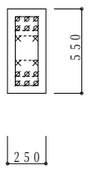
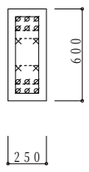
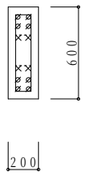
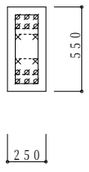
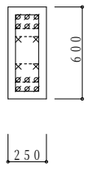
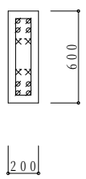
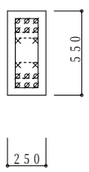
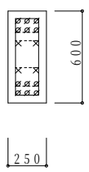
作図：一級建築士登録　第315826号　吉永　伸太郎
構造設計一級建築士　第8425号

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事
大梁リスト
A1 S=1/20
A3 S=1/40
S
22

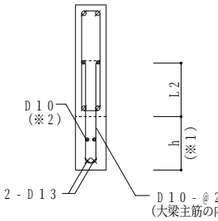
（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

片持梁リスト　S＝1/20

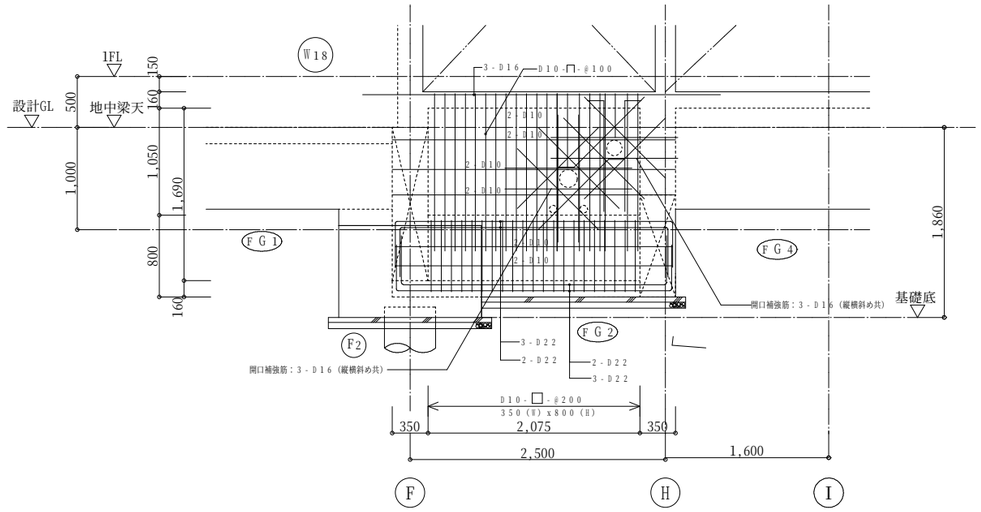
※　腹筋は、壁にＬ２定着のこと。

符号	Ｂ１	ＣＢ１	ＣＢ２
位置	全域	全域	全域
R階			
上端筋	4-Ｄ16	6-Ｄ16	
下端筋	4-Ｄ16	6-Ｄ16	
肋筋	Ｄ10-□-@200	Ｄ10-□-@200	
腹筋	2-Ｄ13-@200	2-Ｄ13-@200	
4階			
上端筋	4-Ｄ16	6-Ｄ16	6-Ｄ16
下端筋	4-Ｄ16	6-Ｄ16	6-Ｄ16
肋筋	Ｄ10-□-@200	Ｄ10-□-@200	Ｄ10-□-@200
腹筋	2-Ｄ13-@200	2-Ｄ13-@200	2-Ｄ13-@200
3階			
上端筋	4-Ｄ16	6-Ｄ16	6-Ｄ16
下端筋	4-Ｄ16	6-Ｄ16	6-Ｄ16
肋筋	Ｄ10-□-@200	Ｄ10-□-@200	Ｄ10-□-@200
腹筋	2-Ｄ13-@200	2-Ｄ13-@200	2-Ｄ13-@200
2階			
上端筋	4-Ｄ16	6-Ｄ16	6-Ｄ16
下端筋	4-Ｄ16	6-Ｄ16	6-Ｄ16
肋筋	Ｄ10-□-@200	Ｄ10-□-@200	Ｄ10-□-@200
腹筋	2-Ｄ13-@200	2-Ｄ13-@200	2-Ｄ13-@200

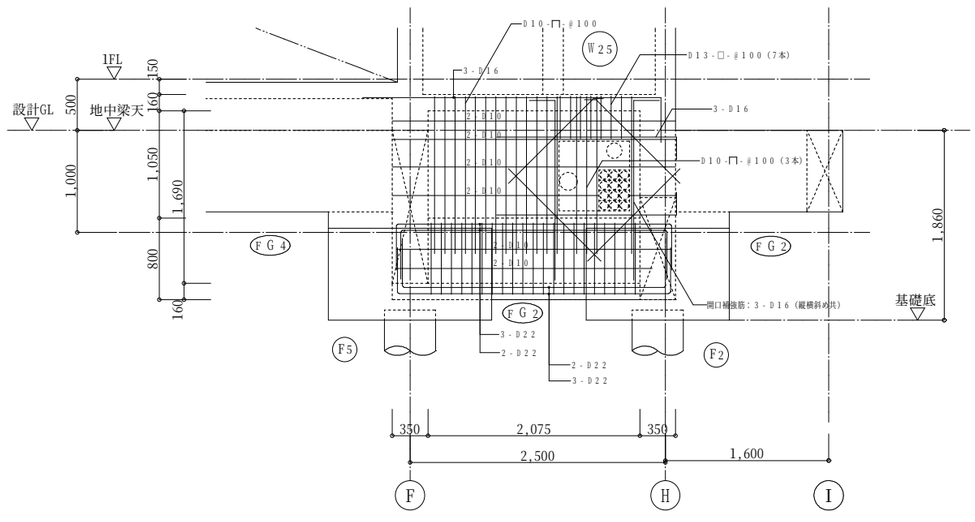
梁増打ち　要領



＊1　h寸法が７０を越える部分のみとする。
＊2　h寸法が３５０を越える場合@３００とする。



７通りピット開口補強配筋図　　S＝1/30

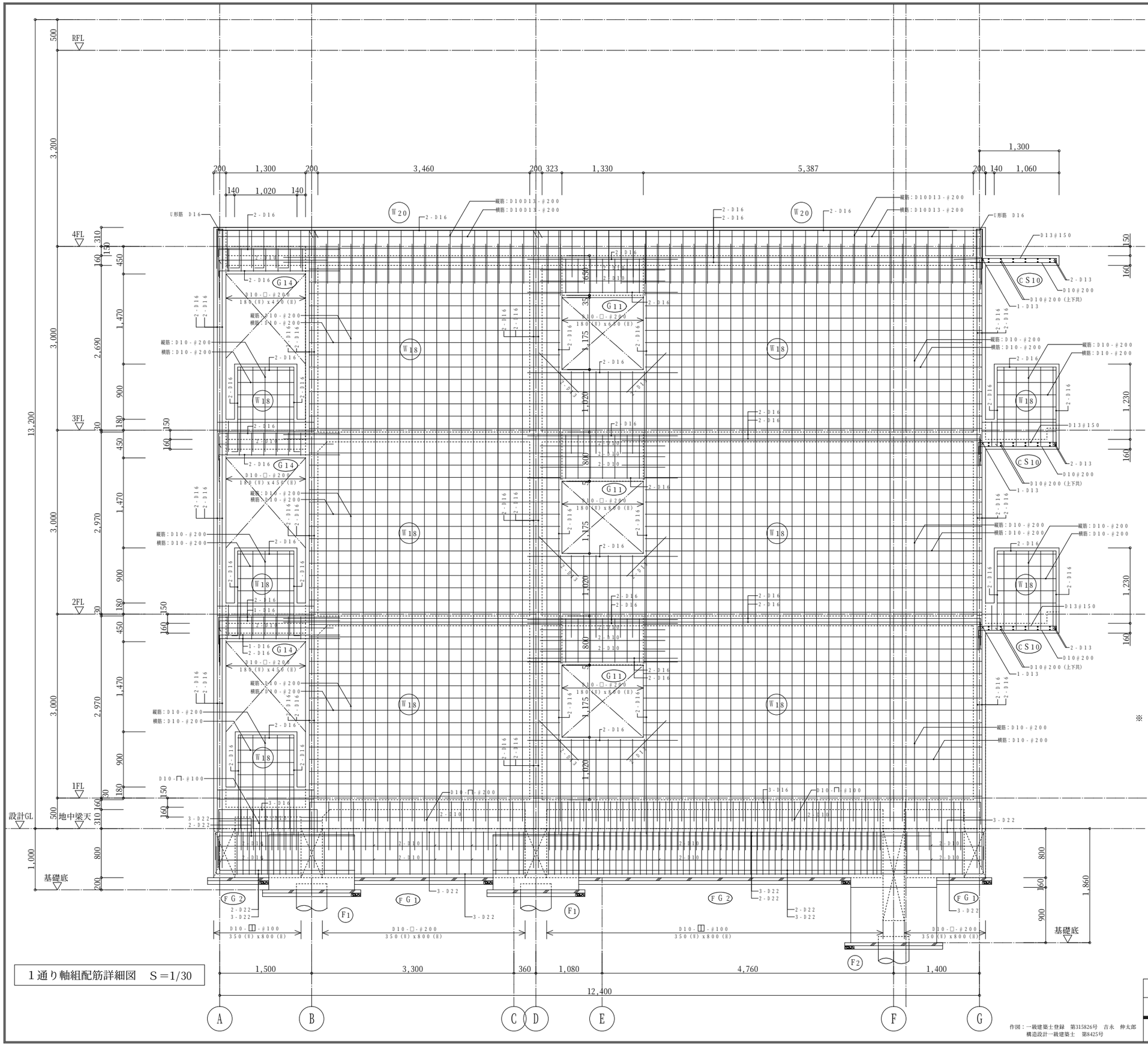


１０通りピット開口補強配筋図　Ｓ＝1/30

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/20 A3 S=1/40		S
片持梁リスト・ピット開口補強配筋図			23

作図：一級建築士登録　第315826号　吉永　伸太郎
構造設計一級建築士　第8425号

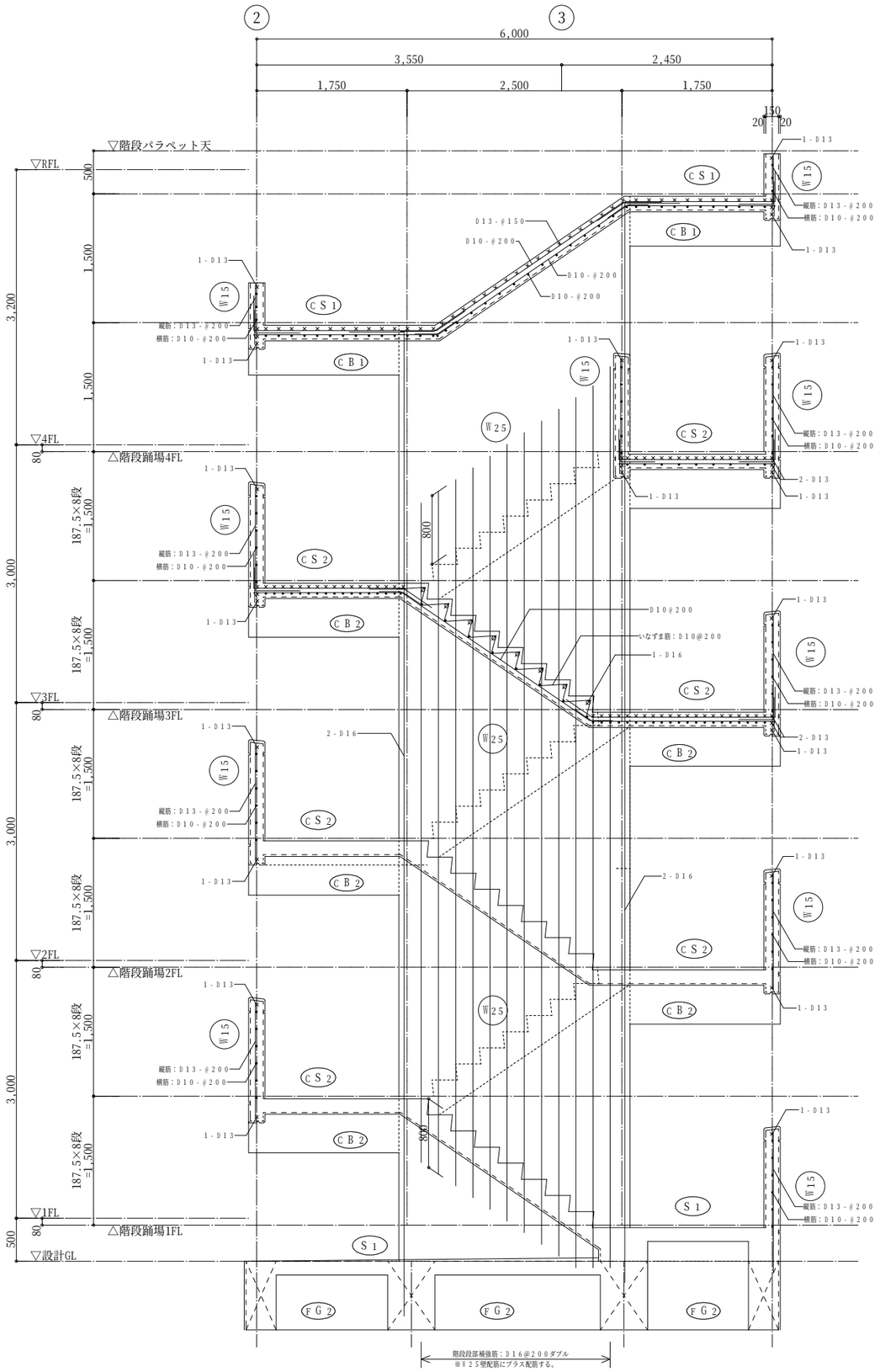
（株）ＡＤＯ建築設計事務所　　１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173　　１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



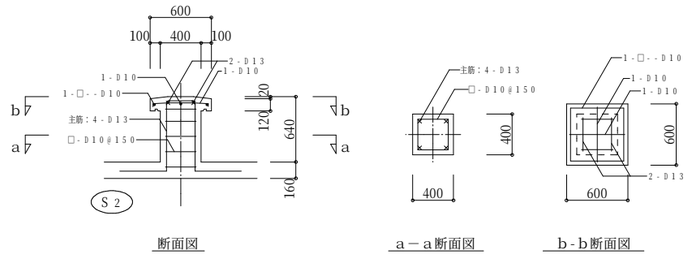
1通り軸組配筋詳細図　S＝1/30

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/30 A3 S=1/60	S 24
軸組配筋詳細図		

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘
作図：一級建築士登録　第315826号　吉永　伸太郎
構造設計一級建築士　第8425号

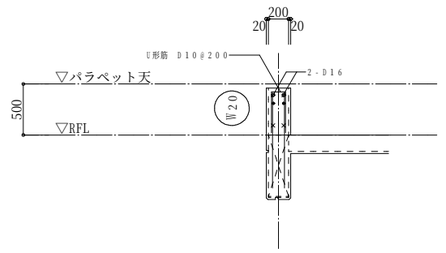


階段配筋図　　S＝1/30



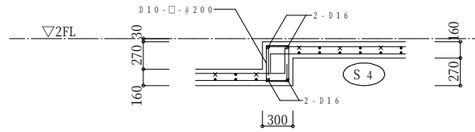
断面図　　a－a断面図　　b-b断面図

太陽光発電　設備基礎配筋図　　S＝1/30



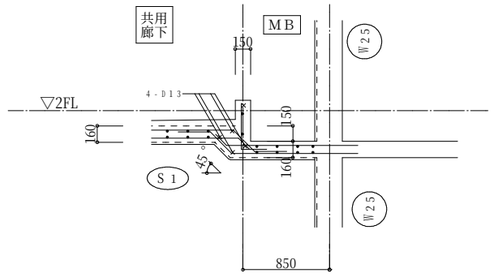
※　腰壁等　W18・W20の端部も同様とする。

パラペット立上り等配筋図　　S＝1/30



段違床配筋図　　S＝1/30

段違高さH=270（スラブ厚以上の場合）

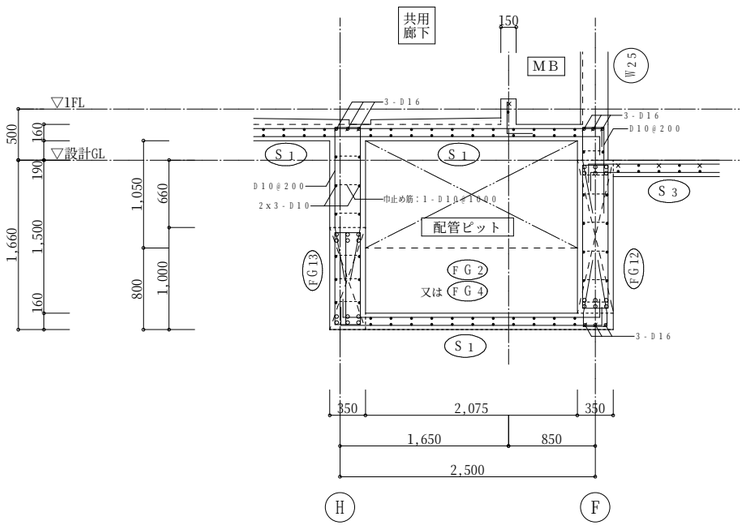


段違床配筋図　　S＝1/30

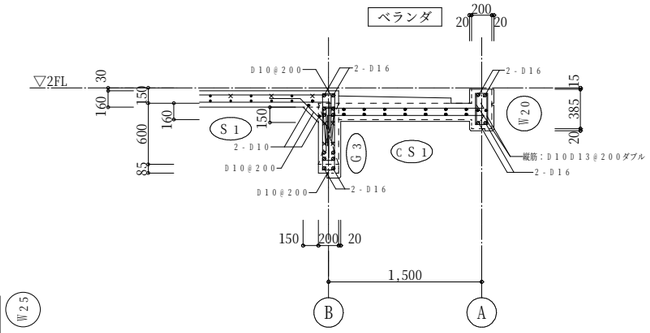
段違高さH=150（スラブ厚以下の場合）

段違床配筋図　　S＝1/30

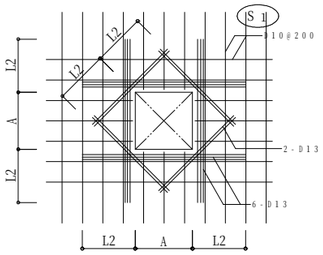
段違高さH=470（スラブ厚以上の場合）



配管ピット配筋図　　S＝1/30



ベランダ部配筋図　　S＝1/30



スラブ開口補強要領図　　S＝1/30

※　A寸法(開口寸法)は意匠図参照とする。

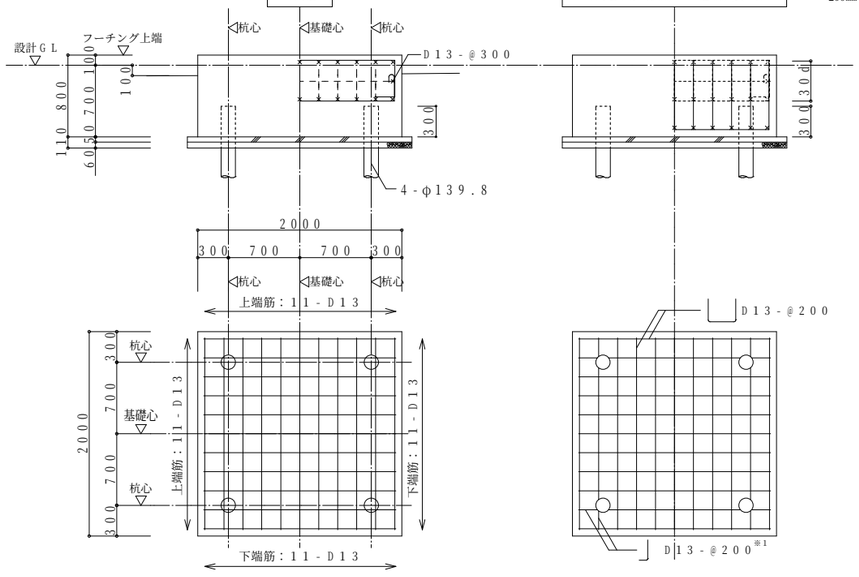
邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/30 A1 S=1/60				S
雑配筋図					25

（株）ＡＤＯ建築設計事務所　　１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173　　１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

作図：一級建築士登録　第315826号　吉永　伸太郎
構造設計一級建築士　第8425号

バルク基礎リスト　S＝1／30

基礎



基礎底版筋　配筋要領

※１　杭を避け通し筋として良い。
200mmピッチ以下となるよう鉄筋を追加すること。

杭概要

工法：ＥＴＰ工法　（認定番号　ＴＡＣＰ－０６６５）

符　号	記　号	杭　径（Ｄ）	先端翼径・翼材質	杭全長	管厚・管材質	設計支持力（ｋＮ／本） 長　期	設計支持力（ｋＮ／本） 短　期	杭本数
Ｐ１	○	φ１３９．８	φ３８４ ＳＭ４９０Ａ	１４．６ｍ	ｔｏ＝６．６，　ＳＴＫ４９０ １４．６ｍ	９１	１８３	４

※　特記なき杭先端位置は、設計ＧＬ－１５．０ｍとする。
※　最終杭深さは、トルク値及び地盤データを元に、
管理者と協議の上決定すること。

ボーリング柱状図　S＝1／100

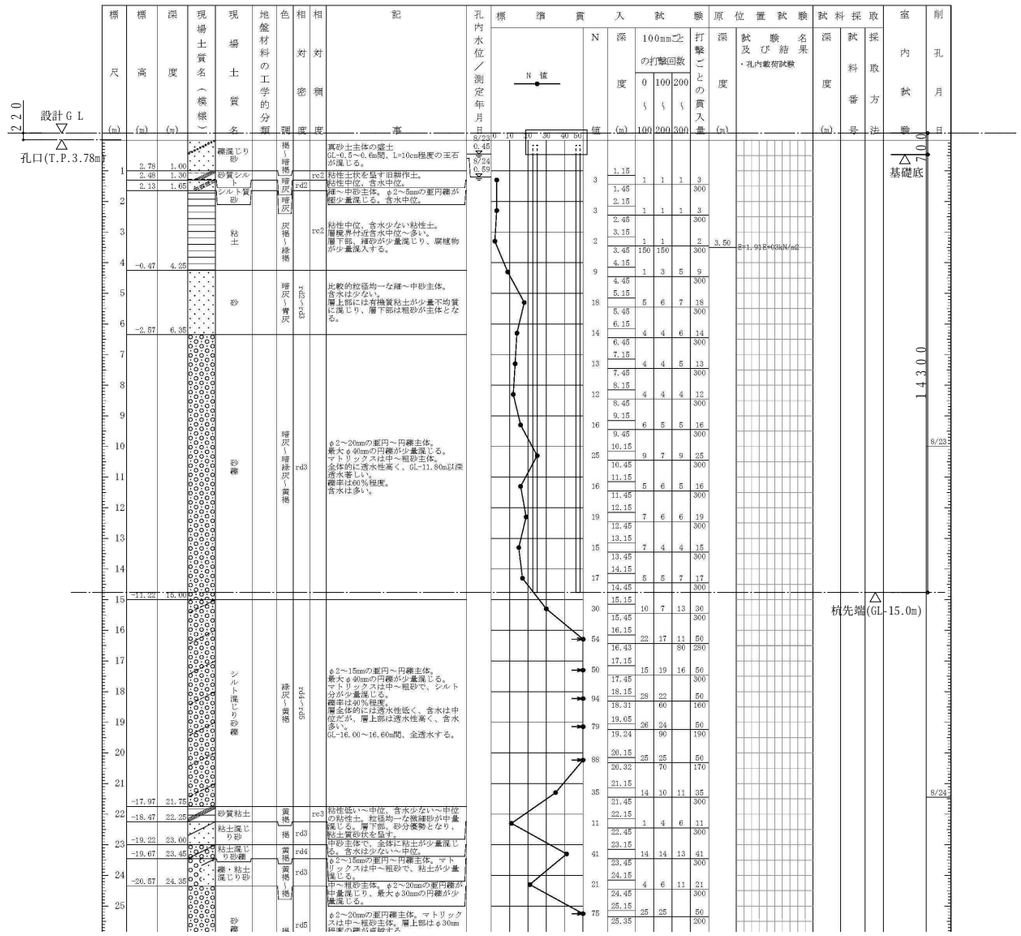
土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名　5-208 地質調査業務　邑久地区市営住宅

事業名または工事名

調査目的及び調査対象　建築　構造物基礎

ボーリング名	No.2	調査位置	瀬戸内市邑久町福元地内			北緯	34° 40′ 34.9443″
発注機関	瀬戸内市産業建設部建築住宅課			調査期間	2023年08月23日～2023年08月25日	東経	134° 5′ 17.2074″
調査業者名	西部技術コンサルタント株式会社 電話(086-246-5667)	主任技師	丸尾愛美	現場代理人	大嶋優斗	コア鑑定者	大嶋優斗
						ボーリング責任者	三好涼太
孔口標高	T.P. 3.78 m	角度	180° 上 90° 下 0°	方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	北東 90° 0°
総削孔長	28.00 m					使用機種	
						試錐機	TOHO D1-C
						エンジン	YANMAR YF120V-E
						ポンプ	TOHO BG-3C

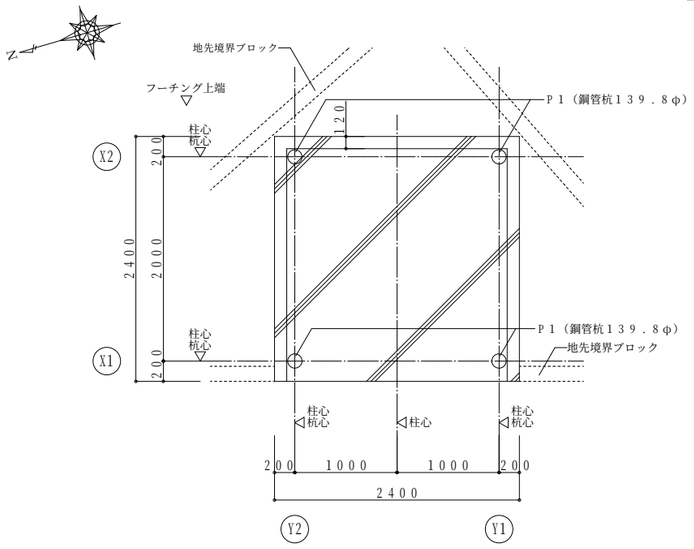


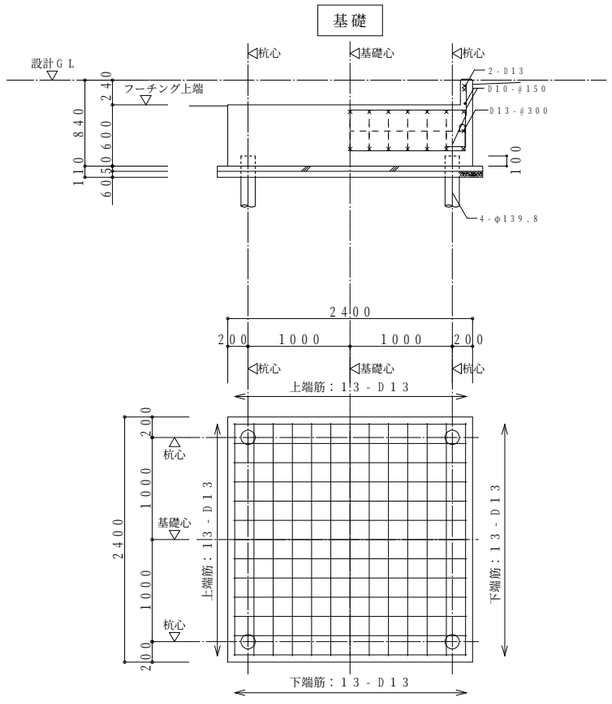
作図：一級建築士登録　第315826号　吉永　伸太郎
構造設計一級建築士　第8425号

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/30 A3 S=1/60		S
バルク基礎			26

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

ごみ置き場基礎リスト S＝1／30





基礎伏図 S＝1／30

※ 特記なき基礎上端は、設計ＧＬ－２４０とする。
※ 特記なき基礎底は、設計ＧＬ－８４０とする。
※ 特記なき杭先端位置は、設計ＧＬ－１５．０ｍとする。
※ 最終杭深さは、トルク値及び地盤データを元に、管理者と協議の上決定すること。

杭概要

工法：ＥＴＰ工法 （認定番号 ＴＡＣＰ－０６６５）								
符 号	記 号	杭 径（D）	先端翼径・翼材質	杭全長	管厚・管材質	設計支持力（ｋＮ／本） 長 期	短 期	杭本数
Ｐ１	○	φ１３９．８	φ３８４ ＳＭ４９０Ａ	１４．２６ｍ	ｔｏ＝６．６， ＳＴＫ４９０ １４．２６ｍ	９１	１８３	4

ボーリング柱状図 S＝1／100

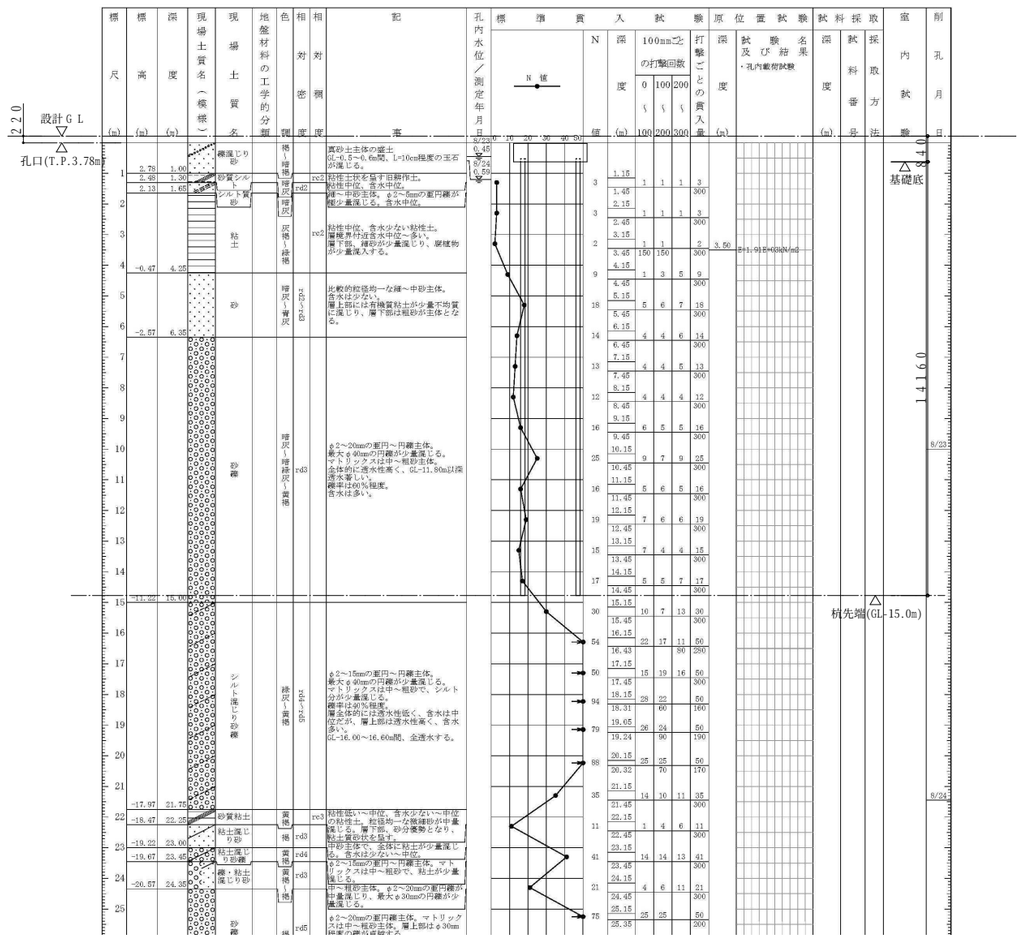
土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 5-208 地質調査業務 邑久地区市営住宅

事業名または工事名

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	No.2	調査位置	瀬戸内市邑久町福元地内			北 緯	34° 40′ 34.9443″
発注機関	瀬戸内市産業建設部建築住宅課			調査期間	2023年08月23日～2023年08月25日	東 経	134° 5′ 17.2074″
調査業者名	西部技術コンサルタント株式会社 電話(086-246-5667)	主任技師	丸尾愛美	現場代理人	大鳴優斗	コア鑑定者	大鳴優斗 / ボーリング責任者 三好涼太
孔口標高	T.P. 3.78 m	角度	180° 上 90° 下 0°	方位	北 東 南 西 270° 90° 180°	地盤勾配	北東 45° 南西 90° 0°
総削孔長	28.00 m					使用機種	試錐機 TOHO D1-C / エンジン YANMAR YF120V-E / ポンプ TOHO BG-3C



標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事
	2.78	1.00	礫混じり砂						礫主体の盛土。 GL-0.5～0.6m間、L=10cm程度の玉石が混じる。
	2.48	1.30	砂質シルト				rc2		粘性土状を呈す旧耕作土。
	2.13	1.65	シルト質砂				rc2		粘性中位、含水中位。
1									細～中砂主体。φ2～6mmの亜円礫が僅少量混じる。含水中位。
2									
3									粘性中位、含水少ない砂性土。 層厚薄く、下位へ漸移。 層下部、礫砂が少量混じり、腐植物が少量混入する。
4	-0.47	4.25		粘土					
5									比較的粒径均一な細～中砂主体。 含水は少ない。 層上部には有機質粘土が少量不均質に混じり、層下部は粗砂が主体となる。
6	-2.67	6.35		砂					
7					腐植～腐植質	暗灰～暗灰	rd3		φ2～20mmの亜円～円礫主体。 最大φ40mmの円礫が少量混じる。 マトリックスは中～粗砂主体。 全体的に透水性高く、GL-11.80m以深湧水著しい。 礫率は40%程度。 含水は多い。
8									
9									
10				砂礫					
11									
12									
13									
14									
15	-11.22	15.00							
16									φ2～15mmの亜円～円礫主体。 最大φ40mmの円礫が少量混じる。 マトリックスは中～粗砂で、シルトが僅少量混じる。 礫率は約5%程度。 層全体的には透水性低く、含水は中位だが、層上部は透水性高く、含水多い。 GL-16.00～16.60m間、全湧水する。
17									
18									
19				シルト混じり砂礫					
20									
21									
22	-17.97	21.75			礫混じり砂質土	黄褐	rd5～rd6		
	-18.47	22.25		砂質粘土		黄褐		rc3	粘性低い～中位、含水少ない～中位の粘性土。粒径均一な微細砂が中量混じる。層下部、砂分優勢となり、粘土質砂状を呈す。
23	-19.22	23.00		粘土混じり砂		褐	rd3		砂質主体で、全体に粘土が少量混じる。含水は少ない～中位。
	-19.67	23.45		粘土混じり砂礫		黄褐	rd4		φ2～15mmの亜円～円礫主体。マトリックスは中～粗砂で、粘土が少量混じる。
24	-20.57	24.35		礫・粘土混じり砂		黄褐～褐	rd3		中～粗砂主体。φ2～20mmの亜円礫が中量混じり、最大φ30mmの円礫が少量混じる。
25				砂礫		褐	rd5		φ2～20mmの亜円礫主体。マトリックスは中～粗砂主体。層上部はφ30mm

標準貫入試験 N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量
3	1.15	1	1	1	3
	1.45				300
3	2.15	1	1	1	3
	2.45				300
2	3.15	1	1	1	3
	3.45	150	150		300
9	4.15	1	3	5	9
	4.45				300
18	5.15	5	6	7	18
	5.45				300
14	6.15	4	4	6	14
	6.45				300
13	7.15	4	4	5	13
	7.45				300
12	8.15	4	4	4	12
	8.45				300
16	9.15	6	5	5	16
	9.45				300
25	10.15	9	7	9	25
	10.45				300
16	11.15	5	6	5	16
	11.45				300
19	12.15	7	6	6	19
	12.45				300
15	13.15	7	4	4	15
	13.45				300
17	14.15	5	5	7	17
	14.45				300
30	15.15	10	7	13	30
	15.45				300
54	16.15	22	17	11	50
	16.43			30	280
50	17.15	15	19	16	50
	17.45				300
94	18.15	28	22		50
	18.31			60	160
79	19.05	26	24		50
	19.24	90			190
88	20.15	25	25		50
	20.32	70			170
35	21.15	14	10	11	35
	21.45				300
11	22.15	1	4	6	11
	22.45				300
41	23.15	14	14	13	41
	23.45				300
21	24.15	4	6	11	21
	24.45				300
75	25.15	25	25		50
	25.35				200

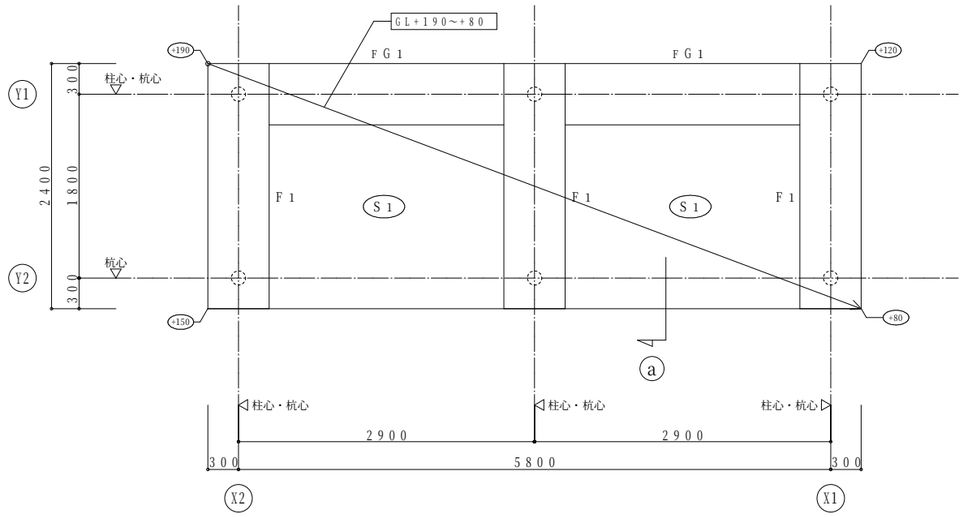
試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	電内試験	削孔月日
3.50			E=1.91E+03kN/m2	

作図：一級建築士登録 第315826号 吉永 伸太郎
構造設計一級建築士 第8425号

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/30 A3 S=1/60	S 27
ごみ置き場基礎		

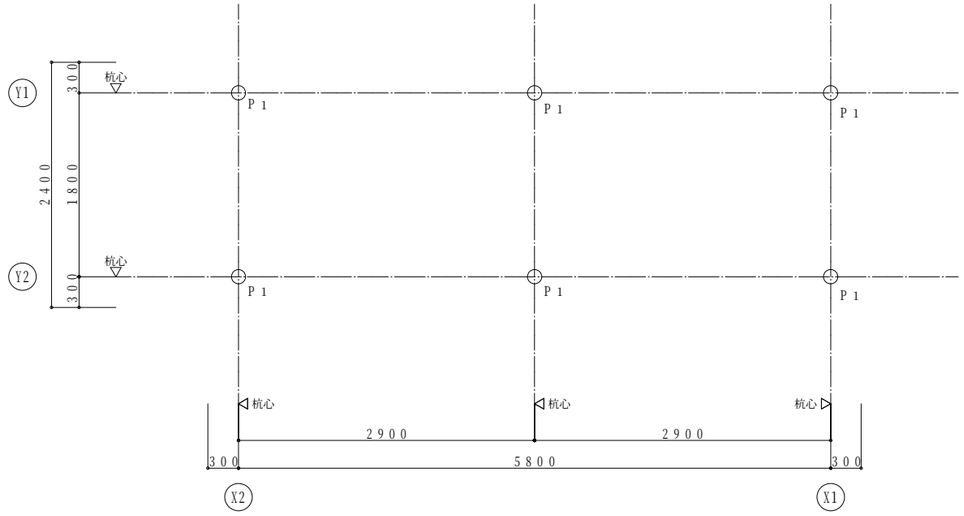
（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号 TEL086-244-0173
１級建築士事務所 岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録 第１１８２３６号 大石雅弘

自転車置場１



基礎伏図　　S＝1／30

※　特記なき地中梁天は、設計ＧＬ＋８０とする。
※　特記なき基礎底は、設計ＧＬ－７２０とする。
※　：床下がりを示し、ＧＬ－＊＊＊はスラブ天端レベルを示す。
　　(＊＊＊)：各位置床下がりを示し、ＧＬからのはスラブ天端レベルを示す。
※　：基礎側面増し打ちを示す。



杭伏図　　S＝1／30

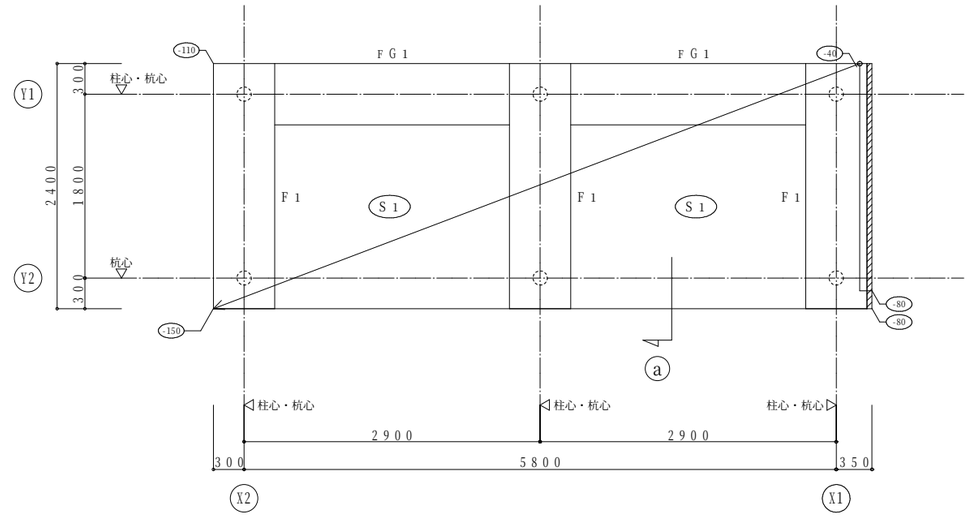
※　特記なき杭先端位置は、設計ＧＬ－１５．０ｍとする。
※　＜　＞内数値は、設計ＧＬからの杭先端位置を示す。
※　最終杭深さは、トルク値及び地盤データを元に、
　　管理者と協議の上決定すること。

杭概要

工法：ＥＴＰ工法　（認定番号　ＴＡＣＰ－０６６５）

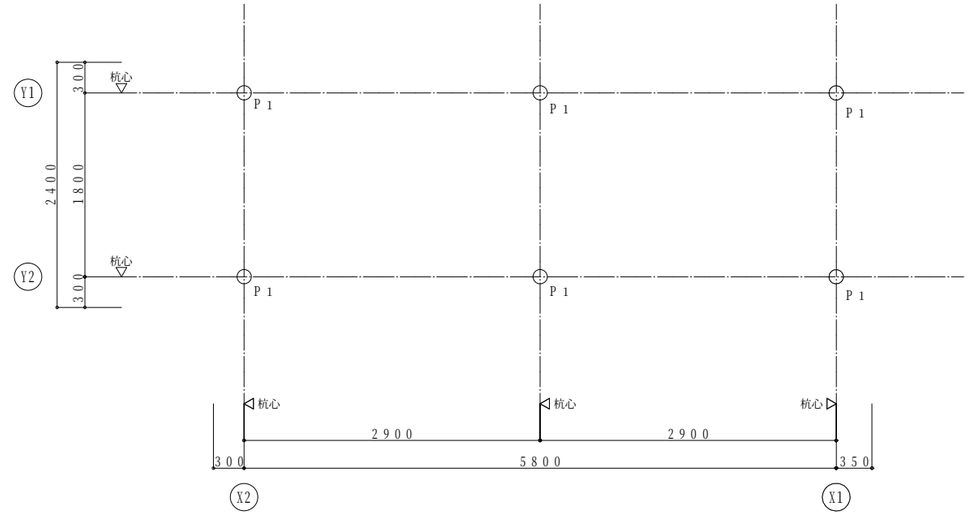
符　号	記　号	杭　径（Ｄ）	先端翼径・翼材質	杭全長	管厚・管材質	設計支持力（ｋＮ／本）		杭本数
						長　期	短　期	
Ｐ１	○	φ１３９．８	φ３８４ ＳＭ４９０Ａ	１４．３８ｍ	ｔｏ＝６．６，　ＳＴＫ４９０ １４．３８ｍ	９１	１８３	６

自転車置場２



基礎伏図　　S＝1／30

※　特記なき地中梁天は、設計ＧＬ－１５０とする。
※　特記なき基礎底は、設計ＧＬ－９５０とする。
※　：床下がりを示し、ＧＬ－＊＊＊はスラブ天端レベルを示す。
　　(＊＊＊)：各位置床下がりを示し、ＧＬからのはスラブ天端レベルを示す。
※　：基礎側面増し打ちを示す。



杭伏図　　S＝1／30

※　特記なき杭先端位置は、設計ＧＬ－１５．０ｍとする。
※　＜　＞内数値は、設計ＧＬからの杭先端位置を示す。
※　最終杭深さは、トルク値及び地盤データを元に、
　　管理者と協議の上決定すること。

杭概要

工法：ＥＴＰ工法　（認定番号　ＴＡＣＰ－０６６５）

符　号	記　号	杭　径（Ｄ）	先端翼径・翼材質	杭全長	管厚・管材質	設計支持力（ｋＮ／本）		杭本数
						長　期	短　期	
Ｐ１	○	φ１３９．８	φ３８４ ＳＭ４９０Ａ	１４．１５ｍ	ｔｏ＝６．６，　ＳＴＫ４９０ １４．１５ｍ	９１	１８３	６

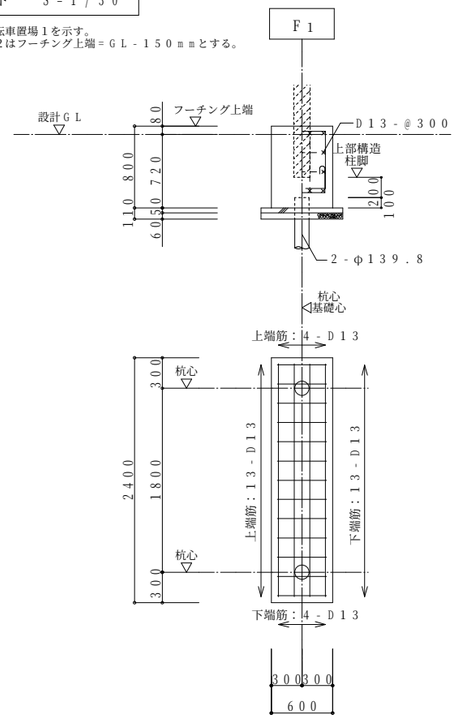
邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/30 A3 S=1/60		S
自転車置場　基礎伏図			28

作図：一級建築士登録　第315826号　吉永　伸太郎
構造設計一級建築士　第8425号

（株）ＡＤＯ建築設計事務所　　１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173　　１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

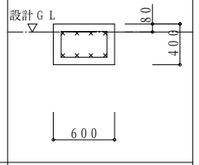
基礎リスト　S＝1／30

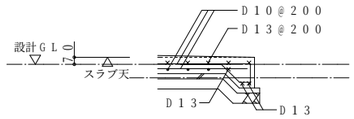
※　下図は、自転車置場１を示す。
　　自転車置場２はフーチング上端＝ＧＬ－１５０ｍｍとする。



地中梁リスト　S＝1／30

※　幅止め筋は、Ｄ１０－@１０００以下とする。
※　下図は、自転車置場１を示す。
　　自転車置場２は梁天＝ＧＬ－１５０ｍｍとする。

符　号	ＦＧ１
位　置	全域
断面	
上端筋	4－Ｄ１３
下端筋	4－Ｄ１３
肋　筋	Ｄ１３－□－@２００
腹　筋	――



ⓐ矢視　S＝1／30

※　上図は、自転車置場１を示す。
　　自転車置場２はスラブ天＝ＧＬ－１５０ｍｍとする。

床スラブ配筋リスト

符　号	厚サ	位置	短辺方向		長辺方向		備考
			端部	中央	端部	中央	
Ｓ１	１６０	上端筋	Ｄ１０－@２００	〃	Ｄ１３－@２００	〃	
		下端筋	Ｄ１０－@２００	〃	Ｄ１０－@２００	〃	

ボーリング柱状図　S＝1／100

※　下図は、自転車置場１を示す。
　　自転車置場２は基礎底＝ＧＬ－６５０ｍｍとする。

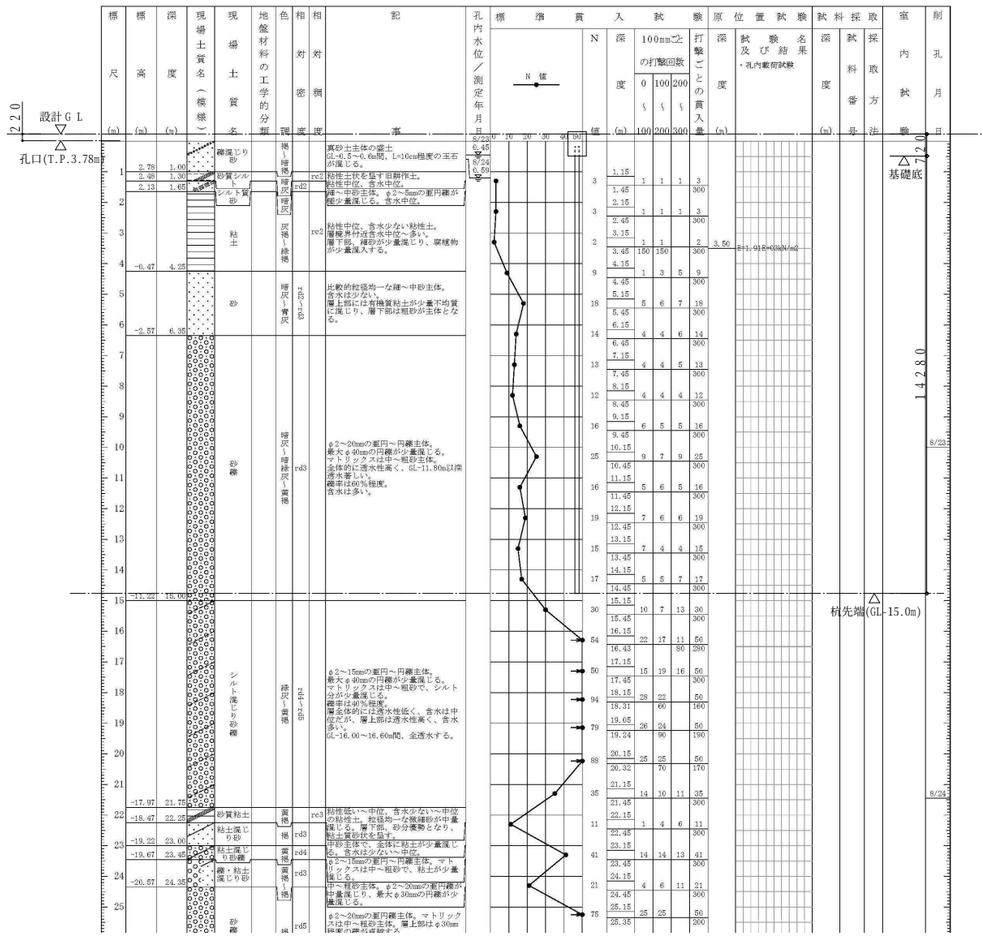
土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　5-208 地質調査業務　邑久地区市営住宅

事業名または工事名

調査目的及び調査対象　建築　構造物基礎

ボーリング名	No.2	調査位置	瀬戸内市邑久町福元地内			北　緯	34° 40′ 34.9443″
発注機関	瀬戸内市産業建設部建築住宅課			調査期間	2023年08月23日～2023年08月25日	東　経	134° 5′ 17.2074″
調査業者名	西部技術コンサルタント株式会社 電話(086-246-5667)	主任技師	丸尾愛美	現場代理人	大嶋優斗	コア鑑定者	大嶋優斗
孔口標高	T.P. 3.78 m	角度	180° 左 90° 下 0°	方位	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°
総削孔長	28.00 m	使用機種				ボーリング責任者	三好涼太
		試錐機	TOHO DI-C				
		エンジン	YANMAR YF120V-E			ポンプ	TOHO BG-3C



作図：一級建築士登録　第315826号　吉永　伸太郎
構造設計一級建築士　第8425号

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/30 A3 S=1/60	S
自転車置場　基礎リスト		29

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

岡山県電気設備工事特記仕様書

Ⅰ．工事概要

工事名称	邑久地区市営住宅(A棟)建替工事					
工事場所	岡山県瀬戸内市邑久町福元745、746の一部、747の一部					
敷地面積	2,184.11 ㎡					
棟名称／構造	市営住宅A棟、RC造	自転車置場1棟、ﾌﾚｰﾑ造	自転車置場2 棟、ﾌﾚｰﾑ造	ゴミ置場 棟、ﾌﾚｰﾑ造	棟、造	
施工条件（改修）	⊙無 ・有	⊙無 ・有	⊙無 ・有	⊙無 ・有	・無 ・有	
床面積（㎡） 4階	131.64					
3階	400.93					
2階	400.93					
1階	400.93	11.16	11.16	4.00		
階						
小計	1,334.43	11.16	11.16	4.00		
合計	1,360.75					
建築面積（㎡）	489.89	11.16	11.16	4.00		
入居者数（人） 小計	42					
合計	42					
消防法施行令別表第一の区分	（5）項 ロ					
施設の分類	特定⊙一般	特定・一般	特定・一般	特定・一般	特定・一般	
建ぺい率（指定率）	23.64％（ ％）	容積率（指定率）	48.42 ％（ ％）			
用途地域	指定なし（都市計画区域外）	防火地域	指定なし			
工事範囲	別途工事					
建築主体工事、電気設備工事、機械設備工事、昇降設備工事						

工事種目 （⊙印のついたものが対象工事種目）

建物別及び屋外 ＼ 工事種別 ／ 工事種目	A棟				
⊙電灯設備	新設一式				
⊙動力設備	新設一式				
・電気自動車用充電設備					
・電熱設備					
・雷保護設備					
・受変電設備					
・電力貯蔵設備					
・発電設備					
⊙構内情報通信網設備	新設一式				
⊙構内交換設備	新設一式				
・情報表示設備					
・映像・音響設備					
・拡声設備					
・誘導支援設備					
⊙テレビ共同受信設備	新設一式				
・監視カメラ設備					
・駐車場管制設備					
・防犯・入退室管理設備					
⊙火災報知設備	新設一式				
・非常放送装置					
・中央監視制御設備					
・医療関係設備					
・構内配電線路					
・構内通信線路					
・テレビ電波障害防除設備					
・機械設備工事	機械設備工事の部による				
・建築工事	建築工事の部による				

Ⅱ．工事仕様

1．共通仕様

1）特記仕様及び図面に記載されていない事項は，国土交通省大臣官房官庁営繕部の標準仕様等のうち，⊙印の付いたものによる。

⊙ 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和４年版）（以下，「標準仕様書」という。）

⊙ 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和４年版）（以下，「改修標準仕様書」という。）

⊙ 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（令和４年版）（以下「標準図」という。）

2）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。

2．特記仕様

1）項目は，番号に○印の付いたものを適用する。

2）特記事項のうち選択する事項は○印の付いたものを適用する。
ただし、○印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。
○印と※印のついた場合は共に適用する。

区分	項目	特記事項
一般共通事項	1．施工条件	・施工ができない日等 ※指定なし ・指定あり（別添「学校行事に伴う施工ができない日等（予定）」に基づき監督職員と協議するものとする。）
		※週休２日工事について ・本工事は、週休２日工事の対象である。週休２日工事特記仕様書を参照すること。 ・本工事は、週休２日工事の対象外である。
	2．機材の品質等	1）本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 2）別表－１に示す機材等を使用する場合は、次の①から⑥すべての事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、次の①から⑥すべての事項を評価された事を示す外部機関が発行する書面を提出し監督員の承諾を受けた場合は証明となる資料等の提出を省略することができる。 ① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③ 安定的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。
	3．環境への配慮	1）本工事において、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成１２年法律第１００号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和５年12月22日閣議決定）」に定める特定調達品目「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準を満たすものとする。 2）建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は可塑剤（フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されてない材料を使用する。

区分	項目	特記事項
一般共通事項	4．石綿含有建材の事前調査	④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 ※石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹付材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、調査結果を監督職員に提出する。 調査範囲（※工事範囲 ・図示 ） 貸与資料（ 市営住宅福元団地アスベスト調査結果報告書 ）
	5．発生材の分析及び処理	1）引渡しを要するもの。 ※無 ・有 （・金属類 ・盤類 ・電線、ケーブル ・ ）
		2）特別管理産業廃棄物 ①PCB使用機器 ※無 ・有 ・未調査 PCB使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。 撤去するPCB使用機器の分析を行う。 分析費 （※別途 ・本工事） PCB使用機器収納容器 （※別途 ・本工事（用途 ）） ②アスベスト含有設備資機材 ※無 ・有 ・未調査 アスベスト含有設備資機材は関係法令に従い適切に処理する。 撤去するアスベスト含有設備資機材の分析を行う。 分析費 （※別途 ・本工事）
		3）放射性物質を含むイオン化式感知器 ※無 ・有 製造業者又は販売業者に回収を委託する。
		4）六フッ化硫黄（SF6）ガス ※無 ・有 ガス絶縁開閉器、ガス絶縁変圧器等受変電機器に含まれるSF6ガスは、製造者又はガス回収業者に抜き取り及び処理を委託する。
		5）再資源化を図るもの ※無 ・有（・蛍光管 ・HIDﾗﾝﾌﾟ ・小形二次電池）
		6）発生材の搬出・処分費は、岡山県共通特記仕様書１に示すものを本工事に含めるものとし、その他は別途とする。
	6．電気工事士の適用	電気工事は、電気工作物の種別に応じ、電気工事士法第３条で規定する電気工事士の資格を有する者により行うこと。ただし、最大電力５００ｋW以上の自家用電気工作物については、第一種電気工事士の資格を有する者により行うこと。
	7．工事用電力.水.その他	本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用は、すべて受注者の負担とする。
	8．監督職員事務所	本工事で設置する。
	9．受注者事務所その他	※構内につくることができる。ただし、受注者負担とする。 ・構内につくることができない
	10．足場	「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における２の（２）手すり据え置き方式又は（３）手すり先行専用足場方式により行う。 ・内部足場（※A，B，C，D種 ・E種 ・F種 ・G種） ・外部足場（※D，E種 ・A種 ・B種 ・C種 ・F種）
	11．施工調査	・施工に先立ち、改修工事関連部分（施工部位により既存性能を損なうおそれのある部分）の事前確認を行い監督職員に報告書を提出する。 ・既存設備システムの事前調査を行い監督職員に報告書を提出する。調査を行う前に監督職員に調査計画書を提出する。 既存設備システム（・ ・ ） ・撤去する機器類等について、製造年、品番等を確認し特別管理産業廃棄物の有無を調査し、監督職員に報告する。 ・微量ＰＣＢ含有機器（・変圧器 ・ ） ・アスベスト含有設備資機材（・盤内器具 ・発電装置 ・防火区画材 ）
	12．非破壊検査	はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に非破壊検査を行い監督職員に報告する。 原則として探査方法は走査式埋設物調査（電磁誘導法又は電磁レーダ法）とする。 放射線透過検査等による埋設物の調査を実施する場合、範囲は監督職員の指示による。 放射線透過検査の検査費は別途とする。
	13．土工事	1）埋戻しｴは ※根切り土の中の良質土 ・山砂の類 2）配管周囲の保護砂は ※ 山砂の類 3）建設発生土の処理は ・構外指示の場所に処分 ・ 構内敷ならし ・構内指示の場所に堆積
	14．完成写真	撮影場所は監督職員との協議による。 ※提出要 ３部
	15．完成時の提出図書	1）完成図（図面の種類は監督職員の指示による。） ※二つ折り製本（※Ａ１版 １部 ・Ａ３版 ２部） ・既存完成図（ＣＡＤデータ含む）の修正を行う(間仕切等を現状に合せて修正する) ・原図 （ 普通紙 ） 2）施工図 施工図等の著作権に係わる当該建築物に使用権は、発注者に移譲するものとする。 3）保全に関する資料 ※提出要（※１部 ・ 部）
	16．盤内配線	図面に特記なき場合は、盤内配線にＥＭ電線線を使用する。
	17．耐震施工	設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。 ただし、重量１ｋＮ以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。 1）機器の据付け及び取付け 設計用水平地震力は、機器重量［ｋＮ］に、地域係数（※1.0・0.9・0.8）と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。 設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	㊀一般機器
上層階 屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
地下及び１階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

上層階とは２～６階建の場合は最上階、７～９階建の場合は上層２階、10～12階建の場合は上層３階、13階建以上の場合は上層４階とする。
中間階とは地階，１階を除く各階で上層階に該当しないもの。
水槽類には燃料小出槽を含む。
重要機器は次のものを示す。
⊙配電盤 ・非常用発電装置 ・直流電源装置・交流無停電電源装置
・交換機 ・火災報知受信機 ・中央監視装置 ・通信総合盤 ・
2）設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の１／２とし、水平地震力と同時に働くものとする。

区分	項目	特記事項
一般共通事項	18．あと施工アンカー	施工後確認試験 ※行う ・行わない 試験方法 引張試験機による引張試験 確認強度 対象機器ごとのアンカーボルト１本に作用する引抜き力以上 試験箇所数 １施工単位に対し１本以上 対象機器 （・配電盤 ・非常用発電機 ・直流電源装置 ・ ）
	19．フラッシュプレートの材質	図面に特記なき場合は、金属製（ステンレス，新金属を含む）⊙ワイドとする。
	20．カバープレートの表示	シール等を貼付し、用途を表示する。
	21．電線本数・管路等	分電盤、制御盤、端子盤などの２次側以降の配線経路，電線太さ，電線本数，管径などは監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。
	22．露出配管の塗装（付属品を含む）	塗装する部分 ・屋上 ・屋側 ・屋外 ・廊下 ・機械室 ・居室（ ）
	23．屋外露出配管の仕上げ	屋外露出配管（厚鋼電線管）で塗装を行わない場合は、溶融亜鉛めっき仕上げ[めっき付着量300g/㎡以上]とする。
	24．高圧ケーブル	ＥＭ－高圧架橋ポリエチレンケーブルは、ＪＣＳ ４３９５「６６００Ｖ架橋ポリエチレンケーブル（３層押出型）」によるものとする。
	25．プルボックスの塗装	ステンレス製プルボックスの塗装 ※有（指定色仕上） ・無（素地仕上）
	26．屋外及び多湿箇所の支持金物等	ステンレス製または鋼材に溶融亜鉛めっきを施したものとする。
	27．接地極	接地極の材料は次による。

接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極
・共同接地	$E_{A\text{-}D}$	１０Ω以下	EB(D=14又はW=40) ×3連－2組
⊙共同接地	$E_{A\text{-}C\text{-}D}$	１０Ω以下	EB(D=14又はW=40) ×3連－2組
・Ａ種	E_A	１０Ω以下	EB(D=14又はW=40) ×3連－2組
・Ｂ種	E_B	Ω以下	EB(D=14又はW=40) ×2連－2組
・Ｃ種	E_C	１０Ω以下	EB(D=14又はW=40) ×3連－2組
⊙Ｄ種	E_D	１００Ω以下	EB(D=10又はW=30) ×１
・高圧避雷器	E_{LH}	１０Ω以下	EB(D=14又はW=40) ×3連－2組
・交換機用	E_t	１０Ω以下	EB(D=14又はW=40) ×3連－1組
・通信用	E_{At}	１０Ω以下	EB(D=14又はW=40) ×3連－2組
・通信用	E_{Dt}及びE_{Da}	１００Ω以下	EB(D=10又はW=30) ×１
・電話引込口の保安器用	E_{Lt}	１００Ω以下	EB(D=10又はW=30) ×１
・測定用	E_0	——	EB(D=10又はW=30) ×１

（連結の場合、EBはD=14 L=1500 又は W=40 L=1200とする）
（単独の場合、EBはD=14 L=1500 又は W=40 L=1200とする）
（E_D、E_{Dt}、E_{Da}、E_{Lt}、E_0、の場合、EBはD=10 L=1000 又は W=30 L=900とする）

区分	項目	特記事項
一般共通事項	28．工事安全計画書	建設工事安全施工技術指針及び建設工事公衆災害防止対策要綱を参考に，工事現場の安全対策に関する具体的な工事安全計画書を監督職員に提出する。
	29．他工事との取合い	他工事で設置する機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して，監督職員の承諾を受ける。
	30．適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 1）風圧力 基準風速(Vo= ・３０ ・３２ ・３４ ｍ／ｓ) 地表面粗度区分（ ・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ ） 2）積雪荷重 平成12年建設省告示第1455号における区域 別表（ ）
	31．工事区分	図面に記載のない場合は別紙「工事区分表」による。
	32．地質変位等への対応	建物引込み部の地盤変位等への対応 想定沈下量（・ 200mm以下 ・ 600mm以下 ・ 1,000mm以下）
	33．地中配管の埋設深さ	特記なき場合は地表面（舗装がある場合は舗装下面）から300mm以上とする。 コンクリート製埋設標は彫込み表示のものを用いる。
電灯設備	1．照明器具	1）ＬＥＤの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。 ＬＥＤの光源色 （※昼白色 ・電球色） 2）ＬＥＤ灯器具の定格入力電圧はユニバーサル電圧（１００Ｖ～２４２Ｖ）に対応するものとする。
	2．照明の照度測定	照度測定方法は、次による。 ・「学校環境衛生基準」（平成21年3月31日付け文部科学省告示第60号）第１の２の（10）による。 ※ＪＩＳ Ｚ ９１１０：２０１０ 照明基準総則による。
	3．非常用照明の照度測定	設置した各部屋２箇所以上とし、測定箇所は監督職員の指示による。
	4．照明制御の照度測定	明るさセンサーによる照度制御を行う部屋は照度測定を行い、測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。 照度測定時期 １００％点灯時（※夜間 （※改修前後 ・新設後）） 調光制御点灯時（※夜間 （※改修前後 ・新設後）） 回路電流値測定時期 ・ 改修前後
	5．照度センサー設定器	納入数 ※１個 ・ 個
	6．アドレス設定器（多重伝送式）	設定機能 ・アドレス設定 ・グループ設定 ・パターン設定 ・タイムスケジュール設定 納入数 ※１個 ・ 個
	7．点検用リモコン（非常用照明・誘導灯用）	納入数 ※１個 ・ 個
動力設備	1．インバータ装置の規約効率	三相可変速運転用インバータ装置の規約効率は次の数値以上とする。

電動機出力(kW)	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	15	18.5	22	30	37	45 ～ 75
規約効率(%)	86.0	88.5	92.0	93.0	94.0	94.0	94.5	94.5	95.0	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5

備考（１）規約効率はＪＥＭ－ＴＲ２４５「汎用インバータの規約効率」により算出した値とする。
（２）０．４ｋＷの効率はＪＩＳ Ｃ ４２１２「高効率低圧三相かご形誘導電動機」の定格電圧２００Ｖ、ＩＰ４Ｘ、６極、５０Ｈｚの電動機を駆動したときの値とする。
（３）０．７５ｋＷ以上の効率はＪＩＳ Ｃ ４２１３「低圧三相かご形誘導電動機トップランナーモーター」の定格電圧２００Ｖ、ＩＰ４Ｘ、６極、５０Ｈｚの電動機を駆動したときの値とする。

区分	項目	特記事項
構内交換設備	1．型式	※ボタン電話装置 ・交換装置
	2．保安器用接地	※本工事 ・別途工事
構内配電線路	1．地中箱	蓋の記号表示 鋳型流込み（・電力 ・電気 ・ ） ハンドホール内のケーブル支持等は，マンホールに準じて行う。 アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋は、アスファルト舗装用とする。
	2．高圧負荷開閉器	・閉鎖形（重耐塩形） ・開鎖形 ・避雷器内蔵 ・地絡継電器付（※方向性 ・無方向性） ・別置制御装置までの制御ケーブルを付属すること。
構内配電線路	3．高圧電力ケーブルの端末部	高圧電力ケーブルの端末部両端にシースの収縮対策（熱収縮テープによるシースずれ止め対策等）を行う。
	4．高圧電力ケーブルの屋外端末処理	・一般形 ・耐塩形
	5．照明用ポール	照明用ポールには配線用遮断器（引外し装置なし）又はカットアウトスイッチ（素通しヒューズ）を内蔵する。ただし、ガーデンライトは除く。
構内通信線路	1．地中箱	蓋の記号表示 鋳型流込み（・通信 ・ ） ハンドホール内のケーブル支持等は，マンホールに準じて行う。 アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋は、アスファルト舗装用とする。
テレビ電波受信障害調査	1．調査仕様	図面に記載されていない事項は、すべて（社）日本ＣＡＴＶ技術協会の「建造物によるテレビ受信障害調査要領」及び「建造物によるテレビ受信障害調査要領（地上デジタル放送）」の最新版により調査を行い、（社）日本ＣＡＴＶ技術協会の技術審査を受けること。
	2．テレビ電波受信障害調査時期	・事前 ・中間 ・事後
	3．受信する受信波及び地点数	中継局： 波： 地点 中継局： 波： 地点
	4．報告書	提出部数 ・事前 ３部 ・中間 部 ・事後 ３部

区分	項目	特記事項
その他	1．	機器取付高 機器取付高は次の数値を標準とする。ただし，天井高3,000mm以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。

	名称	測点	取付高（mm）
電力共通	取引用計器	地上～窓中心	1,800～2,000
	引込開閉器	地上～中心	1,800～2,200
電灯	分電盤、ＯＡ盤、実験盤	床上～中心	1,500（上端1,900以下）
	スイッチ	〃	1,300
	〃（ﾊﾟﾘｱﾌﾘｰﾄｲﾚ）	〃	1,100
	コンセント（一般）	〃	300
	〃（和室）	〃	150
	〃（台上）	台上～中心	150
	〃（土間）	床上～中心	800～1,300
	〃（車椅子用）	〃	900
	コンセント（電気室・発電機室）	床上～中心	800
動力	ブラケット（一般）	〃	2,100～2,300
	〃（踊場）	〃	2,000～2,500
	〃（鏡上）	鏡上端～中心	150
	壁掛形制御盤	床上～中心	1,500（上端1,900以下）
	手元開閉器	〃	1,500
	操作スイッチ	〃	1,300
雷保護	試験用接続端子箱	床上～下端	800
受変発電	接地端子箱	地上・床上～中心	500
	給油ﾎﾞｯｸｽ（壁掛形）	地上～給油口	1,000
構内交換	端子盤（EPS）	床上～中心	1,500（上端1,900以下）
	端子盤（室内）	床上～下端	300
	保安器箱	天井下～上端	200
	壁付アウトレット	床上～中心	300
	〃（和室）	〃	150
	壁付電話機	〃	1,300

	名称	測点	取付高（mm）
電気時計	壁掛形親時計	床上～中心	1,500（上端1,900以下）
拡声	子時計	床上～中心	天井高×0.9
	壁掛形スピーカ	床上～中心	天井高×0.9
	壁付アッテネータ	床上～中心	1,300
表示誘導支援	情報・出退表示盤	床上～中心	天井高×0.9
	壁付発信器	〃	1,300
	ベル，ブザー，チャイム	〃	2,300
	受付押ボタン（一般）	〃	1,300
	電源箱	床上～下端	300
	外部受付用インターホン(子機)	標準図による	
	壁付インターホン(上記以外)	床上～中心	1,300
	壁付押ボタン(ﾊﾟﾘｱﾌﾘｰﾄｲﾚ)	〃	900
	壁付押ボタン(ﾊﾟﾘｱﾌﾘｰﾄｲﾚ) 床転倒時用	〃	400
	身障者用インターホン(子機)	標準図による	
テレビ共同受信	機器収容箱（EPS）	床上～中心	1,500(上端1,900以下)
	機器収容箱	天井下～上端	200
	テレビ端子	床上～中心	300
	〃（和室）	〃	150
火災報知	受信機・副受信機	床上～操作部	800～1,500
	機器収容箱	〃	800～1,500
	発信機	床上～中心	800～1,500
	ベル	〃	2,300
	表示灯	〃	2,100
ガス漏れ	ガス漏れ中継器	天井下～中心	300
ガス検知	検知器（都市ガス）	〃	300(壁付の場合)
	〃（ＬＰガス）	床上～上端	300

2．配線図記号その他
1）ＥＭ電線線の表記は「ＥＭ－」を省略する。ただし、警報用及び同軸ケーブルは除く。

3．スイッチ
1） 照明スイッチは、位置表示灯付⊙ワイド（異時点滅）とする。
2） 換気扇スイッチは、確認表示灯付き（同時点滅）とする。

4．負担金等（消費税抜き）
（・本工事 ・別途） 円
（・本工事 ・別途） 円

別表－１「外部機関等による評価済み機材表」

品名	機材名
ＬＥＤ照明器具（一般屋内に限る）	
照明制御装置	
可変速運転用インバータ装置	
盤類	分電盤
	制御盤
	キュービクル式配電盤
	高圧スイッチギヤ（ＣＷ形）
	高圧スイッチギヤ（ＰＷ形）
高圧機器	高圧交流遮断器
	高圧変圧器（特定機器）
	高圧進相コンデンサ
	高圧限流ヒューズ
	高圧負荷開閉器
交流無停電電源装置(常時ｲﾝﾊﾞｰﾀ給電方式(簡易型)を除く)	
太陽光発電装置	パワーコンディショナ及び系統連系保護装置
監視カメラ装置	
中央監視制御装置	監視制御装置

邑久地区市営住宅（Ａ棟）建替工事	Ａ１ Ｓ＝Ｎ／Ｓ Ａ３ Ｓ＝Ｎ／Ｓ	E 01
岡山県電気設備工事特記仕様書		

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号 TEL086-244-0173
１級建築士事務所 岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録 第１１８２３６号 大石雅弘

工事区分表

区分は ⊙ 印がついたものを適用する。 ⊙ 印がつかない場合は、※印のついたものを適用する。

⊙ 印と ㊟ 印がついた場合は、共に適用する。

○躯体関係

項目		建築	電気	機械	昇降機	別途		備考
1 ＲＣ造（梁・壁・床）の貫通・開口部	貫通スリーブ	※	※	※	・			
	貫通スリーブの補強	※	・	・	・			
	開口補強を要する型枠材及び取付け	※	※	※	・			
	開口部の補強	※	・	・	・			
	開口補強を要しない型枠材及び取付け	※	※	※	・			
	貫通孔・開口部の墨出し	※	※	※	※			
	スリーブ・型枠の穴埋め	※	※	※	※			
	不要開口部の穴埋・補修（荒埋め）	※	・	・	・			
	既存電気配管貫通部穴埋（荒埋め）	・	※	・	・			
	既存機械配管貫通部穴埋（荒埋め）	・	・	※	・			
	電気配管用貫通口機械はつり	・	※	・	・			
	機械配管用貫通口機械はつり	・	・	※	・			
2 Ｓ・ＳＲＣ造（梁・壁・床）の貫通・開口部	Ｓ・ＳＲＣ造鉄骨貫通鋼管スリーブ・補強	※	・	・	・			
	開口補強を要する型枠材及び取付け	※	※	※	・			
	開口部の補強	※	・	・	・			
	開口補強を要しない型枠材及び取付け	※	※	※	・			
	貫通スリーブ（工場施工部分）	※	・	・	・			
	貫通スリーブ（工場施工部分以外）	※	※	※	・			
	貫通孔・開口部の墨出し	※	・	・	・			
	スリーブ・型枠の穴埋め	※	※	※	※			
	予備スリーブの穴埋め	※	・	・	・			
	不要開口部の穴埋・補修（穴埋め）	※	・	・	・			
	既存電気配管貫通部穴埋（穴埋め）	・	※	・	・			
	既存機械配管貫通部穴埋（穴埋め）	・	・	※	・			
	電気配管用貫通口機械はつり	・	※	・	・			
	機械配管用貫通口機械はつり	・	・	※	・			
3 設備機器の基礎	屋上設置の基礎	※	・	・	・			
	屋上基礎で押さえコンクリートにアンカーしない軽微なもの	・	※	※	・			
	室内設置の基礎	※	・	・	・			
	室内設置の基礎（電気・自家発室）	※	・	・	・			
	受水槽基礎	※	・	・	・			
	屋外設置の基礎（個別エアコン基礎を除く）	※	・	※	・	※		特記による
	機器取付け用アンカー・架台	・	※	※	・	※		特記による
4 防火区画の貫通	防火区画の貫通処理	※	※	※	※			
5 昇降機関連	昇降路（及び機械室）の築造	※	・	・	・			
	昇降路内（又は機械室天井）のフック設置	※	・	・	・			
	ピットの防水仕上げ	※	・	・	・			
	各階出入口三方枠及び位置表示器・乗場ボタン取付け用開口部の仮枠穴開け	※	・	・	・			
	三方枠・出入口扉	・	・	・	※			
	乗り場敷居受け	※	・	・	・			
	乗り場機器取付け後の壁・床・天井仕上げ	※	・	・	・			
	昇降路がＲＣ造の時の軌条・中間ビームブラケット他昇降路内の鉄部材一式	・	・	・	※			
	昇降路がＳ造の時の中間ビームブラケット受けピース、ファスナー	※	・	・	・			
	昇降路がＳ造の時のブラケット受け・中間ビーム・ファスナー以外の昇降路内の鉄部材一式	・	・	・	※			
	電源及び接地線工事	・	※	・	・			
	機械室・ピット内の点検用コンセント	・	※	・	・			
	煙感知器設置工事	・	※	・	・			
	停電時非常電源識別接点引込工事み	・	※	・	・			
	火災時識別リレー接点引込み工事	・	※	・	・			
	放送用信号線引込み工事	・	※	・	・			
	エレベーター監視盤への電源引込み工事	・	※	・	・			
	インターホン・エレベーター監視盤の昇降路外配管工事	・	※	・	・			
	同上配線工事	・	・	・	※			
	ピット点検用タラップ	・	・	・	※			
	機械室の配管用コンクリート及び床用防塵塗料	※	・	・	・			
	機械室床の機器搬入口の仮枠・補強及び復旧	※	・	・	・			
	機械室床のロープ用穴等の仮枠穴あけ	※	・	・	・			
	機械室マシンビーム受け梁設置	※	・	・	・			
	機械室換気設備工事	・	・	※	・			
	機械室照明設備工事	・	※	・	・			
	設備機器メンテナンス歩廊	※	・	・	・			

○コンクリートブロック・ＡＬＣパネル・押出成形セメント板関係

項目		建築	電気	機械	昇降機	別途		備考
1 ＡＬＣ・ＥＣＰの開口部	出入口・窓等の開口	※	・	・	・			
	設備用開口	※	・	・	・			
	上記開口補強	※	・	・	・			

○仕上げ関係

項目		建築	電気	機械	昇降機	別途		備考
1 軽鉄天井・壁下地	建築部材用開口部の墨出し	※	・	・	・			
	電気機器用開口部の墨出し	・	※	・	・			
	機械機器用開口部の墨出し	・	・	※	・			
	軽鉄の切込み	※	・	・	・			
	軽鉄の開口補強	※	・	・	・			
	補強を要しないボードの切込み	※	※	※	・			
	補強を要するボードの切込み及び下地の補強	※	・	・	・			
	リブ天井仕上げ材の機器廻り取合い	※	・	・	・			
	総合図の作成	※	※	※	・			
2 既製間仕切り	切り込み補強	※	・	・	・			
	位置ボックス	・	※	※	・			
	衛生機具類・機器類取付要壁補強	※	・	・	・			
	総合図の作成	※	※	※	・			
3 吊りボルト及びインサート	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用	・	※	※	・			
	~~Ｓ造の場合設備用吊ボルト用構造部材~~	※	-	-	-			
	吊りボルト及びインサート墨出し	・	※	※	・			
4 外壁廻り	外壁ガラリ及びダクト接続用フランジ	※	・	・	・			
	ウエザーカバー、ベンドキャップ	・	・	※	・			
	換気扇・天井扇	・	・	※	・			
	換気扇用枠・天井扇取付枠	・	・	※	・			
	換気扇取付用アルミパネル	※	・	・	・			
	上記開口加工	※	・	・	・			
	外壁材、穴あけ、補強	※	・	・	・			
5 湯沸室廻り	流し台	※	・	・	・			
	同上用水栓	・	・	※	・			
	吊り戸棚・コンロ台	※	・	・	・			
	湯沸器	・	・	※	・			
	既製品レンジフード換気扇	・	・	※	・			
	~~現場製作ＳＵＳテーブル~~	※	-	-	-			
	衛生、ガス配管接続	・	・	※	・			
6 便所廻り	~~洗面器用カウンター~~	※	-	-	-			
	~~同上切込み~~	※	-	-	-			
	鏡（Ｗ６００×Ｈ８００まで）【既製品】	・	・	※	・			
	鏡（Ｗ６００×Ｈ８００を超えるもの）	※	・	・	・			
	~~鏡（ステンレス製）~~	※	-	-	-			
	衛生陶器及び水栓類	・	・	※	・			
	手すり（便所内）	・	・	※	・			
	器具取付用壁下地補強	※	・	・	・			
	ペーパーホルダー	・	・	※	・			
	~~シートペーパーホルダ~~	・	-	※	・			
7 浴室廻り	ユニットバス・ユニットシャワー	※	・	・	・			
	同上出入口壁取合い部枠	※	・	・	・			
	同上用水栓	※	・	・	・			
	既製品浴槽（風呂蓋含む）	※	・	・	・			
	浴槽・洗い場の排水金物	・	・	※	・			
	洗濯機パン、洗濯機用排水金物	・	・	※	・			
	洗面化粧台	※	・	・	・			
8 集会室廻り	ドアガラリ・アンダーカット	※	・	・	・			
	フリーアクセスフロアの切込み及び補強	※	・	・	・			
	フリーアクセスフロア用マーカー	・	※	・	・			
9 その他	２重ピット及びトレンチのマンホール蓋	※	・	・	・			
	機器搬入用フック、ビーム	※	・	・	・			
	化粧マンホール上蓋及び蓋の仕上げ	※	・	・	・			屋外は除く
	点検口（天井・床下・壁）	※	・	・	・			
	排煙口等の天井仕上げ材の取付け	・	・	※	・			
	自動閉鎖装置を取付ける防火戸の切込み補強	※	・	・	・			
	消火器ＢＯＸ（消火器共）	※	・	・	・			
	~~厨房用グリーストラップ~~	・	-	※	-			
	トラフ・ピット類（蓋を含む）	※	・	・	・			
	上記蓋貫通配管部加工	※	・	・	・			
	~~地下各水槽躯体及び防水・マンホール・タラップ~~	※	-	-	-			
	~~油サービスタンク及びポンプの防油堤~~	※	-	-	-			
	フリーアクセスフロア内の防水堤	※	・	・	・			
	~~電気錠~~	※	-	-	-			
	カーテンレール	※	・	・	・			
10 補修・仕上げ	不要開口部のモルタル仕上	※	・	・	・			
	既存電気配管貫通部モルタル仕上	※	・	・	・			
	既存機械配管貫通部モルタル仕上	※	・	・	・			
	上記（床・内壁・外壁・天井）仕上材塗り補修	※	・	・	・			

○屋外排水設備・外構

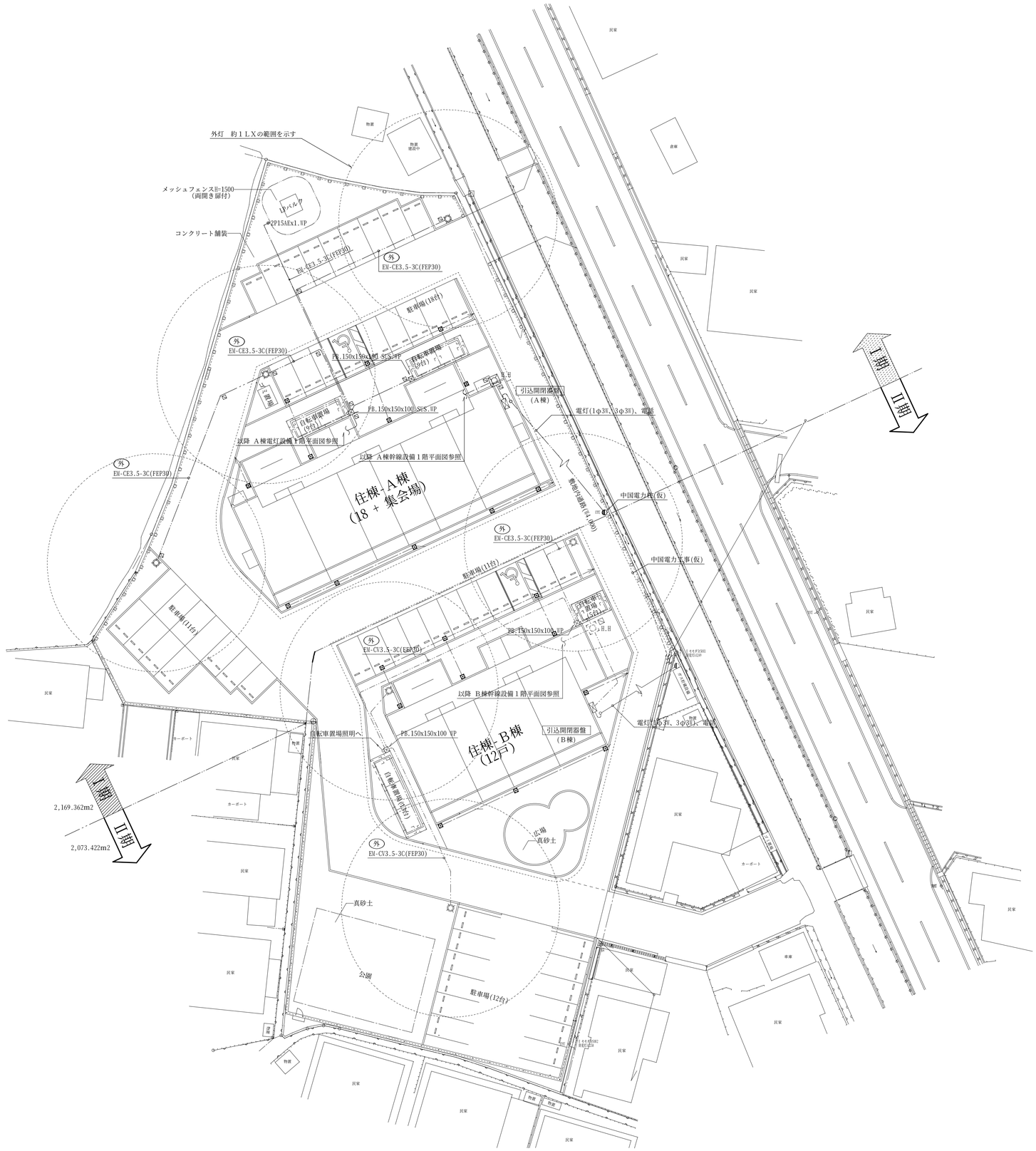
項目		建築	電気	機械	昇降機	別途		備考
1 雨水	屋外雨水排水設備（開渠）	※	・	・	・			
	屋外雨水排水設備（暗渠）	・	・	※	・			
	桝及び桝蓋	・	・	※	・			
	ルーフドレイン	※	・	・	・			
	たて樋	※	・	・	・			
	横引配管（たて樋から第一桝まで）	・	・	※	・			
	道路側溝接続	・	・	※	・			
	同上舗装	※	・	・	・			
2 雑排水・汚水	屋外雑排水及び屋外汚水排水設備	・	・	※	・			
	桝及び桝蓋	・	・	※	・			
	化粧マンホール上蓋及び蓋の仕上	※	・	・	・			
3 煙突	煙突	※	・	・	・			
	発電機室から煙突までの排気管	・	※	・	・			
	煙道接続用スリーブ	※	・	・	・			
4 浄化槽の躯体	現場施工形	※	・	・	・			
	ユニット形	・	・	※	・			
	土留め工事	・	・	※	・			
5 地下貯油槽（タンク室を設ける場合）	タンク室の躯体	※	・	・	・			
	タンク室の乾燥砂充填	・	※	※	・			
	タンク室のタンク本体及び配管	・	※	※	・			
	タンク室を設けない場合のタンク及び設置工事	・	※	※	・			
	土留め関係工事	・	※	※	・			
6 道路舗装	既存舗装部　カッター入・はつり撤去	※	・	・	・			
	舗装部撤去後、復旧及び新設	※	・	・	・			
7 その他	既設給水本管からの分岐引込工事	・	・	※	・			
	既設下水管及び下水桝接続工事	・	・	※	・			
	給水本管からの引込工事　負担金	・	・	・	・	※		
	下水桝接続工事　負担金	・	・	・	・	※		
	メーター取付　負担金	・	・	・	・	※		

○電気配線配管

項目		建築	電気	機械	昇降機	別途		備考
	機器付属の制御盤以降の配管配線（設置線共）	・	・	※	※			
	機器付属品の制御盤への電源供給配管配線	・	※	・	・			
	自動制御と動力盤との電源供給の渡り配管配線	・	※	・	・			
	~~自動扉への電源供給~~	・	※	-	-			
	~~自動扉キー・スイッチ及び配管~~	・	※	-	-			
	~~電動シャッター電源供給~~	・	※	-	-			
	~~電動シャッター操作スイッチ用位置ボックス及び配管~~	・	※	-	-			
	~~電動シャッター本体・操作スイッチ及びその間の配線~~	※	・	-	-			
	室内機と屋外機の渡り（連絡）配線	・	・	※	・			
	機器と付属操作スイッチの位置ボックスとその渡り配管	・	※	・	・			
	機器と操作スイッチの渡り配線	・	・	※				
	小便器用節水装置への電源供給	・	※	・	・			
	注油口内アース端子よりアース用配管配線	・	※	・	・			
	防火戸の連動制御器・煙感知器・吸着板・ラッチ受座の取付け	・	※	・	・			
	上記の配線	・	※	・	・			
	~~防火・防煙シャッター及び二次側配線~~	※	-	-	-			
	~~上記連動制御器・煙感知器の取付け及び配線~~	・	※	-	-			
	~~防煙ダンパー~~	-	-	※	-			
	~~上記連動制御器・煙感知器の取付け及び配線~~	・	※	-	-			
	~~排煙口~~	-	-	※	-			
	~~上記連動制御器・煙感知器の取付け及び配線~~	・	※	-	-			
	~~電気錠への電源供給~~	・	※	-	-			
	避雷導体間の接続工事	・	※	・	・			
	ガス遮断弁の操作、制御配線用配管	・	※	・	・			
	換気扇等、空調室内機、室外機電源	・	※	・	・			
	リモコン配線	・	・	※	・			
	同上用位置ボックスの配管	・	※	・	・			
	室内機間の制御配線	・	・	※	・			
	換気扇のＯＮ－ＯＦＦスイッチ	・	※	・	・			
	換気扇の２４時間換気スイッチ	・	・	※	・			電気設備に支給 本体は機械設備 同取付は電気設備とする
	盤類等、太陽光関連基礎、	・	・	※	・			

邑久地区市営住宅（Ａ棟）建替工事	A1 S=N/S A3 S=N/S	E	
工事区分表		02	

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

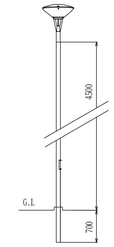


外灯・参考図

図 ：ＬＥＤ街路灯

仕様

光束7100lm、消費電力96W、電圧100～242V
本体：ﾌｪｽﾀﾞｲﾎﾞｽﾄ
ｸﾞﾛｰﾌﾞ：ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ(孔白)
鋼管：環境配慮型溶融亜鉛ﾒｯｷ後
ﾎﾞﾘｴｽﾃﾙ樹脂粉体焼付塗装　　φ76mm
耐風速60m/sec仕様（標準灯具の場合）
（ｴﾎﾞｸﾗｽﾀﾚｰｼｮﾝ）
基礎　600x 600x 1100



「低圧電灯、電話、光等の引込」参考計画案

【Ａ棟】

・住戸用の電源（１φ）は、各住戸ＭＢ内に電力計を取付け
　各住戸内の電灯分電盤までの電気を供給する。
・集会所の電源（１φ）は、１階に集会所用電力計を取付け
　４階集会室の電灯分電盤まで電気を供給する。
・共用部（廊下等）の電源（１φ）は、１階に共用部用電力計を取付け
　１階の共用部電灯盤まで電気を供給する。
・太陽光発電の電源（１φ）は、４階電灯分電盤に電気を供給する。
・エレベーターの電源（３φ）は、エレベーター制御盤まで電気を供給する。
・電話・光について、本工事では火災通報装置用(アナログ)電話用空配管を引込を行い、
　各戸については入居者が行う。（各戸までの空配管は本工事で行う。）

凡　例

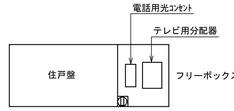
特記なき記号は下記による。

記　号	名　称	備　考
◐	引込柱	電力会社予定柱
H.H	ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ H2-6,B2K-60	
▨	埋設標	コンクリート製
✉	配電盤	
⊠	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ	
☼	街路灯	

邑久地区市営住宅（Ａ棟）建替工事	A1 S=1/250 A3 S=1/500		E
配置図・屋外電気設備図			03

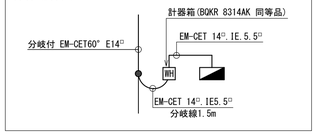
（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

（Ａ棟）各住戸盤+ﾌｧﾘｰﾎﾞｯｸｽ　参考図

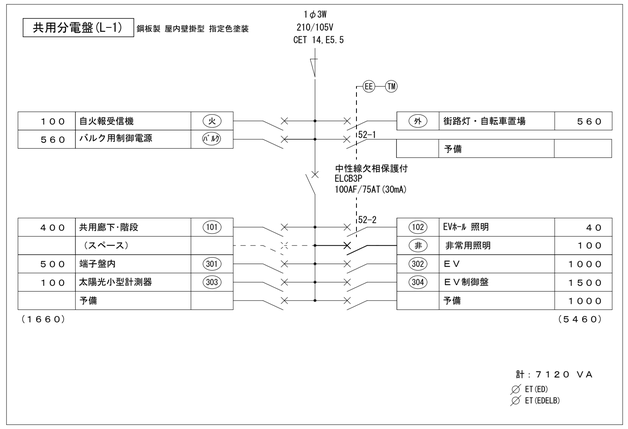


（盤・BHM85142F ＋ BOX・BHRB442124 同等品）

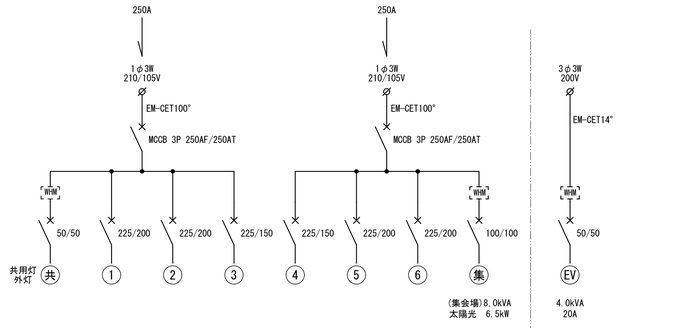
幹線配線図



共用分電盤(L-1)　鋼板製 屋内壁掛型 指定色塗装



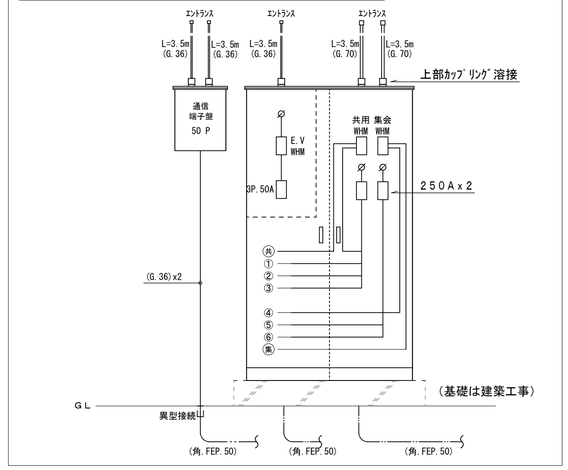
引込開閉器盤（Ａ）結線図

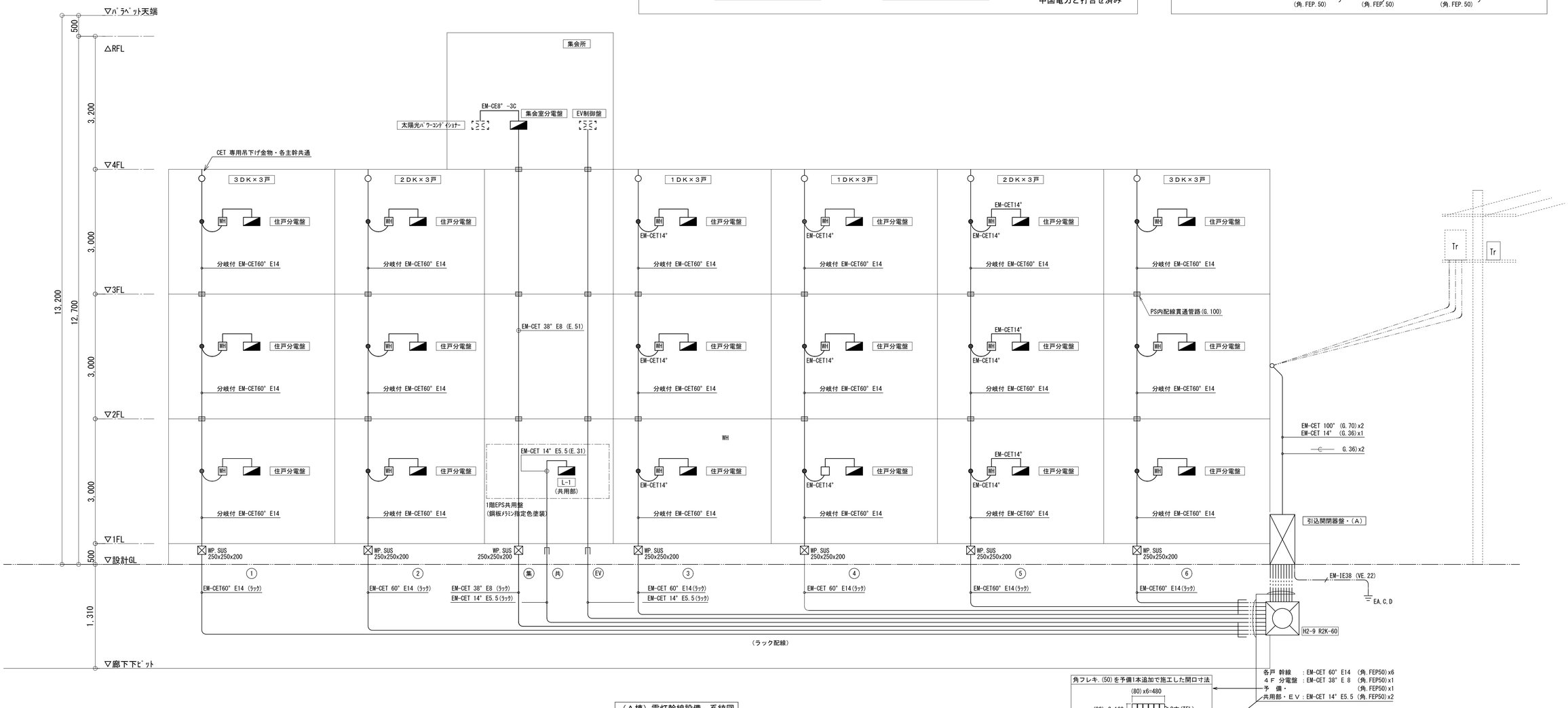


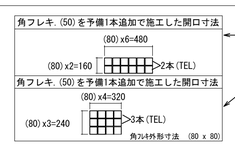
共	MCCB 3P 50AF/ 50A
1	MCCB 3P 225AF/200A
2	MCCB 3P 225AF/200A
3	MCCB 3P 225AF/150A
4	MCCB 3P 225AF/150A
5	MCCB 3P 225AF/200A
6	MCCB 3P 225AF/200A
集	MCCB 3P 100AF/100A

中国電力と打合せ済み

引込開閉器盤（Ａ）・参考図　（亜鉛メッキ鋼板.指定色塗装）







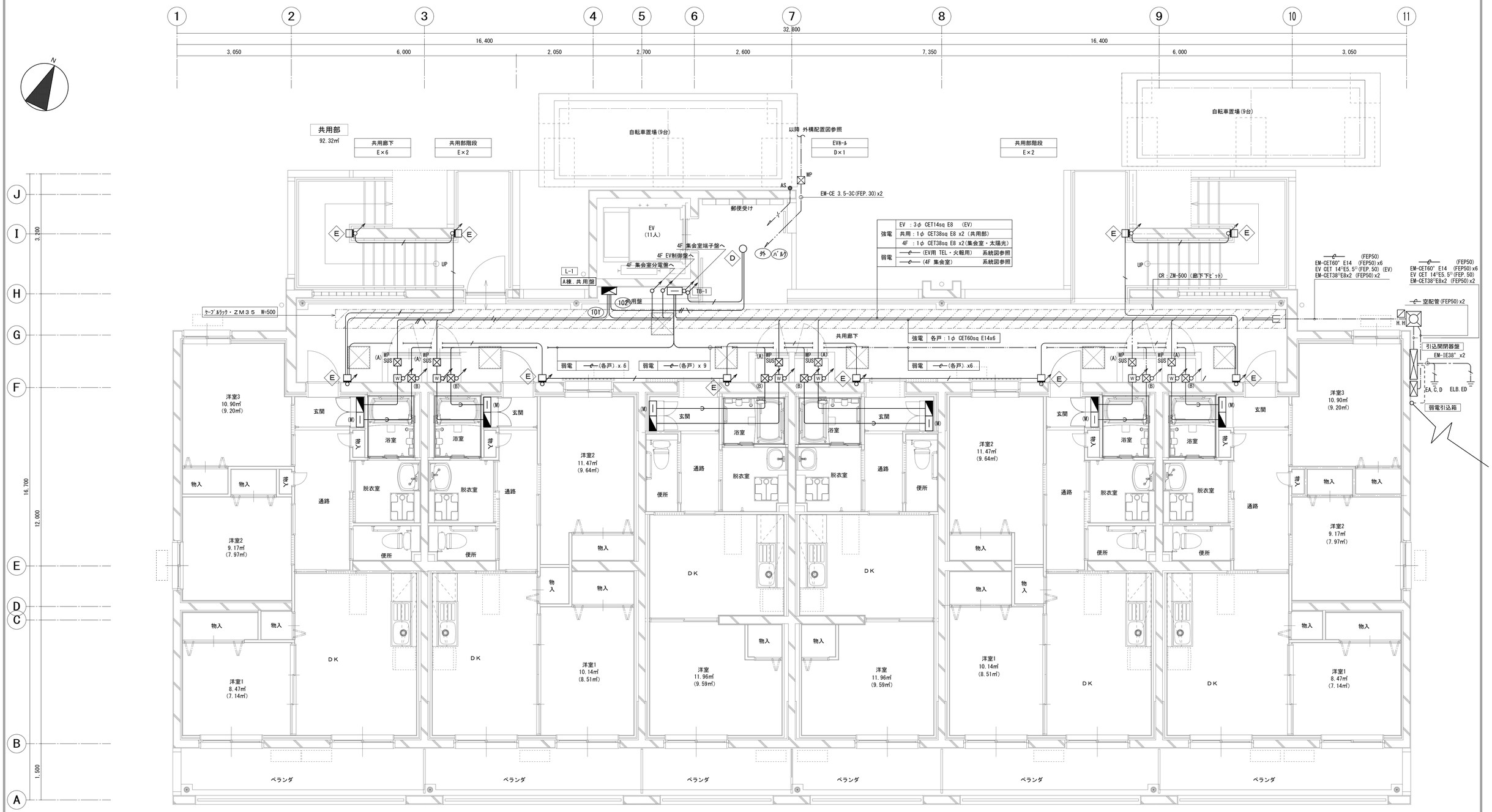
各戸 幹線　：EM-CET 60" E14 (角.FEP50)x6
４Ｆ 分電盤 ：EM-CET 38" E 8 (角.FEP50)x1
予　備・　　(角.FEP50)x1
共用部・ＥＶ：EM-CET 14" E5.5 (角.FEP50)x2

（Ａ棟）電灯幹線設備　系統図

注）各系統幹線CET60sqから分岐するCET14sqの分岐箇所から分電盤までの距離8m以下とする。

邑久地区市営住宅（Ａ棟）建替工事	A1 S=N/S A3 S=N/S		E
幹線設備系統図			04

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



凡 例

特記なき記号は下記による。

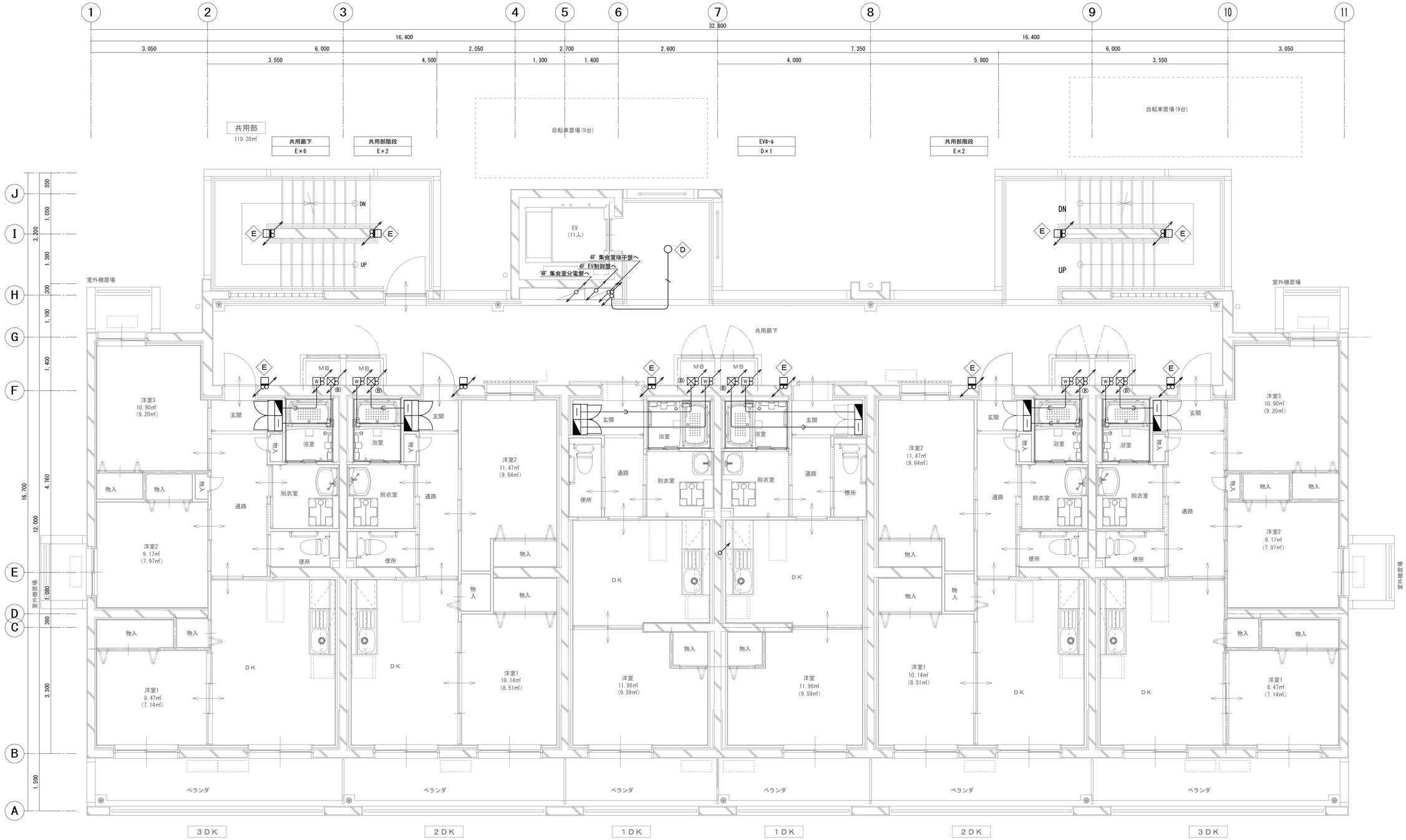
記 号	名 称	備 考
H.H	ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ H2-9,R2K-60	
	埋設標	
	共用部分電盤	
	共用部端子盤	
Wh	電力量計	
	住宅用分電盤	住戸用
(M)	ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱﾎﾞｰﾄﾞ弱電盤	住戸用
W	電力量計	住戸用
	立上げ・引下げ	系統図参照
(A)	ﾌﾞﾙﾎﾞｯｸｽ SUS.WP 250x250x200	住戸用
(B)	ﾌﾞﾙﾎﾞｯｸｽ PB-VE (150x150x100)	電話用

注 記

1. 幹線の配線ｻｲｽﾞは幹線系統図参照とする。
2. 二重天井内はコロガシとし、壁貫通部分、壁引下げ部分は配管にて保護すること。
——— EM-IE 2.0 - 3C (PF.16)
3. 弱電設備は弱電平面図参照のこと。

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/50 A3 S=1/100	E
1階 幹線設備 平面図		05

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号 TEL086-244-0173
１級建築士事務所 岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録 第１１８２３６号 大石雅弘



凡 例

特記なき記号は下記による。

記 号	名 称	備 考
H.H	ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ H2-9,R2K-60	
	埋設標	
	共用部分電盤	
	共用部端子盤	
Wh	電力量計	
	住宅用分電盤	住戸用
(M)	ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱﾎﾞｰﾄﾞ弱電盤	住戸用
W	電力量計	住戸用
	立上げ・引下げ	系統図参照
(A)	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ SUS WP 250x250x200	住戸用
(B)	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ PB-VE (150x150x100)	電話用

注 記

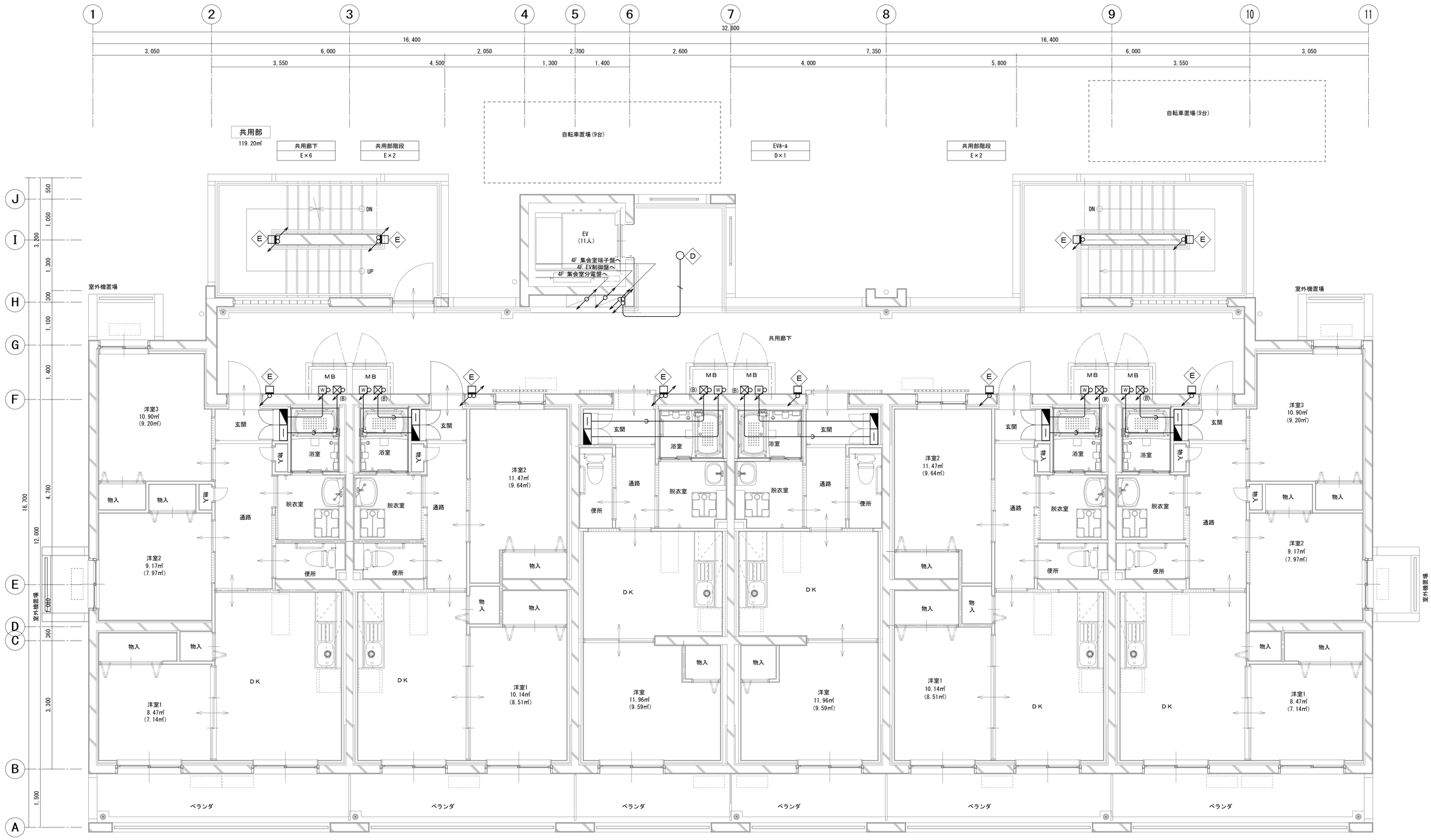
1．幹線の配線ｻｲｽﾞは幹線系統図参照とする。

2．二重天井内はコロガシとし、壁貫通部分、壁引下げ部分は配管にて保護すること。

3．弱電設備は弱電平面図参照のこと。

邑久地区市営住宅（Ａ棟）建替工事	A1 S=1/50 A3 S=1/100	E
２階 幹線設備 平面図		06

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号 TEL086-244-0173
１級建築士事務所 岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録 第１１８２３６号 大石雅弘



凡 例

特記なき記号は下記による。

記 号	名 称	備 考
H.H	ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ H2-9,R2K-60	
	埋設標	
	共用部分電盤	
	共用部端子盤	
WH	電力量計	
	住宅用分電盤	住戸用
(M)	ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱﾎﾞｰﾄﾞ弱電盤	住戸用
W	電力量計	住戸用
	立上げ・引下げ	系統図参照
(A)	ﾌﾞｽﾎﾞｯｸｽ SUS,WP 250x250x200	住戸用
(B)	ﾌﾞｽﾎﾞｯｸｽ PB-VE (150x150x100)	電話用

注 記

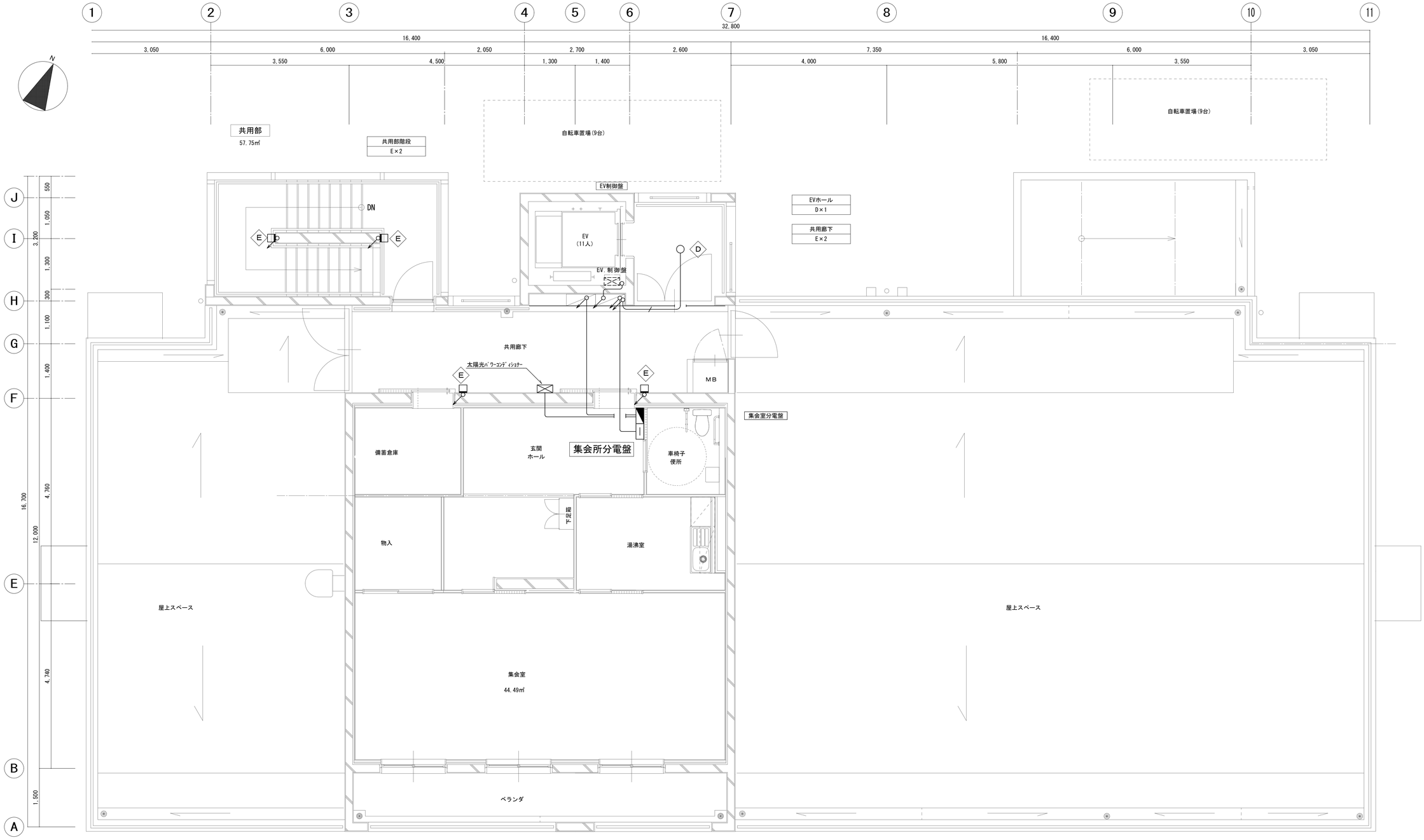
1．幹線の配線ｻｲｽﾞは幹線系統図参照とする。

2．二重天井内はコロガシとし、壁貫通部分、壁引下げ部分は配管にて保護すること。

3．弱電設備は弱電平面図参照のこと。

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/50 A3 S=1/100		E
3階 幹線設備 平面図			07

（株）ADO建築設計事務所
岡山市北区西古松西町5番6号 TEL086-244-0173
1級建築士事務所 岡山県知事登録第12055号
1級建築士登録 第118236号 大石雅弘



集会所
93.1㎡

凡　例

特記なき記号は下記による。

記　号	名　称	備　考
H.H	ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ　H2-9,R2K-60	
	埋設標	
	共用部分電盤	
	共用部端子盤	
Wh	電力量計	
	住宅用分電盤	住戸用
(M)	ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱﾎﾞｰﾄﾞ弱電盤	住戸用
W	電力量計	住戸用
	立上げ・引下げ	系統図参照
(A)	ﾌﾞﾙﾎﾞｯｸｽ　SUS.WP 250x250x200	住戸用
(B)	ﾌﾞﾙﾎﾞｯｸｽ　PB-VE（150x150x100）	電話用

注　記

1．幹線の配線ｻｲｽﾞは幹線系統図参照とする。

2．二重天井内はコロガシとし、壁貫通部分、壁引下げ部分は配管にて保護すること。

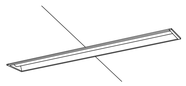
3．弱電設備は弱電平面図参照のこと。

邑久地区市営住宅（Ａ棟）建替工事	A1 S=1/50 A3 S=1/100	E
４階　幹線設備　平面図		08

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

照明器具参考姿図

A　ｉＤシリーズ埋込型４０形　下面開放型　Ｗ１５０



一般タイプ、６９００ｌｍタイプ
消費電力４３．１Ｗ、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：亜鉛鋼板
反射板：鋼板（高反射白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命４００００時間（光束維持率８５%）
昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３、電源装置はライトバー側に内蔵

パナソニック　ＸＬＸ４６０ＰＥＮＴＬＥ９　相当品

B　ｉＤシリーズ直付型４０形　Ｄスタイル　Ｗ１５０



一般タイプ、２５００ｌｍタイプ
消費電力１６．３Ｗ、定格出力型、電圧１００～２４２Ｖ
本体：鋼板（白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命４００００時間（光束維持率８５%）
昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３
電源装置はライトバー側に内蔵

パナソニック　ＸＬＸ４２０ＡＥＮＰＬＥ９　相当品

C　ＬＥＤ電球ダウンライト（ＬＥＤ電球共）

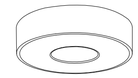


ランプ別売、１００Ｖ
バッフル：アルミダイカスト（ホワイトつや消し仕上）
枠：アルミダイカスト（ホワイトつや消し仕上）

適合ランプ共
LED電球 広配光タイプ（一般電球タイプ）（E26）
昼光色 7.0W 810lm（電球60形相当）

パナソニック　ＮＮＮ６１５１２ＷＫ＋ＬＤＡ７Ｄ－Ｇ／Ｋ６　相当品

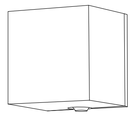
D　軒下用シーリングライト　６０形



光害配慮型、軒下用（防雨型）
３０００Ｋ、Ｒａ８３、電圧１００Ｖ、楕円配光タイプ
光束維持時間４００００時間（光束維持率７０%）
本体：アルミダイカスト（ホワイト仕上）
カバー：プラスチック（ホワイトつや消し）
天井直付型

パナソニック　ＮＣＷ０６００３ＬＥ１　相当品

E　ＬＥＤポーチライト　６０形電球１灯器具相当

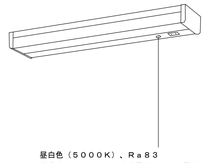


電球色（２７００Ｋ）、Ｒａ８３
器具光束５１５ｌｍ、消費電力７．１Ｗ、電圧１００Ｖ
拡散タイプ、防雨型
ツマミネジ方式、ＰａＰＩＲｓ・明るさセンサ付
カバー：アクリル（乳白）
本体：プラスチック（ホワイト）
点灯照度調整機能付

パナソニック　ＬＧＷＣ８０３６０ＬＥ１　相当品

パナソニック　ＬＧＷＣ８０３６０ＬＥ１　相当品

F　ＬＥＤキッチンライト　２０形直管蛍光灯１灯器具相当

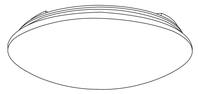


昼白色（５０００Ｋ）、Ｒａ８３
器具光束９８０ｌｍ、消費電力１２Ｗ、電圧１００Ｖ
拡散タイプ、壁直付型・棚下直付型、コンセント付、プルスイッチ付
カバー：プラスチック（乳白）

パナソニック　ＬＧＢ５２０９５ＬＥ１　相当品

パナソニック　ＬＧＢ５２０９５ＬＥ１　相当品

G　シーリングライト



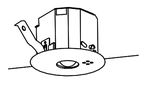
昼光色（６５００Ｋ）、Ｒａ８３／電球色（２７００Ｋ）、Ｒａ８３
器具光束４２９９ｌｍ、消費電力３２Ｗ、電圧１００Ｖ
ＬＥＤ内蔵、電源ユニット内蔵、ソフトターン方式、カチットＦ
光源寿命４００００時間（光束維持率７０%）
カバー：アクリル（乳白つや消し・模様入り）
リモコンで（１００%～５%）調光、専用リモコン送信器同梱

パナソニック　ＬＧＣ３１１６２Ｋ　相当品

パナソニック　ＬＧＣ３１１６２Ｋ　相当品

●1　ＬＥＤ 非常照明　天井埋込型　Ｋ１－ＬＲＳ１１－１

昼白色（5000.K ・Ra 70）
非常灯評定番号　LALE-004
ﾘﾓｺﾝ自己点検機能付　（100V.2回/2回自己点検機能付　（100V.230 Lm 0.9W）
電池内蔵型・充電モニタ-電他内蔵型・充電モニター付



保守率０．９２								
器具取付高さ		2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	—	—	—
単体配置	A1	3.8	4.0	4.0	2.8	—	—	—
直線配置	A2	8.5	9.4	9.9	10.1	—	—	—
四角配置	A4	6.9	7.6	8.1	8.9	—	—	—

●2　ＬＥＤ 非常照明　天井露出型　Ｋ１-ＬＳＳ１１-１

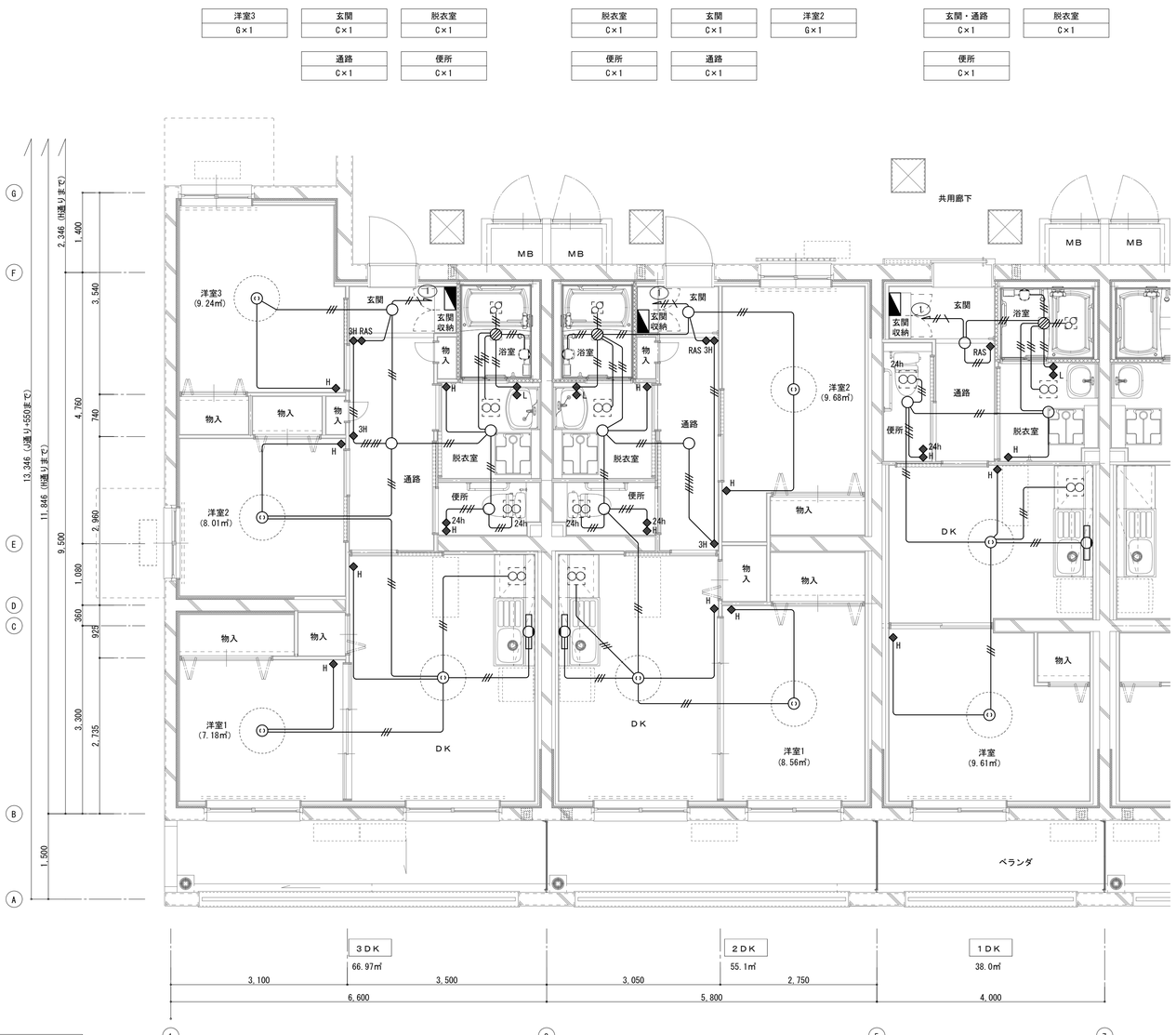
非常灯専用型リモコン自己点検機能付 点検スイッチ付、自己点検スイッチ付
レンズ：ガラス、カバー：鋼板（クールホワイトつや消し仕上）
電圧：１００～２４２Ｖ、蓄電池：ニッケル水素電池 非常灯評定番号：ＬＡＬＥ－００４
直付低天井用・小空間用（～３ｍ）、３０分間タイプ
ＬＥＤ内蔵、非常時・非常灯用ＬＥＤ点灯／常時消灯



保守率０．９２								
器具取付高さ		2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	—	—	—
単体配置	A1	3.8	4.0	4.0	2.8	—	—	—
直線配置	A2	8.5	9.4	9.9	10.1	—	—	—
四角配置	A4	6.9	7.6	8.1	8.9	—	—	—

邑久地区市営住宅（Ａ棟）建替工事	A1 S=N/S A3 S=N/S
照明器具参考姿図	E 09

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



住戸内平面詳細図　S＝1/50

〈1～3F住戸内共通〉

凡 例

特記なき記号は下記による。

記 号	名 称	備 考
	住宅用分電盤（樹脂製）	
	LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ照明	
	LEDｷｯﾁﾝﾗｲﾄ	
	丸型引掛ｼｰﾘﾝｸﾞ	
H	ﾜｲﾄﾞ型埋込ｽｲｯﾁ 1P15A(ホタル)	
3H	ﾜｲﾄﾞ型埋込ｽｲｯﾁ 3W15A(ホタル)	
L	ﾜｲﾄﾞ型埋込ｽｲｯﾁ 1P0.5A(ﾊﾟｲﾛｯﾄ付)	
RAS	熱線ｾﾝｻ付自動ｽｲｯﾁ 1P1.2A（明るさｾﾝｻ・手動ｽｲｯﾁ付）	
	換気扇	設備工事
24h	換気扇（24時間）	設備工事

注 記

1．特記なき配線は下記による。

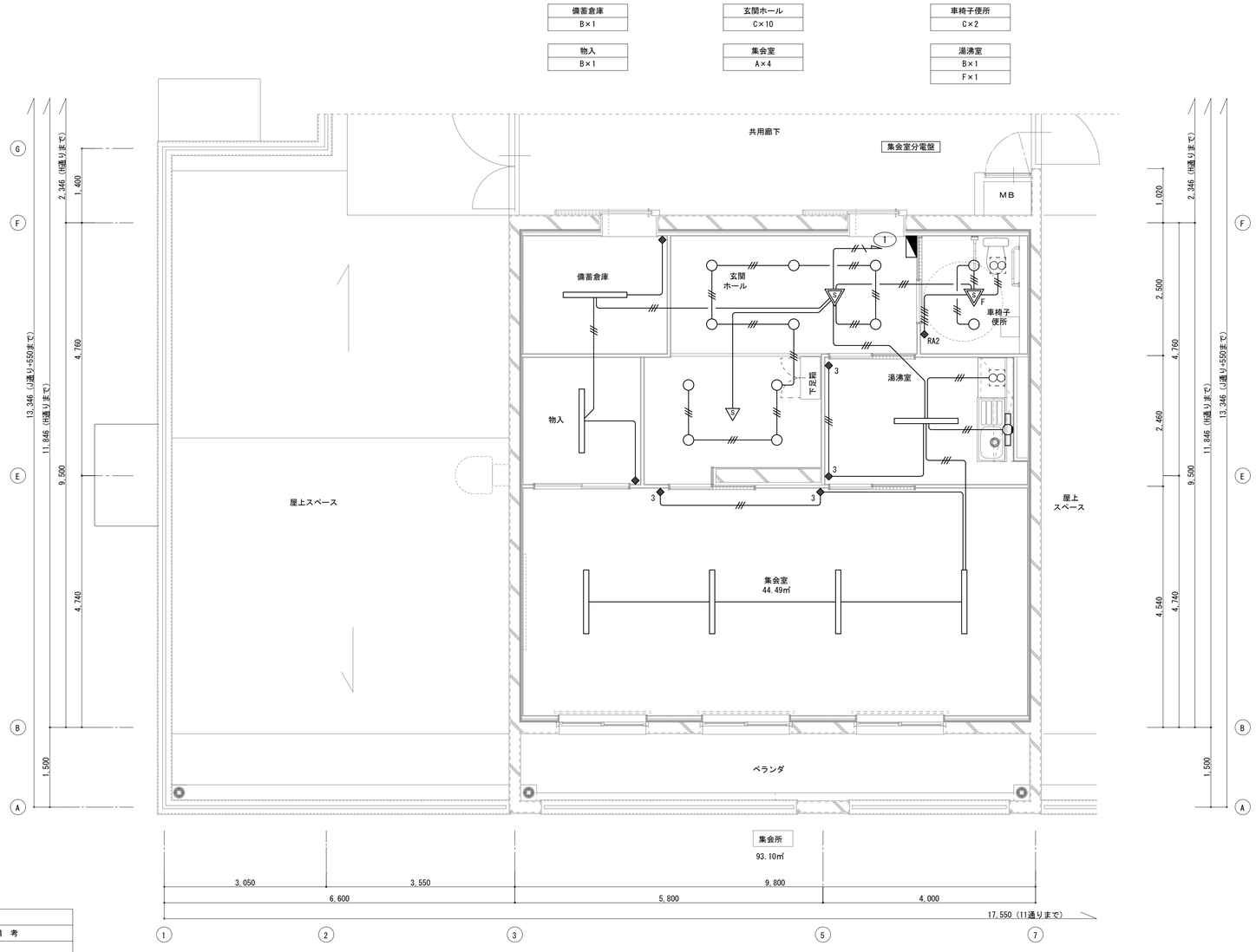
———	EM-EEF1.6-2C
——/——/——	EM-EEF1.6-3C
——//——/——	EM-EEF1.6-2Cx2
——/////——	EM-EEF1.6-3Cx2
——//\——	EM-EEF2.0-3C(1CE)

2．二重天井内はコロガシとし、床壁内はPF16、2本以上はPF22で保護すること。

3．居室照明は器具姿図参考品を参考とする。

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/50 A3 S=1/100		E
住戸内電灯設備平面図			10

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



4階平面詳細図　S＝1/50

凡　例

特記なき記号は下記による。

記　号	名　称	備　考
	外灯用ソーラータイマー付	
	LED照明器具	
	LEDダウンライト照明	
	LEDキッチンライト	
	ワイド型埋込スイッチ 1P15A	
3	ワイド型埋込スイッチ 3W15A	
RA2	人感センサー用スイッチ 2回路用	
S	人感センサースイッチ(明るさセンサー機能付)	
S	人感センサースイッチ 子機	
SF	人感センサースイッチ(換気扇連動)	
	換気扇	設備工事

注　記

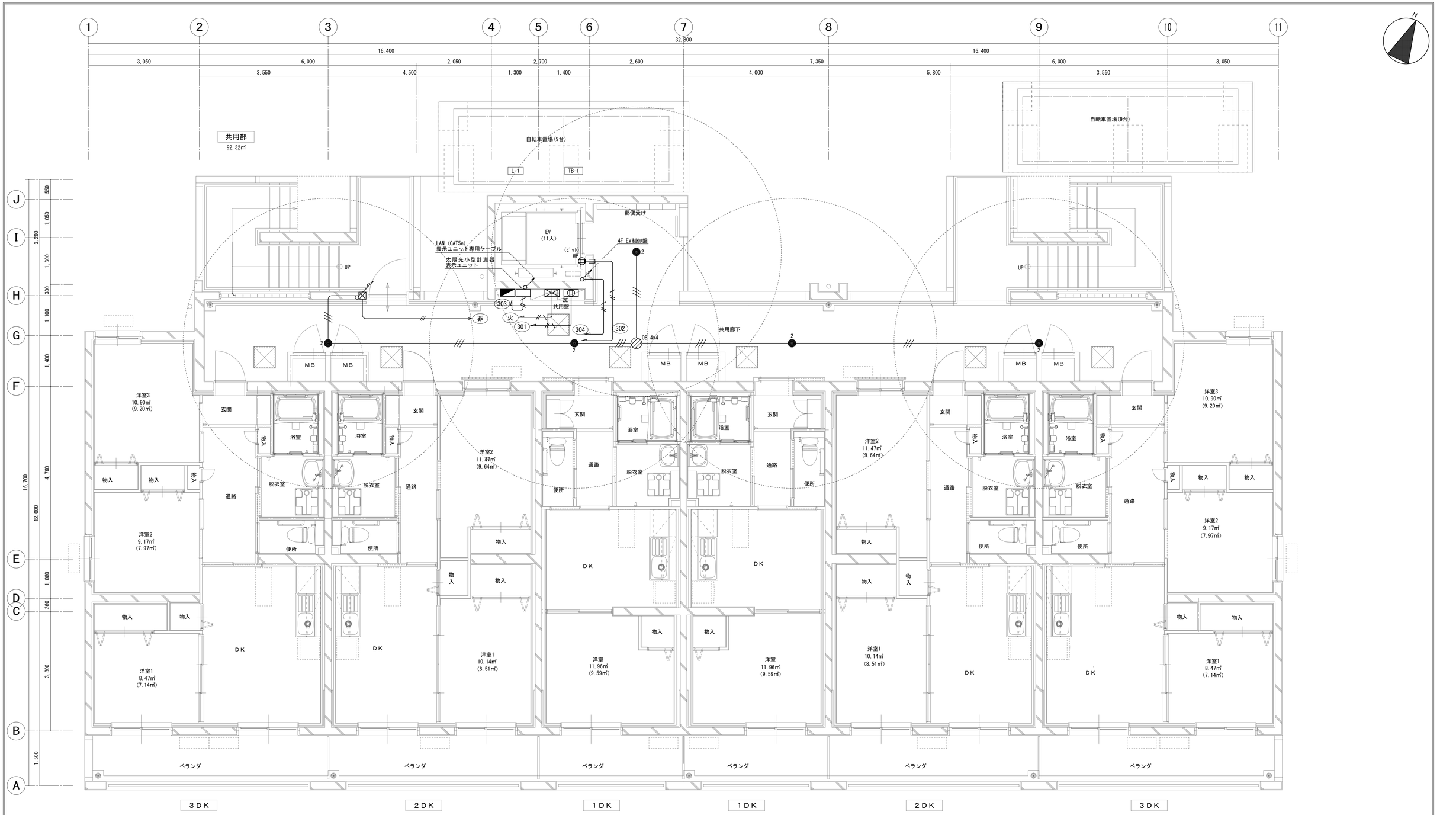
1．特記なき配線は下記による。

———	EM-EEF1.6-2C
——/———	EM-EEF1.6-3C
——//———	EM-EEF1.6-3Cx2
——//^———	EM-EEF2.0-3C(1CE)

2．二重天井内はコロガシとし、床壁内はPF16、2本以上はPF22で保護すること。

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1　S=1/50 A3　S=1/100		E
電灯設備　4階平面詳細図			11

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



１階・コンセント(非常照明)設備平面図　Ｓ＝１：５０

凡　例

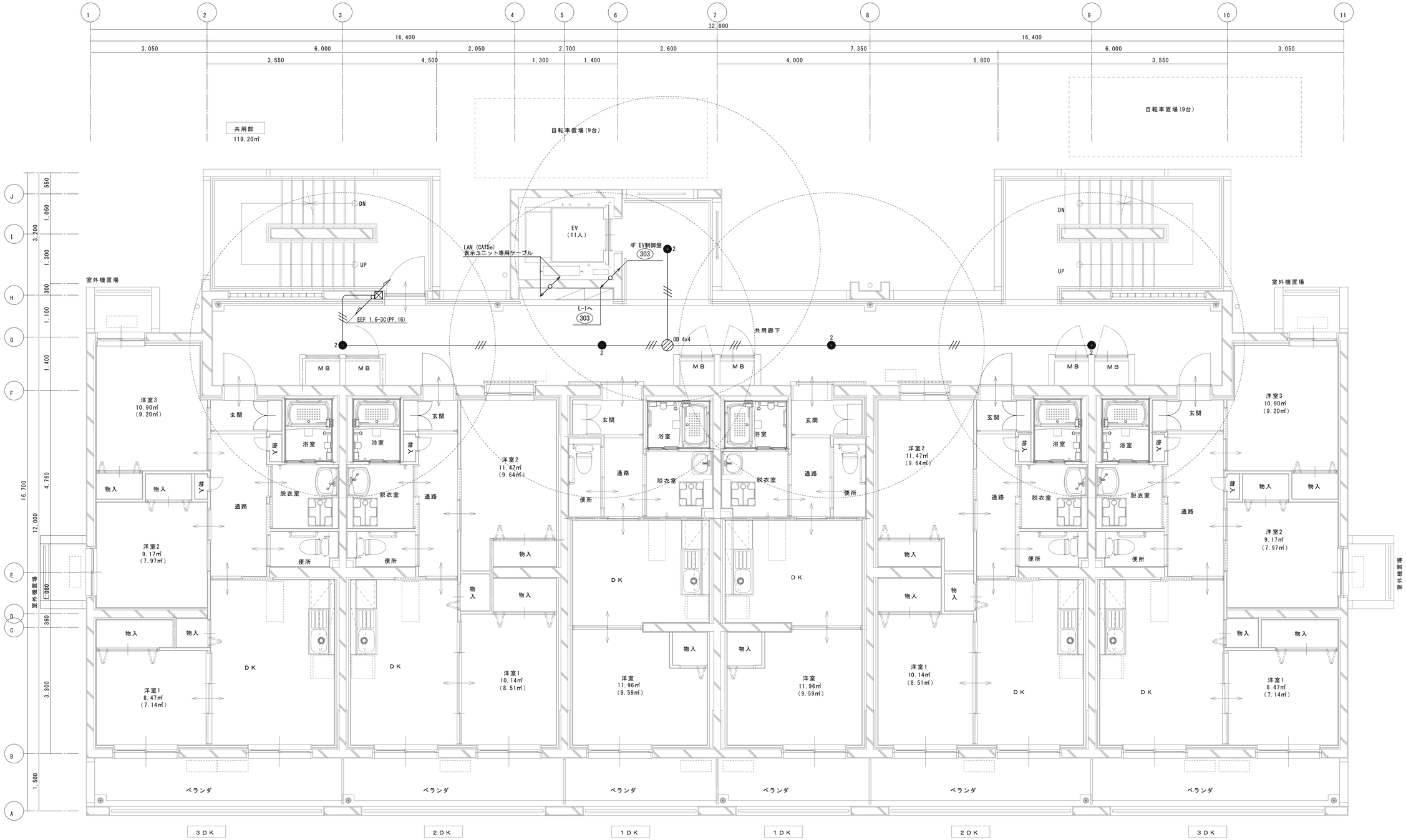
特記なき記号は下記による。		
記　号	名　称	備　考
	共用部分電盤	
	共用部端子盤	
2E	露出ｺﾝｾﾝﾄ 2P15Ax2 接地極付	
WP	防水ｺﾝｾﾝﾄ 2P15Ax2 接地極付	
	立上げ・引下げ	

注　記

1．特記なき配線は下記による。	
―//―	EM-EEF2.0-2C
―//\―	EM-EEF2.0-3C(1CE)
―///\―	EM-EEF2.0-2C+3C(1CE)
2．二重天井内はコロガシとし、床壁内はPF16、2本以上はPF22で保護すること。	
3．太陽光の機器類設置場所は市担当者と協議の上決定すること。	
―//―	非常照明回路　天井内(ｺﾛｶﾞｼ)　埋設部　(PF16)

邑久地区市営住宅（Ａ棟）建替工事	A1 S=1/50 A3 S=1/100			E
１階　コンセント設備平面図				12

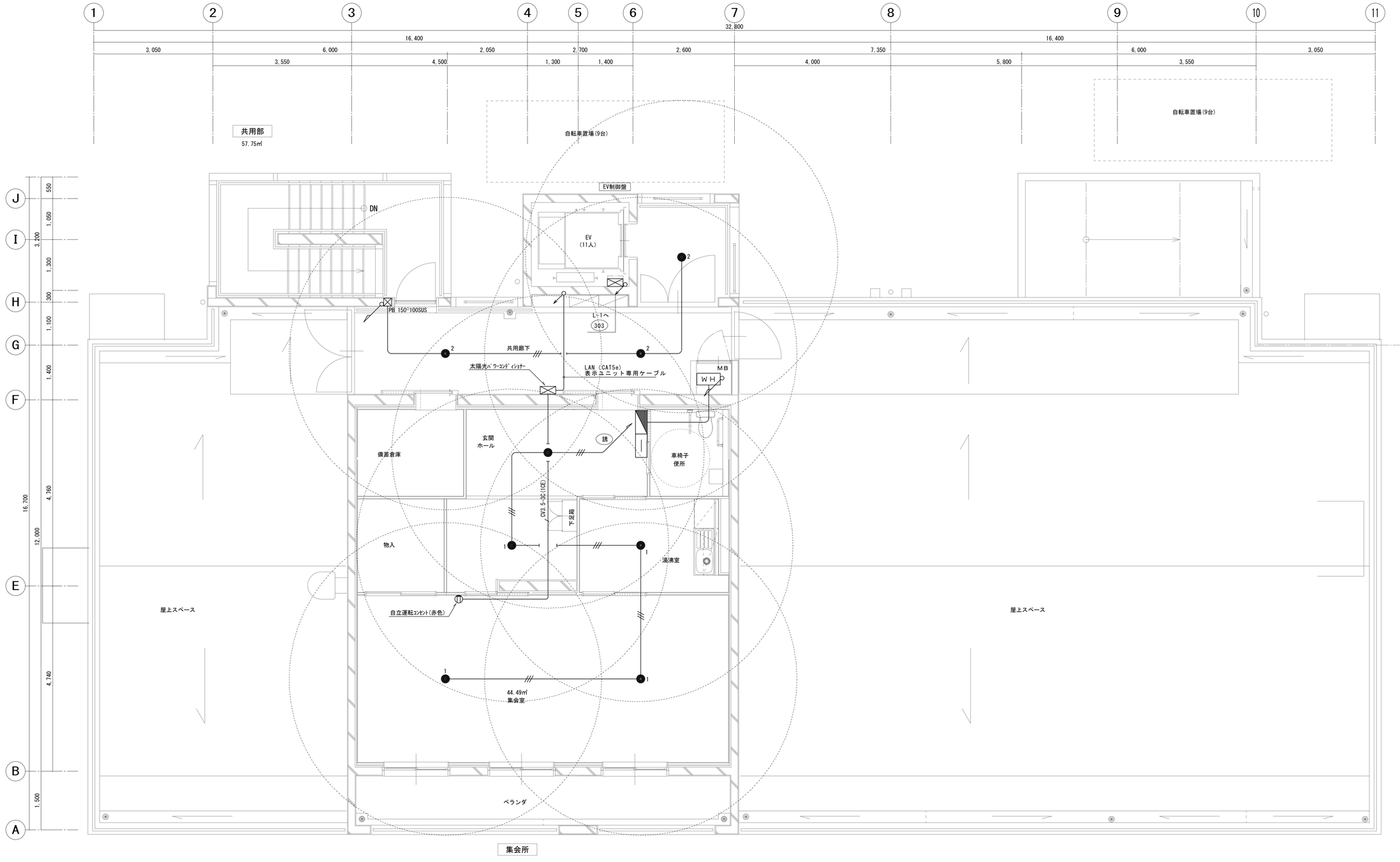
（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



2.3階・コンセント(非常照明)設備平面図　S＝1：50

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1　S＝1/ 50 A3　S＝1/100	E
2.3.階コンセント設備平面図		13

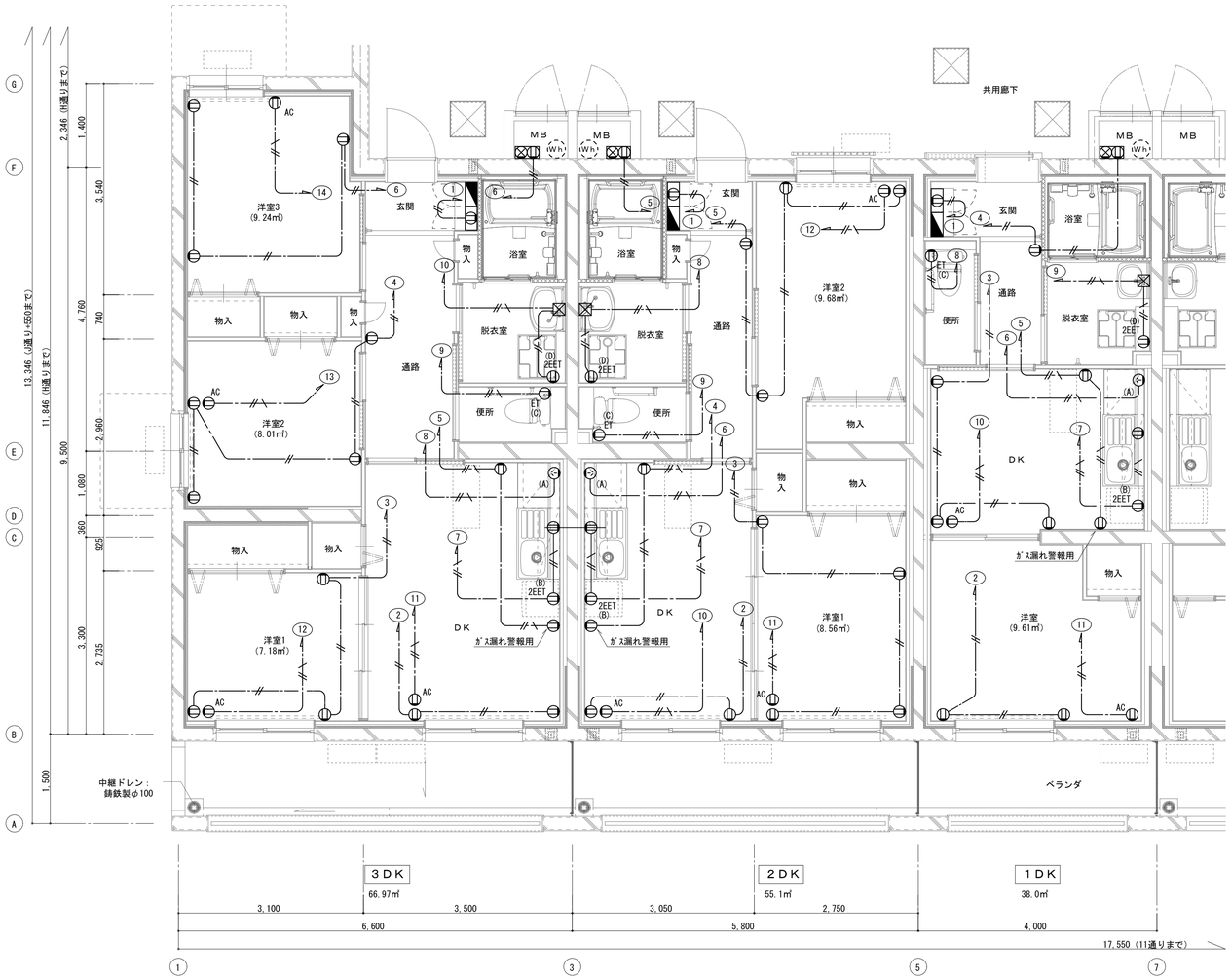
（株）ＡＤＯ建築設計事務所　　１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173　１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



４階・コンセント(非常照明)設備平面図　Ｓ＝１：５０

邑久地区市営住宅（Ａ棟）建替工事	A1 S=1/50 A3 S=1/100		E
コンセント設備　4階平面図			14

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



1階平面詳細図　S＝1/50

〈1～3F住戸内共通〉

凡　例

特記なき記号は下記による。

記　号	名　称	備　考	取付標準高さ
	住宅用分電盤（樹脂製）		CH-300
	ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱﾎﾞｰﾄﾞ弱電盤		CH-300
	埋込ｺﾝｾﾝﾄ 2P15Ax2		FL+300
(A)	埋込ｺﾝｾﾝﾄ 2P30Ax1 抜止型	IHｺﾝﾛ	
2EET (B)	埋込ｺﾝｾﾝﾄ 2P15Ax2 接地極・接地端子付	ﾚﾝｼﾞ・冷蔵庫	FL+1900
ET (C)	埋込ｺﾝｾﾝﾄ 2P15Ax2 接地端子付	ｳｫｼｭﾚｯﾄ	FL+400
2EET (D)	埋込ｺﾝｾﾝﾄ 2P15Ax2 接地極・接地端子付	洗濯・乾燥機	FL+1200
AC	埋込ｺﾝｾﾝﾄ 2P20Ax1 接地極付	ｴｱｺﾝ用	CH-300
	洗面ﾕﾆｯﾄ電源		
	入線機能付防水ｺﾝｾﾝﾄ 2P15Ax1 接地極・接地端子付		
Wh	積算電力量計	電力会社取付	

注　記

1．特記なき配線は下記による。	
——//	EM-EEF2.0-2C
——//—\	EM-EEF2.0-3C(1CE)

2．二重天井内はコロガシとし、床壁内はPF16、2本以上はPF22で保護すること。

３ＤＫタイプ

（本体．BHM.86142F ＋ ﾌﾘｰﾎﾞｯｸｽ．BHRB 680124 同等品）

1φ3W
210/105V
CET14，E5.5

中性線欠相保護付
ELCB3P
60AF/60AT(30mA)

30A

５９４	電灯、HUB盤、換気扇	1	2	ﾀﾞｲﾆﾝｸﾞ ｺﾝｾﾝﾄ	２００
３００	洋室1 ｺﾝｾﾝﾄ	3	4	廊下、洋室2 ｺﾝｾﾝﾄ	４００
２００	ｷｯﾁﾝ・ｶﾞｽ漏れ警報 ｺﾝｾﾝﾄ	5	6	洋室3・ｶﾞｽ給湯器 ｺﾝｾﾝﾄ	４００
７００	ｷｯﾁﾝ ｺﾝｾﾝﾄ	7	8	ｷｯﾁﾝ ｺﾝｾﾝﾄ（ＩＨ）	１０００
１０００	ﾄｲﾚ ｺﾝｾﾝﾄ	9	10	洗濯機・洗面 ｺﾝｾﾝﾄ	６００
１０００	ﾀﾞｲﾆﾝｸﾞ ｴｱｺﾝ	11	12	洋室1 ｴｱｺﾝ	１０００
１０００	洋室2 ｴｱｺﾝ	13	14	洋室3 ｴｱｺﾝ	１０００
（４７９４）					（４６００）

計：９３９４ ＶＡ

∅ ET(EDELB)

２ＤＫタイプ

（本体．BHM.86142F ＋ ﾌﾘｰﾎﾞｯｸｽ．BHRB 680124 同等品）

1φ3W
210/105V
CET14，E5.5

中性線欠相保護付
ELCB3P
60AF/50AT(30mA)

30A

４５６	電灯、HUB盤、換気扇	1	2	ﾀﾞｲﾆﾝｸﾞ ｺﾝｾﾝﾄ	２００
４００	洋室1 ｺﾝｾﾝﾄ	3	4	ｷｯﾁﾝ・ｶﾞｽ漏れ警報 ｺﾝｾﾝﾄ	２００
５００	廊下、洋室2、ｶﾞｽ給湯器 ｺﾝｾﾝﾄ	5	6	ｷｯﾁﾝ ｺﾝｾﾝﾄ（ＩＨ）	１０００
７００	ｷｯﾁﾝ ｺﾝｾﾝﾄ	7	8	洗濯機・洗面 ｺﾝｾﾝﾄ	６００
１０００	ﾄｲﾚ ｺﾝｾﾝﾄ	9	10	ﾀﾞｲﾆﾝｸﾞ ｴｱｺﾝ	１０００
１０００	洋室1 ｴｱｺﾝ	11	12	洋室2 ｴｱｺﾝ	１０００
	予備	13	14	予備	
（４０５６）					（４０００）

計：８０５６ ＶＡ

∅ ET(EDELB)

１ＤＫタイプ

（本体．BHM.86142F ＋ ﾌﾘｰﾎﾞｯｸｽ．BHRB 680124 同等品）

1φ3W
210/105V
CET14，E5.5

中性線欠相保護付
ELCB3P
50AF/50AT(30mA)

30A

４１０	電灯、HUB盤、換気扇	1	2	洋室 ｺﾝｾﾝﾄ	２００
３００	ﾀﾞｲﾆﾝｸﾞ ｺﾝｾﾝﾄ	3	4	廊下、ｶﾞｽ給湯器 ｺﾝｾﾝﾄ	２００
２００	ｷｯﾁﾝ・ｶﾞｽ漏れ警報 ｺﾝｾﾝﾄ	5	6	ｷｯﾁﾝ ｺﾝｾﾝﾄ（ＩＨ）	１０００
７００	ｷｯﾁﾝ ｺﾝｾﾝﾄ	7	8	ﾄｲﾚ ｺﾝｾﾝﾄ	１０００
６００	洗濯機・洗面 ｺﾝｾﾝﾄ	9	10	ﾀﾞｲﾆﾝｸﾞ ｴｱｺﾝ	１０００
１０００	洋室 ｴｱｺﾝ	11	12	予備	
	予備	13	14	予備	
（３２１０）					（３４００）

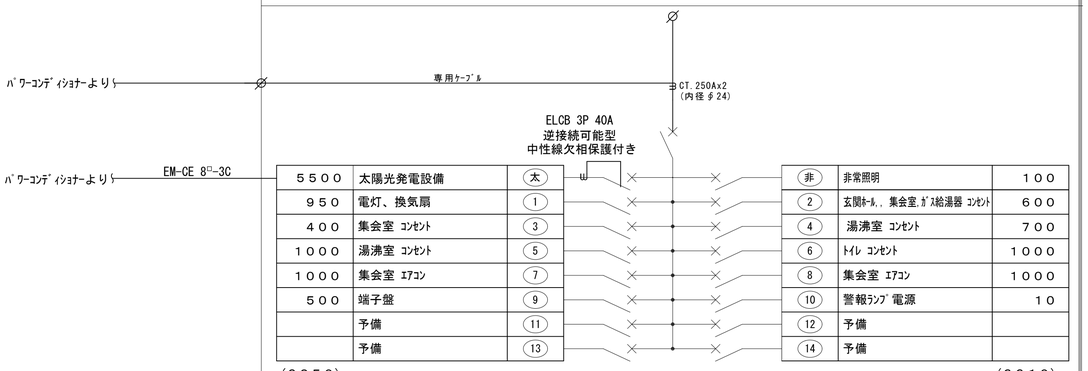
計：６６１０ ＶＡ

∅ ET(EDELB)

邑久地区市営住宅（Ａ棟）建替工事	A1 S=1/50 A3 S=1/100	E
各住戸タイプ　コンセント設備平面図		15

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

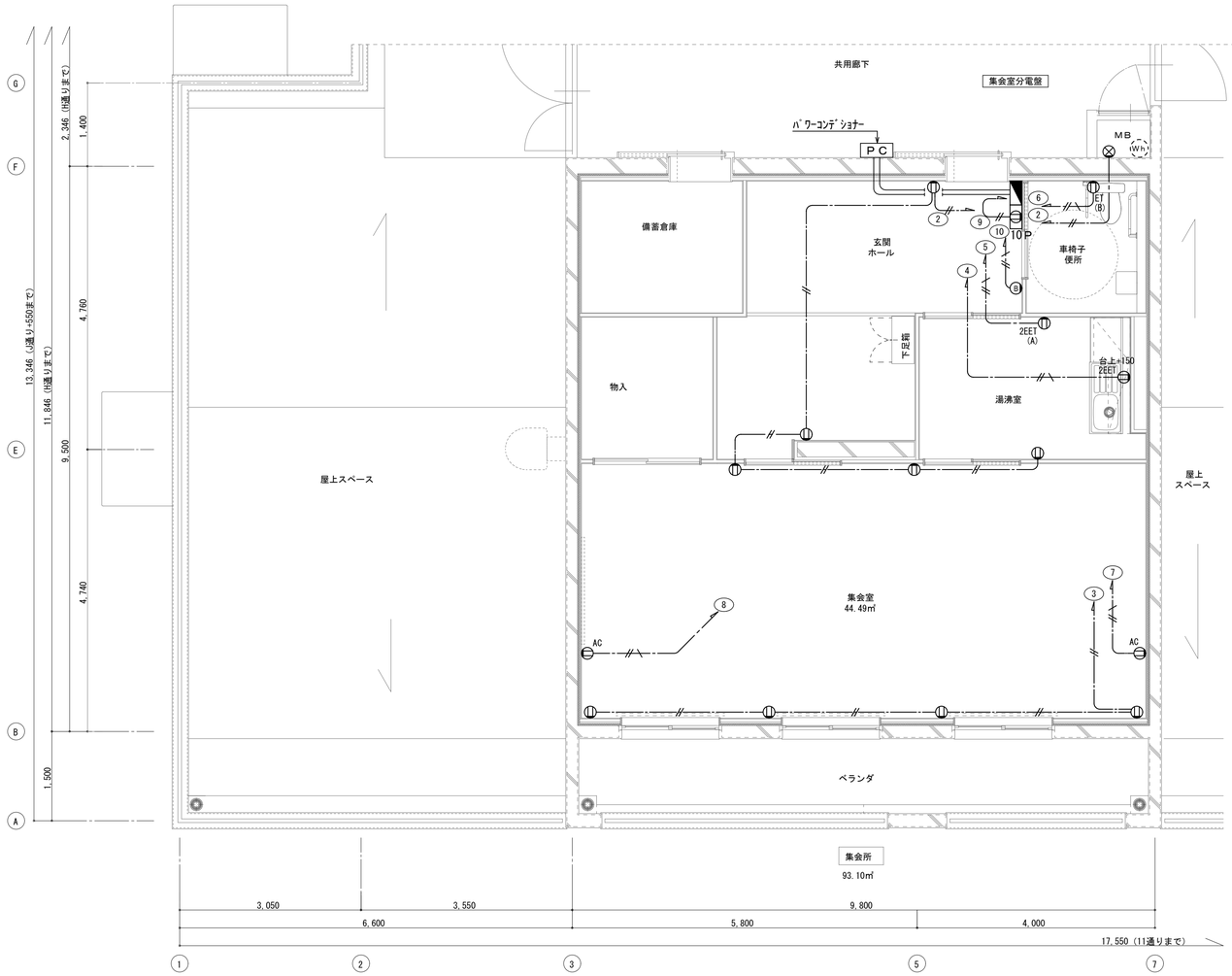
集会場　電灯盤（太陽光対応分電盤）



５５００	太陽光発電設備	太	非	非常照明	１００
９５０	電灯、換気扇	1	2	玄関ﾎｰﾙ，集会室,ｶﾞｽ給湯器 ｺﾝｾﾝﾄ	６００
４００	集会室 ｺﾝｾﾝﾄ	3	4	湯沸室 ｺﾝｾﾝﾄ	７００
１０００	湯沸室 ｺﾝｾﾝﾄ	5	6	ﾄｲﾚ ｺﾝｾﾝﾄ	１０００
１０００	集会室 ｴｱｺﾝ	7	8	集会室 ｴｱｺﾝ	１０００
５００	端子盤	9	10	警報ﾗﾝﾌﾟ電源	１０
	予備	11	12	予備	
	予備	13	14	予備	
（３８５０）					（３３１０）

計：７１６０ ＶＡ

ET (EDELB)



4階平面詳細図　　S＝1/50

凡　例

特記なき記号は下記による。

記　号	名　称	備　考	取付標準高さ
	ｶﾞｰﾄﾞ灯用ｿｰﾗｰﾀｲﾏｰ付		FL+2000
	弱電端子盤（ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱﾎﾞｰﾄ組込）		FL+2000
	埋込ｺﾝｾﾝﾄ 2P15Ax2		FL+300
2EET (A)	埋込ｺﾝｾﾝﾄ 2P15Ax2 接地極・接地端子付	ﾚﾝｼﾞ・冷蔵庫	FL+1900
ET (B)	埋込ｺﾝｾﾝﾄ 2P15Ax2 接地端子付	ｳｫｼｭﾚｯﾄ	FL+400
AC	埋込ｺﾝｾﾝﾄ 2P20Ax1 接地極付	ｴｱｺﾝ用	CH-300
	電気温水器用入線ｶﾊﾞｰ		
(Wh)	積算電力量計	電力会社取付	

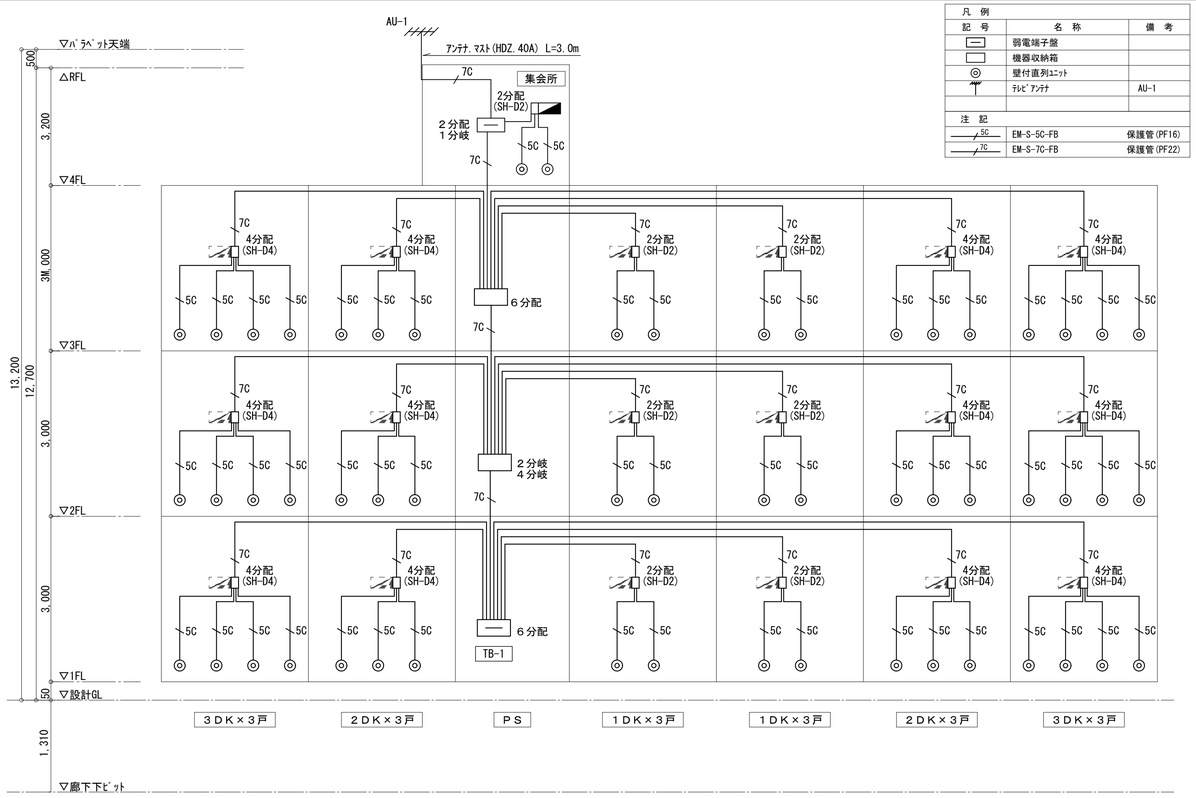
注　記

1．特記なき配線は下記による。	
——//——	EM-EEF2.0-2C
——//-\——	EM-EEF2.0-3C(1CE)
2．二重天井内はコロガシとし、床壁内はPF16、2本以上はPF22で保護すること。	

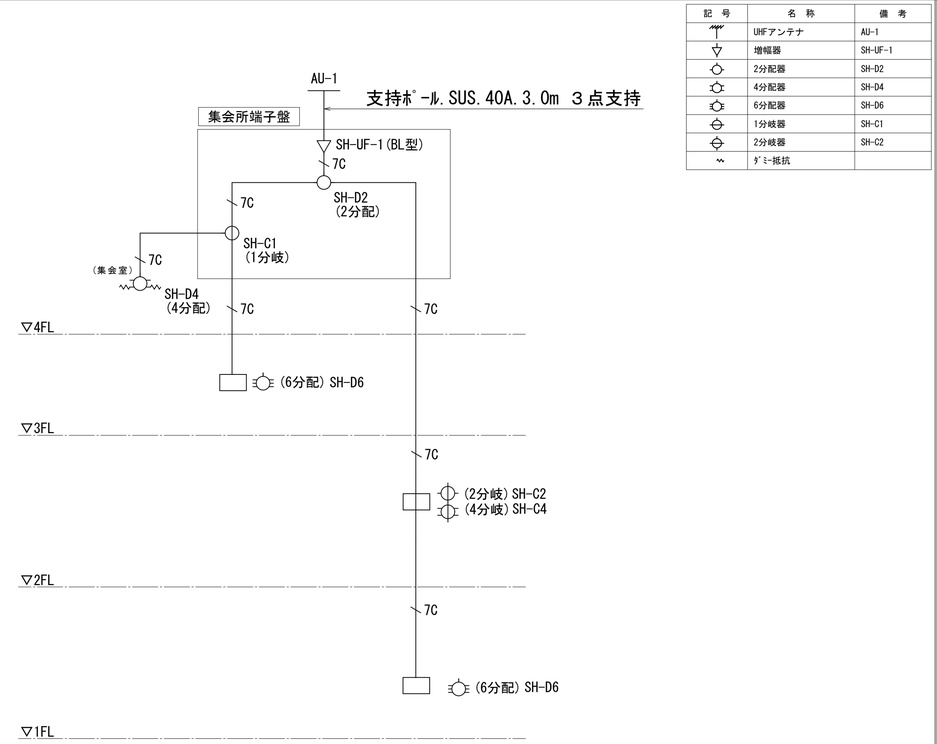
邑久地区市営住宅（Ａ棟）建替工事	A1　S=1/50 A3　S=1/100	E
コンセント設備　４階平面詳細図		16

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

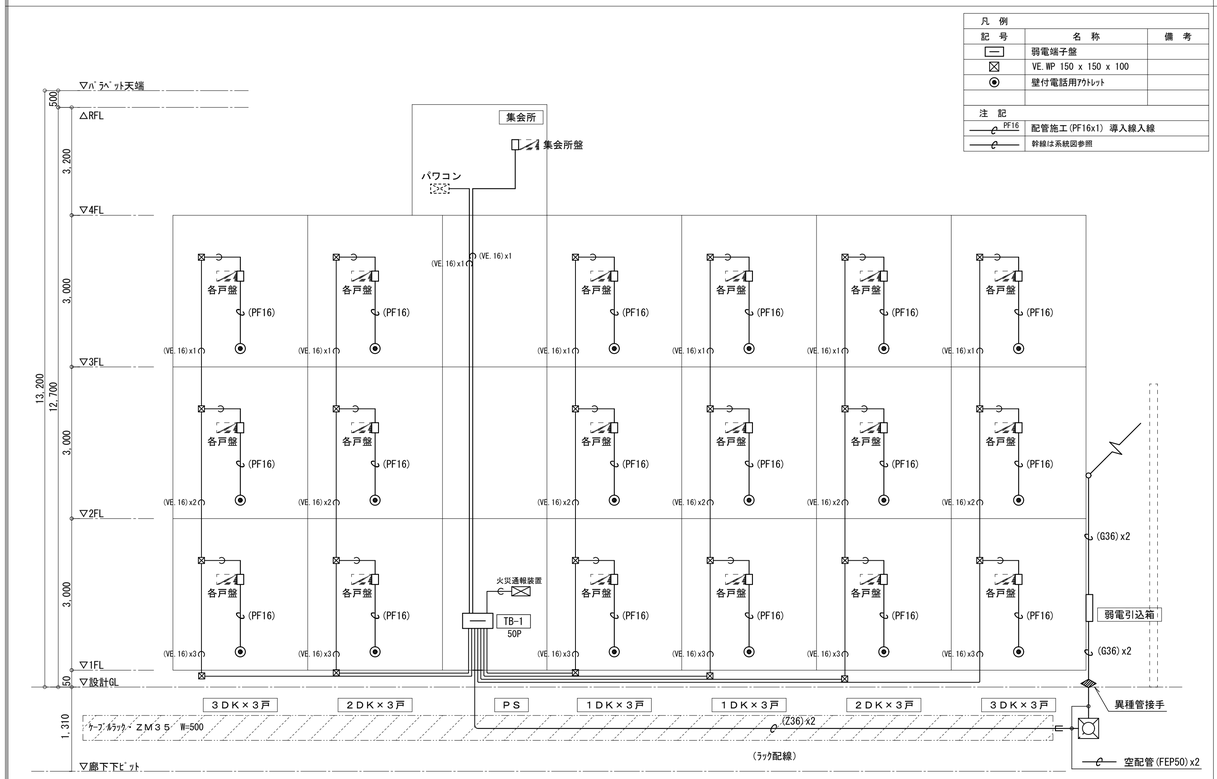
テレビ共同受信.設備系統図



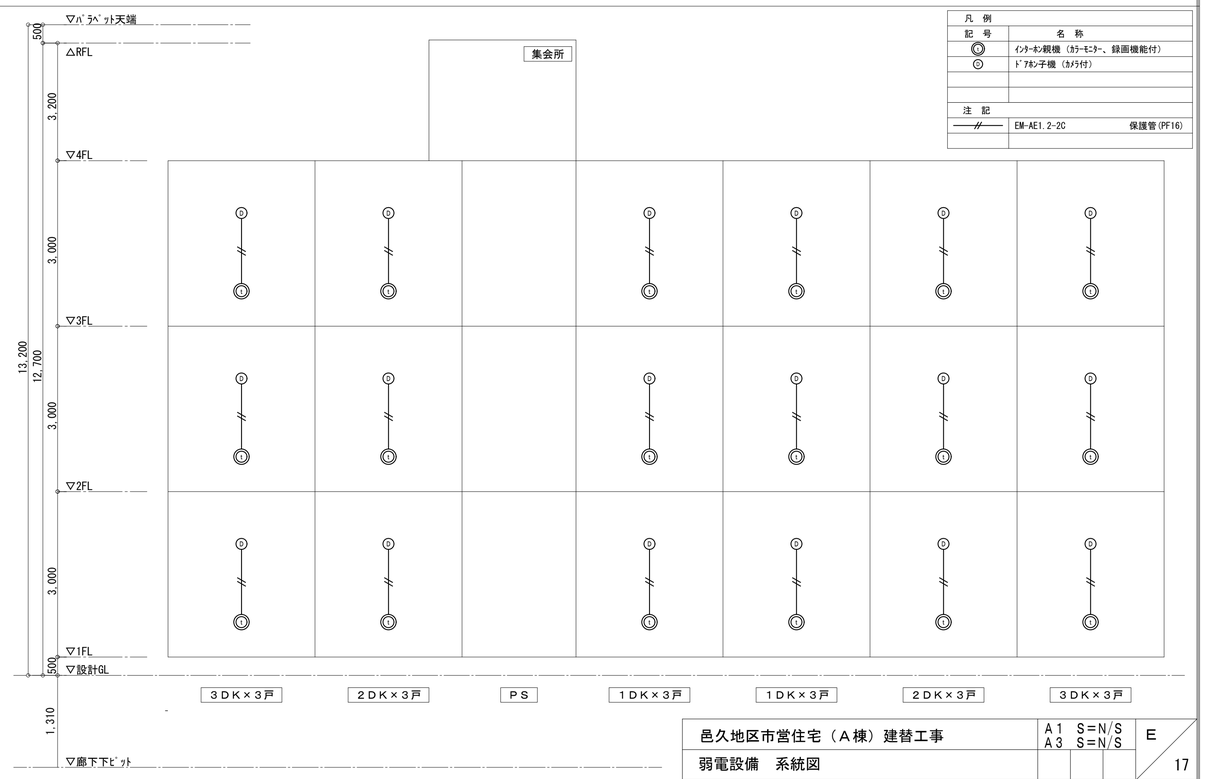
テレビ共同受信設備.幹線結線図



電話設備系統図



インターホン設備系統図



邑久地区市営住宅（Ａ棟）建替工事

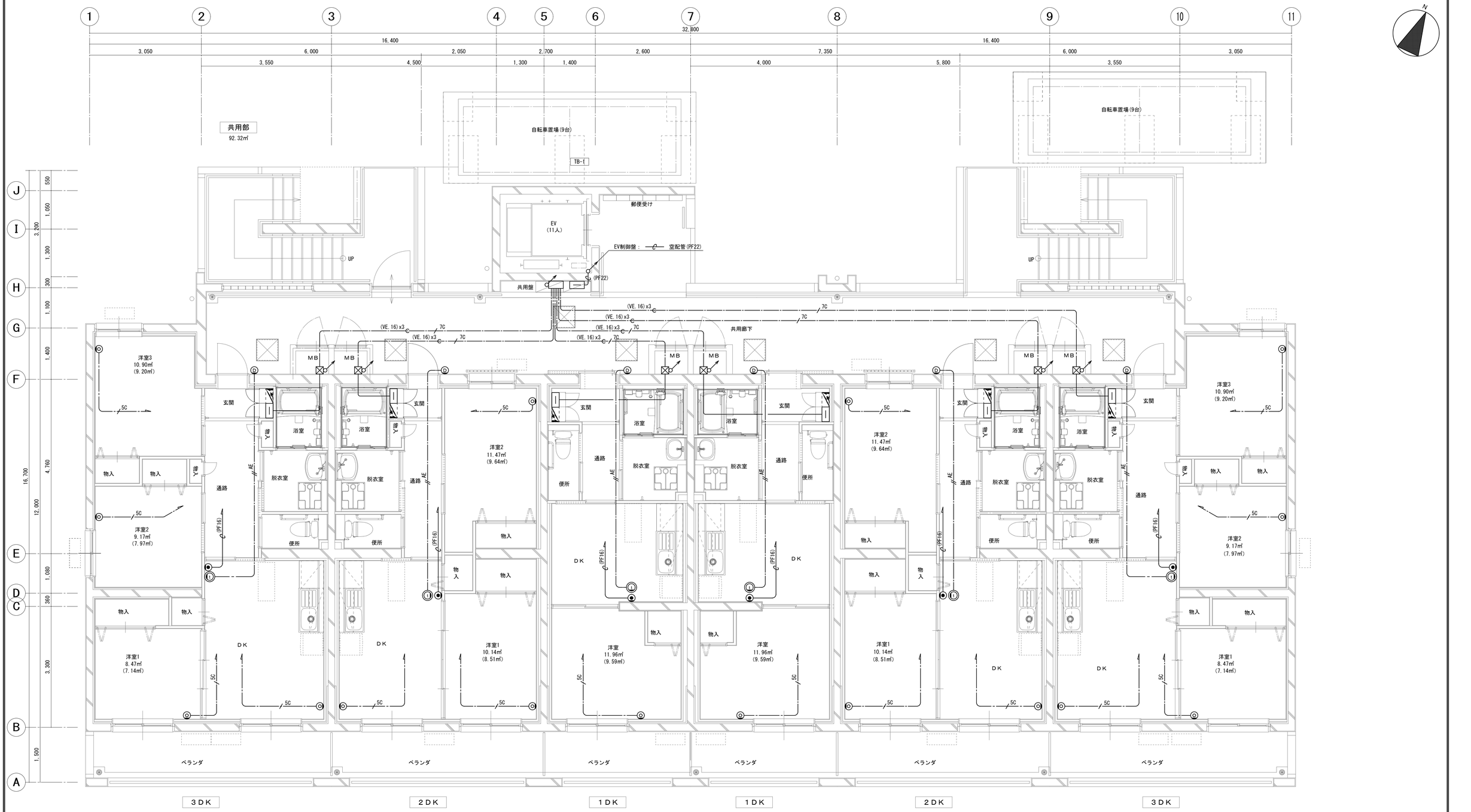
弱電設備　系統図

A1 S=N/S
A3 S=N/S

E

17

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



凡 例

特記なき記号は下記による。

記 号	名 称	備 考	取付標準高さ	記 号	名 称	備 考	取付標準高さ
	住宅用分電盤（樹脂製）		CH-300	①	ｲﾝﾀｰﾎﾝ親機（ｶﾗｰﾓﾆﾀｰ、録画機能付）		
	ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱﾎﾞｰﾄﾞ弱電盤		CH-300	D	ﾄﾞｱﾎﾝ子機（ｶﾒﾗ付）		
				N	ﾄｲﾚ呼出押釦（紐付）		FL+900
	機器収納箱			B	呼出ﾌﾞｻﾞｰ（ﾗﾝﾌﾟ付）		FL+1800
	ﾃﾚﾋﾞｱﾝﾃﾅ	AU-1					
	ﾃﾚﾋﾞ端子	SH-7	FL+300		立上げ・引下げ		
	ﾌﾞﾗﾝｸﾌﾟﾚｰﾄ						

注 記

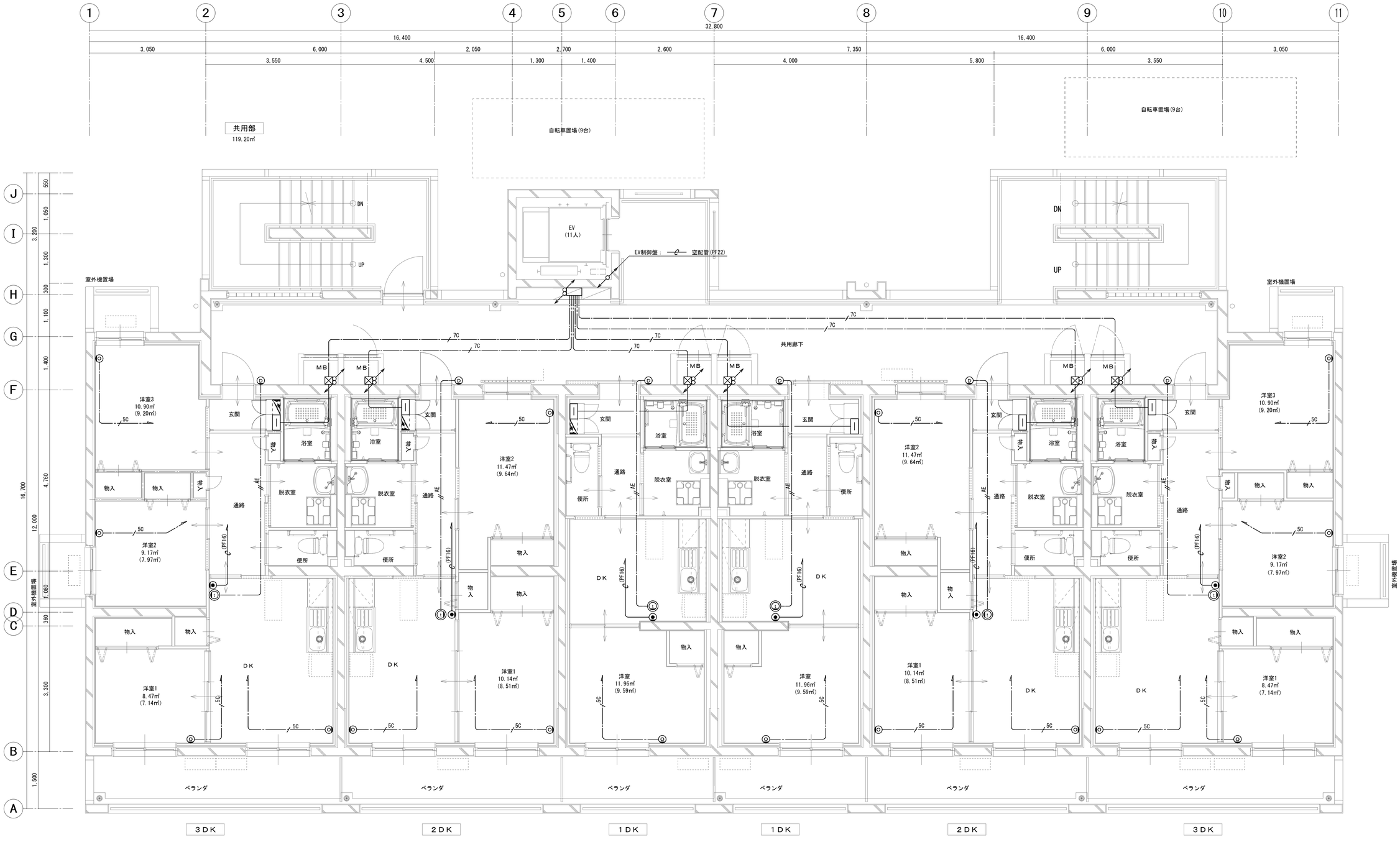
1．特記なき配線は下記による。

(PF16)	配管施工(PF16x1) 導入線入線
5C	EM-S-5C-FB
7C	EM-S-7C-FB
AE	EM-AE1.2-2C

2．二重天井内はコロガシとし、床壁内はPF管保護とすること。

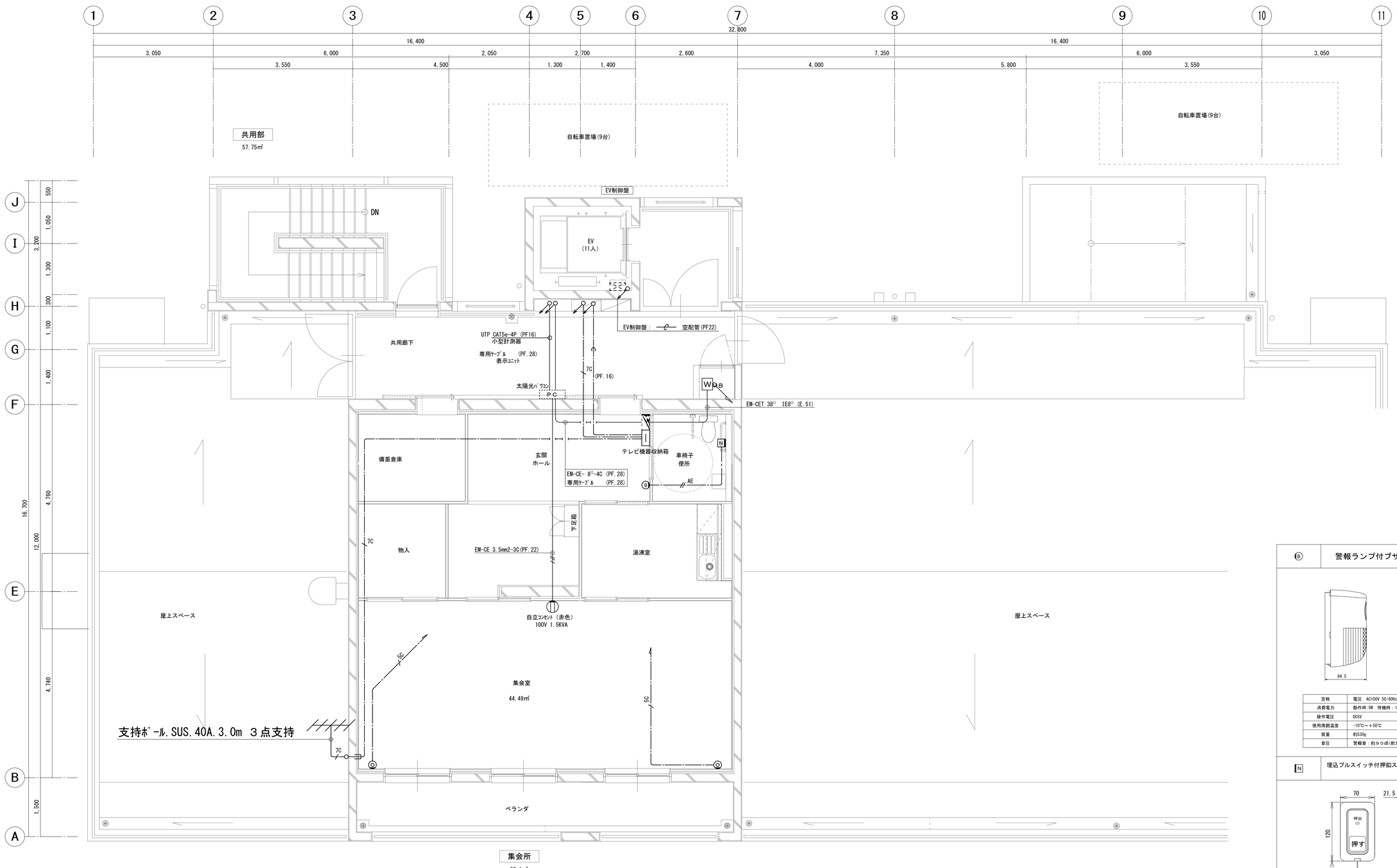
邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/50 A3 S=1/100
弱電設備 1階平面図	E 18

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号 TEL086-244-0173
１級建築士事務所 岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録 第１１８２３６号 大石雅弘

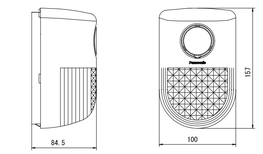


邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/50 A3 S=1/100		E
2．3．階　弱電設備平面図			19

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

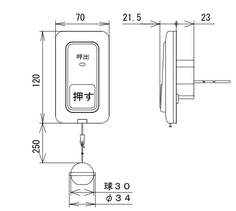


Ⓑ 警報ランプ付ブザー(AC100V) EA5501 同等品



定格	電圧 AC100V 50/60Hz
消費電力	動作時：5W 待機時：1W
操作電圧	DC5V
使用周囲温度	-10℃～+50℃
質量	約530g
音圧	警報音：約９０dB(前方１mにて)報知音：約６５dB(前方１mにて)

N 埋込プルスイッチ付押釦スイッチ（ＯＮ保持・微少電流対応形） NBR-7HWA 同等品



定格	12V 0.1A (0.4VA以下)
結線方法	リード線式
備考	ＪＩＳ防沫型

邑久地区市営住宅（Ａ棟）建替工事	A1 S=1/ 50 A3 S=1/100	E
４階 弱電設備平面図・機器リスト		20

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号 TEL086-244-0173
１級建築士事務所 岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録 第１１８２３６号 大石雅弘

凡例		
記号	名称	備考
	受信機	仕様注記参照
	機器収容箱	Ｐ型１級、防雨型　Ⓟ Ⓑ 収容
Ⓟ	Ｐ型発信機	１級、リング型表示灯付
Ⓑ	火災警報ベル	ＤＣ２４Ｖ，１０ｍＡ，ダイオード付
WC	差動式スポット型感知器	２種，防水型，自動試験機能付
C	差動式スポット型感知器	２種，自動試験機能付
C	定温式スポット型感知器	１種，７５℃，防水型，自動試験機能付
°C	定温式スポット型感知器	特種，６５℃，自動試験機能付
S C	光電式スポット型煙感知器	２種，非蓄積型，自動試験機能付
S C	光電式スポット型煙感知器	２種，非蓄積型，点検ＢＯＸ，自動試験機能付
Ω	終端抵抗	１０ＫΩ
No	警戒区域番号	火災表示用、ＥＬＶ（エレベータ）
—-—	警戒区域線	
———	配管配線	いんぺい
	配管配線立上げ引下げ	
⊠	プルボックス	PB.VE.WP 150 x 150 x 100
	火災通報装置	専用電話機附属
—	端子盤	

［注　記］

１．受信機仕様
　１）Ｐ型１級１０回線、壁掛型、窓式、主音響（音声警報）・予備電源内蔵
　　蓄積式、自動断線警報機能付
　２）自動試験機能付
　３）２．４ＬＣＤ表示
　４）オプションメッセージ表示機能付
　５）感知器情報トレンド表示機能付（自動試験機能付き光電式・定温式感知器のみ）
　６）感知器汚れ量表示機能付（自動試験機能付き光電式感知器のみ）
　７）操作無効機能付
　８）カラーユニバーサルデザイン対応
　９）履歴リスト機能（全履歴２０，０００件、自動試験履歴３０，０００件）
１０）表示内訳

　・火災表示　８Ｌ
　・予備　２Ｌ
　＝１０Ｌ

　６）諸表示部（３Ｌ標準装備）

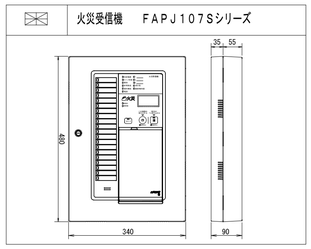
２．感知器はすべて確認灯付とする。

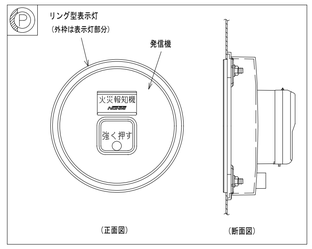
３．地区ベル鳴動方式は一斉鳴動方式とする。

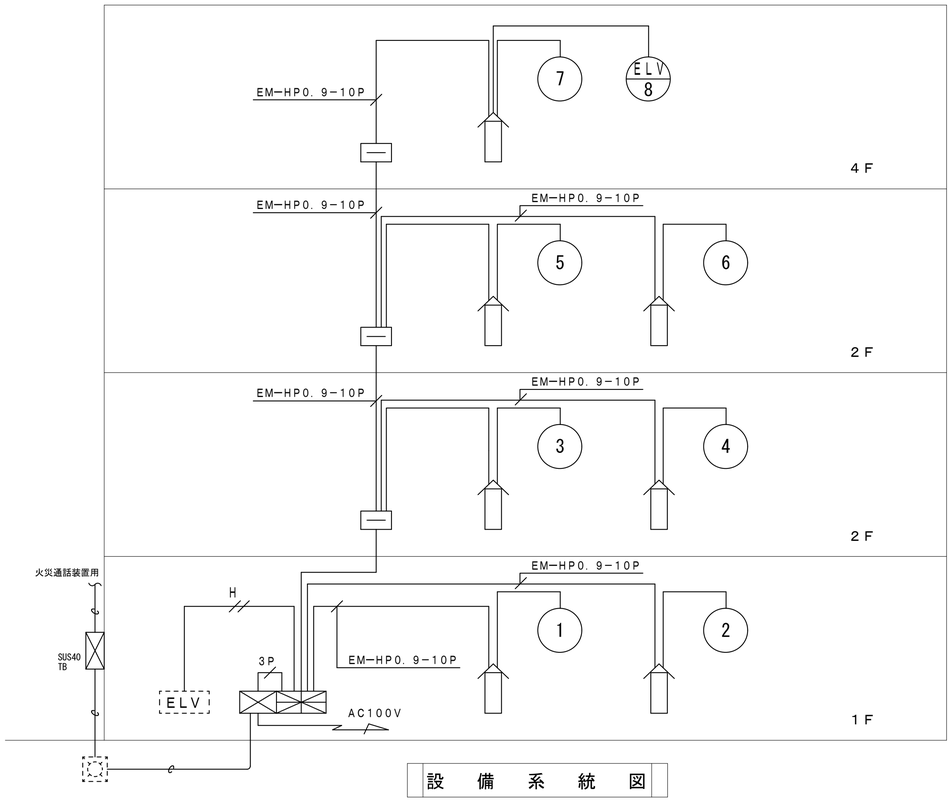
４．特記なき配管配線は下記とする。（幹線は系統図参照）

　EM−ＡＥ０．９−４Ｃ　（保護管　PF.16）
　H　EM−ＨＰ０．９−２Ｃ　（保護管　PF.16）
　3Ｐ　EM−ＨＰ０．９−３Ｐ　（保護管　PF.16）
　EM−ＨＰ０．９−１０Ｐ　（保護管　PF.22）

ＥＭ−ＡＥ；警報用エコマテリアルケーブル
ＥＭ−ＨＰ；耐熱エコマテリアルケーブル



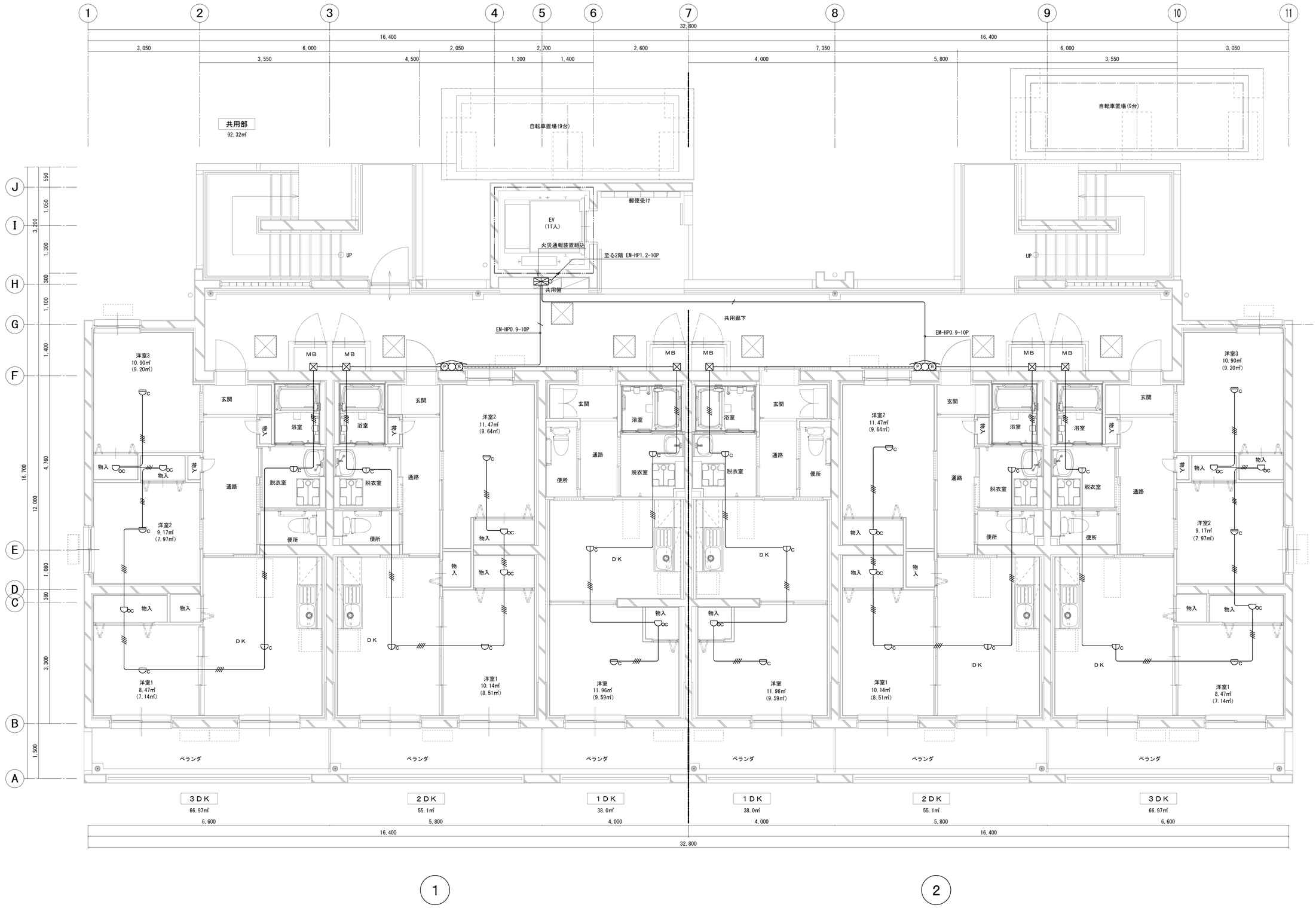




設　備　系　統　図

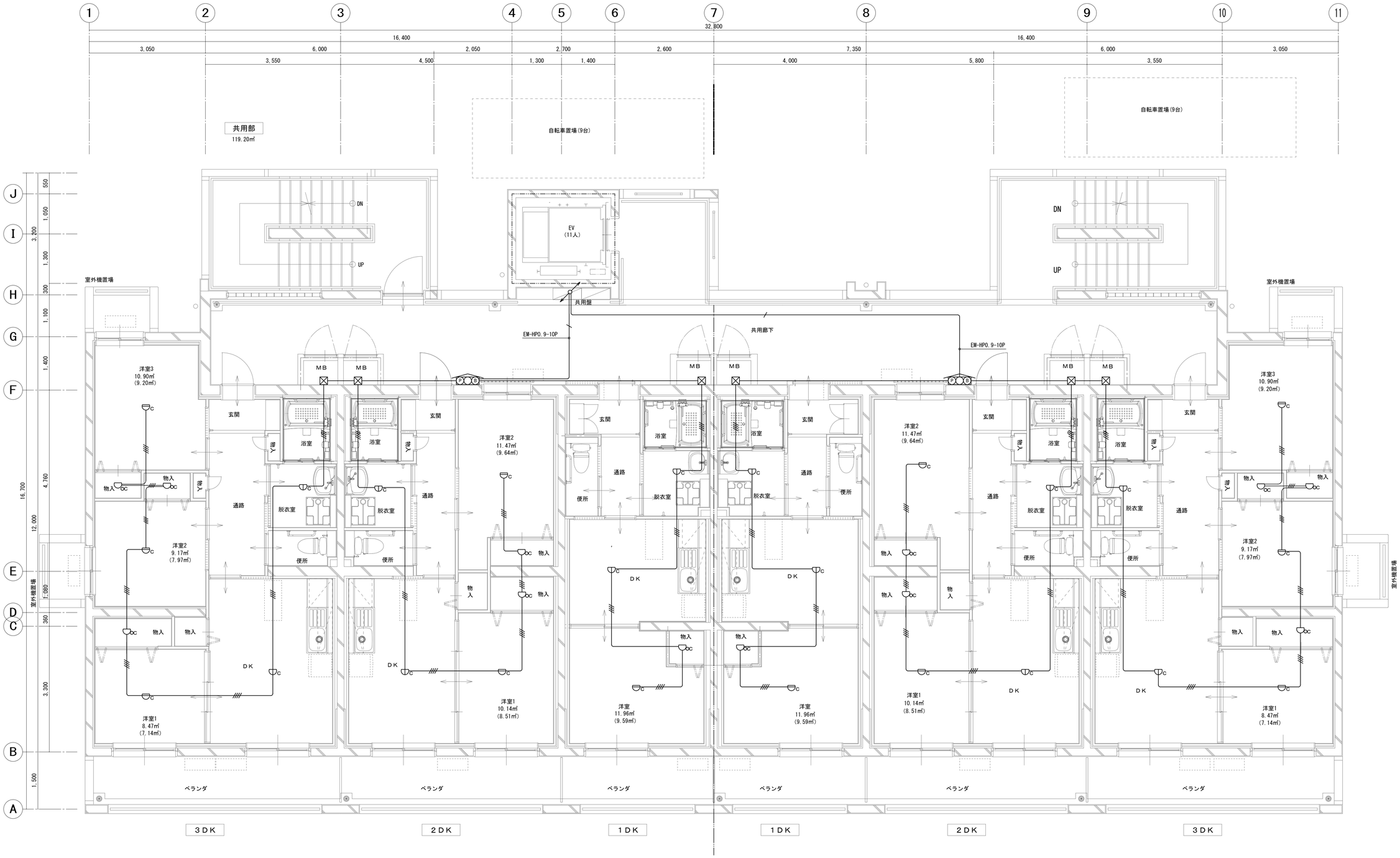
邑久地区市営住宅（Ａ棟）建替工事	A1　S=N/S A3　S=N/S		E
自動火災報知設備　凡例・注記・系統図			21

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



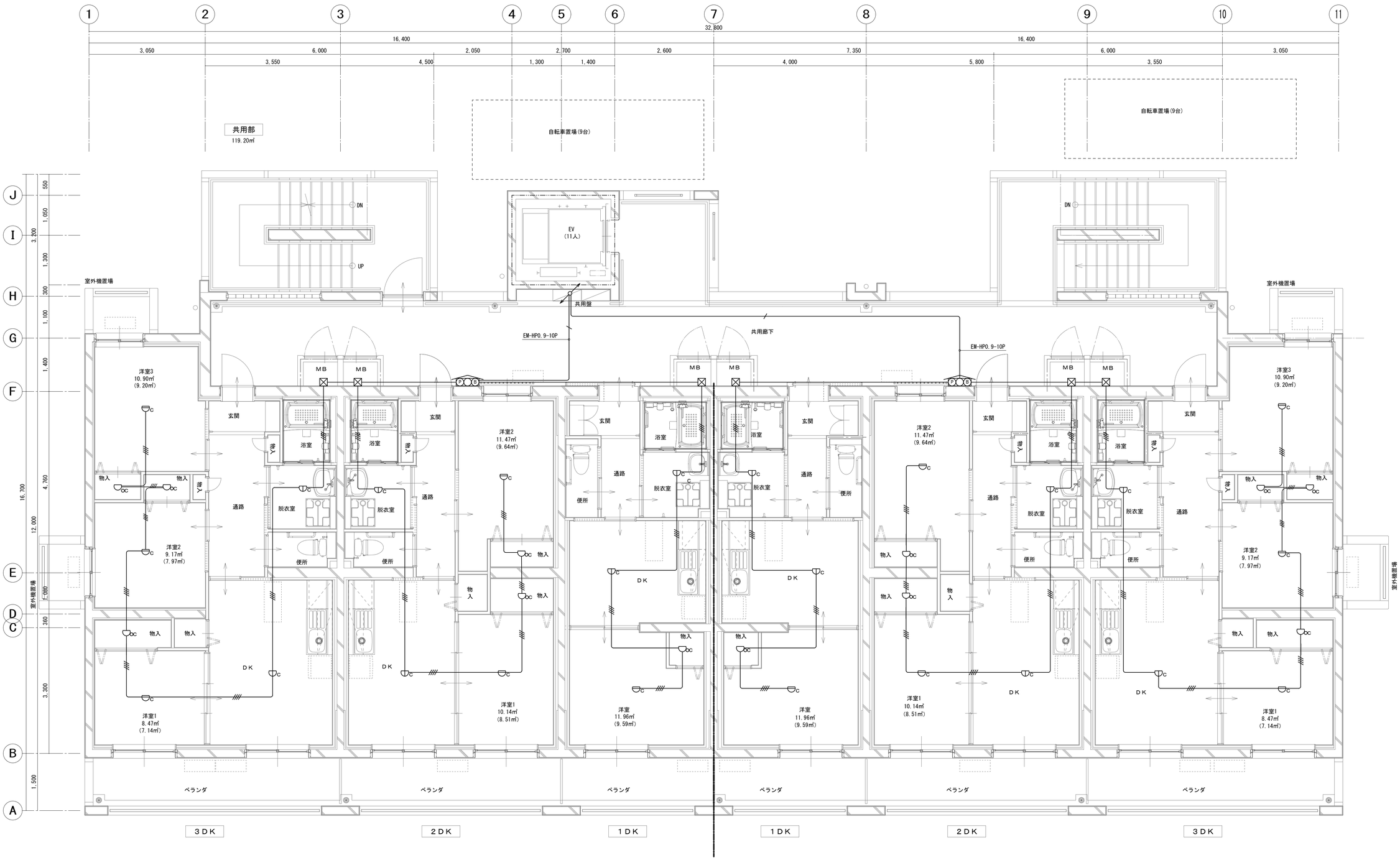
邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/50 A3 S=1/100			E
1階 自動火災報知設備平面図				22

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号 TEL086-244-0173
１級建築士事務所 岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録 第１１８２３６号 大石雅弘



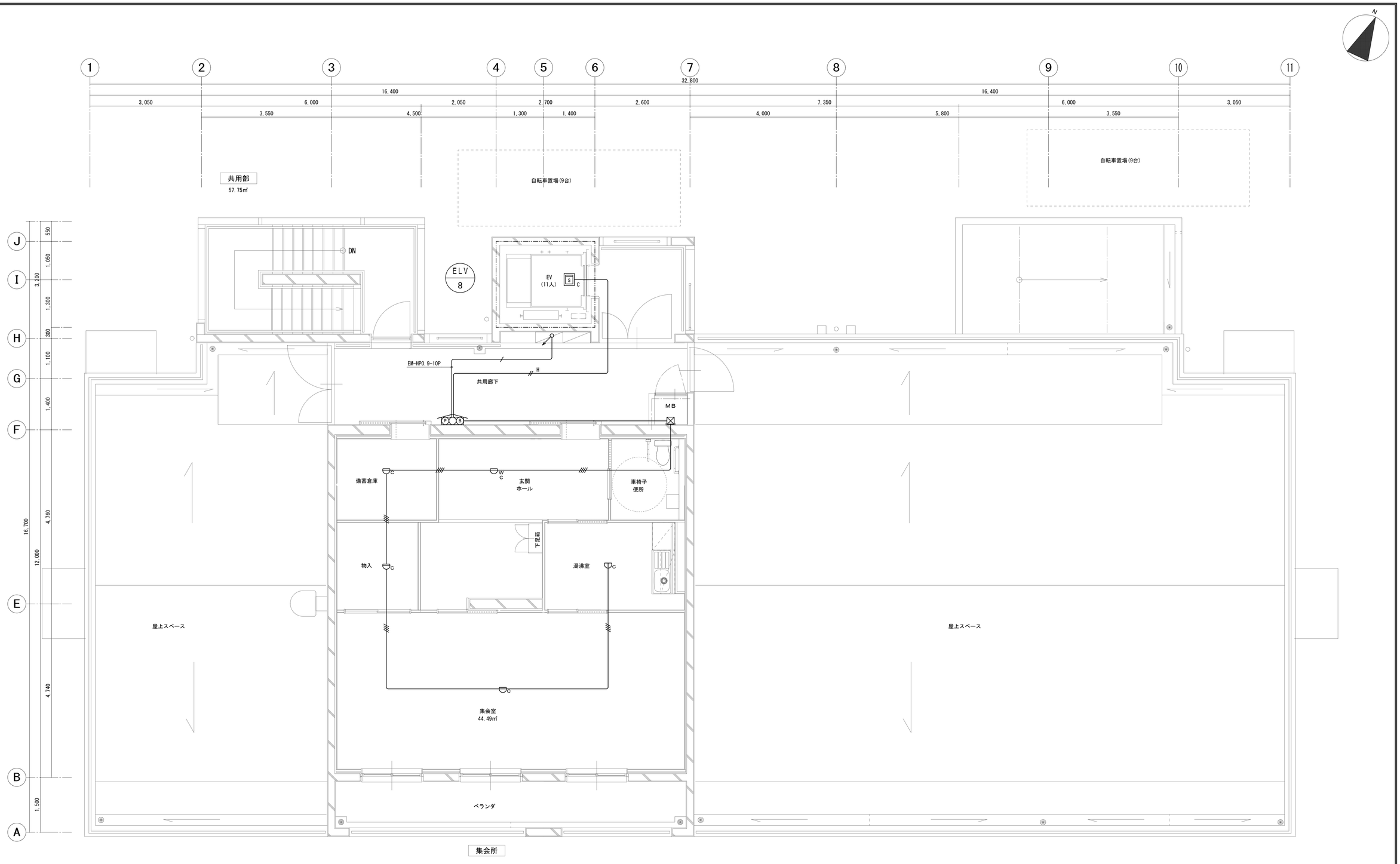
邑久地区市営住宅（Ａ棟）建替工事	A1 S=1/50 A3 S=1/100				E
２階　自動火災報知設備平面図					23

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/50 A3 S=1/100	E
3階 自動火災報知設備平面図		24

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号 TEL086-244-0173
１級建築士事務所 岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録 第１１８２３６号 大石雅弘



7

邑久地区市営住宅（Ａ棟）建替工事	A1 S=1/50 A3 S=1/100		E
４階　自動火災報知設備平面図			25

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

太陽光発電設備設置工事 特記仕様書

1. 一般事項

1.1 適用範囲

本仕様書は、市営住宅（邑久地区）建替 Ａ棟新築工事における、
太陽光発電設備工事について適用します。

1.2 適用規格･法規等

本工事の設計・施工に当たっては、下記の法令・規格等に基づくものとします。

(1) 労働基準法
(2) 労働安全衛生法
(3) 建築基準法
(4) 電気事業法
(5) 電気工事士法
(6) 消防関係法規
(7) 電気設備技術基準
(8) 電力品質確保に係る
系統連系技術要件ガイドライン
(9) 日本産業規格（JIS）
(10) 日本電機工業会標準規格（JEM）
(11) 日本電気規格調査会標準規格（JEC）
(12) 日本電線工業会規格（JCS）
(13) 内線規定
(14) 系統連系規定

1.3 保証条件

検収後１年以内に設計もしくは製作不良、その他工事者の責任に帰すべき
不都合が発生した場合は、速やかにこれを無償で修理、または、良品と交換
するものとします。
なお、上記保証期間を経過した後に、機器製作不良等工事者の責に帰すると
判断される原因により事故が生じた場合、その修理・取替に要する費用に
ついては、協議の上決定するものとします。

2. システム概要

2.1 設備の概要

名称　：　市営住宅（邑久地区）建替 Ａ棟太陽光発電設備
連系する電力系統　：　低圧一般配電線（単相３線、１０１／２０１Ｖ、５０／６０Ｈｚ）
発電設備の種類　：　太陽電池発電所
設備容量　：　太陽電池容量　６．６４kW
ﾊﾟﾜｰｺﾝﾃﾞｨｼｮﾅ容量　５．５kW

2.2 システム構成

本システムは、太陽電池モジュール、太陽電池用架台、パワーコンディショナ（接
続箱機能、連系保護装置含む）より構成します。
(1) 太陽電池は太陽からの日射を受けると直流電力を発生し、これをパワーコンディショ
ナ（接続箱機能）で集電します。
(2) パワーコンディショナは、この直流電力を並列する商用電源の電圧、周波数、位相
と同期した交流電力に変換し、対象とする負荷へ電力を供給します。
(3) 連系保護装置等により、パワーコンディショナ及び系統の異常時には連系を
遮断します。

2.3 運転方式

パワーコンディショナは、下記の通り全自動運転を行うものとします。
(1) 太陽電池の動作特性を監視し、設定値に達するとパワーコンディショナ
を自動的に起動します。
(2) 太陽電池の出力を監視し、設定値以下になると自動的に運転を停止します。
(3) 太陽光発電システムによる負荷への電力供給は、原則として日中発電時のみ
を対象とします。日中発電時に日射不足により給電不能となる場合は自動的
に運転を停止させます。
(4) 太陽電池出力監視による発電装置自動停止後の復帰は時限を採って行い、
不要な高頻度のポンピング（ON／OFF動作）を避けます。
(5) 交流系統に事故が発生した場合やパワーコンディショナ故障時は、速やか
に商用系統との連系接続を解列し確実に停止します。
(6) 商用系統の事故の場合は、商用系統が復旧すれば設定時間後、自動的に
再投入して運転を再開します。

2.4 系統連系保護方式

本システムにおける連系保護装置は、電気設備技術基準に沿って設置するものとします。
電気設備技術基準の解釈第227条の規定による保護継電器の種類・設置相数および検出
場所を表－１に示します。
（低圧連系）

表－１

保護継電器の種類		設置相数	検出場所
① 過電圧継電器	(OVR)	２相	パワーコンディショナ内
② 不足電圧継電器	(UVR)	２相	
③ 周波数上昇継電器	(OFR)	１相	
④ 周波数低下継電器	(UFR)	1相	
⑤ 単独運転検出機能	（受動・能動）	－	

2.5 納入機器範囲

納入機器は表－３に示す通りとします。

表－３

No.	機　器　名	仕　様	数量	備　考
1.	太陽電池モジュール	結晶系太陽電池	16枚	
2.	太陽電池架台		1式	
3.	パワーコンディショナ	５．５kW	1台	
4.	表示ユニット		1式	
5.	計測監視装置		1式	

3. 機器仕様

3.1 太陽電池

種類　：　結晶系太陽電池
容量　：　6.64kW
外形寸法　：　図面参照
出力特性　：　表－4参照

表－4 特性表

区分 / 項目	モジュール出力
最大出力	415Wmin-3%
最大出力動作電圧	31.27 V
最大出力動作電流	13.29 A
開放電圧	37.45 V
短絡電流	14.13 A

条件　：日射強度 AM1.5　1kW/m²
：素子温度 25℃

太陽電池ﾓｼﾞｭｰﾙを6直列1並列、5直列×2並列にて使用するものとします。

3.2 架台

構造　：陸屋根用
材質　：アルミ製
強度　：関係法規に基づき必要な強度を有するものとします。
※耐風圧強度計算を提出し監督員の承諾を得ること。

3.3 パワーコンディショナ

種類　：　系統連系パワーコンディショナ
定格出力　：　５．５kW
運転入力電圧範囲　：　ＤＣ３０～４５０Ｖ
出力電圧　：　単相３線式　ＡＣ２０２Ｖ　５０／６０Ｈｚ
電力変換効率　：　９６．０％（定格出力時）
出力基本波力率　：　０．９５
高調波電流含有率　：　総合５％以下　各次３％以下（定格出力時）
制御方式　：　太陽電池最大電力追尾制御
運転／停止　：　「２．３　運転方式」による。
保護機能　：　「２．４　系統連系保護機能」による。
計測機能　：　表示項目
・交流電力　・交流電力量
ストリング数　：　３回路
自立運転機能　：　有り　：　単相３線式　１０１Ｖ　５．５kW
外形寸法　：　別途図面参照
周囲条件　：　周囲温度　－２０℃～４５℃
直射日光の当たらない場所
強度　：　取り付けは機器メーカーの指定する方法で確実に行うこと。

3.4 表示ユニット

種類　：パワコン専用
構造　：壁掛型

3.5 計測監視装置

種類　：小型計測装置
構造　：壁掛型
電源　：単相　100V

試運転・完成検査項目は、下表に示す通りとします。

4. 試運転・完成検査項目

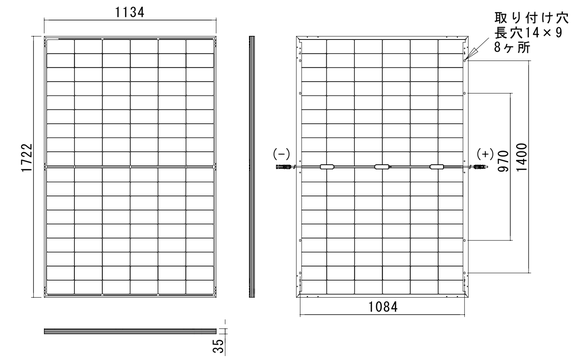
表－5

	太陽電池	ﾊﾟﾜｰｺﾝﾃﾞｨｼｮﾅ	配線ｹｰﾌﾞﾙ	
外観・構造試験	○	○	○	
絶縁抵抗試験	○注	○注	○	
絶縁耐圧試験	○注	○注		
保護装置特性		○注		
動作確認試験		○		

注）　現地試験は省略し、工場試験成績書にて承認して頂くものとします。

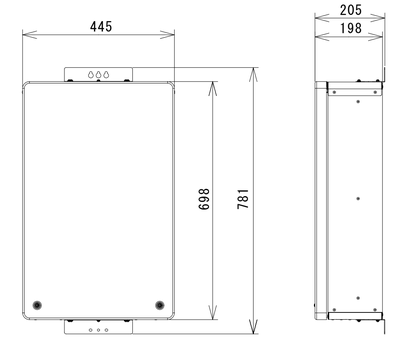
【機器姿図】

太陽電池モジュール



容　量　：　４１５W
最大出力動作電圧　：　３１．２７V
最大出力動作電流　：　１３．２９A
質　量　：　２５．４kg/枚

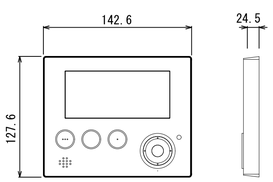
パワーコンディショナ



【周囲必要スペース】
上部300以上、下部500以上、正面700以上
左右300以上

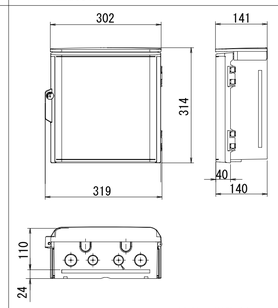
出　力　：5.5kW
台　数　：1台
質　量　：30kg

表示ユニット



サイズ　：2.7ｲﾝﾁﾓﾉｸﾛ
質　量　：約13.5kg

計測監視装置



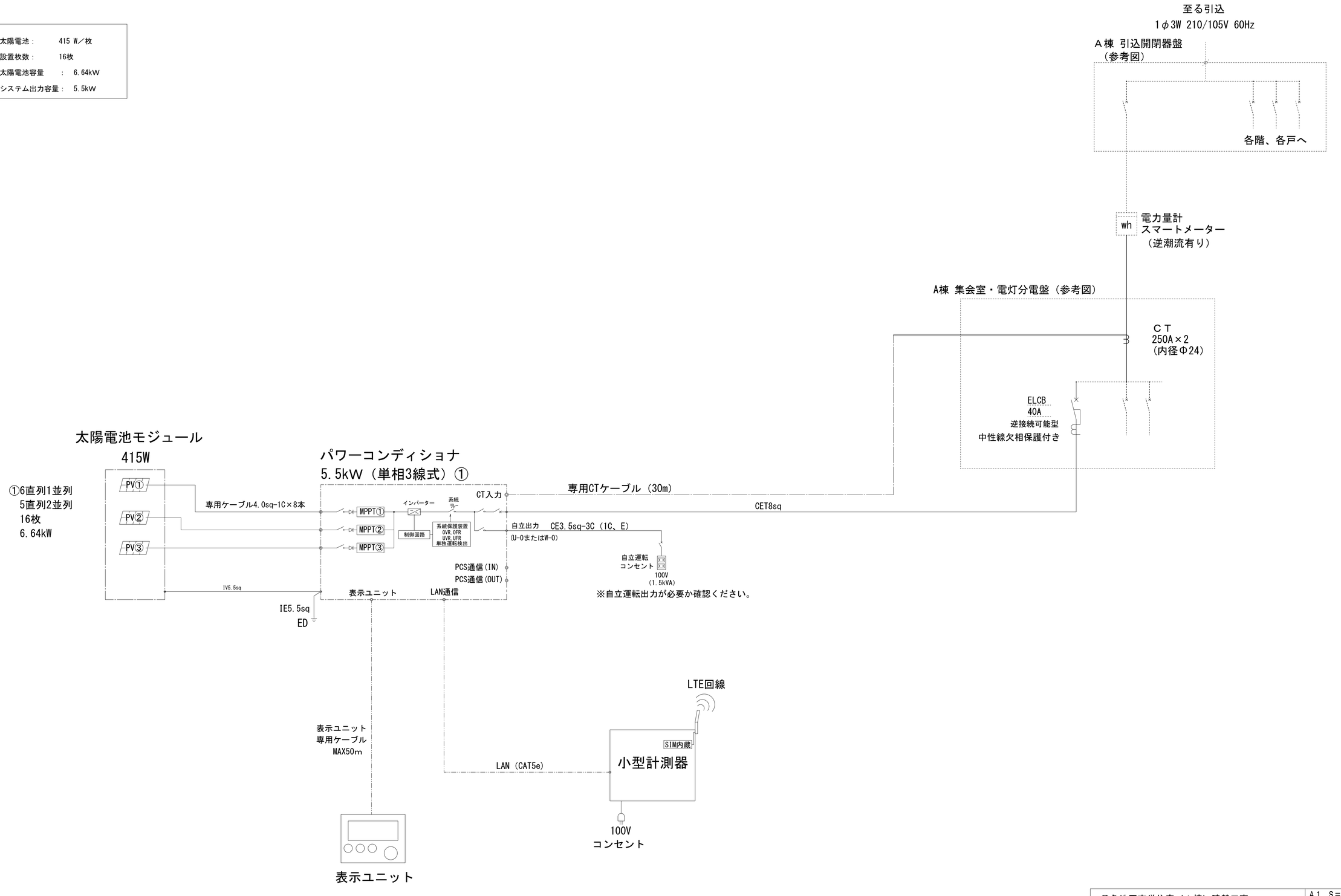
材質：樹脂製
※通信ＳＩＭ内蔵

邑久地区市営住宅（Ａ棟）建替工事	A1 S=N/S A3 S=N/S			E
太陽光発電設備　特記仕様書・機器姿図				26

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

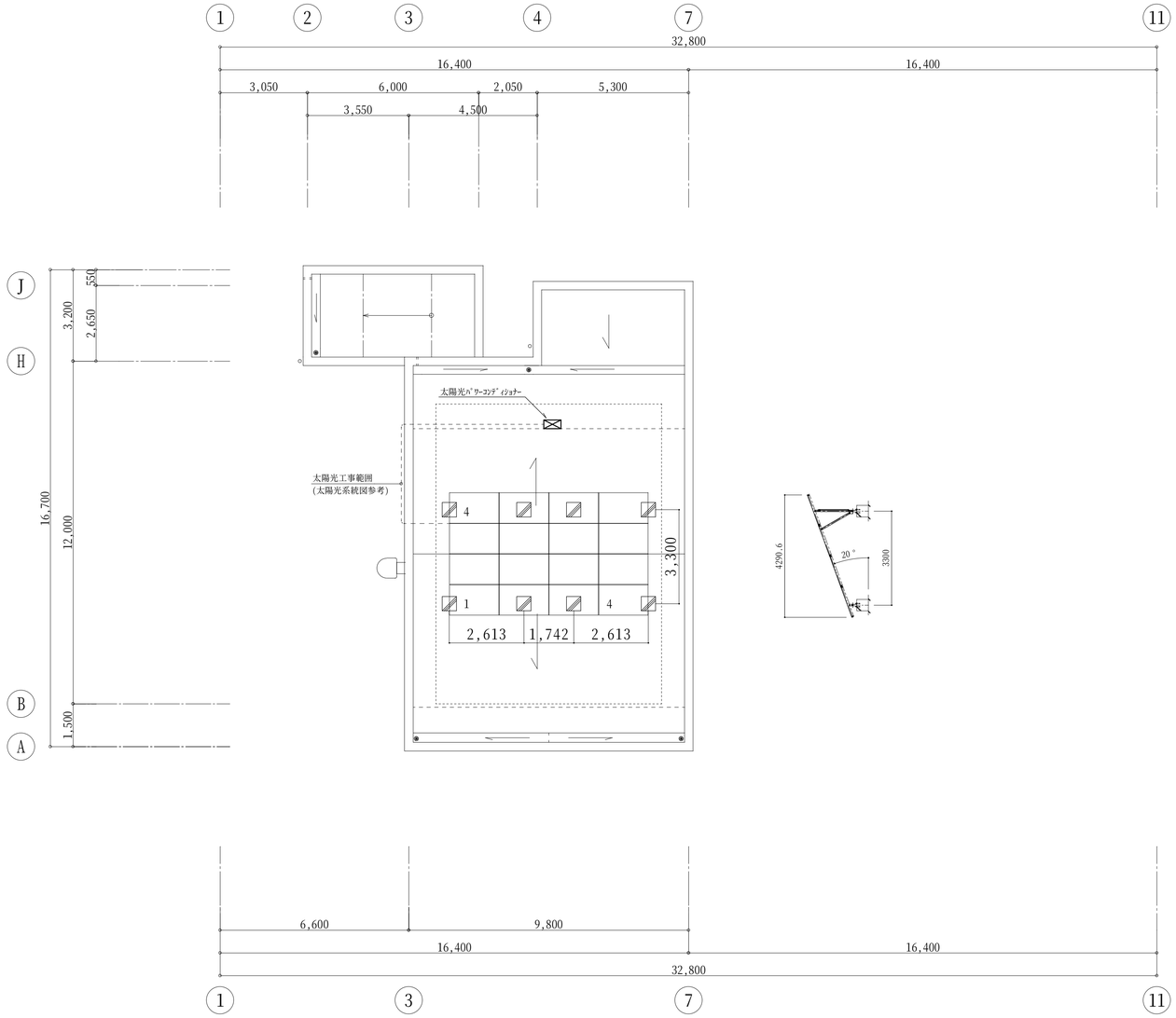
Ａ棟　太陽光発電結線図

太陽電池：	415 W／枚
設置枚数：	16枚
太陽電池容量　：	6.64kW
システム出力容量：	5.5kW



邑久地区市営住宅（Ａ棟）建替工事	A1　S=N/S A3　S=N/S		E
太陽光発電設備　単線結線図			27

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



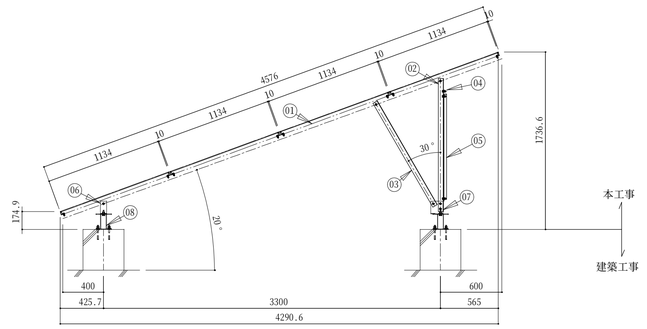
R階平面図　　S＝1/100

太陽電池：　415W／枚
傾斜角度：　20度
設置枚数：　16枚
太陽電池容量：　6.64ｋW

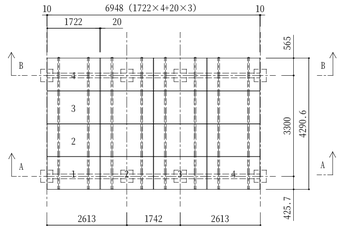
【重量】
太陽電池モジュール：406.4ｋｇ（25.4kg×16枚）
太陽電池架台：220kg
合計：626.4kg
（基礎別途）

太陽電池架台図

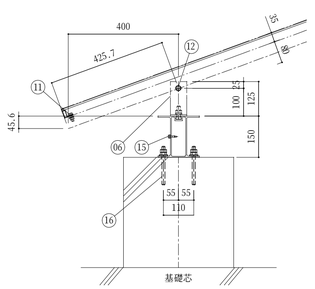
品番	名称	規格寸法	材質	備考
01	主材	[－80×60×4．0t	JIS H 4100 A6N01S－T5	
02	柱材	L－50×50×4．0t		
03	斜材	L－50×50×4．0t		
04	繋材	L－30×30×4．0t		
05	ブレス材	L－30×30×4．0t		
06	ベース材（前）	L－125×60×5．0t		
07	ベース材（後）	L－125×60×5．0t		
08	アルミベース梁	H－150×150		
09	アルミベース梁ジョイント材			
10				
11	六角ボルト	M8×25、W×2、SW×1、N×1	JIS G 4315）SUS304相当材	モジュール用
12	六角ボルト	M10×40、W×2、SW×1、N×1	ボルト、SW、N（生地）	架台用
13			Ⅱ（ジオメット処理）	
14	六角ボルト	M12×40、W×1、SW×1、N×1		ベース材－ベース梁用
15	六角ヘクス　M6×25		特殊ステンレス（MRX）　パシベート	ジョイント、小口用
16	寸切ボルトM12×140、W、N×2		JIS G 4315）SUS304相当材　生地	埋込み深さ100mm、樹脂接着剤固定



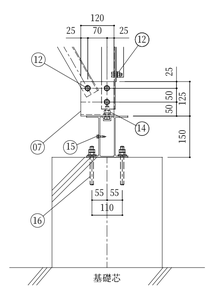
4段×4列×1基



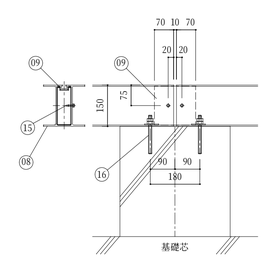
水下 詳細図



水上 詳細図



ジョイント部



邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/100 A3 S=1/200		E
太陽光発電設備　R階平面図			28

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

岡山県機械設備工事特記仕様書

Ⅰ. 工 事 概 要

工 事 名 称	邑久地区市営住宅（Ａ棟）建替工事
工 事 場 所	岡山県瀬戸内市邑久町福元745、746の一部、747の一部
敷 地 面 積	2,184.11 ㎡

棟名称 ／ 構造		住居Ａ棟 ＲＣ 造	自転車置場 棟 ﾌﾚｰﾑ 造	自転車置場 棟 ﾌﾚｰﾑ 造	ゴミ置場 棟 ﾌﾚｰﾑ 造	棟 造
施工条件（改修）		○無人 ・有人	○無人 ・有人	○無人 ・有人	○無人 ・有人	・無人 ・有人
床面積（㎡）	1 階	400.93	11.16	11.16	4.00	
	2 階	400.93				
	3 階	400.93				
	4 階	131.64				
	小 計	1,334.43	11.16	11.16	4.00	
	合 計					1,360.75
建築面積 （㎡）		516.21	11.16	11.16	4.00	
入居者数（人）	小 計	42				
	合 計	42				
消防法施行令別表第一区分		(5)項ロ				
施 設 の 分 類		・特定○一般	・特定・一般	・特定・一般	・特定・一般	・特定・一般
建ぺい率（指定率）		23.64 % （ %）		容積率（指定率）	48.42 % （ %）	
用 途 地 域		指定なし（都市計画区域外）		防 火 地 域	指定なし	

工事範囲
- 建築工事
- 電気設備工事
- 機械設備工事
- 昇降機設備工事

別途工事

1. 工 事 種 目 （ ○ 印の付いたものを適用する）

建物別及び屋外 ＼ 工事種目	工 事 種 別					屋 外
○ 空気調和設備	新設一式					
○ 換気設備	新設一式					
・ 排煙設備						
・ 自動制御設備						
○ 衛生器具設備	新設一式					
○ 給水設備	新設一式					新設一式
○ 排水設備	新設一式					新設一式
○ 給湯設備	新設一式					
・ 消火設備						
○ ガス設備	新設一式					
・ 厨房設備						
・ 浄化槽設備						
・ 電気設備工事	電気設備工事の部による					
・ 建築工事	建築工事の部による					

2. 設 備 概 要

空調設備

- 空気調和方式等：・ 空気調和 （ ・ 単一ダクト方式 ・ 各階ユニット方式 ○ パッケージ方式 ・ ファンコイルユニット ・ ダクト併用方式 ・ ガスエンジンヒートポンプ方式 ）
- 主要熱源機器：・ 鋼製ボイラー ・ 鋳鉄製ボイラー ・ 温水発生機（ ・ 真空式 ・ 無圧式）・ チリングユニット ・ 吸収冷温水機 ・ 吸収冷温水機ユニット ・ 空気熱源ヒートポンプユニット ○ パッケージ形空気調和機 ・ マルチパッケージ形空気調和機 ・ ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機
- 換気設備：・ 1種換気 ・ 2種換気 ○ 3種換気
- 排煙設備：機械排煙（ ・ 有り ・ 無し）適用法規（ ・ 建基法 ・ 消防法）
- 自動制御設備：・ 自動制御方式（ ・ 電気式 ・ 電子式 ・ デジタル式）

衛生設備

- 給水方式：○ 水道直結方式 ・ 高置タンク方式 ・ ポンプ直送方式 ・ 水道直結増圧方式
- 放流先：汚水 ○ 公共下水道 ・ 浄化槽（ m3）／雑排水 ○ 公共下水道 ・ 浄化槽（ m3）・ 側溝／雨水 ○ 公共下水道 ・ 河川 ○ 側溝
- 接続先：汚水 ・ 既設桝／雑排水 ・ 既設桝 ・ 側溝／雨水 ・ 既設桝 ・ 側溝
- 排水方式：建物内の汚水と雑排水（ ○ 合流 ・ 分流 ）ポンプの排水 ・ 有り（ ・ 汚水 ・ 雑排水 ・ 湧水 ）○ 無し
- 給湯設備：○ 有り（ ・ 局所式 ・ 中央式 ）・ 無し。熱源（ ・ 電気 ・ 都市ガス ○ 液化石油ガス ・ 灯油 ・ Ａ重油）
- 消火設備：・ 屋内消火栓 ・ 連結送水管 ・ 屋外消火栓 ・ スプリンクラー ・ 粉末消火装置 ・ 泡消火 ・ 連結散水装置 ・ フード等用簡易自動消火装置 ・ 消防用水 ・ 不活性ガス消火（ ・ 窒素 ・ 窒素系 ・ ）・ ハロゲン化物消火 ・ 無し
- ガス設備：（ ・ 都市ガス 種別 ・ ＭＪ／m3Ｎ）○ 液化石油ガス
- 浄化槽設備：・ 有り（ ・ 合併処理 ・ 小規模合併処理 ・ 単独処理）・ 無し
- 雨水利用設備：・ 有り ・ 無し

Ⅱ. 工 事 仕 様

1. 共 通 仕 様

1）特記仕様及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の標準仕様書等による。
ただし、○ 印の付いたものを適用する。
- ○ 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和 4 年版）」（以下、「標準仕様書」という。）
- ○ 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和 4 年版）」（以下、「改修標準仕様書」という。）
- ○ 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（令和 4 年版）」（以下、「標準図」という。）

2）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。

2. 特 記 仕 様

1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
2）特記事項のうち選択する事項は ○ 印の付いたものを適用する。ただし、○ 印のない場合は※印を適用する。
○ 印 ※ 印の場合は両方を適用する。

区分	項 目	特 記 事 項
一般共通事項	① 機材の品質等	本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
	② 環境への配慮	本工事において、国等による環境物品等の調達推進等に関する法律（平成１２年法律第１００号）に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和３年２月１９日変更閣議決定）」に定める特定調達品目の分野「公共工事」の品目を調達する場合は判断の基準を満たすものとする。 なお、本工事において使用する機材のうち、設計図書で定めのあるものについてはグリーン購入法基本方針による。 ただし、公共工事分野の特定調達品目の機材を使用する場合は、判断の基準を満たすものとする。
	③ 石綿含有建材の事前調査	※石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹付け材、成型板、建築材料等の使用の有無について調査し、調査結果を監督職員に提出する。 調査範囲（※工事範囲 ・図示 ）
	④ 発生材の処理等	貸与資料（ 市営住宅福元団地アスベスト調査結果報告書 ） 引渡しを要するもの ※ 無し ・ 有り（ ・ 機器類 ・ 金属配管、ダクト類 ・ ） 特別管理産業廃棄物 ※ 無し ・ 有り（ ・ 配管用保温材 ・ ） アスベスト含有設備資機材（ガスケット、パッキン、たわみ継手等）は関係法令に従い適切に処理を行う。引渡しを要するもの以外は構外に搬出適切処理とする。 フロン、臭化リチウム液、残油処理の 搬出・処分費（ ※ 本工事 ・ 別途工事）
	⑤ 監督職員事務所	※ 設けない ・ 設ける
	⑥ 電気保安技術者の適用	適用する
	⑦ 技能士の適用	○ 配管（建築配管作業）・ 冷凍空気調和機器施工（冷凍空気調和機器施工作業）・ 熱絶縁施工（保温保冷工事作業）○ 建築板金（ダクト板金作業）
	⑧ 工事用電力、水、その他	本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続き等の費用はすべて受注者の負担とする。
	⑨ 工事用仮設物	構内につくることが ※ できる ・ できない
	⑩ 土工事	１）埋戻し土は ※ 根切り土の中の良質土 ・ 山砂の類 ２）配管周囲の保護砂は ※ 山砂の類 ３）建設発生土の処理は ・構外指示の場所に処分 ・構内敷ならし ・構内指示の場所に堆積
	⑪ 完成図（施工図含む）	ＣＡＤデータの提出（ ※要 ・ 不要） 詳細については、監督くん内の完成図書作成要領による。
	⑫ 保全に関する資料	提出部数 ※ １部 ・ 部
	⑬ 総合調整	下記項目の総合調整を行ない測定表を監督職員に提出する。 ○ 風量調整 ○ 水量調整 ・ 室内外空気の温湿度の測定 ・ 騒音の測定 ・ 室内気流及びじんあいの測定 ・ 飲料水の水質の測定・雑用水の水質の測定 測定箇所等は監督職員との協議による。
	⑭ 図形表示	機器類は、図示する形状及び配管等の取出し位置により、特定製造者の製品を指示、限定しない。

区分	項 目	特 記 事 項
一般共通事項	⑮ 容量等の表示	１）機器類の能力、容量等は原則として表示された値以上とする。 ２）電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は、原則として表示された値以下とする。
	⑯ 機材の承諾図	機械設備工事機材承諾図様式集（令和元年版）によるほか、監督員の指示による。
	⑰ 負担金等（消費税含む）	・給水引込負担金（加入負担金及び手数料等） （ ・ 本工事 ○ 別途 ） 円 ・下水道接続負担金（受益者負担金及び手数料等）（ ・ 本工事 ○ 別途 ） 円 ・浄化槽７条検査費用 （ ・ 本工事 ・ 別途 ） 円 ・都市ガス引込負担金（工事負担金等） （ ・ 本工事 ・ 別途 ） 円
	⑱ 電線類	１）ＥＭ電線類で規格等の定めのないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとし、電線及びＥＭケーブルは標準仕様書第４編１．５．１表４．１．１１による。 ２）電線の色別は、原則として電気設備工事の工事仕様書による。
	⑲ 塗装	下記の部分を除き、原則として塗装（標準仕様書第２編３．２による）を行う。 亜鉛めっきされたもので、常時隠ぺいされる部分、金属電線管、鋼製架台及び支持金物類、主・各階機械室内等及び電気室内の亜鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管、カラー亜鉛鉄板面、亜鉛めっき以外のめっき仕上げ面、樹脂コーティング等を施したアルミニウム、ステンレス、銅、溶融アルミニウム－亜鉛鉄板、合成樹脂等、特に塗装の必要を認められない面、埋設されるもの（ただし、防食塗装部分を除く） 塗装を施さない部分 ・ 箇所 ※ 倉庫 ・ 車庫 ・ 駐車場 塗装を施す部分 ・ 倉庫 ・ 書庫 ・ 車庫 ※塊りネジ部、及びパイプレンチのチャック跡部の鉄面は、さび止めペイント２回塗りを行う。
	⑳ 保温	空気調和設備工事、給排水衛生設備工事の保温の種別は次による。 凡例 Ｒ：ロックウール Ｇ：グラスウール Ｐ：ポリスチレンフォーム

区分	屋内露出	機械室等	天井Ｐ内	暗渠	屋外露出	多湿箇所
・温水管、蒸気管、冷媒管	A2（ ）	B（ ）	C2（ ）	D（ ）	E2（ ）	E2（ ）
・冷媒管	A2（ ）	B（ ）	C1（ ）	D（ ）	E2（ ）	E2（ ）
○ 冷媒管（断熱材被覆銅管）						
・冷水、冷温水管	A2（ ）	B（ ）	C1（ ）	D（ ）	E2（ ）	E2（ ）
・タンク（冷水、冷温水）	F2（ ）	——	——	——	——	——
・ﾀﾝｸ（温水、蒸水、熱交、膨張）	G2（ ）	——	——	——	——	——
・ヘッダー（冷水、冷温水）	F2（ ）	——	——	——	——	——
・ヘッダー（温水、蒸気）	G2（ ）	——	——	——	——	——
・空調用ダクト	J2（ ）	I（ ）	I（ ）	I（ ）	K2（ ）	K2（ ）
○ スパイラルダクト	O2（ ）	N（ ）	N（ ）	N（ ）	P2（ ）	P2（ ）
・消音内張（ｸﾞﾗﾌﾞﾁｬﾊﾞｰ）	M（ ）	——	——	——	——	——
・消音内張（消音ﾁｬﾝﾊﾞｰ）	L（ ）	——	——	——	——	——
・給水管	a2（G）	b（G）	c2（G）	d（P）	e2（P）	e2（P）
○ 排水及び通気管	a2（G）	b（G）	c2（G）			e2（ ）
・給湯管	a2（G）	b（G）	c2（ ）	d（ ）	e2（ ）	e2（ ）
・消火管	a2（ ）	b（ ）	c2（ ）	d（ ）	e2（ ）	e2（ ）
・鋼板製のタンク	f2（ ）	——	——	——	——	——
・貯湯タンク	g2（ ）	——	——	——	——	——
○ 厨房用排気ダクト	（R）	（R）	h（ ）	h（ ）	——	——
・給湯器用排気筒	（R）	（R）	h（R）	h（R）	——	——

１）燃焼熱源等機器室内の配管の保温材には、ロックウールまたはグラスウール保温材を使用する。
２）保温化粧ケースの材質
屋内 ○ 耐候性樹脂製 ・ ステンレス鋼板製
屋外 ○ 耐候性樹脂製 ・ ステンレス鋼板製 ・ 高耐蝕鋼板製（溶融亜鉛めっき）
３）多湿箇所 標準仕様書以外で多湿箇所の適用は（・ ）
４）全熱交換器の機器外気側ダクト（※給気側 ※排気側）は、保温（２５㎜厚）する。
５）共同溝の保温種別は（配管・ ダクト・ ）とする。

㉑ 絶縁継手	※ 標準図 施工３ による。
㉒ 防振継手	※ 合成ゴム製（球形）・ ポリテトラフルオロエチレン製 ・ ベローズ形（ステンレス製）
㉓ 伸縮継手	※ ベローズ形 ・ スリーブ形
㉔ 弁類	ステンレス管に使用するバルブは５０Ａ以下は青銅製、６５Ａ以上はステンレス製を使用する。 標準仕様書によるほか図示の箇所に設ける。
㉕ 埋設表示	※ 標準図（機材２）による
㉖ 支持金物・固定金具	ポンプ及び屋外設置機器・ピット内のアンカーボルト、ナットはステンレス（ＳＵＳ３０４）製とし、屋外及びピット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス（ＳＵＳ３０４）製または、溶融亜鉛めっき仕上げとする。 溶融亜鉛めっきは ※ ２種３５ ・ ２種５０
㉗ 配管の建物導入部	（○ 給水 ○ ガス ・ 油）配管の変位吸収は標準図 施工５（ｃ）とする。
㉘ ステンレス鋼管の接合方法	呼径６０Ｓｕ以下の継手は、ＳＡＳ３２２を満足するものとする。 呼径７５Ｓｕ以上の継手は ・ 溶接接合 ・ ハウジング形継手 ・ フランジ接合 図面に特記のない場合は別紙「工事区分表」による。
㉙ 他工事との取合い	設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。
㉚ 耐震措置	ただし、重量1kN以下の軽量な機器については、設備機器の製造者の指定する方法で確実に行えばよいものとする。 １）機器の据付け及び取付け 設計用水平地震力は、機器の質量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量）に、地域係数（※１．０ ・０．９ ・０．８）とし、次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。 設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	特定の施設 重要機器	特定の施設 一般機器	一般の施設 重要機器	一般の施設 一般機器
上層階屋上及び塔屋	機器	２．０	１．５	１．５	１．０
	防振支持の機器	２．０	２．０	２．０	１．５
	水槽類	２．０	１．５	１．５	１．０
中間階	機器	１．５	１．０	１．０	０．６
	防振支持の機器	１．５	１．５	１．５	１．０
	水槽類	１．５	１．０	１．０	０．６
地階・１階	機器	１．０	０．６	０．６	０．４
	防振支持の機器	１．０	１．０	１．０	０．６
	水槽類	１．５	１．０	１．０	０．６

・上層階とは、２～６階建の場合は最上階、７～９階建の場合は上層２階、１０～１２階建の場合は上層３階、１３階建以上の場合は上層４階とする。
・中間階とは地階、１階を除く各階で上層階に該当しないもの。
・重要機器は次のものを示す。
・給水機器（ ） ・排水機器（ ）
・換気機器 ・空調機器 ・熱源機器 ・防災機器 ・監視制御設備
・危険物貯蔵装置 ・火を使用する設備
・避難経路上に設置する機器
２）設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の１／２とする。
図中（ ）書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。

㉛ 天井仕上区分	
㉜ 工事安全計画書	建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に、工事現場の安全対策に関する具体的な工事安全計画書を監督職員に提出する。
㉝ 施工条件	・ 施工がやさしい日等 ※指定なし ・ 指定あり（別添「学校行事に伴う施工ができない日等（予定）」に基づき監督職員と協議するものとする。）
㉞ 施工調査	※ 週休２日促進工事について ・本工事は、週休2日促進工事の対象である。週休2日促進工事特記仕様書を参照すること。 ・本工事は、週休2日促進工事の対象外である。 ・ 施工に先立ち、改修工事関連部分（施工部位により既存性能を損なうおそれのある部分）の事前確認を行い監督職員に報告書を提出する。 ・ 既存設備システムの事前調査を行い監督職員に報告書を提出する。調査を行う前に監督職員に調査計画書を提出する。 改修工事関連既存設備システム（ ・ 排水放流先 ・ ）
㉟ 非破壊検査	はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に非破壊検査を行い、監督職員に報告する。
㊱ 溶接配管の検査	※走査式理設物調査（電磁誘導法または電磁波レーダ法）・放射線透過試験 ・ 冷温水配管 ・ 冷却水配管 ・ ガス配管 ・ 非破壊検査の適用 ※ 無し ・ 有り 抜取率は ・ 標準仕様書による ・ ％ （ ・ 放射線透過検査 ・ 浸透探査検査または磁粉探傷検査）
㊲ 足場	「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置にあたっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における２の（２）手すり据え置き方式又は（３）手すり先行専用足場方式により行う。 ・ 内部足場（※Ａ、Ｂ、Ｃ、Ｄ種 ・ Ｅ種 ・ Ｆ種 ・ Ｇ種 ） ・ 外部足場（※Ｄ、Ｅ種 ・ Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種 ・ Ｆ種 ）
㊳ 撤去工事	撤去する配管、ダクト（付属品含む）の保温材は、配管・ダクト等より分離する。

空気調和・換気設備

① 設計用温湿度条件	

	外気条件 温度（ＤＢ）	外気条件 湿度	室内（調整目標値）一般系統 温度（ＤＢ）	室内（調整目標値）一般系統 湿度	温度（ＤＢ）	湿度
夏季	３５．６℃	５０．４％	２８．０℃	５０ ％	℃	%
冬季	０．０℃	６７．４％	１９．０℃	４０ ％	℃	%

② 冷却水管	・ 配管用炭素鋼鋼管（白管）・ 塩ビライニング鋼管 ・ 粉体塗装鋼管
③ 冷水・温水・冷温水管	・ 配管用炭素鋼鋼管（白管）・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４）
④ 空調用給水管	・ 耐熱性ライニング鋼管（ＳＧＰＨＶＡ）
⑤ 空調用排水管	・ 塩ビライニング鋼管（ＳＧＰ ・ ＶＡ、 ・ ＶＢ） ・ ポリ粉体鋼管（ＳＧＰ ・ ＰＡ、 ・ ＰＢ） ・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管）○ 硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ） ・ カラーパイプ（ＶＰ）○ 保温材付ドレンパイプ ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲三層管（ＲＦ－ＶＰ） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４）
⑥ 膨張・空気抜・補給水管	※ 配管用炭素鋼鋼管（黒管）
⑦ 蒸気給気管	・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（ＳＴＧＰ３７０ 黒 Ｓch40）・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４）
⑧ 蒸気還水管	※ 配管用炭素鋼鋼管（黒管）
⑨ 油・油用通気管	※ 断熱材被覆銅管 ・ 断熱材被覆鋼管（製造者標準品） ・ 銅管
⑩ 冷媒管	ＪＩＳ又はＪＶ（５Ｋ）とする。ただし、特記部分は１０Ｋとする。
⑪ 弁類	※ 冷温水管の接続部（往・還）にはボール弁を取り付ける
⑫ ファンコイルユニット	※ 流量調整弁 ・定流量弁 を取付ける。 （定流量弁は ・ダイアフラム式流量可変式 ・カートリッジオリフィス形 ）
⑬ ダンパー	１）防煙ダンパー 復帰方法：遠隔復帰式（定格入力はＤＣ24Ｖ、０.７Ａ以下とする。） ２）ピストンダンパー 復帰方法：遠隔式
⑭ ダクト	１）※ 低圧ダクト ・ 高圧１ダクト ・ 高圧２ダクト ２）長方形ダクト ※ コーナーボルト工法（共板工法又はスライドオンフランジ工法）（長辺１５００㎜を越えるものはアングルフランジ工法とする。） ・ アングルフランジ工法 ３）丸ダクト ・ スパイラルダクト ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＵ） ４）防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後を１．５㎜以上の鉄板とする。標準図 施工４０ ５）厨房用ダクトの板厚は「火災予防条例準則の運用について」を適用する。
⑮ チャンバー等	１）シーリングディフューザーの接続は、標準図 施工４７ を参考とする。 ２）接続するダクトが施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。 ３）線状吹出口には、長さ＋１００×３００×３００Ｈの接続チャンバーを設ける。 ４）外壁に面するガラリにチャンバー等を設ける場合は、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。
⑯ 消音内貼り	１）空調用の吹出口接続チャンバー及び図示したダクト並びにチャンバー類とする。 ２）内貼りチャンバー類の寸法は、外法寸法とする。 ３）吹出口接続チャンバー以外の内貼りしたチャンバーには点検口を取付ける。 点検口の大きさは、原則として４００×６００とする。
⑰ グリス除去装置	・ グリスエクストラクター ・ グリスフィルター
⑱ 瞬間流量計	１）形式はピトー管式（コック付）とする。 ※ 固定式 ・ 着脱式 ２）下記の箇所、若しくは図示により取付ける。 ・ 冷凍機類の冷水出口 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング ・ 冷凍機類の冷却水出口 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング ・ ボイラー又は熱交換器の温水出口 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング ・ 冷温水ヘッダーの各送り管 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング ・ ユニット形空気調和機の冷温水入口 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング
⑲ 定風量・変風量ユニット	・ メカニカル形 ・ 風速センサー形
⑳ 温度計	標準仕様書によるほか図示した箇所及び下記の箇所に取付ける。 ・ 空気調和機、全熱交換器廻りの還気ダクト、外気ダクト及び給気ダクト 機器が属以外の温度計は ※ 工業用バイメタル式温度計 ・ ガード付きＬ形温度計 標準図によるほか図示した箇所に取付ける。
㉑ 圧力計	
㉒ 冷温水管等のエア抜き	１）エア溜まりを生ずると思われる箇所には、必要に応じて操作の容易な位置にエア抜き弁装置（ ※ 手動 ・ 自動）を設ける。 ２）自動エア抜き弁装置は、標準図（施工３６（ｇ））による。 ３）機械室の手動式エア抜き配管で、特記のない場合の保温範囲は原則として分岐部より２ｍとする。
㉓ 空調機用トラップ	トラップの形式はフロートボール式（床置型） ※ ＦＲＰ製保温型 ・
㉔ 鋼板製煙道	１）厚さ ※ ３．２㎜ ・ ４．５㎜ ２）煙煙濃度計 ・ 取付ける ・ 取付けない ・ 取付座を取付ける ３）煤じん量測定口（８０φ×２）を ※ 取付ける ・ 取付けない
㉕ オイルサービスタンク	油面計はゲージ式（側圧式）とする。
㉖ 地下オイルタンク	１）据付け方法は標準図 ※ 施工３０（二重殻タンク・タンク室無し）
㉗ 油面制御装置 遠隔油量指示計	２）遠隔油量指示装置（油面計は （ ・ 抵抗変化式 ・ 磁歪式）で（ ・ 屋内 ・ 屋外）より油量監視用）を取付ける。 ３）基礎杭は ※ 不要 ・ 要（ ・ 本工事 ※ 別途工事） ４）土留め工事は ※ 不要 ・ 要（ ・ 本工事 ・ 別途工事）
㉘ 異種管の接続	１）液面制御装置の機能は、標準仕様書ほか図示による。 １）副指示計は図示による。 １）鋼管とステンレス鋼管、鋼管と鋼管は（※標準図 ・図示）による。
㉙ 油積算流量計	※ 設ける（図示した箇所に取付ける） ・ 設けない
㉚ フィルター等付属品	・ 機器表特記による。 ・ 空気調和機のフィルターは、ロールの場合は１本・ユニットの場合は１セットを予備品として納入する。
㉛ パッケージ空調機の能力表示	インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。
㉜ パッケージ空調機の内外渡配線	原則として冷媒管と共巻きとする。（エアコン含む）
㉝ 冷却塔	標準型、低騒音型、超低騒音型の規定は、日本冷却塔工業会の騒音基準値による。
㉞ 水質基準	空調用流体の水質基準については、日本冷凍空調工業会（冷凍空調機器水質ガイドライン）による。

排煙設備

１ ダクト	※ 亜鉛鉄板製 ・ 鋼板製（１．６㎜厚）
２ 排煙口	・ パネル形 （ ・ 天井取付 ・ 壁取付） ・ スリット形（ ・ 天井取付 ・ 壁取付） ・ ダンパー形（ ・ 天井取付 ・ 壁取付）
３ 排煙口開放及び復帰方式	電気式（遠隔操作 ※ 不要 ・ 要） 排煙口から手動開放装置への配管は、標準仕様書第４編１．５．１表４．１．１１による耐熱・耐火ケーブルとする。
４ 排煙風量測定	建築設備定期検査業務指導書２０１６年版（（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量検査方法に準ずる。

自動制御設備

１ 中央監視制御装置	・ 有り（構成機能は図示による） ・ 無し
２ 自動制御機器	調節器等の取付け高さは ※１３００mm
３ 自動制御盤	屋内用キャビネットは ※鋼板製 ・ステンレス鋼板製
４ 計装工事の配線	１）屋外、屋内露出の配線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井隠ぺいの配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。 ２）原則として、次の用途に使用する電線類はＥＭケーブルとし、規格は一般共通事項．２０．電線類の規格による。（機器、盤類はこれによらなくてもよい） 用途：①電源線、接地線 ②電気式の調節器（サーモ・ヒューミ等）用電線 ③各種検出器（温度・湿度等）、操作器（バルブ・ダンパー等）における弱電信号、通信線を除く制御線

衛生器具設備

① 一般事項	型番変更等により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考型番の同等品とする。 大便器、小便器には、標記板（アクリル板に印刷可）を取り付ける。
２ 自動水栓	電源種別は ※ ＡＣ電源 ・ 乾電池 ・ 自己発電
３ 小便器用節水装置	※ 洗浄水量４リットル／回以下
４ 洗浄水	※ 個別感知方式（ ※ ＡＣ電源 ・ 乾電池 ） ・ 手動式
５ 衛生器具と排水管接続	※ 市水 ・ 雑用水（ ※ 大便器 ・ ）
６ 和風大便器の耐火処理	※ 標準図（施工６２） ・ 標準図（施工６３）

給水設備

① 量水器	１）親メーター ※ 借用 ・ 買取り（○ 直読 ・ 遠隔表示） ２）子メーター ※ 買取り ・ 借用 （ ・ 直読 ・ 遠隔表示）
② 量水器桝	１）親メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図（機材５７） ２）子メーター用 ※ 標準図（機材５７） ・ 水道事業者の指定品
③ 配管材料	１）一般配管用 ○ 塩ビライニング鋼管（ＳＧＰ－ＶＢ、ＶＤ） ・ ○ 保温付き架橋ポリエチレン管 ・ ポリブデン管 ・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ ・ ３０４ ・ ３１６） ２）土間配管用 ○ 塩ビライニング鋼管（ＳＧＰ－ＶＤ、ＦＶＤ） （ピット内を含む） ・ 水道用耐震型高性能ポリエチレン管（５０Ａ以下） ３）地中配管用 ○ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管（ＨＩＶＰ） ・ 塩ビライニング鋼管（ＳＧＰ－ＶＤ、ＦＶＤ） ・ 水道用耐震型高性能ポリエチレン管（５０Ａ以下） ・ 水道配水用ポリエチレン管（ＪＷＷＡＫ144）（７５～１５０Ａ） ・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ ・ ３０４ ・ ３１６）
④ 弁類	４）ビニル管の接合方法 ※ 接着接合 ・ ゴム輪接合 ５）ゴム輪接合の場合、直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする。 ６）ポリエチレン管の接合方法 ５０Ａ以下 ※ 金属製継手 ・ 融着継手 ７５Ａ以上 ※ 融着継手 ７）特記なき給水管の最小口径は２０Ａとする。 ８）ステンレス鋼管を使用する場合は下記の水質の確認を行う。 電気伝導率、Ｍアルカリ度、カルシウムイオン、マグネシウムイオン、全硬度、重炭酸イオン、遊離炭酸、塩素イオン、硫酸イオン、シリカ、蒸発残留物
⑤ 保温	１）公営水道に直結する配管に使用するものは、ＪＩＳ又はＪＶ（１０Ｋ）とする。 ２）受水タンク以降の配管に使用するものは、ＪＩＳ又はＪＶ（５Ｋ）とする。 ３）給水引込部の ○ 止水栓 ○ 弁桝 は水道事業者の指定とする。 鋼板製、ステンレス製タンクの保温 ・ 施工する ・ 施工しない
⑥ 定水位調整弁	・ 標準仕様書による（付属品含む） ・ 水道事業者の指定品 ・ 定流量弁を定水位調整弁の手前に設置する。
⑦ 水栓柱	※合成樹脂製 ・ステンレス製 ・寸法約７０mm角全長１３００mm ・図示による
⑧ 水栓	１）屋外の水栓は ○ キー式ハンドル ・ ２）台所流し用の水栓は泡沫式とする。 ＦＲＰ製タンク及びステンレス製タンク（保温形）はマンホールも保温形（二重蓋含む）とする。
９ 屋外設置タンクのマンホール	

排水設備

① 配管材料	１）屋内汚水管 ・ 排水用塩ビライニング鋼管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ） （第1桝まで含む）・ コーティング鋼管 ・ 耐火二層管 ・ カラーパイプ（ＶＰ） ○ 耐火性硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ） ２）屋内雑排水管 ・ 排水用塩ビライニング鋼管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ） （第1桝まで含む）・ コーティング鋼管 ・ 耐火二層管 ・ カラーパイプ（ＶＰ） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管）○ 耐火性硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ・ 湯沸流し等の床上露出部分はビニル管（ＲＦ-ＶＰ又はVP）でもよい。 ３）ポンプ排水管 ・ 排水用塩ビライニング鋼管（圧送排水鋼管用ＭＤ） ・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ） ４）通気管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管）○ 硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ） ・ カラーパイプ（ＶＰ） ○ 耐火性硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ５）屋外排水管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管（ ○ ＶＵ ○ ＶＰ）・ コンクリート管 ・ 耐火二層管 ・ 耐火ＶＰ ・ 車道部ＶＰ
② グリース粗集器	○ 工場製作品（ ※ ＳＵＳ製 ・ 鋳鉄製 ○ ＦＲＰ製）・ 現場施工品 ・ 耐火被覆（標準図（施工６６（ａ））（ ・ 施工 ・ 施工しない）
③ 排水金物	記号 ＣＯＡＤ は掃除口を兼用する排水金物を示す。

給湯設備

① 配管材料	・ 保温付被覆銅管 ・ 被覆銅管 ・ 銅管 ・ ステンレス鋼管 ・ 耐熱性ライニング鋼管（ＳＧＰ－ＨＶＡ）
② 弁類	○ 保温付き架橋ポリエチレン管 ・ ポリブデン管 ※ 湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。 ※ Ｊ

工事区分表

区分は○印を適用する。●印が有る場合は●印を適用する。

躯体関係

項目	建築	電気	機械	別途	備考
1.RC部分（梁・壁・床）の貫通孔・開口部 貫通スリーブ	○	○	○		
貫通スリーブの補強（各工事の開口用）	○				
開口補強を要する型枠材及び取付け	○	○	○		
開口部の補強	○				
開口補強を要しない型枠材及び取付け	○	○	○		
貫通孔・開口部の墨出し	○	○	○		
スリーブ・型 枠の穴埋め	○	○	○		
2.鉄骨部分（梁・壁・床）の貫通孔・開口部 S造鉄骨貫通鋼管スリーブ･補強	○				
開口補強を要する配管及び取付け		○	○		
開口部の補強（各工事の開口用）	○				
開口補強を要しない配管及び取付け		○	○		
貫通スリーブ（工場施工部分）（各工事の開口用）	○				
スリーブ・配管の穴埋め（防火区画･防煙区画）		○	○		
予備スリーブの穴埋め（防火区画･防煙区画）		○	○		
3.設備機器の基礎 屋上設置の基礎	○				
屋上基礎で押さえコンクリートにアンカーしない軽微なもの		○	○		
屋外設置の基礎（個別ｴｱｺﾝ基礎を除く）	○			○	特記による
機器取り付け用アンカー・架台		○	○	○	特記による
屋外 バルク設置の基礎及びフェンス	○				
4.昇降機関連 設備機器メンテナンス歩廊	○				
昇降路の築造	○				
各階出入口三方枠及び位置表示器・乗場ボタン取付け用口部の仮枠穴開け	○				
三方枠・出入口扉	○				
乗場機器取付け後の壁･床･天井仕上げ	○				
ピットの防水仕上げ	○				
昇降路がＳ造の時の中間ビームブラケット受けピース、ファスナー	○				
昇降路がＳ造の時のﾌﾞﾗｹｯﾄ受け、中間ﾋﾞｰﾑ・ﾌｧｽﾅｰ以外の昇降路内の鉄製部材一式	○				
電源及び接地線工事		○			
ピットの点検用コンセント		○			
煙感知器設置工事		○			
火災時識別リレー接点引込み工事		○			
ピット点検用タラップ	○				
乗り場敷居受け	○				
火報点検用扉		○			

仕上げ関係

項目	建築	電気	機械	別途	備考
1.軽鉄天井・壁下地 補強を要するボードの切り込み及び下地の補強	○				
補強を要しないボードの切り込み		○	○		
開口部の墨出し	○	○	○		
総合図の作成	○	○	○		
将来予定用機器取付壁補強	○				
2.既製間仕切り 切り込み及び補強	○				
位置ボックス		○	○		
衛生器具類・機器類取付用壁補強	○				
総合図の作成	○	○	○		
3.吊ボルト及びインサート 設備機器・器具・配管・配線・ダクト用		○	○		
吊りボルト及びインサート墨出し		○	○		
4.外壁廻り 外壁ガラリ及びダクト接続用フランジ	○				
外壁材、穴あけ、補強	○				
ウエザーカバー、ベンドキャップ			○		
換気扇・天井扇			○		
換気扇用枠・天井扇取付枠			○		
5.キッチン廻り 流し台・吊戸棚・水切り棚・コンロ台（水栓、排水金物共）	○				
湯沸器			○		
既製品レンジフード換気扇	○				
衛生、ガス配管接続			○		
6.便所廻り 鏡 既製品（ W600 x H800まで ）			○		
大形鏡 （ W600 x H800 を超えるもの ）	○				
衛生陶器及び水栓類			○		
手すり			○		
同上取付用壁下地補強	○				
ペーパーホルダー			○		
トイレ用タオル掛け			○		
7.集会室廻り ドアガラリ及びアンダーカット	○				
フリーアクセスフロアーの切込み及び補強	○				
フリーアクセスフロア用マーカー		○			
8.浴室・洗面廻り ユニットバス及び付属排水金具・バス水栓類	○				
同上付属換気扇（２室対応換気扇）	○				
同上用各種配管及びダクト接続工事		○			
洗濯機パン及び付属排水金具		○			
洗面化粧台及び同キャビネット	○				
脱衣用タオル掛け		○			
9.その他 二重床ピット及びトレンチのマンホール蓋	○				
化粧マンホール上蓋及び蓋の仕上げ	○				屋外は除く
点検口（天井・床下・壁）	○				
消火器ＢＯＸ（消火器共）	○				
カーテン、ブラインド					備品
カーテンレール	○				
カーテンボックス	○				
将来予定冷媒管用スリーブ・同カバー	○				

屋外設備・外構

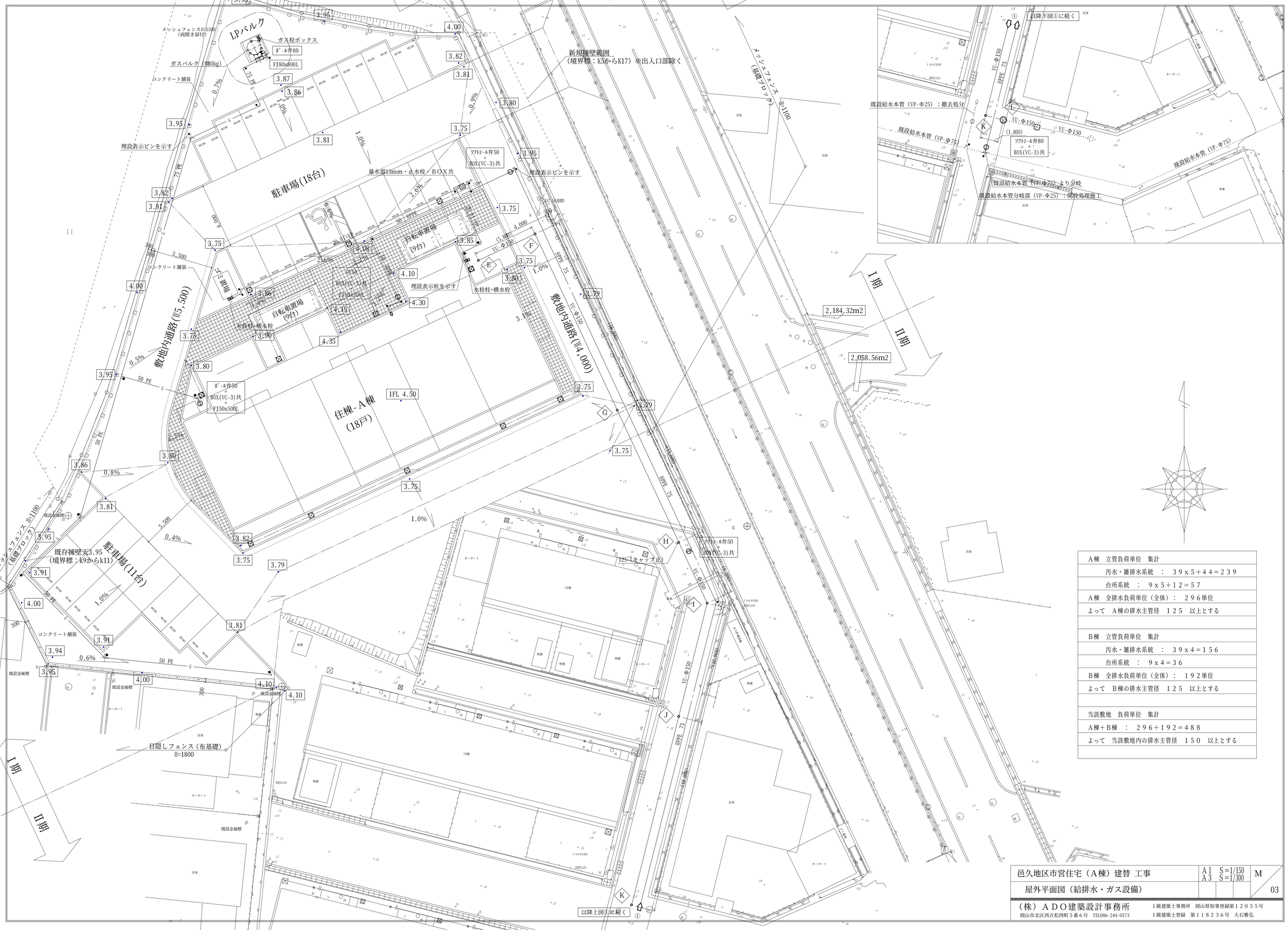
項目	建築	電気	機械	別途	備考
1.雨水 屋外雨水排水設備（開渠）	○				
屋外雨水排水設備（暗渠）	○				
ルーフドレイン	○				
たて樋	○				
たて樋～第一桝までの配管	○				
道路側溝接続	○				
同上舗装	○				
2.雑排水・汚水 屋外雑排水及び屋外汚水排水設備			○		
桝及び桝蓋			○		
化粧マンホール上蓋及び蓋の仕上げ	○				
3.道路舗装 既存舗装部 カッター入・はつり撤去	○				
舗装部撤去後、復旧及び新設	○				
4.その他 既設給水本管からの分岐引込工事			○		
既設下水管及び下水桝接続工事			○		
給水本管からの引込工事 負担金				○	
下水桝接続工事 負担金				○	
メーター取付 負担金				○	

電気配線配管

項目	建築	電気	機械	別途	備考
機器付属の制御盤への電源供給配管配線		○			1次側 室外機
機器と付属操作スイッチの位置ボックスとその渡り配管（エアコン、全熱交換器等）		○			
機器と操作スイッチの渡り配線（エアコン、全熱交換器等）			○		
小便器用節水装置への電源供給		○			
換気扇等、空調室内機、室外機電源		○			
リモコン配線			○		
同上用位置ボックスの配管		○			
室内機間の制御配線			○		
換気扇のＯＮ－ＯＦＦスイッチ		○			
換気扇の２４時間換気スイッチ			○		本体は機械設備電気設備に支給同取付は電気設備とする
ガス遮断弁の操作・制御配線及び配管工事		○			

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=Ns A3 S=Ns	M			
工事区分表（共通）		02			

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号 TEL086-244-0173
１級建築士事務所 岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録 第１１８２３６号 大石雅弘



A棟　立管負荷単位　集計
汚水・雑排水系統　：　３９ｘ５＋４４＝２３９
台所系統　：　９ｘ５＋１２＝５７
A棟　全排水負荷単位（全体）：　２９６単位
よって　A棟の排水主管径　１２５　以上とする
B棟　立管負荷単位　集計
汚水・雑排水系統　：　３９ｘ４＝１５６
台所系統　：　９ｘ４＝３６
B棟　全排水負荷単位（全体）：　１９２単位
よって　B棟の排水主管径　１２５　以上とする
当該敷地　負荷単位　集計
A棟＋B棟　：　２９６＋１９２＝４８８
よって　当該敷地内の排水主管径　１５０　以上とする

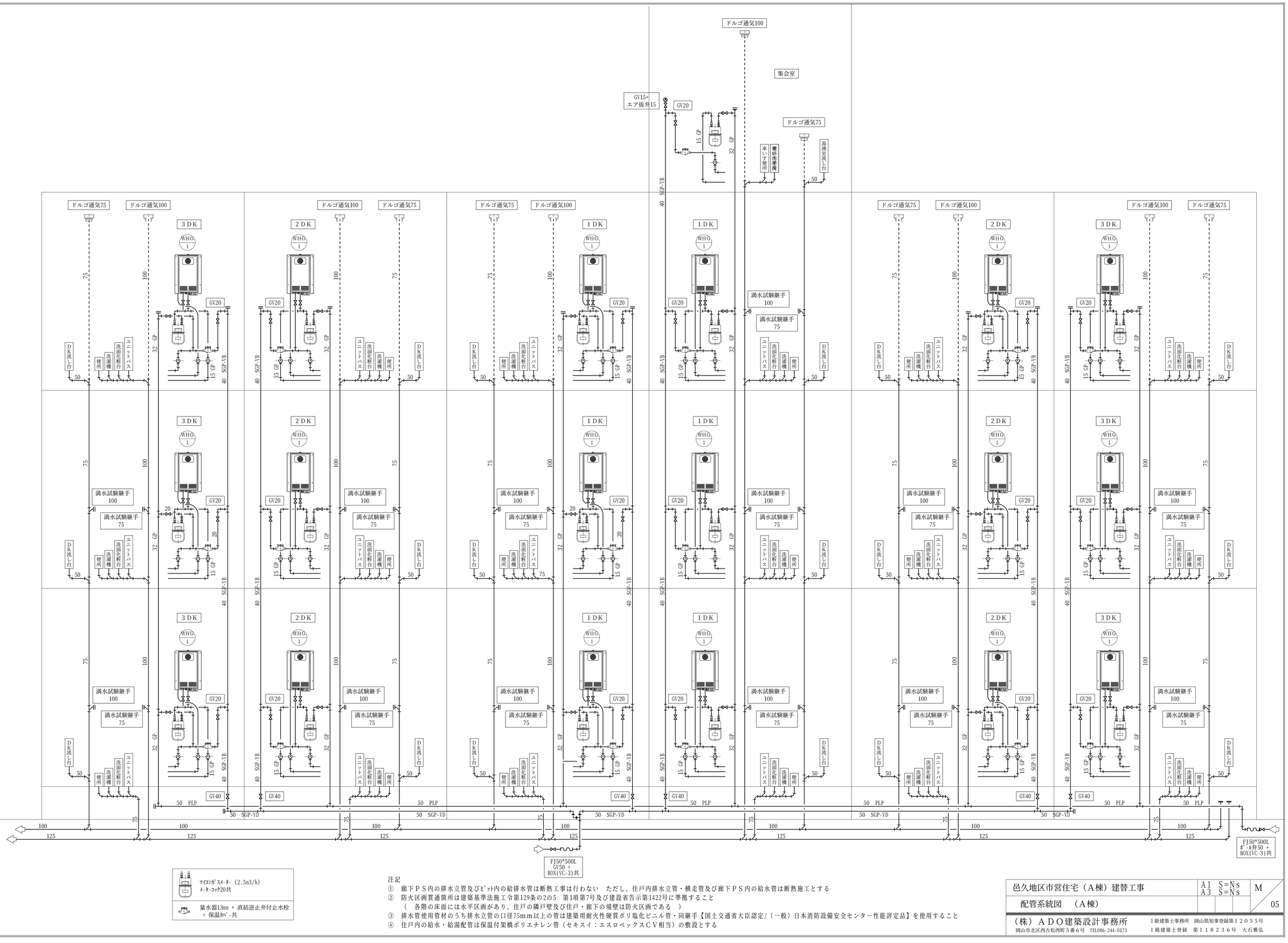
邑久地区市営住宅（A棟）建替 工事	A1 S=1/150 A3 S=1/300		M
屋外平面図（給排水・ガス設備）			03

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

器具表・機器表　（　A棟　）

器具名	仕　様	数量	備　　考	設置場所
洋風大便器	手洗付ロータンク式	19	洗浄便座　共　　参考型番(TOTO)：CS232BM　SH233BA　TCF6623 HP4307 他	各階住戸 ４階集会室
紙巻器	樹脂製	19	ワンハンドカット　　参考型番(TOTO)：YH51R	各階住戸
タオルリング		18	参考型番(TOTO)：YT410	各階住戸
タオル掛け	ステンレス製	19	L=477　　参考型番(TOTO)：TS113A1R	各階住戸
流し台	建築工事	(19)	混合水栓・排水金物　他標準付属品共	各階住戸
同上用混合水栓	建築工事	(19)	壁付 シングルレバータイプ　　参考型番(TOTO)：TKS05316J	各階住戸
洗濯機パン	樹脂製	6	640タイプ　　参考型番(TOTO)：PWP640N2W　PJ2008NW	各階１ＤＫ
洗濯機パン	樹脂製	12	740タイプ　　参考型番(TOTO)：PWP740N2W　PJ2008NW	各階２ＤＫ 各階３ＤＫ
洗濯機用水栓		18	緊急止水タイプ　　参考型番(TOTO)：TWAS10A1A	各階住戸
洗面化粧台	建築工事	(18)	化粧キャビネット共	各階住戸
ユニットバス	建築工事	(18)	二部屋用換気扇・シャワー付バス水栓他　標準付属品一式共	各階住戸
固定手すり	樹脂被覆　Ｌ型	19	L=700 ﾀｲﾌﾟ　　参考型番(TOTO)：T112CL10　T110D3Rx3　　取付金具他付属品共	各階住戸 ４階集会室
可動手すり	樹脂被覆　跳ね上げ型	1	L=700 ﾀｲﾌﾟ　　参考型番(TOTO)：T112HK7R　T110D17S　　取付金具他付属品共	４階集会室
洗面器	壁掛	1	参考型番(TOTO)：L250CM　TLG04101J　TLDP2105JA　TL4CFU　TL250D	４階集会室
化粧鏡	耐食鏡	1	450 x 600　　参考型番(TOTO)：YM4560F	４階集会室
水栓柱	樹脂製	2	H=1200　　横水栓（ホース接続・差し込み式・ｷｰ式：T28AKUH13（参考型番(TOTO)）	屋外
水道メーター	本体は水道課借用品 取付は本工事	(19)	13 ㎜　　逆止弁付直結伸縮止水栓共	各住戸・集会室
水道メーター	本体は水道課借用品 取付は本工事	(1)	13 ㎜　　屋外散水・ゴミ置場共用系統　　逆止弁付直結伸縮止水栓・樹脂製メーターボックス共	屋外
マイコンガスメーター	ガス納入業者支給品 取付は本工事	(19)		各住戸・集会室
同上用メーターコック		19	15A	各住戸・集会室
ガス給湯器（WHG-1）	ＰＳ扉内設置・前排気型	18	排熱回収・高効率　給湯専用型　24号　浴室・台所リモコン・同付属ケーブル共　　参考型番(ﾘﾝﾅｲ)：RUX-UE2406T	
同上用ガスコック		18	15A	各階住戸
単口ガスコック	ヒューズコック　壁付	18		各住戸・集会室
グリーストラップ桝	ＦＲＰ製	1	パイプ流入　地中埋設専用　許容流入流量：50ℓ/min　鋼板製溶融亜鉛メッキ蓋（適用荷重：Ｔ－２）共	屋外
			参考型番(ホーコス)：ＨＧＲ－ＮＸ５０Ｐ	
ガスバルク装置	縦型	1	容量：980kg　自然気化式　災害対応型　　別紙参考図　参照のこと　　参考型番(ＩＴＯ(株))：EBS-980T-03	屋外
			同上用基礎及びフェンス工事は建築工事とする	

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



注記

① 廊下ＰＳ内の排水立管及びﾋﾟｯﾄ内の給排水管は断熱工事は行わない　ただし、住戸内排水立管・横走管及び廊下ＰＳ内の給水管は断熱施工とする
② 防火区画貫通箇所は建築基準法施工令第129条の2の5　第1項第7号及び建設省告示第1422号に準拠すること
（　各階の床面には水平区画があり、住戸の隣戸壁及び住戸・廊下の境壁は防火区画である　）
③ 排水管使用管材のうち排水立管の口径75ｍｍ以上の管は建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管・同継手【国土交通省大臣認定/（一般）日本消防設備安全センター性能評定品】を使用すること
④ 住戸内の給水・給湯配管は保温付架橋ポリエチレン管（セキスイ：エスロペックスＣＶ相当）の敷設とする

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1	S=Ns		M
配管系統図　（A棟）	A3	S=Ns		05

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

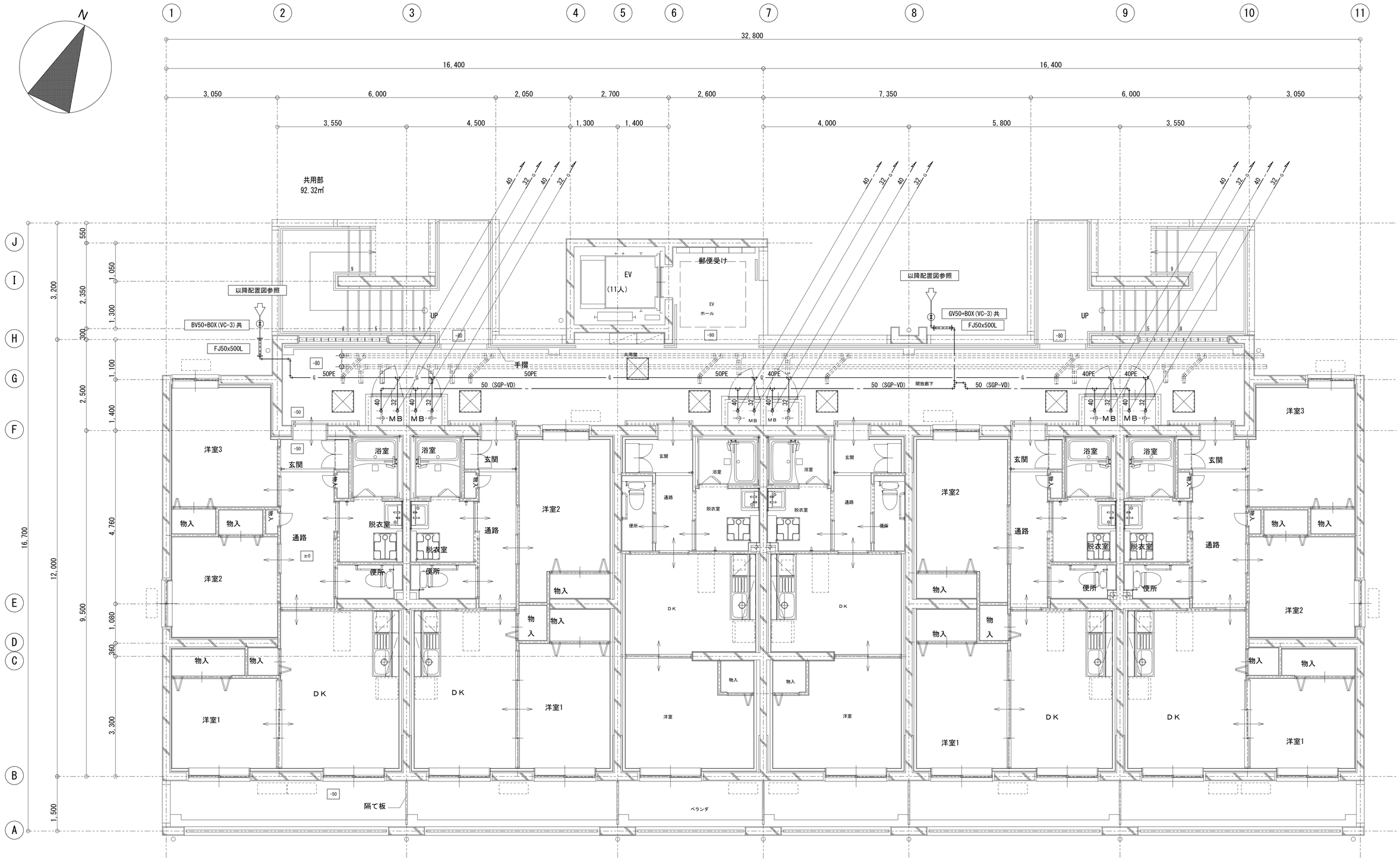
桝リスト　（　Ａ棟　）

設計ＧＬ：ＫＢＭ＋４．００　　１ＦＬ：ＫＢＭ+４．５０

記号	名称	桝寸法	桝形状	参考管底寸法			蓋仕様	備考
				桝蓋天端高（ＫＢＭ基準）	参考管底寸法			
					設計ＧＬ－	蓋天端－		
Ａ	小口径汚水桝	Φ200-Φ125	90° Ｌ	3.80	900	700	塩ビ蓋	Ａ棟
Ｂ	〃	Φ200-Φ100	90° Ｌ	3.80	800	600	〃	〃
Ｃ	グリストラップ桝	ＦＲＰ製	既製品	3.80	820	620	付属蓋	〃
Ｄ	小口径汚水桝	Φ200-Φ125	90° Ｙ	3.80	880	680	塩ビ蓋	〃
Ｅ	〃	Φ200-Φ150	90° Ｙ	3.80	940	740	鋳鉄製　防護蓋 Ｔ－１４	〃
Ｆ	〃	〃	90° Ｌ	3.77	1,060	830	〃	〃
Ｇ	〃	〃	ＳＴ	3.77	1,430	1,230	〃	〃
Ｈ	〃	〃	90° Ｙ	3.77	1,720	1,490	〃	〃
Ｉ	〃	Φ300-Φ150	45° Ｌ	3.77	1,860	1,630	〃	〃
Ｊ	〃	〃	ＳＴ	3.77	2,080	1,850	〃	〃
Ｋ	ＲＣ製桝	１号組立桝	(RC-4) Φ900	3.77	2,450	2,220	ＭＨＤ -600	〃
Ｌ	既存取付桝			3.80	2,500	2,600 (2,300)		〃

邑久地区市営住宅（Ａ棟）建替工事	Ａ１　Ｓ=1/Ｎｓ Ａ３　Ｓ=1/Ｎｓ	Ｍ
桝リスト		06

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

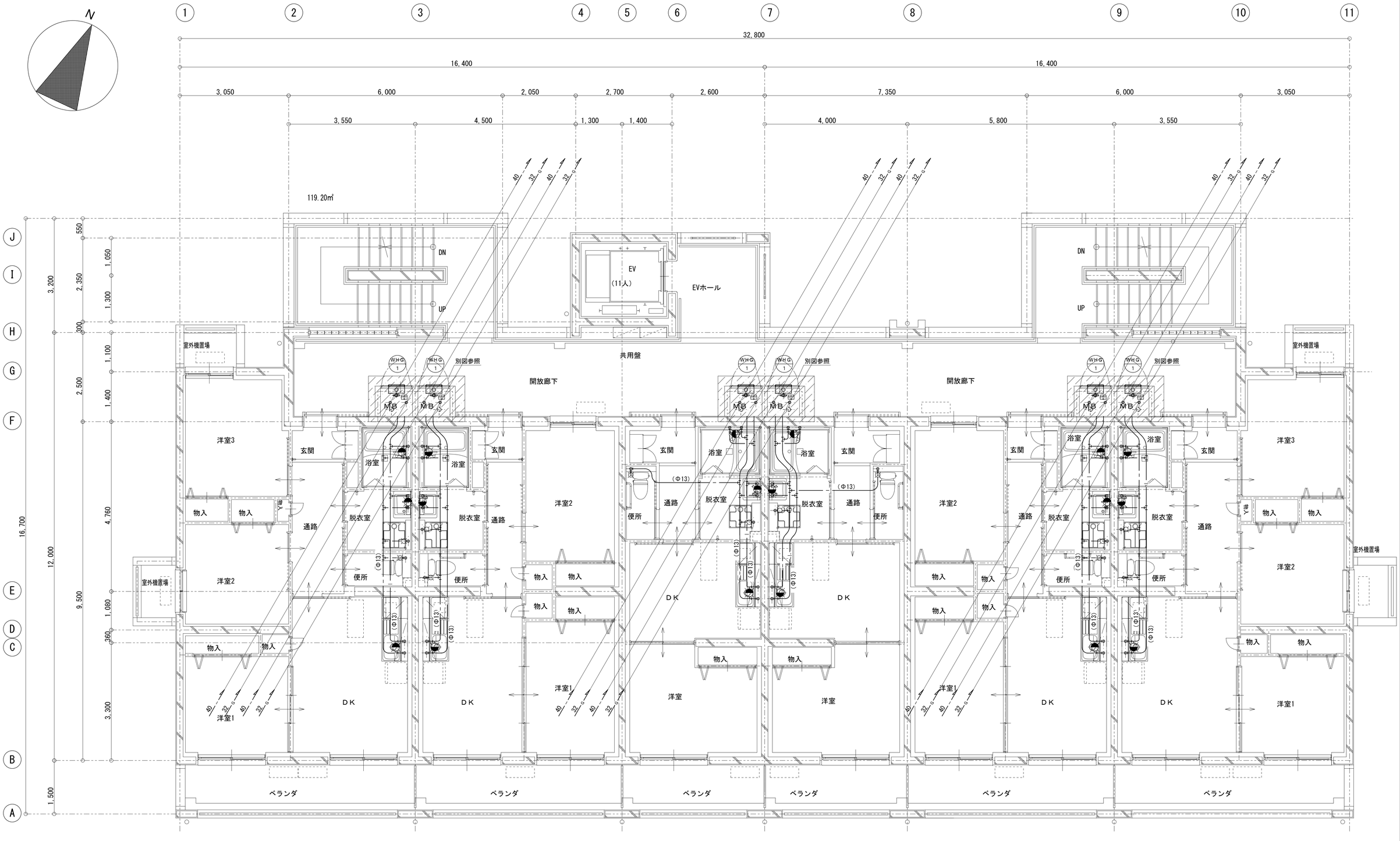


１階床下平面図（給水・ガス設備）　Ｓ＝1/50

凡例
数値：FLからのレベルを示す

邑久地区市営住宅（Ａ棟）建替工事	A1 S=1/50 A3 S=1/100		M
１階床下平面図　（給水・ガス設備）			07

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

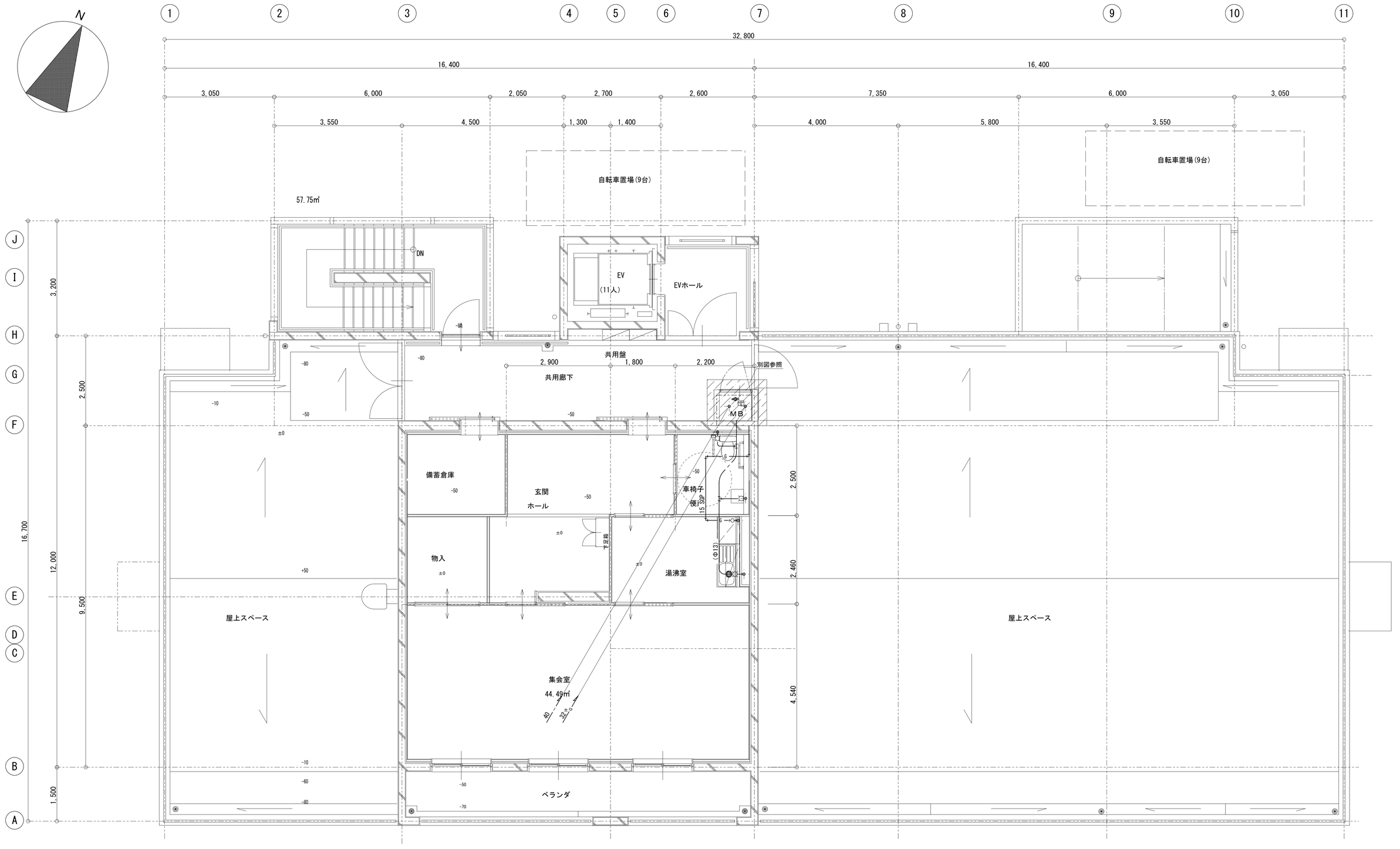


3DK	2DK	1DK	1DK	2DK	3DK
66.97㎡	55.1㎡	38.0㎡	38.0㎡	55.1㎡	66.97㎡
(ベランダ：9.9㎡)	(ベランダ：8.7㎡)	(ベランダ：6.0㎡)	(ベランダ：6.0㎡)	(ベランダ：8.7㎡)	(ベランダ：9.9㎡)

各階住戸内平面図（給水・給湯設備）　S＝1/50

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/50 A3 S=1/100		M
各階住戸内平面図 （給水・給湯設備）			08

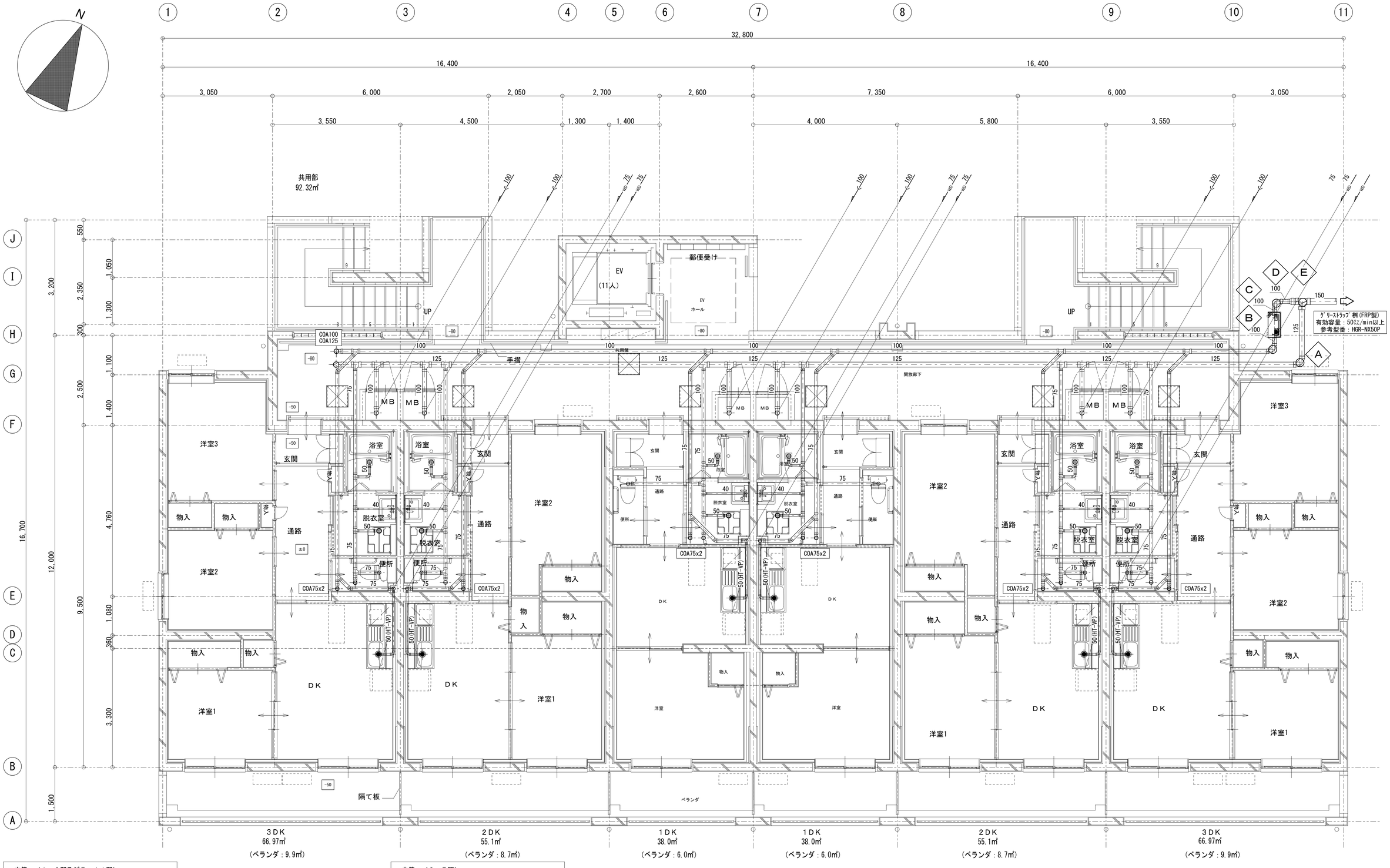
（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



４階平面図　Ｓ＝1/50

邑久地区市営住宅（Ａ棟）建替工事	A1 S=1/50 A3 S=1/100		M
４階平面図　（給水・給湯・ガス設備）			09

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



3DK 66.97㎡ (ベランダ：9.9㎡)	2DK 55.1㎡ (ベランダ：8.7㎡)	1DK 38.0㎡ (ベランダ：6.0㎡)
1DK 38.0㎡ (ベランダ：6.0㎡)	2DK 55.1㎡ (ベランダ：8.7㎡)	3DK 66.97㎡ (ベランダ：9.9㎡)

立管　（１－６間及び７－１１間）
住戸内　排水負荷単位　（汚水・雑排水系統）
大便器（タンク式）：　４
洗面化粧台　：　１
ユニットバス　：　４
洗濯機パン　：　４
計　：１３　（１住戸当たり）
立管　負荷単位　計　３９　（１～３階分）

住戸内　排水負荷単位　（台所系統）
台所流し台　：　３
立管　負荷単位　計　９　（１～３階分）

立管　（６－７間）
住戸+集会所　排水負荷単位　（汚水・雑排水系統）
住戸内　排水負荷単位　：　３９
集会所内　排水負荷単位　：　５
立管　負荷単位　計　４４　（１～４階分）
住戸＋集会所　排水負荷単位　（台所系統）
住戸内　排水負荷単位　：　９
集会所内　排水負荷単位　：　３
立管　負荷単位　計　１２　（１～４階分）

Ａ棟　立管負荷単位　集計
汚水・雑排水系統　：　３９ｘ５＋４４＝２３９
台所系統　：　９ｘ５＋１２＝５７
Ａ棟　全排水負荷単位（全体）：　２９６単位
よって　Ａ棟の排水主管径　１２５　以上とする

１階平面図　Ｓ＝1/50

邑久地区市営住宅（Ａ棟）建替工事	A1 S=1/50 A3 S=1/100			M
１階平面図　（排水設備）				10

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

N

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

J I H G F E D C B A

32,800
16,400 16,400
3,050 6,000 2,050 2,700 2,600 7,350 6,000 3,050
3,550 4,500 1,300 1,400 4,000 5,800 3,550
3,200 16,700 12,000 9,500
550 2,350 300 2,500 1,050 1,300 1,100 1,400 4,760 1,080 360 3,300 1,500

119.20㎡

ドルゴ通気100×2 ドルゴ通気75×2 ドルゴ通気100 ドルゴ通気75 ドルゴ通気100×2 ドルゴ通気75×2

100 100(3F) 100 100(3F) 75 75(3F) 75 75(3F) 100 100 100(3F) 75 75(3F) 100 100(3F) 100 100(3F) 75 75(3F) 75 75(3F)

DN UP EV (11人) EVホール 共用盤 開放廊下 開放廊下 DN UP

室外機置場 室外機置場

満水試験継手100×2 満水試験継手100×2 満水試験継手100×2

MB MB MB MB MB MB

洋室3 玄関 浴室 浴室 玄関 玄関 浴室 浴室 玄関 玄関 浴室 浴室 玄関 洋室3

脱衣室 脱衣室 脱衣室 脱衣室 脱衣室 脱衣室

物入 物入 通路 洋室2 通路 通路 洋室2 通路 物入 物入 通路 洋室2

便所 便所 便所 便所 便所 便所

COA75 COA75 COA75 COA75 COA75 COA75

満水試験継手75×2 満水試験継手75×2 満水試験継手75×2

50(HT-VP) 50(HT-VP) 50(HT-VP) 50(HT-VP) 50(HT-VP) 50(HT-VP)

物入 物入 物入 物入 物入 物入 物入 物入 物入 物入 物入 物入

洋室1 DK DK 洋室1 DK DK 洋室 洋室 洋室1 DK DK 洋室1

ベランダ ベランダ ベランダ ベランダ ベランダ ベランダ

3DK
66.97㎡
（ベランダ：9.9㎡）

2DK
55.1㎡
（ベランダ：8.7㎡）

1DK
38.0㎡
（ベランダ：6.0㎡）

1DK
38.0㎡
（ベランダ：6.0㎡）

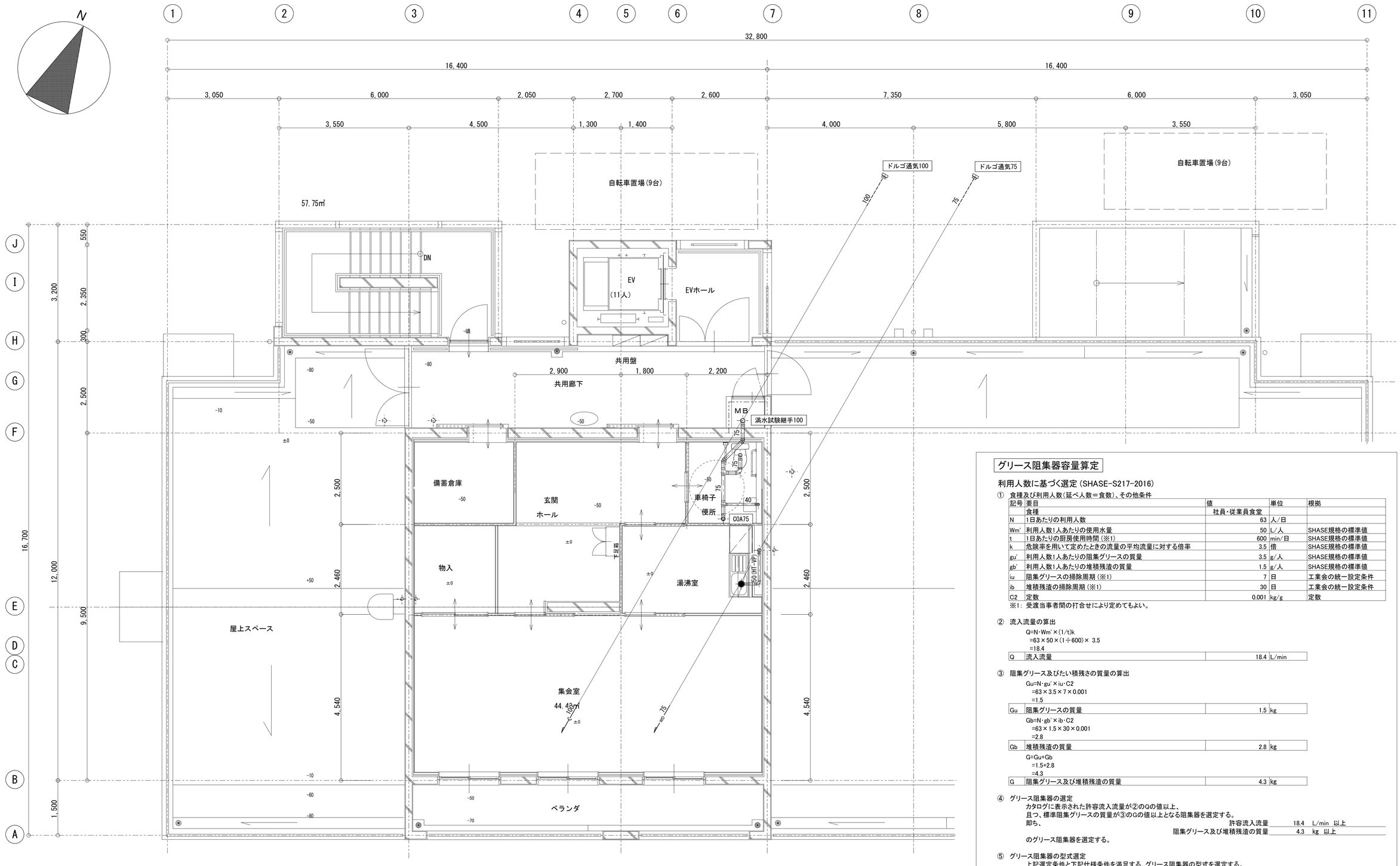
2DK
55.1㎡
（ベランダ：8.7㎡）

3DK
66.97㎡
（ベランダ：9.9㎡）

2階・3階平面図　S＝1/50

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/50 A3 S=1/100		M
2階・3階平面図（排水設備）			11

（株）ADO建築設計事務所
岡山市北区西古松西町5番6号 TEL086-244-0173
1級建築士事務所 岡山県知事登録第12055号
1級建築士登録 第118236号 大石雅弘



集会所
93.1㎡
(ベランダ：14.7㎡)

集会所内　排水負荷単位　（汚水・雑排水系統）	
大便器（タンク式）：	4
手洗器 ：	1
計 ：	5
集会所内　排水負荷単位　（台所系統）	
湯沸流し台 ：	3

４階平面図　S＝1/50

グリース阻集器容量算定

利用人数に基づく選定（SHASE-S217-2016）

① 食種及び利用人数（延べ人数＝食数）、その他条件

記号	要目	値	単位	根拠
	食種	社員・従業員食堂		
N	1日あたりの利用人数	63	人/日	
Wm'	利用人数1人あたりの使用水量	50	L/人	SHASE規格の標準値
t	1日あたりの厨房使用時間（※1）	600	min/日	SHASE規格の標準値
k	危険率を用いて定めたときの流量の平均流量に対する倍率	3.5	倍	SHASE規格の標準値
gu'	利用人数1人あたりの阻集グリースの質量	3.5	g/人	SHASE規格の標準値
gb'	利用人数1人あたりの堆積残渣の質量	1.5	g/人	SHASE規格の標準値
iu	阻集グリースの掃除周期（※1）	7	日	工業会の統一設定条件
ib	堆積残渣の掃除周期（※1）	30	日	工業会の統一設定条件
C2	定数	0.001	kg/g	定数

※1：受渡当事者間の打合せにより定めてもよい。

② 流入流量の算出

Q=N･Wm'×(1/t)k
=63×50×(1÷600)× 3.5
=18.4

Q	流入流量	18.4	L/min

③ 阻集グリース及びたい積残さの質量の算出

Gu=N･gu'×iu･C2
=63×3.5×7×0.001
=1.5

Gu	阻集グリースの質量	1.5	kg

Gb=N･gb'×ib･C2
=63×1.5×30×0.001
=2.8

Gb	堆積残渣の質量	2.8	kg

G=Gu+Gb
=1.5+2.8
=4.3

G	阻集グリース及び堆積残渣の質量	4.3	kg

④ グリース阻集器の選定

カタログに表示された許容流入流量が②のQの値以上、
且つ、標準阻集グリースの質量が③のGの値以上となる阻集器を選定する。
即ち、
許容流入流量　18.4　L/min　以上
阻集グリース及び堆積残渣の質量　4.3　kg　以上
のグリース阻集器を選定する。

⑤ グリース阻集器の型式選定

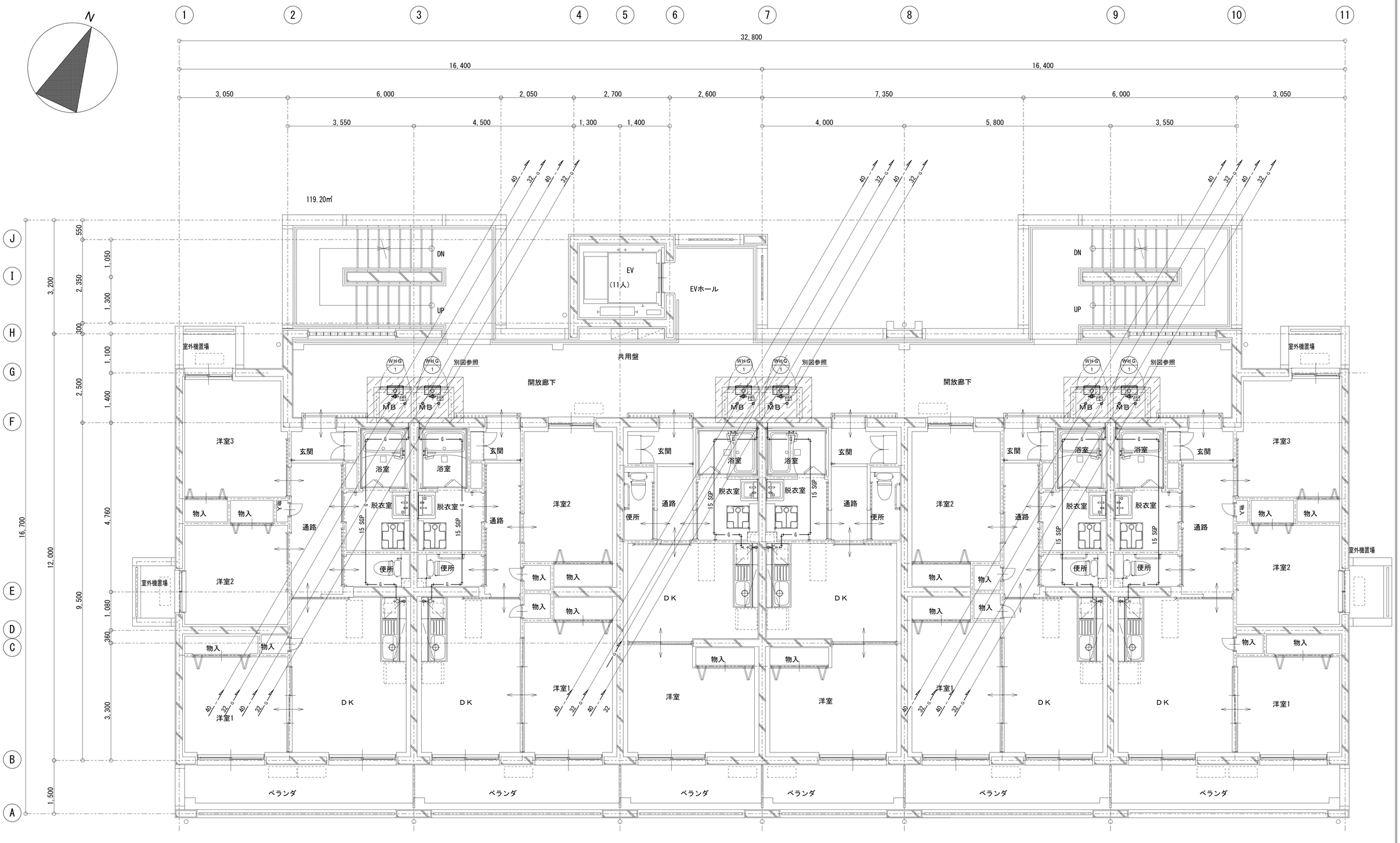
上記選定条件と下記仕様条件を満足する、グリース阻集器の型式を選定する。

備考 当該施設は共同住宅で 3.5人/戸として 18戸として計算

材質　FRP製
流入形態　パイプ式
据付方法　地中埋設専用
型式　HGR-NX50P
許容流入流量　50.0　L/min
阻集グリース及び堆積残渣の質量　16.6　kg
工業会認定の有無　有り

邑久地区市営住宅（Ａ棟）建替工事	A1 S=1/50 A3 S=1/100		M
４階平面図　（排水設備）			12

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



3DK	2DK	1DK	1DK	2DK	3DK
66.97㎡	55.1㎡	38.0㎡	38.0㎡	55.1㎡	66.97㎡
（ベランダ：9.9㎡）	（ベランダ：8.7㎡）	（ベランダ：6.0㎡）	（ベランダ：6.0㎡）	（ベランダ：8.7㎡）	（ベランダ：9.9㎡）

各階住戸内平面図（ガス設備）　S＝1/50

邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/50 A3 S=1/100		M
各階住戸内平面図　（ガス設備）			13

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

▽パラペット天

▽RFL

▽4FL

▽3FL

▽2FL

▽1FL

▽設計GL

500
3,200
3,000
3,000
500
1,310
13,200
12,700

ドルゴ通気100
100 耐火VP
WHG 1
マイコンガスメーター（供給業者からの借用品）
水道メーター（局からの借用品）13mm
SGP-W
SGP-VB
SGP-VD
32 PLP
40 PLP
50 SGP-VD
100
125
150
837／2
1974
900
590
775
38
25
6

注記　1
床下ピット（トレンチ）内給水管は　ＳＧＰ－ＶＤ　とし、
ＭＢシャフト内給水管は　ＳＧＰ－ＶＢ　とする
また、住戸内給水管は保温付き架橋ポリエチレン管（さや管工法）
とする

PS内　配管断面図（1）　S＝1/30　7

▽RFL

▽4FL

▽3FL

▽2FL

▽1FL

MB
ドルゴ通気100
100 耐火VP
自動エア抜弁15+GV15
メーター直結伸縮式止水栓　13mm
水道メーター（局からの借用品）13mm
SGP-VB 20
床貫通部を示す
WHG 1
FJ20x300L
FJ15x300L
中間ｺｯｸ15
GV20
メーターコック15
マイコンガスメーター（供給業者からの借用品）
水道メーター（局からの借用品）13mm
メーター直結伸縮式止水栓　13mm
ガス給湯器用潜熱ドレントラップシステム
（給湯器用ドレントラップ+ドレン排水受）
各住戸に１組設置とする
SGP
32
15
20
40
2,900
420
440
2,400
2,550
2,110
420

2,240

PS内　配管断面図（2）　S＝1/30　7

▽RFL

▽4FL

▽3FL

▽2FL

▽1FL

▽設計GL

MB
ドルゴ通気100
100 耐火VP
2,900
120
145
250
20,250
125
50
ガス給湯器（24号）
WHG 1
架橋ポリエチレン管（Φ20）
2,400
SGP 32A
SGP 15
FJ15x300L
中間ｺｯｸ15
メーターコック15
マイコンガスメーター（供給業者からの借用品）
40 SGP-VB
FJ20x300L
GV20
20 SGP-VB
水道メーター（局からの借用品）13mm
160
178
75
32 PLP
100 耐火VP
1,500
40 SGP-VD
100 VP
配管ピット
200
30
850

注記　2
床下ピット（トレンチ）内ガス管は　ガス用ポリエチレン管　とし、
ＭＢシャフト内・住戸内ガス管は　ＳＧＰ（白）　とする
また、ＭＢ・住戸内給湯管は　保温付き架橋ポリエチレン管
とする

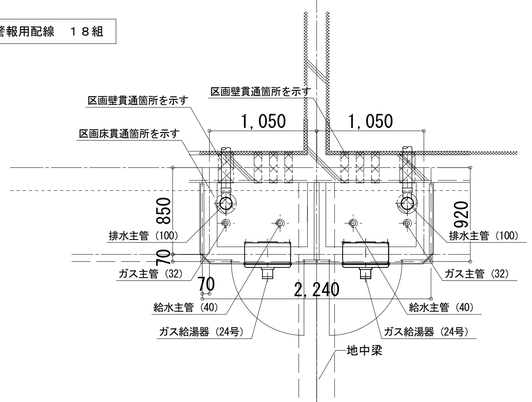
PS内　配管断面図（3）　S＝1/30　F

防火区画を貫通する給水管、配電管その他の管の外径は
建築基準法施工令第129条の2の4第1項第七号ロの規定に
基づき施工すること。

AC　1-100V（電気工事）
ケーブル　AE 0.9-3C　ガス工事
空配管：電気工事
ガス漏れ
警報器
マイコン
ガスメーター

ガス漏れ警報用配線　１８組

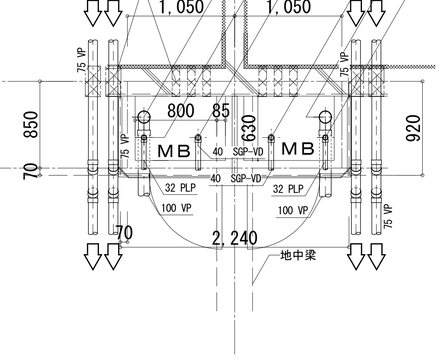
住戸内　給湯管系統　ＰＳ断面



標準階　ＰＳ内　配管平面図　S＝1/30

住戸内　ガス管系統　ＰＳ断面

住戸内　給水管系統　ＰＳ断面



7

１階　ＰＳ内　配管平面図　S＝1/30

【 防火上主要な間仕切壁貫通処理材 】

① 給水・排水管（床・壁貫通）：樹脂管類の場合

区画貫通部の配管には国土交通大臣認定の耐火テープを施し、かつ　貫通穴の間隙補修として
硬化型不燃タイプの耐火パテにて埋戻しを施すこと

国土交通大臣認定番号	国土交通大臣認定番号
PSO60FL-0351　床	不燃材　NM-2755
PSO60WL-0350　RC-ALC 壁	（因幡電気産業(株)）
PSO60WL-0386　中空壁	型式：IPF
（因幡電気産業(株)）100A 以下	
型式：IRTV-Y　IRTV-K	

② 冷媒管（壁・床貫通）：保温被覆銅管類の場合

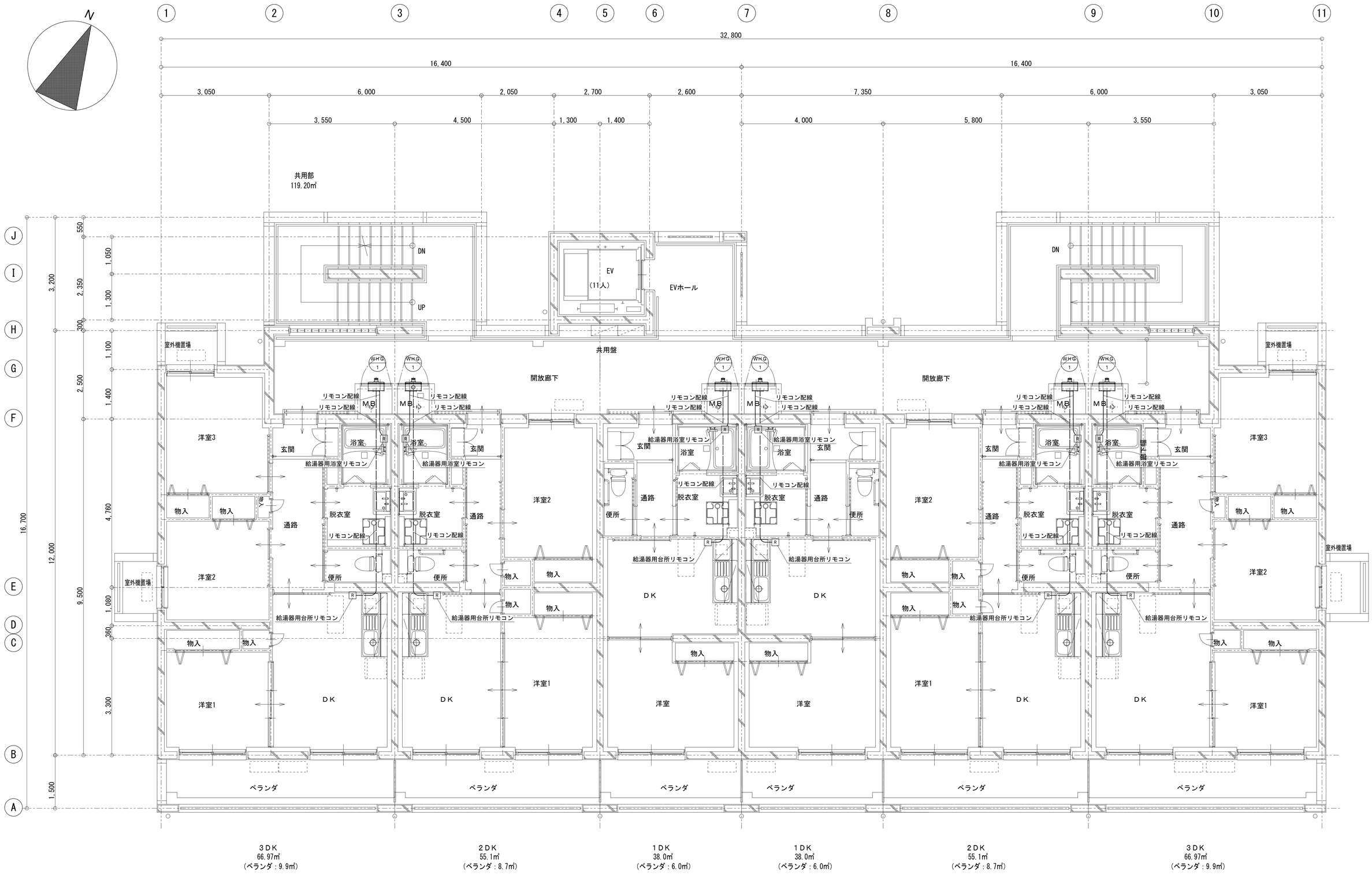
区画貫通部の配管には国土交通大臣認定の耐火テープを施し、かつ　貫通穴の間隙補修として
硬化型不燃タイプの耐火パテにて埋戻しを施すこと

国土交通大臣認定番号	国土交通大臣認定番号
PSO60WL-0888　（壁・ALC 75mm）	不燃材　NM-2755
PSO60WL-0915　（壁・ALC 100mm）	（因幡電気産業(株)）
PSO60WL-0894　（中空壁）	型式：IPF
PSO60FL-0914　（床）	
（因幡電気産業(株)）	
型式：IRG-T　IRG-28T　IRG-48T	

邑久地区市営住宅（Ａ棟）建替工事	A1　S=1/30 A3　S=1/60		M
ＰＳ内部分詳細図　（衛生設備）			14

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

姿図　断面図　断面図

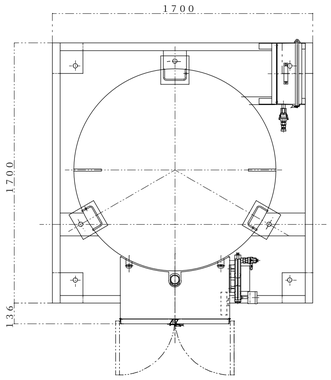


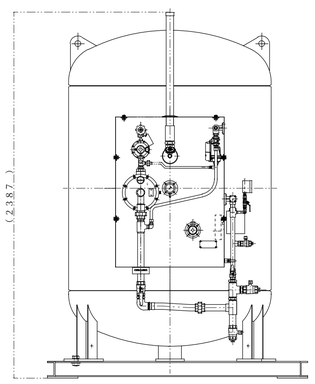
各階住戸内平面図　（ガス給湯器排気筒・リモコン配線）　S＝1/50

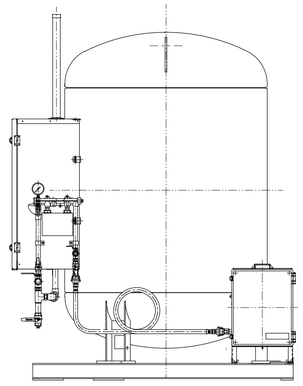
邑久地区市営住宅（A棟）建替工事	A1 S=1/50 A3 S=1/100	M
各階住戸内平面図（ガス給湯器排気筒・リモコン配線）		15

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

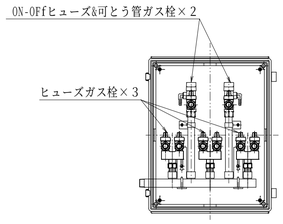
記号	機器名称	数量	仕様
ＧＢＴ	ガスバルク装置	1	980kg　縦形　自然気化式　災害対応型　バルク用ガス漏れ検知器（電池式）・圧力調整器・同鉄骨基礎ベース　その他付属品共　概略外形寸法　１，６６６ｘ１，３２２φ×２，２７８Ｈ　重量　９５０ｋｇ
			バルク用調整器：50kg/Ｈ　（超音波式Ｍ付）　１－圧力計セット　１－調整器　１－低圧ホース　１－ガス警報器（電池式）　１－平架台
			ユニット組立工事共　（下図参考図参照のこと）　構成品　１－ガス栓ボックス（ﾋｭｰｽﾞｶﾞｽ栓【ﾎｰｽ口】×2,ﾋｭｰｽﾞｶﾞｽ栓【Ｉ型ｺﾝｾﾝﾄ】×6,可とう管ｶﾞｽ栓×2），1式－その他標準付属品
			ユニット用架台及びガス栓ボックス用架台は亜鉛ドブ漬け仕様とすること







参　考　図　　S=1/20



ガス栓ボックス内部（１：１０）

注記
＊バルクタンクを設置する際の注意点
・室外機・分電盤・制御盤および火気類とは２m以上離隔距離を取ること。

仕様	ユニット用架台及びガス栓ボックス用は亜鉛ドブ漬け仕様
型式	ＥＢＳ－９８０Ｔ－０２（ＢＲＶ－５０ＡＨＬ仕様）
品名	災害時対応バルクシステム
外観図	
㈱Ｉ･Ｔ･Ｏ株式会社	

注記：外周の防護フェンス工事及び機器の基礎工事は建築工事とする。
当該ユニットの機器の試運転・調整はガス供給業者によるものとする。
ただし、ガス供給業者が未定の場合は別途協議によるものとする。
また、その際に試運転時に当該システム機器に問題があった場合は当該機器の設置業者の責任において修理・保守を行うこと

	鍵取付ワイヤー			同梱品
21	マジックテープ			
20	六角レンチ	1		Ｈｅｘ．６
19	プラグ	1	ナイロン６６	森宮電機㈱ ＤＰ－１７５０
18	サラバネ座金付ナット	2	ＳＵＳ３０４	Ｍ８
17	六角穴付ボルト	2	ＳＵＳ３０４	ＪＩＳ　Ｍ８×２０
16	アーチグリップ	1	硬質樹脂	イマオコーポレーション アイーチグリップＡＧＳ１３０
15	板	1	ＳＰＣＣ	
14	平座金組込み十字穴付きナベ小ネジ	4	ステンレス鋼	ＪＩＳ Ｍ４×１０
13	ガス用Ｌ足	2	ＳＰＨＣ	㈱アカギ Ａ10543　50L
12	ガスバンド（鋼管用）	2	ＳＰＨＣ	㈱アカギ Ａ10537　15A
11	平座金組込み十字穴付きナベ小ネジ	8	ステンレス鋼	ＪＩＳ Ｍ５×１２
10	Ｕボルト（六角ナット付）	2	ＳＵＳ３０４	Ｍ５×３／４
9	支持金具	2	ＳＰＣＣ	
8	ロングニップル	2	ＳＧＰ	１５Ａ
7	ON-OFFヒューズ&可とう管ガス栓	1	ＺＤＣ２他	伊藤鉄工ＰＬ-７１３ＯＬ
6	ON-OFFヒューズ&可とう管ガス栓	1	ＺＤＣ２他	伊藤鉄工ＰＬ-７１３ＯＲ
5	ヒューズガス栓（伊藤鉄工製）	3	ＺＤＣ２他	ＰＬ－８ＦＯＩＣＣ
4	バレルニップル	3	ＳＧＰ	１５Ａ
3	集合管	1	ＳＧＰ 他	
2	架台	1	ＳＳ４００	
1	ボックス	1	ＡＢＳ他	
番号	部品名	数量	材　質	摘　要
型　式	ＥＢＳ－ＢＯＸ			
品　名	ガス栓ボックス			
㈱Ｉ･Ｔ･Ｏ株式会社				

邑久地区市営住宅（Ａ棟）建替　工事	A1 S=1/20　1/10 A3 S=1/40　1/20	M
バルク装置参考図		16

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

空調設備　機器表　（　Ａ棟　）

記号	機器名称	数量	仕様 形式	仕様 冷房能力 (kW)	仕様 暖房能力 (kW)	APF	参考消費電力 冷房時 (w)	参考消費電力 暖房時 (w)	参考電気容量 電源	参考電気容量 圧縮機 (W)	参考電気容量 送風機 (W)	冷媒管径 液管 (mm)	冷媒管径 気管 (mm)	付属品 ﾜｲﾔﾚｽﾘﾓｺﾝ	付属品 室外機 RC基礎	付属品 室外機 二段架台	参考型番（日立）	設置場所
RC-1	ルームエアコン（別途-将来予定）	24	壁掛形	2.2	2.5	6.8	400	430	1Φ-100V	600		6.35	9.52	○	○		RAS-ZJ22R	3ＤＫ　洋室1・2
				（0.4～3.5）	（0.3～6.0）		(115～900)	(110～1,490)										2ＤＫ　洋室1 1ＤＫ　洋室
RC-2	ルームエアコン（別途-将来予定）	18	壁掛形	2.5	2.8	6.8	490	490	1Φ-100V	650		6.35	9.52	○	○		RAS-ZJ25R	3ＤＫ　洋室3
				（0.4～3.6）	（0.3～6.0）		(115～920)	(110～1,490)										2ＤＫ　洋室2 1ＤＫ　ＤＫ
RC-3	ルームエアコン（別途-将来予定）	6	壁掛形	4.0	5.0	7.0	880	920	1Φ-100V	1,100		6.35	9.52	○	○		RAS-ZJ40R2	2ＤＫ　ＤＫ
				（0.5～5.5）	（0.4～11.2）		(155～1,800)	(135～3,900)										
RC-4	ルームエアコン（別途-将来予定）	6	壁掛形	5.6	6.7	6.3	1,600	1,480	1Φ-200V	1,500		6.35	9.52	○	○		RAS-ZJ56R2	3ＤＫ　ＤＫ
				（0.5～6.0）	（0.4～11.2）		(155～2,000)	(135～3,900)										
AC-1	パッケージエアコン	2	壁掛形	7.1	8.0	5.4	1,960	2,390	1Φ-200V	1,350	80	9.52	15.88	○	○		RPK-GP80RGHJ5	4階　集会室
				（1.8～8.0）	（2.0～10.6）						50							

換気設備　機器表　（　Ａ棟　）

記号	機器名称	数量	仕様 形式			仕様 処理風量 (m3/h)	仕様 静圧 (Pa)	参考電気容量 電源	接続ﾀﾞｸﾄ径 (mm)	付属品 スイッチ 本体付属	付属品 スイッチ ON-OFF	付属品 スイッチ 24時間	付属品 深形フード SUS製	付属品 ﾍﾞﾝﾄﾞｷｬｯﾌﾟ SUS製	付属品 ﾍﾞﾝﾄﾞｷｬｯﾌﾟ SUS製 ＦＤ付	参考型番（三菱）
ＦＥ－１	レンジフードファン	(19) 建築工事	ＤＫ系統	ブース形（　深形　）	60cmﾀｲﾌﾟ	390	70	1Φ-100V	150	○			○ （集会所のみ）		○	BLVU031924 （タカラ）
ＦＥ－２	天井扇	19	便所系統 24時間換気	定風量ﾀｲﾌﾟ	樹脂製ﾎﾞﾃﾞｨ	100	60	1Φ-100V	100			○	○ （集会所のみ）		○	VD-10ZVC6
ＦＥ－３	天井扇	18	浴室系統	定風量・二部屋換気ﾀｲﾌﾟ	樹脂製ﾎﾞﾃﾞｨ	80	40	1Φ-100V	100		○				○	VD-15ZFVC6
ＦＥ－４	天井扇	1	集会室系統	定風量・居間用消音ﾀｲﾌﾟ	金属製ﾎﾞﾃﾞｨ	450	80	1Φ-100V	150		○		○ （集会所のみ）			VD-23ZVE6
ＯＦ－１	差圧式自然給気ユニット	18	外壁系統	差圧感応圧力調整可能ﾀｲﾌﾟ ﾌｨﾙﾀｰ付	樹脂製ﾎﾞﾃﾞｨ	100	60		150				○			P-18QSU
ＯＦ－２	差圧式自然給気ユニット	18	ベランダ廊下系統	差圧感応圧力調整可能ﾀｲﾌﾟ ﾌｨﾙﾀｰ付	樹脂製ﾎﾞﾃﾞｨ	100	60		150					○ （8）	○ （12）	P-18QSU

邑久地区市営住宅（Ａ棟）建替工事	A1 S=1/Ns A3 S=1/Ns	M	
空調設備・換気設備　機器表			17

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘

換気量計算　（Ａ棟）

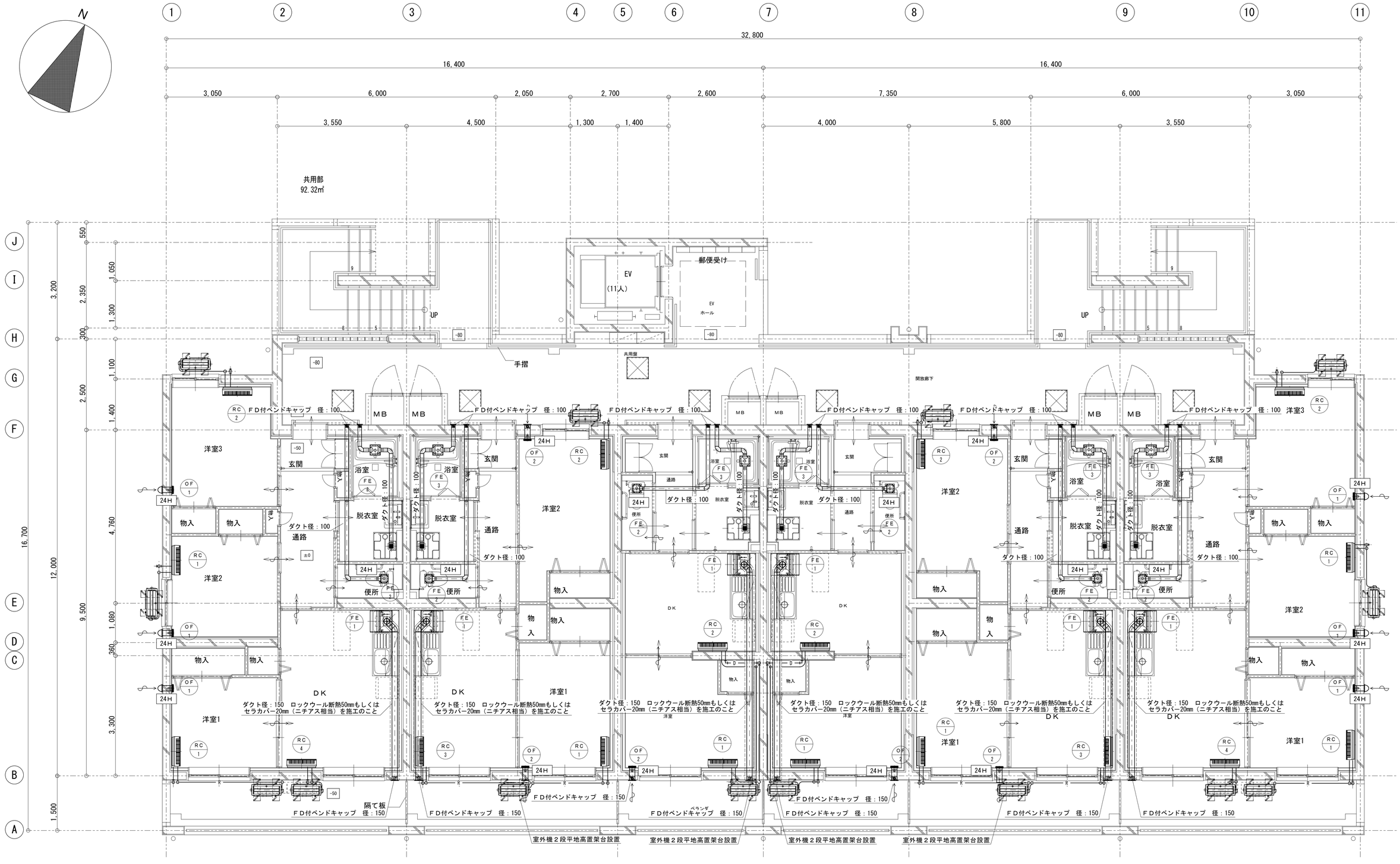
階	室　名	面積 Ａf 【m2】 縦（m）	横（m）	計（m2）	天井高 [m]	室容積 [m3]	単位人員 [人/m2]	人員 [人]	換気回数 [回/h]	換気種別	換気回数 必要換気量 Q1 [m3/h]	人員による 単位換気量 [m3/h・人]	30	必要換気量 Q2 [m3/h]	建築基準法による換気計算 法定必要換気量 Q3 = 20Af / N 有窓・無窓	20Af (m2)	N	Q3 [m3/h]	採用換気量 （設計）Q1：Q2+Q3の大なる方 Q [m3/h]	決定換気量 Q' [m3/h]	換気判定	シックハウス法の換気計算 対象容積 m3	換気係数 0.5	必要換気量 q [m3/h]	決定換気量 q' [m3/h]	シックハウス判定	機器記号	給気口
３ＤＫ	洋室　1			8.47	2.30	19.48				自然					有窓													
	洋室　2			9.17	2.30	21.10				自然					有窓													
	洋室　3			10.90	2.30	25.07				自然					有窓													
	ＤＫ	4.59	3.50	16.07	2.30	36.96			10.0	3	370				有窓				370	390	OK!						FE-1	
	通路・玄関			8.05	2.20	17.71				自然																		
	便所	1.11	1.95	2.17	2.20	4.78			20.0	3	96								96	100	OK!						FE-2	
			計	54.83	計	125.10															計	125.05		63	100	OK!	FE-2	給気口
	浴室　【ﾕﾆｯﾄﾊﾞｽ】	1.60	1.20	1.92	2.01	3.86			10.0	3	39								39	80	OK!						FE-3	
２ＤＫ	洋室　1			10.14	2.30	23.33				自然					有窓													
	洋室　2			11.47	2.30	26.39				自然					有窓													
	ＤＫ	4.59	3.05	14.00	2.30	32.20			10.0	3	322				有窓				322	390	OK!						FE-1	
	通路・玄関			5.84	2.20	12.85				自然																		
	便所	1.11	1.95	2.17	2.20	4.78			20.0	3	96								96	100	OK!						FE-2	
			計	43.92	計	99.55															計	100.26		51	100	OK!	FE-2	給気口
	浴室　【ﾕﾆｯﾄﾊﾞｽ】	1.60	1.20	1.92	2.20	4.23			10.0	3	43								43	80	OK!						FE-3	
１ ＤＫ	洋室			11.96	2.30	27.51				自然					有窓													
	ＤＫ	2.85	4.00	11.40	2.30	26.22			10.0	3	263				無窓				263	390	OK!						FE-1	
	通路・玄関			4.89	2.20	10.76				自然																		
	便所	1.00	2.15	2.15	2.20	4.73			20.0	3	95								95	100	OK!						FE-2	
			計	30.40	計	69.22															計	69.22		35	100	OK!	FE-2	給気口
	浴室　【ﾕﾆｯﾄﾊﾞｽ】	1.60	1.20	1.92	2.01	3.86			10.0	3	39								39	80	OK!						FE-3	
集会室	集会室	4.54	9.80	44.50	2.50	111.25				自然					有窓	890	2	445	445	450	OK!						FE-4	
	玄関ホール	2.50	4.70	11.75	2.55	29.97				自然																		
	玄関	2.46	3.40	8.37	2.50	20.93				自然																		
	湯沸室	2.46	4.00	9.84	2.50	24.60			10.0	3	246				無窓	197			246	390	OK!						FE-1	
	車いす便所	2.50	2.20	5.50	2.35	12.93			5.0	3	65								65	100	OK!						FE-2	
			計	79.96	計	199.68															計	199.68	100	100	OK!		FE-2	給気口
	備蓄倉庫	2.50	2.90	7.25	2.30	16.68																						
	物入	2.40	2.40	5.76	2.30	13.25																						

換気量計算（火気使用室の換気）　Ａ棟

室　名	面積 [m2]	天井高 または 平均天井高 [m]	室容積 （Af） [m3]	換気回数による 換気回数 [回/h]	換気量（Q1） [m3/h]	火気使用による（LPG） q [kW]・[kg/H]	数量	換気定数	k [m3/kWh]・[m3/kg]	換気量（Q2） [m3/h]	必要換気量 （設計）Q1：Q2の大なる方 [m3/h]	選定機器風量 （設計） [m3/h]	換気種別	排気機器 給排気機器 機番	台数
（　各住戸　共通　）															
３ＤＫ　ＤＫ	16.070	2.30	36.96	10.0	370	3口　ガスコンロ　9.30 kW	1	40	0.93	346	370	390	3	ＦＥ-１	1
２ＤＫ　ＤＫ	14.000	2.30	32.20	10.0	322	3口　ガスコンロ　9.30 kW	1	40	0.93	346	346	390	3	ＦＥ-１	1
１ＤＫ　ＤＫ	11.400	2.30	26.22	10.0	263	3口　ガスコンロ　9.30 kW	1	40	0.93	346	346	390	3	ＦＥ-１	1
集会室　湯沸室	9.84	2.50	24.60	10.0	246	3口　ガスコンロ　9.30 kW	1	40	0.93	346	346	390	3	ＦＥ-１	1

邑久地区市営住宅（Ａ棟）建替工事	A1 S=1/Ns A3 S=1/Ns	M	
換気設備　計算書			18

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



3ＤＫ	2ＤＫ	1ＤＫ	1ＤＫ	2ＤＫ	3ＤＫ
66.97㎡	55.1㎡	38.0㎡	38.0㎡	55.1㎡	66.97㎡
（ベランダ：9.9㎡）	（ベランダ：8.7㎡）	（ベランダ：6.0㎡）	（ベランダ：6.0㎡）	（ベランダ：8.7㎡）	（ベランダ：9.9㎡）

【注記】
① 空調ドレン管は最寄りのテラス雨水溝に放流とする
ただし、屋外ドレン埋設管は最寄りの雨水桝に放流とする
② エアコンの室内・室外機の渡り配線は冷媒管共巻配線とする
③ エアコン室内機のリモコンは同施設の管理者に引き渡しとする
④ エアコン室外機の基礎は注記（特記）なき場合は緑石ブロック+防振パット敷きとする
転倒防止対策については同施設の管理者と協議すること
⑤ 冷媒配管の外装は樹脂製化粧カバーを使用するものとする
また、同施工が困難な場合は同施設の管理者と協議すること

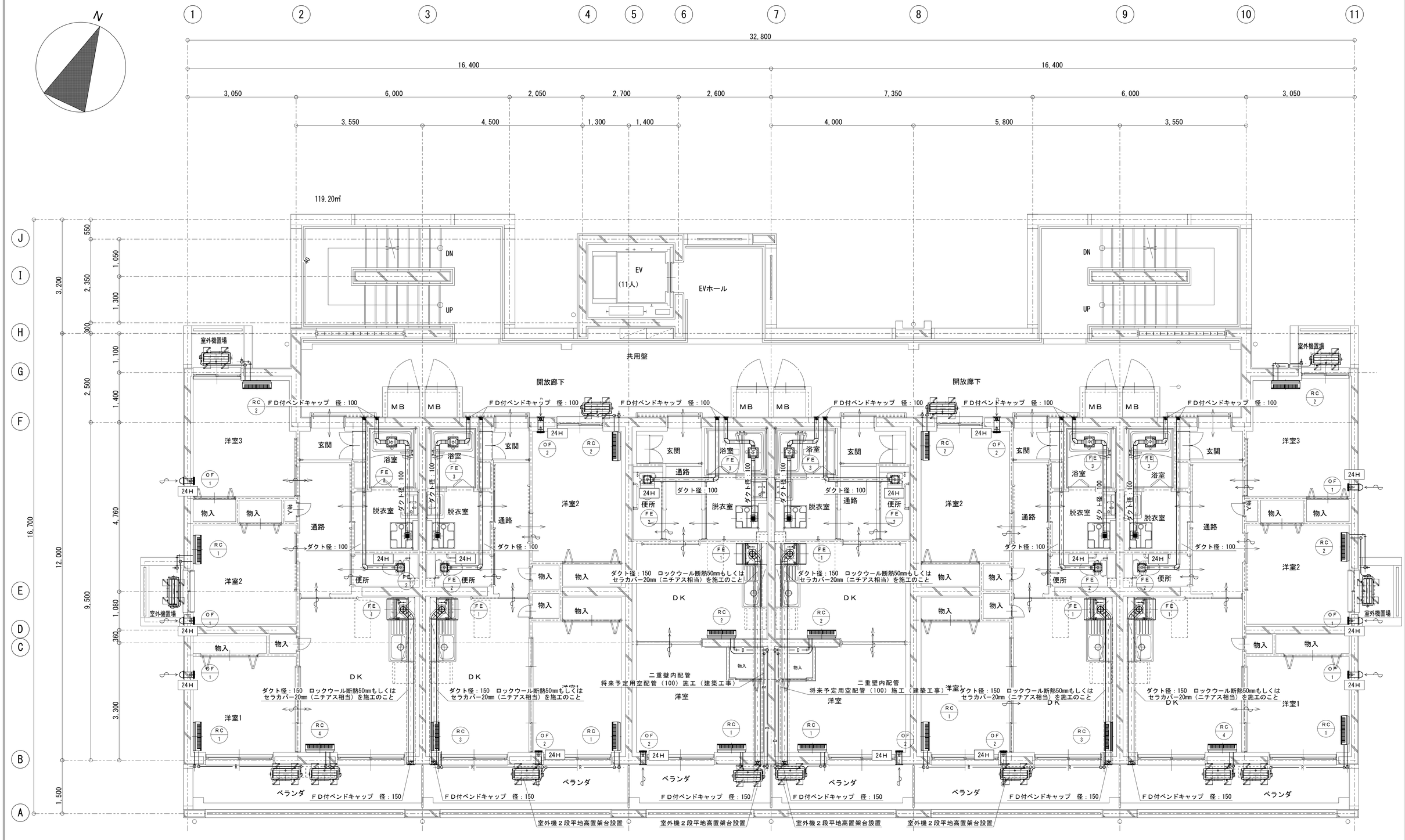
注記：空調設備工事は将来予定のためクーラースリーブのみ今回工事とする

１階平面図　Ｓ＝1/50

凡例
数値：FLからのレベルを示す

邑久地区市営住宅（Ａ棟）建替工事	A1 S=1/50 A3 S=1/100	M
１階平面詳細図　（空調・換気設備）		19

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



3ＤＫ	2ＤＫ	1ＤＫ	1ＤＫ	2ＤＫ	3ＤＫ
66.97㎡	55.1㎡	38.0㎡	38.0㎡	55.1㎡	66.97㎡
（ベランダ：9.9㎡）	（ベランダ：8.7㎡）	（ベランダ：6.0㎡）	（ベランダ：6.0㎡）	（ベランダ：8.7㎡）	（ベランダ：9.9㎡）

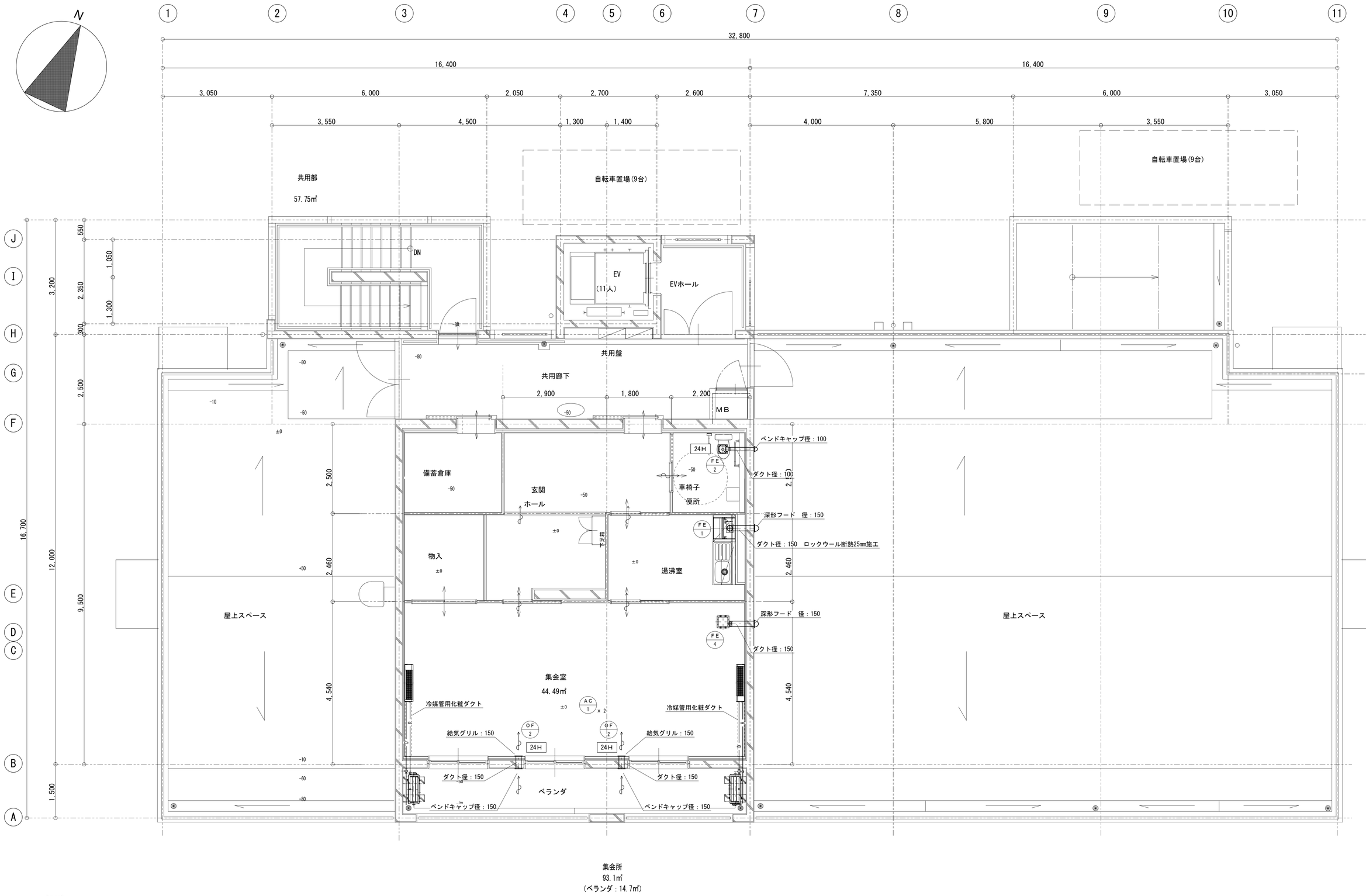
【注記】
① 空調ドレン管は最寄りのテラス雨水溝に放流とする
　ただし、屋外ドレン埋設管は最寄りの雨水桝に放流とする
② エアコンの室内・室外機の渡り配線は冷媒管共巻配線とする
③ エアコン室内機のリモコンは同施設の管理者に引き渡しとする
④ エアコン室外機の基礎は注記（特記）なき場合は緑石ブロック+防振パット敷きとする
　転倒防止対策については同施設の管理者と協議すること
⑤ 冷媒配管の外装は樹脂製化粧カバーを使用するものとする
　また、同施工が困難な場合は同施設の管理者と協議すること

注記：空調設備工事は将来予定のためクーラースリーブのみ今回工事とする

２階・３階平面図　Ｓ＝1/50

邑久地区市営住宅（Ａ棟）建替工事	A1　S=1/50 A3　S=1/100		M
２階・３階平面図　（空調・換気設備）			20

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号　TEL086-244-0173
１級建築士事務所　岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録　第１１８２３６号　大石雅弘



集会所
93.1㎡
（ベランダ：14.7㎡）

【注記】
① 空調ドレン管は最寄りのテラス雨水溝に放流とする
ただし、屋外ドレン埋設管は最寄りの雨水桝に放流とする
② エアコンの室内・室外機の渡り配線は冷媒管共巻配線とする
③ エアコン室内機のリモコンは同施設の管理者に引き渡しとする
④ エアコン室外機の基礎は注記（特記）なき場合は縁石ブロック+防振パット敷きとする
転倒防止対策については同施設の管理者と協議すること
⑤ 冷媒配管の外装は樹脂製化粧カバーを使用するものとする
また、同施工が困難な場合は同施設の管理者と協議すること

４階平面図　S＝1/50

邑久地区市営住宅（Ａ棟）建替工事	A1 S=1/50 A3 S=1/100		M
４階平面図　（空調・換気設備）			21

（株）ＡＤＯ建築設計事務所
岡山市北区西古松西町５番６号 TEL086-244-0173
１級建築士事務所 岡山県知事登録第１２０５５号
１級建築士登録 第１１８２３６号 大石雅弘